

令和3年度

主要施策の成果及び予算執行の実績報告書

つくば市



## 目 次

一般会計	1
歳入予算執行状況	9
事業の目的、概要及び成果	
1 議会費	22
2 総務費	25
3 民生費	94
4 衛生費	189
5 労働費	234
6 農林水産業費	236
7 商工費	260
8 土木費	288
9 消防費	331
10 教育費	350
11 災害復旧費	432
12 公債費	433
13 諸支出金	433
14 予備費	441
国民健康保険特別会計	443
後期高齢者医療特別会計	467
作岡財産区特別会計	475
つくば市等公平委員会特別会計	479
介護保険事業特別会計	483
附 表	
基金の状況について	525
常勤特別職員給与関係経費明細	526
一般職員給与関係経費明細	526

注) 歳入予算執行状況及び各事業別執行状況の数値は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び合計額と一致しない場合があります。



# 一 般 会 計



主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和3年度つくば市一般会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和4年9月9日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和3年度つくば市一般会計予算執行の概要について

令和3年度は、未来構想に掲げる2030年の未来像の実現に向け、つくば市戦略プランにおける施策を着実に推進しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を的確に見通すことが困難な中、市民の生活や雇用を守り、市民が安全・安心を実感できるよう、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策や地域の経済対策など、時期を逸することなく確実に進めてきました。

当初予算編成に当たって、歳入面は、つくばエクスプレス沿線開発の進展と人口増加に伴い、これまで個人市民税や固定資産税の市税は堅調に推移してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴い、所得や収益の減収による市税の減額を見込みました。歳出面では、これまで取り組んできた保育環境の充実や放課後児童対策、医療や高齢者に対する地域包括支援などの福祉事業、防災・防犯体制の強化への取り組み等、市民生活に必要な事業を滞りなく実施しました。

決算については、歳入が前年度比19,871,916千円減の105,651,615千円、歳出が前年度比21,604,051千円減の98,926,933千円となりました。いずれも、令和2年度に実施した特別定額給付金（23,833,800千円）が主要な減少要因となっています。

歳入の主な減額要因としては、国庫支出金が、特別定額給付金給付事業費補助金などにより前年度比15,552,489千円減の24,874,896千円となったこと、また、繰入金で、繰入金金が財政調整基金繰入金などにより、前年度比5,946,946千円減の1,750,679千円となったことなどがあります。市債は、学校建設事業債や保健体育事業債の減少に伴い、前年度比1,341,354千円減の5,707,407千円となりました。

歳出の主な減額要因としては、総務費が特別定額給付金などにより、前年度比23,961,860千円減の6,729,647千円となったこと、また、土木費がつくば市土地開発公社貸付金などにより、前年度比3,243,066千円減の11,012,533千円となったことなどがあります。

収支状況は、実質収支が増加し、単年度収支及び実質単年度収支はともに黒字となりました。また、経常収支比率は前年度から2.7ポイント減少し89.6%となりました。健全化判断比率は、実質公債費比率が5.3%、将来負担比率が31.1%となりました。ともに国の定める早期健全化基準を大きく下回っています。

以上、令和3年度つくば市一般会計決算の概要ですが、主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。



令和3年度 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	令和3年度 A	令和2年度 B	差引増減額 A-B	増 減 率
歳 入 総 額 C	105,651,615	125,523,531	△ 19,871,916	△ 15.8
歳 出 総 額 D	98,926,933	120,530,984	△ 21,604,051	△ 17.9
歳入歳出差引額 (C-D) E	6,724,682	4,992,547	1,732,135	34.7
翌年度に繰り越すべき財源 F	459,893	625,967	△ 166,074	△ 26.5
実 質 収 支 (E-F) G	6,264,789	4,366,580	1,898,209	43.5
単 年 度 収 支 H	1,898,209	658,552	1,239,657	—
積 立 金 I	2,285,376	3,957,153	△ 1,671,777	△ 42.2
繰 上 償 還 額 J	0	0	0	0.0
積立金取崩し額 K	275,600	6,368,823	△ 6,093,223	△ 95.7
実質単年度収支 (H+I+J-K) L	3,907,985	△ 1,753,118	5,661,103	—

款 別 歳 入 決 算 額 比 較 表

(単位:千円)

科 目	年度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	収 入 割 合		
						予 算 対	調 定 対	歳 入 計
市 税	03	47,186,830	49,046,545	47,807,103	620,273	101.3%	97.5%	45.2%
	02	46,939,740	48,656,510	47,155,601	215,861	100.5%	96.9%	37.5%
地 方 譲 与 税	03	920,654	974,466	974,466	53,812	105.8%	100.0%	0.9%
	02	893,986	942,474	942,474	48,488	105.4%	100.0%	0.7%
利 子 割 交 付 金	03	29,671	26,698	26,698	△ 2,973	90.0%	100.0%	0.1%
	02	37,129	33,091	33,091	△ 4,038	89.1%	100.0%	0.1%
配 当 割 交 付 金	03	165,645	256,780	256,780	91,135	155.0%	100.0%	0.2%
	02	170,431	159,202	159,202	△ 11,229	93.4%	100.0%	0.1%
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	03	173,828	307,119	307,119	133,291	176.7%	100.0%	0.3%
	02	93,510	222,932	222,932	129,422	238.4%	100.0%	0.2%
法 人 事 業 税 交 付 金	03	558,338	728,041	728,041	169,703	130.4%	100.0%	0.7%
	02	349,706	415,813	415,813	66,107	118.9%	100.0%	0.3%
地 方 消 費 税 交 付 金	03	5,180,378	5,692,072	5,692,072	511,694	109.9%	100.0%	5.4%
	02	4,880,915	5,164,806	5,164,806	283,891	105.8%	100.0%	4.1%
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	03	79,614	81,174	81,174	1,560	102.0%	100.0%	0.1%
	02	84,381	67,262	67,261	△ 17,120	79.7%	100.0%	0.1%
環 境 性 能 割 交 付 金	03	85,162	83,844	83,844	△ 1,318	98.5%	100.0%	0.1%
	02	103,996	67,933	67,933	△ 36,063	65.3%	100.0%	0.1%
地 方 特 例 交 付 金	03	771,604	772,204	772,204	600	100.1%	100.0%	0.7%
	02	322,402	322,402	322,402	0	100.0%	100.0%	0.2%
地 方 交 付 税	03	1	258,857	258,857	258,856	25885700.0%	100.0%	0.2%
	02	83,246	277,733	277,733	194,487	333.6%	100.0%	0.2%
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	03	30,391	30,810	30,810	419	101.4%	100.0%	0.1%
	02	32,073	31,433	31,433	△ 640	98.0%	100.0%	0.1%
分 担 金 及 び 負 担 金	03	1,115,121	1,122,404	1,058,145	△ 56,976	94.9%	94.3%	1.0%
	02	1,001,788	1,048,932	976,868	△ 24,920	97.5%	93.1%	0.8%
使 用 料 及 び 手 数 料	03	1,290,084	1,440,107	1,241,997	△ 48,087	96.3%	86.2%	1.2%
	02	1,341,291	1,419,904	1,217,489	△ 123,802	90.8%	85.7%	1.0%
国 庫 支 出 金	03	26,464,871	26,113,209	24,874,896	△ 1,589,975	94.0%	95.3%	23.5%
	02	42,340,605	41,358,066	40,427,385	△ 1,913,220	95.5%	97.7%	32.2%
県 支 出 金	03	7,774,218	6,558,925	6,533,568	△ 1,240,650	84.0%	99.6%	6.2%
	02	7,947,425	7,345,995	6,560,555	△ 1,386,870	82.5%	89.3%	5.2%
財 産 収 入	03	122,404	224,386	224,386	101,982	183.3%	100.0%	0.2%
	02	137,146	129,575	129,575	△ 7,571	94.5%	100.0%	0.1%
寄 附 金	03	393,437	236,142	236,142	△ 157,295	60.0%	100.0%	0.2%
	02	218,469	223,042	223,042	4,573	102.1%	100.0%	0.2%
繰 入 金	03	1,922,538	1,750,679	1,750,679	△ 171,859	91.1%	100.0%	1.7%
	02	7,762,498	7,697,625	7,697,625	△ 64,873	99.2%	100.0%	6.1%
繰 越 金	03	4,992,547	4,992,547	4,992,547	0	100.0%	100.0%	4.7%
	02	4,605,659	4,605,659	4,605,659	0	100.0%	100.0%	3.7%
諸 収 入	03	2,169,526	2,173,161	2,012,680	△ 156,846	92.8%	92.6%	1.9%
	02	2,037,818	1,932,252	1,775,891	△ 261,927	87.1%	91.9%	1.4%
市 債	03	8,493,808	5,707,407	5,707,407	△ 2,786,401	67.2%	100.0%	5.4%
	02	9,521,094	7,048,761	7,048,761	△ 2,472,333	74.0%	100.0%	5.6%
歳 入 合 計	03	109,920,670	108,577,577	105,651,615	△ 4,269,055	96.1%	97.3%	100.0%
	02	130,905,308	129,171,402	125,523,531	△ 5,381,777	95.9%	97.2%	100.0%

## 市 税 収 入 実 績 比 較 表

(単位:千円)

科 目	年 度	区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	徴 収 率
市 民 税	R03	現年課税分	21,787,425	22,353,335	22,185,136	701	167,995	99.2%
		滞納繰越分	181,302	612,456	201,393	51,157	359,956	32.9%
		計	21,968,727	22,965,791	22,386,529	51,858	527,951	97.5%
	R02	現年課税分	21,426,316	21,793,057	21,534,837	254	258,307	98.8%
		滞納繰越分	151,576	575,122	157,486	52,760	364,940	27.4%
		計	21,577,892	22,368,179	21,692,323	53,014	623,247	97.0%
固 定 資 産 税	R03	現年課税分	21,003,769	21,286,070	21,111,063	72	178,961	99.2%
		滞納繰越分	241,658	658,665	291,324	56,211	311,414	44.2%
		計	21,245,427	21,944,735	21,402,387	56,283	490,375	97.5%
	R02	現年課税分	21,272,813	21,648,773	21,358,740	168	290,440	98.7%
		滞納繰越分	209,286	638,304	233,997	35,901	368,455	36.7%
		計	21,482,099	22,287,077	21,592,737	36,069	658,895	96.9%
軽 自 動 車 税	R03	現年課税分	535,893	556,385	538,022	38	18,332	96.7%
		滞納繰越分	9,983	59,016	8,974	7,667	42,375	15.2%
		計	545,876	615,401	546,996	7,705	60,707	88.9%
	R02	現年課税分	513,805	529,267	511,594	72	17,613	96.7%
		滞納繰越分	10,397	58,366	10,085	6,063	42,218	17.3%
		計	524,202	587,633	521,679	6,135	59,831	88.8%
市 た ば こ 税	R03	現年課税分	1,549,199	1,576,492	1,576,492	0	0	100.0%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	0.0%
		計	1,549,199	1,576,492	1,576,492	0	0	100.0%
	R02	現年課税分	1,463,407	1,453,876	1,453,876	0	0	100.0%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	0.0%
		計	1,463,407	1,453,876	1,453,876	0	0	100.0%
入 湯 税	R03	現年課税分	2,100	2,288	2,288	0	0	100.0%
		滞納繰越分	1	4,267	3,281	0	986	76.9%
		計	2,101	6,555	5,569	0	986	85.0%
	R02	現年課税分	7,290	2,123	2,123	0	0	100.0%
		滞納繰越分	1	4,819	552	0	4,268	11.5%
		計	7,291	6,942	2,675	0	4,268	38.5%
都 市 計 画 税	R03	現年課税分	1,853,845	1,880,092	1,863,021	9	17,062	99.1%
		滞納繰越分	21,655	57,479	26,109	4,507	26,862	45.4%
		計	1,875,500	1,937,571	1,889,130	4,516	43,924	97.5%
	R02	現年課税分	1,864,244	1,896,525	1,870,362	20	26,144	98.6%
		滞納繰越分	20,605	56,278	21,949	2,967	31,364	39.0%
		計	1,884,849	1,952,803	1,892,311	2,987	57,508	96.9%
合 計	R03	現年課税分	46,732,231	47,654,662	47,276,022	820	382,350	99.2%
		滞納繰越分	454,599	1,391,883	531,081	119,542	741,593	38.2%
		計	47,186,830	49,046,545	47,807,103	120,362	1,123,943	97.5%
	R02	現年課税分	46,547,875	47,323,621	46,731,532	514	592,504	98.7%
		滞納繰越分	391,865	1,332,889	424,069	97,691	811,245	31.8%
		計	46,939,740	48,656,510	47,155,601	98,205	1,403,749	96.9%

※ 収入済額には、還付未済額 4,863,413円を含む。

内訳 現年課税分：市民税 496,279円、固定資産税 4,026,800円、軽自動車税 7,200円  
滞納繰越分：市民税 49,956円、固定資産税 283,178円

入湯税の充当可能事業の実施状況

(単位:千円)

区分	令和3年度 決算額	財 源 内 訳			一般財源	充当額	
		特 定 財 源					
		国県支出金	市債	その他			
環境衛生施設整備事業	10,778	0	0	0	10,778	189	
消防施設等整備事業	432,175	0	230,600	43,763	157,812	2,771	
観 光	振 興 事 業	92,468	121	0	7,375	84,972	1,492
	施 設 整 備 事 業	345,417	133,351	145,300	3,190	63,576	1,117
	計	437,885	133,472	145,300	10,565	148,548	2,609
計	880,838	133,472	375,900	54,328	317,138	5,569	

※入湯税の充当可能事業

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興(観光施設の整備を含む。)に要する費用に充てるものとする。(地方税法第701条)

都市計画税の充当可能事業の実施状況

(単位:千円)

区 分			令和3年度 決算額
都市計画事業費等	街 路		
	公 園		411,081
	下 水 道		2,142,953
	そ の 他		
	市街地開発事業		
	都市計画事業計	A	2,554,034
	土地区画整理事業	B	133,480
	地方債償還額	C	902,473
合計 ( A + B + C )	D	3,589,987	
Dの財源内訳	地 方 債	E	317,500
	国 県 支 出 金	F	362,849
	負 担 金 そ の 他	G	61,784
	都市計画税収入額	H	1,889,130
	一 般 財 源 等 D - ( E + F + G + H )	I	958,724
	合 計	J	3,589,987

※都市計画税の充当可能事業

都市計画税は、都市計画法に基づいて行う都市計画事業(下水道、公園など)又は土地区画整理法に基づいて行う土地区画整理事業に要する費用に充てるものとする。(地方税法第702条)

款 別 歳 出 内 訳

(単位:千円)

区 分	令和3年度 決算額	構成比 (%)	令和2年度 決算額	構成比 (%)	令和3年度と 令和2年度の 増減額	増減比 (%)
議会費	381,452	0.4	410,487	0.3	△ 29,035	△ 7.1
総務費	6,729,647	6.8	30,691,507	25.5	△ 23,961,860	△ 78.1
民生費	43,697,915	44.1	38,651,613	32.1	5,046,302	13.1
衛生費	7,388,806	7.5	5,465,054	4.5	1,923,752	35.2
労働費	55,826	0.1	38,638	0.1	17,188	44.5
農林水産業費	1,364,699	1.4	1,498,669	1.2	△ 133,970	△ 8.9
商工費	1,590,604	1.6	1,772,339	1.5	△ 181,735	△ 10.3
土木費	11,012,533	11.1	14,255,599	11.8	△ 3,243,066	△ 22.7
消防費	3,952,951	4.0	3,866,045	3.2	86,906	2.2
教育費	12,251,421	12.4	13,188,858	10.9	△ 937,437	△ 7.1
災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公債費	6,727,672	6.8	6,453,707	5.4	273,965	4.2
諸支出金	3,773,407	3.8	4,238,468	3.5	△ 465,061	△ 11.0
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	98,926,933	100.0	120,530,984	100.0	△ 21,604,051	△ 17.9

令和3年度 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入) 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 2,960,720千円

(歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 39,629,826千円

(単位:千円)

事業名	事業費	特 定 財 源			一 般 財 源		
		国 県 支 出 金	市 債	そ の 他	地方消費税交付金 (社会保障財源分)		
社会 福祉	障害者福祉事業	4,995,829	3,440,383	0	20,333	1,535,113	290,993
	高齢者福祉事業	307,309	54,008	13,400	3,828	236,073	44,749
	児童福祉事業	23,540,952	15,537,225	137,200	1,108,530	6,757,997	1,281,032
	生活保護扶助事業	2,302,370	1,671,611	0	55,590	575,169	109,028
	小計	31,146,460	20,703,227	150,600	1,188,281	9,104,352	1,725,802
社会 保険	介護保険事業	2,179,859	115,109	0	0	2,064,750	391,390
	国民健康保健事業	1,318,493	767,326	0	0	551,167	104,478
	小計	3,498,352	882,435	0	0	2,615,917	495,868
保健 衛生	高齢者医療事業	2,018,540	248,382	0	1,101	1,769,057	335,339
	医療福祉事業	1,664,294	626,180	0	109,016	929,098	176,118
	予防接種事業	715,683	12,257	0	0	703,426	133,340
	成人健診事業	252,069	19,511	0	12,147	220,411	41,780
	母子健診事業	334,428	26,529	0	31,083	276,816	52,473
	小計	4,985,014	932,859	0	153,347	3,898,808	739,050
合計	39,629,826	22,518,521	150,600	1,341,628	15,619,077	2,960,720	

※平成26年4月1日からの消費税率引上げに伴い、引上げ分の地方消費税収については、消費税法第1条第2項に規定する経費  
その他社会保障施策に要する経費に充てるものとする。(地方税法第72条の116第2項)

職 員 数 及 び 人 件 費 の 調

区 分	職 員 数 (人)					職員に要した 人件費(千円)
	一 般 職	単 労 職	教 育 職	医 療 職	計	
議 会 関 係	11 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	86,859
総 務 関 係	315 (12)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	319 (12)	3,145,696
税 務 関 係	65 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	65 (0)	509,784
民 生 関 係	522 (49)	12 (4)	0 (0)	44 (2)	578 (55)	4,444,497
衛 生 関 係	58 (2)	3 (1)	0 (0)	42 (1)	103 (4)	856,438
労 働 関 係	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	18,941
農 林 関 係	42 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (6)	307,433
商 工 関 係	45 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	45 (0)	356,225
土 木 関 係	127 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	127 (3)	1,207,556
消 防 関 係	334 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	334 (4)	3,002,940
教 育 関 係	92 (5)	19 (4)	91 (0)	8 (0)	210 (9)	1,765,156
合 計	1,613 (82)	36 (9)	91 (0)	96 (3)	1,836 (94)	15,701,525

※職員数は、令和3年4月1日現在

※職員数欄の( )内は、再任用職員数を内書き

地 方 債 借 入 先 別 現 在 高 と 償 還 状 況

(単位:千円)

借 入 先	令 和 2 年 度 末 現 在 高	令 和 3 年 度 発 行 額	令 和 3 年 度 償 還 額		令 和 3 年 度 末 現 在 高
			元 金	利 子	
財 政 融 資 資 金	18,967,246	1,249,300	2,341,124	75,480	17,875,422
旧 郵 政 公 社 資 金	1,964,758	0	463,371	7,109	1,501,387
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	10,011,117	2,123,100	1,217,438	51,741	10,916,779
ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険	879,930	0	103,460	17,632	776,470
市 中 銀 行	12,288,933	1,562,300	1,061,755	36,934	12,789,478
そ の 他 の 金 融 機 関	1,291,498	0	179,275	14,982	1,112,223
共 済 等	704,178	128,200	98,609	1,682	733,769
そ の 他	8,710,066	644,507	1,055,493	1,586	8,299,080
合 計	54,817,726	5,707,407	6,520,525	207,146	54,004,608

※財政融資資金には、旧資金運用部資金を含む。

※令和3年度発行額には、財政融資資金起債前貸等借入金を含む。

令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
				一般	89,713,000	3,832,947	16,374,723	109,920,670	108,577,577	105,651,614	96.1
01				市税	45,943,845		1,242,985	47,186,830	49,046,545	47,807,103	101.3
	01			市民税	21,075,785		892,942	21,968,727	22,965,791	22,386,529	101.9
		01		個人	18,113,245		291,114	18,404,359	19,019,897	18,480,749	100.4
			01	現年課税分	本年度 17,963,742 前年度 18,162,507 比較 △198,765		291,114	18,254,856 18,019,313	18,478,264 18,229,842	18,321,061 18,025,225	100.4 100.0
			02	滞納繰越分	本年度 149,503 前年度 143,160 比較 6,343			149,503 143,160	541,633 539,729	159,688 147,419	106.8 103.0
		02		法人	2,962,540		601,828	3,564,368	3,945,894	3,905,780	109.6
			01	現年課税分	本年度 2,930,741 前年度 3,407,003 比較 △476,262		601,828	3,532,569 3,407,003	3,875,071 3,563,214	3,864,074 3,509,612	109.4 103.0
			02	滞納繰越分	本年度 31,799 前年度 8,416 比較 23,383			31,799 8,416	70,823 35,393	41,705 10,067	131.2 119.6
02				固定資産税	20,901,333		344,094	21,245,427	21,944,736	21,402,388	100.7
	01			固定資産税	20,791,143		344,094	21,135,237	21,834,543	21,292,195	100.7
		01		現年課税分	本年度 20,549,485 前年度 21,040,137 比較 △490,652		344,094	20,893,579 21,159,170	21,175,878 21,533,618	21,000,871 21,243,585	100.5 100.4
			02	滞納繰越分	本年度 241,658 前年度 209,286 比較 32,372			241,658 209,286	658,665 638,305	291,324 233,997	120.6 111.8
		02		国有資産等所在市町村交付金	110,190			110,190	110,193	110,193	100.0
			01	現年課税分	本年度 110,190 前年度 113,643 比較 △3,453			110,190 113,643	110,193 115,155	110,193 115,155	100.0 101.3
03				軽自動車税	545,876			545,876	615,400	546,996	100.2
	01			環境性能割	19,086			19,086	18,142	18,142	95.1
		01		現年課税分	本年度 19,086 前年度 24,121 比較 △5,035			19,086 24,121	18,142 16,339	18,142 16,339	95.1 67.7
		02		種別割	526,790			526,790	597,258	528,854	100.4
			01	現年課税分	本年度 516,807 前年度 489,684 比較 27,123			516,807 489,684	538,243 512,928	519,880 495,255	100.6 101.1
			02	滞納繰越分	本年度 9,983 前年度 10,397 比較 △414			9,983 10,397	59,016 58,366	8,974 10,086	89.9 97.0
04				市たばこ税	1,549,199			1,549,199	1,576,492	1,576,492	101.8
	01			市たばこ税	1,549,199			1,549,199	1,576,492	1,576,492	101.8
		01		現年課税分	本年度 1,549,199 前年度 1,463,407 比較 85,792			1,549,199 1,463,407	1,576,492 1,453,876	1,576,492 1,453,876	101.8 99.3
								85,792	122,616	122,616	
05				入湯税	2,101			2,101	6,555	5,568	265.0
	01			入湯税	2,101			2,101	6,555	5,568	265.0
		01		現年課税分	本年度 2,100 前年度 7,290 比較 △5,190			2,100 7,290	2,287 2,123	2,287 2,123	108.9 29.1
			02	滞納繰越分	本年度 1 前年度 1 比較			1 1	4,268 4,819	3,281 551	328100.0 55100.0
								164	164		
								△551	2,730		
06				都市計画税	1,869,551		5,949	1,875,500	1,937,571	1,889,130	100.7
	01			都市計画税	1,869,551		5,949	1,875,500	1,937,571	1,889,130	100.7
		01		現年課税分	本年度 1,847,896 前年度 1,861,433 比較 △13,537		5,949	1,853,845 1,864,244	1,880,092 1,896,525	1,863,021 1,870,362	100.5 100.3
			02	滞納繰越分	本年度 21,655 前年度 20,605 比較 1,050			21,655 20,605	57,479 56,278	26,109 21,949	120.6 106.5
								1,050	1,201	4,160	
02				地方譲与税	920,322		332	920,654	974,466	974,466	105.8
	01			地方揮発油譲与税	214,608			214,608	246,145	246,145	114.7
		01		地方揮発油譲与税	214,608			214,608	246,145	246,145	114.7
			01	地方揮発油譲与税	本年度 214,608 前年度 255,678 比較 △41,070			214,608 218,278	246,145 235,050	246,145 235,050	114.7 107.7
								△37,400	11,095	11,095	
								37,400	△3,670		

令和3年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率			
02	02			自動車重量譲与税	682,150			682,150	703,765	703,765	103.2			
				01	自動車重量譲与税	682,150			682,150	703,765	703,765	103.2		
				01	自動車重量譲与税	本年度	682,150			682,150	703,765	703,765	103.2	
					前年度	652,120			652,120	683,858	683,858	104.9		
				比較	30,030			30,030	19,907	19,907				
	03				森林環境譲与税	23,564		332	23,896	24,556	24,556	102.8		
					01	森林環境譲与税	23,564		332	23,896	24,556	24,556	102.8	
					01	森林環境譲与税	本年度	23,564		332	23,896	24,556	24,556	102.8
						前年度	23,588			23,588	23,566	23,566	99.9	
				比較	△24		332	308	990	990				
03	01	01	01	利子割交付金	29,671			29,671	26,698	26,698	90.0			
				利子割交付金	29,671			29,671	26,698	26,698	90.0			
				利子割交付金	29,671			29,671	26,698	26,698	90.0			
				利子割交付金	本年度	29,671			29,671	26,698	26,698	90.0		
				前年度	39,244		△2,115	37,129	33,091	33,091	89.1			
				比較	△9,573		2,115	△7,458	△6,393	△6,393				
04	01	01	01	配当割交付金	165,645			165,645	256,780	256,780	155.0			
				配当割交付金	165,645			165,645	256,780	256,780	155.0			
				配当割交付金	165,645			165,645	256,780	256,780	155.0			
				配当割交付金	本年度	165,645			165,645	256,780	256,780	155.0		
				前年度	170,431			170,431	159,202	159,202	93.4			
				比較	△4,786			△4,786	97,578	97,578				
05	01	01	01	株式等譲渡所得割交付金	173,828			173,828	307,119	307,119	176.7			
				株式等譲渡所得割交付金	173,828			173,828	307,119	307,119	176.7			
				株式等譲渡所得割交付金	173,828			173,828	307,119	307,119	176.7			
				株式等譲渡所得割交付金	本年度	173,828			173,828	307,119	307,119	176.7		
				前年度	93,510			93,510	222,932	222,932	238.4			
				比較	80,318			80,318	84,187	84,187				
06	01	01	01	法人事業税交付金	558,338			558,338	728,041	728,041	130.4			
				法人事業税交付金	558,338			558,338	728,041	728,041	130.4			
				法人事業税交付金	558,338			558,338	728,041	728,041	130.4			
				法人事業税交付金	本年度	558,338			558,338	728,041	728,041	130.4		
				前年度	393,078		△43,372	349,706	415,813	415,813	118.9			
				比較	165,260		43,372	208,632	312,228	312,228				
07	01	01	01	地方消費税交付金	5,180,378			5,180,378	5,692,072	5,692,072	109.9			
				地方消費税交付金	5,180,378			5,180,378	5,692,072	5,692,072	109.9			
				地方消費税交付金	5,180,378			5,180,378	5,692,072	5,692,072	109.9			
				地方消費税交付金	本年度	5,180,378			5,180,378	5,692,072	5,692,072	109.9		
				前年度	5,209,581		△328,666	4,880,915	5,164,806	5,164,806	105.8			
				比較	△29,203		328,666	299,463	527,266	527,266				
08	01	01	01	ゴルフ場利用税交付金	52,421		27,193	79,614	81,174	81,174	102.0			
				ゴルフ場利用税交付金	52,421		27,193	79,614	81,174	81,174	102.0			
				ゴルフ場利用税交付金	52,421		27,193	79,614	81,174	81,174	102.0			
				ゴルフ場利用税交付金	本年度	52,421		27,193	79,614	81,174	81,174	102.0		
				前年度	84,381			84,381	67,261	67,261	79.7			
				比較	△31,960		27,193	△4,767	13,913	13,913				
09	01	01	01	環境性能割交付金	85,162			85,162	83,844	83,844	98.5			
				環境性能割交付金	85,162			85,162	83,844	83,844	98.5			
				環境性能割交付金	85,162			85,162	83,844	83,844	98.5			
				環境性能割交付金	本年度	85,162			85,162	83,844	83,844	98.5		
				前年度	103,996			103,996	67,933	67,933	65.3			
				比較	△18,834			△18,834	15,911	15,911				
10	01	01	01	地方特例交付金	1,301,831		△530,227	771,604	772,204	772,204	100.1			
				地方特例交付金	358,370		△27,993	330,377	330,377	330,377	100.0			
				地方特例交付金	358,370		△27,993	330,377	330,377	330,377	100.0			
				地方特例交付金	本年度	358,370		△27,993	330,377	330,377	330,377	100.0		
				前年度	297,437		24,965	322,402	322,402	322,402	100.0			
				比較	60,933		△52,958	7,975	7,975	7,975				
	02	01	01	01	新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	943,461		△502,234	441,227	441,827	441,827	100.1		
					新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	943,461		△502,234	441,227	441,827	441,827	100.1		
					新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	本年度	943,461		△502,234	441,227	441,827	441,827	100.1	
					前年度									
			比較	943,461		△502,234	441,227	441,827	441,827					



令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
11				地方交付税	1			1	258,857	258,857	25885700.0
	01			地方交付税	1			1	258,857	258,857	25885700.0
		01		地方交付税	1			1	258,857	258,857	25885700.0
			01	地方交付税	1			1	258,857	258,857	25885700.0
				本年度	1			1	258,857	258,857	25885700.0
				前年度	83,246			83,246	277,733	277,733	333.6
				比較	△83,245			△83,245	△18,876	△18,876	
12				交通安全対策特別交付金	30,391			30,391	30,810	30,810	101.4
	01			交通安全対策特別交付金	30,391			30,391	30,810	30,810	101.4
		01		交通安全対策特別交付金	30,391			30,391	30,810	30,810	101.4
			01	交通安全対策特別交付金	30,391			30,391	30,810	30,810	101.4
				本年度	30,391			30,391	30,810	30,810	101.4
				前年度	32,073			32,073	31,433	31,433	98.0
				比較	△1,682			△1,682	△623	△623	
13				分担金及び負担金	1,119,450		△4,329	1,115,121	1,122,404	1,058,145	94.9
	01			分担金	1			1			
		01		農林水産業費分担	1			1			
			01	農業費分担金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1			1			
				比較							
	02			負担金	1,119,449		△4,329	1,115,120	1,122,404	1,058,145	94.9
		01		民生費負担金	1,099,817		△4,329	1,095,488	1,102,689	1,038,429	94.8
			01	社会福祉費負担金	30,009			30,009	20,445	20,445	68.1
				本年度	30,009			30,009	20,445	20,445	68.1
				前年度	31,728			31,728	21,078	21,078	66.4
				比較	△1,719			△1,719	△633	△633	
			02	児童福祉費負担金	1,069,808		△4,329	1,065,479	1,082,244	1,017,984	95.5
				本年度	1,069,808		△4,329	1,065,479	1,082,244	1,017,984	95.5
				前年度	1,013,488		△63,167	950,321	1,008,979	936,916	98.6
				比較	56,320		58,838	115,158	73,265	81,068	
			02	衛生費負担金	2,468			2,468	2,552	2,552	103.4
				本年度	2,468			2,468	2,552	2,552	103.4
				前年度	2,440			2,440	1,572	1,572	64.4
				比較	28			28	980	980	
			03	土木費負担金	17,164			17,164	17,164	17,164	100.0
				本年度	17,164			17,164	17,164	17,164	100.0
				前年度	17,298			17,298	17,302	17,302	100.0
				比較	△134			△134	△138	△138	
			01	共同溝維持管理費負担金	17,164			17,164	17,164	17,164	100.0
				本年度	17,164			17,164	17,164	17,164	100.0
				前年度	17,298			17,298	17,302	17,302	100.0
				比較	△134			△134	△138	△138	
14				使用料及び手数料	1,294,877		△4,793	1,290,084	1,440,107	1,241,996	96.3
	01			使用料	685,459		△6,827	678,632	816,505	618,394	91.1
		01		総務使用料	50,428			50,428	51,137	51,137	101.4
				本年度	50,428			50,428	51,137	51,137	101.4
				前年度	2,604			2,604	1,402	1,402	53.8
				比較	△1,896			△1,896	△563	△563	
			02	行政財産使用料	47,824			47,824	49,735	49,735	104.0
				本年度	47,824			47,824	49,735	49,735	104.0
				前年度	47,082			47,082	48,520	48,520	103.1
				比較	742			742	1,215	1,215	
			02	民生使用料	31,235			31,235	22,617	22,617	72.4
				本年度	31,235			31,235	22,617	22,617	72.4
				前年度	541			541	250	250	46.2
				比較	△271			△271	20	20	28.3
			02	福祉支援センター使用料	442			442	183	183	41.4
				本年度	442			442	183	183	41.4
				前年度	506			506	161	161	31.8
				比較	△64			△64	22	22	
			03	地域交流センター使用料	19,655			19,655	14,214	14,214	72.3
				本年度	19,655			19,655	14,214	14,214	72.3
				前年度	21,992			21,992	12,591	12,591	57.3
				比較	△2,337			△2,337	1,623	1,623	
			04	市民ホール使用料	10,082			10,082	7,379	7,379	73.2
				本年度	10,082			10,082	7,379	7,379	73.2
				前年度	13,997			13,997	3,626	3,626	25.9
				比較	△3,915			△3,915	3,753	3,753	
			05	行政財産使用料	515			515	591	591	114.8
				本年度	515			515	591	591	114.8
				前年度	494			494	614	614	124.3
				比較	21			21	△23	△23	
			03	衛生使用料	62,251			62,251	57,710	57,710	92.7
				本年度	62,251			62,251	57,710	57,710	92.7
				前年度	478			478	435	435	91.0
				比較					134	134	63.0
			02	メモリアルホール使用料	59,400			59,400	54,919	54,919	92.5
				本年度	59,400			59,400	54,919	54,919	92.5
				前年度	61,896		△7,541	54,355	52,832	52,832	97.2
				比較	△2,496		7,541	5,045	2,087	2,087	

令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率					
14	01	03	03	行政財産使用料	本年度	2,373		2,373	2,356	2,356	99.3					
				前年度	2,622		2,622	2,608	2,608	99.5						
				比較	△249		△249	△252	△252							
	04	01	01	労働使用料	本年度	10		10	10	10	100.0					
				働く婦人の家使用料	本年度	10		10	10	10	100.0					
				前年度	10		10	10	10	100.0						
					比較											
					05	01	01	農林水産業使用料	本年度	39,142	△6,928	32,214	19,193	19,193	59.6	
								ゆかりの森施設使用料	本年度	20,836		20,836	8,250	8,250	39.6	
	前年度	21,952		21,952				5,339	5,339	24.3						
				比較	△1,116		△1,116	2,911	2,911							
				02	02	02	ふれあいの里施設使用料	本年度	18,238	△6,928	11,310	10,848	10,848	95.9		
							前年度	34,377		34,377	9,963	9,963	29.0			
比較	△16,139	△6,928	△23,067				885	885								
				行政財産使用料	本年度	68		68	96	96	141.2					
				前年度	68		68	105	105	154.4						
				比較				△9	△9							
06	01	01	01	商工使用料	本年度	69,200		69,200	61,151	61,151	88.4					
				筑波山駐車場使用料	本年度	43,325		43,325	37,244	37,244	86.0					
				前年度	45,775		45,775	35,712	35,712	78.0						
				比較	△2,450		△2,450	1,532	1,532							
				おもてなし館使用料	本年度	121		121	125	125	103.3					
					前年度	118		118	121	121	102.5					
					比較	3		3	4	4						
					03	03	03	産業振興センター使用料	本年度	14,238		14,238	15,896	15,896	111.6	
	前年度	13,014		13,014				10,763	10,664	81.9						
	比較	1,224		1,224				5,133	5,232							
				六斗の森施設使用料	本年度	11,273		11,273	7,656	7,656	67.9					
				前年度	9,217		9,217	4,798	4,798	52.1						
				比較	2,056		2,056	2,858	2,858							
				05	05	05	行政財産使用料	本年度	243		243	230	230	94.7		
							前年度	240		240	226	226	94.2			
比較	3		3				4	4								
07	01	01	01	土木使用料	本年度	409,734	101	409,835	582,045	383,934	93.7					
				公園使用料	本年度	51,016		51,016	48,954	48,651	95.4					
				前年度	50,930		50,930	49,020	49,020	96.2						
				比較	86		86	△66	△369							
								広場使用料	本年度	2,194		2,194	2,136	2,136	97.4	
								前年度	6,351		6,351	4,861	4,861	76.5		
								比較	△4,157		△4,157	△2,725	△2,725			
									駐車場使用料	本年度	73,643		73,643	51,541	51,541	70.0
									前年度	82,937		82,937	53,718	53,718	64.8	
					比較	△9,294		△9,294	△2,177	△2,177						
								駅前広場使用料	本年度	10,756		10,756	7,287	7,287	67.7	
								前年度	9,970		9,970	5,499	5,499	55.2		
				比較	786		786	1,788	1,788							
								市営住宅使用料	本年度	162,634		162,634	355,510	157,703	97.0	
								前年度	167,667		167,667	364,055	161,798	96.5		
				比較	△5,033		△5,033	△8,545	△4,095							
								道路占用使用料	本年度	107,000		107,000	114,822	114,822	107.3	
								前年度	105,000		105,000	112,001	111,949	106.6		
				比較	2,000		2,000	2,821	2,873							
								行政財産使用料	本年度	2,491	101	2,592	1,795	1,795	69.3	
								前年度	1,684		1,684	2,256	2,256	134.0		
				比較	807	101	908	△461	△461							
				08	01	01	消防使用料	本年度	128		128	131	131	102.3		
							行政財産使用料	本年度	128		128	131	131	102.3		
				前年度	128		1,517	1,645	1,801	1,801	109.5					
				比較			△1,517	△1,517	△1,670	△1,670						
				09	01	01	教育使用料	本年度	23,331		23,331	22,510	22,510	96.5		
幼稚園使用料	本年度	480					480	314	314	65.4						
前年度	480		480				470	470	97.9							
				比較				△156	△156							
								視聴覚使用料	本年度	2,245		2,245	2,424	2,424	108.0	
								前年度	2,259		1,591	1,411	1,411	88.7		
				比較	△14		668	654	1,013	1,013						

令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率					
14	01	09	03	体育館使用料	本年度	14,151			14,151	13,000	13,000	91.9				
				前年度	13,924			13,924	12,402	12,402	89.1					
				比較	227			227	598	598						
				04	テニスコート使用料	本年度	4,033			4,033	4,140	4,140	102.7			
					前年度	3,880			3,880	4,034	4,034	104.0				
					比較	153			153	106	106					
				05	野球場使用料	本年度	1,485			1,485	1,303	1,303	87.7			
					前年度	1,511			1,511	1,147	1,147	75.9				
			比較		△26			△26	156	156						
			06	ソフトボール場使用料	本年度	80			80	94	94	117.5				
				前年度	108			108	69	69	63.9					
				比較	△28			△28	25	25						
			07	サッカー場使用料	本年度	251			251	291	291	115.9				
				前年度	283			283	218	218	77.0					
				比較	△32			△32	73	73						
			08	行政財産使用料	本年度	606			606	944	944	155.8				
				前年度	783			783	1,161	1,161	148.3					
				比較	△177			△177	△217	△217						
			02	01	02	01	手数料		609,418		2,034	611,452	623,602	623,602	102.0	
							総務手数料		88,365		2,520	90,885	81,641	81,641	89.8	
							01	戸籍住民登録手数料	本年度	51,170		987	52,157	47,053	47,053	90.2
								前年度	49,363			49,363	47,364	47,364	96.0	
								比較	1,807		987	2,794	△311	△311		
							02	事務手数料	本年度	19,079		1,443	20,522	17,423	17,423	84.9
前年度	19,461								19,461	18,602	18,602	95.6				
比較	△382							1,443	1,061	△1,179	△1,179					
03	徴税手数料	本年度					16,601		90	16,691	15,601	15,601	93.5			
	前年度	21,320							21,320	18,877	18,877	88.5				
	比較	△4,719						90	△4,629	△3,276	△3,276					
04	自動車臨時運行許可手数料	本年度					1,515			1,515	1,564	1,564	103.2			
	前年度	1,710							1,710	1,509	1,509	88.2				
	比較	△195							△195	55	55					
02	01	民生手数料					民生手数料	本年度	320			320	115	115	35.9	
							前年度	320			320	245	245	76.6		
比較										△130	△130					
03	01	衛生手数料					衛生手数料		495,827			495,827	511,847	511,847	103.2	
							01	廃棄物処理手数料	本年度	489,948			489,948	505,445	505,445	103.2
								前年度	490,682		4,800	495,482	497,498	497,491	100.4	
								比較	△734		△4,800	△5,534	7,947	7,954		
							02	畜犬登録等事務手数料	本年度	5,802			5,802	6,245	6,245	107.6
								前年度	5,902			5,902	6,139	6,139	104.0	
比較	△100							△100	106	106						
03	塵芥処理手数料	本年度	77			77	157	157	203.9							
	前年度	77			77	280	280	363.6								
	比較					△123	△123									
04	01	農林水産業手数料	農林水産業手数料	本年度	12			12	20	20	166.7					
			前年度	12			12	16	16	133.3						
			比較					4	4							
05	01	商工手数料	商工手数料	本年度	150			150	256	256	170.7					
			前年度	150			150	193	193	128.7						
			比較					63	63							
06	01	土木手数料	土木手数料	本年度	23,126		△486	22,640	27,402	27,402	121.0					
			01	土木手数料	本年度	22,839		△486	22,353	27,151	27,151	121.5				
				前年度	24,767			24,767	21,838	21,838	88.2					
				比較	△1,928		△486	△2,414	5,313	5,313						
			02	駐車場手数料	本年度	287			287	252	252	87.8				
				前年度	403			403	145	145	36.0					
比較	△116				△116	107	107									
07	01	消防手数料	消防手数料	本年度	1,618			1,618	2,321	2,321	143.4					
			前年度	1,618			1,618	2,321	2,321	143.4						
			比較					2,589	2,589	131.4						
比較	△353			△353	△268	△268										

令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率	
15				国庫支出金	14,608,906	807,535	11,048,430	26,464,871	26,113,209	24,874,896	94.0	
	01			国庫負担金	11,288,239		2,650,241	13,938,480	13,913,430	13,913,430	99.8	
		01		民生費国庫負担金	11,284,107		622,540	11,906,647	11,882,037	11,882,037	99.8	
			01	心身障害者福祉費負担金	本年度 2,207,628		111,295	2,318,923	2,251,204	2,251,204	97.1	
				前年度 1,978,697		98,237	2,076,934	2,015,287	2,015,287	97.0		
				比較 228,931		13,058	241,989	235,917	235,917			
			02	児童福祉費負担金	本年度 3,994,814		387,671	4,382,485	4,430,511	4,430,511	101.1	
				前年度 3,369,370		297,852	3,667,222	3,128,076	3,128,076	85.3		
				比較 625,444		89,819	715,263	1,302,435	1,302,435			
			03	生活保護費負担金	本年度 1,629,637		50,570	1,680,207	1,681,969	1,681,969	100.1	
				前年度 1,589,263		99,720	1,688,983	1,683,174	1,683,174	99.7		
				比較 40,374		△49,150	△8,776	△1,205	△1,205			
			04	国民健康保険事業費負担金	本年度 190,305		6,137	196,442	196,442	196,442	100.0	
				前年度 190,129		5,718	195,847	195,848	195,848	100.0		
				比較 176		419	595	594	594			
			05	児童扶養手当負担金	本年度 221,683		8,926	230,609	232,012	232,012	100.6	
				前年度 224,927			224,927	222,843	222,843	99.1		
				比較 △3,244		8,926	5,682	9,169	9,169			
			06	児童手当負担金	本年度 2,965,296		55,802	3,021,098	3,014,594	3,014,594	99.8	
				前年度 2,970,767			2,970,767	2,987,866	2,987,866	100.6		
				比較 △5,471		55,802	50,331	26,728	26,728			
			07	介護保険事業費負担金	本年度 74,744		2,139	76,883	75,304	75,304	97.9	
				前年度 41,658		31,577	73,235	71,671	71,671	97.9		
				比較 33,086		△29,438	3,648	3,633	3,633			
		02		衛生費国庫負担金	4,132		2,027,701	2,031,833	2,030,179	2,030,179	99.9	
			01	衛生費負担金	本年度 4,132		2,027,701	2,031,833	2,030,179	2,030,179	99.9	
				前年度 4,326		273,240	277,566	3,894	3,894	1.4		
				比較 △194		1,754,461	1,754,267	2,026,285	2,026,285			
			03	消防費国庫負担金					1,214	1,214		
				01	消防費負担金	本年度				1,214	1,214	
				前年度								
				比較					1,214	1,214		
	02			国庫補助金	3,260,334	807,535	8,398,189	12,466,058	12,127,973	10,890,215	87.4	
		01		総務費国庫補助金	289,781	12,100	735,853	1,037,734	984,650	970,328	93.5	
			01	総務管理費補助金	本年度 248,703	12,100	△19,696	241,107	192,249	177,927	73.8	
				前年度 198,818		23,966,921	24,165,739	24,123,454	24,111,354	99.8		
				比較 49,885	12,100	△23,986,617	△23,924,632	△23,931,205	△23,933,427			
			02	地域活性化交付金	本年度 41,078			41,078	35,251	35,251	85.8	
				前年度 31,498			31,498	19,358	19,358	61.5		
				比較 9,580			9,580	15,893	15,893			
			03	地方創生臨時交付金	本年度		755,549	755,549	757,150	757,150	100.2	
				前年度			1,474,704	1,474,704	1,474,704	100.0		
				比較			△719,155	△719,155	△717,554	△717,554		
		02		民生費国庫補助金	1,171,974	7,730	7,008,853	8,188,557	7,675,491	7,392,333	90.3	
			01	社会福祉費補助金	本年度 94,295		2,541,582	2,635,877	2,224,073	2,224,073	84.4	
				前年度 85,676		△1,226	84,450	90,061	90,061	106.6		
				比較 8,619		2,542,808	2,551,427	2,134,012	2,134,012			
			02	児童福祉費補助金	本年度 1,073,438		4,451,465	5,524,903	5,421,683	5,151,304	93.2	
				前年度 1,729,760	151,650	873,049	2,754,459	2,601,707	2,601,707	94.5		
				比較 △656,322	△151,650	3,578,416	2,770,444	2,819,976	2,549,597			
			03	文化芸術振興費補助金	本年度 4,241		△1,952	2,289	4,248	4,248	185.6	
				前年度 4,770		△4,770						
				比較 △529		2,818	2,289	4,248	4,248			
			04	老人福祉費補助金	本年度	7,730	17,758	25,488	25,487	12,708	49.9	
				前年度			15,763	15,763	14,217	6,487	41.2	
				比較		7,730	1,995	9,725	11,270	6,221		
		03		衛生費国庫補助金	50,084	297,782	487,320	835,186	885,891	885,891	106.1	
			01	保健衛生費補助金	本年度 50,084	297,782	487,320	835,186	885,891	885,891	106.1	
				前年度 170,086	42,760	322,587	535,433	549,206	162,924	30.4		
				比較 △120,002	255,022	164,733	299,753	336,685	722,967			
		04		農林水産業費国庫補助金	1,280		△880	400	400	400	100.0	
			01	農業費補助金	本年度 1,280		△880	400	400	400	100.0	
				前年度 62,000	1,300		63,300	63,300	63,300	100.0		
				比較 △60,720	△1,300	△880	△62,900	△62,900	△62,900			
		05		商工費国庫補助金	104,710		△11,260	93,450	75,135	75,135	80.4	
			01	商工費補助金	本年度 104,710		△11,260	93,450	75,135	75,135	80.4	
				前年度								
				比較	104,710		△11,260	93,450	75,135	75,135		

令和3年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率	
15	02	06		土木費国庫補助金	836,648	384,675	△79,285	1,142,038	1,141,943	866,328	75.9	
			01	土木費補助金	327,690	42,196	△55,498	314,388	314,388	241,552	76.8	
				前年度	237,215	155,230	△86,133	306,312	306,312	264,116	86.2	
	比較	90,475		△113,034	30,635	8,076	8,076	△22,564				
	02	都市計画費補助金	226,610	175,951	△306	402,255	402,160	278,810	69.3			
		前年度	232,484	139,352	44,716	416,552	416,552	240,600	57.8			
		比較	△5,874	36,599	△45,022	△14,297	△14,392	38,210				
	03	住宅費補助金	282,348	166,528	△23,481	425,395	425,395	345,966	81.3			
		前年度	628,919	128,663	△342,401	415,181	415,039	248,511	59.9			
		比較	△346,571	37,865	318,920	10,214	10,356	97,455				
	07	01	消防費国庫補助金	5,486		△5,486						
			消防費補助金	5,486		△5,486						
			前年度	30,590		△5,486	25,104	25,104	25,104	100.0		
	08	01	教育費国庫補助金	800,371	105,248	263,074	1,168,693	1,364,463	699,800	59.9		
			小学校費補助金	588,038	21,486	112,376	721,900	856,394	462,378	64.1		
			前年度	172,766	187,326	50,786	410,878	455,601	420,866	102.4		
	02	中学校費補助金	194,157	78,886	128,986	402,029	458,499	214,205	53.3			
		前年度	8,684	113,963	93,036	215,683	231,319	132,548	61.5			
		比較	185,473	△35,077	35,950	186,346	227,180	81,657				
	03	社会教育費補助金	18,176		△2,689	15,487	15,281	15,281	98.7			
		前年度	178,826		△8,734	170,092	170,091	170,091	100.0			
		比較	△160,650		6,045	△154,605	△154,810	△154,810				
	04	05	保健体育費補助金	1,222		1,222	1,222	1,222	1,222	100.0		
			前年度			3,501	3,501	3,502	3,502	100.0		
			比較			△2,279	△2,279	△2,280	△2,280			
	05	×	幼稚園費補助金		4,876	23,179	28,055	33,067	6,714	23.9		
			前年度			12,876	12,876	14,363	7,976	61.9		
			比較		4,876	10,303	15,179	18,704	△1,262			
	03	01	委託金	60,333			60,333	71,806	71,251	118.1		
			総務費委託金	2,994			2,994	3,652	3,097	103.4		
			総務管理費委託金	2,994			2,994	3,652	3,097	103.4		
	02	01	民生費委託金	53,658			53,658	65,376	65,376	121.8		
			国民年金事務委託金	52,922			52,922	64,636	64,636	122.1		
前年度			50,910		△89	50,821	64,369	64,369	126.7			
02	02	児童福祉費委託金	736			736	740	740	100.5			
		前年度	715			715	715	715	100.0			
		比較	21			21	25	25				
03	01	土木費委託金	3,681			3,681	2,778	2,778	75.5			
		河川費委託金	3,681			3,681	2,778	2,778	75.5			
		前年度	3,651			3,651	2,518	2,518	69.0			
03	01	比較	30			30	260	260				
		民生費委託金	53,658			53,658	65,376	65,376	121.8			
		国民年金事務委託金	52,922			52,922	64,636	64,636	122.1			
02	02	児童福祉費委託金	736			736	740	740	100.5			
		前年度	715			715	715	715	100.0			
		比較	21			21	25	25				
16	01	01	県支出金	6,765,499	785,440	223,279	7,774,218	6,558,925	6,533,569	84.0		
			県負担金	4,412,815		95,983	4,508,798	4,284,619	4,284,619	95.0		
			民生費県負担金	4,390,749		106,303	4,497,052	4,273,252	4,273,252	95.0		
			01	01	社会福祉費負担金	1,009			1,009	842	842	83.4
					前年度	1,009			1,009	1,733	1,733	171.8
					比較					△891	△891	
			02	02	児童福祉費負担金	1,813,565		13,177	1,826,742	1,656,212	1,656,212	90.7
					前年度	1,759,767		△91,662	1,668,105	1,543,521	1,543,521	92.5
					比較	53,798		104,839	158,637	112,691	112,691	
			03	03	生活保護費負担金	26,250			26,250	26,845	26,845	102.3
					前年度	24,570			24,570	22,970	22,970	93.5
					比較	1,680			1,680	3,875	3,875	
			04	04	国民健康保険事業費負担金	550,296		20,586	570,882	570,883	570,883	100.0
					前年度	552,197		14,125	566,322	566,323	566,323	100.0
					比較	△1,901		6,461	4,560	4,560	4,560	
05	05	障害福祉費負担金	1,084,858		53,500	1,138,358	1,082,865	1,082,865	95.1			
		前年度	970,203		45,227	1,015,430	978,476	978,476	96.4			
		比較	114,655		8,273	122,928	104,389	104,389				

令和3年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率					
16	01	06		後期高齢者医療事業費負担金	本年度	242,138		5,978	248,116	248,116	248,116	100.0				
				前年度	201,642		41,799	243,441	243,441	243,441	100.0					
				比較	40,496		△35,821	4,675	4,675	4,675						
		07		児童手当負担金	本年度	635,261		11,993	647,254	649,836	649,836	649,836	100.4			
				前年度	635,586			635,586	638,948	638,948	100.5					
				比較	△325		11,993	11,668	10,888	10,888						
		08		介護保険事業費負担金	本年度	37,372		1,069	38,441	37,652	37,652	37,652	97.9			
				前年度	20,829		15,789	36,618	35,836	35,836	97.9					
				比較	16,543		△14,720	1,823	1,816	1,816						
	02	01		衛生費負担金	本年度	2,066			2,066	1,688	1,688	1,688	81.7			
				前年度	2,066			2,066	1,688	1,688	81.7					
				比較	△97			△97	325	325						
	03	01		教育費負担金	本年度	20,000		△10,320	9,680	9,680	9,680	9,680	100.0			
				前年度	20,000		△10,320	9,680	9,680	9,680	100.0					
				比較	20,000		△10,320	9,680	9,680	9,680						
	02			県補助金		1,741,082	785,440	174,326	2,700,848	1,715,867	1,690,511	62.6				
				01	総務費県補助金		30,251		△19,489	10,762	10,926	10,926	101.5			
				01	01	統計調査費補助金	本年度	44			44	56	56	127.3		
							前年度	55			55	60	60	109.1		
							比較	△11			△11	△4	△4			
				02		総務管理費補助金	本年度	30,207		△19,489	10,718	10,870	10,870	101.4		
前年度							5,999			5,999	495	495	8.3			
比較							24,208		△19,489	4,719	10,375	10,375				
02						民生費県補助金		1,244,798		274,397	1,519,195	1,352,519	1,352,519	89.0		
						01	社会福祉費補助金	本年度	37,221		△451	36,770	36,664	36,664	99.7	
								前年度	35,347		△780	34,567	37,473	37,473	108.4	
								比較	1,874		329	2,203	△809	△809		
						02	老人福祉費補助金	本年度	5,291		36,195	41,486	41,029	41,029	98.9	
								前年度	62,087	304,640	42,325	409,052	406,973	406,973	99.5	
								比較	△56,796	△304,640	△6,130	△367,566	△365,944	△365,944		
						03		心身障害者福祉費補助金	本年度	2,210			2,210	2,060	2,060	93.2
									前年度	1,929		252	2,181	2,110	2,110	96.7
						比較	281		△252	29	△50	△50				
04					医療福祉費補助金	本年度	609,989		58,535	668,524	626,180	626,180	93.7			
						前年度	639,386			639,386	546,595	546,595	85.5			
比較				△29,397		58,535	29,138	79,585	79,585							
05		児童福祉費補助金	本年度	590,087		178,618	768,705	645,087	645,087	83.9						
			前年度	503,664	5,630	271,918	781,212	541,879	541,879	69.4						
			比較	86,423	△5,630	△93,300	△12,507	103,208	103,208							
07		防犯対策費補助金	本年度			1,500	1,500	1,500	1,500	100.0						
			前年度													
比較			1,500	1,500	1,500	1,500										
03	01		保健衛生費補助金	本年度	37,606		△1,900	35,706	33,951	33,951	95.1					
			前年度	44,239			44,239	30,066	30,066	68.0						
			比較	△6,633		△1,900	△8,533	3,885	3,885							
04	01		農林水産業費県補助金		332,756	785,440	△84,413	1,033,783	235,958	210,602	20.4					
			農業費補助金	本年度	309,870	785,440	△75,181	1,020,129	223,654	198,298	19.4					
				前年度	1,105,612	56,262	△69,029	1,092,845	1,027,896	242,456	22.2					
				比較	△795,742	729,178	△6,152	△72,716	△804,242	△44,158						
			02		畜産業費補助金	本年度	486			486	306	306	63.0			
						前年度	33		480	513	466	466	90.8			
			比較	453		△480	△27	△160	△160							
03		林業費補助金	本年度	22,400		△9,232	13,168	11,998	11,998	91.1						
			前年度	24,850		△13,187	11,663	9,682	9,682	83.0						
比較	△2,450		3,955	1,505	2,316	2,316										
05	01		商工費県補助金	本年度	71,879		181	72,060	62,560	62,560	86.8					
			前年度	71,879		181	72,060	62,560	62,560	86.8						
			比較	11,675		165,492	177,167	175,092	175,092	98.8						
比較	60,204		△165,311	△105,107	△112,532	△112,532										
06	01		土木費県補助金	本年度	7,000		6,540	13,540	13,743	13,743	101.5					
			前年度	7,000		6,540	13,540	13,743	13,743	101.5						
			比較	7,000		6,540	7,000	8,218	8,218	117.4						
比較			6,540	6,540	5,525	5,525										

令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率	
×	×	×	×	住宅費補助金	本年度							
				前年度	225		△225					
				比較	△225		225					
			07	教育費県補助金	16,301		△990	15,311	5,683	5,683	37.1	
			01	小学校費補助金	本年度	526		526	347	347	66.0	
		前年度			661		661	368	368	55.7		
		比較			△135		△135	△21	△21			
			02	中学校費補助金	本年度	8,944		8,944	1,228	1,228	13.7	
		前年度			7,312		7,312	1,315	1,315	18.0		
		比較			1,632		1,632	△87	△87			
			03	社会教育費補助金	本年度	6,831		5,841	4,108	4,108	70.3	
		前年度			8,213		7,538	4,303	4,303	57.1		
		比較			△1,382		△315	△195	△195			
			08	消防費県補助金	491			491	528	528	107.5	
			01	消防費補助金	本年度	491		491	528	528	107.5	
		前年度			14,374		14,374	12,870	12,870	89.5		
		比較			△13,883		△13,883	△12,342	△12,342			
			03	委託金	611,602		△47,030	564,572	558,438	558,438	98.9	
			01	総務費委託金	本年度	602,989		555,959	549,486	549,486	98.8	
					01	総務管理費委託金	本年度	18,656		18,656	11,505	11,505
					前年度	18,569		18,569	18,657	18,657	100.5	
					比較	87		87	△7,152	△7,152		
			02	徴税费委託金	本年度	392,131		392,131	398,404	398,404	101.6	
		前年度			384,341		384,341	385,912	385,912	100.4		
		比較			7,790		7,790	12,492	12,492			
			03	戸籍住民登録費委託金	本年度	215		215	210	210	97.7	
		前年度			219		219	236	236	107.8		
		比較			△4		△4	△26	△26			
			04	選挙費委託金	本年度	182,362		135,332	130,304	130,304	96.3	
		前年度			100		100	402	402	402.0		
		比較			182,262		△47,030	135,232	129,902	129,902		
			05	統計調査費委託金	本年度	9,625		9,625	9,063	9,063	94.2	
		前年度			106,154		106,154	93,463	93,463	88.0		
		比較			△96,529		△96,529	△84,400	△84,400			
			02	民生費委託金	8,464			8,464	8,801	8,801	104.0	
			01	社会福祉費委託金	本年度	4		4				
					前年度	4		4				
					比較							
			02	心身障害者福祉費委託金	本年度	8,460		8,460	8,800	8,800	104.0	
		前年度			8,880		8,880	8,560	8,560	96.4		
		比較			△420		△420	240	240			
			03	児童福祉費委託金	本年度				1	1		
					前年度	2		2	2	2	100.0	
					比較	△2		△2	△1	△1		
			×	災害救助費委託金	本年度				202	202		
					前年度							
					比較				△202	△202		
			03	商工費委託金	118			118	121	121	102.5	
			01	商工費委託金	本年度	118		118	121	121	102.5	
					前年度	118		118	59	59	50.0	
					比較				62	62		
			04	教育費委託金	31			31	31	31	100.0	
			01	教育費委託金	本年度	31		31	31	31	100.0	
					前年度	30		30	30	30	100.0	
					比較	1		1	1	1		
			17	財産収入	122,550		△146	122,404	224,386	224,386	183.3	
			01	財産運用収入	71,660		△146	71,514	76,343	76,343	106.8	
					01	財産貸付収入	69,703		69,703	75,081	75,081	107.7
					本年度	69,703		69,703	75,081	75,081	107.7	
					前年度	70,496		70,496	65,240	65,240	92.5	
					比較	△793		△793	9,841	9,841		
			02	利子及び配当金	本年度	1,957		1,811	1,261	1,261	69.6	
					前年度	1,957		1,811	1,261	1,261	69.6	
					比較	1,630		620	2,250	2,247	2,247	99.9
					比較	327		△766	△439	△986	△986	

令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
17	02			財産売払収入	50,890			50,890	148,044	148,044	290.9
		01		不動産売払収入	1,001			1,001	15,426	15,426	1541.1
			01	土地売払収入	1,001			1,001	15,426	15,426	1541.1
					前年度	1,001		1,001	3,348	3,348	334.5
					比較				12,078	12,078	
		02		物品売払収入	49,889			49,889	132,618	132,618	265.8
			01	物品売払収入	49,889			49,889	132,618	132,618	265.8
					前年度	63,399		63,399	58,739	58,739	92.6
					比較	△13,510		△13,510	73,879	73,879	
18				寄附金	140,705		252,732	393,437	236,142	236,142	60.0
	01			寄附金	140,705		252,732	393,437	236,142	236,142	60.0
		01		一般寄附金	1			1			
			01	一般寄附金	1			1			
					前年度	1	14,800	14,801	14,800	14,800	100.0
					比較		△14,800	△14,800	△14,800	△14,800	
		02		アイラブつくばまちづくり寄附金	132,104		236,132	368,236	210,848	210,848	57.3
			01	アイラブつくばまちづくり寄附金	132,104		236,132	368,236	210,848	210,848	57.3
					前年度	102,984	84,816	187,800	192,763	192,763	102.6
					比較	29,120	151,316	180,436	18,085	18,085	
		03		つくばこどもの青い羽根寄附金	8,600		5,500	14,100	14,193	14,193	100.7
			01	つくばこどもの青い羽根寄附金	8,600		5,500	14,100	14,193	14,193	100.7
					前年度	8,600	7,268	15,868	15,479	15,479	97.5
					比較		△1,768	△1,768	△1,286	△1,286	
		05		企業版ふるさと納税寄附金			11,100	11,100	11,100	11,100	100.0
			01	企業版ふるさと納税寄附金			11,100	11,100	11,100	11,100	100.0
					前年度						
					比較		11,100	11,100	11,100	11,100	
19				繰入金	1,377,870	50,000	494,668	1,922,538	1,750,679	1,750,679	91.1
	01			基金繰入金	1,377,867	50,000	382,398	1,810,265	1,638,406	1,638,406	90.5
		01		基金繰入金	1,377,867	50,000	382,398	1,810,265	1,638,406	1,638,406	90.5
			01	基金繰入金	1,377,867	50,000	382,398	1,810,265	1,638,406	1,638,406	90.5
					前年度	1,055,171	6,371,784	7,426,955	7,362,083	7,362,083	99.1
					比較	322,696	50,000	△5,989,386	△5,616,690	△5,723,677	△5,723,677
		02		特別会計繰入金	3		112,270	112,273	112,272	112,272	100.0
			01	国民健康保険特別会計繰入金	1		16,772	16,773	16,772	16,772	100.0
				国民健康保険特別会計繰入金	1		16,772	16,773	16,772	16,772	100.0
					前年度	1	281,270	281,271	281,271	281,271	100.0
					比較		△264,498	△264,498	△264,499	△264,499	
		02		後期高齢者医療特別会計繰入金	1		4,616	4,617	4,617	4,617	100.0
			01	後期高齢者医療特別会計繰入金	1		4,616	4,617	4,617	4,617	100.0
					前年度	1	8,641	8,642	8,642	8,642	100.0
					比較		△4,025	△4,025	△4,025	△4,025	
		03		介護保険事業特別会計繰入金	1		90,882	90,883	90,883	90,883	100.0
			01	介護保険事業特別会計繰入金	1		90,882	90,883	90,883	90,883	100.0
					前年度	1	45,629	45,630	45,629	45,629	100.0
					比較		45,253	45,253	45,254	45,254	
20				繰越金	1,500,000	625,967	2,866,580	4,992,547	4,992,547	4,992,547	100.0
	01			繰越金	1,500,000	625,967	2,866,580	4,992,547	4,992,547	4,992,547	100.0
		01		繰越金	1,500,000	625,967	2,866,580	4,992,547	4,992,547	4,992,547	100.0
			01	繰越金	1,500,000	625,967	2,866,580	4,992,547	4,992,547	4,992,547	100.0
					前年度	1,500,000	897,631	2,208,028	4,605,659	4,605,659	100.0
					比較		△271,664	658,552	386,888	386,888	
21				諸収入	2,204,610	30,305	△65,389	2,169,526	2,173,161	2,012,680	92.8
	01			延滞金, 加算金及び過料	50,904			50,904	107,434	107,434	211.1
		01		延滞金	50,899			50,899	107,434	107,434	211.1
			01	延滞金	50,899			50,899	107,434	107,434	211.1
					前年度	59,199		59,199	72,601	72,601	122.6
					比較	△8,300		△8,300	34,833	34,833	
		02		加算金及び過料	5			5			
			01	加算金及び過料	5			5			
					前年度	5		5	8		
					比較				△8		
	02			市預金利子	120			120	432	432	360.0
		01		市預金利子	120			120	432	432	360.0
			01	市預金利子	120			120	432	432	360.0
					前年度	288		288	428	428	148.6
					比較	△168		△168	4	4	



令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
21	03			貸付金元利収入	63,582			63,582	89,734	62,872	98.9
		01		民生費貸付金元利収入	4,582			4,582	30,733	3,872	84.5
			01	住宅新築資金等貸付金元利収入	540			540	26,507	510	94.4
				前年度	488			488	26,619	568	116.4
				比較	52			52	△112	△58	
			02	災害援護資金貸付金元利収入	4,042			4,042	4,226	3,362	83.2
				前年度	3,876			3,876	3,701	3,134	80.9
				比較	166			166	525	228	
		02		商工費貸付金元利収入	59,000			59,000	59,000	59,000	100.0
			01	自治金融預託金元利収入	59,000			59,000	59,000	59,000	100.0
				前年度	54,000			54,000	54,000	54,000	100.0
				比較	5,000			5,000	5,000	5,000	
	04			受託事業収入	209,937	30,305	△137,146	103,096	100,090	95,680	92.8
		01		受託事業収入	209,937	30,305	△137,146	103,096	100,090	95,680	92.8
			01	後期高齢者医療制度健診実施受託事業収入	48,556			48,556	41,310	41,310	85.1
				前年度	43,447		△10,670	32,777	29,818	29,818	91.0
				比較	5,109		10,670	15,779	11,492	11,492	
			02	県給食受託事業収入	23,015			23,015	22,839	22,839	99.2
				前年度	18,791			18,791	19,092	19,092	101.6
				比較	4,224			4,224	3,747	3,747	
			03	学びの広場サポートプラン事業受託事業収入	2,311		△2,311				
				前年度	2,301		△2,151	150	150	150	100.0
				比較	10		△160	△150	△150	△150	
			04	流域貯留浸透施設整備受託事業収入	136,055	30,305	△136,055	30,305	27,653	27,653	91.2
				前年度	75,974		△14,695	61,279	38,524	38,524	62.9
				比較	60,081	30,305	△121,360	△30,974	△10,871	△10,871	
			05	スマートIC用地事務受託事業収入					1,617	1,617	
				前年度	6,226			6,226	6,365	6,365	102.2
				比較	△6,226			△6,226	△4,748	△4,748	
			07	オリンピック・パラリンピック教育推進事業受託事業収入			450	450	385	385	85.6
				前年度			750	750	576	576	76.8
				比較			△300	△300	△191	△191	
			10	働き方改革実践モデル校事業受託事業収入			770	770	466	466	60.5
				前年度							
				比較			770	770	466	466	
			11	国道354号谷田部バイパス用地事務受託事業収入					5,820	1,410	
				前年度							
				比較					5,820	1,410	
		×		スクールライフサポーター配置事業受託事業収入							
				前年度			312	312	312	312	100.0
				比較			△312	△312	△312	△312	
	05			雑入	1,880,067		71,757	1,951,824	1,875,472	1,746,262	89.5
		01		雑入	1,880,067		71,757	1,951,824	1,875,472	1,746,262	89.5
			01	総務費雑入	72,897			72,897	72,305	68,915	94.5
				前年度	74,736		△248	74,488	74,445	73,258	98.3
				比較	△1,839		248	△1,591	△2,140	△4,343	
			02	民生費雑入	217,492		38,232	255,724	387,026	288,824	112.9
				前年度	205,790		△3,748	202,042	326,259	218,422	108.1
				比較	11,702		41,980	53,682	60,767	70,402	
			03	衛生費雑入	212,233		8,997	221,230	221,605	220,782	99.8
				前年度	214,100		△250	213,850	204,932	204,465	95.6
				比較	△1,867		9,247	7,380	16,673	16,317	
			04	労働費雑入	131			131	104	104	79.4
				前年度	195			195	98	98	50.3
				比較	△64			△64	6	6	
			05	農林水産業費雑入	15,231			15,231	12,167	12,167	79.9
				前年度	12,036		5,558	17,594	14,358	14,358	81.6
				比較	3,195		△5,558	△2,363	△2,191	△2,191	
			06	商工費雑入	4,220		16,203	20,423	20,993	20,991	102.8
				前年度	6,186		△1,550	4,636	3,661	3,661	79.0
				比較	△1,966		17,753	15,787	17,332	17,330	
			07	土木費雑入	4,715			4,715	8,215	8,215	174.2
				前年度	1,686			1,686	3,537	3,537	209.8
				比較	3,029			3,029	4,678	4,678	
			08	消防費雑入	42,302		9,605	51,907	38,979	38,947	75.0
				前年度	42,717			42,717	37,816	37,816	88.5
				比較	△415		9,605	9,190	1,163	1,131	

令和3年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
21	05	01	09	教育費雑入	本年度	97,381		△1,280	96,101	90,195	90,143	93.8
				前年度	92,321		△33,257	59,064	52,852	52,851	89.5	
				比較	5,060		31,977	37,037	37,343	37,292		
				10	学校給食費	本年度	1,213,465			1,213,465	1,023,882	997,175
前年度	1,183,405			1,183,405	962,100	941,856	79.6					
比較	30,060			30,060	61,782	55,319						
22	01	01	市債		6,136,700	1,533,700	823,408	8,493,808	5,707,407	5,707,407	67.2	
			市債		6,136,700	1,533,700	823,408	8,493,808	5,707,407	5,707,407	67.2	
			01	民生債		283,100		77,000	360,100	235,200	235,200	65.3
			01	社会福祉事業債	本年度	281,400		77,000	358,400	235,200	235,200	65.6
			前年度	182,500	13,300	△1,600	194,200	189,100	189,100	97.4		
			比較	98,900	△13,300	78,600	164,200	46,100	46,100			
			02	災害救助事業債	本年度	1,700			1,700			
			前年度	1,700			1,700					
			比較									
			02	衛生債		465,300	33,700	△28,000	471,000	437,000	437,000	92.8
			01	メモリアルホール事業債	本年度	11,200			11,200	9,900	9,900	88.4
			前年度	13,200		△13,200						
			比較	△2,000		13,200	11,200	9,900	9,900			
			02	水道事業債	本年度	454,100	33,700	△28,000	459,800	427,100	427,100	92.9
			前年度	392,000		△8,000	384,000	348,000	348,000	90.6		
			比較	62,100	33,700	△20,000	75,800	79,100	79,100			
			×	環境衛生事業債	本年度							
			前年度	38,900		10,000	48,900	48,900	48,900	100.0		
			比較	△38,900		△10,000	△48,900	△48,900	△48,900			
			×	廃棄物処理事業債	本年度							
			前年度		29,700		29,700	29,700	29,700	100.0		
			比較		△29,700		△29,700	△29,700	△29,700			
			03	労働債		17,500			17,500	16,000	16,000	91.4
			01	働く婦人の家事業債	本年度	17,500			17,500	16,000	16,000	91.4
			前年度									
			比較	17,500			17,500	16,000	16,000			
			04	農林水産業債		21,700			21,700	11,200	11,200	51.6
			01	農林水産業債	本年度	21,700			21,700	11,200	11,200	51.6
			前年度	16,500	1,100	△4,100	13,500	8,600	8,600	63.7		
			比較	5,200	△1,100	4,100	8,200	2,600	2,600			
			05	商工債		279,900	35,500		315,400	255,900	255,900	81.1
			01	商工業振興債	本年度	151,700			151,700	110,600	110,600	72.9
			前年度	63,100		△5,200	57,900	57,900	57,900	100.0		
			比較	88,600		5,200	93,800	52,700	52,700			
			02	観光債	本年度	128,200	35,500		163,700	145,300	145,300	88.8
			前年度	74,100		8,200	82,300	38,500	38,500	46.8		
			比較	54,100	35,500	△8,200	81,400	106,800	106,800			
			06	土木債		1,765,600	809,900	△120,500	2,455,000	1,711,600	1,711,600	69.7
			01	道路事業債	本年度	989,700	283,500	△34,800	1,238,400	792,400	792,400	64.0
			前年度	1,154,500	481,700	△296,000	1,340,200	997,600	997,600	74.4		
			比較	△164,800	△198,200	261,200	△101,800	△205,200	△205,200			
			02	都市計画事業債	本年度	516,100	479,900	△48,400	947,600	657,300	657,300	69.4
前年度	943,600	407,400	△144,900	1,206,100	690,500	690,500	57.3					
比較	△427,500	72,500	96,500	△258,500	△33,200	△33,200						
03	住宅事業債	本年度	200,400		△28,600	171,800	171,500	171,500	99.8			
前年度	160,100		△54,400	105,700	105,600	105,600	99.9					
比較	40,300		25,800	66,100	65,900	65,900						
04	河川事業債	本年度	59,400	46,500	△8,700	97,200	90,400	90,400	93.0			
前年度	101,600	38,200	△36,700	103,100	48,400	48,400	46.9					
比較	△42,200	8,300	28,000	△5,900	42,000	42,000						
07	消防債		397,400		△11,600	385,800	282,800	282,800	73.3			
01	消防債	本年度	397,400		△11,600	385,800	282,800	282,800	73.3			
前年度	219,300		△10,500	208,800	200,000	200,000	95.8					
比較	178,100		△1,100	177,000	82,800	82,800						
08	教育債		2,906,200	654,600	906,508	4,467,308	2,757,707	2,757,707	61.7			
01	学校建設事業債	本年度	2,270,900	654,600	921,008	3,846,508	2,136,907	2,136,907	55.6			
前年度	1,918,258	681,000	1,538,684	4,137,942	3,065,942	3,065,942	74.1					
比較	352,642	△26,400	△617,676	△291,434	△929,035	△929,035						
02	社会教育事業債	本年度	457,200		△5,300	451,900	451,900	451,900	100.0			
前年度	33,400		△700	32,700	32,700	32,700	100.0					
比較	423,800		△4,600	419,200	419,200	419,200						

令和3年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
22	01	08	03	保健体育事業債	本年度	178,100		△9,200	168,900	168,900	168,900	100.0	
				前年度	144,800		723,952	868,752	867,651	867,651	99.9		
				比較	33,300		△733,152	△699,852	△698,751	△698,751			
				×	減収補てん債								
				×	減収補てん債	本年度							
					前年度			705,600	705,600	319,668	319,668	45.3	
		比較			△705,600	△705,600	△319,668	△319,668					

事業名：議員報酬等に要する経費

議会事務局 議会総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	01	本年	256,926		△ 792		256,134		254,413	99.3
				前年	259,974		△ 2,052		257,922		257,261	99.7
				比較	△ 3,048		1,260		△ 1,788		△ 2,848	-
【参考】前々年度				260,422		△ 65		260,357		259,509	99.7	
節別支出済額(単位:千円)												
報酬		151,788	職員手当等		48,730	共済費		51,167	旅費		2,728	
概要及び成果												
<p>1 議員報酬支払・厚生等事務            議員(28名)の報酬及び期末手当の支払手続(報酬：毎月(21日)、期末手当：6月、12月)            議会招集時(定例会、臨時会、各委員会)の費用弁償の支払手続            議長等の秘書的業務            議員共済会への一時金・遺族年金請求            支出に関する事務、会派に関する事務及び議員履歴の整理等</p> <p>【成果】            毎月の議員報酬、期末手当6、12月分、本会議・常任委員会・議会運営委員会・特別委員会等の費用弁償の支払業務を行った。議長等の秘書的業務(197件)、遺族年金の請求・権利の消滅等事務(6件)、議員報酬及び費用弁償等の支払事務は適正に行われ、行事予定表による業務管理により、議長公務は滞りなく業務が遂行できた。</p>												

事業名：議会運営に要する経費

議会事務局 議会総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
01	01	01	11	本年	56,355		△ 11,630		44,725		40,179	89.8	
				前年	75,773		△ 9,109		66,664		55,434	83.2	
				比較	△ 19,418		△ 2,521		△ 21,939		△ 15,255	-	
【参考】前々年度					47,033		△ 4,135		42,898		36,210	84.4	
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				29	交際費		150	需用費		7,037	役務費		473
委託料				17,644	使用料及び賃借料		4,317	備品購入費		110	負担金補助及び交付金		10,418
概要及び成果													
<p>1 本議会・委員会等運営管理事務                      定例会、臨時会、各委員会の開催、運営を行う。                      議案、請願等の審査及び議会全般の調査、執行部との調整を行う。                      各委員会の研修等の計画、調整を行う。                      タブレット端末の使用により、ペーパーレス化及び情報伝達の迅速化を図る。</p> <p>【成果】                      令和3年度は、定例会4回（会期120日、会議日数21日）、臨時会3回、常任委員会93回（うち理事会16回、分科会42回）、議会運営委員会33回、特別委員会14回、全員協議会5回、広報広聴委員会16回及び会派代表者会議11回を行った。一般質問及び議案質疑並びに委員会の事務調査を通じて、執行機関に対する監視及び議案等の審議を行い、より良い地域振興と市民福祉の向上が図れた。</p>													
<p>2 議会会議録作成管理事務                      3月、6月、9月、12月の定例会、臨時会、各常任委員会、議会運営委員会、各特別委員会等の会議経過を詳しく記録した会議録の作成                      会議録の議会ホームページ等での公表                      H21年4月から情報収集を瞬時にすることができる会議録検索システムを本稼働させている。</p> <p>【成果】                      今年開催の会議のうち、定例会4回、臨時会3回、常任委員会86回（うち理事会14回、分科会37回）、議会運営委員会32回、特別委員会17回、全員協議会8回及び広報広聴委員会18回分の会議録を作成し、HPで公開した。また、会議録について、中央図書館での閲覧用配布、市政情報コーナーへの配置及びHP上での検索環境構築を通じて、会議公開の原則に基づく議会運営へ寄与することができた。</p>													
<p>3 資料収集及び調査事務                      議員からの依頼に基づき、市執行部に対し行政資料の要求を行う。                      他市へ先進事例の資料を請求して情報収集する。                      全国市議会議長会、茨城県市議会議長会、茨城県市町村課、他市及び関係研究機関等からの調査に回答し、その結果を収集することで、他市の状況を把握し、本市の参考とする。</p> <p>【成果】                      議員からの行政資料要求50件、茨城県及び県内市町村からの調査21件、県外市町村からの調査14件、その他研究所及び各種団体等からの調査6件について回答を行った。また、本市から県内外55市に調査を依頼し、回答を得た。他市の情報を収集することで、議会運営の参考となり、議会活性化を図ることができた。また、各種照会を通じて他市町村等と情報をやり取りすることで、他自治体の状況が把握できた。</p>													
<p>4 政務活動費事務                      各会派に構成人数分（議員1人当たり月額3万円）の政務活動費を年2回に分け支給する。                      支給された政務活動費が適正に使用されているかを収支報告書、実績報告書により確認をする。</p> <p>【成果】                      4月には12会派、10月には10会派に構成人数分の政務活動費を支給した。4月上旬の一部会派変更に伴い5月に支給額を変更した。また、12会派の前年度分及び令和3年4月の一部会派変更で解散した会派分の政務活動費が適正に使用されているか、収支報告書、実績報告書により確認した。先例事例の調査研究等により、議員個人の資質向上が図られ、ひいては市民の福祉向上につながった。                      令和3年度 支出額8,921千円／予算額10,080千円</p>													

- 5 資産等報告書関連事務  
政治倫理条例に基づく、議員の資産等報告書届出の受付及び市長への報告  
資産等報告書の閲覧告示及び政治倫理審査会意見書の閲覧を告示

**【成果】**

議員28名から資産等報告書の提出を受け、書類の不備等を確認し政治倫理審査会にて審査を受けた。審査終了後、資産等報告書及び政治倫理審査会意見書の閲覧を告示し閲覧に供した。つくば市議会議員の倫理性の向上と透明性の確保が図られた。

- 6 議会だより発行事業  
年5回市議会だよりを発行し、ポスティングにより市内全世帯に配布する。（音訳・点訳含む）

**【成果】**

審議内容及び議決結果等をまとめた議会だよりを配布し、議会活動の周知を図り、市政運営の透明性に寄与することができた。166号（5月号・3月定例会）99,926部/102,000部、167号（8月号・6月定例会）100,820部/103,000部、168号（11月号・9月定例会）101,115部/103,200部、169号（新年号）101,250部/103,400部、170号（2月号・12月定例会）101,291部/103,400部。配布先は市内全世帯、各窓口センター等。

- 7 議会インターネット中継事業  
本会議の審議状況をインターネットにより生中継及び録画映像を配信する。  
機器の設置、保守及び配信用ホームページの作成を行う。

**【成果】**

本会議を生中継することで、会議の様子を迅速に公表することができた。また、録画映像を配信することで、後日も議会を視聴することができた。年度内の4回の定例会（6月・9月・12月・3月）、3回の臨時会において実施した。生中継閲覧9,772件。録画配信閲覧22,491件。

インターネット配信アクセス数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
生中継アクセス数	件	9,772	9,399	7,615	6,903	7,725
録画配信アクセス数	件	22,491	20,978	23,571	18,105	26,387

事業名：文書管理に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	14,732				14,732		13,679	92.9
				前年	17,168		714	△ 256	17,626		16,287	92.4
				比較	△ 2,436		△ 714	256	△ 2,894		△ 2,608	-
【参考】前々年度					16,770		△ 2,022	△ 481	14,267		12,251	85.9

節別支出済額(単位:千円)

報償費	90	旅費	46	需用費	2,638	役務費	1,089
委託料	9,745	備品購入費	71				

概要及び成果

1 歴史公文書評価選別

歴史公文書評価選別基準（平成30年度策定）に基づく評価選別を実施し、特定歴史公文書として市長へ移管する。また、職員に対し歴史公文書評価選別に関する研修を実施する。

【成果】

歴史公文書評価選別基準に関する研修を行うことにより、職員が共通の理解のもと、歴史公文書評価選別を実施することができ、意思決定に至る過程や事務及び事業の実績の記録を残すことができた。

2 文書事務の指導及び改善

文書事務が適切かつ効率的に遂行できるよう、職員に対して必要な指導及び助言を行う。また、文書管理に関する研修を幅広く実施する。

【成果】

研修動画を活用した文書管理主任研修や文書取扱研修（職層ごと）を実施し、文書管理に関する知識を周知することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新任職員研修	人	62	70	92	154	86
文書管理主任研修	人	53	60	71	208	78
文書取扱研修	人	173	212	260	180	-

※文書管理主任研修：平成30年度は、公文書管理指針の運用を開始したため、対象者を「未受講者」から「文書管理主任全員」へ変更したことにより受講者増。令和元年度以降は従来通り未受講者のみ。

※文書取扱研修は、職層ごと（主事級・主任級・主査級・係長級）に実施。

3 公文書等の管理

公文書等の整理、保管、保存、引継ぎ及び廃棄を行う。

【成果】

公文書等の管理を適正に行うことにより、引継、廃棄を円滑に行えた。

各課等の保存文書を取りまとめ引継文書として外部倉庫へ搬入し、保存期間が満了した文書を廃棄した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
引継文書	箱数	1,939	2,319	1,963	1,400	1,417
廃棄文書	箱数	2,180	1,636	1,609	1,269	1,252

※令和元年度の委託開始に伴い、出先機関の文書も外部倉庫への引継ぎ対象としたため、件数増加

※令和4年3月31日現在の保存文書箱数 14,327箱

※令和3年度の廃棄文書の箱数は、これまで外部倉庫から廃棄していた分に加え、庁舎から直接搬出して廃棄した分も追加したため、廃棄文書の箱数が増加

4 ファイリング維持管理実地指導の実施

文書ファイリングの維持管理の状況を現地で確認し、指導する。

【成果】

各課等（出先機関を含む。）に対し、文書ファイリング維持管理指導を実施し、適正な管理を図ることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実地指導の実施課等数	課	12	11	12	12	12

事業名：通信運搬に要する経費

総務部 すぐ対応室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	12	本年	13,721		702		14,423		13,070	90.6
				前年	14,837		1,964	△ 61	16,740		15,487	92.5
				比較	△ 1,116		△ 1,262	61	△ 2,317		△ 2,417	-
【参考】前々年度					15,145				15,145		14,426	95.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	57	役務費	13,013
-----	----	-----	--------

概要及び成果

1 文書等の收受

市へ届いた郵便物及びメール便を到達日で適正に收受し、本庁舎文書集配室内各部ボックスへ配布する。

【成果】

郵送により市に到着した文書の收受及び各課への仕分け、書留等の收受及び配布等が適正に対応できた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
書留	件	9,747	10,632	13,034	12,402	14,326
金券(定額小為替等)	件	12	52	145	199	235
受領文書	通	305,230	373,381	336,280	288,950	320,657

2 文書の集配

本庁舎と各窓口センターとの間を1日1回巡回し、文書集配を行う。

【成果】

各窓口センターを巡回し、集配業務の実施（毎日）

3 郵便料金（後納料金）の管理

予算を保有する課へ支出伝票の作成を依頼する。

【成果】

- (1) すぐ対応室で一括予算計上することにより、支出集計時間の短縮を図った。
- (2) 郵便区内特別の割引制度を利用し、経費削減に努めた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
すぐ対応室(通数)	通	25,889	46,616	28,342	26,879	29,832
すぐ対応室(割引額)	円	284,779	512,776	323,812	268,790	298,320
全体(通数)	通	83,482	105,161	68,289	74,926	97,141
全体(割引額)	円	918,302	1,156,771	780,886	749,260	971,410



事業名：法制・法務に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	13	本年	3,656				3,656		3,574	97.8
				前年	4,631		△ 1,003		3,628		3,450	95.1
				比較	△ 975		1,003		28		124	-
【参考】前々年度					7,204				7,204		7,063	98.0

節別支出済額(単位:千円)

旅費	12	需用費	260	役務費	412	委託料	1,452
使用料及び賃借料	1,363	備品購入費	11	負担金補助及び交付金	64		

概要及び成果

1 法令審査事務

条例、規則、告示、訓令等の制定改廃に係る審査並びに指導及び助言を行う。

【成果】

政策の実現に資するための条例、規則等を審査することができた。

法令審査の件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
条例	件	65	66	85	52	45
規則	件	120	115	140	80	113
告示	件	66	47	54	34	45
訓令	件	36	39	60	51	37
基準等	件	32	18	72	6	22
合計	件	319	285	411	223	262

\* 告示については、要綱に限る。

2 訴訟等に係る事務処理

訴訟、不服申立て等の事務遂行をして適時・適宜な攻撃防御に資するため、担当部署への助言や担当部署と弁護士との協議等の調整に関する事務を行う。

市長及び各行政委員会等に対する審査請求に係る審査庁業務を行う。

【成果】

争訟事案について、政策法務監及び顧問弁護士と連携しながら、担当部署に法的な助言を行うことにより、市側の主張を的確に述べることに寄与することができた。

審査庁業務について、公平公正な立場から裁決することができた。

訴訟の係属件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
民事訴訟	件	2	1	1	1	0
行政訴訟	件	1	1	0	1	1
住民訴訟	件	2	0	0	0	0

審査請求件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
審査請求	件	8	5	1	-	-

3 つくば市例規集の編集

イントラネット版（庁内職員用）及びインターネット版（つくば市ホームページ用）の電子データを更新する。

【成果】

遅滞なく電子データを更新し、市民の利便性を高めることができた。

つくば市例規集の加除

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
加除例規数	件	253	341	240	279	183

4 公告式の手続  
公告式掲示場へ掲示することにより条例等の公布等を行う。

【成果】  
施行に合わせ掲示し、市民に周知することができた。

つくば市公告式掲示場への掲示

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
掲示件数	件	1,099	1,020	1,255	1,658	1,599

令和3年度の内訳

- 条例 51件    ○訓令 14件
- 規則 90件    ○外部からの掲示依頼 85件
- 告示 859件

5 顧問弁護士への法律相談  
担当部署からの相談を受け、法的な課題解決に向けて、顧問弁護士からの適切な助言を受ける。

【成果】  
顧問弁護士へ適宜相談を行うことで、高度な判断を要する案件について適切な助言を受けることができた。

顧問弁護士への法律相談

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相談件数	件	19	13	10	20	9

事業名：総合賠償保険に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	14	本年	4,539				4,539		4,498	99.1
				前年	4,477		△ 6		4,471		4,415	98.7
				比較	62		6		68		83	-
【参考】前々年度					4,359				4,359		4,302	98.7

節別支出済額(単位:千円)

役務費 4,498

概要及び成果

1 市民総合賠償補償に関する事業  
・賠償責任保険  
市が、自らの所有又は管理する施設の瑕疵や業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合にその損害をてん補する。  
・補償保険  
市主催行事等での事故で入通院した場合、賠償責任の有無に関係なく見舞金をてん補する。  
※保険料は、市の人口によって決定（3月1日時点の住民基本台帳データ）

【成果】  
保険に加入することで、市の施設の瑕疵による事故や、市主催行事等の参加者のけがに対し、賠償又は補償する制度を整えることができた。

支払実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
賠償責任保険 件数	件	2	0	2	6	5
賠償責任保険 金額	円	228,200	0	572,196	950,056	1,311,570
補償保険 件数	件	2	1	1	2	4
補償保険 金額	円	35,000	5,000	5,000	35,000	75,000
合計件数	件	4	1	3	8	9
合計金額	円	263,200	5,000	577,196	985,056	1,386,570

事業名：総務事務に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	15	本年	514		2,496	90	3,100		2,937	94.7
				前年	1,160		△ 820	1,846	2,186	1,578	72.2	
				比較	△ 646		3,316	△ 1,756	914	1,359	-	
【参考】前々年度				449			104	553		252	45.6	
節別支出済額(単位:千円)												
		報酬	48	旅費	28	需用費	23	役務費	26			
		委託料	2,640	使用料及び賃借料	33	負担金補助及び交付金	38	償還金利息及び割引料	100			
概要及び成果												
<p>1 議会における執行部調整事業 つくば市議会定例会、臨時会及び全員協議会での日程調整 提出案件の取りまとめ 一般質問等の調整など市議会における執行部局の総合調整</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス拡大防止の観点から議案書や答弁書の庁内情報共有をデータで行う等積極的にペーパーレス化を推進し、各担当課の議案等に関するコストの削減につなげた。</li> <li>・定例会4回開催、臨時会3回開催</li> </ul>												
<p>2 総務に関する事業 組織及び事務分掌の総合調整、部長・次長等連絡会議、行政不服審査会、総合教育会議、適正な事務執行の推進及び事務執行の是正措置等に関すること</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部へのヒアリングや情報分析を通し、限られた人員を効率的に配置し、市の施策の実行に適した組織改編を行うことができた。</li> <li>・不適正事案等の再発防止策及び是正措置に関する実施要領の運用により、適正な事務執行を推進することができた。</li> <li>・手続のデジタル化のため、押印見直しの基準を定め、行政手続・内部手続において求めている押印の廃止を進めた。</li> <li>・行政不服審査会を2回開催し、答申を公表することができた。</li> <li>・総合教育会議8回開催</li> <li>・次長等連絡会議8回開催（部局間の協力要請、事業結果の報告、全庁的な政策課題の議論等）</li> </ul>												

事業名：情報公開等に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	16	本年	791		△ 350		441		284	64.5
				前年	1,311		△ 503		808		596	73.8
				比較	△ 520		153		△ 367		△ 312	-
【参考】前々年度				863				863		614	71.1	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	80	旅費	23	需用費	17	委託料	132
負担金補助及び交付金	33						

概要及び成果

- 1 情報公開・個人情報保護事務  
 開示請求等受付  
 請求受付により担当課と協議、開示時の立会い  
 情報公開・個人情報保護制度等の研修、個人情報ファイル簿の登録及びホームページへの掲載  
 つくば市情報公開・個人情報保護審査会に関する事務

【成果】

情報公開を行うことにより、行政運営の透明性の向上に資することができた。

(1) 情報公開請求書の受付件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
請求書受付件数	件	138	118	85	148	123

(2) 情報公開請求に対する処理内容及び件数※1

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開示	件	95	94	77	105	152
部分開示	件	83	39	31	60	68
不開示	件	20	48	32	94	90
合計	件	198	181	140	259	310

(3) 個人情報開示請求書の受付件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
請求書受付件数	件	35	25	46	22	33

(4) 個人情報開示請求に対する処理内容及び件数※1

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開示	件	17	12	34	15	16
部分開示	件	15	5	4	5	12
不開示	件	2	12	15	4	7
合計	件	34	29	53	24	35

(5) 情報公開・個人情報保護審査会※2

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
審査会の開催回数	回	2	5	5	1	1

※1 受付件数と処理件数が一致しないのは、1件の請求書に対し、複数の決定処理を行うことがあるため。

※2 令和3年度開催案件 特定個人情報保護評価(PIA)の第三者点検 2回

事業名：公平委員会共同設置に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	17	本年	561				561		561	99.9
				前年	564		213		777		776	99.8
				比較	△ 3		△ 213		△ 216		△ 215	-
【参考】前々年度					544				544		544	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					561							
概要及び成果												
<p>1 つくば市等公平委員会共同設置負担金 地方公務員法第7条第4項の規定によりつくば市、かすみがうら市及びつくばみらい市で共同設置している公平委員会に負担金を支出する。</p> <p>【成果】 負担金の支出により、つくば市等公平委員会の運営に寄与することができた。 負担金：職員数×300円（職員数割額）+10,000円（均等割額） 均等割額 1団体：10,000円 職員数割額 各団体職員数×300円</p>												

事業名：すぐ対応室に要する経費

総務部 すぐ対応室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	18	本年	6,267				6,267		5,311	84.8
				前年	6,305		△ 57	1,217	7,465		7,465	100.0
				比較	△ 38		57	△ 1,217	△ 1,198		△ 2,154	-
【参考】前々年度					7,055		△ 1,822		5,233		5,161	98.6
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					126	委託料		5,050	備品購入費		136	
概要及び成果												
<p>1 ハチ駆除業務委託事業 市民からのハチの営巣の駆除依頼に対し、ハチ駆除業者に委託し駆除を行う。</p> <p>【成果】 依頼を受けたスズメバチ等の営巣を駆除することにより、市民の安心安全（アナフィラキシーショックの防止等）を確保し、生活環境の向上に寄与した。</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
ハチ営巣駆除件数					件	550	835	499	438	969		

事業名：政治倫理審査会に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	19	本年	350				350		130	37.1
				前年	280				280		140	50.0
				比較	70				70		△ 10	-
【参考】前々年度					356				356		174	48.8
節別支出済額(単位:千円)												
報酬				104	旅費		26					
概要及び成果												
<p>1 政治倫理審査会の運営事務                      条例に基づく資産等報告書の審査、市民からの調査請求に係る調査等を行う政治倫理審査会の運営事務を行う。</p> <p>【成果】                      政治倫理審査会を運営することにより、公正で開かれた市政の発展に寄与することができた。                      (1) 会議の開催：政治倫理審査会（委員7名）を2回開催                      (2) 資産等報告書の審査件数：議会議員28件 市長1件 副市長1件 教育長1件 計31件                      (3) 市長等の資産等報告書の閲覧件数：0件</p>												

事業名：教育特区に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	20	本年	210		△ 140		70		4	5.6
				前年	241		△ 151		90		4	4.4
				比較	△ 31		11		△ 20			-
【参考】前々年度					2,229			9	2,238		1,694	75.7
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				4								
概要及び成果												
<p>1 教育特区認可学校に関する事務（旧：私学振興に関する事務）                      令和元年度末で閉校した松実高等学校（構造改革特別区域法により規制の特例措置の適用を受けた学校設置会社による私立学校）に関する証明書（卒業証明書、成績証明書、単位修得証明書等）の発行を行う。</p> <p>【成果】                      証明書発行マニュアルにのっとり、適切に各種証明書を発行することができた。                      証明書16件発行（証明書発行事務は令和2年度から市が行っている。）</p>												

## 事業名：職員研修に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	11	本年	26,038		△ 2,776		23,262		22,061	94.8
				前年	26,696		△ 5,275	△ 3,586	17,835	14,123	79.2	
				比較	△ 658		2,499	3,586	5,427	7,938	-	
【参考】前々年度				20,120				20,120		14,976	74.4	

## 節別支出済額(単位:千円)

報償費	89	旅費	1,771	需用費	755	役務費	3,780
委託料	11,093	使用料及び賃借料	26	負担金補助及び交付金	4,548		

## 概要及び成果

## 1 職員研修事業

多様化する行政課題に対して、自ら考え、創意工夫しながら主体的に行動する職員を育成するため、必要な知識や技能を習得させるとともに、各自の能力開発のための自己啓発を支援する。

## 【成果】

新型コロナウイルス感染症対策のため、集合型研修の見送り等の制限があったが、オンライン研修やテキスト配布型の研修などの手法を活用し、職員の研修機会を確保することができた。また、オンライン研修の実施により、職員のWEB会議ツールの対応能力が向上した。

## (1) 基本研修（職層ごとに共通した知識及び技能の習得） 9 課程 ※1

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
修了人数	人	374	409	497	631	541
修了率	%	98.7	100	91.0	98.6	95.6

## (2) 特別研修（特定の課題を解決するために必要な知識及び技能の習得） 5 課程 ※2

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
修了人数	人	649	264	1,376	2,428	2,231
修了率	%	99.2	98.9	94.7	93.8	95.5

## (3) 専門研修（専門的な知識及び技能の習得） 4 課程 ※2

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
修了人数	人	542	58	1,110	1,349	357
修了率	%	93.8	100	93.4	94.1	95.7

## (4) 派遣研修（国等への長期派遣、外部セミナー等短期派遣等） 8 課程 ※3

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
修了人数	人	74	25	52	69	70
修了率	%	96.1	100	100	100	100

## (5) 自己啓発支援（通信教育受講支援、資格取得支援） ※4

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
修了人数	人	15	9	14	16	28
修了率	%	100	100	100	100	100

※1 人事評価の評価項目で比重の高い項目の能力と意識を向上させるための科目を学ぶことで、各職層に求められる能力の育成を図るもの。

※2 感染症の影響による研修方法の見直し等に伴って、修了人数が過年度水準と比較し減少。

※3 国等派遣先は、文部科学省、一般財団法人地方自治研究機構等。外部セミナー派遣先は茨城県自治研修所等。

※4 令和3年度の支援実績は、資格取得支援14件、通信教育受講支援1件。

事業名：給与事務・福利厚生に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	01	02	12	本年	48,743			919	49,662		48,823	98.3														
				前年	48,897		△ 1,681	690	47,906		47,437	99.0														
				比較	△ 154		1,681	229	1,756		1,386	-														
【参考】前々年度					296,919				296,919		277,839	93.6														
節別支出済額(単位:千円)																										
旅費				3	需用費		756	役務費		16	委託料		45,639													
負担金補助及び交付金					2,408																					
概要及び成果																										
<p>1 職員の給与・福利厚生事務                      例月給与、期末・勤勉手当、児童手当及び給与の引き上げに伴う差額の支給、社会保険料等の各種控除事務、年末調整、マイナンバーの収集・保管・管理及び福利厚生に関する事務の外部委託を導入。平成30年10月に委託契約を締結し、平成31年1月から本稼働。</p> <p>【成果】                      給与、厚生各事務について、委託業者との連携のもと、事業計画のとおり遅滞なく実施できた。</p> <p>社会保険・雇用保険の資格取得及び喪失の処理件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処理件数</td> <td>件</td> <td>862</td> <td>1,096</td> <td>934</td> <td>1,083</td> <td>1,120</td> </tr> </tbody> </table> <p>・社会保険は常時勤務の4分の3以上（週29時間以上）、雇用保険は週20時間以上勤務する会計年度任用職員が対象。</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	処理件数	件	862	1,096	934	1,083	1,120
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
処理件数	件	862	1,096	934	1,083	1,120																				



事業名：人事管理に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	13	本年	12,427		1,430	△ 919	12,938	110	10,868	84.9
				前年	12,670		△ 1,557	151	11,264	10,296	91.4	
				比較	△ 243		2,987	△ 1,070	1,674	110	572	-
【参考】前々年度					63,856				63,856		50,202	78.6

節別支出済額(単位:千円)

報酬	176	報償費	40	旅費	48	需用費	331
役務費	281	委託料	9,923	使用料及び賃借料	26	負担金補助及び交付金	43

概要及び成果

1 職員採用試験事業

事務職のみならず、専門職等の即戦力となる人材及び次世代のつくば市を担う人材を採用する。優秀な人材を採用するため、選考を段階に分けて実施する。

- 例) (1) 1次試験 基礎能力試験等  
(2) 2次試験 集団面接等  
(3) 最終試験 個別面談

【成果】

新型コロナウイルス感染症への対策のため、web試験等を新たに導入し、受験機会損失回避、受験者層新規開拓を行うことができた。また、他の競合自治体の試験日に日程を合わせることにより、選考中、選考後の辞退を減らすことができた。4月及び10月の定期的な採用の他に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による経済対策としての任期付職員採用、障害者採用（3回）、窓口業務に従事する任期付職員、経験者消防士等の採用・選考を行った。

職員の採用試験

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
4月1日採用試験 採用者	人	70	55	60	84	95
4月1日採用試験 応募者	人	663	1,677	1,300	1,097	1,148
10月1日採用試験 採用者	人	19	20	8	53	46
10月1日採用試験 応募者	人	256	371	156	830	852
その他の採用試験・選考等 採用者	人	41	9	13	5	1
その他の採用試験・選考等 応募者	人	167	128	26	50	1

「その他の採用試験・選考等」は、任期付職員や障害者採用等の、定例ではないものである

2 人事制度に関する事務

国家公務員における人事制度の取組及び地方公務員法の趣旨に基づき、人事に関する諸制度の検討・運用を行い、適切な人事管理を行う。

【成果】

人事異動については、定期異動以外に、新型コロナウイルス感染症等への対応として、感染症対策室、新型コロナウイルスワクチン接種対策室、非課税世帯等給付金室への人員配置を行った。人事交流については、国、県、外郭団体等へ14人の派遣を行い、国、県教育委員会、外郭団体等から、16人の研修員等の受入れを行った。人事評価については、令和2年度と比較し、課長補佐以下の職員で上位以上の層が約1.1%上昇した。会計年度任用職員制度については、休暇の適切な付与、国の非常勤職員に合わせた産前産後休暇の有給化などを行った。職員の休暇制度としては、不妊治療に係る通院など国家公務員と同様の休暇の拡充に加え、LGBTQ+に対応した各種休暇の見直し、創設を行った。

職員数（4月1日時点）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
職員数(フルタイム)	人	1,937	1,936	1,926	1,861	1,755

人事評価結果

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
課長級以上 特に優秀	%	2.8	8.8	12.9	4.7	2.7
課長級以上 優秀	%	31.9	27.7	22.1	17.4	17.4
課長級以上 普通	%	65.3	62.8	65.0	77.2	79.2
課長級以上 劣る	%	-	0.7	-	0.7	0.7
課長級以上 特に劣る	%	-	-	-	-	-
課長補佐以下 特に優秀	%	0.5	0.6	0.3	0.2	-
課長補佐以下 優秀	%	20.3	19.0	16.0	14.7	14.8
課長補佐以下 普通	%	77.9	79.1	81.1	81.4	84.1
課長補佐以下 劣る	%	1.2	1.2	2.6	3.3	1.1
課長補佐以下 特に劣る	%	0.1	0.1	-	0.4	-

事業名：ワークライフバランス推進に要する経費 総務部 ワークライフバランス推進課/政策イノベーション部 情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	14	本年	27,461		826	2,871	31,158		26,653	85.5
				前年	27,136		5,844		32,980		26,717	81.0
				比較	325		△ 5,018	2,871	△ 1,822		△ 64	-
【参考】前々年度				1,347		1,231		2,578		2,022	78.4	

## 節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,550	報償費	286	旅費	149	需用費	155
役務費	2,805	委託料	11,392	使用料及び賃借料	7,446	備品購入費	771
負担金補助及び交付金	99						

## 概要及び成果

## 1 職員の労働安全衛生事務

職員の健康管理と心の健康作りを保持推進する。

## 【成果】

- ・労働安全衛生法に定められた定期健康診断を実施した。(令和3年12月、令和4年1月)  
健康診断の結果、所見がある職員については、産業医や保健師による定期的な体調管理を行った。
- ・ストレスチェックは、受検者が自らのストレスの状況を気づく機会を与え、メンタルヘルス不調の一次予防につなげた。また、高ストレス者のうち面談希望者には、産業医面談を実施し、高ストレス者に対するフォローを行った。

## 健康診断の受診状況(正職員)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受診率	%	98.3	98.2	96.9	98.5	98.8
未受診者数	人	27	30	40	29	21

## 健康診断の受診状況(非正職員) 常時勤務の4分の3以上勤務する会計年度任用職員

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受診人数	人	656	594	532	523	527

## ストレスチェックの実施

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	2,663	2,602	2,582	2,528	2,433
受検者数	人	2,326	2,443	2,366	2,437	2,300
受検率	%	87.3	93.9	92.0	96.4	94.5
高ストレス者率	%	12.3	12.2	11.0	9.6	11.0

※上記の人数は、正職員と会計年度任用職員の合計

## 2 働き方改革推進事業

働きやすい職場環境等の整備や働き方の見直しに重点をおき、職員の意識改革、時間外勤務の縮減、業務改善活動等に取り組む。

## 【成果】

- ・ICTを活用した業務改善は、RPA/AI-OCRの導入39部署、AI議事録の実施件数(実証含む)300件超、DBソフト支援5部署、表計算ソフト支援5部署
- ・テレワークを実施するにあたり、閉域SIMを用いた端末50台と自治体テレワークシステムアカウント205アカウントの運用
- ・ワークライフバランス推進強化月間の設定(令和3年10月)
- ・職場復帰面談シートを活用し、育児休業から復帰する職員と所属長の面談を実施するよう周知
- ・産前休暇・子の看護休暇等の制度改正、介護のための制度や利用例について周知
- ・年度中に子どもが生まれる男性職員とその所属長に対し、個別説明を随時実施し、育児休業取得を推奨

## 時間外勤務実施状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
総時間数	時間	144,937	141,525	154,778	152,575	153,906

年次休暇の取得状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
平均取得日数	日	14.6	13.6	13.8	13.6	13.4

ノー残業デー達成状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
達成率	%	89.2	90.0	92.2	93.6	93.1

男性職員の育児休業取得状況（2週間以上の育休取得者）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	48	47	31	38	32
取得者数	人	43	35	13	11	4
取得率	%	89.6	74.5	41.9	28.9	12.5

出産補助休暇取得状況（男性職員のみ対象。2日間の特別休暇）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	48	47	31	38	31
取得者数	人	36	44	26	33	26
取得率	%	75.0	93.6	83.9	86.8	83.9

育児のための休暇取得状況（男性職員のみ対象。5日間の特別休暇）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	48	47	31	38	-
取得者数	人	36	36	18	22	-
取得率	%	75.0	76.6	58.1	57.9	-

※育児のための休暇は、平成30年4月に新設

事業名：秘書業務に要する経費

市長公室 秘書課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	03	11	本年	8,723				8,723		5,870	67.3
				前年	9,277		△ 709		8,568		5,790	67.6
				比較	△ 554		709		155		80	-
【参考】前々年度					9,812				9,812		6,873	70.0

節別支出済額(単位:千円)

報償費	80	旅費	49	交際費	275	需用費	631
役務費	1,007	使用料及び賃借料	51	負担金補助及び交付金	3,757	公課費	20

概要及び成果

1 秘書業務

特別職が出席する会議や催事等日程について調整及び事前確認を行い、必要に応じて随行する。  
全日程関連資料を特別職へ事前に共有する。

【成果】

スピードを重視する案件は、担当部署より至急案件に関する報告書を提出してもらうことで優先度の明確化を図るとともに、関連資料を特別職へ事前に共有することで、短時間での円滑な議論が行われるなど、効率的なスケジュール管理を行うことができた。

2 市長車等特別職運転・管理業務

市長車及び副市長車の運転・管理業務を行う。

【成果】

特別職の公務スケジュールどおりに、安全かつ迅速に移動することができた。

3 渉外業務（後援名義使用承認・叙勲・表彰事務）

後援名義については、申請に対し審査の上、市以外が主催する事業において「つくば市」の名義使用を承認する。

つくば市長賞については、申請に対し審査の上、賞状を交付する。

叙勲（叙位）については、地方自治に功労のあった公選職を対象に候補者を把握し、内申対象者が発生した場合は経歴・功績等を調査し、国・県に報告する。

【成果】

後援名義の申請件数は、オンライン化など開催方法の多様化によって昨年度より増加した。「つくば市後援名義使用承認ガイドライン」に基づき、後援名義承認事業開催の際は、感染対策の徹底を求めることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
死亡叙勲	件	1	0	1	0	0
高齢者叙勲	件	1	0	0	0	0
春の叙勲	件	1	0	0	1	0
秋の叙勲	件	0	0	0	1	1
叙位	件	0	1	0	3	0
つくば市長賞承認	件	5	2	6	9	14
後援名義承認	件	108	66	221	215	228

事業名： 広報デザイン事業に要する経費

市長公室 広報戦略課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	11	本年	63,155		△ 10,616	△ 298	52,241		43,522	83.3
				前年	64,050		△ 10,209	520	54,361		49,205	90.5
				比較	△ 895		△ 407	△ 818	△ 2,120		△ 5,683	-
【参考】前々年度					54,220				54,220		46,535	85.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	18,028	役務費	18	委託料	23,995	使用料及び賃借料	1,093
工事請負費	79	備品購入費	241	負担金補助及び交付金	67		

概要及び成果

- 1 市民目線の広報推進事業  
 広報紙（かわら版含む）、市勢ガイド等の編集・発行など

【成果】

広報紙満足度の向上を図るため、広報つくばでは、感染予防ガイド（保存版）やつくばクラフトライフなどの特集、身近なイベント情報など幅広い情報を掲載した。また、市政情報かわら版では、一つのテーマについてこれまでの経緯や今後の取り組みなどを深く掘り下げつつ、分かりやすい表現で情報発信を行った。

(1) 「広報つくば」の発行

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
月毎発行部数	部	約107,700	約105,500	約103,900	約103,600	約103,500
月毎配布部数	部	約104,600	約103,400	約102,600	約102,600	約100,000

(2) 「市政情報かわら版」の発行

- (R3. 3. 15発行 第1号 新型コロナウイルスワクチンのこと、もっと知りたい！)  
 R3. 6. 15発行 第2号 つくば市のごみ問題のこと、もっと知りたい！  
 R3. 7. 15発行 第3号 周辺地域のまちづくりのこと、もっと知りたい！  
 R3. 9. 15発行 第4号 わたしたちの命を守るための「防災」、もっと知りたい！  
 R3. 11. 15発行 第5号 高エネ研南側未利用地問題のこと、もっと知りたい！  
 R4. 1. 17発行 第6号 つくばの子育て環境のこと、もっと知りたい！  
 R4. 3. 15発行 第7号 つくばセンタービル改修のこと、もっと知りたい！

2 職員向けの広報力スキルアップ等事業

職員向け広報力向上セミナー等の実施、チラシデザイン等のチェック作業の実施など

【成果】

・職員向けの広報力向上セミナーを実施し、チラシデザインの要点や重要性等をアドバイスした。職員一人ひとりの業務形態に合わせて受講が可能となる、セミナーの動画配信も合わせて実施した。

内 容：もっと伝わる！パワポチラシ 講師：酒井参事

受講者：166人（対面による受講30人、動画視聴による受講136人）

・年間340件のチラシデザインチェックを実施し、ブランドイメージの統一を図った。

事業名：魅力発信事業に要する経費

市長公室 広報戦略課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	12	本年	14,358			298	14,656		13,773	94.0
				前年	18,483		△ 108	△ 20	18,355		11,394	62.1
				比較	△ 4,125		108	318	△ 3,699		2,379	-
【参考】前々年度					22,252		6,666		28,918		18,958	65.6

節別支出済額(単位:千円)

旅費	8	需用費	785	役務費	445	委託料	5,217
使用料及び賃借料	697	備品購入費	420	負担金補助及び交付金	6,200		

概要及び成果

1 市民目線の広報推進事業

市公式HPの運用、ケーブルTV等の活用、定例記者会見やプレスリリース等の実施など

【成果】

新型コロナウイルス感染症に関する市独自の取組やワクチン接種に関する情報など、市民生活に必要な情報を、ホームページをはじめとする様々な媒体で広く市民に発信した。

(1) ホームページの管理運營業務

ホームページ管理者としてアクセシビリティ等の承認作業を毎日実施し、令和3年度末時点で約4,600ページを公開。トップページのカラーセルは最新のコロナ関連情報等を周知するため、随時更新を行った。

(2) 記者会との連絡調整

定例記者会見（毎月1回）、臨時記者会見（年1回）、市政情報のプレスリリース（年291回）による情報提供を実施した。

2 シティプロモーション・関係人口創出拡大事業

市の魅力的な取組や地域で行っているイベント等についてのPR

【成果】

公式YouTube動画「つくば市かわら版チャンネル」を開設するなど、つくばの魅力やSNSを使って発信した結果、チャンネル登録者数が約1.5倍の1,150人に増加するなど、幅広い年齢層の市民に向けて情報発信することができた。

(1) SNSを活用した情報発信

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
フェイスブック投稿数	件	685	617	591	587	470
フェイスブックいいね数	件	11,218	10,095	9,608	8,911	7,392
ツイッター投稿数	件	650	533	935	1,197	1,786
インスタグラムフォロワー数	人	4,816	4,059	2,667	1,642	892

※フェイスブックいいね数は、ページへのいいね機能の集計方法が変更されたため、令和3年度からはフォロワー数を採用。

※令和3年度つくば市かわら版チャンネルを12回公開（高エネ研南側未利用地、ゴミ問題など）

(2) プロモーションサイト「TSUKUBA TOMORROW LABO」等による情報発信

サイトを活用し、市の先進的な取組として「インターネット投票」について紹介した。

(3) 市への愛着心の醸成を図る企画

「つくジェニックMAP（市内インスタ映えスポットの紹介）」を筑波大学・同大学学園祭実行委員会と制作。印刷発行部数 11,000部

### 3 移住・定住促進事業

移住相談の実施、移住支援金の交付、クラフトライフの周知など

#### 【成果】

市が提案する新しいライフスタイル「クラフトライフ」の魅力について、広報つくばへの掲載や冊子「つくばスタイルCRAFT」の配布により広く発信したほか、対面・リモート・電話など様々な方法による移住相談の実施や移住支援金交付などにより移住促進を図った。

#### (1) わくわく茨城生活実現事業（移住支援金 補助率…国1/2、県1/4、市1/4）

移住に伴う経済負担の軽減と、県内中小企業への就業を促進するため、引き続き移住支援金を交付した。  
申請・交付件数：7件（単身2件、世帯5件） 6,200千円



事業名： 広聴事業に要する経費

市長公室 広聴室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
02	01	04	13	本年	311				311		209	67.2		
				前年										
				比較	311				311		209		-	
【参考】前々年度														

節別支出済額(単位:千円)

需用費 209

概要及び成果

- 1 市長と住民の意見交換会事業  
 市長と市民との直接的なコミュニケーションの場としてタウンミーティングを開催  
 市長が市内6地区に出向く地区別タウンミーティングのほか、市内全域を対象としたもの等も開催  
 大学生に市政への理解・関心を深めてもらい、学生ならではの意見を聴くため、学生懇談会を開催（筑波大学との協働事業）

【成果】

新型コロナウイルス感染対策の観点を踏まえ、意見交換会全般についてオンラインでの開催とした。市民等を対象とした2回(11/2、11/14)については、これまで参加が少なかった年齢層の参加が見受けられ、幅広い層からの意見等が寄せられた。中高生を対象とした会(9/26)及び学生懇談会(2/18)については、オンラインに慣れている参加者のためスムーズに意見交換できた。いずれの会においても、市長と参加者の直接的なコミュニケーションを通じ、参加者が市政をより身近なものとして認識する効果が得られた。

懇談会事業の開催回数・合計参加者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
タウンミーティング	回	3	-	9	8	6
タウンミーティング	人	39	-	302	301	269
学生懇談会	回	1	1	1	1	1
学生懇談会	人	15	27	33	30	17

2 市長へのたより・メール等広聴事業

市庁舎や地域交流センター等に設置している「市長へのたより」の専用はがきや、市ホームページに設置している「市長へのメール」送信フォーム、Eメール、はがき、封書、要望書、電話、面会による意見等の聴取  
 聴き取った意見、提案等を「市民の声支援システム」に登録し、特別職、関係部署、政策員等と情報共有の上、必要に応じて市から相談者に対する回答の調整等

【成果】

市民の声を関係部署に迅速に共有し、スピーディーな対応・回答に繋げることを期した。苦情等は相手方の主張を丁寧に聴取し、関係部署と市民の仲立ちとしてコミュニケーションの円滑化に寄与した。相手方に寄り添う分かりやすい回答作成を工夫し、できる限り市民の理解・納得を得よう図った。

意見・要望等への対応状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般要望	件	51	67	49	52	59
市長へのたより(専用はがき等)	件	81	176	169	230	196
Eメール(市長へのメール等)	件	785	1,017	534	520	566
相談カード・その他	件	359	302	341	313	110
合計	件	1,276	1,562	1,093	1,115	931

事業名：総合インフォメーションセンター交流サロン管理運営に要する経費

市長公室 広報戦略課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	14	本年	22,454				22,454		21,843	97.3
				前年	22,764			△ 500	22,264		21,652	97.3
				比較	△ 310			500	190		191	-
【参考】前々年度					22,272				22,272		21,426	96.2

節別支出済額(単位:千円)

報償費	150	需用費	1,332	役務費	198	委託料	10,153
使用料及び賃借料	10,010						

概要及び成果

- 1 つくば総合インフォメーションセンター交流サロン管理運営事業  
チラシやパンフレット、書籍等の配架、PR動画の放映、打合せや待合せ、休憩等で気軽に利用できる場の提供、大学や研究機関と連携したセミナーやイベントの開催など

【成果】

前年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による利用制限がある中でも、大学や研究機関等と連携して催事や展示を行った。中でも、10/5～17という短い期間ではあったが、筑波大学による「東京オリンピック・パラリンピック競技大会筑波大学関係メダリスト」の紹介は来館者の注目を集めていた。また、11月から「ストリートピアノ」を設置し、つくばセンタービル周辺の賑わい創出に寄与したほか、JAXAの協力を得て日本人宇宙飛行士の活躍について動画配信やポスター展示などを実施し、機運醸成を図ることができた。

(1) 市の主催事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
親子で科学実験工作延べ参加人数	人	108(内オンライン6)	79(内オンライン19)	162	200	144
親子でペーパークラフト講座延べ参加人数	人	180(内オンライン5)	134(内オンライン35)	164	204	-

(2) 催事開催状況※

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
催事実施回数	回	40	30	161	201	199
参加人数	人	645	485	11,374	12,272	11,275

(3) 来館者数※

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
計	人	15,007	10,937	40,265	41,478	39,106

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、8/20～9/26まで閉館した。一般利用やイベント開催についても制限をかけたため、来館者数や催事実施回数が令和元年度までの実績に比べ減少している。

事業名：財政事務に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	05	11	本年	955				955		573	60.0
				前年	1,252		△ 17		1,235		699	56.6
				比較	△ 297		17		△ 280		△ 126	-
【参考】前々年度				1,360				1,360		1,297	95.4	

節別支出済額(単位:千円)

需用費 573

概要及び成果

1 予算編成事務

各会計（一般会計外5会計）の当初予算及び補正予算の編成を行う。

【成果】

補正予算編成については、緊急性及び法令の改正等を配慮し、効果的な予算を編成することができた。また、新型コロナウイルス感染症への対応を含めて、一般会計で13回の補正予算を編成した。

令和4年度当初予算編成では、国県補助金や市債に加え、必要に応じて基金を活用し、学校の新設事業や公共施設の整備事業等を予算化するとともに、予算の要求状況や編成結果を市民に周知することができた。

なお、当初予算書の印刷を外注せず、自課で印刷することで経費を縮減した。

補正予算実施回数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般会計	回	13	16	7	7	8
国民健康保険特別会計	回	3	4	3	3	3
後期高齢者医療特別会計	回	2	3	3	3	2
作岡財産区特別会計	回	-	-	-	-	-
つくば市等公平委員会特別会計	回	1	1	1	1	2
介護保険事業特別会計	回	2	5	4	3	4

2 決算事務

地方自治法第233条第5項に定める「主要施策の成果及び予算執行の実績報告書」を調製し、決算書と併せて、監査委員の意見を付けて、議会の認定に付する。

地方財政状況調査、健全化判断比率等の算定及び統一的な基準による財務書類の作成を行い、公表する。

【成果】

決算及び健全化判断比率を議会に提出するとともに、市ホームページで公表することで、市民に決算等の情報を周知することができた。

3 財政状況の公表事務

地方自治法第243条の3及び「つくば市財政事情書の作成及び公表に関する条例」に基づき、告示及び市ホームページへの掲載（年2回：5月末・11月末）を行う。

当初予算の概要及び決算の概要、当初予算書、補正予算書について、市ホームページ等へ掲載を行う。

【成果】

財政状況を市ホームページ等で公表することにより、市民への的確な情報提供ができた。

#### 4 理財事務

市債充当事業の契約額や国県支出金等から起債計画書を作成し、市債の借入を行うとともに、既発行市債の償還管理を行う。

普通交付税、特別交付税の算定基礎数値等を調査し、茨城県に報告する。

基金の状況等を取りまとめ、総括管理を行う。

#### 【成果】

通常の市債充当事業に加え、茨城県市町村振興資金を積極的に借入れ、新型コロナウイルス感染症の影響による歳入減少及び大規模事業実施に伴う歳出増加に対応した。

また、茨城県や庁内担当部署と緊密に連携することで、適切に交付税算定を実施することができた。

#### 市債（一般会計債）の借入額（前年度繰越分を含む）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
政府資金、銀行等	千円	5,062,900	4,019,568	4,108,400	4,429,500	7,621,140
茨城県	千円	644,507	3,029,193	1,873,732	676,245	4,200
借入額合計	千円	5,707,407	7,048,761	5,982,132	5,105,745	7,625,340

#### 年度末市債残高、年度末利子支払予定額（各年度末の時点から、全額償還するまでの利子の支払総額）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
年度末市債残高	千円	54,004,608	54,817,726	53,970,037	53,912,029	54,528,977
年度末利子支払予定額	千円	1,127,206	1,179,960	1,467,186	1,831,296	2,185,612

#### 地方交付税の交付額

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
普通交付税	千円	-	-	-	-	71,677
特別交付税	千円	258,857	248,907	317,424	266,060	269,168
震災復興特別交付税	千円	-	28,826	2,279,731	2,689,898	2,345,981

(1) 政府資金、銀行等からの借入額は、前年度比1,043,332千円の増となった。増額要因としては、金田官衙遺跡用地取得事業債（426,000千円）、（仮称）研究学園小学校建設事業債（387,300千円）及び（仮称）香取台小学校建設事業債（250,000千円）等の借入が発生したことが挙げられる。

また、茨城県からの借入額は、前年度比2,384,686千円の減となった。主な借入として、みどりの学園義務教育学校用地取得事業債（425,007千円）がある。

(2) 普通交付税は、不交付団体となったことから交付されていない。

また、震災復興特別交付税は、過年度の過大算定額との調整の結果、不交付となった。

事業名： 出納事務に要する経費

会計事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	06	11	本年	12,592				12,592		10,050	79.8
				前年	10,135		△ 93		10,042		9,412	93.7
				比較	2,457		93		2,550		638	-
【参考】前々年度				9,788				9,788		9,614	98.2	
節別支出済額(単位:千円)												
旅費		4	需用費		566	役務費		1,442	委託料		7,854	
使用料及び賃借料		152	負担金補助及び交付金		32							
概要及び成果												
<p>1 指定金融機関、収納代理金融機関等及び公金預金の管理に関する事務 市の公金収納及び支払事務を委任している指定金融機関の(株)常陽銀行については、3か月に一度の割合で指定金融機関の検査を実施する。 収支日計表を調整し、毎日の支払いについて小切手を振り出す。 公金預金の管理については、「つくば市資金管理及び運用基準」に基づいて、資金に一時的に余裕ができたときは、定期預金に積み立て、確実かつ有利な方法により保管する。</p> <p>【成果】 指定金融機関検査により、指定金融機関である常陽銀行つくば市役所支店が取り扱っている公金の収納、支払事務及び預金の整理が正確に行われるのを確認できた。歳計現金の保管については、安全、確実にを行うことができた。</p>												
<p>2 公金の出納保管、例月出納検査、源泉所得税及び法定調書に関する事務 歳入歳出予算に基づく支出命令及び収入調定により適正かつ円滑な事務処理を行う。また、監査委員による出納検査を受検する。 1か月における歳入・歳出伝票を日付毎に科目の順に整理し、通し番号を付し検査を受ける。また、預金等の現金保管状況等を報告する。 源泉所得税の適正な徴収及び納付。法定調書の検収及び税務署・市町村への報告。</p> <p>【成果】 公金の出納保管について、適正な事務処理を行うことができた。会計事務局において例月出納検査を受検するとともに(年度内12回)、庁内、及び出先機関において書類提出による現金取扱検査をし、現金出納簿の適正な管理と、手持ち現金の残高を確認することができた。</p>												
<p>3 支出負担行為及び支出命令の審査事務及び債権者登録事務 支出負担行為が法令又は予算に違反していないこと、支出負担行為に係る債務が確定している等の確認、及び支出命令に対する審査。 適正な債権者情報の登録及び管理。</p> <p>【成果】 適正かつ円滑な事務執行を行うことができた。 web形式による出納事務研修会、イントラ掲示板、テロップによる注意喚起の徹底等により、伝票の誤りを対前年比0.55ポイント減少させた。</p>												
歳入・歳出伝票件数												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
歳入伝票(調定票は含まない)	件		48,634	47,729	52,275	52,399	52,187					
歳入伝票(調定票)	件		5,651	5,168	5,028	4,422	3,894					
支出伝票(支出負担行為票は含まない)	件		87,017	89,228	90,456	89,300	91,768					
支出伝票(支出負担行為票)	件		11,647	11,386	40,854	38,509	39,637					

事業名：決算調製に要する経費

会計事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	06	12	本年	269				269		249	92.5
				前年	343				343		325	94.7
				比較	△ 74				△ 74		△ 76	-
【参考】前々年度					323				323		309	95.8
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					249							
概要及び成果												
<p>1 決算書調製事業 出納整理期間終了後3か月以内に歳入歳出及び証書類を整理し、各会計の事項別明細書・実質収支に関する調書・財産に関する調書を調製する。</p> <p>【成果】 令和2年度会計において、歳入歳出の適正な予算執行実績を決算書により示すことができた。また、つくば市公式ホームページに掲載することにより、市民に対する行政運営の透明性の向上と市政への理解と信頼の充実につなげることができた。 決算書 190冊作成</p>												

事業名：共同物品調達に要する経費

会計事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																										
02	01	06	13	本年	13,569				13,569		11,315	83.4																																										
				前年	16,152				16,152		14,931	92.4																																										
				比較	△ 2,583				△ 2,583		△ 3,616	-																																										
【参考】前々年度					12,408			976	13,384		13,384	100.0																																										
節別支出済額(単位:千円)																																																						
需用費					11,315																																																	
概要及び成果																																																						
<p>1 共同物品調達（コピー用紙・封筒） コピー用紙、封筒については、一般競争入札により単価契約を行い、購入する。 コピー用紙及び封筒の在庫を管理し発注する。</p> <p>【成果】 コピー用紙、封筒については、業者と単価契約を締結し、一括購入することにより、全体の購入価格の軽減を図ることができた。</p> <p>購入枚数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コピー(A3、A4、B4、B5)</td> <td>枚</td> <td>15,275,000</td> <td>20,995,000</td> <td>17,297,500</td> <td>18,032,500</td> <td>16,350,000</td> </tr> <tr> <td>封筒(角0、角1、角2、長3)</td> <td>枚</td> <td>337,000</td> <td>370,000</td> <td>402,000</td> <td>349,000</td> <td>412,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>購入金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コピー(A3、A4、B4、B5)</td> <td>千円</td> <td>8,442</td> <td>11,754</td> <td>10,367</td> <td>8,368</td> <td>7,663</td> </tr> <tr> <td>封筒(角0、角1、角2、長3)</td> <td>千円</td> <td>2,621</td> <td>2,861</td> <td>2,614</td> <td>2,549</td> <td>3,245</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	コピー(A3、A4、B4、B5)	枚	15,275,000	20,995,000	17,297,500	18,032,500	16,350,000	封筒(角0、角1、角2、長3)	枚	337,000	370,000	402,000	349,000	412,000		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	コピー(A3、A4、B4、B5)	千円	8,442	11,754	10,367	8,368	7,663	封筒(角0、角1、角2、長3)	千円	2,621	2,861	2,614	2,549	3,245
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																
コピー(A3、A4、B4、B5)	枚	15,275,000	20,995,000	17,297,500	18,032,500	16,350,000																																																
封筒(角0、角1、角2、長3)	枚	337,000	370,000	402,000	349,000	412,000																																																
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																
コピー(A3、A4、B4、B5)	千円	8,442	11,754	10,367	8,368	7,663																																																
封筒(角0、角1、角2、長3)	千円	2,621	2,861	2,614	2,549	3,245																																																

事業名：庁舎維持管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	11	本年	536,479		7,708	14,356	558,543	2,618	549,672	98.9
				前年	536,710		2,154	10,241	549,105	527,618	96.1	
				比較	△ 231		5,554	4,115	9,438	2,618	22,054	-
【参考】前々年度					538,035	39,952		△ 3,088	574,900		550,940	95.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	66,175	役務費	16,330	委託料	220,758	使用料及び賃借料	226,552
工事請負費	12,550	備品購入費	7,291	負担金補助及び交付金	16		

概要及び成果

1 庁舎等維持管理事業

本庁舎・大穂庁舎・コミュニティ棟の維持管理（設備管理、清掃、警備、電話交換、総合案内、植栽管理、廃棄物運搬、修繕・改修工事等）、旧庁舎解体までの維持管理等、備品管理システムの運用管理及び庁舎現品調査、新規備品購入及び備品修繕、人事異動に伴う庁内レイアウト変更、PCB廃棄物の処分場所への運搬及び処分

【成果】

- ・庁舎等の適切な維持管理を行い来庁者等への市民サービス向上及び職員の執務環境の維持を図ることができた。
- ・庁舎設備の適正維持のため、耐用年数経過による、庁舎UGS交換工事や電話交換設備の入れ替え等を実施した。
- ・令和4年4月から開始となる庁舎の設備管理業務委託、電話交換業務委託、総合案内業務委託、植栽管理業務委託を債務負担行為で準備をし契約締結することができた。

(1) 主な委託 ※平成30年度から清掃と警備、総合案内と電話交換は分割して委託

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
清掃※	千円	44,796	44,715	43,050	30,311	62,002
警備※	千円	53,427	53,550	35,137	34,976	-
総合案内※	千円	13,710	10,582	10,486	10,390	23,588
電話交換※	千円	16,250	8,140	8,214	11,718	-
設備運転・管理	千円	53,314	48,338	48,056	39,076	37,516
植栽維持管理(旧庁舎含む)	千円	7,421	6,906	5,063	5,994	4,724
大穂庁舎外清掃業務委託	千円	9,900	9,988	8,160	8,085	5,184
大穂庁舎外総合設備・警備等委託	千円	14,855	14,812	11,852	11,743	11,036
電気保安業務委託料(大穂、桜庁舎)	千円	333	518	487	461	461

(2) 庁舎等の修繕

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
修繕・工事件数	件	91	116	81	73	43
施設修繕料・工事費	千円	18,719	31,525	18,983	14,928	9,239

事業名：市有土地建物の管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	12	本年	13,872			1,395	15,267		14,711	96.4
				前年	9,830		△ 29	5,052	14,853		13,141	88.5
				比較	4,042		29	△ 3,657	414		1,570	-
【参考】前々年度				7,752				7,752		5,613	72.4	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,273	役務費	368	委託料	8,837	使用料及び賃借料	537
工事請負費	3,669	負担金補助及び交付金	28				

概要及び成果

1 市有土地の管理事業

市有土地の処分、貸付等について、庁内各部及び市民からの要請に基づき随時実施する。  
未利用の普通財産については、生活環境保全等のために年2回の除草作業を行う。

【成果】

- ・市有地（普通財産）を維持管理し、良好な状態に保つことができた。市有地の除草作業を行うことにより土地の荒廃を防止し周辺住民の生活環境の維持が図られた。
- 合計43箇所、約24,497㎡を2回除草実施。
- ・申請のあった未利用地等（廃道敷地含む）の払下げ及び売払いを行い、管理面積の削減及び市の財源確保ができた。
- ・市有土地の貸付を行い、市有財産の有効活用を図った。

公有財産管理委員会の開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催数	回	6	4	4	1	5
案件数	件	6	4	8	2	8

処分件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
筆数	筆	20	4	9	18	6
面積	㎡	1,915.26	326.85	633.38	960.12	3,134.87
売買価格	円	15,425,740	3,348,297	5,309,246	10,756,369	10,820,363

2 市有建物の管理事業

建物保全のため各種定期点検を実施し、必要に応じて修繕等を行う。  
市有建物の貸付契約を締結し、貸付料を徴収する。

【成果】

- 市有建物を維持管理、安全性を確保することができた。



事業名：車両管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	13	本年	99,692			△ 7,261	92,431		91,079	98.5
				前年	106,234		△ 3,000	△ 11,270	91,964	85,815	93.3	
				比較	△ 6,542		3,000	4,009	467	5,264	-	
【参考】前々年度					128,444				128,444		111,003	86.4

節別支出済額(単位:千円)

需用費	28,436	役員費	3,221	使用料及び賃借料	57,988	備品購入費	758
負担金補助及び交付金	21	公課費	655				

概要及び成果

1 公用車管理事業

公用車の維持管理等（車検、定期点検、任意保険加入、修繕、リース契約、車両購入、廃車、運行予約、記録入力等の管理）

【成果】

- ・老朽化した公用車を廃車しリース車への入替を行った。
- ・予約時間の適正化を図ることができた。
- ・有料道路の利用抑制を図ることができた。

(1) 公用自動車の修理及び車検整備（車検についてはリース車を除く）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
修理件数	件	61	47	66	116	109
修理費用	千円	3,607	3,404	3,606	6,596	7,788
車検件数	件	25	26	29	36	39
車検費用	千円	3,311	3,523	3,138	4,467	4,631

(2) 公用自動車のリース及び購入※リース台数には再リース契約を含み、廃車台数にはリースアップ車を含む

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
購入台数	台	0	0	0	0	0
購入費用	千円	0	0	0	0	0
リース台数	台	33	48	34	44	66
廃車台数	台	3	30	29	18	8

(3) 公用自動車の台数（年度末時点）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
市全体の車両数(リース分)	台	278	277	268	260	262
市全体の車両数(買取分)	台	163	161	177	185	187
市全体の車両数(合計)	台	441	438	445	445	449
うち管財課予算計上の車両数(リース分)	台	235	236	242	238	238
うち管財課予算計上の車両数(買取分)	台	38	36	42	49	51
うち管財課予算計上の車両数(合計)	台	273	272	284	287	289

事業名：事務機器管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	14	本年	24,069		14,682	△ 3,573	35,178		35,062	99.7
				前年	23,820		6,558	2,756	33,134	33,025	99.7	
				比較	249		8,124	△ 6,329	2,044	2,037	-	
【参考】前々年度					23,494			2,112	25,606		25,383	99.1
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				32,245	委託料		43	使用料及び賃借料		2,774		
概要及び成果												
<p>1 事務機器の管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複合機及び印刷機等の管理運用を行う。</li> <li>・消耗品等の発注及び在庫管理を行う。</li> <li>・故障等の修繕依頼をする。</li> <li>・各種契約事務、料金支払をする。</li> <li>・事務機器の管理：複合機（コピー・プリンタ兼用）39台、印刷機（カラー2台、モノクロ2台）、コインベンダー付複写機（お客様用1台）、紙折り機1台、シュレッダー14台を管理する。</li> </ul> <p>【成果】 事務機器を適正配置及び管理することにより、効率的な事務事業の遂行に寄与した。機器の導入、消耗品の管理により、事務作業の効率化に努めた。</p>												

事業名：事業契約に要する経費

総務部 契約検査課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	15	本年	7,707				7,707		7,237	93.9
				前年	8,095		△ 386		7,709		7,554	98.0
				比較	△ 388		386		△ 2		△ 317	-
【参考】前々年度					9,758				9,758		9,228	94.6

節別支出済額(単位:千円)

報償費	110	需用費	362	役務費	54	委託料	3,254
使用料及び賃借料	3,173	負担金補助及び交付金	285				

概要及び成果

1 入札・契約事務事業

入札及び契約に関する事務（つくば市入札審査委員会の開催、入札の執行、契約書（売買、賃借、請負その他の契約）の作成）を実施している。

入札参加資格の登録に係る申請受付及び書類審査を、年5回（2月・6月・8月・10月・12月）実施し、業者情報のシステム登録を経て、有資格者名簿を作成の上公表する。なお、登録業者情報は、庁内イントラネット業者照会システムにより、事業担当課が発注時の業者選定等に活用できるようにしている。

【成果】

入札参加資格要件等を入札審査委員会に諮り、案件に応じた適切な要件を設定することで、競争性の確保や入札事務の透明性等を図ることができた。

登録申請の審査及び登録業者の変更届処理を行い、入札参加有資格者名簿を適正に管理することで、業者管理システムを活用した入札・契約関係書類の作成事務、事業担当課による業者選定及び入札参加条件の設定に係る事務等の効率化が図られた。

入札審査委員会の開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催数	回	17	17	17	12	11
臨時開催数	回	2	0	0	1	1

入札の実施（上下水道事業会計分含む）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般競争入札	件	728	716	793	786	792
指名競争入札	件	19	14	9	19	0
総合評価方式	件	30	26	13	5	0

いばらき電子入札共同利用システム運営委託（工事、測量、建設コンサルタント業務）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般競争入札	件	316	305	362	372	363
指名競争入札	件	0	0	0	0	0
総合評価方式	件	30	26	13	5	0

茨城県電子調達システムの利用（物品、役務、印刷、リース）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般競争入札	件	412	411	431	414	429
指名競争入札	件	19	14	9	19	0

入札参加資格審査申請受付件数 ※1

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
6月(電子申請)	者	58	101	-	-	-
9月(令和2年度より8月)	者	38(内紙申請17)	78(内紙申請42)	88	193	60
10月(電子申請)	者	21	51	-	-	-
12月(電子申請)	者	43	102	-	-	-
2月	者	67(内紙申請26)	181(内紙申請80)	3,044(内紙申請1,314)	226	3,185

※1・令和2年2月より電子申請の運用開始

- ・平成29年度及び令和元年度(2月)は定期受付
- ・入札参加有資格者名簿登録者数
  - [28-29年度] : 3,771者
  - [30-元年度] : 3,688者
  - [2-4年度] : 3,701者 (R4.2.1現在)

2 入札監視委員会運営事業

入札監視委員会定例会議を年2回(7月～8月、1月～2月の各1回)開催、当番委員が抽出する市発注事業の入札及び契約に係る手続等について質疑・評価等を受けて適正な事務事業の執行に資する。

【成果】

入札監視委員会は外部委員で構成されており、第三者の立場から市民目線の意見や専門的見地に立った助言等を得ることができた。この委員会の会議概要をホームページで公表することで、入札・契約関連の事務手続の透明性の向上に寄与することができた。

入札監視委員会の開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催数	回	2	2	2	2	2
抽出事案数	件	14	14	14	14	14

事業名：業務検査に要する経費

総務部 契約検査課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	16	本年	638				638		430	67.5
				前年	938		△ 300		638		632	99.1
				比較	△ 300		300				△ 202	-
【参考】前々年度					789				789		705	89.3

節別支出済額(単位:千円)

報償費	249	需用費	173	役務費	9
-----	-----	-----	-----	-----	---

概要及び成果

1 工事・業務の検査事務

工事等検査規程に基づき、下記の検査を行う。なお、契約金額が130万円以上の工事等を対象とする。

- (1) 工事等の完成及び完了を確認するために行う工事完成検査及び業務完了検査
- (2) 工事等代金の部分払いをするとき、工事等を中止するとき、及び契約を解除するときに行う出来高検査
- (3) 中間検査として行う部分使用検査、中間履行検査、中間技術検査

【成果】

市が発注する工事等の契約に基づいた適正な履行が確保された。また、中間検査時における指導助言により、適正な施工、技術水準の向上、安全管理など施工管理の向上が確認できた。

建設工事

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
完成検査	件	231	209	222	246	235
中間検査	件	81	103	76	102	84
出来高検査	件	-	1	-	1	2
手直し検査	件	-	-	-	-	-
計	件	312	313	298	349	321

設計業務委託

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
完了検査	件	80	85	98	92	68
中間検査	件	-	-	4	2	5
出来高検査	件	-	-	-	-	-
手直し検査	件	-	1	1	-	-
計	件	80	86	103	94	73

検査合計

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
検査合計	件	392	399	401	443	394

2 優良建設工事業者表彰

(1) 優良工事建設業者褒賞

以下の建設工事の区分ごとに、成績評定の点数が高い工事から順次表彰する。なお、表彰者数は要綱で定められた算式により決定する。

ア 土木一式、イ 建築一式、ウ 舗装、エ 電気・機械設備、オ その他の工事、カ 小規模工事

(2) 特別褒賞

優良工事建設業者褒賞を受けた回数が5回、10回又は15回に達した者を表彰する。

【成果】

建設工事の優れた功績をたたえ表彰することや、表彰を受けた事業者に対して1年間入札時に持ちち工事件数の制限を緩和する等の優遇措置を行うことにより、建設工事受注者に対し、公共工事の品質向上に関する意識付けが図れた。

## 表彰件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
優良工事建設業者表彰者数	者	13	13	12	18	21
特別褒賞表彰者数	者	1	1	3	-	-

※令和元年度より特別褒賞を新設した。

## 事業名：駐車場維持管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	01	07	17	本年	13,174			△ 1,639	11,535		11,493	99.6	
				前年	11,180			△ 2,339	8,841		6,536	73.9	
				比較	1,994			700	2,694		4,957	-	
【参考】前々年度					11,393				11,393		8,161	71.6	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				698	役務費		84	委託料		346	使用料及び賃借料		9,936
工事請負費				429									

## 概要及び成果

## 1 庁舎駐車場の管理事業

駐車場料金の徴収、管制装置等の機器管理、駐車場全般の維持管理等

## 【成果】

・職員駐車場2の土日祝日の一般開放を継続して実施し、駐車場維持管理のため財源確保ができた。

## (1) 駐車場の維持管理（平成22年度から料金徴収開始）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
消耗品購入	千円	425	2,266	2,315	1,265	1,051
修繕料	千円	275	383	231	892	540
工事請負費	千円	429	0	1,268	303	0
修繕・工事件数	件	5	3	4	11	4

## (2) 駐車場使用料金の徴収（平成22年度から料金徴収開始）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
来庁者駐車場分	千円	1,592	1,303	2,022	2,245	2,730
職員駐車場分(庁舎及び出先施設)	千円	44,413	43,588	39,621	37,304	37,085

※平成27年度から土・日・祝日に職員駐車場2の一般開放を開始（料金は来庁者駐車場に計上）

事業名：公共施設マネジメントに要する経費

財務部 公共施設マネジメント推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	18	本年	5,763				5,763		5,427	94.2
				前年	714		△ 21		693		525	75.7
				比較	5,049		21		5,070		4,902	-
【参考】前々年度					848				848		693	81.7
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				254	負担金補助及び交付金		5,174					
概要及び成果												
<p>1 点検マニュアルの運用 法定点検や「公共施設自主点検マニュアル」による点検を実施し、劣化の兆候や不具合箇所が判明した場合は、早期の段階で修繕や改修を行い、大規模修繕を未然に防止する。</p> <p>【成果】 各種点検結果や修繕工事履歴及び維持管理費などを「公共施設マネジメントシステム」に入力した結果、各公共施設の状況について全庁的に情報の共有化が図られた。</p>												
<p>2 市民ニーズに合った利用促進策の検討 各施設所管課等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」において、提供しているサービスが市民ニーズに即しているか分析を行うとともに、環境への配慮、防災機能の強化、ユニバーサルデザインの導入等の施設機能の充実を推進する。</p> <p>【成果】 施設稼働率は、新型コロナウイルス感染症拡大による施設利用者の減少により低下した。一方で、「ユニバーサルデザイン化」、「省エネ化」等の様々な市民ニーズに配慮した計画が1計画策定され、施設利用向上に向けた取組みが進んだ。</p>												
<p>3 施設整備事業の複合化・集約化指針の作成 各施設所管課等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」において、各施設のあり方や必要性について、人口動向や社会情勢の変化等を踏まえ、市民ニーズや費用対効果などの面から総合的に評価を行い、必要なサービスや施設機能を確保しつつ、集約化・複合化による施設整備を推進する。</p> <p>【成果】 施設所管課が「個別施設計画」策定時に検討する事項であることから、「個別施設計画策定ガイドライン」を用いて、集約化・複合化を検討するように指導・助言を行った。</p>												
<p>4 公共施設マネジメント推進事業 「公共施設自主点検マニュアル」による点検結果について、施設の劣化度・優先度を判定する基準を策定し、予算要求の方策を構築する。施設やインフラの基礎情報、点検、修繕の履歴、利用状況、維持管理費などの情報を定期的に記録更新し、蓄積することで施設に関する情報を体系的に整理する。各施設所管等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」において、新技術等の導入によるコスト低減や効率化を検討するよう推進する。</p> <p>【成果】 施設所管課の積極的な取組みや「個別施設計画策定ガイドライン」を活用したアドバイスにより、今年度、2計画が策定され、つくば市が保有する全施設の延床面積の約8割分をカバーする計画が策定済である。</p>												

事業名：コミュニティ棟維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
02	01	07	19	本年	7,219				7,219		7,043	97.6																					
				前年	8,690				8,690		8,539	98.3																					
				比較	△ 1,471				△ 1,471		△ 1,496	-																					
【参考】前々年度																																	
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費		202		委託料		6,785		使用料及び賃借料		57																							
概要及び成果																																	
<p>1 コミュニティ棟維持管理事業 利用者に対し、生涯学習及びコミュニティの場を提供するべく、コミュニティ棟1階の受付業務を行った。</p> <p><b>【成果】</b> 令和元年5月にオープンした施設の適正な管理運営を図るため、必要な受付業務委託と備品等の整備を行った。</p> <p>利用実績 (会議室・オープンスペース・キッズスペース)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>件</td> <td>573</td> <td>596</td> <td>1,316</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>人</td> <td>4,525</td> <td>14,482</td> <td>33,357</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用件数は会議室のみ計上</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	利用件数	件	573	596	1,316	-	-	延利用者数	人	4,525	14,482	33,357	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
利用件数	件	573	596	1,316	-	-																											
延利用者数	人	4,525	14,482	33,357	-	-																											



事業名：企画調整に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	11	本年	8,388				8,388		7,500	89.4
				前年	5,046		△ 295		4,751		4,207	88.5
				比較	3,342		295		3,637		3,293	-
【参考】前々年度					10,031			△ 1,200	8,831		7,505	85.0

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,600	旅費	8	需用費	59	委託料	3,797
負担金補助及び交付金	36						

概要及び成果

- 1 市長公約事業のロードマップ事業  
市長が選挙時に掲げた公約における6本の柱、135事業について、実施時期と工程等を各個票に落とし込んだロードマップを作成することで、進捗管理や評価を実施し、毎年公表する。

【成果】

2期目の市長公約事業の情報を更新し、ホームページ等で公表することにより、各事業の状況等を市民に共有することができた。

- 2 国・県に対する予算等要望

広域的な対応が必要な課題について、茨城県市長会を通して県政要望を行うとともに、つくば市固有の課題については、茨城県予算編成等要望を行う。

【成果】

予防接種等に関する財政措置、自転車道の整備、経済支援施策に関する財政措置など、本市が推進する事業に関連した要望を行うことができた。

令和3年6月 茨城県市長会へ県政要望を提出

令和3年8月 茨城県知事へ県予算編成要望を提出

- 3 地方版図柄入りナンバープレート事業

つくばナンバー交付対象の13自治体と「つくば地域図柄入りナンバー推進協議会」を構成し、地方版図柄入りナンバープレートの普及促進事業を、地域一体となって実施するとともに、地方版図柄入りナンバープレートの交付により得た寄附金を活用した助成事業について検討する。

【成果】

地方版図柄入りナンバープレートの普及促進を行ったことで、交付件数は関東運輸局管内で1位を維持するなど、市民からの関心が寄せられている。

申込状況（年度末時点の累計）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
登録車	件	6,075	4,813	3,477	1,829	-
軽自動車	件	5,817	3,438	2,306	1,086	-
合計	件	11,892	8,251	5,783	2,915	-

※ つくば市単独分ではなく、交付対象13自治体の合計数。

- 4 つくば市OB人材活動支援事業

高度な知識や専門技術を持つシニアの方々を「つくば市シニア・エキスパート」として登録し、講師派遣や助言等を希望する一般市民、団体、企業等に紹介する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、「つくば市シニア・エキスパート便覧」内にオンライン対応に関する項目を新たに設け、登録者の活動を後押しすることができた。

活動実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
登録者数(年度末時点)	名	222	246	242	236	225
活動回数(延べ)	回	6	123	668	686	649

5 つくば市まちづくりアドバイザー

全米で住みたいまちナンバー1にも選ばれたポートランドでの先進的なまちづくりに携わった経験がある山崎満広氏をまちづくりアドバイザーとして迎え、中心市街地・周辺市街地のまちづくり、SDGsの推進など幅広い分野で、計画の策定や事業推進における課題に対するアドバイスを受ける。

【成果】

- ・SDGsパートナーズ公募型プロポーザル選定委員会審査員 [令和3年7月14日、持続可能都市戦略室]
- ・SDGs研修（主任級研修） [令和3年10月28日、持続可能都市戦略室]
- ・市長及び副市長とのWeb会議 [随時 計11回]

6 市民意識調査

市の現状やまちづくりの取組に対する満足度及び市が進める主要な施策に対する市民の意見を把握するため、アンケート調査を実施する。

【成果】

令和3年8月に調査を実施し、市の現状や課題、まちづくりの満足度等を把握し、今後の市政運営の参考とした。また、12月に調査結果を冊子やホームページで公表した。

概要

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
回収率	%	58.4	-	49.4	-	44.9
発送数	通	3,000	-	3,000	-	3,000
住み心地の満足度	%	84.6	-	80.1	-	81.6

※ 隔年実施

事業名：アイラブつくばまちづくりに要する経費

政策イノベーション部 持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	12	本年	63,782		118,138		181,920		95,929	52.7
				前年	49,997		8,552	27,689	86,238	86,221	100.0	
				比較	13,785		109,586	△ 27,689	95,682	9,708	-	
【参考】前々年度					19,951		25,882	6,811	52,644		52,446	99.6

節別支出済額(単位:千円)

需用費	90	役務費	20	委託料	95,820
-----	----	-----	----	-----	--------

概要及び成果

1 アイラブつくばまちづくり事業

市の発展を願う方々からの寄附金を市の事業や地域貢献に取り組む方々への支援に役立てるとともに、寄附金の活用状況の公表や関係者の表彰などを通して、つくばを思う方々の輪を広げていく。

ふるさと納税専用サイト等による寄附金を受け付けるとともに、寄附に対する返礼品を送付する。返礼品を通じてつくば市の特産物や魅力を知ってもらい、地域振興や観光PRにつなげ、本市を応援していただける方を増やしていく。

【成果】

返礼品を追加するとともに、ふるさと納税専用サイトを2つ追加することにより、寄附金額が前年度より向上した。また、特産品のPRや体験型の返礼品を通して、全国に向けて市の魅力を発信することができた。

寄附実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
件数	件	11,250	11,633	7,978	2,117	1,421
寄附金額	円	210,848,463	192,762,632	107,454,609	47,553,855	51,475,193

事業名：行政経営に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																	
02	01	08	13	本年	2,247			176	2,423		1,414	58.4																																																	
				前年	3,234		△ 465	△ 400	2,369		952	40.2																																																	
				比較	△ 987		465	576	54		462	-																																																	
【参考】前々年度					13,911	6,172		△ 1,426	18,657		17,624	94.5																																																	
節別支出済額(単位:千円)																																																													
報酬					360	報償費		930	旅費		62	需用費		21																																															
役務費					8	使用料及び賃借料		33																																																					
概要及び成果																																																													
<p>1 未来構想・戦略プランの推進 つくば市未来構想に掲げる2030年の未来像の実現に向け、「第2期つくば市戦略プラン（令和2年3月策定）」における施策を推進する。</p> <p>【成果】 令和2年度構築した未来構想等推進本部（主に部長級職員）、幹事会（主に次長級職員）、専門部会（次長級職員と関係課）の開催を通じて戦略プランの進行管理（令和2年度の取組状況の確認、令和4年度の事業計画の検討）を行った。また、未来構想等推進会議（外部委員で構成、計2回）にて戦略プランの進行管理の状況について報告を行った。</p>																																																													
<p>2 行政評価の実施 効果的・効率的で質の高い行政サービスを目指し、事務事業の点検・評価を行う事務事業評価制度を運用する。</p> <p>【成果】 令和2年度事務事業（870事業）に関して、事業所管課による自己評価を実施した。事務事業の改善、見直しを行うことで、効果的・効率的で質の高い行政サービスの提供に寄与した。</p>																																																													
<p>3 パブリックコメントの実施 市が計画、条例等の策定等に当たり、計画案を事前に公表し、意見募集を行うことで、市民の市政への参加を促し、市民に対する説明責任を果たすとともに、政策形成過程の公平性・透明性の向上を図る。</p> <p>【成果】 市民から寄せられた意見を計画、条例等に反映させた。</p> <p>パブリックコメント実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施案件数</td> <td>案件</td> <td>5</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>意見提出案件数</td> <td>案件</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>内訳 延べ人数</td> <td>人</td> <td>(98)</td> <td>(118)</td> <td>(125)</td> <td>(95)</td> <td>(41)</td> </tr> <tr> <td>内訳 意見数</td> <td>意見</td> <td>(378)</td> <td>(480)</td> <td>(341)</td> <td>(386)</td> <td>(178)</td> </tr> <tr> <td>修正した案件数</td> <td>案件</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>内訳 修正箇所数</td> <td>箇所</td> <td>(21)</td> <td>(52)</td> <td>(82)</td> <td>(79)</td> <td>(12)</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	実施案件数	案件	5	17	13	12	12	意見提出案件数	案件	5	16	13	11	12	内訳 延べ人数	人	(98)	(118)	(125)	(95)	(41)	内訳 意見数	意見	(378)	(480)	(341)	(386)	(178)	修正した案件数	案件	3	12	9	6	4	内訳 修正箇所数	箇所	(21)	(52)	(82)	(79)	(12)
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																							
実施案件数	案件	5	17	13	12	12																																																							
意見提出案件数	案件	5	16	13	11	12																																																							
内訳 延べ人数	人	(98)	(118)	(125)	(95)	(41)																																																							
内訳 意見数	意見	(378)	(480)	(341)	(386)	(178)																																																							
修正した案件数	案件	3	12	9	6	4																																																							
内訳 修正箇所数	箇所	(21)	(52)	(82)	(79)	(12)																																																							
<p>4 指定管理者制度運用 公の施設（公園、文化・体育施設、福祉施設等）の管理について、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上や経費の節減等を図るため、指定管理者制度の庁内手続きを運用する。</p> <p>【成果】 指定管理者制度導入施設の公募実施（1件）のほか、導入中の全8施設（令和2年度時点）について、令和2年度事業分の指定管理者実績評価（所管課評価）を行い、結果を市HPに公表した。また、指定管理業務の開始から3年経過した5施設を対象に第三者評価会議（令和3年9月～12月：計4回）を開催し、第三者評価結果報告書を市HPに公表した。</p>																																																													

5 大規模事業評価制度運用

「つくば市大規模事業の進め方に関する基本方針（平成30年9月策定）」に基づき、大規模事業評価制度を運用する。

**【成果】**

当該制度の庁内周知を行うとともに円滑な評価実施のため、案件照会による評価候補・予定案件の事前把握や相談対応等を行った。また、令和3年度は、大規模事業評価委員会（令和3年9月～令和4年3月：計8回）を開催し、諮問案件1件について答申を受けた。制度の適用除外とした1件について、「評価対象適用除外事業調書」を市HPに公表した。

6 市民参加の推進

「つくば市市民参加推進に関する指針（平成30年3月策定）」に基づき、市民参加の推進を行う。

**【成果】**

市政への市民参加推進のため当該方針を庁内に周知し、予定案件照会結果を市HPにて公表した。また、令和2年度市民委員経験者を対象とした意見交換会（計：2回、15名参加）を開催し、意見聴取を行った。つくば市行政経営懇談会（令和3年11月～令和4年2月：計3回）において、令和2年度における市民参加の状況を報告するとともに、前年度懇談会からの提言内容を掘り下げ「オンラインを活用した市民参加の推進」について提言を受けた。

事業名：デジタル・ガバメント推進に要する経費 政策イノベーション部 統計・データ利活用推進室／情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	14	本年	26,308		12,086	7,349	45,743		45,100	98.6
				前年	65,718		2,898		68,616		67,698	98.7
				比較	△ 39,410		9,188	7,349	△ 22,873		△ 22,598	-
【参考】前々年度				50,453	535	△ 1,000		49,988		48,596	97.2	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	260	需用費	68	役務費	1,479	委託料	25,977
使用料及び賃借料	2,872	工事請負費	1,298	備品購入費	10,965	負担金補助及び交付金	2,182

概要及び成果

1 保有データの活用環境整備（統計・データ利活用推進室）

保有するデータの多くは、紙に記載されたままの情報であることなどの課題が多いことから、より多くのデータを活用できる状態にする。さらに、庁内横断的にデータを共有できる仕組みを構築するとともに、共有したデータを簡単に可視化できるツールを検討し、庁内データを活用できる環境を整備する。また、データを活用して地域社会に役立つ解決策を市民とともに考える場を提供していく。

【成果】

- ・職層別（主事・主任級、主査級、課長補佐・課長級）にデータ利活用研修を実施することによって、職員のデータリテラシーが向上した。
  - ・庁内で横断的にデータを共有するため、「庁内データ共有システム」の試験運用を開始した。
  - ・データを活用した課題解決型ワークショップ「Hack My Tsukuba」を開催した。
- (1) データ利活用研修受講者数  
研修Ⅰ（主事・主任級）61人、研修Ⅱ（主査級）34人、研修Ⅲ（課長補佐・課長級）41人
- (2) 利用しやすいオープンデータ公開件数 160件 ※PDFを除くオープンデータの公開件数
- (3) Hack My Tsukuba開催回数 5回

2 情報化推進事業（情報政策課）

ICTを活用した庁内各課の課題解決、情報化教育の推進、タブレット端末等の貸出、管理、利用サポート等、ホームページサーバの適正な運用、茨城県域統合型GISや電子申請サービス、チャットツールの活用を推進する。（庁内周知及び教育等の実施）

【成果】

電子申請の推進のため、昨年度から継続して電子申請・届出システムのアカウントを庁内全課に整備した。茨城県域統合型GISの活用について、関係各課と勉強会・利用検討の機会を設けた。

電子申請の届出種類及び申請・届出件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
手続種類	手続	938	578	584	354	170
申請・届出件数(合計)	件	97,378	66,024	29,601	22,794	14,785

茨城県域統合型GISへの庁内からのログイン件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
庁内からのログイン件数	件	10,516	9,735	8,271	6,957	4,982

3 つくば市デジタル・ガバメント推進体制の活用（情報政策課）

つくば市情報化推進計画における各施策を総合的かつ全庁横断的に推進する。また、番号制度推進のための庁内の総合調整を行うことで、番号利用法の改正及び番号制度の変更に即時かつ的確に対応する。

【成果】

新たに「会計伝票電子化」「基幹系システム標準化」の2つのWGを新設した。会計伝票電子化WGでは業務効率化とペーパーレス化を二軸目標として掲げ検討を行った。また、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき令和7年度までに標準準拠システムへ移行するため、全庁横断的な体制として基幹系システム標準化WGを立ち上げた。電子申請拡大WGでは実装可能な市民向け手続について手続作成支援を行った。外部委託によりマイナポイント取得補助を実施した。

- (1) デジタル・ガバメント推進本部会議（CIO：副市長）の開催：2回
- (2) デジタル・ガバメント推進会議（会長：政策イノベーション部次長）の開催：2回

- (3) 各専門WG（デジタル窓口推進、電子申請拡大など）の開催：合計26回
- (4) 番号利用法29条の2に基づく職員研修（オンライン開催）の受講者数：440人
- (5) 特定個人情報保護評価書の見直し：  
23事務（基礎項目評価14事務、重点項目評価8事務、全項目評価1事務）
- (6) マイナポイント取得補助を行った数：7,029人

事業名：情報通信ネットワークシステム運用に要する経費

政策イノベーション部 情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	15	本年	123,235		△ 9,169		114,066		109,291	95.8
				前年	86,185		△ 839	△ 7,000	78,346	77,966	99.5	
				比較	37,050		△ 8,330	7,000	35,720	31,325	-	
【参考】前々年度					78,091		△ 2,201		75,890		74,781	98.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	738	役務費	8,993	委託料	59,767	使用料及び賃借料	24,373
備品購入費	742	負担金補助及び交付金	14,677				

概要及び成果

- 1 全庁ネットワークの保守及び管理・運営  
本庁舎を中心として、市内に点在する約200施設を広域ネットワークで結び構築した全庁ネットワークの保守及び管理運営を行う。

【成果】

- (1) ネットワークトラブル（メンテナンス等の計画停止を除く）による市民サービスの停止を発生させることなく、サービスを提供することができた。
- (2) 耐用年数の経過に伴い、メールセキュリティシステム機器（8月）、ファイアウォール機器（8月）及びコアスイッチ等の本庁ネットワーク機器（12月）の更改を行い、ネットワークの安定稼働に寄与することができた。
- (3) 必要な修正プログラムの適用を実施し、セキュリティを確保した。

- 2 公開系ネットワークの運用・管理  
市民等にWebサービスを提供するための公開系ネットワークの保守及び管理運営を行う。また、外部ネットワークからの攻撃に対する監視及び対策を行う。

【成果】

- (1) 公開系ネットワークの安定的な運用により、市民への安定したサービス提供に寄与することができた。（粗大ごみシステム、図書館システム、施設予約システム等）
- (2) 令和3年度において、外部ネットワークからつくば市のネットワークへの不正侵入・攻撃等の件数は約2万1千件であったが、これらに対しセキュリティシステムが有効に機能し、円滑に事務を執行することができた。

事業名：科学技術振興に要する経費

政策イノベーション部 科学技術振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	16	本年	17,213	2,100		297	19,610		15,953	81.4
				前年	15,520		689		16,209	2,100	12,583	90.6
				比較	1,693	2,100	△ 689	297	3,401	△ 2,100	3,370	-
【参考】前々年度					16,491			△ 880	15,611		14,091	90.3
節別支出済額(単位:千円)												
報償費					228	旅費	9	需用費	106	委託料	572	
使用料及び賃借料					265	負担金補助及び交付金	14,773					
概要及び成果												
<p>1 国際戦略総合特区推進事業 組織の垣根を超えた新しい産学官連携の核となる組織（一社）つくばグローバル・イノベーション推進機構（TGI）と連携し、特区プロジェクト等を創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の認知度を高めるため、つくば特区に関する紹介動画を作成し、情報発信を行った。</li> <li>・TGIの技術相談窓口にて50件の相談対応を行い、10件の企業と研究機関等のマッチングを実現した。</li> <li>・市におけるイノベーション創出効果の向上を図るため、TGI事務所をつくば市産業振興センターに移転した。</li> </ul>												
<p>2 Society 5.0社会実装トライアル支援事業 IoTやAIなどの最先端技術による先進的なフィールド実験を全国から公募し、実験場の提供やモニターの確保、費用補助等の支援を行う。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案17件のうち6件の実証実験を採択及び支援した。</li> <li>・各実験成果を市の課題解決に繋げていくために、今年度から各関係部署と連携体制を構築し、実証実験の支援を行った。</li> </ul> <p>&lt;令和3年度採択案件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ点検デジタル化と劣化損傷予測システム開発のための調査（テクノハイウェイ㈱）</li> <li>・農地を「時価評価→リフォーム」するシステムの構築（シンコムアグリテック㈱）</li> <li>・お口を起点に始まるオーラルフレイルから「Frail No More」を実現（歯っぴー㈱）</li> <li>・IoTを活用したインフラ・設備の保守メンテナンス業務のデジタル化（IoTBASE㈱）</li> <li>・VRを用いた市民参加型遺跡のデータドネーションアプリ開発のためのトライアル（筑波大学）</li> <li>・VRを利用した参加型つくば宇宙観光システムの開発~TSUKUBA Virtual Space Challenge~（㈱amulapo）</li> </ul>												
<p>3 市場・市民ニーズ調査事業 実証実験後のアフターフォローとして、実用化の直前あるいは実用化初期段階の支援を通じて、地域課題の解決や未来技術の質の改善を図り、市民生活の向上や地域経済の活性化を目指す。</p> <p>【成果】</p> <p>過去3年間Society 5.0事業をフィールドに実証実験を行ったインターネット投票システムの市民意見収集システムへの応用性調査として「つくば市科学技術・イノベーション振興指針」での市民意見アンケートを行った結果、市内在住在勤者からの505件の回答が即日集計（クロス集計含）でき、非改ざん性及び高い秘匿性の技術的な担保も確認できた。</p>												

## 事業名：つくばイノベーションプラザに要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	17	本年	27,212	2,640			29,852		24,545	82.2
				前年	30,584		2,613		33,197	2,640	26,758	88.6
				比較	△ 3,372	2,640	△ 2,613		△ 3,345	△ 2,640	△ 2,213	-
【参考】前々年度					29,030				29,030		26,602	91.6
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		6,207	役務費		3,115	委託料		7,665	使用料及び賃借料		571	
負担金補助及び交付金		6,979	償還金利息及び割引料		8							
概要及び成果												
<p>1 つくばイノベーションプラザ管理・運営事業 イノベーション創出の支援に関する事業、研究者等の連携又は交流の推進に関する事業、外国人に対する情報の提供に関する事業の実施のために、つくばイノベーションプラザ内に事務所を置く団体との施設使用に関する契約及び関係する調整。 会議室の予約受付、利用許可、貸出し管理。</p> <p>【成果】 イノベーション創出支援の推進を目的として施設内に事務所を置く団体との施設使用に関する契約及び関係する調整を適切に実施することができた。 会議室の利用については、昨年に引き続き、新型コロナウイルスのための緊急事態宣言を受けての休館及び利用自粛の影響で例年に比べ減少した。</p>												
会議室利用実績												
			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
利用件数		件		302	320	989	1,043	944				
利用人数		人		5,426	4,658	19,502	23,592	20,844				
利用料金		千円		1,401	1,965	2,678	3,904	3,560				



事業名：科学の街つくば推進に要する経費

政策イノベーション部 科学技術振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	01	08	18	本年	21,074			△ 297	20,777		17,162	82.6	
				前年	17,302		△ 2,993	△ 60	14,249		12,450	87.4	
				比較	3,772		2,993	△ 237	6,528		4,712	-	
【参考】前々年度				25,087			747	25,834		24,303	94.1		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				494	旅費		773	需用費		254	役務費		104
委託料				12,259	使用料及び賃借料		28	負担金補助及び交付金		3,250			
概要及び成果													
<p>1 市内大学・研究機関等との連携事業 市内各大学・研究機関のそれぞれの特徴を活かしながら、基本協定の締結や連携事業を推進する。</p> <p><b>【成果】</b> 令和3年10月8日に、国立研究開発法人建築研究所と相互協力の促進に関する基本協定を締結した。連携事業の第一弾として、建築研究所が行うドローンを活用した被災状況把握技術開発に関する実証実験において、市消防本部職員からのヒアリングや実証フィールドとして消防訓練棟の提供等の協力を行った。</p>													
<p>2 次代を担う人材育成と科学技術の理解の醸成事業（科学教育推進事業） つくば科学教育マイスター制度や体験型科学教育事業等を通じて科学教育を推進する。 つくばサイエンス・アカデミーと連携し、飛躍的な研究成果が期待できる若手研究者につくば奨励賞を授与する。 科学の甲子園全国大会等の科学イベントを市内で開催する。</p> <p><b>【成果】</b> 市内研究機関のイベント情報や動画発信、研究者への質問受付など、オンラインによる体験型科学教育イベントを行った。イベント参加を通じて研究者がアドバイスした研究内容が、民間の表彰案件で受賞するなど、外部からの評価にも繋がった。</p>													
<p>3 国際科学技術都市「つくば」の推進事業 G7のレガシー継承事業として、科学技術分野への女性の参画拡大や女性人材育成のための事業を実施。ハイレベルフォーラム等の国際会議への参加などを通じてつくばの国際的な認知度向上を図るとともに、国外の都市や研究者との連携・交流を深める。 海外からの視察対応や異業種・異分野間の交流機会を創出する。</p> <p><b>【成果】</b> フランス・グルノーブル市で開催されたハイレベルフォーラムに参加し、つくば市のスマートシティの取組について発表するとともに、「イノベーション・エコシステム：強靱な社会を支える産業再創出のキープレーヤー」をテーマとした議論を行った。また、「つくばで輝く研究者」シリーズを常陽リビングで10回発行し、研究者のロールモデルを発信したほか、つくば女性研究者支援協議会を中心に、女性研究者の研究環境向上の取組について意見交換を行うとともに、「つくば科学技術・イノベーション振興指針（第3期）」の重要施策の1つとしても位置付けた。</p>													

## 事業名：ロボットの街つくば推進に要する経費

政策イノベーション部 科学技術振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
02	01	08	19	本年	5,594				5,594		4,804	85.9		
				前年	9,954		48,943	160	59,057		58,139	98.4		
				比較	△ 4,360		△ 48,943	△ 160	△ 53,463		△ 53,335	-		
【参考】前々年度					10,313		△ 580	△ 299	9,434		7,980	84.6		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					360	旅費		1	需用費		150	役務費		172
負担金補助及び交付金					4,121									
概要及び成果														
<p>1 ロボットの街つくば推進事業  搭乗型移動支援ロボットに関する実証実験やつくばチャレンジ等のロボット実験を通じて、国に規制緩和を要望していくなど、ロボットの実利用環境の構築及び社会実装を推進する。  国のMaaS (Mobility as a Service) の取組との連携や他自治体、大学、民間事業者等との新たな連携など、次世代モビリティの社会実装に係る取組を推進する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察庁「多様な交通主体の交通ルール等の在り方に関する有識者検討会」に自治体からは唯一市長が委員として参加し、これまでのモビリティロボットの取組結果を踏まえた市の意見について、最終報告書の電動モビリティの新たな交通ルールの考え方に盛り込まれた。</li> <li>・移動ロボットを自律走行させる技術チャレンジ「つくばチャレンジ2021」を開催し、実利用環境での走行実証を実施した。</li> </ul>														

## 事業名：スマートシティ推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	01	08	20	本年	5,341				5,341		5,099	95.5	
				前年									
				比較	5,341				5,341		5,099	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
報酬				1,280	旅費		56	需用費		106	役務費		18
委託料				285	使用料及び賃借料		30	備品購入費		323	負担金補助及び交付金		3,000
概要及び成果													
<p>1 スマートシティの推進 国が進めるスマートシティ、スーパーシティ構想等の枠組みを最大限活用することで規制緩和を図り、大学・研究機関、企業等が持つ革新的技術と多様なデータ連携による新しいサービスの社会実装を推進する。具体的には、AI、IoT、ロボティクス、CASE、MaaS、ブロックチェーンといった先端技術を活用し、次世代モビリティサービス、多言語情報ポータルサイト、IoTゴミ収集サービス、ネット投票などの地域課題の解決に資するサービスを展開する。</p> <p>【成果】 スマートシティ化に向けた産学官の連携による取組として、つくばスマートシティ協議会の5つの分科会活動や移動分野の実証などを実施した。 内閣府のスーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に係る公募に「つくばスーパーサイエンスシティ構想」の提案を行い、つくば市が当該区域として指定されることになった。</p>													
<p>2 デジタル情報プラットフォームの導入による地域との連携推進 国が進めるスマートシティ、スーパーシティ構想等の枠組みを最大限活用することで、様々なデータを分野横断的に収集・整理し提供する「デジタル情報プラットフォーム」(データ連携基盤、都市OS)を構築し、産学官民が連携し活用することで、市民等に様々なサービスを提供する。</p> <p>【成果】 つくばスマートシティ協議会の行政サービス分科会において、スマートシティアプリ「つくスマ」の整備を行った。また、データ連携分科会において、オープンデータのデータ連携を行う情報連携システムの構築を行った。</p>													

事業名：SDGs推進に要する経費

政策イノベーション部 持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	21	本年	4,892				4,892		4,675	95.6
				前年	5,264		△ 226		5,038		4,766	94.6
				比較	△ 372		226		△ 146		△ 91	-
【参考】前々年度				4,421			△ 3,138	1,283		1,086	84.6	
節別支出済額(単位:千円)												
報償費				36	需用費		88	委託料		4,550		
概要及び成果												
<p>1 SDGs未来都市事業 つくば市は平成30年(2018年)6月に国からSDGs未来都市に選定された。SDGs未来都市として、社会・経済・環境の3側面が相乗的に発展する持続可能都市を目指し、つくば市SDGs未来都市計画の進捗管理を行う。</p> <p>【成果】 つくば市SDGs未来都市計画の当初計画(計画期間2018年~2020年)について、2020年度までの総括評価として、内閣府による有識者のヒアリングを受け、次期計画(計画期間2021年~2023年)における取組方針が明確になった。</p>												
<p>2 つくばSDGsパートナー講座 課題を自ら見つけ、その解決策を検討し、実行に移していく「つくばSDGsパートナーズ」の会員を認定するため、つくばSDGsパートナー講座を開催する。 講座では、SDGsの17ゴールに関する取組について、学識経験者やNPO等の市民活動団体からの講義を受け、自らが活動していくためのきっかけづくりを行っていく。</p> <p>【成果】 オンラインでの講座を6月、7月、11月、2月と4回開催し、参加者への事後アンケートで講座の満足度が「非常に満足」「やや満足」と合わせて85.9%となっており、高い評価を得ることができた。個人会員390名、団体会員125団体。(令和4年3月31日時点)</p>												
<p>3 社会課題解決型ワークショップ「SDGsTRY」事業 ワークショップを開催し、本市の課題を自ら見つけ、その解決策を検討し、実行に移していくことを目指す。地域の課題解決や活性化に貢献し、持続可能なまちづくりを進めていく人材が育つ環境づくりを行うため、これから活動を始めるに当たって参考となる有識者からの講演や課題の現場における意見を取り入れる機会をつくるための交流イベント等を開催することで、市民への波及効果を図る。</p> <p>【成果】 オンラインでのワークショップを4回実施し、SDGsの17ゴールと地域課題とを結びつけた具体的な活動につなげた。令和3年度は、つくばSDGsパートナーズ団体会員の参加によって活動の幅を広げるとともに、小学生~高校生の若い世代が参加したことにより、SNSを使用した取組の紹介につながった。</p>												

## (政策イノベーション部 オリンピック・パラリンピック推進室)

## 事業名：オリンピック・パラリンピックに要する経費

## 政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)	
02	01	08	22	本年	35,487		△ 21,717	△ 4,468	9,302		9,297	99.9	
				前年	11,394		△ 6,363	△ 900	4,131	124	3.0		
				比較	24,093		△ 15,354	△ 3,568	5,171	9,173	-		
【参考】前々年度				3,648				3,648		2,044	56.0		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				135	旅費		0	需用費		324	役務費		54
委託料				3,600	使用料及び賃借料		5,185						
概要及び成果													
<p>1 東京オリンピック・パラリンピック関連事業 東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催に関連する事業を、関係団体と連携して実施するとともに、市民へのPRを通して大会の開催機運を高める。</p> <p>【成果】 聖火リレーとセレブレーション（聖火の到着を祝う式典）では、市内中学校等から選出した19名の中学生がサポートランナーとして参加し、イベントを盛り上げた。（実施日:令和3年7月5日） スイスオリンピック協会の事前キャンプでは、筑波大学や茨城県と協力し、マウンテンバイク、柔道及び陸上競技の3種目で52名の選手団（選手31名、スタッフ21名）を受け入れた。事前キャンプの実施に当たっては、国や大会組織委員会が示した感染症対策指針を遵守しながら行い、関係者の新型コロナウイルスへの感染や事故が無く終了することができた。（実施期間:令和3年7月13日～8月2日）</p>													

## 事業名：電子情報システムの管理に要する経費

## 政策イノベーション部 情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)	
02	01	09	11	本年	201,623		△ 2,665	△ 326	198,632		197,922	99.6	
				前年	195,396		△ 10,733		184,663	183,757	99.5		
				比較	6,227		8,068	△ 326	13,969	14,165	-		
【参考】前々年度				164,043		△ 1,906		162,137		161,720	99.7		
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				735	役務費		69	委託料		32,168	使用料及び賃借料		164,857
備品購入費				93									
概要及び成果													
<p>1 庁内グループウェアの運用・管理 庁内グループウェアの導入により、約200施設をネットワークで結び、約30のシステム(掲示板、スケジュール、行事予定表、予約、個人・課メール、職員名簿、電子書庫、文書管理、電子決裁、休暇等請求・時間外申請、出退勤管理等)の円滑な運用・管理を行う。</p> <p>【成果】 庁内グループウェアの安定した運用・管理により、事務の停滞を防ぐことができた。</p> <p>2 LGWAN接続系パソコン及びインターネット接続系パソコンの運用・管理 庁舎内及び出先施設で使用しているLGWAN接続系パソコン約1,650台、インターネット接続系パソコン230台及びシステムの運用・管理を行う。</p> <p>【成果】 (1)耐用年数の経過に伴い、2月に庁内インターネット接続系パソコン200台及び仮想インターネット環境の更改を行い、職員が利用するパソコンの安定稼働に寄与することができた。 (2)利用するパソコンに係る脆弱性のうち対象となるものについて修正プログラムの適用を実施し、セキュリティを確保した。 (3)パソコン等の不具合に対して迅速に対応し、事務の停滞を防ぐことができた。</p>													

事業名：基幹電算業務の運営に要する経費

政策イノベーション部 情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	01	10	11	本年	363,877		△ 1,590	△ 2,556	359,731		359,217	99.9	
				前年	353,346		△ 6,190		347,156		346,609	99.8	
				比較	10,531		4,600	△ 2,556	12,575		12,608	-	
【参考】前々年度				342,799		△ 6,269		336,530		336,115	99.9		
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				816	役員費		5,011	委託料		293,731	使用料及び賃借料		54,104
負担金補助及び交付金				5,555									
概要及び成果													
<p>1 基幹電算システムの安定した運用・管理                      基幹電算業務に使用するシステムについて、法改正への対応及びカスタマイズ等により、適正なシステムの提供と業務の効率化を図るとともに、メンテナンスや機器監視を行いトラブルによる停止回数を減らし安定した運用を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 耐用年数の経過に伴い、基幹系仮想化サーバ機器（7月）の更改を行い、より安定したシステム稼働及び運用負荷の低減に寄与することができた。</p> <p>(2) 年間を通して、大きなトラブルなく基幹電算システムを運用することができた。また、制度等の改正に対して、機能追加やカスタマイズ等を行うことで、安定した市民サービスの提供に貢献することができた。</p> <p>(3) 基幹系パソコン及びシステムを利用する際の生体認証を徹底し、ユーザの権限を必要最低限とすることで、データの保護に寄与することができた。</p>													
<p>2 基幹系パソコンの運用・管理                      庁舎内及び出先施設で使用している基幹系パソコン約500台及びシステムの運用・管理を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 利用するパソコンに係る脆弱性のうち対象となるものについて修正プログラムの適用を実施し、セキュリティを確保した。</p> <p>(2) パソコン等の不具合に対して迅速に対応し、事務の停滞を防ぐことができた。</p>													

事業名： オンブズマン事務に要する経費

オンブズマン事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	11	11	本年	2,345				2,345		2,194	93.6
				前年	2,355		△ 33		2,322		2,113	91.0
				比較	△ 10		33		23		81	-
【参考】前々年度					2,353				2,353		2,213	94.1

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,960	旅費	98	需用費	52	役務費	84
----	-------	----	----	-----	----	-----	----

概要及び成果

1 オンブズマン事務

2名のオンブズマンが交代で月4回の定例相談日を設け、苦情申立や相談に対応する。

苦情申立に対して、申立人及び市の関係機関への調査を行い、その調査結果を申立人及び市の関係機関へ通知する。

必要に応じて市の関係機関へ勧告・提言等を行う。

【成果】

苦情申立案件3件（前年度1件）、苦情申立書によらないオンブズマン相談3件（前年度3件）、事務局処理案件10件（前年度12件）でした。

つくば市ホームページ、広報つくばによる制度の周知と作成した活動状況報告書を各公共施設に配布し、閲覧できるようにした。

苦情申立、相談の受付、処理状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
苦情申立書によるもの	件	3	1	0	2	10
苦情申立書によらないオンブズマン相談	件	3	3	3	4	4
事務局への相談	件	10	12	13	7	10
合計	件	16	16	16	13	24

苦情申立書によるものの処理結果

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
1 処理したもの	件	3	1	0	2	8
①改善するよう勧告・提言したもの	件	1	0	0	1	2
②改善に向けて意見をしたもの	件	0	1	0	0	3
③申立を棄却したもの	件	0	0	0	1	1
④申立を却下したもの	件	2	0	0	0	2
2 取り下げられたもの	件	(1)	0	0	0	2
3 次年度へ繰り越したものの	件	0	0	0	0	0
合計	件	3	1	0	2	10

( )は苦情申立内容の一部を取り下げたもの

※主な内容

- ・介護保険、総合事業について
- ・オンブズマン事務局員への苦情について
- ・学校徴収金について

※改善された主なもの

総合事業対象者確認票(チェックシート)の改善を要望し、改定が行われた。

※活動状況の報告

令和3年度つくば市オンブズマン活動状況報告書を作成し、市長、議会に報告、市民への公表を行う。

事業名：自衛官募集事務に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	12	11	本年	285			△ 90	195		190	97.4
				前年	321		△ 121		200		191	95.7
				比較	△ 36		121	△ 90	△ 5		△ 1	-
【参考】前々年度				197				197		197	99.9	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		172	負担金補助及び交付金	18								
概要及び成果												
<p>1 自衛官募集事務 自衛隊地方協力本部、自衛官募集相談員、協力団体等と連携し、自衛官募集に関する広報活動を実施する。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)市広報紙への自衛官募集案内の掲載9回（令和3年4、7、8、9、10、11、12月号、令和4年2、3月号）</p> <p>(2)自衛隊協力会役員会及び総会の実施（コロナウイルスの影響により書面開催（6月））</p> <p>(3)自衛官募集の広報活動（自衛官募集啓発品の作成・配布）</p> <p>(4)自衛官募集の横断幕設置（市内歩道橋4か所7月5日～9月3日）</p>												



事業名：若者地域定着化促進に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	13	11	本年	17,350				17,350		16,962	97.8
				前年	14,650				14,650		5,916	40.4
				比較	2,700				2,700		11,046	-
【参考】前々年度					9,350				9,350		9,334	99.8

節別支出済額(単位:千円)

委託料	16,962
-----	--------

概要及び成果

- 1 若者地域定着加速化事業  
 ・市内中小企業の魅力向上や企業と若者(35歳以下)のマッチングを目的とした就活支援事業を実施する。  
 ・就職だけでなく創業という選択肢を示し、創業による市内定着を目的として、市が店舗を短期的に提供するチャレンジショップ事業を実施する。

【成果】

- ・就活支援事業は、セミナー(就活応援セミナー、採用力向上セミナー)や就活支援イベント(就職フェア)を開催することで、市内中小企業と求職者とのマッチングの機会を提供することができた。
- ・チャレンジショップ事業は、創業希望者に対して必要な備品や出店場所を提供し、試行的に店舗運営を実施することで、若者の市内での本格創業に対する意欲を促進することができた。

就活応援セミナー(求職者が就職活動の進め方や効果的なテクニック等を専門家から習得するセミナー)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施日		10月29日～動画配信	11月9日～動画配信	12月21日	12月15日	8月18日
実施場所		オンライン	オンライン	つくば市役所	つくば市役所	オークラフロンティアホテル
参加者数	人	24	194※1	54	42	47

採用力向上セミナー(企業が採用戦略の考え方や採用手法を向上させる技術を習得するセミナー)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施日		10月19日※2	11月10日※2	11月28日	12月15日	-
参加企業数	社	45	35	65	記録なし	-
参加者数	人	90	39	82	54	-

インターンシップ活用セミナー(企業がインターンシップ制度を活用した採用方法を習得するセミナー)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施日		10月19日※2	2月25日※2	-	-	-
参加企業数	社	45	6	-	-	-
参加者数	人	90	10	-	-	-

就活支援イベント(市内中小企業の魅力向上と若者のマッチングを目的としたイベント)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施日		12月4日※2	12月5日※2	12月21日	12月15日	9月23日
参加企業数	社	44	34	39	50	35
参加者数	人	136	194※1	83	75	72
マッチング数	件	609	709	220	174	186
内定者数	人	4	2	4	8	17

チャレンジショップの運営(創業希望者を支援するための試行型店舗の運営)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
出店数		5店舗	-	2店舗	-	-
出店期間		3日～3か月	-	2週間	-	-

※1 対象者を若者に限定せずに開催

※2 オンライン開催

事業名：固定資産評価審査委員会に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
02	02	01	11	本年	1,204				1,204		191	15.8																					
				前年	962		△ 90		872		114	13.1																					
				比較	242		90		332		77	-																					
【参考】前々年度					962				962		287	29.8																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
報酬				151	旅費		36		需用費		4																						
概要及び成果																																	
<p>1 固定資産評価審査委員会            審査の申出を受けたときは、つくば市固定資産評価審査委員会において合議体を形成し、必要と認める事実審査・調査を行い、審査の決定を行う。            決定のあった日から10日以内に審査申出人及び市長あてに文書で決定内容を通知する。</p> <p>【成果】            中立・専門的な立場から慎重に審査及び決定を行い、納税者の権利を保護するとともに、固定資産評価の客観的な合理性を担保できた。</p> <p>審査・決定する審査会（合議体）の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査申出</td> <td>件</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>審査会開催</td> <td>回</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	審査申出	件	2	1	2	1	3	審査会開催	回	6	3	7	6	17
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
審査申出	件	2	1	2	1	3																											
審査会開催	回	6	3	7	6	17																											

事業名：税務事務に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	02	01	12	本年	684				684		529	77.4														
				前年	798				798		558	69.9														
				比較	△ 114				△ 114		△ 29	-														
【参考】前々年度					863				863		780	90.4														
節別支出済額(単位:千円)																										
需用費				409	負担金補助及び交付金		120																			
概要及び成果																										
<p>1 市税の証明事務            納税証明申請書を受理            申請人の本人確認や権限確認            申請内容を精査し、証明書を作成            手数料を徴収し、証明書及びレシートを交付</p> <p>【成果】            市税等の納税関係証明書の申請受付・発行にあたり、概要にあるとおり適正に処理を行うことで、市民サービスの向上に寄与した。また、各課が行っている補助金交付等の事業で、市税等の滞納がないことが条件となっているものについて、各課からの滞納状況調査に適切に回答し、各種補助金の適正な支出を担保することができた。</p> <p>納税証明書の発行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各年度の発行件数</td> <td>件</td> <td>4,104</td> <td>4,454</td> <td>4,403</td> <td>4,307</td> <td>4,222</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	各年度の発行件数	件	4,104	4,454	4,403	4,307	4,222
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
各年度の発行件数	件	4,104	4,454	4,403	4,307	4,222																				

事業名：資産税賦課に要する経費

財務部 資産税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	02	02	11	本年	88,909				88,909		83,442	93.9														
				前年	95,033	1	△ 3,868		91,166		90,068	98.8														
				比較	△ 6,124	△ 1	3,868		△ 2,257		△ 6,626	-														
【参考】前々年度				126,646	1			126,647	1	125,198	98.9															
節別支出済額(単位:千円)																										
需用費		1,230		役務費		8,006		委託料		71,843		使用料及び賃借料	2,119													
備品購入費		84		負担金補助及び交付金		160																				
概要及び成果																										
<p>1 土地に係る事務</p> <p>土地の地目変更等の異動に応じて、その土地の条件を考慮しながら適正な価格を決定する。          委託業務（土地評価支援業務・固定資産地図情報システム保守管理業務）          評価替えに向けて、標準宅地の不動産鑑定を行う。また、地価下落に伴う時点修正の不動産鑑定を行い、価格変動を把握し適正な価格に修正する。</p> <p>【成果】          経験年数にとらわれることなくチェック作業を行い、係内でサポート体制を充実させることにより、職員間の時間外勤務時間の偏りの解消に向け取り組むことができた。</p> <p>土地課税台帳の異動処理</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処理件数</td> <td>件</td> <td>約22,500</td> <td>約22,900</td> <td>約22,300</td> <td>約25,600</td> <td>約22,570</td> </tr> </tbody> </table> <p>法務局からの通知…約19,700件、農地法関連…約1,800件、区画整理地の台帳整備…約600件          現況調査約400件</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	処理件数	件	約22,500	約22,900	約22,300	約25,600	約22,570
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
処理件数	件	約22,500	約22,900	約22,300	約25,600	約22,570																				
<p>2 固定資産税の賦課に係る共通事務</p> <p>納税義務者の管理を的確に行い、正しい課税（納税通知の発送）を行う。          固定資産税及び都市計画税の事務について、必要な調査・企画・連絡等の事務を行うとともに各種研修に参加する。</p> <p>【成果】          令和4年度の課税に向けて、被相続人の相続人代表者を設定させ、死亡者に対する課税を回避することができた。また、課税保留処分をしていた件について、資産を使用する者を探索し、その者を納税義務者に設定することができ令和4年度に向けた適切な課税を行うことができた。</p> <p>固定資産税の推移</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納税義務者数</td> <td>人</td> <td>88,168</td> <td>86,981</td> <td>85,759</td> <td>84,346</td> <td>82,585</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	納税義務者数	人	88,168	86,981	85,759	84,346	82,585
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
納税義務者数	人	88,168	86,981	85,759	84,346	82,585																				
<p>3 都市計画税の賦課に関する事務</p> <p>市街化調整区域内にあっては上下水道業務課より、下水道供用開始図面・区域外流入データ・受益者負担金データ等の情報を得て、精査し次年度賦課対象区域を選定する。賦課データは固定資産税課税システムに入力するとともに、固定資産地図情報システムに反映させその後の管理事務に活用する。</p> <p>【成果】          上下水道業務課との連絡・調整を行ったことにより、適正に課税されていることを確認できた。          また、令和2年中に個別に下水道が供用開始となった区域について新たに課税した。</p> <p>都市計画税納税義務者推移</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納税義務者数</td> <td>人</td> <td>73,103</td> <td>71,756</td> <td>70,294</td> <td>68,421</td> <td>66,338</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	納税義務者数	人	73,103	71,756	70,294	68,421	66,338
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
納税義務者数	人	73,103	71,756	70,294	68,421	66,338																				

#### 4 家屋に係る事務

建築確認申請概要書及び市内巡回確認により家屋調査台帳を作成し、完成した家屋の調査を実施する。

##### 【成果】

1,889棟の家屋について、家屋課税台帳の登録を行い、それによって財源を確保した。

評価要領に基づき、1,889棟の内、1,374棟を比準による評価を実施した。

##### 新築家屋の評価

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
評価件数	件	1,889	1,886	2,020	2,142	2,145

##### 課税漏れ家屋の調査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
課税漏れ件数	件	56	47	48	70	42

##### 現況調査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
現況件数	件	77	57	60	98	70

#### 5 償却資産に係る事務

償却資産については、納税義務者からの申告書が課税事務における基礎資料となるため、調査等により申告内容が正確であるかを確認する。未申告事業者については、申告書の催告依頼や申告指導等を行う。

##### 【成果】

実地調査は新型コロナウイルス感染症の影響により見送ったが、未申告事業者や過年度申告漏れ事業者等への申告指導を行うことができた。

##### 償却資産の申告件数及び実地調査件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申告件数	件	7,978	7,702	7,489	7,473	7,008
実地調査件数	件	-	-	218	226	198

#### 6 固定資産税証明事務

固定資産課税台帳及び固定資産補充課税台帳に登録された証明書の交付を行う。

##### 【成果】

窓口及び郵送により固定資産評価証明等の申請を受付して証明書を交付した。

個人及び様々な機関からの申請に対して、正確かつ適正に証明書を交付することができた。

1月2日以降に異動があったものについても、迅速に処理し交付することができた。

##### 固定資産税証明発行件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
証明発行数	件	約16,500	約17,000	約19,000	約12,000	約11,000

事業名： 市民税賦課に要する経費

財務部 市民税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	02	12	本年	56,465		8,994		65,459		59,761	91.3
				前年	56,593		7,160		63,753		60,578	95.0
				比較	△ 128		1,834		1,706		△ 817	-
【参考】前々年度					55,827				55,827		50,114	89.8

節別支出済額(単位:千円)

旅費	3	需用費	4,835	役務費	25,592	委託料	21,493
使用料及び賃借料	205	備品購入費	445	負担金補助及び交付金	7,189		

概要及び成果

1 個人市民税賦課事務

住民税申告書、給与支払報告書等の課税資料を基に、個人市民税に係る納税義務者及びその者の所得等を把握し、個人市民税を公平・公正に課税する事務を行う。

【成果】

公平かつ適正な課税を行い、歳入の確保ができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
給与・公的年金支払報告書の受付件数	件	286,387	273,935	266,865	235,769	229,740
eLTAXでのデータ受信件数	件	208,890	187,922	160,284	156,346	149,799
期間前申告相談(2/1~2/10)	件	1,762	1,825	1,266	1,223	1,329
申告相談(2/16~3/15)	件	6,200	5,909	7,666	9,787	9,635
確定申告自主作成(PC)コーナー	件	-	-	1,741	2,445	2,784
確定申告自主作成(預かり分)	件	-	-	2,966	3,909	3,965
未申告相談受付	件	95	112	74	204	259
扶養控除の是正事務(控除是正対象者)	件	1,348	1,258	981	1,023	993
公的年金特別徴収対象者数	人	43,227	42,318	41,525	40,635	39,279
公的年金からの徴収者数	人	13,961	13,356	12,883	12,432	11,988
指定事業所数	社	19,311	16,625	16,284	15,760	15,308
特別徴収対象者数	人	101,340	88,298	85,816	83,128	80,673

2 諸税賦課事務

軽自動車等の所有者を把握し、軽自動車税(種別割)を課税する。  
軽自動車(4輪)の新規登録の際に県が賦課して納入する軽自動車税(環境性能割)を確保する。  
鉱泉浴場経営者は、宿泊利用者から入湯税を徴収し、市へ納付する。  
たばこの卸売販売業者等は、小売卸売業者へ売り渡したたばこの本数に税率を乗じた税額を申告し、市へ納付する。

【成果】

公平かつ適正な課税を行い、歳入の確保ができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
軽自動車等の登録台数	台	73,868	72,304	71,669	70,153	68,992
新規・廃車及び名義変更等届出数	件	27,994	27,941	28,387	28,209	27,448

3 法人市民税賦課事務

つくば市内に事業所がある法人からの法人市民税申告、納付情報を把握し、法人市民税を課税する。  
未申告法人の実態調査や県税事務所、税務署等の税務機関からの課税資料を基に、税の決定・更正等を行う。

【成果】

公平かつ適正な課税を行い、歳入の確保ができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
法人市民税申告書の受付件数	件	10,844	10,565	10,291	10,451	10,136
eLTAXでの電子申告件数	件	8,324	7,882	7,328	7,147	6,513

#### 4 市民税証明事務

個人及び市区町村等の行政関係機関より依頼のあった個人の住民税（市民税及び県民税）に関する証明（課税証明書、非課税証明書等）について、市民税課の窓口若しくは郵送で交付を行う。  
軽自動車税及び法人市民税に関する証明についても、請求の都度同様に交付を行う。

##### 【成果】

窓口及び郵送により個人住民税に係る証明等の申請を受理し、証明書を交付した。  
個人及び法人、行政機関等からの申請に対して、正確かつ適正に遅滞なく証明書を交付した。  
証明書の年度切替時（6月1日）以降の申請においても、新旧年度のそれぞれの証明書も正確かつ適正に交付した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
諸証明書交付件数	件	9,499	13,310	13,755	15,342	15,277

#### 5 租税教育推進のための租税教室事務

小学校を対象とした租税教室の開催（財務部職員が講師として市内各学校に出向）や税に関する作文コンクールの表彰式の出席など。

##### 【成果】

租税教育推進協議会の事業による租税教室を市内の小学校（6年生を対象）で実施。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
租税教室実施校数	校	7	-	8	7	6

事業名：市税徴収に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	03	11	本年	252,438			363	252,801		216,715	85.7
				前年	254,166		76,428		330,594		290,494	87.9
				比較	△ 1,728		△ 76,428	363	△ 77,793		△ 73,779	-
【参考】前々年度				261,515				261,515		222,095	84.9	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	9	需用費	4,477	役務費	28,408	委託料	2,913
使用料及び賃借料	1,269	備品購入費	634	負担金補助及び交付金	13,547	償還金利子及び割引料	165,459

概要及び成果

1 徴収業務

年間を通して計画的な文書催告の実施

滞納整理を行うにあたり、滞納者の資産状況等に応じて滞納処分や生活困窮者への緩和措置を実施

市税の整合確認、還付・充当処理による過誤納金の整理

年度初・末における決算収納・調定管理、納税の利便性の拡充が見込める施策の検討

【成果】

地区分担制にし滞納者全体を割り振り、案件すべてに整理方針を立て実施したことで滞納者数の圧縮に一定の効果が見られた。徴収率は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、令和2年度比0.6%増の97.5%となった。滞納者への督促及び催告業務も適正に実施できた。また、差押不動産を周辺市町との合同公売、市単独公売により換価し、滞納額の圧縮につなげた。

新規滞納者及び累積滞納者への催告

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一斉催告回数	回	7	7	9	10	10
一斉催告件数	件	75,536	68,219	91,776	101,324	99,263
随時催告回数	回	48	46	35	43	75
随時催告件数	件	2,445	1,599	2,022	1,589	1,664
合計回数	回	55	53	44	53	85
合計件数	件	77,981	69,818	93,798	102,913	100,927

差押件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
差押	件	582	243	447	402	437
参加差押	件	14	33	27	27	12
合計	件	596	276	474	429	449

公売（売却件数）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
売却件数	件	5	9	7	11	6
動産	件	0	0	0	10	0

茨城租税債権管理機構への移管（※移管額及び徴収金は本税のみの金額）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
移管件数	件	56	73	73	70	70
移管額	千円	115,245	108,230	163,450	124,420	194,084
徴収金	千円	89,894	65,609	59,394	66,718	187,068
市負担金	千円	12,622	16,308	27,871	24,110	19,087

口座振替新規登録件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新規登録件数	件	2,231	2,278	2,674	2,922	2,927

## 市税還付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
還付件数	件	1,620	1,953	1,942	1,983	2,402
還付額	千円	165,445	236,754	157,173	142,049	315,474



事業名：戸籍住民基本台帳事務に要する経費

市民部 市民窓口課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	11	本年	69,478	32,344	21,526		123,348	2,222	116,009	95.9
				前年	47,993		47,230		95,223	32,344	51,252	87.8
				比較	21,485	32,344	△ 25,704		28,125	△ 30,122	64,757	-
【参考】前々年度					76,145		34,634		110,779		79,561	71.8

節別支出済額(単位:千円)

旅費	4	需用費	6,671	役務費	9,609	委託料	77,820
使用料及び賃借料	11,487	工事請負費	611	備品購入費	5,010	負担金補助及び交付金	4,797

概要及び成果

1 戸籍事務

戸籍届出の受理と戸籍の記載、関係市区町村への通知、人口動態統計、相続税法第58条通知、戸籍関係証明書の交付、身上調査照会及び犯歴に係る事務を執行する。

【成果】

- (1) 戸籍事務の適正な処理を通して、国籍・親族的身分関係の登録・公証を行うことができた。
- (2) 戸籍事務へマイナンバー制度を導入するため、戸籍副本データ全件送信を実施した。
- (3) マイナンバー制度に基づく情報連携の準備作業として、戸籍附票への住民票コード初期紐づけを実施した。
- (4) 戸籍情報システムの安定稼働のため、サーバをクラウドに移行し、システム機器を更新した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
戸籍届出事件数	件	9,706	9,634	10,193	9,834	10,051

2 住民基本台帳事務

住民の住所に関する届出等を受理し、住民基本台帳を整備することで、住民に関する正確な記録を行う。

【成果】

- (1) 【書かない窓口】届出書をスマホで事前に作成し、窓口での申請書記入が不要になるシステムの運用を開始した（令和3年10月開始）。
- (2) 【待たない窓口】住民異動繁忙期において、発券番号呼出システムを有効活用した来庁者の待機場所の分散化、フロア案内係の適正配置などにより、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、快適な窓口づくりに取り組んだ。
- (3) 【行かない窓口】オンライン転出届出の利便性が認知され、利用件数が大きく増加した。
- (4) 日中来庁できない住民への対応として、木曜延長窓口サービスを実施した。
- (5) 郵送届出勧奨などの感染防止対策を実施し、住民が安心して届出できる窓口を維持した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
住民異動届出件数	件	29,109	29,562	29,881	31,685	29,769
オンライン転出届出件数	件	1,084	294	-	-	-
木曜延長窓口取扱事務件数	件	4,557	4,870	6,395	6,302	6,463
書かない窓口利用件数	件	713	-	-	-	-

3 証明書交付事務

住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書の交付事務や臨時運行許可事務、市民の利便性向上のための木曜延長窓口、土・日曜開庁窓口業務を行っている。

【成果】

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員と市民の金銭の授受による接触機会を低減させるセミセルフレジを導入した。（令和4年2月開始）
- (2) スマホを利用した戸籍証明書のオンライン申請を開始した。（令和3年9月開始）
- (3) コンビニ交付サービスで、戸籍証明書を追加した。（令和4年3月開始）
- (4) 平日に来庁できない住民への対応として、土・日曜開庁窓口サービスを実施した。
- (5) コンビニ交付サービス、スマホを利用した証明書のオンライン申請の周知を積極的に実施し、利用件数を増加させた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
住民票の写し等交付件数 ※1	件	126,078	132,439	144,454	141,513	155,043
戸籍証明書等交付件数	件	47,024	49,656	61,570	49,082	50,819
印鑑登録証明書交付件数 ※1	件	55,822	54,161	72,886	72,698	78,959
印鑑登録件数	件	10,083	10,133	11,384	10,814	10,937
コンビニ交付件数 ※2	件	48,675	27,462	17,069	12,805	10,271
臨時運行許可件数	件	2,016	1,975	2,027	1,986	2,023
土・日曜開庁窓口取扱事務件数	件	18,277	16,660	22,072	22,100	22,454
庁舎内証明書発行機交付件数 ※3	件	3,128	2,402	842	-	-

※1 平成29年度まではコンビニ交付件数を含む

※2 税証明書・庁舎内証明書発行機交付件数を除く

※3 税証明書交付件数を含む

※ 各取扱件数は窓口センター分を含む。

#### 4 窓口センター事務

住民異動届の受理、住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍証明書等の交付及び臨時運行許可事務、マイナンバーカード申請補助・交付などの事務を行う。

市税等の収納、被保険者証の交付、その他本庁各担当課への取次ぎを行う。

##### 【成果】

地域住民の身近な窓口として幅広い行政サービスを行い、丁寧で正確な事務処理を行うことにより、市民の利便性を向上させた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
マイナンバーカード交付件数	件	2,535	1,596	-	-	-

令和元年度以前は集計なし。

#### 5 出張所での証明書交付事務

市内5か所の地域交流センターに出張所を設置し、住民票の写し、戸籍証明書、印鑑登録証明書等を交付する。

##### 【成果】

住民票の写し等は4,071件、戸籍証明書等は1,113件、印鑑登録証明書は3,249件交付した。

事業名：住居表示に要する経費

市民部 市民窓口課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	12	本年	170				170		76	44.8
				前年	198				198		21	10.7
				比較	△ 28				△ 28		55	-
【参考】前々年度				88				88		79	89.8	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				5	委託料				72			
概要及び成果												
<p>1 住居表示事務事業</p> <p>住所の周知と道案内の機能を併せ持つ街区案内板の維持管理や「住所の表示の変更証明書」の交付を行うことで、住所の表示の複雑さを緩和し、日常生活の利便性を高める。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)街区案内板設置状況の点検と清掃を実施した。</p> <p>(2)「住所の表示の変更証明書」の交付により、住民の各種変更手続に寄与した。</p>												
街区案内板の維持管理												
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度			
修繕件数				件	0	0	0	0	13			
設置件数				件	0	0	0	0	5			
点検件数				件	80	80	82	84	79			
清掃件数				件	80	80	82	55	32			
撤去件数				件	2	0	3	2	0			
住所の表示の変更証明書												
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度			
交付件数(市民窓口課分)				件	196	189	187	731	299			

事業名：旅券事務に要する経費

市民部 市民窓口課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	13	本年	7,080				7,080		5,006	70.7
				前年	9,073				9,073		5,121	56.4
				比較	△ 1,993				△ 1,993		△ 115	-
【参考】前々年度					8,564				8,564		6,379	74.5

節別支出済額(単位:千円)

報酬	4,157	職員手当等	450	旅費	156	需用費	45
使用料及び賃借料	185	備品購入費	12				

概要及び成果

1 旅券（パスポート）事務

一般旅券の発給申請、変更申請、増補申請、紛失届等を受付・審査し、茨城県に送付するとともに、作成されたパスポートを交付する。

【成果】

令和2年度に引続き、新型コロナウイルス感染症の影響により申請件数は、ほぼ前年度同様だった。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
10年用パスポート発給申請	件	1,025	1,064	6,049	6,358	5,785
5年用パスポート発給申請	件	309	273	2,828	2,876	2,836
子供(12歳未満)パスポート発給申請	件	159	92	1,135	1,174	1,059
記載事項変更申請	件	45	46	276	315	315
増補申請	件	3	5	41	55	60
申請件数合計	件	1,541	1,480	10,329	10,778	10,055
紛失届	件	11	15	91	99	114

令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、申請件数が減少している。

事業名：個人番号カード事務に要する経費

市民部 市民窓口課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	14	本年	239,573	12,100	△ 22,314		229,359		156,053	68.0
				前年	194,210		18,589		212,799	12,100	137,968	70.5
				比較	45,363	12,100	△ 40,903		16,560	△ 12,100	18,085	-
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

報酬	24,709	職員手当等	2,692	報償費	11	旅費	1,404
需用費	2,197	役務費	29,103	委託料	3,940	使用料及び賃借料	3,205
備品購入費	12,296	負担金補助及び交付金	76,498				

概要及び成果

1 マイナンバーカード事務

マイナンバー制度の根幹となるマイナンバーの通知、マイナンバーカードの交付事務などを行う。

【成果】

- (1) マイナポイント等による交付件数の増加に対応するため、マイナンバーカード取扱窓口の拡張、マイナンバーカード申請サポートシステムの導入、人材派遣の活用などによる対応スタッフの増員、マイナンバーカード交付予約システムの導入などを実施し、円滑な交付体制を拡充した。
- (2) マイナンバーカード交付件数の増加により、オンライン申請環境の充実、コンビニ交付サービスの利用機会拡大など、個人のライフスタイルに合わせて手続きができるデジタル窓口の推進につながった。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響で実施が出来なかった出張申請補助を再開した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
マイナンバーカード交付件数	件	38,632	32,495	9,691	6,588	8,481
窓口申請補助件数	件	6,679	9,841	4,361	3,141	3,064
出張申請補助件数	件	103	0	687	-	-

出張申請補助について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響ため実施を見送った。また、平成30年度以前は集計なし。

事業名：委員会運営に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	01	11	本年	1,320				1,320		686	52.0
				前年	1,277		△ 212	1,573	2,638		1,809	68.6
				比較	43		212	△ 1,573	△ 1,318		△ 1,123	-
【参考】前々年度					1,281				1,281		886	69.1

節別支出済額(単位:千円)

報酬	237	旅費	48	需用費	239	役務費	61
委託料	44	負担金補助及び交付金	58				

概要及び成果

1 選挙管理委員会運営事業

選挙人名簿定時登録、選挙時登録、在外選挙人名簿定時登録、各種選挙の執行に関する事項の決定等

【成果】

- ・茨城県知事選挙、衆議院議員総選挙に関する事項について、決定した。
- ・選挙人名簿定時登録（6月、9月、12月、3月）、選挙時登録、在外選挙人名簿登録・抹消、令和4年度裁判員・検察審査員候補者予定者の決定を行った。

事業名：選挙啓発に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	02	11	本年	910				910		497	54.7
				前年	910				910		592	65.0
				比較							△ 95	-
【参考】前々年度					910				910		883	97.0
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				302	委託料		195					
概要及び成果												
<p>1 選挙啓発事業 財団法人「明るい選挙推進協会」主催の明るい選挙啓発ポスター作品募集要項により、ホームページ上にて募集する。 市民の選挙への関心を高めるため、その作品を啓発用広報紙「白ばら」等に掲載する。</p> <p>【成果】 明るい選挙啓発ポスターコンクール、選挙メッセージ葉書「18歳のわたしへ」の募集・応募を通じて、未来の有権者に投票意識向上を図ることができた。(ポスターコンクール応募(7校36点)、選挙メッセージ(6校553点)) また、選挙啓発用広報紙「白ばら」を作製し、市内に新聞折込や各交流センター等に設置、配布した。</p>												

事業名：茨城県知事選挙に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	03	11	本年	92,765		△ 27,050		65,715		62,612	95.3
				前年								
				比較	92,765		△ 27,050		65,715		62,612	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
報酬				7,317	職員手当等		20,236		報償費		451	
需用費				3,821	役務費		12,658		委託料		13,874	
備品購入費				3,368					旅費		8	
									使用料及び賃借料		878	
概要及び成果												
<p>1 茨城県知事選挙 茨城県知事の任期満了に伴い、投票・開票事務を厳正かつ迅速に執行する。</p> <p>【成果】 投票率：34.27% 当日投票所数：75箇所 期日前投票所数：10箇所 公営ポスター掲示場設置場所：462箇所 投票時間：7時から19時 開票事務：開票開始20時15分(22時04分確定) 投票・開票事務を厳正かつ迅速に行った。</p>												

事業名：衆議院議員総選挙に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	04	04	11	本年	89,497		△ 19,980		69,517		66,766	96.0	
				前年									
				比較	89,497		△ 19,980		69,517		66,766	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
		報酬	6,102	職員手当等	23,593	報償費	718	旅費	16				
		需用費	2,935	役務費	14,260	委託料	14,906	使用料及び賃借料	887				
		備品購入費	3,350										
概要及び成果													
<p>1 衆議院議員総選挙            衆議院議員の解散に伴い、最高裁判所裁判官国民審査も併せて投票・開票事務を厳正かつ迅速に執行する。</p> <p>【成果】            投票率：55.14%            当日投票所数：75箇所            期日前投票所数：10箇所            公営ポスター掲示場設置場所：462箇所            投票時間：7時から19時            開票事務：開票開始20時20分（小選挙区22時30分、比例代表0時34分、国民審査23時58分確定）            投票・開票事務を厳正かつ迅速に行った。</p>													

事業名：統計調査員に要する経費

政策イノベーション部 統計・データ利活用推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	05	01	11	本年	3,695				3,695		3,646	98.7														
				前年	8,724			△ 102	8,622		8,066	93.6														
				比較	△ 5,029			102	△ 4,927		△ 4,420	-														
【参考】前々年度					6,107				6,107		5,286	86.6														
節別支出済額(単位:千円)																										
報酬					2,484	職員手当等		225	報償費		20	旅費		196												
需用費					207	役務費		123	委託料		374	負担金補助及び交付金		16												
概要及び成果																										
<p>1 統計管理及び統計情報提供事務 市に委任された統計業務について、調査員登録状況や調査区地図をはじめとした全体的な管理を行う。人口をはじめとする市勢に関するデータを収集し、冊子にまとめ、市ホームページに掲載する。</p> <p>【成果】 市勢に関する統計資料をまとめた「統計つくば」を作成し、市ホームページへの掲載や図書館等での掲示により、利用を希望する市民や庁内外関係機関へ情報提供を行った。</p>																										
<p>2 つくば市統計調査員連絡協議会事務 つくば市統計調査員連絡協議会と協働して統計調査員を対象とした研修会を開催することにより、統計調査の重要性への理解を深め調査員としての資質の向上を図る。</p> <p>【成果】 統計調査の重要性や、個人情報等の管理、オンライン調査の推進等を記載した研修資料を、市に登録している調査員に対して配布し、統計調査への理解促進と能力向上を図った。</p> <p>研修会参加者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>名</td> <td>(429) ※</td> <td>(521) ※</td> <td>95</td> <td>147</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため講義形式では実施せず、登録されている調査員に研修資料を配布</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	参加人数	名	(429) ※	(521) ※	95	147	170
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
参加人数	名	(429) ※	(521) ※	95	147	170																				

事業名：経済センサス調査区管理に要する経費

政策イノベーション部 統計・データ利活用推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	02	11	本年	23				23			
				前年	23				23			
				比較								-
【参考】前々年度					23		△ 23					
概要及び成果												
<p>1 経済センサス調査区管理 国の基幹統計調査である経済センサス-基礎調査及び活動調査の調査区について、事業所の急激な増減や住所地の区割り変更等の対応として、地図や名簿の整理を行う。</p> <p>【成果】 ・令和3年度は事業所の急激な増減がなかったため調査区管理業務が発生せず、交付金（茨城県から交付、補助率100%）も交付されなかった。</p>												



事業名：経済センサス活動調査に要する経費

政策イノベーション部 統計・データ利活用推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
02	05	02	12	本年	8,040				8,040		5,537	68.9		
				前年	488				488		316	64.8		
				比較	7,552				7,552		5,221	-		
【参考】前々年度														
節別支出済額(単位:千円)														
報酬				4,547	旅費		157		需用費		79	役務費		755
概要及び成果														
<p>1 令和3年経済センサス-活動調査                      全産業分野の売上（収入）や費用などの経理項目を同一時点で把握し、事業所・企業の経済活動を全国的及び地域別に明らかにすることを目的として、国の基幹統計調査である経済センサス-活動調査を実施する。</p> <p>【調査対象】                      つくば市内にある全ての事業所及び企業</p> <p>【調査方法】                      統計調査員による調査票配布、インターネット回答・郵送回収</p> <p>【調査概要】                      調査周期：5年に1度、調査期日：令和3年6月1日、調査員数：88名、指導員数：7名、                      調査区：338調査区、県への報告：令和3年9月14日</p> <p>【成果】                      【調査結果の公表時期】                      速報：令和4年5月31日                      確報：令和4年9月予定</p>														

事業名： 監査委員に要する経費

監査委員事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	06	01	11	本年	4,084				4,084		3,834	93.9
				前年	4,038		△ 142		3,896		3,814	97.9
				比較	46		142		188		20	-
【参考】前々年度				4,018				4,018		3,930	97.8	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,660	旅費	156	需用費	18
----	-------	----	-----	-----	----

概要及び成果

- 1 監査委員監査の事務運営  
 地方自治法及び地方公営企業法並びに地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、監査委員が監査、検査及び審査を実施する。また、監査委員に報酬及び費用弁償を遅滞なく支給するとともに、各委員が研修等に参加することで資質向上及び情報交換を図る。

【成果】

- ・ 監査実施方針及び年間監査計画に基づき、監査、検査及び審査のうち工事監査を除き実施することができた。
- ・ 地方自治法第242条に基づくつくば市職員措置請求に関する監査を速やかに実施することができた。
- ・ 監査委員3名に対し、毎月の報酬及び費用弁償を遅滞なく支給した。

監査等の種類及び実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
例月現金出納検査	日	12	12	12	12	12
定期監査※1	部署	17	37	47	46	44
工事監査(建築・土木工事)※2	日	-	-	2	2	2
決算審査及び財政健全化審査	日	4	4	4	4	4
財政援助団体等監査	団体	4	4	5	6	6
職員の賠償責任に関する監査	日	-	-	-	-	2
職員措置請求に関する監査※3	日	7	-	-	-	-

協議会の種類及び実施回数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
定例協議会	回	12	12	12	12	12
臨時協議会	回	3	1	-	-	-

※1 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、本監査においては部署を限定して執行した。

※2 令和3年度も令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から中止とした。

※3 地方自治法第242条に基づく職員措置請求が3件あって、うち2件を却下、1件を棄却とした。

事業名： 監査事務運営に要する経費

監査委員事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	06	01	12	本年	1,125				1,125		849	75.5
				前年	1,517		△ 560		957		828	86.5
				比較	△ 392		560		168		21	-
【参考】前々年度					1,441				1,441		1,338	92.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	726	負担金補助及び交付金	124
-----	-----	------------	-----

概要及び成果

1 監査等事務運営

監査方針及び年間監査計画に基づき、各監査等において予備調査等から本監査、本検査、本審査及び結果報告まで被監査対象部署と連絡・調整し、スムーズな運営を図る。

また、事務局職員が研修や会議等に参加し、資質向上や情報交換を図る。

【成果】

- ・住民の福祉の増進及び市政への信頼確保に努め、実効性を確保した効果的、効率的な監査等を補助することができた。
- ・事務局職員が対面式、オンライン形式の研修に参加することで、監査委員事務局職員としての資質の向上を図ることができた。

予備調査等の種類及び実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
例月現金出納検査※1	日	61	66	36	36	36
定期監査	部署	85	83	73	76	66
決算審査※2	日	37	18	18	17	15
財政援助団体等監査	団体	4	4	5	6	6
職員の賠償責任に関する監査	日	-	-	-	-	19
職員措置請求に関する監査	件	3	-	-	-	-

各種監査委員会総会等の種類及び延べ参加人数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
都市監査委員会総会への参加	人	4	-	9	9	9
各種監査委員会研修への参加	人	7	3	14	16	19
日本経営協会主催研修への参加	人	2	-	6	6	11

※1 令和2年度以降は、下水道特別会計が公営企業会計に移行し、検査対象が2会計から3会計になったことから予備検査日数を増加して対応した。

※2 令和2年度までは一般・特別会計の審査に要した日数を記載していたが、令和3年度は公営企業会計の審査に要した日数も追加した。

事業名：社会福祉推進に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																								
03	01	01	11	本年	133,791			990	134,781		120,048	89.1																																																								
				前年	148,261		△ 37		148,224		128,109	86.4																																																								
				比較	△ 14,470		37	990	△ 13,443		△ 8,061	-																																																								
【参考】前々年度				173,060			△ 10	173,050		168,365	97.3																																																									
節別支出済額(単位:千円)																																																																				
報償費				72	需用費		593	委託料		14,735	負担金補助及び交付金		104,641																																																							
扶助費				7																																																																
概要及び成果																																																																				
<p>1 社会福祉協議会への助成 つくば市社会福祉事業費補助金交付要綱の規定に基づき、社会福祉法人の中核的団体である社会福祉協議会に職員人件費として補助金を交付する。</p> <p>【成果】 社会福祉協議会が実施する各種事業が安定・充実し、地域福祉活動の活性化が図られた。 ・つくば市社会福祉協議会補助金 104,634,304円</p>																																																																				
<p>2 地域福祉推進事業 住民参加型福祉サービス拡大事業（つくばさわやかサービス） 福祉教育推進・ボランティア育成事業 福祉相談事業を社会福祉協議会に委託</p> <p>【成果】 社会福祉協議会が実施する各種事業が安定・充実し、地域福祉活動の活性化が図られた。</p> <p>①ボランティア育成・支援研修事業      ボランティア登録団体数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録団体数</td> <td>団体</td> <td>152</td> <td>154</td> <td>186</td> <td>188</td> <td>183</td> </tr> </tbody> </table> <p>②住民参加型福祉サービス拡大事業（さわやかサービス事業）      事業会員数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力会員数</td> <td>人</td> <td>46</td> <td>50</td> <td>49</td> <td>46</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>③福祉相談事業      相談件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財産・相続相談／司法書士</td> <td>件</td> <td>28</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>35</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>福祉法律相談／弁護士</td> <td>件</td> <td>122</td> <td>120</td> <td>152</td> <td>137</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>子育て・子どもの悩みごと相談／学識経験者</td> <td>件</td> <td>28</td> <td>21</td> <td>30</td> <td>39</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	登録団体数	団体	152	154	186	188	183		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	協力会員数	人	46	50	49	46	42		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	財産・相続相談／司法書士	件	28	27	29	35	46	福祉法律相談／弁護士	件	122	120	152	137	140	子育て・子どもの悩みごと相談／学識経験者	件	28	21	30	39	37
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																														
登録団体数	団体	152	154	186	188	183																																																														
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																														
協力会員数	人	46	50	49	46	42																																																														
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																														
財産・相続相談／司法書士	件	28	27	29	35	46																																																														
福祉法律相談／弁護士	件	122	120	152	137	140																																																														
子育て・子どもの悩みごと相談／学識経験者	件	28	21	30	39	37																																																														
<p>3 茨城県都市福祉事務所長会事務 県内都市福祉事務所長が相互に情報交換を行い、所管業務の課題を解決するため研修会を実施する。 (年2回)</p> <p>【成果】 福祉事務所所管事業の情報共有や課題の抽出、先進地の取り組みや他市町村の対応を確認できた。</p>																																																																				
<p>4 法外援護事務 行旅に困窮し、移動が困難な者に対して原則、交通費、弁当代をそれぞれ1,000円と500円を限度として現金を給付する。 医療機関を受診した者に対しては、医療費を現物給付する。</p> <p>【成果】 申請者の希望に応じ、行旅困窮者の救済ができた。令和3年度実績：2件</p>																																																																				

5 地域福祉計画進行管理

令和3年度からは、つくば市地域福祉計画（第4期）の計画期間であるため、令和3年度から令和7年度までの5年間の各種施策の進捗状況を管理する。

令和3年3月地域福祉計画（第4期）策定、令和5年度中間評価、令和7年度最終評価。

【成果】

地域福祉計画第4期策定委員会：委員14名 令和3年度 1回開催

事業名：民生委員推薦会に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	12	本年	401				401		91	22.7
				前年	401				401	364	90.8	
				比較						△ 273	-	
【参考】前々年度					401				401	155	38.6	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	71	旅費	20
----	----	----	----

概要及び成果

1 民生委員推薦会事務

議会議員、民生委員、教育関係者など14名の委員（福祉部長を含む）で組織し、民生委員に欠員が生じたとき、又は一斉改選時に民生委員児童委員及び主任児童委員として適正な人材を県に推薦する。

【成果】

1回の推薦会を開催し、合計1名の候補者の推薦について承認を得た。

推薦会開催数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
推薦会開催数	回	1	4	2	3	2

事業名：民生委員活動に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	13	本年	30,904			△ 495	30,409		27,108	89.1
				前年	30,904				30,904	26,110	84.5	
				比較					△ 495	△ 495	998	-
【参考】前々年度					30,134			37	30,171	30,170	100.0	

節別支出済額(単位:千円)

使用料及び賃借料	85	負担金補助及び交付金	27,023
----------	----	------------	--------

概要及び成果

1 民生委員児童委員協議会調整事務

定例会では、行政担当者を講師として、生活保護制度、児童母子福祉、障害福祉、高齢福祉等、福祉全般に関する行政手続を研修し、民生委員児童委員及び主任児童委員としての資質向上に努める。民生委員、ふれあい相談員の連携強化のための活動支援を行う。

支部別研修・事項別研修を通し、福祉施設の現状視察や各々の事例検討を行い、民生委員児童委員及び主任児童委員としての資質向上に努める。

【成果】

事業計画に基づき、各地区ごとに研修を実施した。

研修内容：災害対策・各種福祉制度・児童福祉虐待・特殊詐欺・成年後見人制度等

民生委員・児童委員数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
民生委員・児童委員数	人	271	271	271	270	270

事業名： 行旅死病人取扱いに要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	01	01	14	本年	1,020				1,020		630	61.8	
				前年	1,020			540	1,560	1,478	94.7		
				比較				△ 540	△ 540	△ 848	-		
【参考】前々年度					1,020				1,020		759	74.4	
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				60	役務費		52	委託料		483	扶助費		35
概要及び成果													
1 行旅死病人等取扱事務 行旅病人及行旅死亡人取扱法、墓地埋葬等に関する法律に基づき、引取人がなく火葬等を行うものがない行旅死亡人について火葬・埋葬を行う。また、行旅病人の救護についても行う。													
【成果】 火葬件数													
		単位		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
火葬件数		件		6	9	4	3	4					

事業名： 遺族等援護に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	15	本年	3,119		△ 1,560		1,559		1,215	77.9
				前年	3,535		△ 1,886		1,649	1,032	62.6	
				比較	△ 416		326		△ 90	183	-	
【参考】前々年度					2,922			△ 37	2,885		2,661	92.2
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		1		使用料及び賃借料	413		負担金補助及び交付金		801			
概要及び成果												
1 戦没者追悼式事業 つくば市遺族連合会の協力を得ながら、厳粛に、かつ、安全に戦没者追悼式を挙げる。												
【成果】 戦没者追悼式参列者実績												
		単位		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
参列者数		人		-	-	433	416	418				
令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で中止。												
2 戦没者慰霊事業補助 つくば市遺族連合会に補助金を助成し、6地区の慰霊事業に要する経費の一部を助成する。												
【成果】 つくば市遺族連合会に補助金を助成することにより、慰霊事業の実施を促進することができた。												
3 戦没者遺族等援護事務 戦傷病者の妻に対する特別給付金、戦没者の妻に対する特別給付金、戦没者の遺族に対する特別弔慰金などの受付・進達事務及び国債の交付等の事務を行う。 戦傷病者に対しては、無賃乗車券引換券交付等の事務を行う。												
【成果】 第十一回戦没者等の遺族に対する特別弔慰金請求受付：137件 進達処理：150件 国債交付：513件												

事業名：国民健康保険事業特別会計に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	16	本年	1,280,458		38,208		1,318,666		1,318,493	100.0
				前年	1,279,750		26,163		1,305,913		1,305,694	100.0
				比較	708		12,045		12,753		12,799	-
【参考】前々年度				1,784,937		9,141		1,794,078		1,793,699	100.0	

節別支出済額(単位:千円)

償還金利子及び割引料	544	繰出金	1,317,949
------------	-----	-----	-----------

概要及び成果

1 特別会計繰出金事務

一般会計から国民健康保険特別会計へ繰り出しを行う。

【成果】

一般会計からの繰り入れを大幅に減らし、国民健康保険事業の安定に寄与することができた。

1 国民健康保険特別会計への繰出金

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
保険基盤安定繰出	円	1,023,100,639	1,016,228,300	1,023,546,513	1,030,100,875	1,138,888,520
職員給与費等分	円	130,697,000	129,662,000	131,881,000	126,218,000	122,441,000
事務費分	円	100,066,000	96,248,000	96,129,000	88,582,000	95,464,000
出産育児一時金分	円	47,344,000	52,106,000	64,865,000	75,344,000	83,850,000
財政安定化支援分	円	16,741,000	11,450,000	8,128,000	10,158,000	10,158,000
臨時財源補てん分	円	0	0	469,149,000	719,799,000	505,953,000
合計	円	1,317,948,639	1,305,694,300	1,793,698,513	2,050,201,875	1,956,754,520

2 還付金

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
過誤納還付金	円	40,200	-	-	259,900	1,455,800
過誤納還付加算金	円	8,500	-	-	128,400	631,200

事業名：福祉監査に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	17	本年	134				134		77	57.3
				前年	195		△ 21		174		168	96.3
				比較	△ 61		21		△ 40		△ 91	-
【参考】前々年度					195			△ 18	177		177	100.0

節別支出済額(単位:千円)

需用費	27	委託料	50
-----	----	-----	----

概要及び成果

- 1 社会福祉法人の設立・認可事務  
社会福祉法の規定による各種申請の上、法令の規定に違反していないかを審査し認可を行う。

【成果】

新規社会福祉法人設立について、法令及び他自治体への照会など明確な根拠に基づいて適切に認可を行った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
社会福祉法人設立認可件数	法人	1	1	2	0	0

- 2 社会福祉法人等の監査事務  
社会福祉法及び関係法令等の規定、市指導監査方針及び実施計画に基づき、法人に指導監査調書等の事前提出を求め、実地による指導監査を行う。

【成果】

法令等に定められた遵守すべき事項について、運営実態の確認を行うことによって、適正かつ健全な運営の確保を図ることができた。

指導監査実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
社会福祉法人	法人	11	6	10	10	8
特別養護老人ホーム	施設	6	5	4	5	3
公立保育所	施設	2	21	22	22	23
特定地域型保育施設	施設	5	12	8	5	3
認可外保育施設	施設	30	41	47	38	28
介護保険施設	施設	51	50	35	60	42
障害福祉サービス事業所	事業所	8	6	9	2	2
有料老人ホーム	施設	2	0	2	2	4
サービス付き高齢者向け住宅	施設	0	3	5	-	-



事業名： 市民生活応援事業に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	19	本年				100	100		100	100.0
				前年			482,287		482,287		470,964	97.7
				比較			△ 482,287	100	△ 482,187		△ 470,864	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					100							
概要及び成果												
<p>1 市民生活応援商品券事業 令和2年度に新型コロナウイルス感染症によって影響を受けている家庭や地域経済の支援を目的として、市内店舗で利用できる商品券を1人5,000円分交付した。うち協力事業者からの未請求分を令和3年度に執行した。</p> <p>【成果】 令和2年度換金額 415,332,500円 令和3年度換金額 100,000円</p>												

事業名： 非課税世帯等臨時特別給付金給付事業に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	01	01	20	本年			2,472,981		2,472,981	968,245	1,495,232	99.6	
				前年									
				比較			2,472,981		2,472,981	968,245	1,495,232	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
職員手当等					2,160	需用費	1,300	役務費	17,382	委託料	5,899		
使用料及び賃借料					991	扶助費	1,467,500						
概要及び成果													
<p>1 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の給付 令和3年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯（いずれも課税者の被扶養者のみからなる世帯は対象外）を対象に、1世帯当たり10万円を給付する。</p> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活、暮らしの支援を受けることができた。</p>													
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度			
支給件数					件	14,675	-	-	-	-			

事業名：在宅高齢者等福祉事業に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	35,549		△ 11,220	△ 100	24,229		19,158	79.1
				前年	40,971		△ 800		40,171		34,810	86.7
				比較	△ 5,422		△ 10,420	△ 100	△ 15,942		△ 15,652	-
【参考】前々年度					32,085				32,085		29,704	92.6

節別支出済額(単位:千円)

報償費	40	需用費	678	役務費	682	委託料	2,167
負担金補助及び交付金	540	扶助費	15,050				

概要及び成果

1 在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業

65歳以上で、要介護4・5認定者又は寝たきり状態などの方に布団（掛布団・敷布団・毛布）の丸洗い乾燥を、年2回実施

※布団の代えがない方には、布団の貸出を無料で行う。

【成果】

布団の丸洗い乾燥を無料で行うことで、高齢者の健康保持と生活環境を向上し、在宅福祉の増進に寄与できた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付者数	人	143	1,621	1,637	1,559	1,457
実績額	円	751,520	17,696,910	12,124,872	11,336,627	10,137,912

実施数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
掛布団	枚	97	1,348	1,329	1,262	1,137
敷布団	枚	85	1,325	1,305	1,247	1,087
毛布	枚	82	1,284	1,262	1,222	1,064

2 高齢者日常生活支援事業

75歳以上のひとり暮らしの方又は75歳以上の高齢者だけでお住まいの方に、部屋の清掃や草取り等の作業を依頼する際の費用の一部を助成する。

一世帯当たり500円券を年間12枚交付する。

【成果】

日常生活を送る上で、自ら行うことが困難な部屋掃除や草取り等の軽易な作業を依頼した際にかかる費用の一部を助成することにより、高齢者の日常生活を支援し、在宅福祉の増進に寄与できた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付者数	人	989	1,038	925	837	801
実績額	円	2,605,198	2,767,001	2,596,396	2,251,970	2,116,002

3 福祉有償運送事業

道路運送法第79条の登録を受けて福祉有償運送を行う特定非営利活動法人に対し、補助金を交付する。

【成果】

4月に福祉有償運送事業補助金交付申請を受付、3つの事業者に対し交付決定を行った。3月の実績報告書提出に基づき、事業所へ補助金を交付し支援することで、利用者の移動手段の確保や社会参加の促進が図れた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付団体数	団体	3	2	3	3	-
交付額	円	540,000	589,000	696,000	693,000	-
延利用人数	人	1,917	1,947	2,693	2,846	-

4 高齢者用福祉タクシー助成事業

65歳以上のひとり暮らし及び70歳以上の高齢者世帯、又は70歳以上で市民税非課税世帯のタクシー運賃の一部を助成する。500円券×18枚の助成券を交付する。

【成果】

高齢者の外出支援、社会参加に役立つことができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付者数	人	2,128	1,921	1,888	1,741	1,698
実績額	円	8,927,420	7,456,600	7,881,030	6,604,430	6,428,040

5 あん摩、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施術費助成事業

70歳以上の方に対し、あん摩、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施術を受ける際の費用の一部を助成する。（年間最大1,000円券×8枚）

※健康保険法、その他の法令により医療に関する給付として行われているものを除く。

【成果】

あん摩、マッサージ、はり及びきゅうの施術費を助成することにより、高齢者の健康維持に寄与することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付者数	人	1,271	1,316	1,320	1,069	975
実績額	円	3,026,000	2,576,000	2,733,000	2,397,000	2,147,000

6 ねたきり高齢者理美容料助成事業

65歳以上で要介護4、5認定者又は常時ねたきりで理美容所に行くことが困難な在宅の方が、出張理美容を受ける際の利用料金助成を行う。

年間助成券（4,000円×2枚）を交付する。

【成果】

ねたきりの高齢者に対して、居宅における理美容料金の一部を助成することにより、利用者の衛生的で健康的な生活を支援すると共に、家族の負担を軽減し、在宅高齢者福祉の増進に寄与できた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付者数	人	174	161	144	154	151
実績額	円	491,000	536,000	548,000	580,000	568,000

事業名：老人ホーム入所措置に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	12	本年	6,483				6,483		3,646	56.2
				前年	6,962				6,962		5,440	78.1
				比較	△ 479				△ 479		△ 1,794	-
【参考】前々年度					7,840				7,840		5,874	74.9
節別支出済額(単位:千円)												
扶助費		3,646										
概要及び成果												
<p>1 老人ホーム入所措置事業</p> <p>環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な65歳以上の高齢者の中で入所判定委員会により入所が必要と認められた者に対し、市の職権により養護老人ホームに入所措置し、その生活費を支弁する。</p> <p>被措置者本人の所得に応じて、生活費の一部を徴収する。</p> <p>【成果】</p> <p>措置入所者の状況の変化に応じて、施設の担当者と連携を図り、入所者の生活の安定に寄与することができた。新型コロナウイルス感染症防止のため、施設訪問をして本人と面談ができなかったが施設からの報告により、継続して措置が必要であることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利根老人ホーム：入所者1名が死亡により措置解除。ナザレ園：継続入所者1名</li> </ul>												
養護老人ホーム入所者数												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
継続入所者		名	1	2	3	3	3					

事業名：ひとり暮らし等老人福祉に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
03	01	02	13	本年	15,724			△ 67	15,657		14,657	93.6																					
				前年	15,875				15,875		14,455	91.1																					
				比較	△ 151			△ 67	△ 218		202	-																					
【参考】前々年度					16,031		△ 1,568		14,463		14,144	97.8																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
役員費				21	委託料		14,440	扶助費		196																							
概要及び成果																																	
<p>1 ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業 65歳以上の病弱又は重度の身体障害のあるひとり暮らしの高齢者、又は75歳以上のひとり暮らしの高齢者等に、緊急通報機器等を貸与する。</p> <p>【成果】 緊急通報システムの通報、お伺い電話等により、救急搬送だけでなく、入院・入所等も把握でき、ひとり暮らし高齢者の不安解消、生活の安全の確保に寄与できた。33件の通報があり、救急車による搬送等の対応ができた。 ・新規設置台数：25台</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延設置台数</td> <td>台</td> <td>176</td> <td>181</td> <td>179</td> <td>193</td> <td>201</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	延設置台数	台	176	181	179	193	201							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
延設置台数	台	176	181	179	193	201																											
<p>2 ひとり暮らし高齢者愛の定期便事業 見守りを必要とする70歳以上のひとりで生活している高齢者に、乳製品を週に3回まで、安否確認を兼ね手渡しで配達する。不在時や緊急時には事業者から高齢福祉課に連絡が入り、緊急連絡先に連絡を取るなど対応する。</p> <p>【成果】 ひとり暮らし高齢者の健康保持や定期的な安否確認による不安解消に寄与できた。 新規利用申込者数：7人 安否確認件数：23件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>人</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>48</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	利用者数	人	38	42	42	48	45							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
利用者数	人	38	42	42	48	45																											
<p>3 宅配食事サービス事業 ひとり暮らし・高齢者世帯の方に、高齢者向け配食サービス事業所で調理した栄養バランスの取れた夕食を希望の曜日に配食する。配食の際、利用者の安否確認が取れない場合や異変発生時は、高齢福祉課が緊急連絡先に連絡を取るなど対応する。</p> <p>【成果】 新規利用申込者数：85名 安否確認件数：78件 安否確認のうち1件は救急車要請に繋がった。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>人</td> <td>162</td> <td>140</td> <td>145</td> <td>119</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>延配食数</td> <td>食</td> <td>24,901</td> <td>24,474</td> <td>23,884</td> <td>21,440</td> <td>24,602</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	利用者数	人	162	140	145	119	134	延配食数	食	24,901	24,474	23,884	21,440	24,602
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
利用者数	人	162	140	145	119	134																											
延配食数	食	24,901	24,474	23,884	21,440	24,602																											

事業名：老人生きがい対策に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	14	本年	52,866		△ 5,150		47,716		39,496	82.8
				前年	54,604		△ 5,740		48,864		38,350	78.5
				比較	△ 1,738		590		△ 1,148		1,146	-
【参考】前々年度					45,907				45,907		44,183	96.2

節別支出済額(単位:千円)

委託料	18,713	負担金補助及び交付金	20,633	償還金利子及び割引料	149
-----	--------	------------	--------	------------	-----

概要及び成果

1 高齢者生きがい活動支援事業

シルバークラブ大会：役員功労者表彰、感謝状贈呈、講演会等

シルバークラブ育成支援：年間を通じてシルバークラブ連合会の事務局と連携しながら支援する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためシルバークラブ大会を中止したが、委託先の社会福祉協議会と協議・検討し、顕彰事業を実施した。また、社会参加活動等を通して、高齢者の生きがいづくりに寄与できた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
シルバークラブ連合会会員数	人	6,292	6,533	6,569	6,463	6,767

2 高齢者労働能力活用事業費補助

公益社団法人つくば市シルバー人材センターが円滑な運営ができるように補助金を交付する。

【成果】

補助金を交付することにより、シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進等に寄与できた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
契約件数	件	2,990	3,755	4,390	4,609	4,962
会員数	人	619	644	679	643	634

補助額 11,000,000円

3 いきいきサロン事業

老人福祉センターなどの市内4か所で高齢者が自由に参加できる通常サロンを開催する。また、10人以上のグループからの依頼により講師を派遣し、出前サロンを開催する。

【成果】

- ・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言などに伴い、中止となるが多かったが、高齢者の自立と社会参加の促進に寄与できた。
- ・通常サロン 実施回数115回、延べ利用者数599人  
出前サロン 実施回数9回、延べ利用者数71人

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数	人	670	785	2,541	2,424	2,569

4 健康福祉祭いばらきねりんスポーツ大会

茨城県健康福祉祭いばらきねりんスポーツ大会の予選会として市大会（グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク、輪投げ）を開催する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数	人	-	-	593	592	567

5 シルバークラブ育成事業

補助金を交付し、シルバークラブ連合会と連合会に所属する単位シルバークラブの活動を支援する。

【成果】

補助金を交付することでシルバークラブの活動を支援することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
単位クラブ数	団体	133	136	137	134	137
実績額	円	9,417,131	9,844,497	11,515,300	10,874,705	11,008,700

6 おひさまサンサン生き生きまつり事業

障害者地域支援室と合同で実施

障害者や高齢者が協力してスポーツやレクリエーション活動を行うとともに、手作り品の展示、販売等を行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
会場		—	—	桜総合体育館	研究学園駅前公園	つくばカピオ
参加者数	人	0	0	1,225	1,605	1,800

7 体操動画DVD配布事業

令和2年度に自宅でできる体操や認知機能低下を予防する動画を作成した。希望する方にDVDを配布し、健康維持に役立ててもらおう。

令和3年度は問合せ等があった際に余剰分を配布した。

【成果】

令和2年度配布枚数：896枚

令和3年度配布枚数：58枚

事業名：敬老事業に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	15	本年	51,197		16,016		67,213		65,343	97.2
				前年	108,478		△ 23,200		85,278		84,528	99.1
				比較	△ 57,281		39,216		△ 18,065		△ 19,185	-
【参考】前々年度				105,194		△ 2,182	△ 1,541	101,471		98,813	97.4	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	159	需用費	37,967	役務費	9,422	委託料	2,592
扶助費	15,202						

概要及び成果

1 敬老祝金給付事業

8月1日現在で市内に住所を有し、年度内に対象年齢を迎える方に対し、敬老祝金を贈呈する。

敬老祝金

- ・77歳 (3,000円 口座振込)
- ・88歳 (10,000円 口座振込)、101歳以上 (20,000円 口座振込)
- ・100歳 (30,000円分の現金)

【成果】

対象者の増加にともない、今後も持続可能な制度にしていくため、令和3年度から75歳以上の方への3,000円の給付を廃止し、節目年齢である(77歳、88歳、100歳以上)の方に給付するよう対象者を変更した。

令和2年度実績額72,653,500円、令和3年度実績額15,202,000円

対象者

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
75歳以上(3,000円)	人	-	21,579	21,244	20,688	19,613
77歳(3,000円)	人	1,774	-	-	-	-
88歳(10,000円)	人	745	783	772	702	726
100歳(30,000円)	人	48	46	47	33	29
101歳以上(20,000円)	人	69	67	61	61	64

2 敬老福祉大会事業

敬老の日において満70歳以上の方を対象に敬老福祉大会を開催する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、敬老福祉大会を中止したが、その代わりに70歳以上の対象者に敬老福祉大会中止のお知らせと、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨交付金の活用により敬老祝品としてクオ・カード1,000円分を贈呈し、長寿を祝福し敬老の意を表する目的を果たした。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	36,088	36,434	33,450	31,890	30,101
参加者数	人	-	-	4,381	4,374	4,192

※平成29年度まではつくばカピオで開催。平成30年度からは、つくばカピオと市民ホールくきぎきで開催。

3 長寿をたたえる事業

8月1日現在で市内に住所を有し、100歳の誕生日を迎える方に、老人週間の前後2週間以内に市長などが訪問し、ほう状などを贈呈する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前に贈呈方法について調査し、9月に対象者48人に対して、自宅を訪問又は高齢福祉課窓口でほう状などを贈呈した。

対象者

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
100歳	人	48	46	47	33	30



事業名：ふれあい元気広場管理に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	16	本年	1,081				1,081		986	91.2
				前年	1,107				1,107		994	89.8
				比較	△ 26				△ 26		△ 8	-
【参考】前々年度					1,089			89	1,178		1,071	90.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				41	役務費		12	委託料		933		
概要及び成果												
1 ふれあい元気広場管理運営事業 ふれあい元気広場のクロッカーコート・ニュースポーツコートの維持管理 ふれあい元気広場の休憩所の維持管理 高齢福祉課窓口において施設の貸出 <b>【成果】</b> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の利用を中止していた期間があった。 グラウンドの芝の状態を把握し、芝刈り（機械）4回の実施により、高齢者が安全で快適に広場を利用することができた。 ごみ箱などの環境整備を行い、高齢者が快適に利用できるようにした。												
		単位		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
利用団体数(延べ)		団体		497	405	558	512	501				

事業名：介護保険事業特別会計（介護保険）に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	17	本年	2,108,445		△ 1,110		2,107,335		2,107,335	100.0
				前年	1,973,239		57,351		2,030,590		2,030,590	100.0
				比較	135,206		△ 58,461		76,745		76,745	-
【参考】前々年度					1,852,069		67,474		1,919,543		1,919,542	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金				2,107,335								
概要及び成果												
1 介護保険事業特別会計（介護保険）事業 一般会計から介護保険事業特別会計への介護給付費、職員給与等、事務費及び地域支援事業費の繰出しを行う。 <b>【成果】</b> 事業の安定運営を図るため、繰出しを行った。												
		単位		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
介護給付費(介護給付費の12.5%)		千円		1,679,470	1,604,707	1,559,608	1,517,471	1,505,005				
職員給与費等(職員給与繰入分)		千円		111,712	110,534	117,100	113,795	111,117				
事務費(事務費繰入金)		千円		133,573	131,822	130,006	130,307	125,000				
指定介護予防支援職員関係経費		千円		-	-	-	-	6,634				
介護予防・日常生活支援総合事業		千円		31,812	37,219	31,595	31,085	21,761				
包括的支援事業・任意事業		千円		1,280	1,265	1,239	1,175	55,029				
災害臨時特例給付		千円		-	-	-	-	-				
低所得者保険料軽減分		千円		149,488	145,043	79,986	22,511	22,358				
※平成29年度まで介護保険課で一括計上していた繰出金を、平成30年度から各担当課で計上												

事業名：介護保険事業特別会計（高齢福祉）に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	18	本年	9,166				9,166		9,166	100.0
				前年	11,203		2,740		13,943		13,943	100.0
				比較	△ 2,037		△ 2,740		△ 4,777		△ 4,777	-
【参考】前々年度					10,065		322		10,387		10,387	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金					9,166							
概要及び成果												
<p>1 一般会計から介護保険事業特別会計への地域支援事業費の繰り出し 市町村の一般会計における負担割合は、介護給付及び予防給付に要する経費の12.5%、包括的支援事業に要する経費の19.25%と定められている。</p> <p>【成果】 事業の安定運営を図るため、以下のとおり繰出した。</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
介護予防・日常生活支援総合事業		千円	832	1,832	1,109	1,045	-					
包括的支援事業・任意事業		千円	7,421	9,815	9,278	9,094	-					
事務費分		千円	913	2,296	-	-	-					
<p>※介護予防・日常生活支援総合事業 ・高齢者憩いの広場事業 ※包括的支援事業・任意事業 ・在宅要介護高齢者等紙おむつ購入費助成事業 ※事務費分 ・介護台帳システムに要する経費 ※平成29年度まで介護保険課で一括計上していた繰出金を、平成30年度から各担当課で計上</p>												

事業名：介護保険事業特別会計（地域支援）に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	19	本年	65,023		△ 4,404		60,619		60,619	100.0
				前年	71,114		△ 2,988		68,126		68,126	100.0
				比較	△ 6,091		△ 1,416		△ 7,507		△ 7,507	-
【参考】前々年度					65,354		△ 613		64,741		64,741	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金					60,619							
概要及び成果												
<p>1 一般会計から介護保険事業特別会計への地域支援事業費の繰り出し 市町村の一般会計における負担割合は、介護保険法第124条により、介護給付及び予防給付に要する経費等の12.5%、包括的支援事業に要する経費の19.25%と定められている。 繰出金は平成29年度まで介護保険課で一括計上していたが、平成30年度からは担当課で計上している。</p> <p>【成果】 事業の安定運営を図るため、指定介護予防支援職員関係経費、介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業・任意事業について繰り出した。</p> <p>地域支援事業費の繰り出し</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
指定介護予防支援職員関係経費 ※1		千円	0	7,426	8,991	10,805	-					
介護予防・日常生活支援総合事業		千円	769	462	1,176	1,721	-					
包括的支援事業・任意事業		千円	64,254	60,238	54,574	45,300	-					
<p>(※1) 市内全圏域に委託包括が設置され、当課によるケアプラン作成が実質なくなったため、R3から計上しなくなった。</p>												

事業名：介護保険事業特別会計（健康増進）に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	02	20	本年	2,739				2,739		2,739	100.0														
				前年	3,089				3,089		3,089	100.0														
				比較	△ 350				△ 350		△ 350	-														
【参考】前々年度					3,317				3,317		3,317	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
繰出金					2,739																					
概要及び成果																										
<p>1 介護保険事業特別会計への繰出金                      一般会計から介護保険事業特別会計へ地域支援事業費を繰り出す。市町村の一般会計における負担割合は、介護保険法第124条により、介護給付及び予防給付に要する経費等の12.5%と定められている。</p> <p>【成果】                      事業の安定運営を図るため、以下のとおり繰り出した。</p> <p>介護予防・日常生活支援総合事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防・日常生活支援総合事業</td> <td>千円</td> <td>2,739</td> <td>3,089</td> <td>3,317</td> <td>2,948</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度まで介護保険課で一括計上していた繰出金を、平成30年度から各担当課で計上。</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	介護予防・日常生活支援総合事業	千円	2,739	3,089	3,317	2,948	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
介護予防・日常生活支援総合事業	千円	2,739	3,089	3,317	2,948	-																				

事業名：介護保険低所得者負担対策に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	02	21	本年	501		100		601		584	97.2														
				前年	101		500		601		331	55.1														
				比較	400		△ 400				253	-														
【参考】前々年度					101				101																	
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					584																					
概要及び成果																										
<p>1 介護保険低所得者負担対策事業                      低所得者で特に生活が困難である方が、社会福祉法人等が実施する介護保険サービスを利用した場合、利用者負担が軽減される。軽減された利用料は、社会福祉法人等の負担となるため、一定額を超えた場合補助金を交付する。</p> <p>【成果】                      社会福祉法人の利用者のうち、低所得者で特に生活が困難である方の負担を軽減することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉法人による減免利用者</td> <td>人</td> <td>34</td> <td>39</td> <td>38</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	社会福祉法人による減免利用者	人	34	39	38	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
社会福祉法人による減免利用者	人	34	39	38	-	-																				

事業名：高齢者福祉推進に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	22	本年	149				149			
				前年	3,860	1			3,861		3,366	87.2
				比較	△ 3,711	△ 1			△ 3,712		△ 3,366	-
【参考】前々年度				5,853		△ 89		5,764	1	5,406	93.8	

概要及び成果

1 つくば市高齢者福祉計画事業

老人福祉及び介護保険の一体的な展開が図られるように「つくば市高齢者福祉計画」を策定する。

【成果】

関係各課や委員等に計画冊子を配布し、令和3年4月からつくば市高齢者福祉計画（第8期）を施行することができた。

事業名：老人福祉施設整備に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	02	23	本年	988	7,730	53,878	67	62,663	12,779	49,861	100.0														
				前年	57,952	304,640	57,410		420,002	7,730	410,487	99.6														
				比較	△ 56,964	△ 296,910	△ 3,532	67	△ 357,339	5,049	△ 360,626	-														
【参考】前々年度				294,951		33,892		328,843	304,640	19,733	98.6															
節別支出済額(単位:千円)																										
報償費				152	需用費		273	委託料		286	負担金補助及び交付金		48,828													
償還金利子及び割引料				322																						
概要及び成果																										
<p>1 地域密着型サービス整備費等補助事業 地域密着型サービス拠点等の整備を促進するため、県の施設整備補助金を活用して、事業者に補助金を交付する。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 第8期つくば市高齢者福祉計画に基づく、特別養護老人ホーム新設1施設、増床2施設及び介護老人保健施設増床1施設の整備を担う事業者を選定した。選定後は、事業者の県への届出手続きの支援を行った。</p> <p>(2) 地域密着型サービス運営委員会を1回開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域密着型サービス運営委員会</td> <td>回</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	地域密着型サービス運営委員会	回	1	4	2	2	3
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
地域密着型サービス運営委員会	回	1	4	2	2	3																				
<p>2 施設指定及び指導監査業務 事業所の指定申請による指定を行う際、書類の審査及び現地確認等を実施した上で指定する。指定後は社会福祉課、介護保険課と共同で定期的な監査を行う。</p> <p>【成果】 社会福祉施設、居宅サービス及び地域密着型サービス事業所も含め、合計59か所の監査を行った。集団指導を、地域密着型サービス事業所向けに実施した。</p>																										
<p>3 高齢者健康遊具事業 二の宮公園、荃崎運動公園、大池公園、梅園公園、谷田部多目的広場、花畑近隣公園、川口公園の市内7か所に設置してある高齢者健康遊具の点検及び修繕を行う。</p> <p>【成果】 11月に点検事業者による市内7か所の健康遊具の点検を実施した。点検結果を踏まえ、二の宮公園にあるバランス円盤の修繕を行ったことで、高齢者が安全で快適に利用することができた。また、継続して高齢福祉課の窓口、各窓口センターにパンフレットを配置し、事業周知をした。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点検委託料</td> <td>円</td> <td style="text-align: center;">286,000</td> <td style="text-align: center;">286,000</td> <td style="text-align: center;">286,000</td> <td style="text-align: center;">263,520</td> <td style="text-align: center;">263,520</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	点検委託料	円	286,000	286,000	286,000	263,520	263,520
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
点検委託料	円	286,000	286,000	286,000	263,520	263,520																				

事業名：地域包括ケアシステム推進事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	02	24	本年	3,525				3,525		3,192	90.6														
				前年	3,525				3,525		976	27.7														
				比較							2,216	-														
【参考】前々年度					3,525		△ 3,525																			
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					3,192																					
概要及び成果																										
<p>1 地域包括ケアシステム推進事業 茨城型地域包括ケアシステム推進基盤整備事業に係る補助事業により、在宅医療サービス充実のための支援を行う。事業所の新規開設又は取組拡充に伴う経費に対して、470万円を上限として、県が4分の2、市町村が4分の1を補助する。</p> <p>【成果】 申請3件。うち取下1件、補助金交付2件。(訪問看護ステーション開設に伴う訪問用自動車購入補助、訪問歯科診療所拡充に伴う医療機器及び訪問用自動車購入補助)</p> <p>地域ケア基盤整備推進事業費補助金</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助件数</td> <td>件</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	補助件数	件	2	1	-	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
補助件数	件	2	1	-	-	-																				

事業名：介護施設支援に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	25	本年	4,161				4,161		2,544	61.1
				前年	4,561				4,561		2,853	62.6
				比較	△ 400				△ 400		△ 309	-
【参考】前々年度					5,309				5,309		3,296	62.1

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	2,544
------------	-------

概要及び成果

- 1 つくば市介護人材確保事業  
介護業界未経験者の方で、市内介護事業所に新規に就労する方に対し、一時金を助成する。  
市内介護事業所に9か月以上就労している方で、介護職員初任者研修又は実務者研修を修了した者に研修費用の一部助成を行う。

【成果】

就労スタートアップフォロー給付金：33件、キャリアアップ費用給付金：9件  
前年度より5件増加した。

助成件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
就労スタートアップフォロー給付金	件	33	24	30	19	9
キャリアアップ費用給付金	件	9	13	5	14	0

- 2 要介護度改善ケア給付金交付事業  
市内の特別養護老人ホーム（地域密着型含む）において、入所者の要介護度が改善された場合、要介護度の軽減に資するサービスの提供及び介護度改善に向けた取組を評価し、施設に給付金を交付する。

【成果】

申請者数について、昨年度は要介護度改善者数18名（8施設）であったが、今年度は要介護度改善者数6名（4施設）に減少した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
助成件数	件	6	18	17	-	-

- 3 看取り介護推進給付金交付事業  
令和3年1月1日から12月31日までの間に、つくば市の介護保険の被保険者で、看取り介護加算の死亡日についての加算の対象者が入所していた施設において、翌年1月10日までに看取り介護死亡日加算の介護給付費等の請求を行った特別養護老人ホーム（地域密着型含む）に対し給付金を交付する。

【成果】

看取り数が昨年度56件から今年度75件に増加し、看取り体制の確保に寄与することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
助成件数	件	75	56	53	-	-

事業名： 成年後見制度推進事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	02	26	本年	5,577				5,577		5,408	97.0														
				前年	6,095				6,095		5,451	89.4														
				比較	△ 518				△ 518		△ 43	-														
【参考】前々年度				4,744				4,744		4,744	100.0															
節別支出済額(単位:千円)																										
委託料		5,408																								
概要及び成果																										
<p>1 成年後見制度推進事業                      成年後見制度利用推進に向け、つくば市成年後見制度利用支援事業をつくば市社会福祉協議会に委託。中核機関業務（広報普及啓発、相談利用支援、受任者調整支援、市民後見人養成及び支援、後見人支援、地域連携ネットワーク構築）と法人後見業務（法人後見受任、後見監督人受任）を通して、安心して暮らし続けることができる地域づくりを促進する。また、市においても成年後見制度や権利擁護の相談に対応している。</p> <p>【成果】                      委託先のつくば市社会福祉協議会で設置している「つくば成年後見センター」（平成30年10月1日開設）と共に、市民や関係機関から相談を受け、対象者や家族、関係者、後見人等を支援し、つくば市における成年後見制度の利用を促進した。</p> <p>権利擁護相談</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延件数</td> <td>件</td> <td>1,246</td> <td>1,007</td> <td>765</td> <td>420</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※件数は全地域包括支援センター、障害者地域支援室、障害者支援事業所、つくば成年後見センターの合計</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	延件数	件	1,246	1,007	765	420	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
延件数	件	1,246	1,007	765	420	-																				

事業名： 高齢者等買物支援事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
03	01	02	27	本年	4,000				4,000		4,000	100.0																					
				前年			2,000		2,000		2,000	100.0																					
				比較	4,000		△ 2,000		2,000		2,000	-																					
【参考】前々年度																																	
節別支出済額(単位:千円)																																	
負担金補助及び交付金		4,000																															
概要及び成果																																	
<p>1 高齢者等買物支援事業                      身近な商店の減少や高齢化、移動の制約等により日常生活に必要な食料品及び日用品等の買物が困難な状況に置かれた高齢者等を支援することを目的とし、移動販売事業者への補助を行う。</p> <p>【成果】                      移動販売事業者への補助によって販売地域が拡大され、買物が便利になっただけでなく販売場所で集いの場を開催することで高齢者等が外出するきっかけとなり、介護予防と地域のつながりづくりが促進された。</p> <p>移動スーパーの利用者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大穂店エリア利用者数</td> <td>人</td> <td>15,165</td> <td>9,381</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>万博記念公園駅前店エリア利用者数</td> <td>人</td> <td>19,425</td> <td>9,017</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年度の移動スーパーの利用者数は令和2年10月12日から令和3年3月末まで</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	大穂店エリア利用者数	人	15,165	9,381	-	-	-	万博記念公園駅前店エリア利用者数	人	19,425	9,017	-	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
大穂店エリア利用者数	人	15,165	9,381	-	-	-																											
万博記念公園駅前店エリア利用者数	人	19,425	9,017	-	-	-																											



事業名：身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	11	本年	5,291			208	5,499		5,303	96.4
				前年	5,623				5,623		5,325	94.7
				比較	△ 332			208	△ 124		△ 22	-
【参考】前々年度					5,237			61	5,298		5,158	97.4

節別支出済額(単位:千円)

需用費	719	委託料	2,614	使用料及び賃借料	123	扶助費	1,848
-----	-----	-----	-------	----------	-----	-----	-------

概要及び成果

1 身体障害者手帳認定交付事業

同手帳の交付申請に基づき、障害程度等級の審査及び認定を実施し、申請者に対して手帳を交付する。  
交付申請に必要な医師が作成する診断書の取得費用については、その一部を補助する。

【成果】

身体障害者手帳が交付されたことにより、補装具費の支給、日常生活用具の給付、有料道路通行料金割引制度、税の控除等が利用でき、障害者（児）及びその家族への経済的、精神的負担の軽減を図ることができた。

身体障害者手帳交付者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新規申請者数	名	358	312	333	316	343
所持者数	名	5,106	5,076	5,054	5,039	4,950

診断書料補助

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
人数	名	406	374	361	383	398
公費負担額	円	1,396,025	1,283,650	1,227,700	1,306,195	1,340,440

2 精神障害者保健福祉手帳に関する事業

同手帳の交付申請の受付及び茨城県が所管する茨城県精神保健福祉センターへ申請書類の進達を行い、県が発行した手帳を申請者に交付する。

交付申請に必要な医師が作成する診断書の取得費用については、初回のみ一部を補助する。

【成果】

ホームページに、申請書類の様式を掲載し、申請者の利便を図った。

精神障害者保健福祉手帳を交付された人に、障害者福祉ガイドブックによるサービスの説明を行うことで、手帳所持者の経済的、精神的負担の軽減を図る制度があることを案内できた。

精神障害者保健福祉手帳交付者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
所持者数	名	1,658	1,476	1,365	1,195	1,122

診断書料補助

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
人数	名	171	153	200	465	399
公費負担額	円	451,690	412,890	533,215	1,266,155	1,086,125

3 療育手帳の交付事務

同手帳の交付申請の受付や茨城県が所管する茨城県福祉相談センターが交付する療育手帳及び再判定結果確認通知書を手帳申請者に発行・送付する。

手帳の等級によって受けることができるサービスを説明し、案内する。

【成果】

療育手帳が交付された人に、障害者福祉ガイドブックを用いてサービス等の説明を行うことで、手帳所持者及びその家族に対して経済的、精神的負担の軽減を図ることができた。

療育手帳交付者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
所持者数	名	1,392	1,333	1,293	1,231	1,194

事業名：補装具の援助に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	12	本年	37,937		8,735		46,672		41,733	89.4
				前年	36,117		7,412	3,791	47,320	43,046	91.0	
				比較	1,820		1,323	△ 3,791	△ 648	△ 1,313	-	
【参考】前々年度					35,534		10,041	△ 566	45,009		43,635	96.9

節別支出済額(単位:千円)

需用費	97	負担金補助及び交付金	319	扶助費	41,317
-----	----	------------	-----	-----	--------

概要及び成果

1 身体障害者（児）補装具費（交付・修理）支給事業

失われた身体機能や障害のある部分を補完し、日常生活や労働を容易にする用具の交付・修理のための費用を支給する。

【成果】

補装具費を支給することで、身体障害者（児）及び難病患者の職業その他日常生活の能率向上を図ることができた。

《支給実績》

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
肢体不自由	件	217	214	247	224	233
視覚障害	件	12	14	14	16	15
聴覚障害	件	76	79	77	75	75
計	件	305	307	338	315	323
公費負担額	円	41,316,791	42,355,230	42,130,287	34,378,732	31,841,551

※支給内容については、肢体不自由：義肢、装具、車椅子、座位保持装置など、視覚障害：視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡、聴覚障害：補聴器、人工内耳（修理）

2 軽度・中等度難聴児補聴器購入補助金交付事業

身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器、イヤモールド及び補聴援助システムの購入に必要な費用の一部を補助する。

補助金請求書に基づき、算定基礎額の2/3を補助する。

負担割合：申請者1/3、県1/3、市1/3

【成果】

補聴器等の購入に必要な費用の一部を補助することにより、難聴児の言語の習得及び健全な発達の支援を図れ、また保護者の経済的負担を軽減することができた。

《支給実績》

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支給件数	件	9	15	10	6	12
公費負担額	円	319,000	586,000	304,000	188,000	687,000

事業名：日常生活の援助に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
03	01	03	13	本年	44,525			△ 834	43,691		38,881	89.0																					
				前年	42,792		100	△ 2,000	40,892		37,630	92.0																					
				比較	1,733		△ 100	1,166	2,799		1,251	-																					
【参考】前々年度				41,980			△ 1,257	40,723		36,792	90.3																						
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費				8	扶助費		38,873																										
概要及び成果																																	
<p>1 日常生活用具等の給付事業                      在宅の身体障害者（児）、知的障害者（児）及び精神障害者（児）に、日常生活に必要なものを給付する。（一部入院・入所中でも認められる用具がある。）                      給付条件については、給付種目ごとに定められており、助成額は基本的に9割で、品目によって定められた基準額を超える場合、実際の商品金額との差額は自己負担となる。</p> <p>【成果】                      日常生活用具を給付することにより、利用者の経済的負担を軽減し、より快適かつ自立した生活への手助けとなった。</p> <p>《支給実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>3,833</td> <td>3,838</td> <td>3,868</td> <td>3,605</td> <td>3,463</td> </tr> <tr> <td>公費負担額</td> <td>円</td> <td>38,727,547</td> <td>37,418,236</td> <td>36,679,189</td> <td>36,011,261</td> <td>34,155,408</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	3,833	3,838	3,868	3,605	3,463	公費負担額	円	38,727,547	37,418,236	36,679,189	36,011,261	34,155,408
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
支給件数	件	3,833	3,838	3,868	3,605	3,463																											
公費負担額	円	38,727,547	37,418,236	36,679,189	36,011,261	34,155,408																											
<p>2 身体障害者紙おむつ購入費助成事業                      在宅の重度身体障害者に対し、紙おむつ購入費用の一部を助成するための助成券を発行する。                      対象者1名につき16,000円の助成額                      年度中1回の交付</p> <p>【成果】                      在宅の重度身体障害者に紙おむつ購入費の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>《支給実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>公費負担額</td> <td>円</td> <td>107,205</td> <td>111,385</td> <td>111,238</td> <td>54,708</td> <td>46,849</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	7	7	7	5	3	公費負担額	円	107,205	111,385	111,238	54,708	46,849
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
支給件数	件	7	7	7	5	3																											
公費負担額	円	107,205	111,385	111,238	54,708	46,849																											
<p>3 重度障害者（児）住宅リフォーム助成事業                      重度障害者（児）の居住する住宅をその重度障害者（児）に適するように改良する工事を行うにあたり、申請後に職員が事前に実地調査を行い、補助を決定する。工事完了後に実績報告書を提出してもらい、申請内容と相違がなければ補助金を交付する。                      補助金は対象工事費の3/4で、上限262,000円である。</p> <p>【成果】                      相談は数件あったが、日常生活用具給付制度の居宅生活動作補助用具の給付を利用することとなった。</p> <p>《支給実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>公費負担額</td> <td>円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>262,000</td> <td>262,000</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	0	0	0	1	1	公費負担額	円	0	0	0	262,000	262,000
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
支給件数	件	0	0	0	1	1																											
公費負担額	円	0	0	0	262,000	262,000																											

- 4 身体障害者（児）住宅整備資金貸付事業  
心身障害者世帯又は心身障害者と同居する世帯で、障害者の専用居室・浴室・トイレ・廊下などを改築する際の資金を貸し付ける。  
貸付額は一戸当たり2,020,000円以内（利息3%）

**【成果】**

住宅整備資金を必要とする人に、制度の案内を行えるような体制ができている。

- 5 小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業  
利用者の経済的負担を軽減し、より快適かつ自立した生活への手助けとする。

**【成果】**

決定件数：1件

給付品目：電気式たん吸引器

小児慢性特定疾病児童等に対し、日常生活用具を給付することで利用者の経済的負担を軽減し、より快適かつ自立した生活への手助けとなった。

《支給実績》

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支給件数	件	1	-	-	-	-
公費負担額	円	38,550	-	-	-	-

事業名：社会参加の促進に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	14	本年	14,879		△ 4,759	△ 1,334	8,786		7,099	80.8
				前年	16,396		△ 5,318		11,078		6,549	59.1
				比較	△ 1,517		559	△ 1,334	△ 2,292		550	-
【参考】前々年度					15,865				15,865		10,936	68.9

節別支出済額(単位:千円)

報償費	175	需用費	238	役務費	19	委託料	5,862
使用料及び賃借料	48	負担金補助及び交付金	158	扶助費	600		

概要及び成果

1 チャレンジアートフェスティバル事業

障害者（児）の社会参加促進事業として、当事者が制作した作品展示及び演劇等による舞台発表を実施するもの。事業は障害者（児）の芸術活動を支援する学識経験者や事業所等で構成する実行委員会方式により行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため舞台発表は中止としたが、作品展示はつくば美術館で実施し、来館者は1,314名であった。作品の制作を通じて障害者（児）の社会参加の促進を行い、美術館に展示することで市民に向けて障害福祉に対する理解の推進を図ることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加・来場者数(延べ)	人	2,139	1,800	1,556	4,502	4,570
(内)障害者関係参加者数(延べ)	人	825	736	817	3,316	3,100

※令和元年度、2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため作品展示のみの実施

2 おひさまサンサンフェスティバル事業

「高齢者いきいきまつり事業」との合同開催により、「おひさまサンサン生き生きまつり事業」として実施している。

団体競技種目、個人競争種目及び個人自由参加型種目の各競技種目を実施し、同時に高齢者及び障害者等の作品展示および物品販売やアトラクションとして市内協力団体等による発表を実施する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加・来場者数(延べ)	人	0	0	1,225	1,605	1,800
(内)障害者関係参加者数(延べ)	人	0	0	478	706	651
会場		開催中止	開催中止	桜総合体育館	研究学園駅前公園	つくばカピオ

※令和2年度、3年度共に新型コロナウイルス感染拡大により開催を中止。

3 奉仕員等養成研修事業

希望する市民に、厚生労働省のカリキュラム等による手話奉仕員、要約筆記奉仕員、点訳奉仕員及び朗読奉仕員の養成講座を行い、奉仕員を養成する。

【成果】

聴覚障害者や視覚障害者の支援員として、奉仕員を養成し、障害者等の福祉の増進を図ることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
修了者数	人	44	40	47	44	50

4 障害者団体等支援事業

障害者団体育成及び社会参加の促進のため、つくば聴覚障害者協会補助事業、就学学習会事業に対して、補助交付要項に基づき、補助金に関する事業を行う。

【成果】

つくば市補助金等交付適正化規則及び交付要項に基づき、適正な執行を行い、団体等に属する障害者の社会参加の促進が図られた。

5 身体障害者自動車改造費・運転免許取得費補助事業

障害者自身が運転するために必要な自動車改造費又は自動車運転免許の取得費について、実施要綱に基づき、その費用の一部を補助する。

【成果】

障害者自身が運転するために必要な自動車改造費及び自動車運転免許取得費について、その費用の一部を助成することで、就労機会の促進を図ることができた。

自動車改造費補助交付状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付件数	件	3	1	1	2	4
交付額	円	300,000	100,000	100,000	146,440	400,000

運転免許取得費補助交付状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付件数	件	3	0	1	2	0
交付額	円	300,000	0	100,000	200,000	0

6 体験乗馬療法事業

障害者（児）及び小学部6年生までを対象とし、ポニー等による体験乗馬療法を実施する。まつりつくば内、ふれあい広場会場（中央公園）にて実施する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数(延べ)	人	0	0	418	403	409

7 いす式階段昇降機保守事業

いす式階段昇降機保守管理（法期点検1回・定期点検年3回）を実施する。

設置場所：大穂交流センター・谷田部老人福祉センター・桜総合体育館・市民ホールつくばね

【成果】

保守点検を定期的に行うことにより、安全に使用することができた。

8 障害児運動教室事業

スポーツをとおして、障害児の体力の増強、他者との交流の促進、余暇の充実等を図ることを目的に実施する。また、集団活動を行うことで社会生活の基盤を築き、自立と社会参加の促進を図る。

【成果】

運動教室を開催することで、障害児の体力増強、交流、余暇活動の充実を図ることができた。全10回の開催予定のうち3回は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数(延べ)	人	132	125	192	176	145

9 生活支援事業

精神障害者等に対し、日常生活の支援や相談及び創作的活動又は生産活動の機会を提供するなど、社会との交流促進等の便宜を供与する。

生活支援事業として土浦市にある、ほびき園へ委託している。

【成果】

つくば市からの事業利用者が、適切な費用負担により社会参加の促進が行われている。

10 音声誘導装置保守事業

つくば駅周辺に設置してある音声誘導装置7箇所音声誘導標識システムを設置し、委託業者による保守管理の実施及び職員による自主管理を行う。(エキスポセンター入口、アルス正面玄関前、中央公園入口、ノバホール入口、ノバホール玄関入口、クレオ・モグ入口、カピオ入口)

【成果】

保守点検を定期的実施することにより、安全に使用することができた。

11 合理的配慮支援事業補助金

商業事業者等が行う合理的配慮の提供のための物品購入費に費用の全部又は一部を助成する。

【成果】

制度の相談はあったが申請に至らなかったため、事業の周知に注力した。商工会会報への制度案内の掲載、市内中心部の路面店舗(30店以上)に制度のチラシと筆談ボードや合理的配慮を示すステッカーを配布した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支給決定数	件	0	1	2	2	-
支給決定実績額	円	0	33,980	200,000	53,420	-

12 障害者の生活基盤確保と就労支援

つくば市障害者雇用促進協議会を開催し、ハローワークと連携した事業を行うことで、就労する意欲のある障害者に対して必要な情報を提供する。

【成果】

障害者雇用に関する多くの関係機関が集う事業のため、感染症拡大防止の観点から事業を中止した。

13 障害者就労施設等の活動PR

行政機関が率先して障害者就労施設等からの物品及び役務の調達を推進する。

【成果】

障害者就労施設等からの提供可能物品一覧をまとめ、庁内に共有することで、一定の調達結果を得た。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
調達実績額	円	6,771,678	5,969,734	8,110,835	6,593,138	5,473,500

事業名：特別障害者手当等支給に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	15	本年	123,633		3,393		127,026		123,799	97.5
				前年	120,879		234		121,113		120,142	99.2
				比較	2,754		3,159		5,913		3,657	-
【参考】前々年度				119,543				119,543		114,759	96.0	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	245	役務費	563	委託料	1,201	扶助費	121,790
-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------

概要及び成果

1 特別障害者手当等支給事務

特別障害者手当、障害児福祉手当、在宅障害児福祉手当は認定、支給事務を行う。経過的福祉手当は支給のみ。特別児童扶養手当は県から委託されている各種申請に関わる事務を行う。(受給者の認定・手当の支払い等は県で行っている。)

◆特別障害者手当：精神又は身体に著しく重度の障害が重複する又は最重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の20歳以上の方に支給

◆障害児福祉手当：①療育手帳の判定がマルA又は同程度の障害、②身体障害者手帳1級又は同程度の障害のため、日常生活において常時介護を必要とする状態にある在宅の20歳未満の方に支給

◆経過的福祉手当：昭和61年3月31日において20歳以上で、従来の福祉手当の受給者のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、障害基礎年金も支給されない重度障害者に支給

◆在宅障害児福祉手当：①療育手帳の判定がマルA、A、B程度の知的障害、又は同程度の精神障害、②身体障害者手帳1～3級程度の障害(内部疾患を含む)、下肢4級の一部のいずれかに該当する20歳未満の障害のある方を養育している保護者(同居者)に支給

◆特別児童扶養手当：①療育手帳の判定がマルA、A、B程度の知的障害、又は同程度の精神障害、②身体障害者手帳1～3級程度の障害(内部疾患を含む)、下肢4級の一部のいずれかに該当する20歳未満の障害のある方を扶養している保護者(同居者)に支給

【成果】

身体又は精神に重度の障害を有する在宅の障害者(児)及び障害児を扶養している養育者の、日常生活における経済的負担の軽減を図ることができた。

《支給実績》

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
特別障害者手当	名	93	96	84	85	80
障害児福祉手当	名	117	122	124	140	125
経過的福祉手当	名	4	4	4	4	5
在宅障害児福祉手当	名	429	398	362	349	342
特別児童扶養手当	名	421	413	408	405	387

2 難病患者福祉金支給事務

県が指定する338種類の指定難病患者及び4種類の一般特定疾患患者に月額3,000円の福祉金を支給する。

【成果】

難病患者に対し福祉金を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができた。

《支給実績》

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
難病患者福祉金	名	1,578	1,462	1,355	1,268	1,292



事業名： 障害福祉サービスに要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	16	本年	4,119,680		218,900		4,338,580		4,246,002	97.9
				前年	3,663,991		200,454		3,864,445		3,833,098	99.2
				比較	455,689		18,446		474,135		412,904	-
【参考】前々年度				3,249,559		223,192		3,472,751		3,464,451	99.8	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,440	旅費	126	需用費	354	役務費	7,518
委託料	1,840	使用料及び賃借料	924	備品購入費	53	扶助費	4,220,110
償還金利子及び割引料	13,637						

概要及び成果

1 障害福祉サービス事業

申請者の心身の状況や環境、障害福祉サービス利用に関する意向等の事情を勘案して作成されるサービス利用計画等に基づいて、障害福祉サービス等の支給決定を行う。

障害福祉サービス等は、介護等の支援を受ける「介護給付」と、訓練等の支援を受ける「訓練等給付」、相談支援員から助言を受けられる「計画相談支援」に大別されている。

【成果】

障害福祉サービスを必要とする申請者に対して、適切な内容のサービスを支給決定できた。

- ・支給決定者 1,309人
- ・支給決定件数 訪問系サービス 265件、日中活動系サービス 1,490件、施設系サービス 372件、計画相談支援 1,174件

障害福祉サービス実績 (各年度2月1日現在)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
居宅介護	件	203	180	166	147	152
重度訪問介護	件	29	24	23	21	18
行動援護	件	10	10	9	0	8
同行援護	件	23	23	20	9	23
重度障害者等包括支援	件	0	0	0	0	0
療養介護	件	12	11	9	10	10
生活介護	件	323	313	300	282	260
短期入所	件	483	462	462	436	411
施設入所支援	件	145	147	144	140	144
宿泊型自立訓練	件	2	2	4	6	4
自立訓練(機能訓練)	件	14	14	19	19	15
自立訓練(生活訓練)	件	35	45	35	28	26
就労移行支援	件	73	65	80	69	68
就労継続支援A型	件	98	81	61	82	82
就労継続支援B型	件	439	402	366	338	294
就労定着支援	件	23	20	15	4	-
自立生活援助	件	0	0	0	0	-
共同生活援助	件	213	187	156	135	130
計画相談支援	件	1,174	1,096	1,010	946	883
地域移行支援	件	1	0	0	0	0
地域定着支援	件	1	2	2	3	1

2 障害児通所支援事業

「児童発達支援（就学前の児童）」、「放課後等デイサービス（就学後の児童）」等の利用を必要とする障害児に対して、申請に基づき、認定調査を実施した上で支給決定を行う。

【成果】

申請に基づき、必要なサービスを支給決定することができた。

- ・支給決定者数 1,201人

障害児通所支援実績（各年度2月1日現在）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
児童発達支援	件	515	456	388	351	227
放課後等デイサービス	件	686	595	545	478	457
保育所等訪問支援	件	82	45	3	2	2
居宅訪問型児童発達支援	件	0	0	0	0	-
障害児相談支援	件	242	186	144	103	88

3 障害支援区分認定事業

障害福祉サービスを必要とする方を対象に、認定調査員による面接及び障害支援区分認定調査を行う。その認定調査結果と医師意見書を基に、市町村審査会に審査判定を依頼する。

審査会による審査判定結果に基づき、障害支援区分の認定と障害福祉サービスの支給決定を行い、サービス利用までの一連の事務を行う。

【成果】

障害支援区分を認定することで、適正なサービスの利用につなげることができた。

- ・障害支援区分認定審査会開催回数 12回/年
- ・障害支援区分認定調査件数 357件（うち業務委託件数137件）
- ・茨城県障害支援区分認定審査会委員研修 1回

障害支援区分認定審査会実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催回数	回	12	12	12	12	12
審査判定件数	件	357	289	291	302	251

事業名：心身障害者扶養共済に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	17	本年	8,460			360	8,820		8,800	99.8
				前年	8,880				8,880		8,560	96.4
				比較	△ 420			360	△ 60		240	-
【参考】前々年度				8,160		620	120	8,900		8,900	100.0	

節別支出済額(単位:千円)

扶助費 8,800

概要及び成果

1 心身障害者扶養共済年金

障害者を扶養している保護者から毎月一定の掛金を納めてもらい、保護者に万一のこと（死亡又は重度障害）があったときに、障害のある方に終身一定の年金を支給する。

【成果】

年金受給者に対しては、年金の支給を行うことにより生活の安定に資することができた。また、加入者に対しては、障害者の将来に対する不安軽減を図ることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
加入者	人	57	54	57	58	59
年金受給者	人	27	28	28	28	28
年金支給額	千円	8,800	8,560	8,900	8,310	8,890

事業名：地域生活支援に要する経費

福祉部 障害福祉課／障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	18	本年	110,862		2,223	292	113,377		109,001	96.1
				前年	107,403		115	△ 410	107,108		99,287	92.7
				比較	3,459		2,108	702	6,269		9,714	-
【参考】前々年度				107,978		287	△ 284	107,981		102,597	95.0	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,901	報償費	40	旅費	43	需用費	743
役務費	94	委託料	30,011	使用料及び賃借料	8	備品購入費	357
負担金補助及び交付金	18	扶助費	75,417	償還金利子及び割引料	369		

概要及び成果

- 1 障害者日中一時預かりサービス利用費助成事業  
介護する家族が、施設等において、障害者（児）を一時的（宿泊を伴わない）に預けるサービスを利用した際に要する費用の助成を行う。

【成果】

障害者（児）を在宅で介護する家族の一時的の休息等を確保し、身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支給決定者	人	559	539	510	460	411
延べ実施回数	回	23,812	20,802	20,327	18,888	15,494

- 2 障害者移動支援サービス利用費助成事業  
障害者（児）の外出に際して、ヘルパーが付添介護をした際に要する費用の助成を行う。

【成果】

移動支援サービスの利用を促進し、障害者（児）の社会参加の機会拡大や日常生活及び余暇時間の充実を図った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支給決定者	人	84	95	91	80	78
延べ実施回数	回	560	489	547	585	582

- 3 重度身体障害者訪問入浴サービス利用費助成事業  
家庭において介護なしでは入浴することが困難な重度身体障害者（児）が、訪問入浴サービスを利用した際に要する費用の助成を行う。

【成果】

在宅の重度身体障害者（児）の健康保持並びに介助に係る家族に身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支給決定者	人	24	23	22	22	22
延べ実施回数	回	1,624	1,498	1,329	1,305	1,336

- 4 重度障害者入院時コミュニケーション支援事業  
重度障害者のうち、意思疎通が困難で、かつ介護者がいない方が医療機関に入院する場合に、日頃から本人を介護し、本人の意思を医療機関従事者等に伝えることができる方をコミュニケーション支援員として医療機関に派遣する費用を助成する。

【成果】

事業について周知が図られた。

利用件数 0件

5 障害者福祉タクシー利用料金助成事業

障害者（児）が外出する際に1枚500円（1回の乗車につき2枚まで）の運賃を助成する。年間36枚（じん臓機能障害者で人工透析を行っている方は108枚）交付する。

【成果】

タクシー運賃料金の一部を助成することにより、障害者（児）の日常生活の利便性の向上や社会参加に寄与することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付冊数	冊	817	696	753	609	560
利用枚数	枚	10,616	9,369	10,544	5,417	4,881

※平成30年度までは初乗り運賃（24枚綴り）の助成、令和元年度からは500円券（36枚綴り）に変更。

6 地域活動支援センターⅠ型事業

地域において自立した日常・社会生活を営むことができるように、通所にて創作活動や生産活動の機会を提供して社会との交流の促進を図るとともに、障害者相談支援事業を行い、日常生活に必要な便宜の供与を行う事業。

【成果】

R3年度利用者数実績（延べ利用者数）

3,470名（Ⅰ型通所利用）＋ 1,206名（相談）＝ 4,676名

在宅における精神障害者等に対して、創作的活動または生産活動の機会を提供を行い、あわせて、相談支援事業を実施することにより、障害者の地域生活支援の促進を図ることができた。

地域活動支援センターⅠ型事業利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一日当たり施設利用者数	人	17	20	24	27	29

地域活動支援センターⅠ型事業延べ利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
年間延べ利用者数	人	4,676	4,980	6,405	7,335	7,650

※委託先（福）創志会 つくばライフサポートセンターみどりの

7 地域活動支援センターⅢ型事業

地域において自立した日常・社会生活を営むことができるように、通所にて創作活動や生産活動の機会を提供、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を行う事業。

【成果】

R3年度利用者数実績（延べ利用者数）

3,578名（Ⅲ型通所利用）＋ 1,020名（相談）＝ 4,598名

在宅における精神障害者に対して、創作的活動または生産活動の機会の提供や、社会との交流の促進等の便宜を供与できた。

地域活動支援センターⅢ型事業利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一日当たり施設利用者数	人	17	14	17	19	20

地域活動支援センターⅢ型事業延べ利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
年間延べ利用者数	人	4,598	3,674	4,223	4,581	4,734

※委託先（福）ゆっくら 地域活動支援センターわかば

8 意思疎通支援事業

聴覚障害者等が社会生活において意思疎通を必要とする、医療機関における受診、財産管理に係る相談、公共機関における手続き、社会参加のための講習会などの場に、手話通訳者及び要約筆記奉仕員を派遣して情報保障をするもの。また、市庁舎での各種手続きにおける情報保障を行うため手話通訳者を設置する。

【成果】

手話通訳者及び要約筆記者を派遣することにより、聴覚障害者の社会参加の機会拡大を図ることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
手話通訳者派遣数	件	425	351	385	375	341
要約筆記者派遣数	件	45	23	43	18	20

9 障害福祉計画策定事業

障害者総合支援法に基づく「障害福祉計画」、児童福祉法に基づく「障害児福祉計画」（3か年計画）、障害者基本法に基づく「障害者計画」を策定する。

【成果】

次年度の第3次障害者計画の中間見直しと第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の策定に向け、市民委員の公募や契約の準備、アンケート調査等の準備を進めた。

10 理学・作業・言語療法指導事業（理学・作業療法指導事業）

地域活動支援事業や児童発達支援事業において、機能訓練指導、職員の指導、保護者への指導等を行う。

【成果】

- ・4か所の福祉支援センターにて、機能訓練指導を実施し、福祉支援センター利用者の心身機能の維持、向上、また機能低下を遅らせることができた。

- ・福祉支援センター職員専門研修会を4回実施（オンライン、録画の視聴等による研修）し、職員の知識及び支援技術の向上を図ることができた。（延べ参加人数：231人 参加率：92.75%）

機能訓練指導実施者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
指導実施延べ人数	人	2,697	3,071	5,968	5,654	5,988

事業名：自立支援医療等に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
03	01	03	19	本年	199,169		4,658	144	203,971		192,309	94.3																					
				前年	196,968			△ 1,791	195,177		186,378	95.5																					
				比較	2,201		4,658	1,935	8,794		5,931	-																					
【参考】前々年度					163,001		17,307	1,762	182,070		181,938	99.9																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
役員費				1,104	委託料		660		扶助費		185,888	償還金利子及び割引料	4,657																				
概要及び成果																																	
<p>1 更生医療給付事業                      更生のために医療が必要な身体障害者に対し、特定の医療（対象となる医療が障害別に定められている。）を受けた場合の医療費総額の自己負担分3割の内、2割を（生活保護受給者は10割）公費で助成する。</p> <p>【成果】                      身体障害者手帳に記載された障害を改善、軽減させる医療に対して、医療費を助成することにより、医療費の負担を軽減することができた。</p> <p>《給付実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>件</td> <td>299</td> <td>253</td> <td>166</td> <td>69</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>公費負担額</td> <td>円</td> <td>184,788,398</td> <td>183,920,277</td> <td>178,070,803</td> <td>163,760,190</td> <td>155,171,601</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	件数	件	299	253	166	69	66	公費負担額	円	184,788,398	183,920,277	178,070,803	163,760,190	155,171,601
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
件数	件	299	253	166	69	66																											
公費負担額	円	184,788,398	183,920,277	178,070,803	163,760,190	155,171,601																											
<p>2 育成医療給付事業                      医療が必要な児童に対し、特定の医療（対象となる医療が障害別に定められている。）を受けた場合の医療費総額の自己負担分3割のうち、2割を（生活保護者は10割）公費で助成する。</p> <p>【成果】                      対象となる医療を受ける児童の保護者に対して医療費を助成することで、医療費の負担を軽減することができた。</p> <p>《給付実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>件</td> <td>25</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>27</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>公費負担額</td> <td>円</td> <td>1,099,818</td> <td>1,180,821</td> <td>2,412,207</td> <td>2,139,059</td> <td>1,686,764</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	件数	件	25	22	22	27	24	公費負担額	円	1,099,818	1,180,821	2,412,207	2,139,059	1,686,764
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
件数	件	25	22	22	27	24																											
公費負担額	円	1,099,818	1,180,821	2,412,207	2,139,059	1,686,764																											
<p>3 精神通院医療給付事業                      自立支援医療受給者証の交付申請の受付及び茨城県が所管する茨城県精神保健福祉センターへ申請書類の進達を行う。                      県が発行した受給者証を申請者に交付する。</p> <p>【成果】                      受給者証を交付することで、精神医療を受診する人の通院医療費の自己負担を軽減できた。</p> <p>《受給者証交付実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>件</td> <td>3,285</td> <td>3,185</td> <td>2,731</td> <td>2,507</td> <td>2,090</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	件数	件	3,285	3,185	2,731	2,507	2,090							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
件数	件	3,285	3,185	2,731	2,507	2,090																											

事業名：福祉相談に要する経費

福祉部 障害福祉課／障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	20	本年	29,559			327	29,886		28,260	94.6
				前年	32,663		△ 134		32,529		29,418	90.4
				比較	△ 3,104		134	327	△ 2,643		△ 1,158	-
【参考】前々年度					28,447				28,447		25,999	91.4

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,901	職員手当等	224	報償費	271	旅費	71
需用費	31	委託料	24,658	使用料及び賃借料	357	負担金補助及び交付金	15
扶助費	732						

概要及び成果

1 福祉相談事業（直営）

職員及び、委託する身体障害者相談員、知的障害者相談員が当事者等から相談を受け、内容に応じて適切な関係機関、関係各課等の支援、手続き担当者につないだり（連絡・調整）、情報提供や助言などの支援を行う。

【成果】

相談者を適宜、関係機関等へつなげることができた。

相談件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
来庁	件	56	23	63	68	71
電話	件	125	117	200	163	149
訪問	件	28	23	29	31	29
計	件	209	163	292	262	249

2 福祉相談支援事業（委託）

市内4か所の指定相談支援事業者に委託し実施。月曜日から金曜日まで（祝日除く）、相談窓口として相談支援員を配置し、障害者等へ情報提供や助言を行い、生活全般をサポートする。

【成果】

直営の福祉相談事業と市内委託相談支援事業所とが連携し、各地域で相談支援を実施することができた。

相談件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
来所	件	317	229	406	435	433
電話	件	5,052	4,191	3,194	2,892	4,044
訪問	件	1,486	1,558	2,116	1,840	1,058
計	件	6,855	5,978	5,716	5,167	5,535

3 障害者虐待防止事業

地域における関係機関等の協力体制の整備・充実を図るとともに、家庭訪問等個別支援事業、普及啓発事業により、障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応及びその後の適切な支援を行う。

【成果】

障害者虐待防止に対する体制を整備し、市民等からの通報があった際には迅速に行動し、適切な初動対応をとることができた。

障害者虐待防止センター通報実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
通報件数	件	11	8	6	5	5
(うち虐待であった件数)	件	1	0	1	-	1

4 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の市長申立てに要する経費（登記手数料、鑑定費用等）及び成年後見人等の報酬を支給する。

【成果】

成年後見制度の周知普及と市町村申し立ての実務体制整備により、障害者の権利擁護を行い、生活の安心・安全を図ることができた。

審判請求費用・報酬助成金支給件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支給件数	件	3	3	-	-	-

5 成年後見制度推進事業

成年後見制度の普及啓発、利用支援、法人後見の受任、市民後見人養成及びその支援、後見監督人の受任を行う。

【成果】

相談体制や後見人支援等支援体制を強化することができ、また市民後見人のフォローアップを行うことができた。

6 発達障害相談支援事業

臨床心理士・臨床発達心理士等により、発達の気になる児童とその保護者に対し相談や検査を実施し、障害の早期発見・早期支援のための助言・支援等を行う。また、関係機関の職員等に対し助言等の支援や、関係機関との連絡調整を行う。

【成果】

庁舎内や子育て支援センター、保健センターなどで相談の受け入れをしており、関係各部署とも連携を図りながら相談を実施することができた。その結果、保護者が相談に繋がりがやすくなり、早期に支援を実施することができた。

発達障害巡回相談件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
個別相談(来庁・電話)	件	241	209	327	382	448
巡回相談	件	199	317	826	906	973
計	件	440	526	1,153	1,288	1,421
(うち発達検査・知能検査数)	件	24	39	217	284	213

件数は延べ件数

7 障害者自立支援協議会

障害者が地域で自立した生活を送るための支援体制等の課題について、情報を共有し、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行う。

【成果】

- ・全体会 1回
- ・部会 6回（おとな部会3回、こども部会3回）
- ・プロジェクト会議 6回

部会では防災ガイドブックの配布に向けて、記載内容や構成について協議を行った。また、プロジェクト会議では、物品販売の庁舎内店舗設置等を目指し、試験的に「つくば市福祉の店」を開催した。



事業名：児童発達支援センターに要する経費

福祉部 障害福祉課／障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
03	01	03	21	本年	9,616				9,616	9,270	82	97.3																												
				前年	486		△ 54		432		57	13.1																												
				比較	9,130		54		9,184	9,270	25	-																												
【参考】前々年度					504				504		48	9.5																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
需用費				67	負担金補助及び交付金		15																																	
概要及び成果																																								
<p>1 児童発達支援センター事業 障害児に対する療育訓練と保護者への支援を包括的に実施する上で、中核的役割をもつ児童発達支援センターを設置する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年4月に保育所等訪問支援事業所を福祉支援センターとよさと内で開設。</li> <li>・ペアレントメンター事業の開始に向けて、課内担当者での協議と令和4年2月に事前研修会を開催。</li> <li>・筑波大学が事業者の公募を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で応募締切を延長しており、事業スケジュールが遅れているが、必要な事業については順次進めることができた。</li> </ul>																																								
<p>2 障害児相談支援事業 障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービス）等を申請した障害児に対して、障害児利用支援計画の作成をし、一定期間ごとに利用計画等の再評価（モニタリング）等の支援を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>障害児の自立した生活を支えるため、計画相談だけでなく基本相談をとおして障害児相談支援の利用を促進した。</p> <p>相談支援件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本相談 ※1</td> <td>件</td> <td>48</td> <td>28</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計画相談 ※2</td> <td>件</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>継続相談支援</td> <td>件</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 基本相談を実施した延べ件数 ※2 計画変更も含む</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	基本相談 ※1	件	48	28	-	-	-	計画相談 ※2	件	6	7	-	-	-	継続相談支援	件	12	11	-	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
基本相談 ※1	件	48	28	-	-	-																																		
計画相談 ※2	件	6	7	-	-	-																																		
継続相談支援	件	12	11	-	-	-																																		
<p>3 保育所等訪問支援事業（福祉支援センターとよさと） 発達に配慮が必要な児童に対し、保育所や幼稚園等において、集団参加や社会性等に関する支援を行うことにより集団生活の適応を図り社会参加を促進する。</p> <p>【成果】</p> <p>発達に配慮が必要な児童が、集団生活へなじめるように、個別支援計画を作成し、それに基づき訪問先で集団生活適応のための専門的な支援と指導を実施した。</p> <p>保育所等訪問支援実施人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所等訪問支援</td> <td>人</td> <td>8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>年間で保育所等訪問支援を実施した延べ人数</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	保育所等訪問支援	人	8	-	-	-	-														
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
保育所等訪問支援	人	8	-	-	-	-																																		

事業名：後期高齢者医療に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	04	11	本年	2,080,380		7,971		2,088,351		2,059,850	98.6
				前年	1,960,296		63,685		2,023,981		2,009,533	99.3
				比較	120,084		△ 55,714		64,370		50,317	-
【参考】前々年度				1,944,672		△ 12,095		1,932,577		1,917,743	99.2	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	862	役務費	4,657	委託料	48,929	使用料及び賃借料	693
負担金補助及び交付金	1,604,420	繰出金	400,288				

概要及び成果

1 後期高齢者医療事務

医療費給付等を行うために茨城県後期高齢者医療広域連合へ負担金を納付  
後期高齢者医療被保険者に対して人間ドックや健康診査の受診機会を提供  
高齢者の低栄養防止対策として、専門職による食生活改善教室の開催

【成果】

後期高齢者の健康診査として、市の集団健診を実施（感染防止対策のため予約制とし、1日当たりの健診人数を制限して52日間実施）したほか、医療機関健診、人間ドック、脳ドック等の受診者に対する助成を行った。食生活改善教室は10月～1月の4か月間、桜地区と豊里地区の2地区で各5回開催した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
特別会計への繰出金	千円	400,289	391,815	337,648	351,278	338,431
広域連合への負担金	千円	1,594,576	1,539,329	1,511,165	1,481,842	1,430,958

(1) 高齢者健康診査受診率

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
市受診率	%	21.87	18.77	32.27	31.36	29.87

(2) 人間ドック等助成

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
人間ドック	人	459	352	350	343	306
脳ドック	人	71	39	15	19	14

(3) 高齢者の低栄養防止のための食生活改善教室

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加申込者	人	25	25	66	-	-

令和2年度健診結果がBMI21.5以下の方及び介護保険要支援1・2で、基本チェックリスト11、12該当者を対象として抽出し実施。

事業名：医療福祉費支給に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	05	11	本年	1,629,362		121,832		1,751,194		1,696,867	96.9
				前年	1,721,690		4,327		1,726,017		1,491,598	86.4
				比較	△ 92,328		117,505		25,177		205,269	-
【参考】前々年度					1,660,347		64,801		1,725,148		1,685,441	97.7

節別支出済額(単位:千円)

需用費	846	役務費	39,843	委託料	6,935	扶助費	1,649,243
-----	-----	-----	--------	-----	-------	-----	-----------

概要及び成果

1 医療福祉費支給事業

- (1)小児（外来:小学6年生まで・入院:高校3年生相当まで）・ひとり親家庭・妊産婦・重度心身障害者などが、医療保険で医療機関にかかった場合の一部負担金相当額について、茨城県制度により助成（所得制限有り）している。
- (2)小児（中学3年生まで）で、所得制限により県制度が非該当の方と、中学生の外来については、つくば市独自により助成している。
- (3)医療機関から請求されるレセプト（診療報酬明細書）の審査及び医療福祉費の支払い事務を県国保連合会及び社会保険診療報酬支払基金に委託し、それに伴う手数料の支払いをしている。

【成果】

県制度 ※受給者数は各年度末

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受給者数	人	43,786	43,078	42,625	42,487	38,420
医療費助成額	千円	1,386,510	1,218,240	1,375,979	1,346,950	1,342,507
審査支払手数料	千円	27,843	24,050	29,858	30,320	30,797

市独自制度

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受給者数	人	12,343	11,862	11,444	10,996	10,640
うち県制度重複受給者	人	4,723	4,484	4,334	4,302	4,329
医療費助成額	千円	262,733	226,688	260,001	239,492	211,372
審査支払手数料	千円	6,817	5,871	7,200	7,092	7,106

- 平成29年10月1日に市独自制度によるひとり親家庭への外来自己負担金の助成を開始した。
- 平成30年10月1日に県制度において高校3年生相当までの入院が新たに対象となった。
- 平成31年4月1日に県制度において精神障害者保健福祉手帳1級所持者が新たに対象となった。

事業名：国民年金に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	06	11	本年	10,319				10,319		9,633	93.4
				前年	10,569		△ 89		10,480		9,595	91.6
				比較	△ 250		89		△ 161		38	-
【参考】前々年度					7,256				7,256		6,539	90.1

節別支出済額(単位:千円)

報酬	7,425	職員手当等	899	旅費	377	需用費	790
役務費	142						

概要及び成果

1 国民年金事務

法令の規定に基づく法定受託事務と国との協力・連携事務である国民年金適用関係届出、給付関係届出、国民年金保険料免除申請、国民年金保険料学生納付特例申請の相談、受付業務や広報等を行う。

【成果】

国民年金被保険者関係届出事務

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
国民年金被保険者関係届出事務	件	5,650	5,794	6,683	7,058	8,026

裁定請求受付事務

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
老齢基礎年金	件	14	25	30	35	36
障害基礎年金	件	95	90	86	83	85
遺族基礎年金	件	3	0	3	1	4
寡婦年金	件	1	0	1	1	2
死亡一時金	件	15	20	13	18	19

申請免除事務

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申請免除事務 ※1	件	2,388	2,804	5,425	5,753	5,526

学生納付特例申請事務

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
学生納付特例申請事務	件	2,031	2,298	4,477	5,564	4,317

※1 継続審査を希望する方が増加したことにより、窓口での申請免除届出件数が減となった。

事業名：民間団体活動に要する経費

市民部 地域改善対策室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
03	01	07	11	本年	4,150				4,150		4,100	98.8												
				前年	4,150				4,150		4,150	100.0												
				比較							△ 50	-												
【参考】前々年度					4,150				4,150		4,150	100.0												
節別支出済額(単位:千円)																								
負担金補助及び交付金					4,100																			
概要及び成果																								
<p>1 人権啓発推進支援事業</p> <p>部落の完全解放と基本的人権の確立のため、人権・同和問題の正しい理解と認識を深める啓発活動を推進する民間運動団体で、かつ茨城県が対応している団体（市内4支部）を支援し、人権・同和問題の早期解決と差別意識の解消を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>民間運動団体は、部落差別の解消を図るべく自主的に活動する団体であり、同和問題の解決に貢献し、多くの成果をもたらしてきている。行政が実施困難な同和関係者の自立に向けた支援や相談、教育、啓発等を行い、効果は着実に表れてきている。</p> <p>補助金額内訳</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">部落解放愛する会茨城県連合会</td> <td style="width: 20%;">つくば支部</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">2,150,000円</td> </tr> <tr> <td>全日本同和会茨城県連合会</td> <td>谷田部支部</td> <td style="text-align: right;">900,000円</td> </tr> <tr> <td>全日本同和会茨城県連合会</td> <td>桜支部</td> <td style="text-align: right;">900,000円</td> </tr> <tr> <td>茨城県地域人権運動連合会</td> <td>つくば支部</td> <td style="text-align: right;">150,000円</td> </tr> </table>													部落解放愛する会茨城県連合会	つくば支部	2,150,000円	全日本同和会茨城県連合会	谷田部支部	900,000円	全日本同和会茨城県連合会	桜支部	900,000円	茨城県地域人権運動連合会	つくば支部	150,000円
部落解放愛する会茨城県連合会	つくば支部	2,150,000円																						
全日本同和会茨城県連合会	谷田部支部	900,000円																						
全日本同和会茨城県連合会	桜支部	900,000円																						
茨城県地域人権運動連合会	つくば支部	150,000円																						

事業名：地域改善対策に要する経費

市民部 地域改善対策室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
03	01	07	12	本年	2,895		△ 305		2,590		2,056	79.4			
				前年	2,977		△ 163		2,814		2,402	85.3			
				比較	△ 82		△ 142		△ 224		△ 346	-			
【参考】前々年度				2,535				2,535		2,394	94.4				
節別支出済額(単位:千円)															
報償費				1,248	旅費		11		需用費		694	役務費		3	
負担金補助及び交付金				100											
概要及び成果															
<p>1 人権啓発推進事業</p> <p>市職員等への同和問題研修等の実施により、人権・同和問題に対する正しい理解と認識を図るための啓発活動を推進する。</p> <p>国・県・市町村及び民間運動団体の実施する研修会・講演会等に職員を積極的に派遣し、人権・同和問題の正しい理解と認識を深め、人権意識の醸成と高揚を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 人権・同和問題の早期解決を図る啓発活動を推進した。また、広域隣保相談の実施により、関係地域住民の問題解決のための支援を行い、生活環境等の安定向上に寄与した。</p> <p>① 人権・同和問題研修会 市職員研修 102名</p> <p>② 広域隣保相談 生活・人権相談所開設 相談件数 94件</p> <p>③ 人権啓発用品の作成及び配布 ボールペン 200本 ハンドジェル 300個</p> <p>④ 人権啓発ポスター掲示</p> <p>⑤ 同和問題啓発リーフレット、えせ同和行為対応冊子の配布</p> <p>(2) 人権・同和問題の早期解決（差別意識の解消等）に向けて、以下の研修会等へ参加することで、職員の人権意識の醸成と高揚が図られ、同和問題に対する理解・認識が高まった。</p> <p>① 部落解放愛する会主催 6回 50名</p> <p>② 全国人権連（茨城県地域人権運動連合会）主催 2回 8名</p> <p>③ 全日本同和会主催 3回 19名</p> <p>④ 部落解放同盟全国連合会主催 1回 2名</p> <p>⑤ その他 国・地方自治体主催 研修会・講演会へ参加 4回 10名</p>															

事業名：桜老人福祉センター運営に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	08	11	本年	22,297				22,297		20,405	91.5
				前年	23,788		374		24,162		21,614	89.5
				比較	△ 1,491		△ 374		△ 1,865		△ 1,209	-
【参考】前々年度					23,614				23,614		22,177	93.9

節別支出済額(単位:千円)

需用費	7,837	役務費	6,477	委託料	3,880	使用料及び賃借料	708
工事請負費	1,287	備品購入費	216				

概要及び成果

- 1 桜老人福祉センター管理運営事業  
 入浴設備等の適正な施設管理及び整備  
 各種サークル等の支援や高齢者の活動場所の提供  
 社会福祉協議会主催事業への施設貸出  
 経年劣化により改修を必要とする設備等の修繕

【成果】

岩風呂の天井の改修工事を行なったとともに、陶芸室のブラインドや1階障害者トイレの便座等の修繕を実施した。これらの修繕により施設の安全が確保され、利用者の健康増進、福祉の向上を図ることができた。

工事請負費 岩風呂天井改修：1,287千円  
 施設修繕料 ブラインド修繕 他：687千円

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
施設利用者数	人	12,873	8,308	24,111	29,215	26,137

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための休館等により令和2年度以降の利用者数は減少した。

事業名：谷田部老人福祉センター運営に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	08	12	本年	61,826				61,826		54,553	88.2
				前年	36,247				36,247		31,991	88.3
				比較	25,579				25,579		22,562	-
【参考】前々年度					35,110			154	35,264		34,480	97.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	12,374	役務費	7,849	委託料	10,603	使用料及び賃借料	700
工事請負費	22,968	備品購入費	60				

概要及び成果

- 1 谷田部老人福祉センター管理運営事業  
 施設及び浴場設備の維持管理を行い、利用者に安心・安全で快適な環境を提供する。また、利用者の交流を促進するために、カラオケ機器や各種サークル活動のための部屋の貸出を行う。加えて、教養講座としてヨガ講座を実施し健康維持を図る。

【成果】

入浴施設（給湯設備）の改修工事を年度内に完了した。また、施設の適正管理に努め、入浴施設等を安定して提供し、利用者の健康増進、福祉の向上を図ることができた。

施設修繕料 空調機器修繕他：1,665千円  
 工事請負費 給湯設備改修工事：22,968千円

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
施設利用者数	人	27,998	27,340	59,370	54,191	61,823

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための休館等により令和2年度以降の利用者数は減少した。

事業名： 荃崎老人福祉センター運営に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	08	13	本年	21,289	1,287			22,576		21,310	94.4
				前年	20,460		4,917		25,377	1,287	20,736	86.8
				比較	829	1,287	△ 4,917		△ 2,801	△ 1,287	574	-
【参考】前々年度					19,513			1,298	20,811		19,807	95.2

節別支出済額(単位:千円)

需用費	7,440	役務費	2,634	委託料	6,975	使用料及び賃借料	2,794
工事請負費	1,425	備品購入費	42				

概要及び成果

- 1 荃崎老人福祉センター及び荃崎農村高齢者交流センターの管理運営事業  
 各種サークル等の支援や高齢者の活動場所の提供。  
 入浴設備の適正な施設管理及び整備。  
 社会福祉協議会主催の事業への施設貸出。

【成果】

高齢者の生きがい対策の推進を主体に健康増進、教養向上、レクリエーション活動および利用者同士のコミュニケーションを図る場を提供し、かつ利便性の向上と福祉の向上を図ることができた。

また、施設の老朽化に伴う施設建物・設備・機器の故障などの突発的な修繕に迅速に対応したことにより、施設が安心安全に利用できるようになった。

施設修繕料 漏水復旧修繕 他：1,710千円

工事請負費 空調設備（保育室・作業室エアコン）設置工事：1,287千円（繰越明許）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
延利用者数	人	11,379	11,019	15,668	18,978	21,066

※ただし、福祉支援センターくさぎき通所者、社会福祉協議会事業等の利用者含む。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための休館等により令和2年度以降の利用者数は減少した。



事業名：福祉支援センターさくら運営に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	09	11	本年	77,088				77,088		72,105	93.5
				前年	58,847		6,173	410	65,430		59,934	91.6
				比較	18,241		△ 6,173	△ 410	11,658		12,171	-
【参考】前々年度				64,085			164	64,249		51,904	80.8	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	9,702	職員手当等	602	報償費	38	旅費	422
需用費	3,697	役務費	590	委託料	53,352	材料及び賃借料	2,638
工事請負費	682	備品購入費	323	負担金補助及び交付金	59		

概要及び成果

1 地域活動支援サービス（福祉支援センターさくら）

個別支援計画を作成し、社会適応訓練、更生相談、スポーツ・レクリエーション・社会との交流促進、創作活動、健康指導、生産活動、介護方法の指導、送迎サービス等の支援を提供する。

【成果】

利用者個々の障害状況に応じた個別支援計画に沿ってサービスを提供することができた。

- (1) 事業実施日数 239日
- (2) 1日当たり利用者定員 30名
- (3) 利用登録者数 31名 (身体) 16名 (知的) 15名
- (4) 送迎バス台数 3台
- (5) 送迎バス利用登録者数 29名

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
サービス利用者数	人	3,440	2,850	3,698	3,945	4,107
(内訳)身体障害者	人	1,105	935	1,173	1,373	1,401
(内訳)知的障害者	人	2,335	1,915	2,525	2,572	2,706
送迎バス利用	人	3,684	4,016	3,718	4,283	4,214
(内訳)身体障害者	人	1,761	1,616	1,670	2,246	2,075
(内訳)知的障害者	人	1,923	2,400	2,048	2,037	2,139

※延べ人数

2 児童発達支援（福祉支援センターさくら）

保護者と児童に対して、小集団における指導（保育）、ことばやコミュニケーションの指導・認知を中心とした発達指導、日常生活動作等の諸活動に対する指導、運動など基本的動作活動に対する指導などの支援を提供する。

【成果】

児童の状況及びニーズを的確に捉え、個別支援計画を策定し、その計画に基づき、療育指導を提供することができた。このことにより、日常生活への指導や身辺自立に向けての支援や助言を行い、児童の発達を促すことができた。

- (1) 事業実施日数 231日
- (2) 1日当たり利用定員 20名
- (3) 利用登録者数 55人

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
サービス利用者数	人	1,226	1,328	1,699	2,139	2,064

※延べ人数

3 施設維持管理

福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。

【成果】

- (1) 知的棟ベランダ床修繕 682千円
- (2) 児童棟壁、雨どい、屋上タンク配管等修繕 486千円

事業名：福祉支援センターやたべ運営に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
03	01	09	12	本年	35,622				35,622		31,789	89.2																																			
				前年	34,940		△ 20		34,920		33,702	96.5																																			
				比較	682		20		702		△ 1,913	-																																			
【参考】前々年度					18,404				18,404		17,887	97.2																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
需用費					287	役務費		45	委託料		30,845	使用料及び賃借料		578																																	
公課費					34																																										
概要及び成果																																															
<p>1 地域活動支援サービス（福祉支援センターやたべ） 個別支援計画を作成し、社会適応訓練、更生相談、スポーツ・レクリエーション・社会との交流促進、創作活動、健康指導、生産活動、介護方法の指導、送迎サービス等の支援を提供する。</p> <p>【成果】 利用者個々の障害状況に応じた個別支援計画に沿ってサービスを提供することができた。</p> <p>(1) 事業実施日数 239日 (2) 1日当たり利用者定員 15名 (3) 利用登録者数 8名（身体）5名（知的）3名 (4) 送迎バス台数 2台 (5) 送迎バス利用登録者数 6名</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス利用者</td> <td>人</td> <td>774</td> <td>957</td> <td>1,552</td> <td>1,683</td> <td>2,106</td> </tr> <tr> <td>内訳(身体障害者)</td> <td>人</td> <td>274</td> <td>361</td> <td>395</td> <td>486</td> <td>688</td> </tr> <tr> <td>内訳(知的障害者)</td> <td>人</td> <td>500</td> <td>596</td> <td>1,157</td> <td>1,197</td> <td>1,418</td> </tr> <tr> <td>送迎バス利用者数</td> <td>人</td> <td>591</td> <td>876</td> <td>1,734</td> <td>2,072</td> <td>2,855</td> </tr> </tbody> </table> <p>※延べ人数</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	サービス利用者	人	774	957	1,552	1,683	2,106	内訳(身体障害者)	人	274	361	395	486	688	内訳(知的障害者)	人	500	596	1,157	1,197	1,418	送迎バス利用者数	人	591	876	1,734	2,072	2,855
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
サービス利用者	人	774	957	1,552	1,683	2,106																																									
内訳(身体障害者)	人	274	361	395	486	688																																									
内訳(知的障害者)	人	500	596	1,157	1,197	1,418																																									
送迎バス利用者数	人	591	876	1,734	2,072	2,855																																									
<p>2 施設維持管理 福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。</p> <p>【成果】 年間を通じて軽微な修繕等を適宜行い、利用者に対して快適な利用場所を提供できた。</p>																																															

事業名：福祉支援センターとよさと運営に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	09	13	本年	53,467			836	54,303		45,748	84.2
				前年	41,029		△ 115		40,914		29,299	71.6
				比較	12,438		115	836	13,389		16,449	-
【参考】前々年度					42,145				42,145		32,640	77.4

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,818	職員手当等	383	報償費	81	旅費	194
需用費	2,129	役務費	521	委託料	35,631	使用料及び賃借料	1,189
工事請負費	1,694	備品購入費	91	負担金補助及び交付金	17		

概要及び成果

1 地域活動支援サービス（福祉支援センターとよさと）

個別支援計画を作成し、社会適応訓練、更生相談、スポーツ・レクリエーション・社会との交流促進、創作活動、健康指導、生産活動、介護方法の指導、送迎サービス等の支援を提供する。

【成果】

個別支援計画に沿った事業運営を行った。作業療法士や理学療法士から指導を受け、個別の障害に適したサービスを提供することができた。

- (1) 事業実施日数 239日
- (2) 1日当たり利用者定員 20名
- (3) 利用登録者数 11名（身体）5名（知的）6名
- (4) 送迎バス台数 3台
- (5) 送迎バス利用登録者数 11名

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
サービス利用者数	人	1,543	1,763	2,081	2,399	2,472
(内訳)身体障害者	人	546	855	1,024	1,487	1,194
(内訳)知的障害者	人	997	908	1,057	912	1,278
送迎バス利用	人	2,349	2,704	3,070	3,676	3,945
(内訳)身体障害者	人	1,087	1,703	1,850	1,918	2,085
(内訳)知的障害者	人	1,262	1,001	1,220	1,758	1,860

※延べ人数

2 児童発達支援（福祉支援センターとよさと）

保護者と児童に対して、小集団における指導（保育）、ことばやコミュニケーションの指導・認知を中心とした発達指導、日常生活動作等の諸活動に対する指導、運動など基本的動作活動に対する指導などの支援を提供する。

【成果】

児童の状況及びニーズを的確に捉え、個別支援計画を策定し、その計画に基づき、療育指導を提供することができた。このことにより、日常生活への指導や身辺自立に向けての支援や助言を行い、児童の発達を促すことができた。

- (1) 事業実施日数 231日
- (2) 1日当たり利用定員 20名
- (3) 利用登録者数 35名

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
サービス利用者数	人	700	770	1,226	1,376	1,744

※延べ人数

3 施設維持管理

福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。

【成果】

ウットデッキ撤去工事 748千円

事業名：福祉支援センターくさぎぎ運営に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	09	14	本年	47,603				47,603		44,917	94.4
				前年	47,203		△ 87		47,116		43,222	91.7
				比較	400		87		487		1,695	-
【参考】前々年度					37,241				37,241		31,554	84.7

節別支出済額(単位:千円)

報酬	4,898	職員手当等	443	報償費	15	旅費	233
需用費	310	役務費	70	委託料	37,517	使用料及び賃借料	1,157
備品購入費	267	負担金補助及び交付金	8				

概要及び成果

1 地域活動支援サービス（福祉支援センターくさぎぎ）

個別支援計画を作成し、社会適応訓練、更生相談、スポーツ・レクリエーション・社会との交流促進、創作活動、健康指導、生産活動、介護方法の指導、送迎・入浴サービス等の支援を提供する。

【成果】

利用者個々の障害状況に応じた個別支援計画に沿ってサービスを提供することができた。

- (1) 事業実施日数 239日
- (2) 1日当たり利用者定員 20名
- (3) 利用登録者数 14名 (身体) 5名 (知的) 9名
- (4) 送迎バス台数 3台
- (5) 送迎バス利用登録者数 13名
- (6) 入浴サービス登録者数 2名

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
サービス利用者数	人	2,087	2,428	3,064	3,407	3,741
(内訳)身体障害者	人	541	605	720	870	999
(内訳)知的障害者	人	1,546	1,823	2,344	2,537	2,742
送迎バス利用	人	3,466	4,162	5,563	6,246	6,951
(内訳)身体障害者	人	882	996	1,238	1,498	1,841
(内訳)知的障害者	人	2,584	3,166	4,325	4,748	5,110
入浴サービス(身体のみ)	人	174	178	166	194	289

※延べ人数

2 児童発達支援事業（福祉支援センターくさぎぎ）

保護者と児童に対して、小集団における指導（保育）、ことばやコミュニケーションの指導・認知を中心とした発達指導、日常生活動作等の諸活動に対する指導、運動など基本的動作活動に対する指導などの支援を提供する。

【成果】

児童の状況及びニーズを的確に捉え、個別支援計画を策定し、その計画に基づき、療育指導を提供することができた。このことにより、児童の発達を促し、日常生活への指導、アドバイス等の支援を行なうことができた。

- (1) 事業実施日数 227日
- (2) 1日当たり利用定員 10名
- (3) 利用登録者数 30名

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
サービス利用者数	人	749	889	1,049	1,163	1,118

※延べ人数

3 施設維持管理

福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。

【成果】

年間を通じて軽微な修繕等を適宜行い、利用者に対して快適な利用場所を提供できた。

事業名：消費生活センターに要する経費

市民部 消費生活センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	11	本年	4,445				4,445		3,957	89.0
				前年	5,401		△ 995		4,406		3,638	82.6
				比較	△ 956		995		39		319	-
【参考】前々年度					11,514				11,514		10,977	95.3

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,884	職員手当等	220	旅費	135	需用費	929
役務費	407	委託料	149	使用料及び賃借料	137	備品購入費	58
負担金補助及び交付金	38						

概要及び成果

1 消費生活相談事業

- ・消費者の安全で安心な消費生活の実現に資するため、専門の知識を有する消費生活相談員による、消費生活に関する相談や多重債務相談を実施する。
- ・年々多様化・複雑化する消費者トラブル等に対し、適切かつ迅速に対応するため、消費生活相談員が相談現場に直結する情報や知識を習得できる研修機会を確保する。

【成果】

- ・消費者からの苦情相談等に対し、助言・あっせん等を行い、消費者トラブルの解決に寄与することができた。
- ・消費生活相談員の積極的な研修受講により相談対応、問題解決へのレベルアップを図ることができた。
- ・多重債務者対策として、早期発見による問題解決のため、関係部局に協力依頼し、連携を図った。

相談件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
助言対応	件	1,081	1,307	1,290	1,389	1,123
あっせん対応	件	89	137	106	125	110
その他(情報提供・他機関紹介など)	件	212	256	290	285	344
合計	件	1,382	1,700	1,686	1,799	1,577

2 消費者教育・啓発推進事業

- ・消費者被害の未然防止やトラブルに対応できる消費者力をつけるための出前講座を実施する。
- ・消費生活に関する悪質商法やトラブルの多い相談事例などをホームページや広報紙で情報発信し、パネル展等による啓発活動を実施する。
- ・製品安全4法及び家庭用品品質表示法に基づき、該当製品を販売する事業者に対し立入検査を実施し、法律の見識向上や違反製品の販売防止を図る。

【成果】

- ・出前講座や啓発チラシの回覧、広報誌、ホームページによる情報発信など、幅広い年代層に向けた消費者教育・啓発活動を行い、消費者被害の未然防止、安全の確保に寄与することができた。
- ・製品安全4法等に基づく立入検査により、事業者に対して、法律の見識向上、違反製品の販売防止を図り、消費者の身体等の危害防止に寄与することができた。

出前講座

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催回数	回	12	5	37	30	54
参加人数	人	527	161	2,477	2,132	3,251

製品安全4法及び家庭用品品質表示法に基づく立入検査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
検査個数	個	247	373	213	179	180

※出前講座の令和2年度及び3年度の件数等については、新型コロナウイルス感染拡大による開催中止等の影響があった。

事業名：コミュニティ推進に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	12	本年	9,974				9,974		9,470	94.9
				前年	11,137		△ 2,944	△ 100	8,093		8,064	99.6
				比較	△ 1,163		2,944	100	1,881		1,406	-
【参考】前々年度					11,266		△ 2,500	△ 100	8,666		8,345	96.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	2,343	委託料	2,217	負担金補助及び交付金	4,910
-----	-------	-----	-------	------------	-------

概要及び成果

1 花と緑の市民参加事業

市民を中心とした企業、NPO、ボランティアと行政が協働し、センター広場やTX駅前などの公共的な空間を季節の花で飾るとともに、花壇を維持管理することで市内の環境美化を行い、来訪者への歓迎の気持ちを発信する。

【成果】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、春と秋に開催を予定していたイベントは中止となったが、3密を避けながら花苗を市民団体に配布し、市民による花壇活動が実施されたことで環境美化意識の向上を図ることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加団体数	団体	144	129	119	125	129
花壇管理委託費	千円	2,217	3,191	3,191	2,784	3,020
花苗数	本	18,850	20,113	21,353	22,750	23,750
花苗代	千円	1,788	2,020	2,264	2,141	2,115

2 コミュニティ助成事業

(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ組織に必要な備品の整備に対して助成を行う。

申請はつくば市・茨城県経由で行われ、補助金はコミュニティ組織2団体を上限に交付される。

市から事業申請できるコミュニティ組織は、市内の区会とし、抽選によって2区会を決定する。

【成果】

490万円の助成金交付により、道角区会（豊里地区）と沼田区会（筑波地区）に神輿等が整備され、地域コミュニティの支援ができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
採択数	件	2	1	1	1	1
区会	区会	道角・沼田	横町	内坂	新田	宝陽台
助成金総額	千円	4,900	2,500	2,500	2,500	2,500

3 チャレンジいばらき県民運動

県内各地域で行われている青少年育成、福祉、生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動である。市はネットワーク（県民運動推進員）を推薦し、運動を支援する。

【成果】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から代表者会議や総会は中止されたが、市内21名のネットワーク（県民運動推進員）が、以下の事業に参加することにより、ネットワーク全体での情報交換並びに交流が図られた。

10月18日 つくば市ネットワークの会運営会議

11月22日 秋に筑波愛児園で花植え活動

事業名：人権擁護に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
03	01	10	13	本年	1,210				1,210		1,021	84.4																					
				前年	1,374		△ 13		1,361		1,159	85.2																					
				比較	△ 164		13		△ 151		△ 138	-																					
【参考】前々年度					1,402				1,402		1,299	92.6																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費				115	委託料		160	負担金補助及び交付金		747																							
概要及び成果																																	
<p>1 特設人権相談所の開設 6月と12月に各2日間、特設人権相談所を市役所内に開設し、日常生活での人権侵害など、人権問題での困りごとについて、つくば市の人権擁護委員15名が相談を行う。</p> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業は中止とした。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談数</td> <td>件</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	相談数	件	中止	中止	16	19	25							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
相談数	件	中止	中止	16	19	25																											
<p>2 人権教室 人権擁護委員が講師となり、DVDや人権作文を教材として、小中学校の児童・生徒といじめ問題について話し合う。</p> <p>【成果】 人権問題は小中学校でも重要な問題であり、いじめや不登校などの問題を未然に防ぐため、学校と日程を調整し、人権教室を開催した。また、平成30年度から、市内の県立・私立学校まで広げて実施し、人権意識の醸成が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催小学校数</td> <td>校</td> <td>16</td> <td>中止</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>開催中学校数</td> <td>校</td> <td>4</td> <td>中止</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	開催小学校数	校	16	中止	22	20	24	開催中学校数	校	4	中止	7	7	9
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
開催小学校数	校	16	中止	22	20	24																											
開催中学校数	校	4	中止	7	7	9																											
<p>3 人権作文 市内各中学校に、水戸地方法務局及び茨城県人権擁護委員連合会が主催する、「全国中学生人権作文コンテスト」茨城県大会への応募を募る。また、最優秀作品は「全国中学生人権作文コンテスト」中央大会に推薦される。</p> <p>【成果】 令和3年度は、634作品の応募があり、参加者の1作品が県大会最優秀を受賞し、中学生の人権意識の向上に寄与できた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加中学校数</td> <td>校</td> <td>17</td> <td>中止</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	参加中学校数	校	17	中止	18	17	16							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
参加中学校数	校	17	中止	18	17	16																											
<p>4 人権啓発イベント 「コロナの時代をどう生きるか～心の健康のためにできること～」と題した、精神科医の桑山紀彦氏の講演を12月1日～22日の間、市公式Youtubeチャンネルにて限定配信を行った。</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>名</td> <td>153</td> <td>70</td> <td>82</td> <td>21</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、動画配信とした。                  ※2 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、募集を60名程度とした。                  ※3 平成29年度及び平成30年度は、障害者サッカー体験教室を実施した。</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	参加者数	名	153	70	82	21	46							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
参加者数	名	153	70	82	21	46																											

事業名：更生保護に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	14	本年	1,975				1,975		1,376	69.7
				前年	2,062		△ 431		1,631		1,297	79.5
				比較	△ 87		431		344		79	-
【参考】前々年度					1,664				1,664		1,638	98.4

節別支出済額(単位:千円)

需用費	112	役員費	202	負担金補助及び交付金	1,062
-----	-----	-----	-----	------------	-------

概要及び成果

1 更生保護活動

保護司や更生保護女性会が中心となり、行政と連携しながら犯罪や非行のない明るい社会づくり活動を展開する。

【成果】

平成26年度から市民ホールやたべ内に設置した「つくば地区更生保護サポートセンター」を拠点として更生保護活動を行い、犯罪や非行の防止に努めるとともに、犯罪や非行をした人の立ち直りの支援に寄与できた。

2 社会を明るくする運動つくば市大会

社会を明るくする運動つくば市大会推進委員会を組織し、積極的な啓発活動等を実施する。

【成果】

7月3日に、つくば市役所会議室にて、「第71回社会を明るくする運動つくば市大会」を開催し、保護司の大沼えり子氏を講師として、「君の笑顔に会いたくて～子どもたちの現状～」と題した講演を実施した。また、7月1日～30日の期間、庁舎1階に更生保護に関するパネル展示及びチラシ等の啓発グッズを設置し、再犯防止と罪を犯した人などの立ち直りについての啓発が図れた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数	名	61	中止	118	95	61

※1 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を保護司及び更生保護女性会と限定した。

※2 平成29年度までの参加者は、保護司会、更生保護女性会、茨城県功労保護司の会つくば支部、人権擁護委員、青少年相談員、青少年を育てるつくば市民の会、民生委員・児童委員であったが、平成30年度からは市民にも講演の参加募集を行い、運動の周知に努めている。

3 各種研修及び大会への参加・協力

研修及び大会に参加することで、他団体との情報交換等を行い、参加者の犯罪や非行のない明るい社会づくりの意識の向上を図る。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業は中止とした。



事業名：文化行政に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
03	01	10	15	本年	57,981		△ 664		57,317		52,725	92.0																					
				前年	57,080		5,972		63,052		60,866	96.5																					
				比較	901		△ 6,636		△ 5,735		△ 8,141	-																					
【参考】前々年度				57,079				57,079		55,766	97.7																						
節別支出済額(単位:千円)																																	
		報酬		336	報償費		2	旅費		115	需用費	43																					
		役務費		10	委託料		495	使用料及び賃借料		53	負担金補助及び交付金	51,671																					
概要及び成果																																	
<p>1 文化芸術が身近にある環境づくり                      芸術家が滞在し作品を作る「アーティスト・イン・レジデンス」を積極的に誘致し、市民がアートに触れる機会を増加させる。</p> <p>【成果】                      新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、主催者と協議のうえ事業を中止した。</p>																																	
<p>2 芸術文化公演事業                      (公財) つくば文化振興財団と協定を締結し、共同主催により市内の文化施設等で音楽・演劇・芸能・美術等の幅広いジャンルの芸術文化事業を実施する。                      芸術性の高いクラシック公演に触れてもらうため、国内有数の音響効果を持つノバホールや、隣接するつくばカピオホールを会場として、ジャンルにとらわれない多様なプログラムを提供していく。</p> <p>【成果】                      新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部事業が中止・延期となったが、感染症対策を講じながら、可能な限り当初の予定に沿って事業を実施することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入場者数</td> <td>人</td> <td>5,850</td> <td>8,083</td> <td>17,521</td> <td>23,817</td> <td>20,108</td> </tr> <tr> <td>事業数</td> <td>事業</td> <td>22</td> <td>14</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度の入場者数は、動画配信企画の視聴者数を含む。</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	入場者数	人	5,850	8,083	17,521	23,817	20,108	事業数	事業	22	14	26	26	20
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
入場者数	人	5,850	8,083	17,521	23,817	20,108																											
事業数	事業	22	14	26	26	20																											
<p>3 文化団体等育成支援事業                      市民の文化活動の活性化を目指し、つくば市文化協会に対する事業費補助として補助金を交付し、主体的な活動を促進するよう支援する。</p> <p>【成果】                      新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部事業が中止・延期となったが、感染症対策を講じながら、可能な限り当初の予定に沿って事業を実施することができた。</p>																																	
<p>4 (公財) つくば文化振興財団支援事業                      (公財) つくば文化振興財団への指導・助言のほか、財政的支援として行政補完型運営補助金の交付を行う。</p> <p>【成果】                      新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、指定管理事業や文化芸術事業を遂行し、財団として一定の成果を示すことができた。</p>																																	
<p>5 つくば市文化芸術推進基本計画推進業務                      平成31年3月に策定した「つくば市文化芸術推進基本計画」の実現に向け、施策の企画立案と、実施検討を行った。</p> <p>【成果】                      「文化芸術創造拠点の形成について」文化芸術審議会に諮問し、年度末に旧田水山小学校を計画地とし、基本計画の策定を行う旨の答申を受けた。</p>																																	

事業名：非核平和都市宣言に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	16	本年	457		△ 304		153		104	68.3
				前年	1,729		△ 1,634		95		89	93.4
				比較	△ 1,272		1,330		58		15	-
【参考】前々年度				1,331			100	1,431		1,388	97.0	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	74	負担金補助及び交付金	30
-----	----	------------	----

概要及び成果

1 平和体験教室

市内小学5、6年生を対象に埼玉ピースミュージアムを見学して平和について学習する。また、実施後は学習した内容についてパネルを作成し、市民文化祭で展示する。

【成果】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、事業を中止とした。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数	名	中止	中止	35	30	48

2 青少年ピースフォーラム派遣事業

長崎市で毎年行われ、青少年ピースフォーラムに市内中学生6名を平和大使として派遣する。参加校は3つの中学校で輪番制。長崎市が全国の中学生を中心に実施している平和に関する研修「青少年ピースフォーラム」事業に、市内中学校から生徒を募り、つくば市の代表（平和大使）として派遣し、派遣後は、所属校及び地域において平和啓発活動を行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、事業を中止とした。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加校	中学校	中止	中止	桜・並木・高崎	谷田部東・手代木・荃崎	※台風接近のため派遣中止。
委託料	千円	-	-	1,210	972	405

3 平和パネル資料展

平和に関する写真パネル等の展示を行い、広く市民に対する平和啓発活動を実施する。

【成果】

「つくば市非核平和都市宣言」に基づいた啓発事業の歩みについて広く市民に報告することができた。また、写真パネルを多用し、視覚的にわかりやすい展示方法に変更したことで、より多くの世代に戦争の悲惨さや平和の大切さについて訴えることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
来場者数	名	2,501	-	16,932	15,367	15,086

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から文化祭が中止となり、代替え事業として本庁舎1階中央展示スペースで「平和パネル資料展」を実施し、追加で筑波・荃崎交流センターの2か所で10日間程度実施した。

事業名：自治会関係に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
03	01	10	17	本年	146,900		△ 3,944		142,956		140,964	98.6																					
				前年	152,220		△ 317		151,903		148,280	97.6																					
				比較	△ 5,320		△ 3,627		△ 8,947		△ 7,316	-																					
【参考】前々年度				152,082	8,689		△ 288	160,483		158,394	98.7																						
節別支出済額(単位:千円)																																	
報償費				77	需用費		580	委託料		128,672	負担金補助及び交付金	11,635																					
概要及び成果																																	
<p>1 つくば市区会連合会及び各地区（6地区）区会連合会総会の企画運営に対する連絡調整及び総会の開催 住み良いまちづくりを進める中心的な役割を担い、大規模災害時等においても互助組織として期待 される区会に対して、活発な地域コミュニティ活動ができるように支援を行う。</p> <p><b>【成果】</b> 正副会長会議や役員会などを通して綿密に連絡調整したことで、つくば市区会連合会及び各地区区 会連合会が自立した運営ができた。 区会等業務委託料（回覧配布業務委託、事務委託及び配送業務含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>千円</td> <td>128,571</td> <td>127,925</td> <td>125,338</td> <td>125,414</td> <td>123,487</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	委託料	千円	128,571	127,925	125,338	125,414	123,487							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
委託料	千円	128,571	127,925	125,338	125,414	123,487																											
<p>2 地区リーダー勉強会の開催 地域社会のリーダーである区長へ向けた勉強会（講演会）を実施することで、各地域のコミュニ ティ活動の活性化を図る。</p> <p><b>【成果】</b> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業は中止とした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>名</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	参加者数	名	中止	中止	70	-	-							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
参加者数	名	中止	中止	70	-	-																											
<p>3 市長・区長サミットの開催 地域住民の抱える課題とつくば市の考えるまちづくりに関して、地域の代表者である区長と自治体 の代表者である市長が懇談を行う。</p> <p><b>【成果】</b> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業は中止とした。</p>																																	
<p>4 地域コミュニティの活動拠点となる集会所等の修繕等に補助金を交付 補助率1/2、上限額：新築・改築1,000万円、増築・修繕350万円</p> <p><b>【成果】</b> 集会所の修繕等に対して、地域コミュニティの活性化に寄与できた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>件</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>53</td> <td>24</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>千円</td> <td>11,635</td> <td>19,140</td> <td>32,029</td> <td>14,913</td> <td>24,433</td> </tr> </tbody> </table> <p>内訳：修繕34件</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	件数	件	34	35	53	24	48	交付額	千円	11,635	19,140	32,029	14,913	24,433
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
件数	件	34	35	53	24	48																											
交付額	千円	11,635	19,140	32,029	14,913	24,433																											
<p>5 地区案内板の撤去</p> <p><b>【成果】</b> 地域と連携して老朽化した案内板を迅速かつ計画的に撤去することで、歩行者の安全確保及び地域 景観の向上が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去箇所数</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>千円</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>70</td> <td>76</td> <td>162</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	撤去箇所数	箇所	1	1	1	1	6	委託料	千円	55	58	70	76	162
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
撤去箇所数	箇所	1	1	1	1	6																											
委託料	千円	55	58	70	76	162																											
<p>6 回覧・配布等で行政に関する情報を区会へ周知</p> <p><b>【成果】</b> 区会への回覧・配布等を年間22回行い、地域コミュニティの活性化と市政運営の理解が図られた。</p>																																	

事業名：男女共同参画推進に要する経費

市民部 男女共同参画室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	18	本年	9,731		△ 777		8,954		8,413	94.0
				前年	7,975		△ 1,148		6,827		6,046	88.6
				比較	1,756		371		2,127		2,367	-
【参考】前々年度				9,330				9,330		8,516	91.3	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	256	報償費	3,423	旅費	42	需用費	306
役務費	76	委託料	4,309				

概要及び成果

1 女性のための相談室運営事業

(1) 女性のための相談室

相談を通して、相談者自身が抱えている問題の原因に気づき、自立に向けた準備や自分自身と向き合う機会を提供するため、相談事業を行う。

(2) 男性のための電話相談

社会的性別や性別役割分担等により、問題や悩みを抱えている男性に対し、相談・支援を行う。

【成果】

(1) 女性が抱える様々な相談に対し、相談者自身が主体的に考え行動できるよう、必要な情報提供等を行った。

相談件数：延べ579件

(2) 奇数月の第2木曜日（受付時間18:00～20:30）に、電話相談を年6回実施し、計10件の相談があった。

(1) 女性のための相談室相談件数 ※平成30年度から一般相談を週2回に拡大

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
電話相談	件	165	171	144	158	169
一般相談(面接)	件	201	124	177	188	134
心と生き方相談(面接)	件	159	126	139	159	158
法律相談(面接)	件	54	33	53	64	65

(2) 男性のための電話相談件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
男性のための電話相談	件	10	8	14	19	13

2 男女共同参画会議開催事業

- ・男女共同参画社会の形成に向けた啓発機会として、講演会や市民活動団体等のパネル展示を行う。
- ・参加者の活発な情報交換・交流の機会となるよう、参加しやすい交流の場を提供する。

【成果】

- ・講演「仕事も家庭も一生懸命！」(オンライン配信)、講師 菊地 幸夫氏(弁護士)

配信期間 2021年12月3日(金)～9日(木)、登録人数161人、再生回数139回

- ・録面上映会 2021年12月4日(土) 10:00～11:30、参加人数10人

- ・男女共同参画標語「愛ことば」への応募件数399件

・実行委員会に参画している市民活動団体を紹介した冊子「卒 男らしさ 女らしさ」を発行し、庁内展示コーナーに設置した。

3 男女共同参画セミナー事業

女性のエンパワーメント、キャリアアップ、子育て支援などを目的として、毎年定期的に様々なセミナーを実施する。

【成果】

防災やワーク・ライフ・バランス、性的マイノリティ、再就職支援等をテーマに、計9回のセミナーを実施した。セミナーを通して、男女共同参画を考える機会を提供することができた。

参加者数：延べ226名(男性75人/女性151人)

4 男女共同参画社会推進事業

- ・つくば市男女共同参画推進基本計画を策定し、施策の実施状況や実施予定等について、毎年、年次報告書を作成し公表する。
- ・男女共同参画社会の形成の促進を阻害すると認められる事項に関する苦情等処理し、男女共同参画社会の実現を目指す。

【成果】

- ・男女共同参画推進基本計画の推進状況について、審議会において各施策担当課同席のもと、施策の進行状況等について年次評価の検証を行った。
- ・苦情等処理事項：なし

事業名：国際化の推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	19	本年	49,925		△ 2,593		47,332		43,838	92.6
				前年	52,088		△ 2,870		49,218		42,737	86.8
				比較	△ 2,163		277		△ 1,886		1,101	-
【参考】前々年度				52,427		837	288	53,552		47,602	88.9	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,825	職員手当等	452	報償費	1,842	旅費	45
需用費	283	役務費	63	委託料	776	使用料及び賃借料	317
備品購入費	11	負担金補助及び交付金	36,224				

概要及び成果

- 1 外国人生活支援事業（旧：国際交流員・留学生交流員事業）  
外国人相談窓口の運営及び来庁した外国人の通訳・案内  
市が発行する文書や冊子等の翻訳  
留学生交流員を委嘱し、8か国語の外国語広報紙を発行  
4言語の多言語ホームページでの情報発信

【成果】

- 外国人相談窓口相談件数：合計711件（英語531件、中国語94件、その他86件）
- 庁内文書の翻訳件数：合計240件（英語188件、中国語33件、韓国語10件、その他9件）
- 多言語広報紙（8言語）発行部数：年4回で12,492部

(1) 通訳・翻訳等の対応件数の推移

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相談・通訳(英語)	件	531	443	559	696	649
相談・通訳(中国語)	件	94	91	111	80	85
相談・通訳(その他※)	件	86	42	41	-	-
翻訳(英語)	件	188	97	127	72	60
翻訳(中国語)	件	33	23	17	13	7

(2) 外国語広報紙発行部数の推移

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
英語	部	4,174	4,384	4,380	4,405	7,141
中国語	部	2,354	2,232	2,175	2,026	3,069
韓国語	部	1,167	1,079	1,034	992	1,648
タイ語	部	736	815	701	638	957
ポルトガル語	部	1,156	1,104	1,087	1,102	1,622
スペイン語	部	880	787	761	748	1,109
ベトナム語	部	1,170	1,157	1,073	1,392	-
インドネシア語	部	855	618	543	531	-
合計	部	12,492	12,176	11,762	11,834	15,546

※その他言語(R3)=日本語(40)、韓国語(1)、ベトナム語(16)、インドネシア語(5)、スペイン語(12)、ポルトガル語(7)、ネパール語(2)、その他(3)

2 多文化共生推進事業

第2次つくば市グローバル化基本指針の策定

青少年の国際感覚を醸成するために国際理解講座を実施

国籍を越えた市民交流を推進するためのイベント等の開催

外国にルーツを持つ子どもたちの日本語支援

外国人住民が日本語を話したり、日本文化に触れることができるイベントの開催

【成果】

- ・第2次つくば市グローバル化基本指針策定のため、懇話会を3回開催
- ・第2次つくば市グローバル化基本指針策定のため、つくば市外国人市民意識調査を実施し、2,455件の回答を取得（回答率29.1%）
- ・市内公立小学校向け国際理解講座の実施：市内13校で34講座を実施。1,164名参加
- ・オンラインを活用した国際交流協会主催事業：延べ6,464名参加（大人向け日本語講座：231名、子ども向け日本語講座及び進学相談会：延べ653名、世界お茶のみ話：全11回延べ119名、Youtube再生回数5,406回、SNSを活用した料理教室：Youtube再生回数55回）

国際理解講座受講者の推移

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
学校数	校	13	13	11	10	13
児童・生徒数	名	1,164	1,192	1,069	948	1,100

3 国際標準教育支援事業（旧：国際化教育支援事業）

国際基準の認定を受けている市内の各種学校（「学校教育法の第1条に規定される学校」以外で、日本において学校教育法に基づいて学校教育に類する教育を行うもので、所定の要件を満たす教育施設のこと）を支援する。

国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校の当該教育プログラムの取得・維持に係る経費に対し、補助金を支出する。

【成果】

国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の教育プログラム事業の継続に資することができ、市内において国際基準を満たす教育を提供し得る環境の充実を図ることに寄与した。

補助対象校（つくばインターナショナルスクール）における生徒数の推移 ※各年5月1日現在

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
児童・生徒数	人	285	266	263	264	234

4 姉妹・友好都市交流事業

教育、文化、経済面での交流

訪問団の派遣、受入れ

相互の行政視察実施

市が携わる国際交流事業に係る調整及び通訳

【成果】

- ・中国深セン市：World Innovative Cities Cooperation Organization (WICCO) に加入 5/17
- ・中国深セン市：WICCO World Innovative Cities' Forum に市長登壇（動画） 11/18
- ・中国深セン市：ハイテクフェアにつくば市の企業が参加（オンライン） 12/27-12/31
- ・韓国大田広域市：韓国の工芸と料理の体験イベント開催（オンライン、現地）11/17, 27, 12/4, 11

姉妹都市・友好都市交流事業の参加者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数	人	52	2	112	86	61

- ・深セン市ハイテクフェア出展事業所2社、韓国大田広域市交流事業参加者50名

事業名：市民協働推進に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
03	01	10	20	本年	7,275		△ 3,363		3,912		2,876	73.5																												
				前年	20,595		△ 3,229	100	17,466		16,916	96.8																												
				比較	△ 13,320		△ 134	△ 100	△ 13,554		△ 14,040	-																												
【参考】前々年度					19,991				19,991		19,148	95.8																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
報償費					476	需用費		212	委託料		126	備品購入費		113																										
負担金補助及び交付金					1,950																																			
概要及び成果																																								
<p>1 市民チャレンジへの支援 市民活動団体等の取組を応援し、相談を受けるとともに、市民活動団体等の新たな活動を支援する。日常的な交流の場として気軽に立ち寄りやすい地域のコミュニティ拠点の設立支援や可視化を進める。行政の事業を法人・各団体等が行うことで、NPO活動等を活性化させ、より効果的・効率的な事業を展開する。 市民活動情報の提供基盤を整備することで、市民協働推進を図るための広報活動を実施する。</p> <p>【成果】 行政と市民活動団体が連携・協働を図りながら、協働事業の支援を行うことで、地域活動の促進に寄与することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協働事業数</td> <td>事業</td> <td>130</td> <td>121</td> <td>151</td> <td>138</td> <td>142</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	協働事業数	事業	130	121	151	138	142														
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
協働事業数	事業	130	121	151	138	142																																		
<p>2 アイラブつくばまちづくり補助金事務 アイラブつくばまちづくり寄附基金を活用し、年3回の募集期限を設け、補助金を希望する団体の実施予定の事業に対して、ヒアリング審査を実施の上、可否を決定する。 事業実施後に実績報告により採択事業の評価を行う。</p> <p>【成果】 アイラブつくばまちづくり寄附基金を有効活用し、市民団体等が自主的に提案された事業に対し、補助金を交付することで、公益的な市民活動を支援し、同時に行政との協働関係を構築することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請数</td> <td>事業</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>採択数</td> <td>事業</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>千円</td> <td>1,350</td> <td>1,829</td> <td>3,687</td> <td>3,921</td> <td>3,319</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	申請数	事業	23	23	34	35	32	採択数	事業	22	19	30	31	30	補助金交付額	千円	1,350	1,829	3,687	3,921	3,319
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
申請数	事業	23	23	34	35	32																																		
採択数	事業	22	19	30	31	30																																		
補助金交付額	千円	1,350	1,829	3,687	3,921	3,319																																		



事業名：市民文化祭開催に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	21	本年	11,600		△ 10,674		926		568	61.4
				前年	11,757		△ 10,898		859		843	98.1
				比較	△ 157		224		67		△ 275	-
【参考】前々年度					11,330				11,330		10,666	94.1
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				464	役務費				104			
概要及び成果												
<p>1 つくば市民文化祭開催事業 市内各地区の地域交流センター・体育館・市民ホール等を会場とした参加団体及び個人の作品展示やステージ発表のほか、音楽会、小中学校芸術展などを実施する。</p> <p><b>【成果】</b> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、実行委員会の審議を経て市民文化祭は中止となった。代替事業として、市民文化祭参加団体の紹介をするパンフレットを作成し、地域交流センターなどで配布した。</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
来場者延人数		人	-	32,233	35,503	30,458	28,084					
参加団体数(人)		団体(人)	100	41	358(4,856)	379(4,879)	377(4,961)					
<p>※令和2年度の実績は、YouTube動画再生回数（上段）、Instagramの配信団体数（下段）</p> <p>※令和3年度の実績は、パンフレット掲載団体数（下段）</p>												

事業名：メディア芸術振興に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	22	本年	9,609		△ 1,340		8,269		6,165	74.6
				前年	10,288		△ 9,541		747		533	71.4
				比較	△ 679		8,201		7,522		5,632	-
【参考】前々年度				1,274				1,274		694	54.4	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	1,945	需用費	536	役務費	717	委託料	1,375
使用料及び賃借料	1,591						

概要及び成果

1 つくばメディアアートフェスティバル

「つくばメディアアートフェスティバル」事業は、科学のまちつくばから新たな文化を発信することを目的として、筑波大学工学・芸術連携リサーチユニットと協働で開催。芸術作品を市民に周知する一環としてつくば美術館にて作品の展示会を行う。

【成果】

感染症対策を講じながら事業を実施し、展示会を開催したが、茨城県独自の非常事態宣言が発令されたことに伴い、会期を縮小した。

来場者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
来場者数	人	3,046	-	-	3,727	-

※令和3年度の実績にはプロジェクションマッピングの鑑賞者を含む

2 つくばショートムービーコンペティション

10分以内の映像作品を募集し、コンテストを実施した。

【成果】

感染症対策を講じながら事業を実施し、当初の予定通り上映会を開催することができた。

応募総数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
自由部門	作品	115	86	86	98	81
つくば部門	作品	7	7	19	9	10
ショートショート部門	作品	33	49	60	44	31
全天周部門	作品	17	6	-	-	-
合計	作品	172	148	165	151	122

事業名：地区相談に要する経費

市民部 地区相談課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	23	本年	4,622				4,622		4,501	97.4
				前年	4,736				4,736		4,597	97.1
				比較	△ 114				△ 114		△ 96	-
【参考】前々年度				4,340				4,340		4,265	98.3	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,600	旅費	33	需用費	171	役務費	379
備品購入費	318						

概要及び成果

1 地区相談事務

地区相談課及び6地区の相談センターは、地区の振興に係る市民の要望、意見を受け、関係部署と連携・協力し、問題解決に向け業務にあたる。

積極的に地域に出向き、市民から聞き取りを行い、地域の抱える問題等の把握に努める。

地区相談課及び相談センターは、情報共有及び問題解決に向けて定期的に会議を開催する。

【成果】

市民からの要望・意見に、関係部署と連携・協力し、課題の解決に向けて業務にあたる事ができた。

相談者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
大穂相談センター	人	238	118	139	104	126
豊里相談センター	人	85	81	81	123	103
谷田部相談センター	人	127	94	162	239	204
桜相談センター	人	106	68	163	265	148
筑波相談センター	人	178	92	137	84	130
荃崎相談センター	人	246	126	114	133	172
地区相談課	人	18	27	43	68	92
計	人	998	606	839	1,016	975

相談件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
大穂相談センター	件	277	175	165	131	148
豊里相談センター	件	106	109	86	142	120
谷田部相談センター	件	142	109	213	249	215
桜相談センター	件	106	151	234	330	218
筑波相談センター	件	181	102	154	84	189
荃崎相談センター	件	277	161	177	162	300
地区相談課	件	35	55	64	85	125
計	件	1,124	862	1,093	1,183	1,315

事業名：交通安全指導推進に要する経費

建設部 防犯交通安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	11	11	本年	15,821				15,821		14,452	91.3
				前年	16,938		△ 96		16,842		14,867	88.3
				比較	△ 1,117		96		△ 1,021		△ 415	-
【参考】前々年度				24,742				24,742		23,755	96.0	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	2,501	需用費	2,199	負担金補助及び交付金	9,753
-----	-------	-----	-------	------------	-------

概要及び成果

1 交通安全啓発事業

- ・市内の幼児、小中学生、高齢者等を対象として、年齢層に即した交通安全教室を開催する。
- ・春、夏、秋、年末の交通安全キャンペーンを開催する。
- ・県民交通災害加入事務及び見舞金支給事務を行う。
- ・高齢者運転免許自主返納支援事業の促進を図る。
- ・各交通安全団体と連携を図り、有効かつ効果的な交通安全啓発活動を推進する。

【成果】

年4回の交通安全キャンペーン及び交通安全イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。交通安全教室については、人数制限等の感染症対策を行い開催し、交通安全意識の向上が図られた。

交通安全教室の開催（延べ回数）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
幼稚園・保育所	回	104	123	126	149	131
小学校	回	126	74	124	137	149
中学校	回	29	8	16	17	15
高校	回	0	0	0	0	1
成人	回	1	0	4	13	21
高齢者	回	0	1	57	72	103
児童館	回	1	6	7	8	10
合計	回	261	212	334	396	430

交通安全教室の開催（延べ人数）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
幼稚園・保育所	人	2,737	2,693	7,600	9,238	8,212
小学校	人	7,045	2,351	12,640	11,275	11,205
中学校	人	1,920	323	2,182	2,147	2,591
高校	人	0	0	0	0	960
成人	人	17	0	726	1,159	894
高齢者	人	0	18	1,276	1,149	3,052
児童館	人	20	84	390	450	333
合計	人	11,739	5,469	24,814	25,418	27,247

高齢者運転免許自主返納

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
返納者数	人	414	341	493	255	295

県民交通災害共済

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
加入者数	人	2,659	2,693	3,642	3,891	4,209
請求件数	件	44	27	48	56	50

事業名：施設整備に要する経費

建設部 防犯交通安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	11	12	本年	21,728				21,728		21,544	99.2
				前年	23,894				23,894		20,346	85.2
				比較	△ 2,166				△ 2,166		1,198	-
【参考】前々年度					22,212				22,212		21,773	98.0

節別支出済額(単位:千円)

需用費	11,345	工事請負費	10,174	備品購入費	25
-----	--------	-------	--------	-------	----

概要及び成果

- 1 交通安全施設整備事業  
区会等からの要望に対して、現地を確認し、必要な交通安全施設（カーブミラー・赤色回転灯・路面標示）の新設・修繕を行う。

【成果】

交通安全施設が必要な箇所の安全対策が図られた。

交通安全施設の新設・修繕

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
カーブミラー(新設)	基	117	92	113	78	111
カーブミラー(修繕)	基	165	185	225	136	115
回転灯(新設)	基	1	3	1	2	2
回転灯(修繕)	基	2	9	13	10	16
路面標示(新設)	箇所	7	4	2	8	8
路面標示(修繕)	箇所	2	9	6	0	0

事業名：防犯対策に要する経費

建設部 防犯交通安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	12	11	本年	105,451				105,451		90,397	85.7
				前年	107,770		△ 6,380		101,390		95,884	94.6
				比較	△ 2,319		6,380		4,061		△ 5,487	-
【参考】前々年度				148,146		△ 1,328		146,818		141,294	96.2	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	32,644	役務費	188	委託料	1,366	使用料及び賃借料	41,003
工事請負費	7,616	負担金補助及び交付金	7,580				

概要及び成果

1 地域安全活動事業

- ・防犯・環境美化サポーターによるパトロールやジョギングパトロールを通じた地域パトロールを実施する。
- ・安全安心まちづくりコンサートなど防犯イベントを開催する。
- ・防犯ボランティア団体や防犯協会の活動を支援する。
- ・LED防犯灯、防犯カメラの設置及び管理を行う。
- ・防犯カメラ設置事業補助金の交付を行う。

【成果】

防犯パトロール活動、自警団活動、ジョグパト活動等の防犯活動及び防犯灯や防犯カメラの設置により、犯罪予防や抑止効果が図られた。

防犯サポーター活動

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
パトロール活動(金融機関)	箇所	6,447	6,936	7,311	7,889	7,725
パトロール活動(学校)	箇所	11,731	10,787	10,638	11,219	9,002
パトロール活動(コンビニ)	箇所	16,987	14,485	14,616	13,999	12,882
パトロール活動(駐車場)	箇所	9,686	10,299	10,731	11,061	10,899
パトロール活動(他事業所)	箇所	3,981	3,484	3,503	3,407	3,017
車両広報	回	13,580	25,014	29,915	31,208	25,723

自警団等への活動支援(防犯パトロール用ベスト)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支給団体数	団体	9	6	8	8	6
支給枚数	枚	77	69	71	59	75
登録団体数	団体	206	197	191	183	175

ジョグパトへの活動支援(ジョギングパトロール用ビブス)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支給人数	人	54	54	30	43	35
支給枚数	枚	54	54	30	43	35
登録者総数	人	865	811	757	727	684

防犯灯及び防犯カメラ新規設置

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
防犯灯設置数	基	264	261	328	421	477
防犯カメラ設置数	基	5	1	1	10	18

防犯カメラ設置事業補助

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助金交付台数	基	0	-	-	-	-

※相談件数が8件あったが、補助金交付台数が0件の理由としては、新型コロナウイルスの影響により区会等の総会が開催できず、住民の賛否を得られなかったことが要因の一つと考えられる。

事業名：空き家対策に要する経費

建設部 住宅政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	12	12	本年	9,127		△ 2,300		6,827		848	12.4
				前年	9,319		△ 3,335		5,984		1,710	28.6
				比較	△ 192		1,035		843		△ 862	-
【参考】前々年度				4,194				4,194		615	14.7	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	179	需用費	144	役務費	25	負担金補助及び交付金	500
-----	-----	-----	-----	-----	----	------------	-----

概要及び成果

1 空家等の適正管理及び有効活用事業

- ・市民からの情報提供（相談）を受けて、現況調査を行い、管理不全な状態である空き家と判断した場合には、所有者等を調査し、助言、指導、勧告を行う。さらに、その空き家が著しく危険であると判断した場合には、措置命令、公表、代執行を行う。
- ・空家所有者等を対象に空家等無料相談会（茨城県宅地建物取引業協会土浦・つくば支部、茨城司法書士会、茨城県建築士会の協力）を実施。空き家の利活用、売却等の相談を受ける。
- ・空家バンク制度（空き家を売りたい、買いたい人等の橋渡し）を実施。市ホームページ等で物件内容等を公開する。空家バンク登録物件を対象に空家活用補助金制度（改修、家財処分）を実施し、空家バンク制度による空き家の利活用を推進する。
- ・空家等を地域交流拠点に改修する助成制度を実施し、空き家を活用した地域コミュニティの活性化を支援する。

【成果】

- ・管理不全な空家等への行政指導等を実施し、地域の生活環境の悪化を防止した。
- ・空家等無料相談会を6月、11月の2回開催（新型コロナウイルス感染症対策のため8月、2月の2回を中止）し、所有者の多岐にわたる相談に対応した。
- ・全国版空家バンクへ掲載、民間企業との協定による空家適正管理パンフレットを作成し空家所有者へ送付した。また、空家バンクのチラシを固定資産税納税通知に同封し、周知に努め応募を募った。
- ・空家等を地域交流拠点に改修する助成制度を実施し、1件の交付を行った（高齢者憩いの広場）。

空家等情報提供（相談）件数及び対応状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
情報提供(相談)件数	件	135	102	86	70	71
うち管理不全件数	件	129	99	76	63	50
対応完了件数	件	45	51	58	52	55
うち家屋の解体	件	4	13	12	6	4
うち樹木の伐採等	件	41	38	46	46	51

空家等無料相談会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催数	回	2	2	4	4	3
参加者数	組	23	23	43	39	36

空家バンク制度

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
空家バンク新規登録物件数	件	7	8	11	2	10
空家バンク新規利用登録件数	件	46	35	31	37	31
成約件数	件	3	1	3	1	1

※空家バンク新規登録物件数：各年度の新規登録件数、累計42件、令和3年度未登録件数7件

※空家バンク新規利用登録件数：各年度の新規登録件数、累計204件、令和3年度未登録件数96件

※成約件数：各年度の成約件数、空家バンク利用登録者が購入又は賃借したもの（累計9件）

事業名：ノバホール維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	13	11	本年	110,785		62,953	△ 636	173,102	47,674	119,328	96.5
				前年	89,709		5,535		95,244	93,969	98.7	
				比較	21,076		57,418	△ 636	77,858	47,674	25,359	-
【参考】前々年度					87,770			4,471	92,241		88,886	96.4

節別支出済額(単位:千円)

需用費	862	委託料	66,773	工事請負費	13,475	備品購入費	288
負担金補助及び交付金	31,199	補償・補填及び賠償金	6,731				

概要及び成果

1 ノバホール管理運営事業（指定管理者制度）

公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者が自ら行う簡易的な修繕（税込10万円以下の小規模な修繕）を超える修繕については、市が直接工事発注し修繕を行い、適切な管理運営及び計画的な修繕を行う。

【成果】

指定管理者と定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理状態を詳細に把握することができた。また、施設の不具合など緊急を要する場合には、随時連絡を取り合い、最善策をとれるよう両方で協議のうえ、迅速に対応した。

ノバホール利用率

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ホール	%	56.34	33.93	79.56	84.02	80.77
小ホール	%	38.51	30.45	60.79	64.98	59.73

ノバホール延利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ホール	人	35,936	10,444	88,181	97,837	90,628
小ホール	人	6,452	2,582	14,007	16,526	11,817

※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用率・延利用者数が例年より減少している。

2 ノバホール施設整備事業

ノバホール内の各種設備や施設の修繕について、計画的に実施した。

【成果】

令和3年度修繕実績

「音響機器修繕工事」「スプリンクラー設備改修工事」「放送機器更新工事」



事業名：つくばカピオ維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	14	11	本年	268,180	7,667	118,683	5,828	400,358	52,352	344,158	99.0
				前年	263,217		15,751		278,968	7,667	264,926	97.7
				比較	4,963	7,667	102,932	5,828	121,390	44,685	79,232	-
【参考】前々年度					283,249	21,030			304,279		300,733	98.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	2,538	役務費	189	委託料	123,300	使用料及び賃借料	297
工事請負費	73,196	備品購入費	1,113	負担金補助及び交付金	33	補償・補填及び賠償金	11,380
償還金利子及び割引料	132,111						

概要及び成果

1 つくばカピオ管理運営事業（指定管理者制度）

公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者が自ら行う簡易的な修繕（税込10万円以下の小規模な修繕）を超えるものについては、市が直接工事発注し修繕を行い、適切な管理運営及び計画的な修繕を行う。

【成果】

指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理状態を詳細に把握することができた。また、施設の不具合など緊急を要する場合には、随時連絡を取り合い、最善策をとれるよう両者で協議のうえ、迅速に対応した。

つくばカピオ利用率

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
アリーナ	%	99.29	99.25	100.00	99.41	99.70
ホール	%	52.66	37.30	72.10	69.60	74.23
中会議室	%	86.77	77.90	93.24	95.73	97.75
会議室(3室平均)	%	88.36	75.72	94.27	94.23	96.43
リフレッシュルーム	%	98.30	96.65	98.59	98.87	99.15
リハーサル室(2室平均)	%	93.07	86.96	97.88	98.30	97.74
和室(2室平均)	%	81.35	83.15	89.58	90.25	86.30

つくばカピオ延利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
アリーナ	人	42,999	25,888	112,848	111,383	109,606
ホール	人	15,924	7,048	40,698	36,730	49,120
中会議室	人	4,615	3,686	7,438	8,075	8,752
会議室(3室平均)	人	1,888	1,269	3,688	3,783	4,318
リフレッシュルーム	人	4,915	4,163	10,558	10,536	13,126
リハーサル室(2室平均)	人	3,814	2,900	7,034	8,356	8,455
和室(2室平均)	人	970	861	1,677	1,866	2,234

※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用率・延利用者数が例年より減少している。

2 つくばカピオ施設整備事業

経年劣化に伴い設備や施設の計画的な修繕等の整備を実施した。

【成果】

令和3年度修繕実績

「汚水用水中ポンプ修繕工事」「高圧機器修繕工事」「排煙装置修繕工事」「自家発電設備修繕工事」「非常用整流器更新工事」「冷却水管理装置交換修繕工事」「消防設備修繕工事」「屋根修繕工事」「蒸気圧力用アイソレータ修繕工事」「警備員室空調設備改修工事」「アリーナ得点板撤去工事」「デジタルサインージ修繕工事」「空調設備ローカル制御機器改修工事」「放送機器更新工事」「流し台撤去工事」

事業名：地域交流センター維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	15	11	本年	388,361	40,334	△ 29,222	△ 5,185	394,288	11,597	361,356	94.6
				前年	211,952	4,620	54,422	7,178	278,172	40,334	204,103	87.9
				比較	176,409	35,714	△ 83,644	△ 12,363	116,116	△ 28,737	157,253	-
【参考】前々年度					210,467		3,795	6,824	221,086	4,620	201,259	93.1

節別支出済額(単位:千円)

需用費	50,283	役務費	8,296	委託料	106,342	使用料及び賃借料	7,168
工事請負費	178,779	備品購入費	7,299	負担金補助及び交付金	3,189		

概要及び成果

1 地域交流センター維持管理事業

市内17地域交流センターの利用者が、土日夜間を含め常に快適に利用できる環境を整えておく必要があるため、適切な管理運営を行う。また、利用者が常に使いやすい環境を整えておくため計画的に老朽箇所等の修繕工事等を行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染症対策のため、利用ガイドラインの整備を行い、利用者へ周知を行った。また、施設の除菌等にも取り組み、安全で安心な利用環境を整えた。

所長会議及び担当者会議を開催し、意見交換を行うとともに、各地域交流センターとイントラ等を活用し連絡調整を行った。

施設修繕については、優先順位をつけ実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策のための改修も積極的に実施した。

(1) 令和3年度地域交流センター所長会議開催回数 3回

(2) 令和3年度地域交流センター担当者会議開催回数 2回

施設整備

小野川交流センター空調設備改修工事	33,528千円
豊里交流センター非常用発電設備改修工事	32,087千円
筑波交流センター非常用発電機改修工事	16,401千円
広岡交流センターホール空調設備改修工事	2,607千円
二の宮交流センター給水管修繕工事	1,166千円 ほか

利用実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用団体数	団体	29,492	25,798	41,511	42,670	43,162
延利用者数	人	272,389	274,245	506,845	492,958	503,721

2 (仮称) コミュニティ施設建設事業

TX沿線開発区域の人口増加に伴い、市民がコミュニティ活動を行う施設が不足していることに対応するため、小学校に隣接する児童クラブと併設して施設を建設するもの。

【成果】

かつらぎ交流館が令和4年3月で工事完了、令和4年4月1日供用開始。

(仮称) 香取台コミュニティ施設は引続き工事中、令和5年4月供用開始予定である。

事業名：地域交流センター行事に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	01	15	12	本年	5,080		△ 2,227		2,853		2,416	84.7	
				前年	6,751		△ 1,383	△ 2,283	3,085		1,636	53.0	
				比較	△ 1,671		△ 844	2,283	△ 232		780	-	
【参考】前々年度				6,149			△ 1,471	4,678		4,161	89.0		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				1,555	需用費		503	役務費		227	委託料		132
概要及び成果													
<p>1 地域交流センター主催行事 各地域交流センターにおいて、前期と後期に分けて市民ニーズに応じた講座等を企画し、参加募集を行う。応募者多数の場合は抽選の上、受講者を決定して講座を実施する。 地域交流の拠点となるたまり場としての機能を充実させ、親子サークルや地域団体の活動を支援する。</p> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、地域交流センター前期講座及び後期講座を開催した。 夜間や土日に開催する講座も企画し、利用者のニーズに広く応えるものを提供した。</p>													
講座対象													
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
小中学生講座数				講座	中止	2	2	3	3				
小中学生延回数				回	中止	2	2	3	3				
小中学生延受講者数				人	中止	36	14	40	30				
一般講座数				講座	80	15	111	107	116				
一般延回数				回	199	57	349	348	425				
一般延受講者数				人	2,208	364	4,410	4,934	6,154				
高齢者講座数				講座	3	2	5	6	5				
高齢者延回数				回	6	10	24	32	31				
高齢者受講者数				人	58	36	1,245	1,550	1,510				
その他講座数				講座	15	1	12	15	18				
その他延回数				回	22	2	16	34	40				
その他延受講者数				人	362	43	262	531	536				
合計講座数				講座	98	20	130	131	142				
合計延回数				回	227	71	391	417	499				
合計延受講者数				人	2,628	479	5,931	7,055	8,230				
※小中学生向けの講座は企画したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止した。													

事業名：市民ホール管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																															
03	01	16	11	本年	89,462		△ 2,722	△ 7	86,733		80,147	92.4																															
				前年	106,020		1,397	△ 4,895	102,522		85,033	82.9																															
				比較	△ 16,558		△ 4,119	4,888	△ 15,789		△ 4,886	-																															
【参考】前々年度				117,060		△ 3,795	△ 9,824	103,441		95,530	92.4																																
節別支出済額(単位:千円)																																											
需用費		14,678	役務費		882	委託料		61,287	使用料及び賃借料		761																																
工事請負費		836	備品購入費		1,403	負担金補助及び交付金		28	償還金利子及び割引料		271																																
概要及び成果																																											
<p>1 市民ホール管理事業</p> <p>市内4か所の市民ホール利用者が常に快適に利用できる環境を整えておく必要があるため、適切な管理運営を行う。また、利用者が常に使いやすい環境に整えておくため計画的に老朽箇所等の修繕工事等を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染対策のため、利用ガイドラインの整備を行い、利用者へこまめに周知を行うとともにホールを利用する主催者との調整も適宜行った。また、施設の除菌等にも取り組み安全で安心な利用環境を整えた。施設修繕については、優先順位をつけ実施した。</p> <p>施設整備</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">市民ホールやたべ研修室空調機改修工事</td> <td style="text-align: right;">836千円</td> </tr> <tr> <td>市民ホールやたべ防火シャッター開閉器交換工事</td> <td style="text-align: right;">377千円</td> </tr> <tr> <td>市民ホールくさざき舞台モニターカメラ修繕工事</td> <td style="text-align: right;">191千円</td> </tr> <tr> <td>市民ホールやたべ主幹調光器盤、操作盤内経年部品修繕工事</td> <td style="text-align: right;">173千円</td> </tr> <tr> <td>市民ホールやたべ冷却塔給水管交換工事</td> <td style="text-align: right;">154千円 ほか</td> </tr> </table> <p>利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>件</td> <td>1,827</td> <td>1,176</td> <td>2,100</td> <td>1,827</td> <td>1,565</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>人</td> <td>43,096</td> <td>23,938</td> <td>110,948</td> <td>125,158</td> <td>113,989</td> </tr> </tbody> </table>													市民ホールやたべ研修室空調機改修工事	836千円	市民ホールやたべ防火シャッター開閉器交換工事	377千円	市民ホールくさざき舞台モニターカメラ修繕工事	191千円	市民ホールやたべ主幹調光器盤、操作盤内経年部品修繕工事	173千円	市民ホールやたべ冷却塔給水管交換工事	154千円 ほか		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	利用件数	件	1,827	1,176	2,100	1,827	1,565	延利用者数	人	43,096	23,938	110,948	125,158	113,989
市民ホールやたべ研修室空調機改修工事	836千円																																										
市民ホールやたべ防火シャッター開閉器交換工事	377千円																																										
市民ホールくさざき舞台モニターカメラ修繕工事	191千円																																										
市民ホールやたべ主幹調光器盤、操作盤内経年部品修繕工事	173千円																																										
市民ホールやたべ冷却塔給水管交換工事	154千円 ほか																																										
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																					
利用件数	件	1,827	1,176	2,100	1,827	1,565																																					
延利用者数	人	43,096	23,938	110,948	125,158	113,989																																					

事業名：市民活動センター維持管理に要する経費

市民部 市民活動センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	01	17	11	本年	10,034		△ 1,900		8,134		7,332	90.1	
				前年									
				比較	10,034		△ 1,900		8,134		7,332	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
需用費		1,639	役務費		360	委託料		3,742	使用料及び賃借料		849		
備品購入費		115	負担金補助及び交付金		626								
概要及び成果													
<p>1 市民活動センター管理運営事業  市民活動を行うために必要な機能の提供（会議室、印刷機、パソコンの貸出し等）  市民活動団体等の活動情報の収集、市民活動に関する相談等の実施</p> <p>【成果】  令和3年度は、指定管理者制度から直営になり移行の期間となった。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業計画書のとおりの実施とはいかなかったものの、実施できた講座・事業は適切に運営され、市民協働の推進に寄与することができた。</p>													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
センター利用人数	人		1,742	1,568	3,310	3,438	3,211						
会議室利用件数	件		219	264	377	437	351						
会議室利用人数	人		801	1,199	2,567	3,178	2,906						
講座開催回数	回		5	19	25	18	29						
講座参加人数	人		36	124	103	103	144						
相談件数	件		135	175	211	235	254						
印刷機利用件数	件		209	245	640	696	816						
複合機利用枚数	件		56	—	—	—	—						

事業名： 児童福祉対策に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	11	本年	22,131		4,237		26,368		22,047	83.6
				前年	25,251		△ 4,366		20,885		17,429	83.5
				比較	△ 3,120		8,603		5,483		4,618	-
【参考】前々年度					25,340		△ 1,754		23,586		20,370	86.4

節別支出済額(単位:千円)

需用費	21	使用料及び賃借料	135	負担金補助及び交付金	15	扶助費	21,468
償還金利子及び割引料	409						

概要及び成果

1 施設入所措置事業

・助産施設

保健上必要があるにも関わらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入院させ、助産を受けさせる。

・母子生活支援施設

生活上の問題により、子どもの養育が十分できない場合などに、子どもと一緒に施設に入所させ保護する。

【成果】

母子生活支援施設に入所が必要と思われる相談が4件あったが、本人の意向や生活保護等の支援制度の活用等により、入所措置となったのは1件であった。

助産施設については、令和3年度は相談及び措置はなし。受けた相談件数に対して、実際に措置となる件数は少ないが、相談者の個々のケースに応じて適切な対応をしていくことにより、母子等の経済的・精神的負担の軽減を図ることができた。

施設利用件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
助産施設	件	0	1	1	0	0
母子生活支援施設	件	1	0	0	0	1

2 ひとり親家庭支援事業

ひとり親家庭等に対し、茨城県及び茨城県母子寡婦福祉連合会と連携し、就職に有利な資格取得のため養成機関で1年以上（上限48月）修学する場合の高等職業訓練促進給付金の支給や母子・父子・寡婦福祉資金の貸付など家庭の実情に応じた適切な支援を実施し生活の安定と自立の促進を図る。

・高等職業訓練促進給付金

ひとり親家庭の父又は母が、就職に有利な資格を取得するために、養成機関で1年以上修学する場合に給付金を支給する。

支給額…住民税非課税世帯：月額 100,000円、住民税課税世帯：月額 70,500円

※修了月を含む最後の12月は4万円加算

支給期間…上限4年（48月）

・高等職業訓練修業者支援給付金（令和元年度より新設した市独自の上乘せ給付）

高等職業訓練促進給付金の支給決定を受けており（通信制を除く）、市内に引き続き1年以上住所を有し、かつ居住している者。また、養成期間修了後、資格を取得した日から1年以内に市内で取得した資格を必要とする業務に就労が見込まれる者に支給する。

支給額…月額 40,000円

支給期間…修了月を含む最後の12か月を除く期間（上限3年）

【成果】

・令和3年度は18名（新規7名、継続11名）へ給付金を支給し、8名（看護師2名、准看護師2名、美容師2名、作業療法士1名、製菓衛生師1名）が養成機関を修了した。

高等職業訓練促進給付金利用件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
高等職業訓練訓練促進給付金	件	18	16	16	11	9
高等職業訓練修業者支援給付金	件	3	3	3	-	-

事業名：児童扶養手当支給に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	12	本年	665,694		26,780		692,474		688,592	99.4
				前年	676,020		40,566	△ 2,000	714,586		707,864	99.1
				比較	△ 10,326		△ 13,786	2,000	△ 22,112		△ 19,272	-
【参考】前々年度				685,065		181,084		866,149		861,595	99.5	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				124	役務費		443	扶助費		688,025		
概要及び成果												
<p>1 児童扶養手当支給事業</p> <p>父母の離婚などで、父(または母)と生計を同じくしていない子どもが育成される家庭(ひとり親家庭)の生活の安定と自立の促進に寄与し、子どもの福祉の増進を図ることを目的として、児童を監護している父、母、又は父母に代わってその児童を養育している者に支給される。</p> <p>なお、受給者、同居の扶養義務者の前年の所得により全部支給・一部支給の支給制限がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給対象児童：国内に住所を有する、18歳に達する日以後、最初の3月31日(18歳の年度末)までにある児童で、父又は母と生計を同じくしている児童。また、心身におおむね中等以上の障害がある場合は20歳未満まで。</li> <li>・支給時期：年6回、奇数月に支給</li> <li>・支給額：全部支給 児童1人 月額43,160円、児童2人 月額53,350円、児童3人 月額59,460円 一部支給 月額43,150円～月額10,180円</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>ひとり親家庭の経済的・精神的負担が軽減され、生活の安定と自立の促進に寄与した。</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
支給対象者		人	1,356	1,431	1,399	1,375	1,414					
支給停止者		人	281	302	281	262	265					
支給額		千円	687,598	666,544	858,532	683,204	684,846					

事業名：子どもの遊び場設置に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	02	01	13	本年	600				600		170	28.3	
				前年	600				600				
				比較							170		-
【参考】前々年度					600				600		49	8.2	
節別支出済額(単位:千円)													
負担金補助及び交付金					170								
概要及び成果													
<p>1 子どもの遊び場設置事業                      区会等からの遊具等の設置、修繕及び点検の申請を受け付け、補助の要件に該当する場合に補助金の交付を決定し、実績報告を受け補助金額の確定を行う。                      遊具の設置及び修繕費用の2分の1を補助する（ただし、設置500千円、修繕100千円、点検20千円を限度）。</p> <p>【成果】                      令和2年11月に要綱を改正し、9月号及び3月号の広報紙に掲載したことにより修繕の申請が3件と前年度よりも増加した。また、遊具の安全点検にも補助金があることを周知できたことにより、安心安全な遊び場創出の機運を高めることができた。</p>													
実績													
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度			
				修繕	件	3	0	1	0	4			
				設置	件	0	0	0	0	0			
				点検	件	0	0	-	-	-			



## 事業名：要保護児童対策に要する経費

こども部 こども未来課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	14	本年	13,884		232		14,116		12,704	90.0
				前年	1,686		△ 1,289		397		197	49.5
				比較	12,198		1,521		13,719		12,507	-
【参考】前々年度					10,570				10,570		9,713	91.9

## 節別支出済額(単位:千円)

報酬	10,092	職員手当等	1,086	旅費	528	需用費	48
委託料	570	備品購入費	310	負担金補助及び交付金	11	償還金利息及び割引料	58

## 概要及び成果

## 1 家庭相談員活動事業

家庭相談員を配置し、電話や面接、訪問等により、児童に関する様々な相談に対して助言や指導を行い、問題解決に向けて援助活動をする。

## 【成果】

電話相談、面接相談、家庭訪問等により、実態を把握し継続的なソーシャルワークを実施した。問題が複雑なケース、支援期間が長期化したケースについては、問題を軽減できたり、課題の解決につながる事ができた。

## 家庭児童相談における受付相談件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新規件数	件	1,045	1,041	733	543	459
延べ件数	件	9,944	8,479	5,773	4,668	2,955

## 2 子育て支援短期養育事業

児童養護施設(4施設)：つくば香風寮(つくば市)、道心園(土浦市)、窓愛園(土浦市)、筑波愛児園(つくば市)

乳児院(2施設)：さくらの森乳児院(つくば市)、日本赤十字社茨城県支部乳児院(水戸市)と委託契約を結び、保護者の申請によりあらかじめ登録した児童を上限7日間まで預かる。

## 【成果】

新型コロナウイルスの影響で、委託先の児童養護施設での短期養育の受け入れが、出来ない状態が続いたため、令和4年1月から「子育て支援短期養育に係るPCR検査事業」を開始し、感染拡大防止策を取り入れた。

## 子育て支援短期養育事業利用実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
延べ人数	人	2	6	43	32	26
延べ日数	日	6	16	109	116	67

## 3 子育て支援短期養育に係るPCR検査事業

子育て支援短期養育事業を利用する児童がPCR検査を受けて、感染の有無を確認できることにより、事業の利用を促進することができる。PCR検査費用の利用者負担は無料とする。

## 【成果】

令和3年度PCR検査の実績は1件であったが、感染拡大防止策を取り入れた子育て支援短期養育事業を実施できる体制を整えることができた。

## 4 要保護児童対策地域協議会の運営

関係機関の代表者からなる代表者会議、実務担当者による実務者会議、個別の事例について適時検討する個別ケース検討会議を開催する。

## 【成果】

関係機関が情報を共有し援助方針を立てて役割分担を決めて、要保護児童の支援を行うことにより、問題の軽減化、課題の解決を図ることができた。

## つくば市要保護児童対策地域協議会の開催回数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
代表者会議	回	1	1	1	1	1
実務者会議	回	3	3	3	3	3
個別ケース会議	回	33	25	25	16	16

事業名：子ども・子育て支援に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	15	本年	13,564		166,875		180,439		178,744	99.1
				前年	14,958		121,117	△ 77	135,998		130,398	95.9
				比較	△ 1,394		45,758	77	44,441		48,346	-
【参考】前々年度					15,732	980	22,147		38,859		35,666	91.8

節別支出済額(単位:千円)

報酬	448	報償費	60	旅費	88	需用費	82
委託料	9,995	使用料及び賃借料	660	備品購入費	278	負担金補助及び交付金	258
償還金利息及び割引料	166,875						

概要及び成果

1 子ども・子育て支援事業

子育てサポートサービス事業（ファミリーサポートセンター事業）、子育て支援情報の運用管理、あかちゃんの駅推進事業、コミュニティづくり推進事業、子ども・子育て支援プランの進行管理、ホームスタート事業、結婚支援事業、公立保育所の施設整備を行う。

【成果】

子育て支援に関する各事業の実施及び情報発信により、子育て家庭を支援するとともに、子育てに対する不安感の軽減や楽しい子育ての応援、前向きな子育てへの意欲の醸成を図ることができた。

以下、主な成果

- (1) つくば市子ども・子育て支援プランの進行管理、その他子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項等を調査・審議するため、子ども・子育て会議を4回実施した（新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、うち1回は書面での開催）。
- (2) 子育て家庭を支える相互扶助サービスとして、子育てサポートサービス事業を実施した。（※1）
- (3) 事業者と行政が協力して、子育て家庭が外出中に授乳やおむつ替えで立ち寄ることができる施設「あかちゃんの駅」として登録している施設のうち、市内全ての地域交流センター、市民ホール及び児童館において状況調査を行い、授乳やおむつ替えスペースに目隠し用のパーテーションを追加し利用者がさらに安心して利用できるよう整備した。（※2）
- (4) 結婚支援事業として結婚相談会を開催した（新型コロナウイルス感染症拡大の状況に配慮しながら5回開催）。
- (5) 子育てに悩んでいる家庭に訪問し、傾聴、協働を行うホームスタート事業を実施した。（※3）
- (6) 公立保育所の施設整備として、「つくば市公立保育所の新耐震基準を満たさない施設の整備方針」を策定し、上境保育所の整備計画に着手した。

（※1）子育てサポートサービス事業（ファミリーサポートセンター事業）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
会員数	人	1,365	1,340	1,399	1,447	1,414
活動回数	回	2,229	2,149	3,385	3,794	2,978

（※2）あかちゃんの駅推進事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
登録施設数	箇所	66	66	65	55	52

（※3）ホームスタート事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
訪問数	回	60	74	-	-	-

事業名：子育て支援拠点事業に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	16	本年	101,224		△ 11,693	△ 70	89,461		89,322	99.8
				前年	92,929		9,950	77	102,956		88,740	86.2
				比較	8,295		△ 21,643	△ 147	△ 13,495		582	-
【参考】前々年度					93,528			51	93,579		93,042	99.4

節別支出済額(単位:千円)

需用費	184	役員費	16	委託料	89,016	使用料及び賃借料	70
備品購入費	36						

概要及び成果

1 子育て支援拠点事業

子育て親子の交流の場を提供するとともに、育児相談、子育て情報の提供、一時預かり、講習会等を実施する。

【成果】

子育て家庭の交流や子育て相談などの子育て支援サービスの充実を図るとともに、子育て親子の交流を促進し、子育てに対する不安感や負担を軽減することができた。(子育て総合支援センター、かつらぎ保育園、さくら学園保育園、認定こども園みのり、わかば保育園分園、NPO法人ままとーん、つくばこどもの森保育園、島名杉の子保育園、にじいろ保育園、花畑保育園の10箇所に地域子育て支援拠点を設置している。)

地域子育て支援拠点全般

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
地域子育て支援拠点利用者数(※1)	人	48,712	60,242	127,014	151,976	140,214
つくば子育てフェスティバル来場者数(※2)	人	2,006	-	945	923	1,016

子育て総合支援センター(指定管理)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
つどいの広場利用者数	人	27,222	24,758	38,850	46,342	47,781
出張子育て広場利用者数	人	724	474	2,145	2,763	2,759
サークル支援利用者数	人	85	71	197	227	237
一時預かり事業利用者数	人	1,697	1,541	1,920	2,186	2,045
貸し室利用者数	人	522	378	498	1,470	1,517

(※1) 令和3年度は10箇所(1箇所休所)、令和2年度・元年度・平成30年度は9箇所、平成29年度は8箇所の合計

(※2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は規模縮小しながら14日間開催した。なお、令和2年度は開催しなかった。

## 事業名：子どもの未来支援に要する経費

こども部 こども未来課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	17	本年	44,447			722	45,169		44,416	98.3
				前年	40,694		2,648		43,342		41,420	95.6
				比較	3,753		△ 2,648	722	1,827		2,996	-
【参考】前々年度					28,774				28,774		26,313	91.4

## 節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,438	報償費	219	旅費	128	需用費	129
役務費	178	委託料	9,579	負担金補助及び交付金	29,048	扶助費	1,696

## 概要及び成果

## 1 子どもの未来支援事業

## (1) つくばこどもの青い羽根学習会

生活保護または就学援助受給世帯の子どもに対して、学習支援や安心できる居場所の提供等を行う。平成29年10月事業開始。

## (2) 居場所づくり支援事業（青い羽根のいえ）

生活習慣の乱れや社会性の不足など生活面の課題を抱える子どもに対して、居場所を提供することにより生活習慣の改善や孤立の防止をする（食事の提供、送迎あり）。

令和2年7月事業開始。

## (3) 子どもの学習塾代助成

市内の中学校・義務教育学校に在籍する7～9年生のうち生活保護や就学援助受給世帯の生徒に対し学習塾の利用にかかる経費の助成を行う。令和元年度事業開始。

## (4) みんなの食堂事業補助金

## (5) こども未来懇話会、こども未来庁内連携会議、こども未来支援担当者会議

## (6) ボランティア登録説明会

## (7) 学習支援マニュアル研修会の実施、データベースみまもり・アウトリーチ支援事業

## 【成果】

## (1) つくばこどもの青い羽根学習会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施箇所数	箇所	16	14	13	3	2
利用児童・生徒数	人	332	299	236	80	35
事業費	千円	28,660	27,882	24,564	8,318	2,424

## (2) 居場所づくり支援事業（青い羽根のいえ）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
居場所づくり拠点数	箇所	1	1	-	-	-
事業費	千円	9,379	5,507	-	-	-

## (3) 子どもの学習塾代助成

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用生徒数	人	22	21	14	-	-
交付額	千円	1,080	999	575	-	-

## (4) みんなの食堂事業補助金の交付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付団体者数	団体	5	5	4	2	-
交付額	千円	387	355	300	147	-

## (5) つくば市こども未来懇話会の開催 2回（8/10、1/31）

こども未来庁内連携会議の開催 2回（6/29、1/12）

支援担当者会議の開催 12回（4/5、5/7、6/4、7/2、8/6、9/3、10/1、11/5、12/3、1/7、2/4、3/4）

## (6) 学習支援・居場所づくりボランティア登録説明会 1回開催（12/12）

## (7) 学習支援マニュアル研修会・意見交換会 4回開催（6/25、10/20、1/27、2/20）

## 事業名：つくばこどもの青い羽根事業に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	18	本年	712			△ 36	676		539	79.7
				前年	620			620		290	46.8	
				比較	92			△ 36	56	249	-	
【参考】前々年度					2,290				2,290		1,010	44.1

## 節別支出済額(単位:千円)

需用費	287	役員費	19	委託料	233
-----	-----	-----	----	-----	-----

## 概要及び成果

## 1 つくばこどもの青い羽根事業

つくばこどもの青い羽根基金に寄せられた寄附金を、世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るとともに、すべての子ども達が夢と希望をもって成長していけるよう、子どもの未来支援事業に活用する。

(1) 市内外に対し、つくばこどもの青い羽根基金の認知度向上に努める。

- ・ 広報つくばへの毎月掲載やホームページ・SNSへの掲載
- ・ 区会への啓発チラシ配布依頼
- ・ 市内事業者への啓発チラシ郵送

## 【成果】

本年度

前年度

総額：14,193,324円 (640件)

総額：15,479,456円 (577件)

個人：4,075,367円 (277件)

個人：7,184,504円 (254件)

区会：3,161,290円 (239件)

区会：3,156,274円 (245件)

企業：6,099,638円 (116件)

企業：4,055,801円 (74件)

団体：857,029円 (8件)

団体：1,082,877円 (4件)

企業・区会への青い羽根基金の周知が浸透し、事業に対しての理解と賛同が増え、子どもの未来を支援する意識を醸成できた。

## 寄付金額

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
目標額	円	8,600,000	8,600,000	7,000,000	-	-
実績額	円	14,193,324	15,479,456	8,781,446	-	-

事業名：ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	19	本年			75,950		75,950		75,950	100.0
				前年			341,310		341,310		234,511	68.7
				比較			△ 265,360		△ 265,360		△ 158,561	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料				75,950								
概要及び成果												
<p>1 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業                      令和2年度に実施したひとり親世帯臨時特別給付金給付事業に対して、厚生労働省から交付を受けた国庫補助金のうち、当該事業に要した経費を差し引いた超過交付額を令和3年度に返還したものの。  <b>【R2～R3の事業の流れ】</b>                      事業執行にあたり、令和2年度に厚生労働省に補助金310,460千円を申請し、同年に同額が交付され事業を実施、令和3年3月31日に実績報告を行った。                      補助金交付額確定は令和3年度に通知されたため、超過交付分を令和3年度に返還した。  <b>【補助金内訳】</b>                      国庫補助金交付額 合計：310,460千円（事業費：308,980千円、事務費：1,480千円）・・・①                      事業に要した額 合計：234,510千円（事業費：233,120千円、事務費：1,390千円）                      国庫補助対象額 合計：234,510千円（事業費：233,120千円、事務費：1,390千円）・・・②                      国庫返還額（①-②）75,950千円</p>												

事業名：子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	02	01	20	本年			469,692		469,692	26,338	347,434	79.6	
				前年									
				比較			469,692		469,692	26,338	347,434	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				134	役務費		846	委託料		1,254	扶助費		345,200
概要及び成果													
<p>1 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯・その他世帯）                      新型コロナウイルス感染症の影響で、子育てに対する負担の増加や収入の減少など、困難が生じているひとり親世帯・その他子育て世帯の生の支援のため、対象児童1人あたり5万円の給付金を支給する。</p> <p>【ひとり親世帯】給付対象者…①令和3年4月分児童扶養手当受給者                      ②公的年金等の受給により令和3年4月分児童扶養手当が全額支給停止の者                      ③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当受給者と同水準となっている者</p> <p>【その他世帯】給付対象者…①令和3年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当受給者で令和3年度分住民税均等割の非課税者                      ②①のほか、対象児童18歳年度末までの子（障害児は20歳未満）の養育者で令和3年度分住民税均等割非課税者と同様の事情であると認められる者</p> <p>【県事業分】給付対象者…①令和4年1月分児童扶養手当受給者                      ②公的年金等の受給により令和4年1月分児童扶養手当が全額支給停止の者                      ③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当受給者と同水準となっている者</p> <p>【成果】                      給付金の支給によって、ひとり親家庭やその他子育て家庭の経済的基盤の安定に寄与することができた。</p>													
ひとり親世帯分													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
世帯数		世帯	1,524	-	-	-	-						
第2子以降		人	771	-	-	-	-						
支給額		千円	76,200	-	-	-	-						
第2子以降		千円	38,550	-	-	-	-						
その他世帯分													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
世帯数		世帯	1,426	-	-	-	-						
第2子以降		人	1,035	-	-	-	-						
支給額		千円	71,300	-	-	-	-						
第2子以降		千円	51,750	-	-	-	-						
県事業分													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
世帯数		世帯	1,422	-	-	-	-						
第2子以降		人	726	-	-	-	-						
支給額		千円	71,100	-	-	-	-						
第2子以降		千円	36,300	-	-	-	-						

事業名：子育て世帯臨時特別給付金給付事業に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	02	01	21	本年			3,978,080		3,978,080	238,090	3,738,619	100.0	
				前年									
				比較			3,978,080		3,978,080	238,090	3,738,619	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
職員手当等				940	需用費		249	役務費		5,667	委託料		1,912
扶助費				3,729,850									
概要及び成果													
<p>1 子育て世帯臨時特別給付金給付事業                      新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援する観点から、高校生までの子どもがいる世帯に対し、臨時特別の給付金として、対象児童1人につき、先行給付：5万円、追加給付：5万円、計10万円を支給する。                      (※児童手当の受給者変更により、追加給付分のみつくば市から支給した該当者1件あり。)</p> <p>①令和3年9月分の児童手当支給対象児童                      ②令和3年9月30日現在つくば市に住民票がある高校生等（平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれ）                      ③令和3年10月1日から令和4年3月31日までに生まれた児童手当の支給対象児童（公務員以外は申請不要）※所得制限有り（児童手当特例給付相当を受ける世帯は対象外）</p> <p>【成果】                      給付金の支給によって、子育て家庭の経済的基盤の安定に寄与することができた。</p>													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
世帯数		世帯	22,282	-	-	-	-						
第2子以降		人	15,017	-	-	-	-						
支給額		千円	2,228,150	-	-	-	-						
第2子以降		千円	1,501,700	-	-	-	-						



事業名：児童手当支給に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
03	02	02	11	本年	4,240,175		83,227	18,939	4,342,341		4,336,262	99.9																					
				前年	4,246,774		337,617	22,000	4,606,391		4,592,688	99.7																					
				比較	△ 6,599		△ 254,390	△ 3,061	△ 264,050		△ 256,426	-																					
【参考】前々年度					4,229,419				4,229,419		4,220,783	99.8																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費					174	役務費		3,400	委託料		323	扶助費		4,328,935																			
償還金利子及び割引料					3,431																												
概要及び成果																																	
<p>1 児童手当・特例給付支給事業</p> <p>15歳到達後最初の3月31日までの間（中学校修了前）にある児童を養育する者に年3回手当を支給する。</p> <p>支給時期：6月（2～5月分）、10月（6～9月分）、2月（10～1月分）</p> <p>支給額：月額、児童1人あたり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満：一律 15,000円</li> <li>・3歳以上小学校修了前：10,000円（第3子以降は15,000円）</li> <li>・中学生：一律 10,000円</li> <li>・特例給付（所得制限額限度額以上の場合）：一律 5,000円</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>子育てに伴う経済的・精神的負担が軽減され、家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成に寄与することができた。</p>																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童手当・特例給付支給者数</td> <td>人</td> <td>23,994</td> <td>21,826</td> <td>21,457</td> <td>21,227</td> <td>20,863</td> </tr> <tr> <td>児童手当・特例給付支給額</td> <td>千円</td> <td>4,328,935</td> <td>4,263,260</td> <td>4,216,625</td> <td>4,182,965</td> <td>4,137,995</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	児童手当・特例給付支給者数	人	23,994	21,826	21,457	21,227	20,863	児童手当・特例給付支給額	千円	4,328,935	4,263,260	4,216,625	4,182,965	4,137,995
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
児童手当・特例給付支給者数	人	23,994	21,826	21,457	21,227	20,863																											
児童手当・特例給付支給額	千円	4,328,935	4,263,260	4,216,625	4,182,965	4,137,995																											

事業名：ひとり親家庭等児童福祉金支給に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
03	02	03	11	本年	118,039		5,217		123,256		118,678	96.3																					
				前年	118,054				118,054		114,007	96.6																					
				比較	△ 15		5,217		5,202		4,671	-																					
【参考】前々年度					98,292		19,645		117,937		114,589	97.2																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費					15	委託料		396	扶助費		118,268																						
概要及び成果																																	
<p>1 ひとり親家庭等児童福祉金の支給事業</p> <p>離別、死亡等により両親又はその一方に監護されず、かつ、これと生計を同じくしない15歳以下の児童の養育者に年1回3月にひとり親家庭等児童福祉金を支給する。</p> <p>支給額は、児童1人につき月額2,500円、児童扶養手当受給者は月額5,000円。</p> <p>【成果】</p> <p>ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与した。</p> <p>ひとり親家庭等児童福祉金支給者・支給額</p>																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給対象者</td> <td>人</td> <td>1,837</td> <td>1,791</td> <td>1,765</td> <td>1,793</td> <td>1,821</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>千円</td> <td>118,268</td> <td>113,525</td> <td>114,168</td> <td>116,750</td> <td>69,243</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給対象者	人	1,837	1,791	1,765	1,793	1,821	支給額	千円	118,268	113,525	114,168	116,750	69,243
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
支給対象者	人	1,837	1,791	1,765	1,793	1,821																											
支給額	千円	118,268	113,525	114,168	116,750	69,243																											

事業名： 保育所運営に要する経費

こども部 幼児保育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	04	11	本年	402,017		27,662	896	430,575		388,115	90.1
				前年	394,087		55,022	△ 1,352	447,757		368,627	82.3
				比較	7,930		△ 27,360	2,248	△ 17,182		19,488	-
【参考】前々年度					318,201		78,179	701	397,081		368,907	92.9

節別支出済額(単位:千円)

報酬	15,521	職員手当等	794	報償費	212	旅費	582
需用費	213,295	役務費	15,102	委託料	13,584	使用料及び賃借料	1,728
負担金補助及び交付金	127,155	償還金利子及び割引料	141				

概要及び成果

1 公立保育所運営事業

児童福祉法に基づく職員を適正に配置し、年齢にあった保育プログラムを作成し、保育を行う。  
協働的な遊びや様々な体験を通じ、こどもの学びの向上の場を提供する。  
児童の嗜好・食品の安全性・栄養バランスを考慮した給食の提供を行う。  
児童の安心・安全な環境をつくり、保育の質を高める。

【成果】

- ・オムツ持ち帰りの慣行見直し：全23保育所で、使用済み紙オムツ廃棄を開始した。
- ・白米持参の慣行見直し：4保育所（吾妻・上横場・真瀬・北条）で令和3年4月に主食提供開始。このほか、12保育所（今鹿島、稲岡、二の宮、上ノ室、上境、上広岡、並木、桜南、小田、作岡、城山、岩崎）で令和4年4月主食提供開始に向け準備を進めた。

公立保育所児童数（3月末現在）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
児童数(23保育所総数)	人	1,726	1,739	1,727	1,730	1,776

2 児童入所事業

入所希望者の受付（随時）、入所検討会議（毎月）、民間保育園に保育実施の委託、次年度も入所を希望する児童についての継続確認（年1回）

【成果】

保育所入所希望の保護者に対して、公平・公正な入所審査を実施し、子育て環境の支援に繋げた。また、業務内容を見直し、入所結果通知の発送時期を、例年より約1週間早めることができた。

入所対応

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
入所申込児童数	人	8,699	8,008	7,543	7,174	6,758
入所児童数 ※	人	7,718	7,175	6,711	6,310	6,034
待機児童数	人	2	42	131	116	114
保育コンシェルジュ相談件数	件	1,795	1,705	1,732	1,135	780

※ 3月末時点、受託児童含み委託児童は除く、2・3号のみ

3 利用者負担額の決定・徴収事業

保育所入所児童全員について利用者負担額の算定し、決定を行う。  
利用者負担額を口座振替等で行い、収納確認を迅速に行う。  
利用者負担額の滞納世帯に対し納付の勧告をすることで、利用者負担額の徴収率向上を目指す。

【成果】

- ・税情報の取得に努め、適正な利用者負担額の決定を行うことができた。
- ・保育料等の収納において、保護者が納付ししやすいよう口座振替を推奨し、高い徴収率を維持できた。

保育料徴収

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
現年度収納額	千円	912,109	834,314	1,264,132	1,594,752	1,530,426
収納率	%	99.7	99.3	99.3	99.0	99.0
滞納繰越収納額	千円	9,765	12,602	14,591	16,910	16,529
収納率	%	14.0	16.0	16.5	17.8	16.3

事業名：民間保育所運営に要する経費

こども部 幼児保育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	04	12	本年	9,614,592		262,427	△ 18,939	9,858,080	158,492	8,758,108	90.4
				前年	9,375,113	161,412	712,219	△ 22,598	10,226,146	9,301,594	91.0	
				比較	239,479	△ 161,412	△ 449,792	3,659	△ 368,066	158,492	△ 543,486	-
【参考】前々年度					7,602,141	188,481	737,346	△ 752	8,527,216	161,412	7,792,078	93.3

節別支出済額(単位:千円)

報償費	16	委託料	7,639,326	負担金補助及び交付金	918,283	扶助費	69,594
償還金利子及び割引料	130,889						

概要及び成果

- 1 民間保育園・市外保育園運営委託事業  
民間保育園へ事業を委託し保育の実施を行う。市外の保育所へ入所決定した場合に、委託協議及び委託料の支払いをする。

【成果】

運営委託により、入所を希望する保護者支援を行うことができた。各園への委託料の支払いについて、各加算の認定を踏まえて適正に実施できた。

民間保育施設数及び入所児童数推移

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
市内民間保育等施設数※1	園	71	62	52	48	43
市内入所児童数(1号)※2	人	785	779	761	772	757
市内入所児童数(2・3号)※2,3	人	6,094	5,436	4,984	4,580	4,258
市外民間保育等施設委託数	園	117	125	140	126	108
市外委託児童数※2,4	人	248	259	285	265	263

※1 年度当初時点の園数(保育園、認定こども園、小規模保育事業、新制度移行幼稚園)

※2 児童数については3月時点の人数

※3 市外からの受託児童数も含む

※4 1号含む

- 2 民間保育園補助事業  
子ども・子育て支援事業、障害児保育事業等の各種補助事業実施施設や補足給付費等の支給対象保護者に対して補助金を交付する。

【成果】

各事業とも適正な補助を行うことで、保育内容の充実に繋げることができた。また、国の制度や保育全体の情勢を反映した補助事業を実施することができた。

補助金実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助金総額	千円	405,415	329,103	235,344	215,107	190,520

- 3 民間保育園整備事業  
社会福祉法人や学校法人が行う保育園の創設や増築に対し補助をし、定員を拡充をする。一時預かりや病児保育利用希望者の増加に対応するため一時預かり・病児保育を拡充する。

【成果】

子ども・子育て支援プランに基づき、需要の高い地域に適正な新設整備を実施し、合計5園、186人の定員を増加した。

施設種類別整備数及び増加定員数※1

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
保育園(分園含む)	園	1	5	5	2	2
認定こども園	園	0	1	0	0	2
小規模保育事業	園	4	4	5	2	1
増加利用定員数	人	186	736	646	240	332

※1 2号・3号定員の設定がある施設に限る

4 保育士の処遇改善

民間保育所等に勤務する保育士及び幼稚園教諭に対し、助成金（月額30,000円）を交付する。

【成果】

保育士等の処遇を改善することで保育士の確保及び離職防止に繋げて、質の高い保育を安定的に提供することができた。

処遇改善助成金実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付決定者数	人	869	769	707	643	566
交付額	千円	307,469	249,330	228,690	211,440	186,570

5 認可外保育施設利用者への助成

幼児教育・保育無償化制度により、認可外保育施設の利用者に対して、利用料の一部を給付することで負担軽減をする。

【成果】

償還払いの手続きを案内、実施することで、保育の必要性がある家庭に対して円滑に給付をすることができた。

認可外保育施設無償化制度利用実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	225	203	183	-	-
給付額	千円	60,440	59,206	24,223	-	-

事業名： 保育所管理に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	04	13	本年	159,614		1,975	△ 896	160,693		153,540	95.5
				前年	386,299	21,298	△ 16,597	9,868	400,868		371,941	92.8
				比較	△ 226,685	△ 21,298	18,572	△ 10,764	△ 240,175		△ 218,401	-
【参考】前々年度				358,391		5,500		363,891	21,298	324,633	95.1	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	11,494	役務費	5,277	委託料	27,747	使用料及び賃借料	32,021
工事請負費	39,449	備品購入費	17,283	負担金補助及び交付金	952	償還金利子及び割引料	19,317

概要及び成果

1 公立保育所施設維持管理事業

保育所機械警備委託及び消防施設点検等の施設管理委託を実施する。

建築基準法第12条に基づく建築物及び建築設備劣化状況の点検（福祉施設定期点検）を実施する。保育所施設の修繕工事を実施する。

【成果】

- ・空調機の新規設置及び入替えを実施し、猛暑対策を行った。
- ・竹園保育所において屋根・外壁改修工事を行い、長寿命化を図った。
- ・旧北条保育所の園舎等解体工事設計業務委託を行った。
- ・建築基準法第12条に基づき、7か所の福祉施設定期点検を行った。

事業名：児童館運営に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	05	11	本年	46,107				46,107		44,438	96.4
				前年	46,883		8,976		55,859		46,209	82.7
				比較	△ 776		△ 8,976		△ 9,752		△ 1,771	-
【参考】前々年度					46,464			428	46,892		44,914	95.8

節別支出済額(単位:千円)

報償費	63	需用費	4,176	役務費	3,761	委託料	28,000
使用料及び賃借料	4,428	備品購入費	603	負担金補助及び交付金	3,408		

概要及び成果

1 児童館運営事業

一般来館児童の遊びの指導

地域の利用者への対応と連携

児童館利用者の怪我等に対応するため施設利用者傷害保険へ加入

運営に必要な消耗品の購入及び備品等の修繕

【成果】

- ・竹園東児童館の敷地内に児童クラブ室の建築工事が完了した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、令和3年9月2日から9月26日まで、及び、令和4年1月31日から2月18日までの期間、児童館の一般来館利用の自粛をお願いした。

来館者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
栄児童館	人	14,849	13,259	17,194	18,940	20,074
九重児童館	人	13,233	11,460	13,286	12,744	15,908
荃崎児童センター	人	8,903	6,689	8,372	8,101	10,120
松代児童館	人	18,525	17,707	24,519	37,347	43,357
吾妻西児童館	人	27,173	28,529	31,456	34,553	36,939
吾妻東児童館	人	7,502	7,581	13,307	13,132	12,192
手代木南児童館	人	13,591	13,313	18,208	19,975	16,567
二の宮児童館	人	18,655	22,463	39,241	45,367	46,427
谷田部児童館	人	37,175	35,788	42,800	44,525	64,019
上郷児童館	人	13,079	13,075	16,525	18,178	19,695
吉沼児童館	人	14,874	14,681	17,192	19,262	19,417
竹園西児童館	人	23,309	20,402	30,373	28,462	25,079
竹園東児童館	人	13,992	13,504	17,132	22,026	22,899
並木児童館	人	11,638	11,124	29,634	34,086	40,181
東児童館	人	26,609	26,146	32,522	32,757	30,498
桜南児童館	人	14,861	15,456	21,686	24,829	23,420
小田児童館	人	5,156	3,664	3,696	2,958	4,938
大曾根児童館	人	21,178	22,913	27,954	26,390	34,799
計	人	304,302	297,754	405,097	443,632	486,529

2 児童館での交流支援

地域組織活動連絡協議会（母親クラブ）の育成及び合同事業の実施。乳児及び保護者等の交流を助成。

【成果】

- ・新型コロナウイルス感染症対策に配慮した新しい形での合同事業を市と母親クラブで企画し、つくば市中央図書館のアルスホールにて、段ボールを使用した迷路を実施した。
- ・市ホームページに掲載している母親クラブの情報について、閲覧者が見やすいように改善するとともに、各母親クラブのページを最新の情報に更新した。

事業名：放課後児童対策に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
03	02	05	12	本年	1,599,774		101,504		1,701,278	77,515	1,367,984	85.0		
				前年	1,167,820	50,951	336,993	△ 4,852	1,550,912		1,216,526	78.4		
				比較	431,954	△ 50,951	△ 235,489	4,852	150,366	77,515	151,458	-		
【参考】前々年度					967,062		59,964	△ 428	1,026,598	50,951	848,967	87.7		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					183,661	職員手当等		393	報償費		24	旅費		9,060
需用費					14,749	役務費		4,122	委託料		655,931	使用料及び賃借料		34,097
工事請負費					392,011	備品購入費		10,926	負担金補助及び交付金		61,748	扶助費		1,093
償還金利子及び割引料					170									
概要及び成果														
1 放課後児童クラブ事業 放課後に保育を受けることができない児童に対して、公営のみならず民間事業者が運営する児童クラブを活用しながら、遊びを主とした生活の場・活動の場を提供する。														
【成果】														
・竹園東児童館及び葛城小学校の敷地内で児童クラブ室の建築工事が完了した。また、新設校への対応として、(仮称)香取台地区小学校児童クラブ室の建築工事を令和3年度から始めるとともに、(仮称)研究学園地区小学校児童クラブ室の建築設計を行った。														
・みどりの学園義務教育学校の多目的室について、学校と協議し借用することで児童クラブの受け入れ人数を増加させた。														
児童クラブ員数・クラブ数														
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度							
公営児童クラブ※1		人(クラブ)	2,429(61)	2,366(56)	2,091(44)	1,696(34)	1,055(2)							
民営児童クラブ※2		人(クラブ)	2,584(71)	2,380(62)	2,221(60)	2,105(55)	2,035(48)							
合計		人(クラブ)	5,013(132)	4,746(118)	4,312(104)	3,801(89)	3,090(68)							
※1 児童館内の児童クラブ、サテライト方式により児童館が運営する児童クラブ、学校敷地内・隣接地の専用施設で児童クラブ長が運営する児童クラブがある。														
※2 市からの運営委託により、学校の余裕教室等の公共施設を利用して保護者が運営する児童クラブ、指定管理者が運営する児童クラブ、民間事業者が自らの施設で運営する児童クラブがある。														

事業名：児童館管理に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
03	02	05	13	本年	84,211				84,211		71,467	84.9		
				前年	155,985		△ 23,738	△ 1,067	131,180		121,283	92.5		
				比較	△ 71,774		23,738	1,067	△ 46,969		△ 49,816	-		
【参考】前々年度					91,010				91,010		84,220	92.5		
節別支出済額(単位:千円)														
需用費					18,853	役務費		1,355	委託料		9,901	使用料及び賃借料		1,854
工事請負費					37,587	備品購入費		1,917						
概要及び成果														
1 児童館管理事業 児童館機械警備委託及び消防施設点検等の施設管理委託を実施する。 建築基準法第12条に基づく建築物及び建築設備劣化状況の点検(福祉施設定期点検)を実施する。児童館施設の修繕工事を実施する。														
【成果】														
・吾妻西、並木、桜南児童館のプレイルームへ空調設備設置工事を実施し、猛暑対策を図った。														
・吉沼、手代木南、竹園西児童館のプレイルームの空調設備設置設計を実施した。														
・建築基準法第12条に基づき、6か所の福祉施設定期点検を行った。														

事業名：生活保護対策に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	11	本年	2,161,859		161,258	△ 59	2,323,058		2,302,371	99.1
				前年	2,127,526		96,246	△ 540	2,223,232		2,116,159	95.2
				比較	34,333		65,012	481	99,826		186,212	-
【参考】前々年度				2,099,291		133,707	19,587	2,252,585		2,245,713	99.7	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,508	職員手当等	213	共済費	304	旅費	335
需用費	917	役務費	5,336	委託料	5,019	使用料及び賃借料	2,586
扶助費	2,150,961	償還金利息及び割引料	133,192				

概要及び成果

1 生活保護事業

国からの法定受託事務として、要保護者の困窮の程度に応じ、生活扶助、医療扶助、介護扶助等必要な支援をしながら自立を助長する。

【成果】

(1) 生活保護の動向

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申請件数	件	269	184	180	148	170
保護廃止	件	185	147	143	116	117
被保護世帯(※1)	世帯	1,010	964	927	906	889
被保護人員(※1)	人	1,211	1,176	1,124	1,101	1,073
保護率(※1)	%	4.9	4.8	4.7	4.6	4.6

(2) 生活保護費の動向

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
生活扶助費	千円	600,458	573,425	575,663	555,527	566,952
住宅扶助費	千円	275,732	262,622	266,530	258,247	248,003
教育扶助費	千円	3,402	3,340	3,267	3,951	3,764
医療扶助費	千円	1,184,882	1,128,827	1,216,981	1,104,119	1,068,421
介護扶助費	千円	65,444	80,790	86,704	81,947	91,414
出産扶助費	千円	963	1,524	469	0	367
生業扶助費	千円	1,737	1,428	1,864	2,248	3,020
葬祭扶助費	千円	6,825	5,110	7,108	3,992	3,279
施設事務費	千円	9,236	6,699	6,226	9,384	8,607
就労自立給付金	千円	530	251	85	215	239
進学準備給付金(※2)	千円	400	400	200	0	-
日常生活支援委託事務費(※3)	千円	1,358	699	-	-	-
合計	千円	2,150,961	2,065,108	2,165,092	2,019,630	1,994,066

(※1) 各年度末現在の数値

(※2) 平成30年度より創設

(※3) 令和2年度より創設された日常生活支援住居施設への委託事務費

事業名：生活困窮者自立支援事業に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	12	本年	37,421		25,621	59	63,101		55,495	87.9
				前年	16,735		47,417		64,152		60,668	94.6
				比較	20,686		△ 21,796	59	△ 1,051		△ 5,173	-
【参考】前々年度				7,738		758	△ 342	8,154		7,374	90.4	

節別支出済額(単位:千円)

委託料	24,135	扶助費	24,885	償還金利子及び割引料	6,474
-----	--------	-----	--------	------------	-------

概要及び成果

- 1 生活困窮者自立支援事業  
生活保護に至る前の支援策として、生活困窮者自立支援法に定める自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業、住居確保給付金支給事業を一体的に実施し、生活困窮者の自立を図る。

【成果】

住居確保給付金の新規申請件数は減少したが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活に困窮されている方からの相談件数は増加しており、相談支援をとおして生活困窮者の自立支援に寄与することができた。

(1) 自立相談支援事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新規相談受付件数	件	3,871	3,260	70	73	114
新規支援プラン作成件数	件	15	12	20	15	22
就労支援対象者数(A)	人	101	108	20	20	21
就労者数(B)	人	28	18	11	14	16
就労率((B)/(A))	%	28	17	55	70	76

(2) 就労準備支援事業 ※令和2年度から事業開始

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
プラン作成件数	件	3	2	-	-	-

(3) 家計改善支援事業 ※令和2年度から事業開始

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
プラン作成件数	件	9	11	-	-	-

(4) 住居確保給付金

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申請件数	件	74	228	18	15	21
支給総額	千円	24,885	32,587	2,363	2,150	3,636

離職により住居を失った者又は失うおそれが高い者に対して、有期で家賃相当額（生活保護の住宅扶助と同額）を支給すると共に就労支援を行う。

支給限度額：単身世帯34,000円、2人世帯41,000円、3～5人世帯44,000円、6人世帯48,000円、7人以上世帯53,000円

支給期間限度：3か月間（延長可、最大9か月）

※1 自立相談支援事業：一人ひとりの状況に応じ、自立に向けた支援計画を作成する。

※2 就労準備支援事業：一般就労に向けた日常生活自立や社会生活自立を支援する。

※3 家計改善支援事業：家計の状況を適切に把握することや家計改善の意欲を高めることを支援する。



事業名：生活困窮者自立支援金支給に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	03	01	13	本年			69,503		69,503		37,926	54.6	
				前年									
				比較			69,503		69,503		37,926	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
職員手当等				190	需用費		86	役務費		163	委託料		12,867
扶助費				24,620									
概要及び成果													
<p>1 生活困窮者自立支援金支給事業                      新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、総合支援資金の貸付終了などにより、特例貸付を利用できない世帯に対して、就労による自立を図るため、また、それが困難な場合には円滑に生活保護の受給へつなげるために支援金を支給する。                      【申請期間】令和4年8月31日まで                      【支給額】単身世帯：6万円、2人世帯：8万円、3人以上世帯：10万円                      【支給期間】3か月                      【再支給】一度に限り可（支給額、支給期間等は初回支給時と同様）</p> <p>【成果】                      必要とされる世帯に生活困窮者自立支援金を支給することで自立助長に寄与することができた。</p>													
申請数及び支給額													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
申請件数(初回)		件	116	-	-	-	-						
申請件数(再支給)		件	46	-	-	-	-						
支給額		円	24,620,000	-	-	-	-						

事業名：災害救助に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	04	01	11	本年	4,295				4,295		1,868	43.5														
				前年	4,745		△ 26		4,719		1,844	39.1														
				比較	△ 450		26		△ 424		24	-														
【参考】前々年度					6,139			△ 9	6,130		2,105	34.3														
節別支出済額(単位:千円)																										
需用費					28	委託料			627	使用料及び賃借料		45	負担金補助及び交付金		454											
扶助費					714																					
概要及び成果																										
<p>1 被災住宅復興支援事業 東日本大震災により被災した住宅の復旧に要する資金を金融機関から借り入れた場合、借り入れに係る利子の補給を行う。</p> <p>【成果】 被災者の自立助長が図られた。 ・被災住宅復興資金利子補給支給 東日本大震災：9件</p>																										
<p>2 つくば市災害見舞金支給事業 火災及び床上浸水等の被災者に対し、被害の程度や世帯員数により見舞金を支給する。</p> <p>【成果】 被災者の自立の助長が図られた。</p> <p>災害見舞金支給件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害見舞金支給件数</td> <td>件</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	災害見舞金支給件数	件	8	5	3	5	8
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
災害見舞金支給件数	件	8	5	3	5	8																				
<p>3 避難行動要支援者事務 避難行動要支援者名簿の掲載要件（介護認定や手帳の所持）に該当する者の名簿を作成する。また、掲載者に対して外部への情報提供の同意を確認し、同意した者の名簿については、平常時から避難支援者に提供する。さらに個別支援計画として、個々の避難計画を作成することで、災害時の迅速な対応に活用していく。</p> <p>【成果】 土砂災害警戒区域及び浸水想定区域を対象に個別支援計画を策定した。 個別支援計画策定数：117件（土砂災害・水害区域）</p>																										

事業名：竜巻災害救助に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	04	01	12	本年	320				320		300	93.9	
				前年	340				340		326	95.9	
				比較	△ 20				△ 20		△ 26	-	
【参考】前々年度					460				460		351	76.3	
節別支出済額(単位:千円)													
扶助費					300								
概要及び成果													
<p>1 被災住宅復旧資金借入利子補給金の支給 竜巻で被害を受けた市民に対し、被災した住宅の復旧に要する資金の利子補給をおこなうことにより、被災者の自立の助長を図る。</p> <p>【成果】 ・被災住宅復旧資金利子補給支給 竜巻被害：4件</p>													

事業名：献血推進事務に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	11	本年	596				596		456	76.5
				前年	772				772		351	45.4
				比較	△ 176				△ 176		105	-
【参考】前々年度					766				766		485	63.4
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		176	負担金補助及び交付金		280							
概要及び成果												
<p>1 献血推進事務</p> <p>(1)安全な血液製剤の安定供給のために、①移動献血バスの配車計画作成、②協力企業・学校等への協力依頼訪問、③献血実施の広報（ポスター掲示、Twitter、Facebookでの配信）、④献血協力者への粗品提供、を行う。</p> <p>(2)骨髄バンクドナー登録への支援や骨髄移植提供者への助成等を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染症の影響により、協力企業での献血実施を控えたり、実施直前で中止になった場所があったため、年間の献血者数が減少する結果となった。</p> <p>(2)骨髄バンクドナー登録支援として市ホームページや献血の際にチラシを配布し、周知活動を行った。また、骨髄移植提供者への助成は2人であった。</p>												
○移動採血者車による献血実績												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
献血者数		人	3,521	3,659	3,653	4,211	4,430					
○骨髄移植提供者（骨髄ドナー）への助成実績												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
年間実施人数		人	2	0	1	4	1					

事業名：休日緊急医療に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	12	本年	38,655				38,655		38,581	99.8
				前年	35,525				35,525		35,523	100.0
				比較	3,130				3,130		3,058	-
【参考】前々年度					36,134				36,134		36,065	99.8

節別支出済額(単位:千円)

委託料	38,581
-----	--------

概要及び成果

1 休日緊急診療委託事業

つくば市医師会へ業務を委託し、日曜、祝日、年末年始の診療を行う。  
 つくば市歯科医師会及びつくば薬剤師会へ業務を委託し、年末年始の診療体制等を確保する。  
 二次救急医療機関（5医療機関）に輪番制による業務を委託し、日曜・祝日・夜間に重症患者の救急治療・診療体制を確保する。

【成果】

協力医療機関及び二次救急医療機関（5医療機関）の協力により、医療受診・救急体制が確保できた。

(1) 休日緊急診療 ①一般内科

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
当番日数	日	72	72	76	73	72
診療患者数	人	3,332	2,649	6,197	5,882	5,431
医療機関数(延)		149	149	149	151	148

(1) 休日緊急診療 ②歯科

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
当番日数	日	6	6	6	6	6
診療患者数	人	228	155	130	105	147
医療機関数(延)		12	12	12	12	12

(2) 病院群輪番制（延患者数内訳）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
入院	人	1,425	1,285	1,404	1,661	1,613
外来	人	7,053	5,538	9,294	10,759	10,553
計	人	8,478	6,823	10,698	12,420	12,166

事業名：健康増進に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	13	本年	6,525			△ 518	6,007		5,133	85.4
				前年	9,909	1	△ 916	8,994	7,464	83.0		
				比較	△ 3,384	△ 1	916	△ 518	△ 2,987	△ 2,331	-	
【参考】前々年度					11,895		△ 218	285	11,962	1	10,507	87.8

節別支出済額(単位:千円)

報償費	96	需用費	1,266	役務費	17	委託料	3,069
使用料及び賃借料	137	負担金補助及び交付金	539	扶助費	9		

概要及び成果

1 新型インフルエンザ等対策事業

職員向けに講習会、実務訓練を行い、各部署の役割を明確にするとともに感染症の基本的な知識と技術を養う機会とする。市民に対して、感染症に関する講話を行い、広く周知・啓発を図る。

【成果】

- ・職員向け講習会を行い、各課の役割分担を再認識させるとともに、感染症の基本的知識と感染予防のための手技（手洗い方法、正しいマスク着用）を職員が習得することができた。
- ・令和3年度は、感染対策のため資料で学習し、いばらき電子申請システムで理解度を確認する自習型研修とした。

新型インフルエンザ等対策講習会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数	人	37	38	76	102	83

2 健康増進計画事業（健康つくば21策定・推進事業）

健康増進法に基づき、市の実情を踏まえた「つくば市健康増進計画」を策定し推進する。計画は5年ごとに全体の評価を実施し、見直しを行う。令和3年度は第4期計画の初年度であり、重点施策及び7分野（①健診の充実、②栄養・食生活、③身体活動・運動、④休養・こころの健康、⑤喫煙・飲酒、⑥歯と口腔の健康、⑦健康管理）について関係課各課にて計画の推進、進捗管理、評価を行った。

【成果】

- ・第4期健康増進計画の初年度として、分野別目標を設定し、新たな計画の推進を図ることができた。

〇つくばフェスティバル、健康フェスタ等での啓発活動

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
チラシ等配布数	部	769(※2)	0(※1)	約2,200	約2,100	約2,000

(※1) 新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント中止のため。

(※2) イベント中止のため、基本健診受診者に対しチラシ等を配布。

3 放射線検査費用助成事業

平成4年3月12日以降に生まれた者（東日本大震災当日18歳以下の者）で検査受診日につくば市に住民登録のある者、または検査受診日につくば市に住民登録のある妊婦に対して、甲状腺エコー検査またはホールボディカウンター検査（助成額 各検査上限3,000円）の助成を行う。助成回数は助成対象期間内においていずれかの検査1回となる。

【成果】

- ・助成金の交付により、対象者の検査費用の負担軽減を図ることができた。

〇放射線検査費用助成申請状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付者数	人	3	22	2	7	38
交付額	千円	9	66	6	21	114

4 健康づくり推進協議会関係

市民の健康づくりを計画的かつ総合的に推進するために本協議会を設置する。協議会では①健康づくりのための施策に関すること、②健康づくりのための事業に関すること、③その他健康づくりのために必要と認められる事項に関して協議する。

【成果】

- ・第4期健康増進計画の具体的な施策等について委員から、計画や事業に対し、意見や助言を得ることができた。

5 在宅血液透析患者助成金支給事業

在宅で血液透析を一月につきおおむね10回以上行った場合に、その月の電気料及び水道料金に対して10,000円/月を支給する。

【成果】

- ・助成申請者は2人、助成金額は合計240,000円であった。

○在宅血液透析助成申請状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
年間実施人数	人	2	2	2	-	-

事業名：医療環境整備に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	14	本年	92,074	50,000			142,074		92,069	64.8
				前年	92,130		△ 29	3	92,104	50,000	42,075	100.0
				比較	△ 56	50,000	29	△ 3	49,970	△ 50,000	49,994	-
【参考】前々年度					92,179				92,179		42,077	45.6

節別支出済額(単位:千円)

報償費	30	需用費	39	負担金補助及び交付金	50,000	寄附金	42,000
-----	----	-----	----	------------	--------	-----	--------

概要及び成果

1 周産期医療体制の整備事業

筑波大学との連携により、つくば市バースセンター及び寄附講座を開設し、市民の出産の場の安定的な確保に努める。また、バースセンター設置の効果等について「つくば市バースセンターに関する懇話会」を設置し、検証を行う。

「つくば市産婦人科施設開設支援事業助成金の交付に関する条例」を公布し、希望するすべてのつくば市民が市内で出産することができるよう、市内の産婦人科施設の充実を図る。

【成果】

- ・産婦人科施設開設支援事業助成金を交付し、新設の産婦人科施設が1件開設した。
- ・「つくば市バースセンターに関する懇話会」を開催し、寄附講座の概要・実績報告、バースセンター実績及び成果を確認し、あり方について協議した。

分娩数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
分娩数	人	88	138	112	101	119

※分娩数は年単位(1月～12月)

事業名：新型コロナウイルス感染拡大防止に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	15	本年	1	300,565	2,535,499	480	2,836,545	978,428	1,823,730	98.8
				前年			679,603		679,603	300,565	96,813	58.5
				比較	1	300,565	1,855,896	480	2,156,942	677,863	1,726,917	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
		報酬	162	職員手当等	21,483	報償費	17,821	旅費	34			
		需用費	23,612	役務費	178,102	委託料	1,560,787	使用料及び賃借料	12,921			
		工事請負費	2,123	備品購入費	6,685							
概要及び成果												
<p>1 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種が計画的に実行できるよう接種体制を整備するとともに、国や県の方針に沿って希望する市民等へ接種を行う。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市医師会と連携し市内110の接種協力医療機関により個別接種の体制を整備するとともに、市役所及び3病院で集団接種を実施した。</li> <li>配送システム、配車アプリ等を活用した配送体制を整備し、ワクチンの適切な管理と医療機関への確実な配送を実施した。</li> <li>厚生労働省の方針に沿って、対象者に対して適切な時期に遅延なく接種券の発送を実施した。</li> <li>予約システムの導入、回線数最大90回線のコールセンターの設置、交流センター等市内22か所でのサポート体制により市民からの予約受付に対応した。</li> <li>関係機関と連携を図りながら医療従事者、施設入所者、基礎疾患保持者、エッセンシャルワーカーの優先接種を実施した。</li> <li>接種協力医療機関でワクチン接種後に被接種者へ案内チラシを配布し、副反応相談窓口や健康被害救済制度に関する情報提供を実施した。</li> </ul> <p>【令和3年度新型コロナウイルスワクチン接種者数】(12歳以上、接種率はR3.7常住人口による)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1回目接種者数 194,925人 (95.11%)</li> <li>2回目接種者数 193,677人 (94.50%)</li> <li>3回目接種者数 84,562人 (41.26%)</li> </ul> <p>令和3年5月に接種が開始されたため、令和2年度以前の指標はない。</p>												
<p>2 新型コロナウイルス感染症対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急事態宣言対象地域やまん延防止等重点措置区域による不要不急の外出自粛要請に対応するため、市主催イベントや大会等の取扱い方針の作成、市主催や共催イベントの中止や延期及び公共施設の開館休館の取りまとめを市ホームページ等で市民に周知する。</li> <li>新型コロナウイルス感染症に関する感染予防対策や感染拡大防止の情報や市内感染者の情報を市ホームページやSNSに随時掲載する。</li> <li>備蓄品(医療物資)の管理を行い、必要に応じて医療機関や社会福祉施設へ配布する。</li> <li>つくば市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催する。</li> <li>市民等からの感染症に関する相談に対応する。</li> <li>茨城県が実施する新型コロナウイルス感染症業務への保健師派遣を行う。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急事態宣言対象地域やまん延防止等重点措置区域による不要不急の外出自粛要請に対して、迅速に市主催のイベントや大会等の取扱い方針の修正、イベントの中止や延期の再確認、公共施設の開館や休館を取りまとめ、市ホームページ等で市民に周知することができた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症に関する感染予防対策や感染拡大防止の情報や市内感染者の情報を市ホームページ・SNSに随時掲載することができた。</li> <li>医療機関や社会福祉施設等に備蓄品を配布することができた。</li> </ul> <p>【令和3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市新型コロナウイルス感染症対策本部会議12回開催</li> <li>市民から感染症に関する相談件数625件</li> <li>新型コロナウイルス感染症業務に関する保健師派遣：宿泊療養施設保健師派遣(実/延：19/36名)、学校等でのPCR検査保健師派遣(実/延：14/27名)、つくば保健所業務保健師派遣(実/延：2/10名)</li> </ul>												

3 PCR検査事業（市独自）

・市独自PCR検査事業を実施することにより、新型コロナウイルス感染者を早期に発見し、感染拡大防止及びクラスター発生防止につなげる。対象は、小学生以上のつくば市民または、在勤在学者で、濃厚接触者に該当せず発熱等の症状がない者とする。検査結果は、検査当日にメール通知、郵送または窓口交付とする。

【成果】

・令和3年10月より事業を開始した。感染拡大時には、検査枠を拡大したことで、感染の不安解消や社会生活の継続につなげることができた。  
 ・陽性であると判明した場合には、電話にて医療機関の受診勧奨と受診の確認を行った。また、その陽性者情報（氏名、生年月日、連絡先等）は保健所と共有し切れ目のない支援を行った。

【令和3年度実績】

- ・検査件数5,595件
- ・検査結果件数 陰性5,506件、陽性89件

事業名：新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
04	01	01	16	本年			32,428	5,441	37,869		35,684	94.2	
				前年									
				比較			32,428	5,441	37,869		35,684	-	
【参考】前々年度													

節別支出済額(単位:千円)

需用費	23,337	役務費	12,346
-----	--------	-----	--------

概要及び成果

1 自宅療養者支援事業（市独自）

・新型コロナウイルスの感染拡大により市の自宅療養者が急増している状況から、市独自で療養中に必要な食料品や日用品（1人に対して約5日分）を自宅療養者宅へ無償で配送する。

【成果】

・令和3年8月より事業を開始した。申し込みのあった自宅療養者に対し、当日または翌日までは支援物資を配送できるよう迅速に対応することができた。

【令和3年度実績】

配送実績2,031件（陽性者本人セット2,011件、家族セット3,197件）



事業名： 予防接種に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	02	11	本年	746,186		1,984		748,170		715,683	95.7
				前年	710,664		85,648	△ 10	796,302		748,387	94.0
				比較	35,522		△ 83,664	10	△ 48,132		△ 32,704	-
【参考】前々年度				694,277		29,866		724,143		699,292	96.6	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	3	需用費	2,277	役務費	8,988	委託料	696,771
使用料及び賃借料	184	負担金補助及び交付金	258	扶助費	5,218	償還金利子及び割引料	1,984

概要及び成果

1 予防接種要注意者紹介制度事業

保護者の申請に基づき、茨城県が定めた予防接種要注意者紹介制度実施要領により、指定されている専門的な医療機関に対し予防接種依頼書を交付する。

【成果】

- ・ 疾病等の理由により、予防接種を受けるにあたり注意を要すると判断された児が、かかりつけ医から医療機関に紹介されたことで、予防接種を安全かつ安心して受けることができた。

依頼書発行者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
人数(延べ)	人	29	35	29	25	39

2 定期予防接種事業

予防接種法に基づく予防接種を行う。対象となる市民に対し、個人通知や市ホームページ等を通して接種勧奨を行い、また、予防接種に関する知識の普及を行う。

予防接種後に何らかの健康被害が生じた場合に、相談窓口としての相談に応じる。

【成果】

- ・ 個人通知等を行い、必要な方が定期接種期間内に接種できた。

A類疾病（集団予防を目的とする感染症）接種者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ヒブ	人	9,055	9,458	9,122	9,313	9,195
小児肺炎球菌	人	9,026	9,242	9,379	9,339	9,210
四種混合	人	9,072	9,303	9,404	9,402	9,292
三種混合	人	1	1	1	1	0
BCG	人	2,251	2,289	2,350	2,297	2,288
B型肝炎	人	6,732	6,785	6,944	6,878	6,834
麻しん・風しん	人	4,928	4,961	4,781	4,837	4,667
水痘	人	4,563	4,841	4,630	4,670	4,677
日本脳炎	人	5,920	11,803	11,523	12,192	10,666
二種混合	人	2,306	2,530	2,284	2,259	2,083
ヒトパピローマウイルス	人	1,379	728	189	54	26
不活化ポリオ	人	5	3	8	53	124
ロタウイルス	人	4,962	2,066	-	-	-
大人の麻しん風しん第5期	人	595	618	735	-	-
大人の風しん第5期	人	10	2	10	-	-

B類疾病（個人予防を目的とする感染症）高齢者インフルエンザ

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者	人	48,568	47,692	46,622	45,638	44,687
接種者数	人	28,364	30,852	25,017	23,329	21,780
接種率	%	58.4	64.1	53.7	51.1	48.7

B類疾病（個人予防を目的とする感染症）高齢者肺炎球菌

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	6,449	6,450	7,028	9,149	9,349
接種者数	人	1,640	1,842	1,776	3,694	4,226
接種率	%	25.4	28.6	25.3	40.4	45.2

大人の風しん抗体検査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
検査者数	人	2,577	2,986	3,160	-	-

※令和元年度から高齢者肺炎球菌予防接種対象者は、65歳及び65歳以上で5歳刻みの未接種者となる

3 任意予防接種事業

予防接種法に基づかない任意予防接種（小児インフルエンザ、おたふくかぜ、大人の風しん、免疫消失者の再接種）を協力医療機関に委託し実施する。

【成果】

・「骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方に対する予防接種再接種費用の助成」事業を開始した。

小児インフルエンザ

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
接種者数(延べ)	人	30,181	38,909	37,102	33,691	29,266

おたふくかぜ

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
接種者数	人	2,293	2,704	2,744	-	-

ロタウイルス

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
接種者数(延べ)	人	-	1,446	-	-	-

大人の風しん

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
麻疹風しん	人	42	41	97	-	-
風しん	人	3	5	0	-	-

骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方に対する予防接種再接種費用の助成

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
免疫消失者再接種	人	0	-	-	-	-

※ロタウイルスは、定期接種開始前の経過措置のため、令和2年度のみ事業

※骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方に対する予防接種再接種費用の助成は、令和3年度から開始

事業名：母子健康診査に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	11	本年	271,457		2,148	△ 53	273,552		268,297	98.1
				前年	270,111		948	△ 1,756	269,303		256,185	95.1
				比較	1,346		1,200	1,703	4,249		12,112	-
【参考】前々年度				259,883		4,248	1,742	265,873		262,560	98.8	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	410	需用費	2,681	役務費	3,972	委託料	254,670
備品購入費	1,021	扶助費	5,543				

概要及び成果

1 母子健康診査事業

- ・妊婦の健康管理及び疾病の早期発見、早期治療ができるように、妊婦一般健康診査を実施する。
- ・産後うつ等の早期発見等、産後初期段階の母子支援を強化するため、産婦健康診査を実施する。
- ・乳児の健康管理の向上を図るとともに、育児不安の軽減のため、乳児一般健康診査を実施する。
- ・対象者に個別通知を行い、1歳6か月健診、1歳6か月歯科検診、3歳健診を実施する。

【成果】

- ・令和4年度から開始する新生児聴覚検査助成制度の体制を整えた。
- ・健診会場内でプロジェクターを活用し、月齢に合わせたスライドを流して情報提供を行い、育児不安解消につなげた。
- ・健診会場内で新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、健診を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染状況から指定日に受診する方の変動があったことから、健診を1日追加して対応し、希望者が健診を受診できるようにした。
- ・1歳6か月歯科検診の未受診者通知を送付したことにより、受診率が向上した。

妊婦一般健康診査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受診者数(延)	人	25,637	24,620	26,730	25,705	26,430

産婦健康診査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受診者数(延)	人	3,845	3,668	3,834	3,409	-

乳児一般健康診査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受診者数(延)	人	4,121	4,365	4,220	4,248	4,094

1歳6か月歯科検診

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	2,437	2,392	-	-	-
受診者数	人	2,073	1,661	-	-	-
受診率	%	85.1	69.4	-	-	-

1歳6か月健康診査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	2,437	2,392	2,413	2,380	2,411
受診者数	人	2,360	2,423	2,236	2,316	2,311
受診率	%	96.8	101.3	92.7	97.3	95.9

3歳健康診査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	2,527	2,517	2,541	1,643	2,491
受診者数	人	2,401	2,534	2,299	1,662	2,395
受診率	%	95.0	100.7	90.5	101.2	96.1

※1歳6か月歯科検診(個別)は令和2年度から開始

※H30年度から3歳健康診査の対象者を3歳から3歳5か月に変更

事業名：母子保健指導に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	12	本年	16,304		12,366	53	28,723		18,395	64.0
				前年	10,830		2,948	△ 3	13,775		11,170	81.1
				比較	5,474		9,418	56	14,948		7,225	-
【参考】前々年度					15,760		11,953	△ 750	26,963		25,686	95.3

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,497	職員手当等	412	報償費	442	旅費	44
需用費	1,679	役務費	302	委託料	8,673	使用料及び賃借料	26
備品購入費	342	負担金補助及び交付金	12	扶助費	1,507	償還金利息及び割引料	1,459

概要及び成果

1 母子保健指導に関する事業

妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を実施するため、母子健康手帳交付を始めとし、各種健康教室、育児相談、あかちゃん訪問事業等を実施する。また、より支援の必要な対象者に対し、養育支援訪問等を実施する。

【成果】

妊娠届出時、妊娠期、出産から子育て期の保護者及び児に対し、各種相談事業、教育事業、訪問事業を実施し、切れ目のない支援を実施した。また、新型コロナウイルス感染対策としてマタニティサロンのオンライン開催や動画配信、電話相談、資料送付等で妊婦等の支援を行った。

母子健康手帳交付状況（再交付等を含む）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
母子健康手帳交付数	冊	2,543	2,370	2,454	2,507	2,516

母子保健相談支援事業（母子健康包括支援センター）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
妊娠届出時面接相談数	人	2,339	2,251	2,317	2,326	2,342
内要支援妊婦数	人	294	257	213	211	202
電話相談該当者数	人	1,106	1,255	1,357	1,149	930

マタニティサロン

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
妊婦編参加数	人	105	102	134	159	139
育児編参加数	人	506	514	823	736	656
マタニティ講演会参加数	人	68	81	117	138	133

あかちゃん訪問

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
訪問数	人	2,170	2,232	2,302	2,277	2,258
実施率	%	98.5	95.8	98.0	98.0	98.3

養育支援訪問 ※H29年度までは非常勤養育支援訪問者のみ計上、H30年度からは非常勤+常勤保健師を計上

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施延べ数	人	913	1,077	578	276	135

産後ケア事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用実数	人	74	45	54	26	-

あかちゃんランド

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催数	回	30	31	33	36	36
参加数	人	258	277	521	571	604

動画配信視聴状況 ※R3.2月より配信

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
沐浴について	人	842	112	-	-	-
離乳食について	人	451	127	-	-	-

すこやか相談

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相談延べ数	人	1,092	1,092	1,919	1,737	1,794

発達相談

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催数	回	76	84	98	82	48
相談延べ数	人	124	147	184	188	209

のびのび子育て教室

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催回数	回	37	32	48	48	48
参加実数(児)	人	36	35	52	56	49
参加延べ数(児)	人	226	198	316	489	484

出前健康講座

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催回数	回	26	21	34	26	34
参加数(乳幼児、学童)	人	211	173	456	349	357
参加数(保護者)	人	225	174	450	323	411

子育て応援講座 ※R2年度より開始。R3年度は動画配信のため視聴数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加数(保護者)	人	69	6	-	-	-

ペアレントプログラム ※R元年度より開始

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
コース数	回数	1	2	4	-	-
参加延べ数	人	36	62	163	-	-

事業名：不妊治療助成に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	13	本年	17,168		27,440		44,608		37,264	83.5
				前年	16,686			1,750	18,436	17,817	96.6	
				比較	482		27,440	△ 1,750	26,172	19,447	-	
【参考】前々年度					13,685				13,685		13,200	96.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	18	扶助費	37,246
-----	----	-----	--------

概要及び成果

1 不妊治療費助成事業

申請による助成金の交付。

〈特定不妊治療費の助成額〉

保険適用外の特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦で、茨城県不妊治療助成の交付決定を受けた方に対して、1回の治療につき5万円を限度として助成を行う。助成回数は、初回の助成を受けた際の治療開始日における妻の年齢が39歳までの方は通算6回まで、40歳から42歳までの方は通算3回までとする。

〈不妊検査及び一般不妊治療費の助成額〉

医師が認めた不妊検査・一般不妊治療を受けた夫婦に対し、3万円を限度として助成を行う。助成回数は、夫婦1組につき1回とする。

【成果】

特定不妊治療、不妊検査及び一般不妊治療に取り組む夫婦の経済的負担を軽減することができた。  
特定不妊治療助成対象治療件数617件のうち、210件が妊娠に至った。

(1) 特定不妊治療実施状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申請者数	人	371	203	179	190	180
うち男性不妊の申請件数	件	0	0	2	1	0
助成対象治療件数	件	617	295	272	284	254

(2) 不妊検査及び一般不妊治療実施状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
助成対象治療件数	件	224	110	-	-	-

2 不育症治療費助成事業

不育症に悩む夫婦の経済負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じた適切な治療を開始することを促進することにより、少子化の進展を防止する。

【成果】

不育症検査及び治療に取り組む夫婦の経済的負担を軽減することができた。

(1) 不育症治療実施状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申請者数	件	8	-	-	-	-

事業名：養育医療給付に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
04	01	03	14	本年	10,739		1,168		11,907		10,473	88.0																					
				前年	11,103		715		11,818		7,742	65.5																					
				比較	△ 364		453		89		2,731	-																					
【参考】前々年度					12,407				12,407		9,662	77.9																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
役務費		3		扶助費		9,302		償還金利子及び割引料		1,168																							
概要及び成果																																	
<p>1 養育医療給付事業 未熟児に対して出生後速やかに適切な処置を講ずる必要があることから、指定養育医療機関において、必要な医療の給付を行う。</p> <p>【成果】 保護者の経済的負担を軽くし、児に対して必要な医療を提供することができた。</p> <p>(1) 養育医療券交付状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>人</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>34</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>対象児の入院月数(延べ)</td> <td>月</td> <td>86</td> <td>65</td> <td>80</td> <td>81</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	人数	人	35	31	31	34	36	対象児の入院月数(延べ)	月	86	65	80	81	77
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
人数	人	35	31	31	34	36																											
対象児の入院月数(延べ)	月	86	65	80	81	77																											

事業名：健診事業に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	04	11	本年	271,812		10,781	△ 1,749	280,844		247,502	88.1
				前年	288,301		136	△ 798	287,639		199,053	69.2
				比較	△ 16,489		10,645	△ 951	△ 6,795		48,449	-
【参考】前々年度					281,954			△ 1,069	280,885		245,732	87.5

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,883	職員手当等	225	報償費	72	旅費	48
需用費	2,578	役務費	16,173	委託料	226,445	負担金補助及び交付金	78

概要及び成果

1 健(検)診事業

(1) 集団健診 生活習慣病等の早期発見のため、大穂・谷田部・桜・荃崎保健センター・豊里交流センター・市民ホールつくばね・市役所において、各種がん検診、特定健診及び後期高齢者健診を実施する。

(2) 医療機関健診 生活習慣病等の早期発見のため、医療機関で各種がん検診、特定健診及び後期高齢者健診を実施する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集団健診を人数制限や感染症対策を講じ、予定どおりの日数で健診を実施した。また新型コロナウイルス感染症まん延防止措置等の影響で令和2年度にがん検診の受診機会が得られなかった方へ、受診期間の延長措置を行い実施した。

各種がん検診受診者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
肺がん検診	人	7,101	3,190	10,374	10,008	9,864
胃がん検診	人	3,920	1,166	4,554	4,430	4,710
胃がんリスク健診	人	298	364	482	-	-
大腸がん検診	人	10,232	7,815	11,613	11,458	10,991
前立腺がん検診	人	4,794	3,622	5,934	5,707	5,298
結核検診	人	9,876	8,645	12,641	12,318	11,590
肝炎ウイルス検診	人	1,091	977	1,685	1,648	1,650
成人歯科検診	人	1,299	1,243	802	716	578
生活習慣病検診	人	57	42	86	64	73
基本健診	人	1,395	1,726	2,536	2,569	2,743
子宮がん検診	人	11,253	10,344	10,303	10,856	10,432
無料クーポン利用者	人	98	71	49	67	50
乳がん検診	人	6,567	5,581	6,002	11,065	10,648
無料クーポン利用者	人	452	337	365	367	359
骨粗しょう症検診	人	639	787	641	412	831

※令和元年度以降は、乳がん検診の受診者数は、対象区分の見直しにより、対象者が半分以下となったことによるもの。



事業名：健康教育・相談に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	04	12	本年	5,200	100			5,300	80	3,271	63.2
				前年	7,330		2,435		9,765	100	4,793	50.1
				比較	△ 2,130	100	△ 2,435		△ 4,465	△ 20	△ 1,522	-
【参考】前々年度					6,366				6,366		4,966	78.0

節別支出済額(単位:千円)

需用費	2,666	役務費	461	負担金補助及び交付金	144
-----	-------	-----	-----	------------	-----

概要及び成果

1 つくば健康マイレージ事業

市民が、運動・食事・歯に関する3つの健康目標を立て、継続して実践し、健診受診・社会参加・お友達紹介等で獲得したポイントを合計し、ポイントが貯まったら応募する。  
 応募者を対象とした抽選を実施し、当選者に対して企業連携と市提供の賞品を贈呈する。  
 指定のポイントが達成した方に達成記念品を贈呈する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響から、事業が中止になったことや高齢者等の活動自粛により応募人数が減少していたが、例年の応募数まで増加した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
応募人数	人	1,107	848	1,236	1,002	655

2 生活習慣病予防教育事業

健康アップ講演会：健康に関する講演会を開催する。  
 普及啓発活動：乳幼児健診及び大人の集団健診会場等において、乳がん予防・骨粗しょう症予防・禁煙啓発・歯周病予防のチラシの配布やミニ講話を実施する。  
 ライフプランすこやか：各種検診・予防接種予定表「ライフプランすこやか」を発行し、配布する。  
 禁煙外来治療費助成制度：禁煙外来治療を終了した者に対し、助成金を交付する。

【成果】

普及啓発活動では、健診・教育時に幅広い年代に関わり、健康意識の向上が図れた。今年度も市民健康講座及び健診時に行っていたミニ講話は、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、実施ができなかった。  
 禁煙外来助成事業により、禁煙に向けた取組を支援し、受動喫煙防止につなげることができた。

健康アップ教室・講演会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施回数	回	1	0	2	17	17
申込人数	人	33	0	58	156	254
参加人数	人	28	0	43	130	225

普及啓発活動

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
乳がん予防実施回数	回	68	57	70	61	67
乳がん予防実施人数	人	4,977	2,274	4,897	5,379	6,026
骨粗しょう症実施回数	回	9	0	6	6	28
骨粗しょう症実施人数	人	639	0	641	412	831
禁煙啓発実施回数	回	161	159	238	207	201
禁煙啓発実施人数	人	17,862	35,335	40,238	28,433	28,517
歯周病予防実施回数	回	89	120	249	405	137
歯周病予防実施人数	人	12,248	6,934	28,272	45,852	23,983

市民健康講座

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加人数	人	0	0	192	158	45

禁煙外来治療費助成制度

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申請人数	人	25	31	-	-	-
助成人数	人	17	16	-	-	-

健康アップ教室・講演会は、令和元年度までは、健康アップ教室として実施。令和2年度からは、健康アップ講演会として実施。（令和2年度は新型コロナ予防のため中止。）

3 生活習慣病予防相談事業

家庭訪問：家庭訪問指導を行う。

基本健診時健康相談：健診時における健診結果や日常生活についての健康相談を行う。

生活習慣改善レベル者の保健指導：基本健診を受診した結果、生活習慣が必要な方に、保健指導を行う。

検査高値者の受診勧奨：基本健診を受診した結果、医療機関の受診が必要な方に、受診勧奨を行う。

成人健康相談：保健師・管理栄養士による個別健康相談を行う。

健康手帳：主に40歳以上の方へ健康手帳の交付と、女性の方へ女性の健康手帳の交付を行う。

【成果】

成人健康相談・家庭訪問など個別の健康相談により、相談者と食事・運動など生活習慣の振り返りと見直しを行い、健康づくりの意識づけを行うことができた。

基本健診時健康相談では、令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、受診者全員への個別相談は行わず、健診結果に合わせたパンフレットを配付し、生活習慣の見直しのきっかけづくりを行った。

家庭訪問

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
指導人数	人	128	128	256	291	206

基本健診時健康相談

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施回数	回	10	12	12	12	12
相談人数	人	364	425	2,456	2,381	2,639

生活習慣改善レベル者の保健指導

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
通知数	人	381	810	1,195	953	-
指導人数	人	153	176	183	-	-

検査高値者の受診勧奨

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
通知数	人	49	75	115	445	434
受診人数	人	21	28	42	162	151

成人健康相談

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
指導人数	人	671	566	916	949	601

健康手帳の交付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
健康手帳交付数	冊	19	61	151	70	422
女性の健康手帳交付数	冊	105	120	476	116	170

事業名：精神保健に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	04	13	本年	1,511				1,511		1,296	85.8
				前年	2,126		△ 10		2,116		1,983	93.7
				比較	△ 615		10		△ 605		△ 687	-
【参考】前々年度				1,790			77	1,867		1,842	98.7	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	103	需用費	465	役務費	44	委託料	457
負担金補助及び交付金	229						

概要及び成果

1 こころの相談事業

精神疾患や精神不健康状態の初期症状や前兆にある方とその家族等に対して適切な指導をし、社会復帰及びその自立と、社会生活を営む上での支援を行う。また、自殺予防対策として茨城県地域自殺対策強化交付金事業費補助金事業を活用し、普及啓発事業の強化を図る。

【成果】

こころの健康相談 こころの病に関して、身近なところで気軽に相談できる場の提供を行った。

こころの健康相談 相談実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施数	回	12	12	12	13	17
人数	人	18	18	20	21	27

2 精神保健指導

電話・面接・訪問等での相談

【成果】

相談内容によって、傾聴、医療機関についての情報提供を行うなど、相談者への支援を行い、必要に応じて関係機関との連携を図った。

精神保健指導

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相談者数	人	264	261	196	264	306

3 精神保健福祉会組織の育成及び相談

精神障害者の当事者団体である精神保健福祉会組織の運営支援を行う。

【成果】

つくば精神保健福祉会例会（やすらぎの会）の案内を市のホームページへ掲載し、運営支援を行った。

精神保健福祉会実施

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施数	回	9	8	11	11	11
会員数	人	69	63	64	64	64

4 自殺予防対策事業

- (1) ゲートキーパー養成講座の実施
- (2) いのちのSOSキャンペーンの実施
- (3) チラシや啓発グッズの配布による啓発活動
- (4) メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」の実施

【成果】

人材育成として、市民、市職員、ボランティア団体を対象にゲートキーパーの講座を実施した。庁舎や図書館などに、自殺予防のチラシや掲示、関係する図書などを紹介し予防啓発を行った。事業実施後に「こころの体温計」のアクセス数が増加するなどの成果が見られた。

自殺予防対策事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ゲートキーパー養成講座実施回数	回	29	21	25	9	11
ゲートキーパー養成講座参加者数	人	428	613	580	259	168
いのちのSOSキャンペーン	人	3,200	1,600	1,600	1,600	1,600
こころの体温計アクセス数	件	31,103	29,499	40,744	68,150	53,162

5 医療保護入院に関する業務

医療保護入院が必要な案件が発生した場合、市長同意の医療保護入院手続きを速やかに行い、対象者に適切な治療を受けさせる。

【成果】

医療保護入院に市長同意をすることにより、患者に合わせて必要な治療に繋ぐことができた。

事業名：運動推進に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	05	11	本年	7,692				7,692		5,806	75.5
				前年	9,803		△ 1,363		8,440		6,042	71.6
				比較	△ 2,111		1,363		△ 748		△ 236	-
【参考】前々年度					14,124				14,124		11,741	83.1

節別支出済額(単位:千円)

報償費	270	需用費	839	役務費	160	委託料	1,461
使用料及び賃借料	3,077						

概要及び成果

1 運動推進事業

- ・身体機能の改善、生活習慣病予防などを目的として、40歳～64歳までの中高年齢者を対象としたアクティブ運動教室を実施する。
- ・つくばウォークの日 健康づくり・介護予防及び運動習慣の普及として、ウォーキングを推進する。
- ・健康体操教室（65歳未満も含む） 5名以上の団体に対し地区の集会所や研修センター等に出向き、体操や健康講話を実施する。
- ・運動普及推進員による市事業への協力

【成果】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アクティブ運動教室を約3か月中止にしたことにより、参加者は減少しているが、市報掲載やチラシ配布等により新規申込があった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、健康体操教室(65歳未満も含む)を約2か月半中止にしたことにより、団体数は減少しているが、区会回覧などにより新規団体の申込があった。
- ・感染症対策を講じた上でイベントウォークや地区ウォークを行うことができた。
- ・感染症対策を講じた上で、運動普及推進員の協力により安全かつ円滑に事業を実施することができた。

(1)アクティブ運動教室（40歳から64歳対象）※H30年度より年齢区分でコース変更

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
コース数		2	2	2	1	-
実施回数	回	65	50	73	43	-
参加実数	人	36	37	65	52	-
参加延べ数	人	959	781	1,778	1,464	-

(2)つくばウォークの日（主に毎月第一日曜日にウォーキングを実施）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施回数	回	7	4	9	10	14
参加者延人数	人	847	469	818	431	1,509

(3)健康体操教室（65歳未満も含む）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
団体数	団体	35	36	50	46	65
実施回数	回	236	229	405	358	621
参加延人数	人	1,813	1,668	3,564	3,447	6,118

(4)運動普及推進員による事業協力

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施回数	回	239	179	357	352	454
協力者延人数	人	904	604	1,273	1,091	1,541

事業名：健康増進施設いきいきプラザ管理に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
04	01	05	12	本年	5,653				5,653		5,160	91.3														
				前年	6,178		△ 156		6,022		4,810	79.9														
				比較	△ 525		156		△ 369		350	-														
【参考】前々年度					6,339				6,339		5,000	78.9														
節別支出済額(単位:千円)																										
需用費				1,873	役員費		1,107		委託料		1,989	使用料及び賃借料	191													
概要及び成果																										
<p>1 いきいきプラザ運営管理事業 アリーナ貸出業務（施設使用料徴収事務を含む。）、施設管理業務（維持管理を含む。）等</p> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月、7月末～9月の期間に休館したものの、令和2年度より利用者数に伸びがあった。 定期的な清掃、点検、徹底した感染症対策を実施し、施設の安全管理を実施した。</p> <p>アリーナ利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アリーナ貸出し利用者数</td> <td>人</td> <td>8,317</td> <td>6,619</td> <td>9,058</td> <td>10,716</td> <td>11,548</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度：コロナにより4/1～6/7、12/1～13、1/8～2/28休館 ※令和3年度：コロナにより5/6～5/31、7/30～9/26休館</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	アリーナ貸出し利用者数	人	8,317	6,619	9,058	10,716	11,548
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
アリーナ貸出し利用者数	人	8,317	6,619	9,058	10,716	11,548																				

事業名：栄養改善事業に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																																						
04	01	05	13	本年	1,906				1,906		1,659	87.0																																																																						
				前年	2,279		△ 90		2,189		1,799	82.2																																																																						
				比較	△ 373		90		△ 283		△ 140	-																																																																						
【参考】前々年度					2,255				2,255		2,076	92.1																																																																						
節別支出済額(単位:千円)																																																																																		
報償費				34	需用費		184	役務費		8	委託料		1,432																																																																					
概要及び成果																																																																																		
<p>1 栄養改善事業 市民が、食に関するさまざまな知識と食を選択する能力を身につけ、生涯にわたる健全な食生活の実現を図るために、(1)食生活改善推進員による食生活改善推進事業、(2)食育普及事業を行う。</p> <p>【成果】 (1)食生活改善推進員養成講習会を実施し、新規会員を養成した。食生活改善推進員による活動では、調理講習会の調理補助や健(検)診時にレシピ紹介を行った。 (2)食育普及講座は、親子料理や生活習慣病予防をテーマに実施した。また、食育講演会では動画配信し、平日の食育普及事業を利用しにくい20～50代の市民にも食育を普及できた。庁舎レストランでは食育バランスランチを提供し、理想的な栄養バランスの食事を体験する場を提供した。さらに、アンケートを実施し、利用者の属性とメニューの評価ができた。</p> <p>○食生活改善推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食生活改善推進員養成修了者数</td> <td>(人)</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>食生活改善推進員活動回数</td> <td>(回)</td> <td>127</td> <td>12</td> <td>210</td> <td>232</td> <td>199</td> </tr> </tbody> </table> <p>○食育普及事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食育普及講座回数</td> <td>(回)</td> <td>6 (※1)</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>食育普及講座参加延人数</td> <td>(人)</td> <td>68</td> <td>103</td> <td>75</td> <td>80</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>食育講演会参加者数</td> <td>(人)</td> <td>88 (※2)</td> <td>0 (※3)</td> <td>0</td> <td>143</td> <td>463</td> </tr> <tr> <td>庁舎レストランにおける食育バランスランチ提供食数</td> <td>(食)</td> <td>187</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ウエルカフェ栄養サロン実施回数</td> <td>(回)</td> <td>5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ウエルカフェ栄養サロン参加延人数</td> <td>(人)</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 新型コロナウイルス感染症の影響で1回中止 ※2 新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ※3 台風で中止</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	食生活改善推進員養成修了者数	(人)	10	12	8	11	14	食生活改善推進員活動回数	(回)	127	12	210	232	199		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	食育普及講座回数	(回)	6 (※1)	9	4	4	9	食育普及講座参加延人数	(人)	68	103	75	80	155	食育講演会参加者数	(人)	88 (※2)	0 (※3)	0	143	463	庁舎レストランにおける食育バランスランチ提供食数	(食)	187	-	-	-	-	ウエルカフェ栄養サロン実施回数	(回)	5	-	-	-	-	ウエルカフェ栄養サロン参加延人数	(人)	26	-	-	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																																												
食生活改善推進員養成修了者数	(人)	10	12	8	11	14																																																																												
食生活改善推進員活動回数	(回)	127	12	210	232	199																																																																												
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																																												
食育普及講座回数	(回)	6 (※1)	9	4	4	9																																																																												
食育普及講座参加延人数	(人)	68	103	75	80	155																																																																												
食育講演会参加者数	(人)	88 (※2)	0 (※3)	0	143	463																																																																												
庁舎レストランにおける食育バランスランチ提供食数	(食)	187	-	-	-	-																																																																												
ウエルカフェ栄養サロン実施回数	(回)	5	-	-	-	-																																																																												
ウエルカフェ栄養サロン参加延人数	(人)	26	-	-	-	-																																																																												

事業名：保健センター管理に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
04	01	06	11	本年	19,337			2,267	21,604		20,737	96.0	
				前年	22,753			814	23,567		20,982	89.0	
				比較	△ 3,416			1,453	△ 1,963		△ 245	-	
【参考】前々年度					25,774			△ 285	25,489		23,403	91.8	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				7,763	役務費		2,147	委託料		8,169	使用料及び賃借料		384
工事請負費				2,211	備品購入費		64						
概要及び成果													
<p>1 保健センター施設管理 保健センターに係る保守点検及び修繕を行う。</p> <p>【成果】 保健センターにおいて必要な維持管理委託、修繕工事を行うことにより、市民の利用環境の維持・向上が図られ、集団健診や相談事業等を円滑に実施することができた。</p>													

事業名：環境政策に要する経費

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
04	01	07	11	本年	1,443				1,443		974	67.5														
				前年	1,343		△ 146		1,197		885	74.0														
				比較	100		146		246		89	-														
【参考】前々年度				7,264	2,220	△ 1,383		8,101		7,720	95.3															
節別支出済額(単位:千円)																										
報酬					80	旅費		2	需用費		6	委託料		872												
負担金補助及び交付金					15																					
概要及び成果																										
<p>1 つくば市環境審議会運営事業 つくば市環境審議会の事務局として議事調整及び日程調整等を実施する。</p> <p><b>【成果】</b> 10月18日に第3次つくば市環境基本計画の進捗状況について意見をいただくことを目的として、つくば市環境審議会を開催した。つくば市環境審議会の意見は、今後の施策の参考とするために、担当各課にフィードバックを行った。</p> <p>環境審議会開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	開催回数	回	1	0	6	2	0
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
開催回数	回	1	0	6	2	0																				
<p>2 つくば市環境白書作成事業 第3次つくば市環境基本計画に掲げる関連施策の進捗状況及び前年度の市域の環境関連データを取りまとめた環境白書を作成して公表する。</p> <p><b>【成果】</b> 第3次つくば市環境基本計画の実績や市域の現状を明らかにするため、令和2年度版環境白書を作成し、ホームページで公表した。</p>																										
<p>3 環境基本計画進行管理事業 第3次つくば市環境基本計画に掲げる関連施策に該当する事業の目的・目標について、関係各課に事業進行管理票の作成依頼及び取りまとめを行う。</p> <p><b>【成果】</b> 年度当初に進行管理の目的や環境白書に実績を転記することを考慮して環境基本計画の進行管理票を作成した。また、6月に環境基本計画に掲げる事業主管課に対して、令和3年度の事業計画の作成を依頼し、環境管理委員会において事業計画の確認を行った。10月には、事業計画の中間実績の報告を事業主管課に依頼した。</p>																										
<p>4 つくば市役所環境負荷低減事業 課長級、出先機関の長級、新規採用職員を対象とし、環境法令及び地球温暖化対策に関する研修を行う。また、グリーン購入を推進することで間接的な環境影響を小さくする。</p> <p><b>【成果】</b> ①7月に各課長及び出先機関の長を対象に、10月に新規採用職員を対象とし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮して動画配信形式による環境法令及び地球温暖化対策に関する研修を実施した。 ②市役所における物品等のグリーン購入を推進し、全体で99.9%の調達割合となった。</p> <p>グリーン購入品購入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適合率</td> <td>%</td> <td>99.9</td> <td>99.9</td> <td>99.9</td> <td>97.1</td> <td>99.8</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	適合率	%	99.9	99.9	99.9	97.1	99.8
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
適合率	%	99.9	99.9	99.9	97.1	99.8																				



事業名：環境教育に要する経費

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	12	本年	2,292		△ 400		1,892		1,578	83.4
				前年	2,791		△ 461		2,330		1,382	59.3
				比較	△ 499		61		△ 438		196	-
【参考】前々年度					2,658				2,658		2,240	84.3

節別支出済額(単位:千円)

旅費	11	需用費	737	役務費	17	委託料	330
使用料及び賃借料	327	負担金補助及び交付金	156				

概要及び成果

1 筑波山自然環境教育事業

筑波山の植物や水環境、山ろく部の自然環境及び市の中心部に残る森林等について知る機会や豊かな自然を保全する意義を考える機会を提供するため、自然環境に関する観察会等を開催する。

【成果】

- ・第1回 実施日:4/18、参加者:20名、テーマ:宝篋山南麓里山ウォーク
- ・第2回 実施日:7/24、参加者:25名、テーマ:里山の生きもの調査
- ・第3回 実施日:10/24、参加者:17名、テーマ:谷津田の生きもの調査
- ・第4回 実施日:11/20、参加者:20名、テーマ:筑波山と果物の秘密を巡る

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施回数	回	4	2	4	4	4
参加者数	人	82	41	114	107	129

2 つくば市環境マイスター活用事業

筑波大学と連携して育成したマイスターを環境に関する指導者の人材として活用するものである。市の環境事業に関わることにより、マイスター認定者の活動の場を広げ、環境活動のリーダー的役割を担う人材育成を図る。

【成果】

- ・筑波山自然環境教育事業(里山ウォーク)の実施
- ・湧水マップ改定作業の実施
- ・生物多様性戦略策定調査部会の発足

3 エコクッキング事業

「作りすぎない、捨てない、流さない」をキーワードに東京ガスネットワーク㈱と連携し、自らできる環境に配慮した生活習慣の認識を深める。

【成果】

- ・小学生を対象については、実習よりも講義に注力し、リモート形式でも実施できるようにした。
- ・サポーターズ会員対象については、親子を対象として家庭で実践できる環境に配慮したメニューで実施した。

小学生対象

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施校数	校	9	6	9	8	11
体験者数	人	744	525	398	446	625

サポーターズ会員対象

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施回数	回	1	1	2	2	2
体験者数	人	12	12	38	48	48

4 夏の省エネドリル事業

小学4年生を「うちの省エネリーダー」として、家族と一緒に省エネに取り組む機会をつくるため、「省エネドリル」を実施し、環境意識の向上を図る。

【成果】

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加(提出)者数	人	1,043	1,434	1,748	1,699	1,646

事業名：地球温暖化対策に要する経費

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
04	01	07	13	本年	4,159	11	△ 944		3,226	11	3,001	93.4	
				前年	117,568	11	△ 2,832		114,747	11	114,700	100.0	
				比較	△ 113,409		1,888		△ 111,521		△ 111,699	-	
【参考】前々年度				97,930	7,524	△ 59,413		46,041	11	44,980	97.7		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				50	旅費		7	需用費		11	役務費		1
委託料				2,930	使用料及び賃借料		1						

概要及び成果

1 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）推進事業

職員研修の実施や、「環境配慮手順書」に基づいた温室効果ガス排出削減の取組を行い、「プログラム確認表」で半期ごとに進捗管理を行う。

また、公共施設の省エネ化を図るため、既存施設の省エネ診断及び設備改修を行う。

【成果】

令和元年～2年度にかけて実施した大穂庁舎、谷田部交流センターの照明・空調の省エネ改修に関して、データ計測を行い、その結果を用いて運用改善を行った。その結果、改修後想定削減量の150.5t-CO2/年を上回る182t-CO2/年の削減を達成し、光熱水費を約1,100万円/年削減することができた。また、つくばメモリアルホール等3か所の省エネ診断を実施した。なお、低圧受電施設の電力需給契約について環境配慮契約制度により入札を実施したが、社会情勢等の影響で入札不調となり、導入は延期することとした。

つくば市役所の温室効果ガス排出量

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
温室効果ガス排出量	t-CO2	48,768	54,089	56,252	59,165	-

※平成30年度に計画改定（基準年度は平成25年度：51,555t-CO2）

2 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）推進事業

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき、市域から排出される温室効果ガス削減の取組を実施し、市域の温室効果ガス排出量を推計する。つくば3Eフォーラムや企業、大学・研究機関、他自治体、県などと連携して、組織を超えた関係者による事業の検討、研究、企画等を進め、市域における地球温暖化対策を誘導する。また、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗管理を行う。

【成果】

①つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）掲載の各事業について、外部委員による懇話会で進捗状況を確認した。

②温室効果ガス排出抑制策として、宅配ボックス設置補助金導入について、市域事業者等にヒアリングを行い、制度導入を図った。

③運輸部門における対策として市役所駐車場を活用したカーシェアリング事業について、プロポーザル方式で実施事業者を選定した。

④平成30年度（推計最新年度）の市域における温室効果ガス排出量推計値は1,897千t-CO2であった。

事業名：動物愛護に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
04	01	07	14	本年	5,546				5,546		4,995	90.1																												
				前年	5,611		471		6,082		5,491	90.3																												
				比較	△ 65		△ 471		△ 536		△ 496	-																												
【参考】前々年度					5,651				5,651		5,356	94.8																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
需用費				736	役務費		1,281	委託料		825	負担金補助及び交付金		2,153																											
概要及び成果																																								
<p>1 動物愛護関連事業</p> <p>茨城県獣医師会の協力を得て、市内47カ所にて狂犬病予防注射を実施。 適正な飼育をサポートするため、犬猫の避妊去勢手術を行う市民に対し補助金を交付。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全域において、狂犬病予防集合注射を実施し、予防接種率の向上が図られた。</li> <li>・犬及び猫の無秩序な繁殖を抑制し、周囲に対する危害及び迷惑防止を図ることができた。</li> <li>・犬・猫の殺処分ゼロ施策を推進するため、県内先進地の現地視察や獣医師会との協議を実施した。</li> </ul>																																								
<p>狂犬病予防注射業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飼い犬登録頭数</td> <td>頭</td> <td>15,760</td> <td>15,337</td> <td>14,850</td> <td>14,942</td> <td>11,695</td> </tr> <tr> <td>注射済票交付頭数</td> <td>頭</td> <td>9,505</td> <td>9,045</td> <td>9,603</td> <td>9,034</td> <td>9,868</td> </tr> <tr> <td>集合注射実績頭数</td> <td>頭</td> <td>1,397</td> <td>668</td> <td>1,713</td> <td>1,793</td> <td>1,829</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	飼い犬登録頭数	頭	15,760	15,337	14,850	14,942	11,695	注射済票交付頭数	頭	9,505	9,045	9,603	9,034	9,868	集合注射実績頭数	頭	1,397	668	1,713	1,793	1,829
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
飼い犬登録頭数	頭	15,760	15,337	14,850	14,942	11,695																																		
注射済票交付頭数	頭	9,505	9,045	9,603	9,034	9,868																																		
集合注射実績頭数	頭	1,397	668	1,713	1,793	1,829																																		
<p>補助金交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避妊手術件数</td> <td>頭</td> <td>326</td> <td>320</td> <td>328</td> <td>318</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>去勢手術件数</td> <td>頭</td> <td>283</td> <td>271</td> <td>272</td> <td>246</td> <td>231</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	避妊手術件数	頭	326	320	328	318	315	去勢手術件数	頭	283	271	272	246	231							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
避妊手術件数	頭	326	320	328	318	315																																		
去勢手術件数	頭	283	271	272	246	231																																		

事業名：自然環境・有害鳥獣対策に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
04	01	07	15	本年	574		1,195	165	1,934		1,799	93.0																					
				前年	9,679				9,679		7,458	77.1																					
				比較	△ 9,105		1,195	165	△ 7,745		△ 5,659	-																					
【参考】前々年度					9,379				9,379		6,692	71.3																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費					190	役務費		7	委託料		1,247	使用料及び賃借料		275																			
負担金補助及び交付金					80																												
概要及び成果																																	
<p>1 墓地等経営許可事業 墓地等の新規・拡張・廃止の許可を行う。 墓地経営者・管理者変更届等の受理を行う。</p> <p>【成果】 墓地等の経営者、管理者、所在地、面積等の変更・訂正をすることで、墓地台帳を適正に管理することができた。</p> <p>墓地等の許可及び変更届等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可件数</td> <td>件</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>変更届件数</td> <td>件</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	許可件数	件	2	2	1	1	1	変更届件数	件	17	17	14	17	21
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
許可件数	件	2	2	1	1	1																											
変更届件数	件	17	17	14	17	21																											
<p>2 鳥獣保護及び有害鳥獣被害防止対策事業 鳥獣保護区及び特定猟具使用禁止区域（銃猟）の指定に係る連絡調整及び申請を行う。 野生鳥獣の保護及び特定外来生物の防除を実施する。</p> <p>【成果】 茨城県との調整を適切に行い、特定猟具使用禁止区域（銃猟）の再指定申請を行うことができた。 箱わなを10基増やし、市民からの相談に遅滞なく対応することで、200頭を超えるアライグマを捕獲することができた。</p> <p>特定外来生物の防除</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アライグマの捕獲頭数</td> <td>頭</td> <td>206</td> <td>243</td> <td>79</td> <td>68</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	アライグマの捕獲頭数	頭	206	243	79	68	42							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
アライグマの捕獲頭数	頭	206	243	79	68	42																											

事業名：合併浄化槽設置に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
04	01	07	16	本年	57,585		4,470		62,055		52,727	85.0																												
				前年	62,628				62,628		42,414	67.7																												
				比較	△ 5,043		4,470		△ 573		10,313	-																												
【参考】前々年度					62,689				62,689		50,748	81.0																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
需用費		73	負担金補助及び交付金	51,443	償還金利子及び割引料	1,211																																		
概要及び成果																																								
<p>1 高度処理型合併浄化槽補助事業 高度処理型合併浄化槽の設置費の補助を実施する。</p> <p>【成果】 補助事業により、高度処理型合併浄化槽の普及を進めることができ、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止が図られた。</p> <p>高度処理型合併処理浄化槽設置補助基数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置補助基数</td> <td>基</td> <td>98</td> <td>78</td> <td>82</td> <td>86</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> <p>単独浄化槽撤去補助基数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去補助基数</td> <td>基</td> <td>21</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	設置補助基数	基	98	78	82	86	80		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	撤去補助基数	基	21	9	14	21	20
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
設置補助基数	基	98	78	82	86	80																																		
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
撤去補助基数	基	21	9	14	21	20																																		

事業名：水質保全に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	17	本年	2,860				2,860		2,431	85.0
				前年	2,660		△ 23		2,637		2,384	90.4
				比較	200		23		223		47	-
【参考】前々年度					2,471				2,471		2,314	93.7
節別支出済額(単位:千円)												
報償費		455	需用費	132	役務費	71	使用料及び賃借料	44				
負担金補助及び交付金		1,729										
概要及び成果												
<p>1 水質保全事業 つくば市水質監視員による月2回以上の河川等の巡視活動を行う。</p> <p>【成果】 水質監視員による河川巡回報告(455回)により、河川状況を監視し、ごみの発見等の異常があった際に適切な対応を行うことにより、河川の水質保全に努めた。 また、つくば市水質浄化対策推進協議会と連携し、11月に谷田川にてごみ拾いを行うことで、河川環境の向上に努めた。</p>												

事業名：水質浄化施設の維持管理に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
04	01	07	18	本年	9,627			△ 165	9,462		8,016	84.7		
				前年	7,895				7,895		7,210	91.3		
				比較	1,732			△ 165	1,567		806	-		
【参考】前々年度					8,056				8,056		7,700	95.6		
節別支出済額(単位:千円)														
需用費					2,140	役務費		9	委託料		2,679	使用料及び賃借料		933
工事請負費					2,255									
概要及び成果														
1 生活排水路浄化施設の維持管理事業 1 生活排水路浄化施設の維持管理 (1)佐地区及び上菅間地区に設置した生活排水路浄化施設の運転管理及び水質検査 (2)生活排水路浄化施設場内管理 年間【2回×3箇所(佐・上菅間・仕出) 施設場内の草刈】 <b>【成果】</b> 生活排水の水質汚濁物質を除去し、河川の汚濁防止に努めた。 施設の維持管理を通して、地域の水質浄化意識を高めた。 仕出地区の生活排水浄化施設については、全戸で合併浄化槽に転換が完了したことから、施設を解体し、土地を地権者に返還した。														

事業名：簡易水道事務に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	19	本年	7,630				7,630		5,967	78.2
				前年	8,820				8,820		5,875	66.6
				比較	△ 1,190				△ 1,190		92	-
【参考】前々年度					8,703				8,703		6,769	77.8
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					11	負担金補助及び交付金		5,956				
概要及び成果												
1 簡易水道・小規模水道事業 各給水組合が円滑に運営できるよう、指導・助成及び補助等の支援を行う。 <b>【成果】</b> 各給水組合に維持管理に関する補助金を交付することにより、円滑な水道事業の運営を図ることができた。水質検査結果から、基準値を超過した各組合に対し、管理指導を実施し改善に努めた。今後も、施設の維持管理や水質管理の知識の向上を目指し、指導を継続していく。												
各地区水道組合への補助金交付												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
水質検査補助		組合	115	116	116	115	117					
給水組合老朽化対策補助		組合	7	11	13	4	10					
消毒液購入補助		組合	90	87	91	94	91					
水中ポンプ取替え補助		組合	2	1	4	4	1					
給水井戸掘削補助		組合	0	0	0	0	0					

事業名：除草事業に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																	
04	01	07	20	本年	1,507				1,507		1,309	86.9																																																	
				前年	1,645				1,645		1,446	87.9																																																	
				比較	△ 138				△ 138		△ 137	-																																																	
【参考】前々年度				1,578				1,578		1,451	92.0																																																		
節別支出済額(単位:千円)																																																													
需用費				123	委託料		844		使用料及び賃借料		343																																																		
概要及び成果																																																													
<p>1 空き地等の適正管理啓発・指導事業                      雑草の繁茂した空き地の適正管理について指導、助言を行う。                      所有者等が自ら所有する土地について適正な管理ができない場合、所有者の申し出により業者をあっせんし、雑草除去を行う。</p> <p>【成果】                      令和元年度から実施している市内パトロールを令和3年度も引き続き実施し、空き地の発見に努めた結果、除草業者へのあっせん筆数が増加した。</p> <p>空き地の適正管理通知件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通知件数</td> <td>件</td> <td>2,265</td> <td>2,174</td> <td>2,219</td> <td>2,036</td> <td>1,911</td> </tr> </tbody> </table> <p>除草業者へのあっせん実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>376,231</td> <td>292,510</td> <td>352,224</td> <td>319,141</td> <td>313,872</td> </tr> <tr> <td>工事筆数</td> <td>筆</td> <td>1,727</td> <td>1,590</td> <td>1,541</td> <td>946</td> <td>943</td> </tr> </tbody> </table> <p>苦情対応件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対応件数</td> <td>件</td> <td>687</td> <td>771</td> <td>848</td> <td>520</td> <td>697</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	通知件数	件	2,265	2,174	2,219	2,036	1,911		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	実施面積	m <sup>2</sup>	376,231	292,510	352,224	319,141	313,872	工事筆数	筆	1,727	1,590	1,541	946	943		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	対応件数	件	687	771	848	520	697
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																							
通知件数	件	2,265	2,174	2,219	2,036	1,911																																																							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																							
実施面積	m <sup>2</sup>	376,231	292,510	352,224	319,141	313,872																																																							
工事筆数	筆	1,727	1,590	1,541	946	943																																																							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																							
対応件数	件	687	771	848	520	697																																																							

事業名：環境美化推進に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
04	01	07	21	本年	2,052				2,052		1,769	86.2																												
				前年	3,509		△ 174		3,335		2,805	84.1																												
				比較	△ 1,457		174		△ 1,283		△ 1,036	-																												
【参考】前々年度					8,502				8,502		7,456	87.7																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
需用費				714	役務費		55	負担金補助及び交付金		1,000																														
概要及び成果																																								
<p>1 環境美化推進事業</p> <p>環境美化活動（ごみ拾い等）を行う個人・団体に対し、清掃用具（ごみ袋・軍手・火ばさみ）の支給、傷害保険の加入等の支援を行うことで、自発的な環境美化活動を推進する。</p> <p>市と事業者が計画する環境美化活動へ市民が参加することで、環境美化意識の啓発を図る。</p> <p>以上のような市・市民・事業者の連携した環境美化活動により、快適な市民生活の確保を目指す。</p> <p>【成果】</p> <p>きれいなまちづくり実行委員会の開催…毎月1回企画会議を開催。本年度は新型コロナウイルス感染予防のため、一般参加等の募集は行わず、委員会の会員団体によるごみ拾い活動等を年5回開催。</p> <p>環境美化ボランティア募集のチラシを新たに作成し、地区回覧、工業団地への周知、ホームページにより、ボランティア人数の増加を図った。</p> <p>環境美化ボランティア活動参加延べ人数…9,848人</p> <p>ボランティア支援（物品配布数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごみ袋</td> <td>枚</td> <td>10,058</td> <td>6,004</td> <td>10,476</td> <td>10,389</td> <td>11,495</td> </tr> <tr> <td>軍手</td> <td>双</td> <td>1,049</td> <td>590</td> <td>2,068</td> <td>1,549</td> <td>2,155</td> </tr> <tr> <td>火ばさみ</td> <td>本</td> <td>439</td> <td>373</td> <td>181</td> <td>287</td> <td>580</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	ごみ袋	枚	10,058	6,004	10,476	10,389	11,495	軍手	双	1,049	590	2,068	1,549	2,155	火ばさみ	本	439	373	181	287	580
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
ごみ袋	枚	10,058	6,004	10,476	10,389	11,495																																		
軍手	双	1,049	590	2,068	1,549	2,155																																		
火ばさみ	本	439	373	181	287	580																																		

事業名：水道事業に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
04	01	07	22	本年	461,325	33,700	△ 28,000		467,025	27,900	434,324	99.0																					
				前年	399,225		△ 8,000		391,225	33,700	355,224	99.4																					
				比較	62,100	33,700	△ 20,000		75,800	△ 5,800	79,100	-																					
【参考】前々年度					403,869				403,869		403,868	100.0																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
負担金補助及び交付金				996	投資及び出資金		433,328																										
概要及び成果																																	
<p>1 上水道整備補助事業</p> <p>旧筑南水道企業団が施行した水道整備事業で、当時借り入れた企業債借入れ分相当額を一般会計から補助する。</p> <p>【成果】</p> <p>上水道事業の健全な財政運営に寄与できた。</p> <p>統合前水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に関する出資金…6,227,598円、補助金…996,476円</p> <p>水道未整備地域の新規整備事業及び北部地域の低水圧対策事業に係る幹線整備及び面整備に要する経費出資金…427,100,000円</p> <p>上水道整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金</td> <td>千円</td> <td>996</td> <td>1,188</td> <td>1,374</td> <td>1,554</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>出資金</td> <td>千円</td> <td>433,328</td> <td>354,036</td> <td>402,494</td> <td>197,591</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	補助金	千円	996	1,188	1,374	1,554	-	出資金	千円	433,328	354,036	402,494	197,591	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
補助金	千円	996	1,188	1,374	1,554	-																											
出資金	千円	433,328	354,036	402,494	197,591	-																											



事業名：低炭素な街づくりの推進に要する経費

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	23	本年	48,189		△ 150		48,039		42,879	89.3
				前年	53,355		△ 706		52,649		44,252	84.1
				比較	△ 5,166		556		△ 4,610		△ 1,373	-
【参考】前々年度				42,072				42,072		37,429	89.0	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	10	需用費	2,495	役務費	88	委託料	2,371
使用料及び賃借料	258	工事請負費	5,617	負担金補助及び交付金	32,040		

概要及び成果

- 1 クリーンエネルギー機器設置及びクリーンエネルギー自動車購入補助事業  
 クリーンエネルギー機器設置者及びクリーンエネルギー自動車購入者を対象に、補助金を交付する。

【成果】

クリーンエネルギー機器設置補助

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
太陽光発電システム	件	-	-	-	65	63
太陽光発電システム出力合計	kW	916.4	980.5	538.3	546.7	546.2
温室効果ガス排出削減量	t-CO2	420.1	449.5	264.8	250.7	250.4
蓄電池	件	152	174	113	95	83
燃料電池(エネファーム)	件	36	56	95	97	98
太陽熱温水器・給湯器	件	-	-	0	9	9
パッケージ(太陽光+蓄電池+燃料電池+HEMS)	件	-	-	-	52	53

クリーンエネルギー自動車購入補助

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
電気自動車(EV)	件	17	14	16	26	40
燃料電池自動車(FCV)	件	1	1	0	0	1
ビークルトゥホーム(V2H)	件	5	-	-	-	-

- 2 新エネルギー等普及促進事業

地球温暖化対策のためには、温室効果ガスの排出が少なく、環境への負担が少ない新エネルギーの導入が必要不可欠であるため、茨城県内の次世代エネルギーパークに登録された企業等の見学会を開催することにより、企業等の最先端のエネルギーの取組を市民に体験していただき、環境意識の啓発を図る。

【成果】

- ・見学先：積水エコファーストパーク（古河市）、キャノンエコテクノパーク（坂東市）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施回数	回	1	-	2	2	2
参加人数	人	10	-	76	70	84

- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため事業中止

- 3 EV等普及促進事業

市域における電気自動車（EV）の利便性の向上を図るため、市内3箇所（つくば市役所、筑波交流センター、荖崎交流センター）に設置している急速充電器の適切な管理を行う。

【成果】

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
急速充電器延べ利用人数	人	5,693	6,267	7,636	5,783	4,878

- 4 つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく認定・補助事業  
 環境配慮型住宅の整備やHEMSを通じたエネルギーの可視化などを行う低炭素モデル街区を形成し、成果を発信することで、低炭素まちづくりの面的な普及促進を図る。  
 つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく認定事業を行い、補助要項に沿って補助金を交付することにより低炭素住宅の普及を図るとともに市域の温室効果ガスの排出削減を図る。

**【成果】**

つくば市低炭素ガイドラインに基づく認定（補助）件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
戸建住宅	件	111	83	40	27	0
集合住宅	件	0	0	0	0	1

つくばSMILe街区認定件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
認定街区	件	0	0	0	1	1

- 5 つくば環境スタイルサポーターズ事業

環境配慮に関する意識を高めていくため、つくば環境スタイルサポーターズ会員を中心に、ニュースレターやSNS等で市の環境関連情報の提供や環境に関するイベントを実施する。（提供する事業：筑波山自然環境教育事業、グリーンカーテンコンテスト、小野川・桜川探検隊、エコ・クッキングなど）

**【成果】**

- ・サポーターズニュース発行による環境関連情報の提供（7回）
- ・筑波山自然環境教育事業（4回）
- ・エコ・クッキング（小学校、サポーターズ会員限定）
- ・グリーンカーテンコンテスト

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
個人会員	人	9,917	9,650	9,553	9,282	8,961
事業所会員	事業所	315	316	317	305	294

- 6 グリーンカーテン推進事業

気軽に取り組むことができ、室内温度の上昇を抑えることができるグリーンカーテンの普及啓発を行うことにより、省エネ等の効果を認識し、地球温暖化防止に関する身近な取組の推進を図る。

**【成果】**

- ・サポーターズ会員の希望者へゴーヤ苗の配布（5月）
- ・グリーンカーテンコンテストの開催（10月）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
個人	箇所	185	58	418	400	400
事業所	箇所	63	8	80	84	77

- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、希望者に「あさがおの種」を配布（郵送）する事業とした。

事業名：公害対策に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	08	11	本年	18,000	2,856			20,856		19,421	93.1
				前年	11,829		2,716		14,545	2,856	9,983	88.3
				比較	6,171	2,856	△ 2,716		6,311	△ 2,856	9,438	-
【参考】前々年度					15,892		△ 948	1,452	16,396		14,927	91.0

節別支出済額(単位:千円)

需用費	280	役務費	13	委託料	17,228	使用料及び賃借料	1,847
備品購入費	53						

概要及び成果

1 公害対策推進事業

公害法令に基づく届出受理・審査事務、立入検査・指導等を行う。

法定受託事務である常時監視、本市の政策及び施策に資する一般環境調査（地下水調査等）

公害紛争処理法に基づく苦情処理（相談、調査、指導、助言）を行う。※ただし、廃棄物関係を除く。

公害防止に係る「公害防止協定」、「公害防止確認書」、「実験安全委員会」等の運用、調整を行う。

【成果】

公害法令の施行及び公害防止組織の形成・推進事業を適切に実施した。

みどりの地区の臭気原因調査を行い、発生源の特定を行った。

環境調査結果等を市民に公表することにより、市内環境の現況を周知し、環境問題・環境汚染に対する啓発、意識高揚を図ることができた。

所管法令に基づく届出等処理件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
水質	件	253	248	274	372	278
土壌	件	166	168	174	165	156
騒音・振動	件	127	144	126	119	124
大気・悪臭等	件	6	1	12	12	6

所管法令に基づく立入検査件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
書類検査	件	7	0	22	34	46
水質検査・臭気検査	件	12	11	16	12	11

水質事故、公害苦情等の対応件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
公害苦情	件	181	204	119	86	72
公害苦情解決率	%	81.8	78.4	78.2	97.7	95.6
水質事故・地下水汚染	件	7	6	3	1	1

事業名：放射線対策に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
04	01	08	12	本年	2,855				2,855		2,388	83.6	
				前年	3,281				3,281		2,521	76.8	
				比較	△ 426				△ 426		△ 133	-	
【参考】前々年度					3,272			150	3,422		3,215	94.0	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				384	役務費		11	委託料		1,986	負担金補助及び交付金		8
概要及び成果													
<p>1 放射線対策事業 主に除染事業、空間放射線量率・食品放射能の測定事業等を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>1 空間放射線量率調査（外部被ばく対策） ○公共施設の空間放射線量率調査（定点測定）の実施                      (1)除染実施区域内（小中学校2、保育所2）：2ヶ月に1回測定                      測定の結果、市内の空間放射線量率は最大でも0.09μSv/hであり、国の除染の目安値0.23μSv/hを下回ることを確認した。                      (2)除染実施区域内（公園・スポーツ施設4）：2ヶ月に1回測定                      測定の結果、市内の空間放射線量率は最大でも0.12μSv/hであり、国の除染の目安値0.23μSv/hを下回ることを確認した。                      (3)除染実施区域外（31小学校等）：6ヶ月に1回測定                      測定の結果、市内の空間放射線量率は最大でも0.11μSv/hであり、国の除染の目安値0.23μSv/hを下回ることを確認した。</p> <p>2 放射性物質測定（内部被ばく対策）                      (1)食品測定（毎日）学校給食等の測定（主：健康教育課、従：環境保全課）：すべて基準値未満                      ※基準値100Bq/kg                      (2)市内で栽培された農作物等、地下水の測定                      （主：農業政策課、鳥獣対策・森林保全室、環境保全課）：基準値超過なし                      農作物・土壌：9検体（申請数6）〔うち土壌2検体。土壌には基準なし。〕                      自生作物：5件（申請数5）                      地下水：0検体（申請数0）</p> <p>3 水・土壌の放射性物質濃度測定                      (1)地下水の調査 2月21日採取（採取地：市内7施設）：不検出                      (2)河川の調査 2月7日採取（採取地：市内9地点）：（水質）不検出                      （底質）不検出～210Bq/kg                      (3)土壌放射性物質濃度測定 3月3日採取（採取地：市内6施設）：202～670.2Bq/kg</p> <p>4 除去土壌埋設場所（仮保管場所）のモニタリング実施                      (1)実施方法                      小中学校及び幼稚園保育所で仮保管している、除染に伴い発生した除去土壌の埋設地点について、空間放射線量率を測定した。                      (2)測定期間、地点 11月10～19日 小学校31地点、中学校8地点、幼稚園8地点、保育所14地点                      (3)結果 すべての地点において0.23μSv/hを下回る放射線量であった。</p>													

事業名：メモリアルホールに要する経費

生活環境部 つくばメモリアルホール

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
04	01	09	11	本年	167,813		△ 23,889		143,924	808	137,107	95.8	
				前年	187,022		△ 60,997		126,025		106,917	84.8	
				比較	△ 19,209		37,108		17,899	808	30,190	-	
【参考】前々年度					204,396			△ 1,602	202,794		165,329	81.5	
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				12	需用費		36,789	役務費		1,168	委託料		74,508
使用料及び賃借料				2,194	工事請負費		16,730	備品購入費		5,706			
概要及び成果													
1 メモリアルホール運営 斎場（葬祭式場、火葬場、待合及び法要施設）の貸館業務等の運営及び施設・設備の維持管理を行う。													
【成果】													
・令和3年度から令和5年度まで3カ年計画で各棟の渡り廊下塗装工事を実施。													
法要棟：令和3年度実施済、火葬棟・待合棟：令和4年度実施予定、式場棟：令和5年度実施予定													
施設利用件数													
		単位		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
火葬		件		1,850	1,754	1,717	1,703	1,687					
待合室利用		件		1,613	1,380	1,413	1,445	1,416					
通夜利用		件		55	55	160	184	201					
仮眠利用		件		21	24	84	103	118					
式場利用		件		929	883	940	955	939					
霊安利用		件		142	123	177	157	163					
法要利用		件		36	25	42	56	37					

事業名：清掃に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	01	11	本年	588			622	1,210		1,207	99.8
				前年	1,091				1,091		1,062	97.3
				比較	△ 503			622	119		145	-
【参考】前々年度					589				589		575	97.6
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				5	委託料		1,202					
概要及び成果												
1 廃棄物の処理の適正化に関する事業 茨城県清掃協議会主催の研修会や視察に参加し、職員の廃棄物処理に関する知識の向上を図る。 旧町村最終処分場跡地に汚染がないか水質検査を実施する。												
【成果】												
・コロナ禍の影響により、茨城県清掃協議会の研修会及び視察は実施されなかった。												
・旧町村最終処分場跡地4か所の地下水水質検査（28項目）、葛城最終処分場跡地のダイオキシン類の測定を実施し、いずれも基準値以下であり、汚染がないことを確認した。												

事業名：管路輸送施設の管理に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
04	02	02	11	本年	5,030			△ 117	4,913		4,881	99.3	
				前年	4,426				4,426		4,267	96.4	
				比較	604			△ 117	487		614	-	
【参考】前々年度					5,244				5,244		4,832	92.2	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				122	役務費		93	委託料		2,461	負担金補助及び交付金		2,205
概要及び成果													
<p>1 管路輸送施設の管理事業 平成20年度末で事業廃止となった管路輸送施設を適正に管理する。</p> <p>【成果】 管路輸送施設について、場内警備、植栽管理、清掃、消防設備点検（総合点検1回、機器点検2回）、付帯設備の点検（4回）及び清掃（3回）を行い、安全性の確保や周辺環境の維持管理を行った。</p>													

事業名：塵芥処理に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	12	本年	696,276			566	696,842		696,317	99.9
				前年	683,847		1,411	479	685,737		684,945	99.9
				比較	12,429		△ 1,411	87	11,105		11,372	-
【参考】前々年度				676,352				676,352		674,228	99.7	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,076	役務費	114	委託料	690,218	使用料及び賃借料	3,511
備品購入費	199	負担金補助及び交付金	1,200				

概要及び成果

1 家庭ごみ収集事業

一般家庭及び公共施設から分別排出される一般廃棄物（ごみ）を収集し、クリーンセンターへ運搬する。

区会・住民団体等が設置するごみ集積所について、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。

補助金額については設置費用の1/2とする。（補助限度額50,000円）

【成果】

- ・市民の生活環境を良好に保つことができた。
- ・ごみ飛散のない集積所（ダストボックス等）の設置を進め、公衆衛生の向上を図ることができた。

一般廃棄物収集運搬量

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
可燃ごみ	トン	46,111	46,868	46,990	47,309	46,108
不燃ごみ	トン	1,945	2,200	1,930	2,008	1,979
粗大ごみ	トン	391	396	316	303	291
資源ごみ	トン	6,963	6,369	5,527	4,945	4,830
計	トン	55,410	55,833	54,763	54,565	53,208

有害ごみ収集運搬量

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
蛍光管・乾電池	トン	52	54	48	46	44

粗大ごみ予約受付件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
電話受付	件	7,715	8,190	8,263	7,948	7,693
インターネット受付	件	6,798	6,117	3,746	3,066	2,845
計	件	14,513	14,307	12,009	11,014	10,538

ごみ集積所設置補助金交付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助金交付件数	件	25	26	24	35	29
補助金交付金額	千円	1,200	1,997	1,232	1,998	1,884

2 犬等死骸処理事業

道路等公共用地で発見された動物の死骸を回収し、処理する。

【成果】

迅速に回収処理することにより、公衆衛生を良好な状態に保つことができた。

回収処分数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
犬	体	11	15	14	16	17
猫	体	458	413	462	535	497
その他	体	792	644	559	562	499
計	体	1,261	1,072	1,035	1,113	1,013

事業名：サステナスクエア包括的運営管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
04	02	02	13	本年	1,006,704				1,006,704		1,002,543	99.6																																			
				前年	947,487				947,487		945,105	99.7																																			
				比較	59,217				59,217		57,438	-																																			
【参考】前々年度																																															
節別支出済額(単位:千円)																																															
委託料					1,002,543																																										
概要及び成果																																															
<p>1 可燃ごみ処理施設の発電・売電事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却炉の余熱で発電した電力を可燃ごみ処理施設場内で使用し、余剰電力を電力会社に売電する。</li> <li>・平成21年度から長期包括的運営管理委託業務を実施し、余剰電力の売電額の3分の1を分配金として委託業者へ支払う。</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>可燃ごみ処理施設の安定的な運転及び発電を実施することができた。</p> <p>可燃ごみ処理施設の売電量及び売電金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売電量</td> <td>千kwh</td> <td>16,949</td> <td>16,513</td> <td>16,198</td> <td>11,179</td> <td>13,604</td> </tr> <tr> <td>売電金額</td> <td>千円</td> <td>147,518</td> <td>150,766</td> <td>146,587</td> <td>98,997</td> <td>120,481</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	売電量	千kwh	16,949	16,513	16,198	11,179	13,604	売電金額	千円	147,518	150,766	146,587	98,997	120,481														
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
売電量	千kwh	16,949	16,513	16,198	11,179	13,604																																									
売電金額	千円	147,518	150,766	146,587	98,997	120,481																																									
<p>2 サステナスクエア包括的運営管理事業</p> <p>可燃ごみ処理施設（375t/日）の包括的運営管理                      リサイクルセンター（令和3年度稼働予定の資源化施設を含む。）の包括的運営管理                      （かん類4t/5h、びん類9t/5h、ペットボトル4t/5h等）                      し尿処理施設の運転管理</p> <p>【成果】</p> <p>サステナスクエアの適切な運営により、市民の公衆衛生に対して重要な役割を果たした。</p> <p>ごみ処理量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃ごみ</td> <td>t</td> <td>69,885</td> <td>70,385</td> <td>72,305</td> <td>72,029</td> <td>71,312</td> </tr> <tr> <td>粗大・不燃ごみ</td> <td>t</td> <td>4,854</td> <td>5,108</td> <td>5,029</td> <td>4,806</td> <td>4,660</td> </tr> <tr> <td>資源ごみ</td> <td>t</td> <td>7,140</td> <td>6,670</td> <td>5,898</td> <td>5,048</td> <td>5,031</td> </tr> <tr> <td>有害ごみ</td> <td>t</td> <td>52</td> <td>54</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	可燃ごみ	t	69,885	70,385	72,305	72,029	71,312	粗大・不燃ごみ	t	4,854	5,108	5,029	4,806	4,660	資源ごみ	t	7,140	6,670	5,898	5,048	5,031	有害ごみ	t	52	54	48	48	44
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
可燃ごみ	t	69,885	70,385	72,305	72,029	71,312																																									
粗大・不燃ごみ	t	4,854	5,108	5,029	4,806	4,660																																									
資源ごみ	t	7,140	6,670	5,898	5,048	5,031																																									
有害ごみ	t	52	54	48	48	44																																									



事業名：可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	14	本年	346,323		15,750		362,073		331,871	91.7
				前年	372,409		△ 115		372,294		326,930	87.8
				比較	△ 26,086		15,865		△ 10,221		4,941	-
【参考】前々年度				1,037,543	4,500	16,912		1,058,955		1,037,734	98.0	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	48	需用費	1,087	役務費	1,174	委託料	321,670
使用料及び賃借料	101	備品購入費	77	負担金補助及び交付金	6,587	公課費	1,128

概要及び成果

1 可燃ごみ焼却処理施設維持管理事業

市内から排出された可燃ごみをサステナスクエアに搬入し、可燃ごみ処理施設にて処理するとともに、サステナスクエアから発生する残渣の適切な処分を図る。

【成果】

可燃ごみの処分を適切に行うとともに、サステナスクエアから排出される残渣について、適切な埋立処分及び資源化処理を行うことにより、市民の公衆衛生に対して重要な役割を果たした。

最終処分量及び委託料

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
最終処分量	t	10,299	11,196	12,435	10,924	11,089
最終処分業務委託料	千円	310,516	317,311	335,079	288,406	292,675

※不燃残渣を含む。

事業名：粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	15	本年	67,093		4,911		72,004		66,893	92.9
				前年	60,887	15,778	△ 224		76,441		70,278	91.9
				比較	6,206	△ 15,778	5,135		△ 4,437		△ 3,385	-
【参考】前々年度				327,692				327,692	15,778	288,827	93.0	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		18,040	役務費		914	委託料		31,975	使用料及び賃借料		12,572	
備品購入費		3,341	公課費		50							
概要及び成果												
<p>1 粗大・不燃ごみ処理施設維持管理事業 市内から排出された粗大、不燃、資源及び有害ごみをサステナスクエアに搬入し、リサイクルセンターにて処理後、有価物を適正に資源化する。 ※粗大ごみ13t/5h、不燃ごみ13t/5h、かん類4t/5h、びん類9t/5h、ペットボトル4t/5h、有害ごみ1t/5h、プラスチック製容器包装16t/5h</p> <p>【成果】 有害ごみ等の処理を適正に行い、市民の公衆衛生の向上に対して重要な役割を果たした。</p>												
<p>2 施設から発生した有価物の売却・リサイクル事業 有価物の売却とリサイクル ビン（白、茶、その他）、ペットボトル→（財）日本容器包装リサイクル協会等へ再商品化を委託 アルミ、鉄類、紙類、古布等→業者に売却</p> <p>【成果】 循環型社会を実現するため適正な分別を行い、再資源化を推進した。</p>												
有価物売却量												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
有価物売却量		t	5,908	5,173	4,199	3,822	3,482					
有価物売却金額		千円	143,599	62,004	79,153	98,348	79,122					

事業名：不法投棄・土砂等の盛土対策に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	16	本年	3,876			△ 2,013	1,863		1,719	92.3
				前年	4,883		△ 1,056	3,827		2,595	67.8	
				比較	△ 1,007		1,056	△ 2,013	△ 1,964	△ 876	-	
【参考】前々年度				7,719				7,719		6,972	90.3	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	551	役務費	79	委託料	1,090
-----	-----	-----	----	-----	-------

概要及び成果

1 市内一斉清掃事業

例年6月と12月の第1日曜日に、各区会で道路脇にポイ捨てされたごみの清掃活動を行う。活動を推進させるため、区会等への周知を行う。

【成果】

- ・新型コロナ感染拡大防止のため、市内一斉清掃を中止にした。
- ・広報つくば及び区会回覧等で事業中止を周知した。

2 不法投棄ごみ処理事業

防犯環境美化サポーターによるパトロール活動及び道路等における不法投棄ごみの撤去を行う。区会や土地所有者と連携して、不法投棄物の撤去作業を行い、再発防止のため警告看板を設置するなど再発防止策を講じる。区会等の不法投棄撲滅のための周知啓発を行う。

【成果】

- ・不法投棄物を迅速に撤去し清潔に保つことにより、良好な生活環境を保持することができた。
- ・不法投棄禁止看板を230枚配布し、不法投棄抑止を行った。

不法投棄ごみの撤去

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
不法投棄回収件数	件	347	336	319	310	326
不法投棄回収量	kg	17,389	20,006	17,300	18,720	21,380

3 土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する事務

土砂等の埋立て等に関し、適正な指導・監視及び許可事務を行う。

【成果】

- ・つくば市土砂等の埋立て等の規制に関する条例に基づき、許可及び指導を実施した。特に警察官OBによる巡回を実施することにより、無許可による埋立て等行為に対する指導及び抑止を行うことができた。
- ・許可件数4件
- ・無許可指導件数2件

事業名：ごみ減量に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
04	02	02	17	本年	13,356		3,645	15,179	32,180	5,115	24,999	93.6		
				前年	6,008		△ 697		5,311	3,527	66.4			
				比較	7,348		4,342	15,179	26,869	5,115	21,472	-		
【参考】前々年度					24,703	6,102			30,805		27,779	90.2		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					56	報償費		254	旅費		18	需用費		2,042
委託料					22,484	使用料及び賃借料		145						
概要及び成果														
<p>1 ごみ減量推進事業</p> <p>各種施策の進行状況の確認や計画の策定のため、一般廃棄物減量化等推進審議会を開催する。 ごみの出し方カレンダーの配布、ごみ分別アプリや段ボールコンポストの周知等により、市民のごみ分別徹底・減量化の啓発を行う。 日量平均100kg以上の事業系ごみ多量排出事業者に対し、ごみの減量化・資源化について指導する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物減量化等推進審議会を8月及び1月に開催し、一般廃棄物処理基本計画の施策取組状況の報告や災害廃棄物処理計画の策定についての諮問を行った。</li> <li>令和4年度版ごみの出し方カレンダーを17万部作成し、ポスティングにより全戸配布を行った。</li> <li>ごみ分別アプリを広報紙等で周知し、年間で約10,000件アプリのダウンロードがあった。(アプリを導入した令和2年2月からの累計ダウンロード約22,000件)</li> <li>段ボールコンポスト配布(166個)を行い、市民の生ごみ減量の意識向上を図った。</li> <li>市のごみの現状や家庭でできる取組について、つくば市かわら版、YouTubeつくば市かわら版チャンネル、広報つくば、公共施設等でのポスター掲示及びつくばスのデジタル広告掲載により、幅広く周知啓発を行った。</li> <li>ごみ減量を促進するため、資源物の分別徹底を促す集積所用看板を作成し、地区集積所への掲示を開始した。(全集積所数 約6,500か所)</li> <li>多量排出事業者に対し、減量化計画書を提出させ、減量化推進・資源化率改善について指導を行った。</li> <li>サステナスクエアで搬入検査(31件)を実施し、収集運搬業者及び排出事業者に指導を行った。また、排出事業者に対して、分別徹底による資源物の資源化促進及び廃棄物の減量化を啓発するポスターを収集運搬業者経由で配布した。</li> </ul>														

事業名：リサイクルに要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	18	本年	7,689			96	7,785		6,667	85.6
				前年	8,816			△ 479	8,337		6,272	75.2
				比較	△ 1,127			575	△ 552		395	-
【参考】前々年度					8,840				8,840		7,937	89.8

節別支出済額(単位:千円)

報償費	2,548	需用費	153	委託料	2,365	負担金補助及び交付金	1,601
-----	-------	-----	-----	-----	-------	------------	-------

概要及び成果

1 資源物集団回収奨励金の交付

資源物集団回収を行った自治会や子供会等の団体に対して、回収量に応じた奨励金を交付し、ごみの減量や3Rの推進を図る。

【成果】

事業の広報活動により、多くの団体を登録することができた。

資源物集団回収奨励金交付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
回収団体数	団体	114	117	122	119	136
資源物回収量	トン	750	722	1,129	1,185	1,271
奨励金額	千円	2,548	2,391	3,235	3,371	3,645

2 環境教育事業

環境教育の一環として、学校への出前講座や牛乳パック回収事業を実施し、子供たちの環境に対する意識向上に努める。

【成果】

コロナ禍が続いているが、牛乳パックの回収量は回復傾向にある。

牛乳パック回収事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
回収量	kg	2,129	686	2,600	2,747	3,189

3 リサイクル推進事業

ごみの減量や3Rの推進を図るため、3Rニュースを発行し、市民意識の向上につなげる。

【成果】

家庭からのごみ減量を推進することができた。

4 生ごみ処理器等購入費補助金交付

家庭から排出される生ごみの自己処理を推進する。

生ごみ処理容器を購入した市民に対し交付要綱に基づき補助金を交付する。

[コンポスト式補助率1/2、1世帯2基まで、上限20,000円]

[電気式生ごみ処理機補助率1/2、1世帯1基まで、上限20,000円]

【成果】

家庭からの生ごみ排出の減量化を推進することができた。

生ごみ処理容器等購入費補助金交付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
コンポスト式	基	68	38	95	95	60
電気式	基	84	78	55	68	35
補助金額	千円	1,601	1,330	1,264	1,460	728

5 家庭用廃食用油リサイクル事業

市施設、スーパー等に設置した回収ボックスに市民が持込んだ廃食用油を回収する。

回収した油は精製し、アルカリ触媒法によりバイオディーゼル燃料に精製され、サステナスクエア内公用車で軽油の代替え燃料として使用する。

【成果】

家庭用廃食用油のリサイクルを促進した。また、BDF燃料を使用することにより地球温暖化防止に寄与した。

家庭用廃食用油リサイクル事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
精製量	リットル	2,718	840	1,620	2,700	2,700
回収量	リットル	14,838	11,953	10,713	11,425	11,761

事業名：リサイクルセンター建設に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	19	本年	226,505			△ 12,584	213,921		206,058	96.3
				前年	490	351,312			351,802		259,271	73.7
				比較	226,015	△ 351,312		△ 12,584	△ 137,881		△ 53,213	-
【参考】前々年度				295,038	151,610	△ 289		446,359	351,312	94,885	100.0	

節別支出済額(単位:千円)

償還金利子及び割引料	206,058
------------	---------

概要及び成果

1 リサイクルセンター整備事業

循環型社会の構築に資するため3R推進の拠点となるリサイクルセンター及び資源化施設を整備する。

【成果】

リサイクルセンター及び資源化施設を整備し、収集したカン、ビン、ペットボトル、プラスチック製容器包装、古紙類、古布類の選別を行い、資源の有効利用を図った。

リサイクルセンター整備事業に伴う震災復興特別交付税が過大算定となったため、206,058千円を返還した。

事業名：し尿処理施設管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	03	11	本年	76,487	3,166			79,653		74,968	94.1
				前年	85,100		3,182		88,282	3,166	75,303	88.9
				比較	△ 8,613	3,166	△ 3,182		△ 8,629	△ 3,166	△ 335	-
【参考】前々年度				105,529				105,529		91,694	86.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	49,218	役務費	349	委託料	9,202	使用料及び賃借料	31
工事請負費	15,848	備品購入費	321				

概要及び成果

1 し尿処理施設維持管理事業

サステナスクエアし尿処理施設の維持管理（運転管理を除く。）

処理能力：50kl／日

処理方式：好気性消化処理方式

【成果】

不具合箇所の修繕等を適切に行うことにより、施設を正常に稼働し、市民の健康で快適な生活を図った。

サステナスクエアし尿処理施設の処理量

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
し尿	kl	596.7	738.8	972.1	896.9	1,057.5
浄化槽汚泥	kl	9892.7	10,218.0	9,945.9	9,511.3	9,736.3
計	kl	10489.4	10,956.8	10,918.0	10,408.2	10,793.8

2 し尿処理施設維持管理事業（サステナスクエア南分所）

し尿処理施設（南分所）の維持管理

処理能力 70kl／日

処理方式 好気性消化処理方式

【成果】

し尿処理施設を適正に運営するため、計画的に修繕工事を実施した。

サステナスクエア南分所の処理量

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
し尿	kl	888.1	749.3	706.8	694.9	614.8
浄化槽汚泥	kl	7950.5	8,581.4	8,910.7	8,982.0	9,395.0
計	kl	8838.6	9,330.7	9,617.5	9,676.9	10,009.8

事業名：働く婦人の家施設管理運営に要する経費

市民部 働く婦人の家

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	01	11	本年	29,246				29,246		26,872	91.9
				前年	16,986		△ 239		16,747		15,080	90.0
				比較	12,260		239		12,499		11,792	-
【参考】前々年度				9,732				9,732		9,582	98.5	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	104	報償費	357	旅費	26	需用費	1,063
役務費	255	委託料	3,531	使用料及び賃借料	109	工事請負費	21,428

概要及び成果

1 働く婦人の家維持管理事業

つくば市の女子勤労者及び勤労者家庭の女性などの休養・レクリエーションの場と機会を提供するとともに、施設の維持管理を行う。

【成果】

- ・屋根及び外壁改修工事を行い、利用者に快適な活動環境を提供できた。
- ・働く婦人の家運営委員会を5月と2月に開催し、運営状況と今後の方針、また、利用者への快適な利用環境を提供できるよう協議した。

施設利用団体数と利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
団体(サークル)数	団体	38	41	39	36	39
利用者数(講座除く)	人	4,862	4,224	8,042	8,426	7,402

内訳

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
自主サークル	団体	16	19	19	20	22
利用者数	人	1,499	1,490	3,039	3,406	3,291
育成サークル	団体	22	22	20	16	17
利用者数	人	2,713	2,351	3,681	3,691	3,001
利用者数(サークル以外の団体)	人	650	383	1,322	1,329	1,110

2 働く婦人の家自主企画事業

市民への学習機会の提供のため、市民ニーズに応じた講座等を企画し参加募集を行う。応募者多数の場合は、抽選のうえ受講者を決定する。

【成果】

- ・勤労者向けに、夜間・休日など参加しやすい講座や魅力ある講座を企画した。
- ・趣味や運動を通じ交流する機会を提供し、女性勤労者等の福祉向上を図ることができた。
- ・広報誌のほか、ホームページや地域交流センターへのチラシの配布を実施したことにより、つくば市全域からの応募が増加した。

延べ受講者数と開催講座数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
延べ受講者数	人	319	267	607	594	653
主催講座回数	回	44	40	70	75	70
平日実施講座	回	20	19	39	54	58
休日(土・日)実施講座	回	14	11	31	21	12
夜間実施講座	回	10	10	14	16	6
親子・子ども対象講座	回	15	14	17	10	3



事業名：雇用促進対策に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	02	11	本年	5,088				5,088		3,820	75.1
				前年	4,685				4,685		3,761	80.3
				比較	403				403		59	-
【参考】前々年度					4,709				4,709		3,216	68.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	968	役務費	59	委託料	1,503	使用料及び賃借料	100
工事請負費	855	負担金補助及び交付金	336				

概要及び成果

1 雇用促進対策事業

多様な人材の就労機会を創出するため、つくば市ふるさとハローワークに3名の会計年度任用職員を配置し、職業相談や職業紹介の補助及び雇用制度や職業情報の周知等を行う。

【成果】

つくば市ふるさとハローワークの適正な維持管理と運営により、求職者に対する雇用機会の増大に寄与することができた。

- ・「つくば市ふるさとハローワーク」の運営、管理

運営体制：相談員3名（土浦公共職業安定所）、補助員3名（市会計年度任用職員）

運営時間：9時00分～16時30分（土日祝日及び年末年始を除く）

業務内容：職業相談・紹介、検索機等による求人情報の提供、支援制度の周知等

- ・施設の修繕等のための個別施設計画の策定

茨城県やハローワーク土浦と連携し、「元気いばらき就職面接会」等のイベントを開催し、求職者と企業とのマッチング機会を提供することができた。

- ・「元気いばらき就職面接会」の実施（県主催事業）
- ・「保育施設の企業説明会・面接会」の実施（ハローワーク土浦主催事業）

参加企業数3社、参加者数15名、採用者数4名

- ・「50歳以上の方とシニアのための就職セミナー」の実施（県・市共催事業）

つくば市ふるさとハローワークの運営

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
来所者数(開所日数)	人(日)	8,736(241)	8,401(229)	10,950(240)	13,978(244)	16,226(244)
1日平均来所者数	人	36.2	36.7	45.6	57.3	66.5
相談件数	件	7,004	6,153	6,344	8,053	9,429
紹介人数	人	2,218	2,229	2,681	3,370	3,838
紹介件数	件	2,900	2,984	3,603	4,574	5,255
就職者数	人	565	525	719	878	986

元気いばらき就職面接会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加企業数	社	18	17	25	26	26
参加求職者数	人	32	48	28	43	40
採用者数	人	0	0	0	2	0

50歳以上の方とシニアのための就職セミナー

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数	人	17	15	37	-	-

事業名：農業委員に要する経費

農業委員会事務局 農業行政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	11	本年	32,549		△ 815		31,734		29,387	92.6
				前年	61,832		△ 31,074		30,758		28,109	91.4
				比較	△ 29,283		30,259		976		1,278	-
【参考】前々年度				59,943		△ 14,863		45,080		42,800	94.9	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	25,662	旅費	1,717	需用費	1,464	役務費	4
委託料	240	使用料及び賃借料	288	負担金補助及び交付金	12		

概要及び成果

1 農業委員会運営事業

法令に基づきその権限に属された農地等の利用関係の調整や利用の最適化の推進等、農業委員会が行う所掌事務について適正かつ円滑に実施する。(農業委員定数24人、農地利用最適化推進委員定数28人)

【成果】

総会、現地調査会及び専門委員会等を開催し、法令に基づいた許認可等の適正な審査及び農地利用の最適化を進めることにより、農業の健全な発展に寄与することができた。

- ・総会を13回、運営委員会を13回開催
- ・現地調査会を地区ごとに12回開催
- ・専門委員会を10回開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
許可申請等件数	件	1,215	1,195	1,009	2,081	1,016
届出等件数	件	642	607	714	722	699

2 農地再生チャレンジ事業

農業委員及び農地利用最適化推進委員が中心となり、JA等の関係機関と連携して、市内の遊休農地を再生し、農地の有効活用を図る。また、市民に農業の楽しさや農地の大切さを再認識してもらうため、再生農地で収穫祭を開催する。

【成果】

中根地内の遊休農地を再生し、周辺農地と合わせて担い手に引き継ぐことができた。また、収穫したジャガイモは、公立保育所、「みんなの食堂」等に提供することで、有効活用が図られた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
農地再生事業面積	m <sup>2</sup>	1,456	2,716	3,033	4,774	7,343

3 行政機関への意見書提出

農業委員会は、その所掌事務の遂行を通じて得られた知見に基づき、関係行政機関等に対し意見要望等を提出する。

【成果】

農業委員及び農地利用最適化推進委員からの意見要望等を「農地等利用最適化推進施策に関する意見書」として取りまとめ、国・県・市へ提出することができた。

(主な要望内容)

農地の保全と有効活用対策、新規就農者対策、農業者の所得安定対策、持続可能な地域農業の確立等

事業名：農業委員会事務局に要する経費

農業委員会事務局 農業行政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	12	本年	11,821		10		11,831	434	9,754	86.1
				前年	16,072		△ 2,955		13,117		11,750	89.6
				比較	△ 4,251		2,965		△ 1,286	434	△ 1,996	-
【参考】前々年度					13,264				13,264		10,812	81.5

節別支出済額(単位:千円)

報酬	4,808	職員手当等	559	旅費	285	需用費	862
役務費	628	委託料	1,304	負担金補助及び交付金	1,308		

概要及び成果

- 1 農地基本台帳システム管理  
農業委員会総会に諮る農地法等の許可申請案件議案書作成や各種証明書発行等の事務処理を円滑に行うため、市内の農地・農家情報等について常時管理する。

【成果】

市内農地の情報を随時更新し、常に最新の状態に維持することができた。

- 2 農委だより発行事業  
農家への広報誌「農委だよりつくば」を年2回発行する。

【成果】

市内の全農家に、農業委員会の活動や農業者に必要な情報を、広報誌を通じて提供することができた。

【11,000部×2回(7月・1月)】

- 3 農地パトロール(農地利用状況調査)  
農業委員及び農地利用最適化推進委員が、市内全農地の利用状況を現地調査する。  
調査の結果、荒廃が進んだ農地の所有者に対しては、戸別訪問による今後の利用意向を確認した上で、必要なあっせんや農地中間管理機構等との利用関係の調整を行う。

【成果】

市内全農地を調査することにより、荒廃農地等の実態を把握することができた。また、荒廃農地所有者の今後の利用意向等を確認することにより、農地利用の最適化を推進することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用状況調査面積	ha	10,977	11,021	11,058	11,090	11,094
荒廃農地面積	ha	503	501	475	529	392

- 4 納税猶与事務  
農地の相続税・贈与税納税猶予制度の適用を受けるための証明書の発行等を行う。また、制度の適正実施のため、適用者の農業経営状況等を把握し、必要に応じて特例農地の適正管理指導等を行う。

【成果】

相続等による農地の細分化を防止し、農業後継者の農業経営継続に寄与することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相続税証明書発行	人	6	5	8	6	7
贈与税証明書発行	人	2	1	5	1	0
農地確認作業日数	日	12	15	15	15	15
個別指導	人	2	2	2	2	2

事業名：農業者年金に要する経費

農業委員会事務局 農業行政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	13	本年	242				242		241	99.7
				前年	284				284		100	35.3
				比較	△ 42				△ 42		141	-
【参考】前々年度					289				289		288	99.7
節別支出済額(単位:千円)												
旅費				48	需用費				193			
概要及び成果												
<p>1 農業者年金事業 独立行政法人農業者年金基金との業務委託契約に基づき、年金受給者に関する届出等の事務を行うとともに、農業者年金の加入対象者に対して加入推進を行う。</p> <p>【成果】 農業者年金受給者等の資格取得や現況届等の各種届出を受理し、書類点検後、関係機関に送付した。また、年金受給者に対する個別相談を行ない、適正給付となるよう指導した。さらに、年金加入推進対象者全員に対して、年金制度に関する案内資料を送付し、加入推進を行った。</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
年金受給者数					人	348	409	464	525	596		
新規加入実績					人	6	0	6	3	3		
年金の受給相談					回	23	18	17	10	5		

事業名：農業担い手対策に要する経費

農業委員会事務局 農業行政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	14	本年	373				373		6	1.5
				前年	431		△ 409		22		6	25.9
				比較	△ 58		409		351			-
【参考】前々年度					532				532		473	88.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				6								
概要及び成果												
<p>1 農家後継者結婚支援事業 市内在住の農業後継者や農業に関心のある男女の出会いの場を提供する。</p> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、交流会を中止したので、特になし。</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
参加者					人	-	-	14	23	29		
カップル					組	-	-	2	4	7		

事業名：農業推進等に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
06	01	02	11	本年	12,474		△ 250	△ 535	11,689	1,605	8,560	87.0																												
				前年	15,295	1	△ 917		14,379	13,063	90.9																													
				比較	△ 2,821	△ 1	667	△ 535	△ 2,690	1,605	△ 4,503	-																												
【参考】前々年度				13,925		△ 338		13,587	1	11,363	83.6																													
節別支出済額(単位:千円)																																								
報酬		7,566		需用費		86		役務費		335		負担金補助及び交付金	574																											
概要及び成果																																								
<p>1 農業推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業推進委員を通じて、農業に関する情報を農家に提供するなど地域農業の振興を推進する。 農業推進委員任期：2年 農業推進委員数：349名</li> </ul> <p>【成果】 農業推進委員を通じて情報提供を4回行い、市内農家へ円滑に周知等を行うことができた。</p>																																								
<p>2 融資対策事業</p> <p>農業近代化資金を借り入れた経営体に対し、2%以内で利子の一部を助成する。 農業経営基盤強化資金を借り入れた経営体に対し1%を超える分の利子を助成する。（県1/2助成） 農協系統農業災害資金を借り入れた経営体に対し、利子の1/2を助成する。</p> <p>【成果】 融資を受けて農業経営の安定・発展を目指す農業者の支援をすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業近代化資金利子補助金（7件 102千円）</li> <li>農業経営基盤強化資金利子助成金（4件 101千円）</li> <li>農協系統農業災害資金利子助成金（8件 27千円）</li> </ul>																																								
<p>利子助成実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業近代化資金</td> <td>千円</td> <td>102</td> <td>131</td> <td>160</td> <td>225</td> <td>343</td> </tr> <tr> <td>農業経営基盤強化資金(県1/2助成)</td> <td>千円</td> <td>101</td> <td>132</td> <td>174</td> <td>216</td> <td>293</td> </tr> <tr> <td>農協系統農業災害資金</td> <td>千円</td> <td>27</td> <td>39</td> <td>22</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	農業近代化資金	千円	102	131	160	225	343	農業経営基盤強化資金(県1/2助成)	千円	101	132	174	216	293	農協系統農業災害資金	千円	27	39	22	1	1
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
農業近代化資金	千円	102	131	160	225	343																																		
農業経営基盤強化資金(県1/2助成)	千円	101	132	174	216	293																																		
農協系統農業災害資金	千円	27	39	22	1	1																																		

事業名：農業振興地域整備促進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
06	01	03	11	本年	1,613			△ 117	1,496		1,052	70.3	
				前年	1,836		△ 695		1,141		936	82.0	
				比較	△ 223		695	△ 117	355		116	-	
【参考】前々年度				3,492				3,492		2,896	82.9		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				210	需用費		85	役務費		67	委託料		281
使用料及び賃借料				409									
概要及び成果													
<p>1 農業振興地域整備計画に関する事業                      農振法などの関係法令に基づき、年に2回、編入、地区除外等により農用地利用計画の変更を行うほか、概ね5年ごとに市全体のつくば農業振興地域整備計画の見直しを行う。</p> <p>【成果】                      つくば農業振興地域整備計画に基づき、優良農地の保全と適正な土地利用の見直しを実施し、地域の実情に応じた計画とすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農用地利用計画変更申請実績：32件3.4ha(内訳 6月：22件2.7ha 12月：10件0.7ha)                          用途変更：6件</li> <li>・各地区現地調査会開催 5地区：10回      ・農業振興地域整備促進協議会開催（書面決議）：2回</li> </ul>													
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
申請件数				件	32	29	30	46	28				
編入件数				件	1	1	0	1	0				
除外件数				件	22	12	30	44	28				
却下件数				件	0	0	0	1	0				
変更面積				ha	2.7	1.3	2.9	10.3	2.8				
令和3年度申請分(32件)のうち12月受付分(10件)は、令和4年度、継続して手続きを行うため、変更件数は22件2.7ha。													

事業名：都市農村交流推進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	03	12	本年	829				829		825	99.5
				前年	1,598		△ 1,152		446		257	57.6
				比較	△ 769		1,152		383		568	-
【参考】前々年度					2,429		△ 1,139		1,290		566	43.9

節別支出済額(単位:千円)

需用費	183	役務費	542	委託料	100
-----	-----	-----	-----	-----	-----

概要及び成果

1 都市農村交流事業

市内及び首都圏沿線の都市住民に「農産物オーナー制度」や「農業サポーター制度」等の農業体験を通じて農業に触れる機会を提供する。

また、そのPRを実施する。

【成果】

農産物オーナー制度では、市内農産物のオーナーを募り、収穫体験等を実施し、生産者との交流を図ることができた。

農業サポーター制度では、農業サポーター（ボランティア）の活用により、生産者の負担軽減と相互交流を図った。サポーター登録者数は、活動に参加しない者が数多く登録されていたため令和2年度に見直しを行い、実態に即した登録者数とした。

農業体験イベントを開催し、市内の農業や農産物の周知を図った。

農産物オーナー制度

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
オーナー参加人数	人	428	285	418	314	334

農業サポーター制度

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
サポーター総登録者数	人	116	74	248	235	198
受け入れ農園数	園	10	7	15	17	41

都市農村交流イベント

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
農業体験イベント回数	回	6	4	7	7	9
農業体験イベント参加人数	人	162	54	102	253	323

事業名：畜産振興に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
06	01	04	11	本年	5,804		△ 1,380		4,424		4,244	95.9																																			
				前年	1,323	318	4,800		6,441	5,897	91.6																																				
				比較	4,481	△ 318	△ 6,180		△ 2,017	△ 1,653	-																																				
【参考】前々年度				1,076		3,025		4,101	318	977	31.6																																				
節別支出済額(単位:千円)																																															
報償費				45	需用費		19	役務費		3,055	負担金補助及び交付金	1,124																																			
概要及び成果																																															
<p>1 家畜伝染病予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜伝染病予防法に基づく検査等を実施し、伝染病予防に努める。</li> <li>・つくば市畜産協会を通じ、畜産農家に対して衛生薬剤等購入費の補助を行い、畜産経営の安定を図る。</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>県や畜産農家と連携し、各種家畜検査等を適切に実施した。 つくば市特定家畜伝染病防疫対策マニュアルを改定し、発生時の対応等について再確認した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蜜蜂腐蛆病検査</td> <td>群</td> <td>253</td> <td>313</td> <td>278</td> <td>283</td> <td>275</td> </tr> <tr> <td>馬伝染性貧血検査</td> <td>頭</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>162</td> </tr> <tr> <td>牛ヨーネ病・牛伝染性リンパ腫検査</td> <td>頭</td> <td>-</td> <td>249</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>豚熱予防注射</td> <td>頭</td> <td>9,496</td> <td>13,495</td> <td>4,160</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※牛検査は5年ごと。豚熱予防注射は令和元年度から開始。</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	蜜蜂腐蛆病検査	群	253	313	278	283	275	馬伝染性貧血検査	頭	-	3	3	-	162	牛ヨーネ病・牛伝染性リンパ腫検査	頭	-	249	-	-	-	豚熱予防注射	頭	9,496	13,495	4,160	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
蜜蜂腐蛆病検査	群	253	313	278	283	275																																									
馬伝染性貧血検査	頭	-	3	3	-	162																																									
牛ヨーネ病・牛伝染性リンパ腫検査	頭	-	249	-	-	-																																									
豚熱予防注射	頭	9,496	13,495	4,160	-	-																																									
<p>2 畜産振興事業</p> <p>共励会に出品した畜産農家に対して奨励金を支払い、畜産振興を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>茨城県県南肉用牛枝共励会に出品し（6名9頭）、生産技術の向上や県産牛肉のPRに寄与することができた。</p>																																															



事業名：土地改良事業に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	05	11	本年	232,134	22,830		△ 277	254,687		228,745	89.8
				前年	327,946	49,754	△ 14,848	△ 4,306	358,546	22,830	319,065	95.4
				比較	△ 95,812	△ 26,924	14,848	4,029	△ 103,859	△ 22,830	△ 90,320	-
【参考】前々年度				404,085	66,648	△ 39,963		430,770	49,754	358,946	94.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	539	役務費	4	委託料	19,941	使用料及び賃借料	1,747
工事請負費	143,024	負担金補助及び交付金	63,489				

概要及び成果

1 県単ため池整備事業

県補助事業を活用し、農業用水の安定供給維持のため、ため池の護岸等の整備を行う。

【成果】

水田の干害対策として水源を確保し、豪雨等の災害対策としての整備を行った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
事業費	千円	33,930	46,836	77,689	55,128	20,484
実施場所		倉掛町池外1地区	下横場池外1地区	北条新池	沼田堂山池	寺具弁天池

2 排水路整備事業

地元要望等により、土地改良事業区域内の排水路等の機能維持のため、整備や改修等を実施する。

【成果】

排水路等の整備・維持補修工事を行うことで、農産物の生産性の向上及び大雨等の水害対策が推進できた。

一般単独排水路整備事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
事業費	千円	92,223	76,730	71,955	25,180	49,543
整備延長	m	2,222	1,435	3,123	586	1,770
実施場所		上郷外7地区	山木外6地区	大舟戸外10地区	上岩崎外2地区	下平塚外6地区

市単ため池・排水路維持補修事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
事業費	千円	16,872	21,038	39,931	26,608	23,721
実施場所		大舟戸外21地区	沼田外28地区	上岩崎外41地区	蓮沼外40地区	磯部外41地区

かんがい排水整備事業償還金補助

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助金	千円	41,643	57,060	68,283	83,142	99,406

3 県営土地改良事業

かんがい排水、圃場、農道等の農業生産基盤の整備を行うことで、優良農地の確保を行う。

- ・ 下手地区（R5）、角内地区（R6）、明戸上口地区（R8） ※各括弧内は事業完了予定年度
- ・ 調査計画地区（小和田地区、下通後田地区）

【成果】

茨城県が実施する各地区の土地改良事業について、土地改良区や地元協議会等と連携し、事業を推進できた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
下手地区負担金	千円	5,063	8,100	6,750	3,800	4,200
角内地区負担金	千円	12,000	3,500	5,000	1,300	2,350
明戸上口地区負担金	千円	2,500	-	-	-	-
調査計画地区負担金	千円	2,000	750	8,200	5,750	-

事業名：霞ヶ浦用水建設に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	05	12	本年	99,660				99,660		98,568	98.9
				前年	98,036				98,036		97,450	99.4
				比較	1,624				1,624		1,118	-
【参考】前々年度					96,409		△ 2,199		94,210		94,173	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					98,568							
概要及び成果												
<p>1 霞ヶ浦用水建設事業 霞ヶ浦から用水を取水し、茨城県西南地域の関係13市町を対象として農業用水を安定的に供給する体制を確立し、農業基盤の充実を図る。 つくば市の受益面積は水田2,045ha、畑1,061haである。</p> <p>【成果】 茨城県及び霞ヶ浦用水土地改良区が実施する事業について、関係13市町及び地元協議会と連携して推進できた。</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
推進協議会運営負担金					千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		
県営事業負担金					千円	8,105	7,372	6,177	7,325	6,686		
団体営事業負担金					千円	9,398	7,951	6,783	6,248	5,637		
国営事業負担金					千円	79,865	79,810	79,561	79,832	64,545		

事業名：土地改良振興に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	05	13	本年	202,418	9,900	△ 7,054		205,264		203,541	99.2
				前年	174,242	4,140	△ 1,838	4,306	180,850	9,900	168,794	98.8
				比較	28,176	5,760	△ 5,216	△ 4,306	24,414	△ 9,900	34,747	-
【参考】前々年度				185,448		△ 8,328		177,120	4,140	172,842	99.9	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		100	委託料	5,555	負担金補助及び交付金	197,773	償還金利子及び割引料	113				
概要及び成果												
<p>1 水利施設管理強化事業（R 3年度から名称変更。旧事業名：国営造成施設管理体制整備促進事業）                      国営造成施設（霞ヶ浦用水）及び国営附帯施設を管理している土地改良区の管理体制の整備に要する経費を支援する。</p> <p>【成果】                      国や県が整備した水路等農業水利施設を管理するつくば市筑波土地改良区、南筑波土地改良区及び霞ヶ浦用水土地改良区の管理体制の整備に対して支援を行った。</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
補助金		千円	30,600	30,600	30,600	30,746	32,100					
負担金		千円	1,509	1,774	3,417	1,603	1,488					
<p>2 土地改良区工事補助事業                      土地改良区が農業用施設の改修等のため実施する国県補助事業に対して予算の範囲内で補助する。</p> <p>【成果】                      土地改良施設の整備・改修に対する補助を実施することにより、農家負担の軽減と安定した農業生産が可能となった。</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
補助件数		件	15	10	14	16	6					
補助金		千円	44,768	17,607	30,983	20,933	10,230					
<p>3 多面的機能支払事業                      農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持など、農村の活動組織が行う農村環境保全活動を支援する。活動組織は5年間の事業計画を作成し、市の認定を受けたうえで活動を実施する。国、県及び市は、活動組織に対し、農用地の面積に応じて交付金を交付する。</p> <p>【成果】                      地域資源の適切な保全管理により、農業・農村の持つ多面的機能を維持することができた。</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
活動組織数		組織	45	42	39	36	36					
交付金		千円	114,863	106,210	98,254	102,567	101,293					
<p>4 土地改良施設管理支援事業                      公共性の高いため池や排水路等の除草や浚渫（泥上げ）を行うことで、これらの施設の機能維持と適正な管理を行う。</p> <p>【成果】                      土地改良施設の良好な状態を維持することができた。</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
委託費		千円	5,159	6,251	2,985	2,333	2,495					

5 湛水防除施設維持管理事業

小貝川及び桜川の水位上昇により自然排水ができなくなる時期（4月～9月）に機械排水を行うため、排水機場の維持管理費用を支援する。

【成果】

各土地改良区等と連携して排水機場の適正な維持を行うことで、湛水被害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定に貢献できた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
維持管理負担金(※1)	千円	4,580	4,580	4,580	4,580	4,580
運営協議会負担金(※2)	千円	998	790	790	790	790

※1 真瀬、山下、川口地区

※2 桜川、新治地区

事業名：農業用廃プラスチック処理対策に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	06	11	本年	2,285				2,285		1,300	56.9
				前年	2,226				2,226		2,047	92.0
				比較	59				59		△ 747	-
【参考】前々年度					923			19	942		935	99.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	6	負担金補助及び交付金	1,294
-----	---	------------	-------

概要及び成果

1 農業用廃プラスチック適正処理推進事業

農村環境の保全を図るため、農業用廃プラスチック等を回収し適正処理を行うことで、不法投棄や野焼きを防止する。8月から1月の間に合計8回実施。

【成果】

- ・ビニール：計2回の回収日を設定し、4,970kgを回収したことにより、リサイクルの推進に寄与した。
- ・ポリエチレン：計5回の回収日を設定し、25,540kgを回収したことにより、リサイクルの推進に寄与した。
- ・緑マルチ：1回の回収日を設定し、590kgを回収したことにより、リサイクルの推進に寄与した。
- ・ホームページに年間の回収日程及び適正処理に関する啓発（回収日程期間中8月～1月まで掲載）を掲載した。

回収実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
使用済ビニール回収実績	kg	4,970	18,630	12,280	16,170	13,010
使用済ポリエチレン回収実績	kg	25,540	49,350	50,900	37,100	37,810
使用済緑マルチ回収実績	kg	590	-	-	-	-
登録人数	人	112	182	170	142	145

※緑マルチは、令和2年度までポリエチレンとして回収していたが、令和3年度は緑マルチのみで回収。

事業名：園芸振興に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
06	01	06	12	本年	4,340	780,112			784,452		4,032	0.5																												
				前年	785,262		△ 1,141		784,121	780,112	3,407	99.9																												
				比較	△ 780,922	780,112	1,141		331	△ 780,112	625	-																												
【参考】前々年度					3,938				3,938		3,094	78.6																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
報償費					112	需用費	51	役務費	47	原材料費	507																													
負担金補助及び交付金					3,314																																			
概要及び成果																																								
<p>1 果樹振興事業 ブルーベリー及びワイン用ぶどうの栽培面積拡大及び品質向上に要する経費（苗木や資材等の購入費用）を補助する。補助率は総事業費の1/2以内（ただし、10a当たり150千円を限度）とする。また、ブルーベリーのアウトウシヨウジョウバエ対策のための生ごみ処理容器の購入費を補助する。補助率は購入費の1/3以内（1圃場当たり上限2,000円）とする。</p> <p>【成果】 圃場拡大により将来的にワイン用ぶどう、ブルーベリーの収量増大が見込まれ、果樹振興に寄与することができた。 補助実績 2,277,190円（ワイン用ぶどう3件13,554㎡、ブルーベリー2件2,708㎡）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助件数</td> <td>件</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>対象面積</td> <td>a</td> <td>163</td> <td>189</td> <td>83</td> <td>62</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>千円</td> <td>2,277</td> <td>2,207</td> <td>861</td> <td>871</td> <td>137</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	補助件数	件	5	8	3	2	1	対象面積	a	163	189	83	62	41	補助額	千円	2,277	2,207	861	871	137
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
補助件数	件	5	8	3	2	1																																		
対象面積	a	163	189	83	62	41																																		
補助額	千円	2,277	2,207	861	871	137																																		
<p>2 つくば芝振興対策事業 茨城県つくば芝振興協会が行う栽培技術の講習会等の開催、校庭緑化等についての説明会、各種イベント等における芝のPRを支援する。</p> <p>【成果】 つくば芝振興協会と連携し、4品種の原種管理を徹底したことにより、高い品質を維持することができた。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響があり、PRイベントへの出展は1回のみ。</p>																																								
<p>3 遺伝子組換え作物栽培連絡会事業 遺伝子組換え作物の栽培に伴う市民の不安や混乱を未然に防ぐため、研究機関等と情報を共有し、市民に周知することで相互理解の促進を図る。</p> <p>【成果】 ・つくば市遺伝子組換え作物栽培連絡会を開催し、遺伝子組換え作物の実験計画や栽培状況についての情報を共有し、委員から意見を聴取した。 ・聴取した情報を市ホームページに掲載し、遺伝子組換え作物栽培に関する正確な情報を市民に伝えることができた。</p>																																								
<p>4 強い農業・担い手づくり総合支援 国内農産物の安定供給のため、生産から流通までの強い農業づくりに必要な大規模共同利用施設等の整備を支援する。</p> <p>【成果】 農業者から事業内容に係る相談はあったが、申請に至らなかったため、R3年度は実績なし。</p>																																								

事業名：地産地消推進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
06	01	06	13	本年	4,067			△ 1,739	2,328		1,960	84.2																					
				前年	16,656		△ 2,144		14,512		13,321	91.8																					
				比較	△ 12,589		2,144	△ 1,739	△ 12,184		△ 11,361	-																					
【参考】前々年度				3,631		3,413		7,044		6,188	87.8																						
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費				68	委託料		1,892																										
概要及び成果																																	
<p>1 地産地消推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化に取り組む農業者の掘り起こしを行いながら、取組を支援する。</li> <li>・地元産食材を提供する店舗を認定し、地元産食材のブランド化・消費拡大につなげる。</li> <li>・市庁舎等において、PRのための農産物直売イベントを実施する。</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>農産物加工の取組への支援や地産地消店の認定及びPRを行い、農産物の消費を喚起することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化事業の相談件4者9回、市産農産物等を使用したつくばコレクションの認定数3件</li> <li>・地産地消レストラン（地産地消店）延べ認定数153件</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、農産物直売イベントであるプチマルシェや農産物フェアは中止となった。</li> </ul>																																	
<p>地産地消レストラン（地産地消店） ※令和元年度新規事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ認定数</td> <td>店</td> <td>153</td> <td>126</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	延べ認定数	店	153	126	41	-	-							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
延べ認定数	店	153	126	41	-	-																											
<p>農産物フェア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体数</td> <td>団体</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>約15,500</td> <td>約18,000</td> <td>約8,000</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	参加団体数	団体	-	-	23	20	24	来場者数	人	-	-	約15,500	約18,000	約8,000
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
参加団体数	団体	-	-	23	20	24																											
来場者数	人	-	-	約15,500	約18,000	約8,000																											

事業名：農道整備に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	07	11	本年	33,967				33,967		33,196	97.7
				前年	52,697		△ 100		52,597		47,542	90.4
				比較	△ 18,730		100		△ 18,630		△ 14,346	-
【参考】前々年度				82,871	6,380			89,251		75,738	84.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	53	委託料	7,095	工事請負費	18,383	負担金補助及び交付金	7,664
-----	----	-----	-------	-------	--------	------------	-------

概要及び成果

1 農道整備事業

各土地改良区や区会等から、土地改良事業区域内の農道の舗装や維持補修要望を受け、必要性の高い箇所から優先的に整備・維持補修工事を実施する。

【成果】

農業生産に効果がある整備や維持補修を行うことで、農産物の出荷輸送の円滑化に貢献できた。

一般単独農道整備事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
事業費	千円	18,230	24,474	22,681	70,546	80,698
整備延長	m	383	754	497	1,334	2,221
実施場所		遠東外2地区	吉沼外2地区	百家外1地区	酒丸地区外7地区	土田外7地区

農道維持補修工事

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
事業費	千円	153	3,333	7,709	9,172	4,137
実施場所		吉沼外1地区	大井外6地区	吉沼外13地区	上岩崎外11地区	吉沼外8地区

農道整備事業償還金補助

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助金	千円	6,643	11,822	21,286	29,074	38,370

※【一般単独農道整備事業】 土地改良事業区域内の未舗装道路に対して、舗装工事を行う。

※【農道維持補修工事】 農業生産基盤維持のため、農道維持補修を行う。

※【農道整備事業償還金補助】 市が実施した農道整備工事について、受益者が融資を受けた借入金に対し償還補助を行う。

事業名：農業経営対策に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	08	11	本年	110,264		△ 34,600		75,664	24,922	29,989	72.6
				前年	117,821	41,088	△ 38,165	△ 331	120,413	57,302	47.6	
				比較	△ 7,557	△ 41,088	3,565	331	△ 44,749	24,922	△ 27,313	-
【参考】前々年度				120,980	2,113	△ 28,567		94,526	41,088	48,597	94.9	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	367	需用費	40	役務費	23	委託料	1,815
使用料及び賃借料	15	負担金補助及び交付金	27,728				

概要及び成果

1 新規就農者支援

つくば市新規就農者経営支援事業、農業次世代人材投資事業を実施して、新規就農者の育成を図る。新規就農（希望）者に対し、茨城県つくば地域農業改良普及センターと連携し、就農相談を行う。

【成果】

つくば市新規就農者経営支援補助金を2名、農業次世代人材投資資金を23名に交付することで、新規就農者の経営を支援することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
農業次世代人材投資資金	千円	26,578	38,999	34,387	46,500	44,135
新規就農者経営支援補助金	千円	1,150	1,200	600	-	600

2 農業経営対策事業（担い手育成総合支援事業）

・つくば市担い手育成総合支援協議会を開催し、認定農業者になることを希望する農業者の農業経営改善計画や認定新規就農者となることを希望する新規就農者の就農計画の審査を行う。

【成果】

・認定農業者の農業経営改善計画作成支援相談会を3回開催したほか、随時相談を受け付けたことにより、農業者を支援することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
協議会の開催回数	回	10	2	3	4	3
認定農業者数累計	経営体	287	294	298	275	248

3 耕作放棄地の活用

・グリーンバンク事業及び市民ファーマー制度を活用し「貸し手」と「借り手」の農地貸借に係る仲介・あっせんを行い、農地の有効利用を促進する。

・グリーンバンク事業を活用し、契約が成立した農地の土壌改良に係る経費に対し補助を実施する。

【成果】

・グリーンバンク事業及び市民ファーマー制度を活用し、44件6.7haの貸借契約が成立した。

グリーンバンク制度実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
貸し手登録件数(累計)	件	38(698)	35(660)	32(625)	40(593)	85(553)
登録面積(累計)	ha	10.1(183.4)	9.2(173.3)	6.9(164.1)	5.7(157.2)	25.9(151.5)
借り手登録件数(累計)	件	27(232)	27(205)	19(178)	29(159)	18(130)
契約成立(累計)	件	44(243)	20(199)	20(179)	16(159)	29(143)
貸借面積(累計)	ha	6.7(57.1)	2.4(50.4)	3.8(48.0)	3.4(44.2)	5.9(40.8)

市民ファーマー制度実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
契約件数	件	13	7	7	5	6
貸借面積	m <sup>2</sup>	8,370	5,465	4,914	3,862	2,292

耕作放棄地土壌改良事業費補助金交付実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
面積	ha	0	0.4	0.2	0.0	0.0
交付額	千円	0	102	56	0	0



事業名：農地中間管理事業に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	08	12	本年	44,181		△ 27,417	25	16,789		15,086	89.9
				前年	13,002		4,264		17,266		15,817	91.6
				比較	31,179		△ 31,681	25	△ 477		△ 731	-
【参考】前々年度				7,465		2,100		9,565		8,388	87.7	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	5,555	職員手当等	674	旅費	131	需用費	113
役務費	255	負担金補助及び交付金	8,001	償還金利子及び割引料	358		

概要及び成果

1 農地中間管理事業

農地中間管理機構（茨城県農林振興公社）が、土地所有者から農地を借受け、地域の話し合い等で選定された担い手となる農業者等へ転貸することにより、効率よく農地を利用できるよう農地の集積・集約を促進させる。

農地中間管理事業による農地の集積・集約に協力し、一定条件を満たした地域等に、機構集積協力金を交付する。

中間管理事業を活用し、茨城県実施事業であるリーディングアグリプレーヤー育成・確保事業を活用した土地所有者に対し、農地貸付協力金を交付する。

【成果】

- ・農地中間管理事業を活用し、52.7haの農地を担い手へ集積・集約することにより、農地利用の効率化ができた。

- ・農地中間管理事業説明会を開催し、一定条件を満たした地域等に、機構集積協力金を交付することにより、農地の集積・集約を促進できた。

農地中間管理事業による農地集積面積

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
集積面積	ha	52.7	40.8	39.8	112.4	51.6
地域集積協力金対象	ha	15.4	33.8	0	78.7	34.6
地域集積協力金対象外	ha	37.3	7.0	39.8	33.7	17.0
対象地区	地区	1	3	0	11	8

地域集積協力金の交付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付地区数	地区	1	3	0	11	8
対象面積	ha	15.4	33.8	0	78.7	29.1
協力金	千円	2,469	6,858	0	10,129	3,607

経営転換協力金の交付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付件数	件	94	62	34	29	14
対象面積	ha	34.7	15.7	14.0	12.5	4.6
協力金	千円	5,208	2,350	2,100	4,309	1,575

農地貸付協力金の交付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付件数	件	5	-	-	-	-
対象面積	ha	2.18	-	-	-	-
協力金	千円	324	-	-	-	-

事業名：水田農業構造改革推進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	09	11	本年	198,799			3,397	202,196		200,866	99.3
				前年	210,993		△ 945	1,831	211,879		211,759	99.9
				比較	△ 12,194		945	1,566	△ 9,683		△ 10,893	-
【参考】前々年度				218,705		1,388		220,093		220,080	100.0	

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	200,866
------------	---------

概要及び成果

1 経営所得安定対策推進事業

経営所得安定対策の実施に必要な推進活動のうち、つくば市農業再生協議会が行う水田の生産調整や補助金の交付申請書の取りまとめ等の事務を円滑に進める。

【成果】

つくば市農業再生協議会が実施する、経営所得安定対策事業や水田の生産調整等に必要な事務費について補助を行い、農業者の経営所得安定を図ることができた。

2 市単水田農業構造改革対策事業

転作作物の圃場を現地確認し、生産調整達成者に対して助成金を交付する。

【成果】

水田の生産調整を推進し、米価の安定と農家の経営安定に努めた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
転作配分面積	ha	1,696	1,719	1,774	1,730	1,755
転作実施面積	ha	1,762	1,626	1,603	1,620	1,665
生産調整達成率	%	103.9	94.6	90.4	93.6	94.9

3 病害虫防除薬剤購入費補助事業

イネ縞葉枯病の被害拡大防止のため、消毒用薬剤購入に対して購入費の1/3補助（上限10a当たり1,000円）を行う。

【成果】

消毒用薬剤購入費補助を行い、イネ縞葉枯病の防除を推進することができた。（JAつくば等の代理一括申請があるため件数は減少しているが、補助農家数は増加。）

病害虫防除薬剤購入費補助金交付実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付件数	件	50	89	100	123	104
薬剤補助実績面積	ha	1,316	984	667	602	527
交付額	千円	8,023	6,382	3,918	3,618	3,222

※ 平成29年度から実施。

事業名：環境にやさしい農業推進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	09	12	本年	10,551				10,551		9,330	88.4
				前年	10,792		△ 128	△ 1,500	9,164		8,647	94.4
				比較	△ 241		128	1,500	1,387		683	-
【参考】前々年度					13,271		△ 5,131	△ 5	8,135		7,789	95.7

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,513	委託料	2,629	使用料及び賃借料	28	負担金補助及び交付金	5,160
-----	-------	-----	-------	----------	----	------------	-------

概要及び成果

1 環境にやさしい農業推進事業

- ・カバークロープ事業…冬場の作付けされていない農地からの土ぼこりと表土流出を防止するため、申請者に対して緑肥としてすき込みができる被覆植物の種子を無料配布する。
- ・環境保全型農業直接支払交付金…地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動（国際水準GAP等）や有機農業に取り組んだ農業者に対して補助する。
- ・有機資材購入費補助事業…化学合成農薬及び化学肥料を慣行栽培より5割以上削減して栽培を行い、茨城県の特別栽培農産物の認証を受けた農業者に対して、有機資材購入費の一部を助成する。

【成果】

- ・カバークロープ種子を44.8ha分（ハゼリソウ442kg、ヘアリーベッチ905kg）配布するとともに、環境保全型農業直接支払交付金を3団体に2,048,800円（16.5ha分）、有機資材購入費補助金を10団体に3,110,700円（205.7ha分）交付することで、環境保全型農業を推進することができた。

カバークロープ種子配布

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ハゼリソウ	ha	22.1	21.9	23.9	18.5	25.3
ヘアリーベッチ	ha	22.7	20.8	23.8	29.5	42.4
合計	ha	44.8	42.7	47.7	48.0	67.7

環境保全型農業直接支払交付金

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
件数	件	3	3	2	2	5
面積	ha	16.5	18	12	13	25
補助額	千円	2,049	2,106	980	1,055	1,702

有機資材購入費補助事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
件数	件	10	9	9	8	18
面積	ha	206	202	218	209	230
補助額	千円	3,111	3,085	3,312	3,163	3,514

2 つくば市特産農産物廃棄物適正処理推進事業

- 葉刈り芝の適正処理を行うにあたり、ストックヤードでの回収及び堆肥化の促進のために、発酵促進剤と消石灰を配布する。

【成果】

- ストックヤード事業
  - ・今鹿島、酒丸、前野は4/30～11/30、新設した吉沼は10/1～11/30の期間ストックヤードを開設した。
  - ・4箇所合計56回、44,610kgを回収することで、野焼き防止に努めた。
- 堆肥化事業
  - ・6件の申請に対し、発酵促進剤を11袋、消石灰を7袋配布した。

堆肥化事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
件数	件	6	1	1	2	2

葉刈り芝回収事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
袋での回収事業	kg	—	—	670	7,970	3,270
ストックヤード事業	kg	44,610	38,330	41,340	4,260	—
合計回収量	kg	44,610	38,330	42,010	12,230	3,270

※袋での回収事業は令和元年度で終了。

事業名：ふれあいの里施設管理運営に要する経費

経済部 筑波ふれあいの里

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
06	01	10	11	本年	65,544		△ 8,523		57,021		49,530	86.9	
				前年	74,594		△ 16,355		58,239		49,087	84.3	
				比較	△ 9,050		7,832		△ 1,218		443	—	
【参考】前々年度					70,034				70,034		65,119	93.0	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				9,037	役務費		1,130	委託料		21,412	使用料及び賃借料		5,984
工事請負費				11,707	原材料費		79	備品購入費		180			

概要及び成果

1 ふれあいの里施設管理運営事業

筑波山麓の豊かな自然環境の保全や活用を図りながら、各施設（実習館、コテージ、キャンプ場、バーベキュー場、そば打ち体験施設、染色体験施設）の管理運営を行っている。

【成果】

- ・10人用コテージの床、エアコン、実習館天井雨漏りの修繕工事及びバーベキュー場の屋根と外壁塗装工事を行ったことで、利用者へ安全で快適に使用できる施設を提供することができた。
- ・施設を適切に維持管理することで、利用者に快適で魅力的な施設を提供することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実習館(宿泊施設)	人	250	320	3,590	3,738	3,518
コテージ	人	2,392	1,846	3,398	4,175	4,424
キャンプ場	人	1,540	1,091	1,735	1,914	1,476
伝習施設(そば打ち)	人	20	32	853	834	1,121
管理施設(草木染め)	人	252	222	748	749	843
バーベキュー施設	人	1,658	1,759	5,941	5,886	6,714
研修室	人	291	214	1,206	1,508	1,465
食堂	人	0	66	1,574	1,975	2,861
風呂	人	1,848	1,549	2,847	2,990	3,143
合計	人	8,251	7,099	21,892	23,769	25,565

【年度別収入】※1

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
施設使用料	千円	10,848	9,963	29,905	31,324	30,182

【筑波山麓自然学校】※2

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催数	回	5	8	9	10	11
参加者数	人	122	207	380	522	547

※1 令和2年度の施設利用人数及び施設利用料が前年より減少した要因は、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言による休所及び施設の利用制限を行ったことによるもの。令和3年度も同様な対策を実施。

※2 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で実施日数及び参加人員を制限したことにより減少したもの。令和3年度も同様な対策を実施。

事業名：ゆかりの森施設管理運営に要する経費

経済部 豊里ゆかりの森

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	11	11	本年	61,858		△ 1,563		60,295		55,947	92.8
				前年	67,895		△ 212		67,683		59,260	87.6
				比較	△ 6,037		△ 1,351		△ 7,388		△ 3,313	-
【参考】前々年度					63,260				63,260		58,405	92.3

節別支出済額(単位:千円)

報償費	438	需用費	7,343	役務費	1,513	委託料	21,669
使用料及び賃借料	5,771	工事請負費	18,800	原材料費	349	備品購入費	58
負担金補助及び交付金	5						

概要及び成果

1 ゆかりの森管理運営事業

敷地内平地林の自然環境保全に努め、里山の自然公園として活用し併設している宿舍「あかまつ」・工芸館・昆虫館・キャンプサイト・バーベキュー場・テニスコート等の施設の充実及び管理運営を行い、体験・滞在型余暇施設活動の場として環境づくりを推進する。

【成果】

森林内の草刈りや倒木、枯木の撤去を随時行い、所内の環境保全が図られた。また、各施設を適切に維持管理したことで、利用者に快適で魅力的な観光施設を提供することができた。

【施設利用状況】

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
昆虫館	人	6,128	2,969	12,150	12,727	11,217
テニスコート	人	1,407	901	1,412	1,548	1,593
キャンプ場	人	16,350	13,962	46,339	37,642	38,247
宿舍あかまつ	人	1,898	555	8,558	7,515	8,264
工芸館	人	3,496	2,365	6,917	6,971	7,309
各種イベント	人	278	325	444	465	445
合計	人	29,557	21,077	75,820	66,868	67,075

【年度別収入額】

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
施設使用料等	千円	9,091	6,166	22,976	18,741	22,638

※ 令和2年度の施設利用人数及び施設利用料が前年より減少した要因は、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言による休所及び施設の利用制限を行ったことによるもの。令和3年度も同様な対策を実施。

事業名：林道整備に要する経費

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	02	01	11	本年	10,097				10,097		9,663	95.7
				前年	10,835				10,835		9,801	90.5
				比較	△ 738				△ 738		△ 138	-
【参考】前々年度					9,517				9,517		7,672	80.6
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				73	役務費		4		委託料	5,947	工事請負費	3,639
概要及び成果												
<p>1 林道整備事業 林道4路線（沼田新田酒寄線、宮の沢線、筑野線、白滝線）及び市有林管理道の維持管理を実施する。</p> <p>【成果】 年間を通じて、林道4路線及び市有林管理道の維持管理（除草、側溝清掃等）を実施し、林道利用者の安全を確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路面清掃 L=3.0 k m 2回</li> <li>・側溝清掃 L=2,200m 1回</li> <li>・除草業務 A=7,000㎡ 1回</li> </ul>												
<p>2 林道の維持補修、改良事業 林道4路線（沼田新田酒寄線、宮の沢線、筑野線、白滝線）及び市有林管理道の維持補修、改良事業を実施する。</p> <p>【成果】 ・沼田新田酒寄線の老朽化した横断側溝の交換工事を4か所行った。 ・筑野線の道幅の狭い箇所についてグレーチング設置工事を1か所行った。</p>												

事業名：森林保全に要する経費

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	02	01	12	本年	37,579		△ 15,227	△ 729	21,623		17,599	81.4
				前年	31,181		△ 13,854		17,327		14,148	81.7
				比較	6,398		△ 1,373	△ 729	4,296		3,451	-
【参考】前々年度				16,633		735	△ 14	17,354		12,827	73.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	176	役務費	83	委託料	16,105	負担金補助及び交付金	1,235
-----	-----	-----	----	-----	--------	------------	-------

概要及び成果

1 身近なみどり整備推進事業

森林所有者からの整備要望に基づき、茨城県森林湖沼環境税を活用して荒廃した山林を市が下刈り、間伐等の整備を実施する。また、市と森林所有者との森林保全協定に基づき、施業後10年間は森林所有者が維持管理を行う。

【成果】

森林の整備を実施したことにより、快適で豊かな森林の環境を整えることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
面積	ha	8.04	9.51	9.35	9.54	7.31
整備個所数	箇所	18	13	20	27	22

2 森林整備事業（旧：筑波山市有林整備事業）

筑波山市有林保全活用指針に基づき、自然環境の保全と森林利用を増進する。

森林管理道の保全管理を実施する。

森林ボランティア団体との協働による保全管理を実施する。

【成果】

森林ボランティア団体などの市民協働による森林保全管理を実施し、延べ参加者56人により1.5haの森林保全を行うことができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ボランティア活動回数	回	3	5	6	10	10
年間保全面積	ha	1.5	2.0	1.7	2.5	2.4

3 造林事業

造林用苗木の斡旋を行う。

県補助事業の申請及び推進を行う。

【成果】

県補助事業への申込みはなかった。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
造林面積	ha	0	0	0	0	0.68
保育面積	ha	0	0	3.16	6.13	5.58

事業名：高崎自然の森管理に要する経費

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	02	01	13	本年	11,822				11,822		11,296	95.6
				前年	14,442		△ 1,604		12,838		12,259	95.5
				比較	△ 2,620		1,604		△ 1,016		△ 963	-
【参考】前々年度				14,274	14,442			28,716		26,381	91.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	643	役務費	229	委託料	5,392	使用料及び賃借料	4,316
工事請負費	715						

概要及び成果

1 高崎自然の森管理事業

年間の管理作業として、施設の清掃、除草等を実施する。

森林ボランティアとの協働による森林保全を実施する。

NPOや農業者団体との連携による自然環境教育や森林体験、収穫体験イベントを実施する。

【成果】

森林環境の保全を図り、利用者に自然とのふれあいの場を提供することができた。

イベントの実施により、里山や森林が持つ公益的機能の必要性を伝え、親子で学ぶ機会を提供することができた。

利用状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
活用許可団体数	団体	14	12	17	14	13

ボランティア団体による活動回数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
森林整備	回	5	4	8	5	7

農山村体験事業（イベント）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ブルーベリー園事業参加者※1	人	0	0	308	377	447
自然体験事業参加者	人	98	134	269	249	305

※1 ブルーベリー園事業の令和2年度及び令和3年度については新型コロナウイルスの影響を考慮し実施を見送り。



事業名：鳥獣被害防止計画事業の推進に要する経費

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
06	02	01	14	本年	8,736		△ 1,859		6,877		4,637	67.4	
				前年									
				比較	8,736		△ 1,859		6,877		4,637	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				964	需用費		19	委託料		2,888	負担金補助及び交付金		766
概要及び成果													
<p>1 鳥獣保護及び有害鳥獣被害防止対策事業 茨城県イノシシ管理計画に基づき猟友会へ年4回有害鳥獣捕獲委託を行う。 イノシシ被害防止のため、防護柵等の設置費用や狩猟免許等取得の補助を行う。</p> <p><b>【成果】</b> 有害鳥獣捕獲及びイノシシ被害予防資材購入費補助により被害防止に寄与した。 狩猟免許等取得補助制度を活用し、狩猟免許取得促進を図ることが出来た。</p>													
イノシシ有害鳥獣捕獲													
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
捕獲頭数				頭	193	506	398	500	284				
イノシシ被害予防資材購入費補助件数													
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
補助件数				件	26	29	31	30	39				
狩猟免許等取得補助件数													
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
補助件数				件	4	3	18	-	-				

事業名：商工事務に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
07	01	01	11	本年	18				18		7	38.9	
				前年	40		△ 40						
				比較	△ 22		40		18		7	-	
【参考】前々年度					175				175		106	60.8	

節別支出済額(単位:千円)

需用費 7

概要及び成果

1 商工総務事業

- ・商工行政の総合調整を図るため、市商工会と産業振興連絡会等を開催し、意見交換や情報共有等を行う。
- ・砂利採取法及び採石法に基づき、適切に事務処理を行う。また、採石法に基づく採石計画に記載されている緑化事業の一環として、宝篋山ふるさとの山づくり事業（植樹事業）を実施し、宝篋山の採石場跡地の早期緑化を目指す。

【成果】

- ・産業振興連絡会を通じて、市及び商工会の事業について情報共有を図ることができた。  
(産業振興連絡会の開催：5回)
- ・砂利採取法及び採石法に基づき、適切に事務処理を行うことができた。また、植樹祭は中止となったが、植樹活動は実施したため、緑化計画を推進することができた。

砂利採取法及び採石法

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
砂利採取に係る立入検査	件	2	2	2	2	2
岩石採取に係る立入検査	件	1	1	1	1	1
採石安全パトロール	回	1	1	1	1	1

宝篋山ふるさとの山づくり懇談会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
植樹祭	回	1	0	1	0	1
懇談会	回	0	1	1	3	2

※植樹祭は隔年で実施。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、植樹活動のみ実施した。

事業名：商工業振興に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	11	本年	33,485		253	148	33,886		33,872	100.0
				前年	36,670		△ 519		36,151		25,754	71.2
				比較	△ 3,185		772	148	△ 2,265		8,118	-
【参考】前々年度					54,556		△ 2,007		52,549		50,363	95.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	44	役員費	185	負担金補助及び交付金	33,643
-----	----	-----	-----	------------	--------

概要及び成果

1 商工業振興事業

- ・所管法令や権限移譲事務に基づく事務を実施する。
- ・地域経済の活性化を図るため、市商工会への事業補助金や既存商店街等の活性化を目的とした補助金を交付する。
- ・市内事業者が長年の経営を通して培ってきた経営資源を次世代に繋げるため、事業承継支援を行う。

【成果】

- ・所管法令や権限移譲事務に基づく事務を適正に実施することができた。
- ・「つくば市商工会事業補助金」を交付し、市商工会の安定的な事業運営に資することができた。
- ・「つくば市既存商店街等空き店舗活用補助金」を交付し、既存商店街等の活性化を図ることができた。
- ・市内事業者に事業承継に係るアンケートを行い、事業承継に対する考え方を把握することができた。
- ・「茨城県事業承継支援ネットワーク」に加盟し、事業承継支援体制を構築することができた。

商工会法に規定する事務

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
事業報告書受理	件	1	1	1	1	1
定款変更許認可	件	-	1	1	-	-
指導検査	件	1	-	1	-	1

中小企業等協同組合法に規定する事務

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
設立認可	件	-	-	-	1	-
事業報告書受理	件	5	5	5	4	4
役員変更届出の受理	件	-	-	-	-	2
解散の届出受理	件	-	-	-	-	-

大規模小売店舗立地法に基づく事務

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新規・変更届出に係る意見書提出	件	17	11	14	7	23

つくば市商工会事業補助金

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
商工会事業補助金	千円	31,000	25,575	34,000	35,673	34,967

既存商店街等空き店舗活用補助金

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
改装費補助件数	件	2	-	1	-	1
補助金額	千円	1,996	-	1,500	-	1,500
家賃補助件数	件	3	2	2	2	1
補助金額	千円	647	110	120	610	400

茨城県事業承継・引継ぎ支援センターへの紹介件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
紹介件数	件	3	-	-	-	-

事業名：融資対策に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	12	本年	142,900		△ 9,320	△ 148	133,433		105,747	79.3
				前年	143,831		△ 7,463		136,368		92,603	67.9
				比較	△ 931		△ 1,857	△ 148	△ 2,935		13,144	-
【参考】前々年度				150,604		△ 340		150,264		118,545	78.9	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	402	旅費	134	需用費	51	役務費	225
委託料	3,062	負担金補助及び交付金	42,874	貸付金	59,000		

概要及び成果

1 融資対策事業

- ・融資あっせん審査会を開催し、自治金融利用者のための融資あっせんを行う。
- ・茨城県信用保証協会への信用保証料分の補助、自治金融利用者への利子補給を行う。
- ・台風等の災害対策融資に対する保証料補助や利子補給を行う。

【成果】

毎月融資あっせん審査会を開催し融資あっせんを行うとともに、自治金融利用者や災害対策融資利用者への利子補給及び信用保証料補助を実施することで、中小企業の事業資金調達の円滑化を図り、事業の安定・継続に寄与することができた。

あっせん制度の利用件数及び金額

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
あっせん件数	件	172	102	204	288	284
あっせん金額	千円	986,700	616,000	1,091,800	1,467,800	1,602,700

市融資制度利用者への保証料補助の実施（茨城県信用保証協会への間接補助）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助件数	件	156	108	218	289	284
補助金額	千円	22,528	6,199	31,000	37,918	39,640

市融資制度利用者への利子補給の実施（36か月分）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助件数	件	631	816	949	1,049	1,095
補助金額	千円	17,652	24,433	28,639	31,395	34,365

関東・東北豪雨災害緊急対策融資利子補給金・保証料補助金の利用件数及び金額

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用件数 ※	件	-	2	4	7	7
利子補給金額 ※	千円	-	40	311	732	839
保証料補助額 ※	千円	-	15	116	288	556

災害対策融資（令和元年度台風15号・19号災害特例）利子補給金・保証料補助金の利用件数及び金額

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用件数	件	9	11	8	-	-
利子補給金額	千円	1,616	2,348	45	-	-
保証料補助額	千円	1,077	1,601	378	-	-

※利子補給及び保証料補助は令和2年度で交付終了。令和3年度歳入のみ（保証料補助金の返戻金）

事業名：産業創出支援に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	13	本年	18,058		△ 2,589		15,469		13,749	88.9
				前年	22,364	2,970	△ 6,341		18,993		15,980	84.1
				比較	△ 4,306	△ 2,970	3,752		△ 3,524		△ 2,231	-
【参考】前々年度					18,857		△ 44		18,813	2,970	8,083	58.8

節別支出済額(単位:千円)

報償費	160	旅費	18	需用費	429	委託料	3,282
使用料及び賃借料	33	備品購入費	3,740	負担金補助及び交付金	6,086		

概要及び成果

1 産業創出支援事業

- ・市内企業等の技術革新や国内外の販路拡大等を促進させるため、資金の補助や情報発信、産業展示会への出展等の支援を行う。
- ・市内企業等のイメージ向上や販路拡大を図るため、優れた商品やサービスの認定を行う。

【成果】

- ・展示会出展支援補助金及び中小企業経営力強化促進奨励補助金を交付することで、市内中小企業の事業拡大及び販路拡大につなげることができた。
- ・㈱PRTIMESとの業務連携による市内企業等の情報発信を支援した。(13社、14配信)
- ・市内企業等を対象に「東京都産業交流展」の出展を支援し、出展者の販路拡大につなげることができた。(7社)
- ・先端技術を有する市内企業を対象に「チャイナハイテクフェア」へのオンライン出展支援や海外企業との商談マッチングを行い、海外販路拡大につなげることができた。(2社)
- ・つくば市発の優れた商品や役務(サービス)を「つくばクオリティ」として認定することで、認定品事業者のイメージ向上や製品等の販路拡大、販売促進につなげることができた。

(1) 展示会出展支援補助金

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助件数	件	5	3	11	16	9
補助金額	千円	942	754	2,545	4,054	1,569

(2) 中小企業経営力強化促進奨励補助金

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助件数	件	6	8	3	6	-
補助金額	千円	600	800	281	600	-

(3) つくばクオリティ認定制度

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申請数	件	8	26	-	-	-
認定数	件	6	23	-	-	-

2 創業支援事業

- ・「産業競争力強化法」により国から認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、「創業支援ネットワーク」を構成する支援機関が一体となり、創業希望者にセミナーや相談事業などの創業支援施策を実施する。
- ・市内での創業を促進するため、新規創業希望者の法人設立に係る費用に対して補助金を交付する。

【成果】

- ・創業啓発セミナーを開催し、専門家や創業経験者からのアドバイスや市のサポートメニューを案内することで参加者の創業意欲向上につなげることができた。
- ・各支援機関における事業の告知協力や情報共有により、支援体制を強化することができた。
- ・新規創業促進補助金(会社設立時の登録免許税と定款認証手数料補助)を交付することで、新規創業希望者の創業を促進することができた。

## (1) 支援件数及び創業者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支援件数	件	502	446	489	347	295
創業者数	人	87	124	102	119	72

## (2) 新規創業促進補助金

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
登録免許税補助金額(件数)	千円/件	2,655 (39)	2,010 (28)	1,320 (20)	1,380 (19)	1,005 (14)
定款認証手数料補助金額(件数)	千円/件	1,520 (32)	1,250 (25)	800 (16)	-	-
補助金額計	千円	4,174	3,260	2,120	1,380	1,005

## 3 技術開発支援事業

- ・「つくば技術開発クラブ」会員への情報発信等を実施する。
- ・「つくばものづくりオーケストラ技術展示会」の開催を支援する。
- ・リンカーズ(株)との業務提携により、市内企業と大手企業とのマッチング支援を実施する。

## 【成果】

「つくば技術開発クラブ」会員への情報発信や、技術展示会出展支援を実施したことにより、市内企業の事業拡大及び販路拡大につなげることができた。

## つくば技術開発クラブ会員数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
会員数	者	272	272	269	264	260

## つくば技術開発クラブ通信

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
配信数	回	20	18	32	33	24

## つくばものづくりオーケストラ技術展示会開催数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
展示会	回	1	0	7	7	8

## リンカーズによるマッチング支援

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
紹介件数	社	29	43	52	68	202
成立件数	件	0	0	0	1	1

事業名：計量法事務に要する経費

市民部 消費生活センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	14	本年	906				906		728	80.3
				前年	857		△ 119		738		601	81.5
				比較	49		119		168		127	-
【参考】前々年度					881				881		745	84.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	56	役員費	104	委託料	176	使用料及び賃借料	253
備品購入費	120	負担金補助及び交付金	18				

概要及び成果

1 計量法事務事業

- ・【特定計量器定期検査】取引や証明に使用する特定計量器（はかり）は、2年に一度の定期検査が義務付けられており、市内を2地区に分け、隔年毎に集合検査方式により、特定計量器の検定証印等の確認及び外観、性能、器差検査を実施する。
- ・【燃料油メーター立入検査】燃料油メーターの検定証印、有効期間、設置状況等の確認を行う。
- ・【商品量目立入検査】計量販売している特定商品（食肉・魚介類・野菜等の食料品など）の表記、内容量公差、特定計量器の使用状況等の確認を行う。
- ・パネル展等による啓発活動を実施する。
- ・全国計量行政会議へ参加し、都市相互間の連携を図る。

【成果】

取引や証明に使用する特定計量器の定期検査及び燃料油メーターの立入検査を実施し、適正な計量が確保され、消費者の利益保護を図ることができた。

検査件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
特定計量器定期検査	個	338	356	351	371	373
商品量目立入検査	個	168	0	144	192	192
燃料油メーター立入検査	個	61	133	108	119	92

※令和2年度の商品量目立入検査は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により中止した。

事業名：企業誘致推進に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	15	本年	69,951		△ 24,570		45,381		45,265	99.7
				前年	136,756		△ 2,387		134,369		134,255	99.9
				比較	△ 66,805		△ 22,183		△ 88,988		△ 88,990	-
【参考】前々年度				53,901		△ 37,878		16,023		15,296	95.5	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	4	負担金補助及び交付金	45,261
-----	---	------------	--------

概要及び成果

1 企業立地推進事業

- ・市工業団地企業連絡協議会の運営を行う。
- ・新たな企業の立地につなげるため、企業誘致活動を推進すると共に、産業用地情報を収集する。
- ・企業の操業環境を把握し、企業活動の円滑化を支援するため、立地企業への訪問等を実施する。

【成果】

- ・「市工業団地企業連絡協議会」の総会、役員会(年3回)を開催し、会員企業との情報共有を図ることができた。
- ・市内外の企業が事業所の新設や増設を行う際に固定資産税相当分を奨励金として交付することで、産業活性化と雇用拡大を図ることができた。(つくば市産業活性化奨励金制度)
- ・茨城県や宅建協会と連携しながら、産業用地情報を収集し、市内への立地希望企業者に用地情報を提供することにより、市内への企業立地につなげることができた。
- ・立地企業への訪問等を県と合同で実施することで、企業の操業環境を把握し、企業活動の円滑化を支援することができた。また、市内工業団地に立地する企業に対し、事業スペース・用地等のニーズに関する調査を行い、現在の立地環境、今後の事業展開、新規立地の選定条件等を把握することができた。

新規立地及び拡充等企業数(用地取得等含む) ※市把握分

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新規立地	社	14	9	9	8	12
拡充等	社	6	8	1	1	1

市内企業フォローアップ訪問件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
訪問実施企業	社	18	23	73	64	64

つくば市産業活性化奨励金制度に基づく奨励金の交付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付件数	件	2	3	3	3	1
交付額	千円	43,025	131,749	10,578	10,817	16,625
事業計画の認定数	件	-	-	1	2	2

※事業計画の認定は令和元年度で終了



事業名：物産品振興に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	16	本年	2,446		△ 75		2,371		1,653	69.7
				前年	1,727		△ 26		1,701		984	57.8
				比較	719		△ 49		670		669	-
【参考】前々年度					1,822				1,822		1,107	60.7

節別支出済額(単位:千円)

報償費	50	需用費	520	委託料	246	使用料及び賃借料	237
負担金補助及び交付金	600						

概要及び成果

1 ブランド推進事業

- ・市内物産品等の普及促進を図るため、認証制度によりブランド化を行う。
- ・市内物産品等の魅力向上を図るため、物産品等の改良、新規開発等を支援する。

【成果】

市内物産品等を「つくばコレクション」として認証することにより、物産品等の販路拡大につなげることができた。

つくばコレクション認証制度

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新規認証数(申請数)	品目	5(8)	3(6)	3(4)	3(8)	5(9)
更新認証数(申請数)	品目	10(10)	10(10)	4(5)	7(11)	7(8)
合計認証数(申請数)	品目	15(18)	13(16)	7(9)	10(21)	12(17)
累計認証数	品目	35	30	29	27	26

①認証期間は3年

②累計認証数は直近3年間の「合計認証数」の計

事業名：スタートアップ推進に要する経費

政策イノベーション部 スタートアップ推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	17	本年	17,113	8,910	△ 12,959		13,064		12,448	95.3
				前年	21,916		△ 8,070		13,846	8,910	4,845	99.3
				比較	△ 4,803	8,910	△ 4,889		△ 782	△ 8,910	7,603	-
【参考】前々年度				100,793	121,053			221,846		195,330	88.0	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	289	旅費	490	需用費	448	役務費	8
委託料	8,943	使用料及び賃借料	1,163	負担金補助及び交付金	1,106		

概要及び成果

- 1 スタートアップ推進事業  
 市民向けセミナー等で新たなスタートアップが生まれる土壌づくりをしたり、都内イベントで起業家等のつくばへの呼び込みを図る。また、スタートアップ向けの補助金交付や社会実装トライアルにより、スタートアップの成長を支援する。

【成果】

- ・12月に東京都虎ノ門で「つくばスタートアップナイト2021」を開催し、約350人が現地又はオンラインで参加した。
- ・つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムへの参加機関（メガバンク、監査法人、証券会社等）が増え、連携強化が図られた。

補助金交付決定件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
スタートアップコンサルティング事業	件	5	-	4	5	-
技術系スタートアップ立地推進奨励補助金	件	3	-	5	3	-
ビジネスプランコンテスト参加支援補助金	件	0	0	2	-	-
創業期技術系中小企業者等事業支援補助金	件	-	7	-	-	-

スタートアップ実証実験数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
スタートアップ実証実験数 ※1	件	8	3	3	-	-

創業数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
創業数 ※2	件	9	10	-	-	-

※1 スタートアップ推進室が支援した実証実験事業の支援者数

※2 技術系の新規創業者数

事業名：産業振興センター施設管理運営に要する経費

政策イノベーション部 スタートアップ推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	18	本年	178,038	514			178,552		150,637	84.4
				前年	56,815		5,194		62,009	514	60,082	97.7
				比較	121,223	514	△ 5,194		116,543	△ 514	90,555	-
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

需用費	6,838	役員費	838	委託料	45,973	使用料及び賃借料	1,025
工事請負費	93,335	備品購入費	2,627				

概要及び成果

- 1 産業振興センターの管理・運営事業  
 産業振興センター施設管理運営  
 起業・経営に関する専門的な情報提供・相談対応  
 起業・経営に関する意欲醸成のためのイベント・セミナーの実施  
 コワーキングスペース、事業支援室の管理運営  
 起業の各ステージで必要となる情報の提供や相談に幅広く対応することで、スタートアップへの一貫した支援を行う。

【成果】

- ・産業振興センターでの起業数16件（オープンから累計27件）

産業振興センターの利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用者延べ人数	人	11,290	7,268	2,700	-	-
コワーキングスペース会員利用延べ人数	人	2,636	2,200	674	-	-

創業数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
創業数 ※1	件	16	10	1	-	-

相談数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相談数 ※2	件	316	151	45	-	-

※1 産業振興センター利用者の中で新規創業した者

※2 産業振興センターにおける相談

事業名：新型コロナウイルス感染症経済対策に要する経費

経済部 産業振興課／経済支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
07	01	02	19	本年	62,690	56,888	156,695		276,273		199,104	72.1	
				前年			804,811		804,811	56,888	625,606	84.8	
				比較	62,690	56,888	△ 648,116		△ 528,538	△ 56,888	△ 426,502	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				351	需用費		123	役務費		205	委託料		8,484
使用料及び賃借料				440	負担金補助及び交付金		189,500						
概要及び成果													
<p>1 緊急支援給付金事業【経済支援室】 従業員が罹患し、事業収入が50%以上減少した中小法人、個人事業者への給付制度 ◇交付額：中小法人200千円、個人事業者100千円 【成果】 交付件数：29件（個人12件、法人17件） 交付総額：4,600千円</p>													
<p>2 雇用促進支援事業（雇用促進交付金）【経済支援室】 失業した市民や市内在住学生を新規雇用する事業者への交付金制度 ◇一般型交付額（1事業者最大1,000千円） 無期雇用1名につき200千円、有期雇用1名につき100千円（大法人1/2） ひとり親：週20時間以上雇用1名につき最大150千円上乗せ（大法人3/4～5/6） ◇学生アルバイト型交付額（1事業者最大1,000千円） 週10時間以上：1名につき最大100千円（大法人1/2） 週5～10時間未満：1名につき最大50千円（大法人1/2） 【成果】 交付件数：234件（中小法人223件、大法人11件） 交付者数：168者（中小法人162者、大法人6者） 交付総額：52,750千円 雇用人数：460人（うちひとり親3人、学生等263人） 内訳：無期雇用118人（男63人、女55人）、有期雇用79人（男23人、女56人） 学生週10時間以上184人（男97人、女87人）学生週5～10時間未満79人（男35人、女44人）</p>													
<p>3 中小企業等販路拡大支援事業【経済支援室】 非対面型への転換などの感染症対策を含む販路拡大に取り組む事業者への補助制度 ◇補助額：中規模事業者最大1,000千円（下半期500千円）、小規模事業者最大500千円 ◇補助率：市内企業への発注経費：10/10（下半期9/10）、市外企業への発注経費：3/4 【成果】 ○上半期 交付件数：65件（中規模12件、小規模53件） 交付総額：36,431千円 ○下半期 交付件数：75件（中規模6件、小規模69件） 交付総額：34,066千円</p>													
<p>4 経営支援ワンストップ窓口事業【経済支援室】 国や市の経営支援制度の案内・相談及び専門家によるコンサルティング事業 ◇案内相談窓口開設：平日週5日 ◇コンサルティング窓口開設：平日週5日 【成果】 相談件数：5,022件（稼働日数242日 平均20.8件/日） 内訳：窓口1,205件（5.0件/日）、電話等3,044件（12.6件/日）、専門家773件（3.2件/日） 利用者アンケート結果：満足を選んだ割合83.0%</p>													

- 5 タクシー事業者支援事業（タクシー買物代行業）【経済支援室】  
市民から依頼された買物と自宅配送を行うタクシー事業者への補助制度  
◇対象者：市内タクシー事業者  
◇補助額：買物代行1回当たり2千円

【成果】

買物代行件数：104件（市内5店舗）  
タクシー事業者数：5社  
交付総額：208千円

- 6 自動車運転代行業者及び貸し切りバス事業者支援金【経済支援室】  
市内に主たる事業所を有し、令和3年8月19日時点で事業の許認可を受けている事業者への支援制度  
◇交付額：一律200千円＋車両数×20千円

【成果】

交付件数：39件  
運転代行業者24件、貸切バス事業者15件  
交付総額：12,480千円

- 7 営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金【経済支援室】  
令和3年4月～6月のひと月の売上が前年又は前々年の同月比で80%以上減少した中小法人等への支援金制度  
◇交付額：一律200千円

【成果】

交付件数：167件  
個人事業者114件、法人53件  
交付総額：33,400千円

- 8 キャッシュレス決済利用促進事業【経済支援室】  
市内中小企業の売上支援、キャッシュレス決済の促進及び消費喚起事業  
PayPayポイントギフト事業（令和2年度から3,388千円を繰越）  
◇対象者：令和2年4月28日から令和3年3月31日までの出生者  
◇交付額：ポイント30千円相当

【成果】

PayPayポイントギフト事業（令和2年度からの通算）  
交付者数：2,104人  
交付総額：63,120千円

- 9 中小企業事業継続応援貸付金事業【産業振興課】  
新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが急減した事業者に対して、茨城県と市が協調して実施する事業資金貸付制度  
◇対象者：県内に事業所を有し、事業を営んでいる中小企業・個人事業主  
◇貸付額：上限2,000千円（負担割合：県3/4・市1/4）  
※事業者からの申請は令和3年9月末をもって終了

【成果】

貸付件数：30件  
貸付総額：54,700千円（市負担額：13,675千円）

事業名：観光施設整備に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
07	01	03	11	本年	360,194	43,877	△ 6,267		397,804		350,914	88.2																					
				前年	85,357			△ 1,539	83,818	43,877	36,353	95.7																					
				比較	274,837	43,877	△ 6,267	1,539	313,986	△ 43,877	314,561	-																					
【参考】前々年度				19,028			235	19,263		17,842	92.6																						
節別支出済額(単位:千円)																																	
役務費				69	委託料		11,128	使用料及び賃借料		3,098	工事請負費		332,923																				
備品購入費				3,696																													
概要及び成果																																	
<p>1 筑波山観光施設整備事業（旧：筑波山梅林及びその周辺整備事業） 筑波山梅林及びその周辺における魅力ある観光資源をいかし、訪れる人々が安全で充実した時間を過ごせる観光施設等の整備を行う。</p> <p>【成果】 以下の観光施設を整備したことで、魅力的な観光地形成が図れた。</p> <p>（1）筑波山観光案内所整備 令和3年度：観光案内所建築工事（木造平屋（一部RC構造）/建築面積：約274㎡（延べ床面積：約296㎡）/公衆トイレ併設） デジタルサイネージシステム構築業務委託（タッチパネル式 1台） 観光案内所擁壁改築工事（ブロック積擁壁：約170㎡） 令和2年度：観光案内所解体工事（敷地面積：626.03㎡、建築面積：130.13㎡） 仮設観光案内所賃借（設置建物面積：35.59㎡） 観光案内所擁壁改築設計（擁壁改築：170㎡（長さ約47m、高さ2～4m）） 観光案内所擁壁改築工事（次年度繰越） 令和元年度：筑波山観光案内所測量（1,800㎡） 筑波山観光案内所設計（木造平屋（一部RC構造）/建築面積：約274㎡（延べ床面積：約296㎡）/公衆トイレ併設）</p> <p>（2）梅林園路・園地等整備 令和3年度：－ 令和2年度：梅林内Wi-Fi整備（3か所）、誘導サイン設置工事（1基） 令和元年度：－ 平成30年度：四阿茅葦屋根ふき替え（ヤマカヤ1,500束）、菱露台再整備：20.76㎡ 平成29年度：見返り縁台再整備：29.22㎡</p>																																	
<p>2 筑波山麓整備事業 筑波山麓地域の周遊観光を促進し、地域経済に寄与するため、利便施設等を整備する。</p> <p>【成果】 以下の観光施設を整備したことで、魅力的な観光地形成が図れた。</p> <p>（1）筑波山麓地域整備 令和3年度：駐車場整備計画地の購入交渉のため土地評価額の時点修正を実施した。 令和2年度：案内看板設置に向けた現地調査を実施した。 令和元年度：神郡駐車場用地測量及び整備：1,200㎡（収容台数36台）、神郡駐車場案内看板整備：1個所、宝篋山登山道看板設置（常願寺コース）：1個所 平成30年度：神郡駐車場用地調査</p> <p>宝篋山登山道測量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コース名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>常願寺コース</td> <td>山口コース(2)</td> <td>小田城コース</td> <td>山口コース(1)</td> </tr> <tr> <td>距離</td> <td>km</td> <td>-</td> <td>0.02</td> <td>2.60</td> <td>2.50</td> <td>2.59</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度で全コースの測量が終了し、事業完了した。</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	コース名	-	-	常願寺コース	山口コース(2)	小田城コース	山口コース(1)	距離	km	-	0.02	2.60	2.50	2.59
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
コース名	-	-	常願寺コース	山口コース(2)	小田城コース	山口コース(1)																											
距離	km	-	0.02	2.60	2.50	2.59																											

- 3 筑波山観光用水渇水対策事業（旧：筑波山観光用水安定供給事業）  
筑波山観光用水の安定供給に向け、老朽化した水道施設を改良し、観光客の利便性を確保する。

**【成果】**

老朽化した水道施設の管路改良工事を実施し、頻発していた漏水を止めることができた。

令和3年度：管路改良工事（配水管 約1.6km 減圧槽 4基）

令和2年度：管路改良測量・設計（女体山頂一つつじヶ丘 L=約1.6km）

平成30年度：御幸ヶ原公衆トイレ受水槽設置工事1基（20t）

平成29年度：御幸ヶ原公衆トイレ受水槽設置測量設計1式

事業名：観光施設維持管理に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	12	本年	102,496				102,496		93,971	91.7
				前年	125,085		△ 182	2,145	127,048		119,132	93.8
				比較	△ 22,589		182	△ 2,145	△ 24,552		△ 25,161	-
【参考】前々年度				137,899			△ 235	137,664		126,868	92.2	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	9,311	役務費	2,552	委託料	54,995	使用料及び賃借料	16,924
工事請負費	5,798	原材料費	57	備品購入費	407	負担金補助及び交付金	3,927

概要及び成果

1 観光施設維持管理事業

快適で魅力ある観光地として、市内の観光施設を適正に管理する。

【成果】

以下の観光施設を適切に維持管理することで、観光客に快適で魅力的な観光施設を提供した。

(1) 筑波山御幸ヶ原(山頂)観光施設の維持管理

①公衆トイレ清掃委託(365日) ②浄化システム点検委託(年8回) ③浄化槽点検委託(年24回)  
④汚泥汲取委託(70m<sup>3</sup>) ⑤トイレの維持管理実施 ⑥筑波山頂湧水量 調査(24回) ⑦老朽化した給水管の布設替え(約50m)

(2) つつじヶ丘登山コースの維持管理 ※1

①おたつ石コース除草(4,949m<sup>2</sup>) ②つつじヶ丘高原除草(7,007m<sup>2</sup>)

(3) 市営筑波山駐車場(※2)及び山麓駐車場、公衆トイレの維持管理

①市営筑波山駐車場施設運営委託(365日)  
②市営山麓駐車場(小田・平沢・筑波・六所・神郡)除草等を実施。小田及び神郡駐車場に仮設トイレを設置。

③筑波山駐車場公衆トイレ及び浄化槽:トイレ清掃(365日)、浄化槽点検(毎月実施)

(4) 筑波山梅林の維持管理

①剪定業務(913本)、施肥(年2回)  
②梅林内除草管理等:年間を通じて梅林内の除草等の管理を実施。

(5) 宝篋山小田休憩所及び宝篋山観光施設の維持管理

①宝篋山小田休憩所運営委託:登山者等へ通年で宝篋山や小田地域の歴史的な文化資源を紹介。  
②宝篋山バイオトイレ清掃(年24回)、山麓駐車場仮設トイレ清掃(2か所)  
③筑波山麓観光資源整備事業補助金交付(3団体)

(6) 筑波山観光案内所・筑波山おもてなし館の観光案内及び維持管理 ※3

①施設運営委託(365日×2施設)  
②定期清掃(年4回×2施設)、消防設備点検(おもてなし館年2回)

※1 つつじヶ丘登山コース除草

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
おたつ石コース	m <sup>2</sup>	4,949	3,029	6,606	4,222	7,520
つつじヶ丘高原	m <sup>2</sup>	7,007	10,606	7,956	8,785	6,263

※2 市営筑波山駐車場(利用台数/使用料) : 第1駐車場、第2駐車場、第3駐車場、第4駐車場

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
普通車	台	70,627	68,491	76,166	83,948	84,925
大型車	台	847	622	938	1,242	1,121
二輪者	台	1,191	1,079	1,017	1,102	1,091
合計	台	72,665	70,192	78,121	86,292	87,137
駐車場使用料総額(歳入)	千円	37,244	35,712	40,156	44,660	44,885

※3 筑波山観光案内所

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
来館者数	人	20,702	23,168	38,037	45,118	37,585
(うち外国人)	人	310	508	1,437	1,188	-
窓口案内数	件	12,849	10,924	12,437	7,416	7,351



※3 筑波山おもてなし館

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
来館者数	人	23,624	23,795	29,126	35,575	38398
(うち外国人)	人	241	360	300	313	-

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来館者が全体的に減少した。

2 森林体験パーク施設管理事業

森林を活用した自然共生型アウトドアパークとして、魅力ある通年型観光を提供する。

【成果】

施設の運営支援と適切な施設管理により、利用者の満足度向上に寄与することができた。

利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
大人	人	8,052	6,277	8,828	9,873	11,683
子ども	人	5,947	4,060	4,451	4,344	4,495
合計	人	13,999	10,337	13,279	14,217	16,178
施設賃料(歳入)	円	9,726	7,169	8,708	10,525	12,528

運営支援

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
市民キャンペーン利用実績	人	175	127	112	159	66
PRチラシ印刷部数	枚	-	5,500	15,000	10,000	8,000

※キャノピーコース増設、エキサイトコース新設（令和2年2月15日から利用開始）

※令和3年度はPRチラシ印刷部数について各イベントの廃止による配布数の減少により前年度印刷分を利用。

※令和3年度は市民の日キャンペーンの対象期間を試験的に長くしたことにより、前年度と比較して利用者が約38%増加した。

事業名：観光行事に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	13	本年	36,102		△ 22,500		13,602		11,688	85.9
				前年	37,463		△ 34,387		3,076		2,546	82.8
				比較	△ 1,361		11,887		10,526		9,142	-
【参考】前々年度				40,932		△ 656	△ 4,000	36,276		35,720	98.5	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	5	使用料及び賃借料	151	負担金補助及び交付金	11,532
-----	---	----------	-----	------------	--------

概要及び成果

1 まつりつくば事業

観光の振興と中心市街地の活性化を目的に、つくばならではの多様な文化をいかした魅力あるコンテンツを提供することで、まつりつくばに関わる誰もが楽しめる観光誘客イベントを開催する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、代替イベントとして、ARフォトコンテスト、スマホスタンプラリー、オンラインステージを開催した。

- ・ARフォトコンテスト（令和3年8月7日から9月30日）※1

AR（拡張現実）により再現したねぶた・神輿を撮影してSNSに投稿いただくフォトコンテストを実施した。ねぶた・神輿をいつでもどこからでも楽しんでいただくことで、より広範囲に向けてまつりつくばをPRすることができた。

- ・スマホスタンプラリー（令和3年8月7日から10月31日）※2

市内の対象店舗でお買い物をするとスタンプを獲得できるスタンプラリーを実施した。一定数のスタンプを獲得し、抽選に当選した参加者には、市内物産品等の賞品を贈呈した。市内の参加店舗を巡っていただくことで経済活動を促進するとともに、市内物産品を賞品とすることで物産品のPRを行うことができた。

- ・オンラインステージ（令和3年9月23日）※3

お囃子やダンス等無観客ライブを開催した。なお、パフォーマンスは動画配信サービスYouTubeにより配信した。市民に日頃の活動や成果を発信する機会を提供するとともに、伝統や文化の継承に寄与することができた。

まつりつくば

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催日数	日	85※4	中止	2	2	2
来場者数	人	代替イベント	中止	470,000	460,000	550,000
補助金交付額	円	10,101,175※5	1,867,978※6	29,999,125	25,492,451	25,325,711

代替イベント① ARフォトコンテスト

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
AR閲覧数	回	3,410	-	-	-	-
応募作品数	件	265	-	-	-	-

代替イベント② スマホスタンプラリー

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加登録者数	人	1,077	-	-	-	-
スタンプ数	スタンプ	3,106	-	-	-	-
応募者数	人	323	-	-	-	-

代替イベント③ オンラインステージ

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
視聴回数	回	2,520	-	-	-	-

※1 当初は令和3年8月7日から8月31日までの25日間開催する予定だったが、国の緊急事態宣言等により、期間を9月30日まで延長した。

※2 当初は令和3年8月7日から8月31日までの25日間開催する予定だったが、国の緊急事態宣言等により、期間を10月31日まで延長した。

- ※3 当初は令和3年8月28日から8月29日にかけて開催する予定だったが、国の緊急事態宣言等により、開催日を9月23日に変更した。
- ※4 スマホスタンプラリーの開催期間を引用。
- ※5 新型コロナウイルス感染症の影響により、代替イベントを開催したため、当初予算から減額した。
- ※6 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったものの、イベント継続に必要な費用を交付した。

## 2 つくばフェスティバル事業

交流人口の拡大促進と地域経済の活性化を目的に、世界各国の文化とふれあうことができる飲食・体験ブースやステージなど、国際都市つくばの魅力を発信できるイベントを開催する。

### 【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、代替イベントとして、令和3年5月1日から5月31日にかけて、オフィシャルサイトで子ども向けイベントと国際交流イベントを軸に動画等のコンテンツを公開することで、市内の魅力的なコンテンツや、子どもたちや市民の活動について広くPRすることができた。

また、市内の参加店舗を巡っていただくスタンプラリーを実施し、経済活動を促進するとともに、市内物産品を賞品とすることで物産品のPRを行うことができた。

### つくばフェスティバル

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催日数	日	31	中止	2	2	2
来場者数	人	代替イベント	中止	150,000	140,000	75,000
補助金交付額	円	1,430,448※1	0※2	4,299,994	4,296,723	4,379,518

### ホームページ

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ホームページ閲覧数	回	7,833	-	-	-	-

### スタンプラリー

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
応募者数	人	76	-	-	-	-

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、代替イベントを開催したため、当初予算から減額した。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。

## 3 くきざき夢まつり事業

地域のふれあいの場として昭和49年から商工産業祭、平成12年度からひまわりまつりとして開催され、地域のお祭りとして定着している。

現在は、地域活性化を促進するため、荃崎地区の区長会やPTAの関係団体等で実行委員会を組織し、より地域に根ざした市民参加型のイベントとして開催している。

### 【成果】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度に続き、開催中止となった。

### くきざき夢まつり

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催日数	日	中止	中止	1	1	1
来場者数	人	中止	中止	8,000	7,000	2,000
補助金交付額	円	0※1	16,800※2	537,784※3	597,665	592,116

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったものの、イベント継続に必要な費用を交付した。

※3 令和元年度はくきざき交流センター前芝生広場を会場に市文化祭に併せて開催されている。

事業名：観光振興に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	14	本年	113,350	1	△ 30,943		82,408		80,472	97.7
				前年	105,695	45,204	△ 28,144	△ 606	122,149	1	115,124	94.2
				比較	7,655	△ 45,203	△ 2,799	606	△ 39,741	△ 1	△ 34,652	-
【参考】前々年度				114,958		89,525	4,000	208,483	45,204	100,347	69.8	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	740	需用費	808	役務費	570	委託料	21,245
使用料及び賃借料	175	負担金補助及び交付金	56,935				

概要及び成果

1 つくば観光コンベンション協会補助事業

市内経済の活性化及び観光施策の強化を図るため、つくば観光コンベンション協会が実施する各種観光事業を支援する。

【成果】

つくば観光コンベンション協会が実施する各種観光事業を支援することによって、以下のことを達成することができた。

なお、事業実施については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して感染防止対策を強化した。さらに、非接触型スタンプラリーの実施やアニメコンテンツをいかした周遊企画など、社会情勢を鑑みた新しい観光の推進を図った。

(1)観光宣伝事業

豊かな自然環境の「筑波山地区」と研究・教育機関が集積する「筑波研究学園都市」等の観光資源について市内外へのPR

①メディア掲出

メディア等を活用した広報宣伝をGoToキャンペーンに合わせて行うことによる、市内外からつくばへの誘客促進

②観光キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の影響による制限がある中、つくば市の魅力を伝えることによるつくばへの誘客促進

③関連機関連絡調整

各関係機関と連携し、スマートフォンを使った非接触型のスタンプラリー「YAMASTA(ヤマスタ)」を活用し「パワースポット」を巡るハイキング推進事業を展開することによる筑波山への誘客促進

(2)観光客誘致事業

①10月1日～11月30日の期間で、アニメと連携した筑波山ガマまつりの周遊イベントを開催することによる筑波山の周遊観光促進

②10月30日～12月5日の期間で、「紅葉」「食」「周遊」をテーマにしたSNS映えスポットの設置やSNSを活用した情報発信を行うことによる周遊観光促進

(3)コンベンション事業

つくばエクスプレスや茨城空港等からのアクセス利便性の良さをいかし、対面とオンラインとのハイブリッドでの会議開催形態に対応することによる、関係機関と連携した国内会議開催の促進

(4)フィルムコミッション事業

つくば市の豊かな地域資源を映画やTV等を通して全国に紹介することによる、つくば市の知名度向上を目的とした、市内への誘致及び市内でのロケーション撮影支援

(1)観光宣伝事業(※1)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
メディア掲載	件	56	70	104	74	53
キャンペーンの実施	回	2	1	17	18	5
関連機関連絡調整	件	5	4	6	5	5

## (2) 観光客誘致事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
イベント事業	件	4	3	4	4	4
筑波山ガマまつり来場者数	人	中止	中止	5,000	5,000	5,000
筑波山梅まつり来場者数	人	中止	75,000	130,000	190,000	170,000

## (3) コンベンション事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
国際会議	件	0	1	63	45	56
国内会議	件	17	11	100	87	92
ブロック会議	件	13	14	70	181	173
その他	件	67	46	169	111	134
参加者数	名	10,070	8,621	83,289	84,423	82,802
経済波及効果	千円	約600,000	約700,000	約9,400,000	約8,200,000	約8,800,000

## (4) フィルムコミッション事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
問い合わせ	件	224	130	305	219	229
下見	件	72	26	108	64	70
撮影	件	56	17	71	61	44
撮影日数	日	70	27	222	116	75
撮影隊人数	人	631	722	5,010	3,783	3,156
経済波及効果	千円	約13,000	約15,000	約65,000	約57,000	約56,000

### 補助金交付額((1)～(4)の事業への補助合計額)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付額	千円	45,621	45,621	41,275	41,275	41,275

※1 令和2年度及び令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言下での宣伝活動を縮小したため減少。

## 2 観光振興事業

つくば観光コンベンション協会や関係機関と連携し、つくばの魅力ある観光資源を活用し、多様なニーズに合わせた各種事業を展開し、国内外からの観光誘客拡大を図る。

### 【成果】

#### (1) 筑波山麓秋祭り補助事業

筑波山麓地域づくり団体連絡協議会主催の筑波山麓5地区（筑波・田井・北条・平沢・小田）で行う筑波山麓秋祭りは、新型コロナウイルス感染症の影響により通常開催は中止とし、継続的に発信できるインターネット広報の整備として、グーグルマップに催事を行っている雰囲気の間場や交通要所の「360度パノラマ画像」ならびに会場情報を掲載する新たな取り組みに対し補助金を交付することにより、コロナ禍にできる範囲の祭りのPR活動を支援することができた。

#### (2) 観光案内業務

筑波山観光案内所における、インバウンド対応のため英語対応可能な常駐スタッフの配置と、令和3年4月30日にはJNTO（日本政府観光局）認定外国人観光案内所のカテゴリ2認定の取得により、外国人観光客の受け入れ態勢の強化が図られた。

#### (3) スポーツツーリズム受入

市内スポーツ施設との連携、廃校活用を実施し、スポーツ合宿の誘致の推進を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、申請のあった60団体全てキャンセルとなった。

#### (4) 筑波ふれあいの里整備事業

筑波山の豊かな自然をいかした観光アウトドア体験の充実のため、筑波ふれあいの里をアウトドア観光の拠点とすべく、敷地内の測量を実施し、整備にむけた準備をすることができた。(20,000㎡)

#### (5) 第3次観光基本計画の策定

第3次つくば市観光基本計画策定委員会を設置し、計5回の会議を経て計画を策定することができた。

## (1) 筑波山麓秋祭り補助事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催期間	日間	中止	中止	5	8	9
補助金交付額	千円	572	407	5,250	1,500	1,750
来場者	人	中止	中止	52,000	68,000	63,000

## (2) 観光案内業務(窓口案内件数)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
筑波山観光案内所	件	12,849	10,924	12,437	7,416	7,351
(うち外国人)	件	289	338	800	-	-
BiViつくば総合案内所	件	9,845	6,833	19,504	19,237	20,157
(うち外国人)	件	638	568	3,280	3,567	3,995

## (3) スポーツツーリズムの実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用団体数	団体	0	3	82	87	94
施設利用延べ人数	名	0	210	5,597	6,071	6,392

## 3 つくば市学術会議支援事業

学術会議の開催を促進し、国際観光都市の形成を図り、もって観光振興及び地域経済の活性化に寄与するため、補助金を交付する。

## 【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、学術会議の開催が難しい状況となる中、会議誘致に向けた感染防止対策に対応した補助メニューを設けることにより、3件の会議を誘致することができた。

## MICE支援補助事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助金申請件数	件	17	26	30	19	19
(うち交付件数)	件	3	0	29	18	17
補助金交付額	千円	1,163	0	21,905	9,405	10,905

## 4 筑波山交通渋滞対策事業

ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに関係機関と連携し筑波山の交通渋滞対策として、渋滞情報や駐車場の情報を発信、混雑箇所への警備員の配置、看板設置による迂回誘導を実施する。

また、登山道においても、激しい混雑が発生していることから、女体山頂付近での状況を調査し対策を実施する。

## 【成果】

以下の対策を実施したことで、混雑を緩和することができた。

## (1) 交通渋滞対策

茨城県及び関係機関と連携し、パークアンドバスライドや迂回誘導看板設置や混雑情報発信、警備員による市営駐車場の交通誘導等

## (2) 登山道混雑緩和対策

①女体山頂付近に誘導員を配置し、列整理や案内アナウンスの実施による混雑の緩和

②登山道における混雑状況の現地調査実施による実態把握

## 筑波山渋滞緩和対策の実施(※1)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
パークアンドバスライド実施日数(春)	日	2	中止	3	3	3
パークアンドバスライド実施日数(秋)	日	3	中止	1	3	3
守谷SA迂回案内チラシ配布	日	中止	中止	1	1	-

筑波山シャトルバスの最大所要時間（つくば駅⇒つつじヶ丘区間） 通常所要時間：55分（※2）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
春最大(P&BR実施)	分	120	運休	180	160	180
春最大(P&BR未実施)	分	55	運休	270	55	55
秋最大(P&BR実施)※3	分	180	-	55	150	120
秋最大(P&BR未実施)	分	170	270	150	220	150

登山道混雑誘導(つつじヶ丘⇒女体山頂) 通常90分（※3）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施日数	日	4	2	-	-	-
一方通行未実施	分	-	205	-	-	-
一方通行実施	分	140	160	-	-	-

- ※1 令和2年度はパークアンドバスライド未実施のため、実施時データなし。  
令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、SAでの迂回案内は実施しなかった。
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度春のGW期間中はシャトルバスを運休した。
- ※3 登山道混雑誘導における一方通行については、令和3年度は実施時のみの計測。

5 おもてなし観光推進事業

つくば市を訪れた方の満足度向上を目的に、つくばの魅力案内する観光ボランティアガイドの育成事業を実施する。

【成果】

(1) 観光ボランティアガイド育成事業

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、観光ボランティア育成講座を実施することにより、ガイドの質の向上を図ることができた。

(2) 筑波山ネイチャーガイド事業

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった。

ボランティアガイド

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
登録人数	人	43	52	48	40	39
育成講座開催件数	回	9	11	16	8	12

筑波山ネイチャーガイド

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催日数	日	中止	中止	9	9	11
利用者	人	中止	中止	1,380	2,057	2,823

※平成25年度～平成30年度は、筑波山頂駅2階に臨時のビジターセンターを設け、筑波山の自然を紹介する展示を実施した。令和元年度からは、御幸ヶ原にて筑波山のネイチャーガイドを実施している。

※令和2年度、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

6 フットパス事業

市内に点在する観光資源を活用し、市内周遊観光を促進するため、フットパスの企画及び道標を整備し、年間を通して魅力的な観光地を提供し、通年での誘客促進を図る。

【成果】

フットパスマップの配布、スタンプラリー企画の実施などで、以下の成果を得ることができた。

- (1) 周遊観光コンテンツの電子化事業として、小田地域でスタンプラリーを新規に実施することによる周遊観光の促進
- (2) 実施したスタンプラリー企画の結果をもとに、次年度以降の周遊観光事業に向けた計画の策定
- (3) 各種フットパスマップの情報を改訂し、市内観光施設等へ配布・設置することによる、周遊観光の促進

フットパスマップの増刷

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
増刷数	部	8,000	8,000	3,000	10,000	-
改訂数	コース	2	2	3	2	-

周遊観光電子化事業（スタンプラリー）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数	人	967	-	-	-	-

7 サイエンスツアー事業

(1)つくばに所在する研究機関等との連携を強化し、本市に集積する科学技術への理解を深めるとともに、科学教育の充実や、観光、飲食業をはじめとする地域産業の活性化を目的として、サイエンスツアー事業を実施する。

（つくばサイエンスツアー実行委員会（事務局：茨城県）から（一財）茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスツアーオフィスへ事業委託）

(2)サイエンスツアーバスを巡回させ、市内回遊性の強化により、個人等の利便性向上を図る。

また、学校や企業をはじめとする各種団体の見学アレンジ等を行い、つくばの研究機関等への誘客を促進する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努め、サイエンスツアーオフィスや各研究機関と連携し、サイエンスツアーバスの運行、夏休み特別企画などを実施することで、観光誘客を推進することができた。

また、サイエンスツアーバスのスタッフガイドコースのガイドとして、ボランティアガイド298のメンバーを育成したことで、ガイドの人数を増やし、スタッフガイドコースの増設に向けた準備をすることができた。

昨年度までつくばセンターでのみ実施していた工作実験イベントを、大穂交流センターでも実施し、市郊外でのサイエンスツアーPRを行うことができた。

サイエンスツアー受け入れ状況※

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受入人数	人	5,592	2,150	11,976	14,478	16,209
受入団体数	団体	67	34	225	257	278

サイエンスツアーバス利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
バス乗客者数	人	1,364	600	5,358	4,575	4,601
(うち夏休み期間)	人	376	247	2,788	1,947	1,762

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、見学施設の休館が多く、受入人数等が減少した。

※令和3年4月3日～4月11日、8月20日～9月26日の期間、新型コロナウイルス感染症の影響により、ツアーバスは運休、イベントは中止となった。



## 8 観光PRの実施

- (1) つくばフェスティバル、まつりつくば、筑波山梅まつり等のイベント情報、四季折々のつくばの観光情報などについて、各種キャンペーンやメディア等を通じて観光PRを行う。
- (2) 守谷、菖蒲、酒々井等の高速道路のSAにチラシを設置し、つくば市の観光PRを実施する。
- (3) SNS等を活用した観光PRを実施する。

### 【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響で、積極的なPR活動は難しいことから、状況に応じた以下のPR活動を実施し、観光地としての知名度向上が図ることができた。

- (1) つくば市の観光情報を新聞等のメディア(東京新聞、Couta)に提供することによる、イベント等のPR実施
- (2) インバウンド向けウェブサイト (Guidoor、JFM) へ記事掲載をすることによる、外国人観光客への情報発信の強化
- (3) SNSを活用し市観光情報を定期的に発信することによる、新たなフォロワーの獲得

#### ■観光PR

##### 【令和3年度】

- (1) 漫遊いばらき観光キャンペーン (2) 総理大臣表敬

##### 【令和2年度】

- いばらき応援プロジェクト(IBS)

##### 【令和元年度】

- (1) 夏の筑波山観光キャンペーン (TX秋葉原駅構内) (2) 茨城県人会賀詞交歓会
- (3) 都庁キャンペーン (4) 寅さんサミット (5) 筑波山梅まつりキャンペーン

##### 【平成30年度】

- (1) 総理大臣表敬 (2) 荒川区表敬、キャンペーン (3) 筑波霞ヶ浦広域観光協議会キャンペーン
- (4) 茨城県人会賀詞交歓会 (5) 茨城県知事表敬 (6) みとちゃん誕生会 (7) その他

##### 【平成29年度】

- (1) ブルーベリーフェスティバルin東京交通会館 (2) いばらき産直市
- (3) おもてなし県民大会 (4) 都市対抗野球大会物産展 (5) いばらきマルシェつくばフェア 等

#### 新聞への広告掲出

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
記事掲載件数	件	1	1	5	2	2

#### SA/PAチラシ設置

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
梅まつり等リーフレット	枚	0	8,000	17,600	7,200	3,000

#### SNSによるPRの実施(観光推進課公式Twitter・Instagram)※

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
Twitterフォロワー数	名	5,359	3,980	3,164	2,548	-
ツイート数	件	248	52	15	-	-
ツイートへの「いいね」数	件	7,553	2,653	839	1,098	2,166
Instagramフォロワー数	名	578	-	-	-	-
Instagram投稿件数	件	46	-	-	-	-
Instagram投稿への「いいね」数	件	2,440	-	-	-	-

※Twitterによる集計可能な数値のみ記載

※Instagramは令和3年度11月より運用を開始

事業名：観光客動態調査に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	15	本年	328				328		309	94.1
				前年	402				402		270	67.2
				比較	△ 74				△ 74		39	-
【参考】前々年度					400				400		346	86.6

節別支出済額(単位:千円)

委託料 309

概要及び成果

1 観光客動態調査事業

市内の観光地等における観光客の動態を把握し、観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得ることを目的として、観光入込客数の調査を実施する。

【成果】

つくば市内の代表的な研究施設（見学受入施設）等からの情報収集及び筑波山等での調査を行ったことで、つくば市の入込客数を把握することができた。

筑波山は自動車の交通量、宝篋山は登山者の通行量を調査を行い入込客数を集計し、その他については各施設から報告を受けた数値を県に報告した。

つくば市観光入込客数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
つくば市全体	人	2,383,500	2,344,400	4,158,800	4,489,500	3,911,400
筑波山全体	人	1,766,800	1,969,100	2,463,600	2,693,300	2,304,700
(うち梅まつり)	人	0	75,000	130,000	190,000	170,000
宝篋山	人	104,400	124,700	99,700	99,500	-

筑波山来訪県別データ※

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
茨城県	%	30.3	33.0	-	-	-
千葉県	%	26.2	22.7	-	-	-
埼玉県	%	19.2	15.2	-	-	-
東京都	%	10.7	10.3	-	-	-
栃木県	%	6.6	6.0	-	-	-
神奈川県	%	4.1	2.8	-	-	-
群馬県	%	1.6	1.5	-	-	-
福島県	%	0.0	0.2	-	-	-
その他	%	2.6	8.3	-	-	-

※ 令和3年度は、筑波山市営第3駐車場において、11月21日と11月23日に調査を実施。

事業名：筑波山地域ジオパーク推進に要する経費

経済部 ジオパーク室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	16	本年	8,017		△ 1,421		6,596		5,218	79.1
				前年	8,266	4,453	△ 2,374		10,345	10,165	98.3	
				比較	△ 249	△ 4,453	953		△ 3,749	△ 4,947	-	
【参考】前々年度					16,050		△ 1,811		14,239	4,453	5,550	70.2

節別支出済額(単位:千円)

報償費	35	旅費	5	需用費	852	使用料及び賃借料	303
備品購入費	163	負担金補助及び交付金	3,861				

概要及び成果

1 筑波山地域ジオパーク推進事業

地球科学的に価値の高い地形・地質を含む自然遺産を保全・保護するため、以下の取組を推進し、地域の持続可能な発展を目指す。

- ・学校教育を通じた教育・普及活動（出前授業や支援プログラムの実施）
- ・保全体制の強化（保全対象の調査、保全計画の検討）
- ・ジオガイドの養成及び体制づくり、ジオツアーの開催（ジオガイド組織の立ち上げ、ジオツアーの充実）
- ・他のジオパークとの情報交換及び連携（JGN大会への参加）
- ・ボトムアップの協議会体制の強化（各部会活動の推進、会合の定期開催）

【成果】

- ・令和3年度から協議会専門員1名を雇用し、教育担当として学習指導要領の把握や教育プログラムの作成等に取り組むことで、学校教育を通じた教育・普及活動を推進することができた。
- ・ジオサイトの再定義に伴う保全対象の見直しについて、選定基準を定めることで、保全体制の強化に向けた計画を推進することができた。
- ・筑波山地域ジオパーク基本計画及びアクションプランを策定し、地域全体でジオパークに取り組むための方針を示すことで、協議会体制の強化を図ることができた。

令和3年度筑波山地域ジオパーク推進協議会（6市）の活動実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
出前授業数 ※1	授業数	11	10	9	7	12
市民講座数 ※1	講座数	9	5	8	36	29
ジオツアー数 ※1	ツアー数	7	6	11	15	13
PRイベント数 ※1	イベント数	6	2	18	25	24
ジオパーク認定商品の新規認定数 ※2	品	15	14	9	13	-
ジオガイド育成のための講座開催数 ※3	回	13	16	2	4	-

ジオパーク室の活動実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
パンフレット印刷部数 ※4	部	11,000	11,000	10,000	-	-
総合案内・解説看板設置数	箇所	0	3	3	1	2

※1 講座等の開催数を集計（複数日かかるプログラムであっても、開催数は1回として集計）

※2 平成30年度から筑波山地域ジオパーク認定商品の認定制度を開始

※3 平成29年度からジオガイドの認定制度を開始

※4 パンフレット4種類の印刷部数の合計数

事業名：ジオパーク中核拠点施設整備事業に要する経費

経済部 ジオパーク室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
07	01	03	17	本年	22,249		△ 3,700		18,549		17,815	96.0	
				前年									
				比較	22,249		△ 3,700		18,549		17,815	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
報償費		50		旅費		2		委託料		17,763			
概要及び成果													
<p>1 中核拠点施設整備事業  筑波山地域ジオパーク関係者及び地域住民等を対象にしたアンケートや意見交換会を実施し、広く意見や希望を反映した基本構想・計画を策定する。基本構想・計画を元に設計・改修工事を行い、筑波山地域ジオパークの中核を担う施設を整備する。</p> <p>【成果】  関係各課及び関係者と協力しながら以下の設計業務を完了し、筑波山地域ジオパークの中核を担う施設の整備を進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧筑波東中学校リノベーション設計</li> <li>・筑波山地域ジオパーク中核拠点施設展示設計</li> </ul>													

事業名：こもれび六斗の森施設管理運営に要する経費

経済部 荳崎こもれび六斗の森

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	04	11	本年	109,788				109,788		79,196	72.1
				前年	115,020		△ 22,567		92,453		87,208	94.3
				比較	△ 5,232		22,567		17,335		△ 8,012	-
【参考】前々年度					43,747				43,747		39,136	89.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	3,294	役務費	799	委託料	12,762	使用料及び賃借料	4,882
工事請負費	56,914	備品購入費	83	負担金補助及び交付金	462		

概要及び成果

1 荳崎こもれび六斗の森管理運営事業

豊かな自然保全に努めるとともに、観光施設としての適切な各施設（キャビン、バーベキュー場、テントサイト、オートキャンプサイト）の管理運営を行っている。

【成果】

- (1) 施設を適切に維持管理することで、利用客に快適で魅力的な施設を提供した。
- (2) 団体用屋根付きバーベキュー場の整備と屋根付きバーベキュー場の照明設備を整備したことにより、利用者に対して快適な利用の場を提供することができた。

【施設利用状況】

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
キャビン	人	1,098	920	1,888	2,179	2,347
バーベキュー場	人	660 ※3	1,159	3,314	7,078	8,088
テントサイト	人	2,154	1,326	3,055	5,759	3,854
オートキャンプサイト ※1	人	982	286	639	-	-
合計	人	4,894	3,691 ※2	8,896	15,016	14,289

【年度別収入】

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
施設使用料	千円	8,316	4,798 ※2	9,472	8,904	8,458

※1 オートキャンプサイト：平成31年4月1日から供用開始

※2 令和2年度の施設利用人数及び施設利用料が前年度より減少した要因は、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言等による休所及び施設の利用制限を行ったことによるもの。

※3 令和3年度も前年同様に施設の利用制限を行ったことによるもの。

事業名：道路計画事務に要する経費

建設部 道路計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	11	本年	88,840	9,482			98,322	73,307	24,183	99.2
				前年	11,078	12,551	△ 45		23,584	9,482	13,886	99.1
				比較	77,762	△ 3,069	45		74,738	63,825	10,297	-
【参考】前々年度					31,684		△ 3,061		28,623	12,551	15,542	98.1
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				109	委託料		9,482	負担金補助及び交付金	14,592			
概要及び成果												
<p>1 道路計画事務に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、県道のバイパス建設及び改良整備等の促進、河川等の治水事業の促進を図るため、各路線及び各河川における関係市町との整備促進期成同盟会等に参加し、国及び県への要望活動に参加する。(19団体) また、職員の技能・知識等の向上を図るための協議会等において、会議、研修に参加する。(8団体)</li> <li>・市内の交通渋滞の解消と地域住民の安全と福祉に寄与するため、市内の渋滞状況を把握し、問題点や解決に向けた方策等を検討する。(令和元年度～令和3年度継続事業 総額23,536,700円)</li> <li>・茨城県が実施する西谷田川の河川改修事業に合わせ、県に負担金を支払い、狭隘な高山橋の架け替えを行う。(令和2年度～令和6年度継続事業 総額178,850,000円)</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各整備促進期成同盟会等が、国・県への要望活動等を実施したことにより、事業の促進が図られた。また、各構成市町間での情報共有、意識共有ができ、路線ごとの整備の進捗状況に合わせた要望をすることができた。</li> <li>・市内の対策が必要と思われる渋滞箇所について、渋滞要因の分析を基に、対策の方針について取りまとめた。(令和2年度からの繰越額9,482,000円を支払い完了済)</li> <li>・茨城県への高山橋改築工事負担金については、令和3年度末までに完了している詳細設計及び迂回路整備工事費14,117,031円の支払いをした。(橋梁下部工事が令和4年度へ繰り越しとなり、令和3年度継続費予算額87,424,000円からの差引額73,306,969円を令和4年度へ通次繰越)</li> </ul>												

事業名：道路管理事務に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	12	本年	49,221	27,120			76,341		76,000	99.6
				前年	77,881	24,660	△ 66		102,475	27,120	73,545	98.2
				比較	△ 28,660	2,460	66		△ 26,134	△ 27,120	2,455	-
【参考】前々年度					51,770		63,519		115,289	24,660	87,553	97.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,086	役務費	5,153	委託料	40,568	使用料及び賃借料	1,848
負担金補助及び交付金	27,202	補償・補填及び賠償金	142				

概要及び成果

1 アダプト・ア・ロード事業

市と実施団体が協働し、市道の一定区間について、地域のボランティア団体等が愛着をもって美化作業や清掃活動を行う。道路管理者は、作業道具の貸与やゴミ回収など活動の支援を行う。

【成果】

各団体に美化活動を行ってもらうことで、道路に対する市民の愛護意識を高めることとなった。また、綺麗で快適な花による彩のある道路環境作りを推進できた。  
チラシ配布等の広報活動により3団体増えたが、新型コロナウイルスの影響により活動休止となった団体が1団体あった。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加登録団体数	団体	23	20	23	22	21
うち活動休止団体数	団体	1	0	0	0	0

2 道路管理事務事業

- ・個人及び事業者に対し、道路占用許可書を交付し、祭事等の行為において道路使用届を受理する。
- ・法定外公共物を管理するために、使用許可書を交付する。
- ・払下げについては、法定管理期間満了後に用途廃止手続を行い普通財産管理部門に引継ぎを行う。
- ・申請に基づき、道路・水路・里道等と民有地の境界について立会による査定を行い、隣接地権者及び管理団体等の同意を得た官有地について査定図を備えつける。

【成果】

占用申請、施工許可申請等に対し適切な許認可を行い、道路機能の維持管理を行うことができた。  
また、道路境界立会については申請から1ヶ月以内に査定立会を実施し適正期間に処理することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
道路占用許可件数	件	1,579	1,368	1,419	1,455	1,217
道路の承認工事件数	件	240	204	219	311	202
道路の境界確認件数	件	574	476	526	509	512
法定外公共物使用許可件数	件	133	119	45	105	63
法定外公共物工事施行許可件数	件	78	62	17	7	10
道路の払下げ件数	件	15	6	11	14	6
道路の払下げ面積	m2	1,673.64	228.30	712.01	960.12	3,134.87

3 道路台帳管理事務事業

市道の路線の認定・廃止・変更等の異動を道路台帳に反映をさせる。つくば市道管理台帳の加除補正を業務委託し、毎年更新作業を実施し、市民に最新の地図情報を提供する。

【成果】

市道の認定・変更・廃止など道路台帳の更新を行い、閲覧者に対し最新の道路情報を提供することができた。また、道路の維持管理を行う上でも基礎資料になることから、適正な管理を行った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
道路の認定	路線	82	122	31	100	193
道路の廃止	路線	12	166	5	73	298
道路の変更	路線	55	40	30	25	66

4 道路管理協議事務事業

つくば市道について、地域の地形、地質、気象その他の状況及び当該道路の交通状況を考慮し、車両の通行に対して安全な構造とするとともに、円滑な交通を確保する。

【成果】

国、県、民間機関などが設置し市へ移管する道路について、設計・施工協議や施工段階確認を適切に行い、道路の安全確保や適切な維持管理を実施することができた。

特殊車両の通行協議について遅滞なく適切に協議回答し、安全かつ円滑な交通を確保することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開発に伴う協議	回	71	51	55	47	56
特殊車両通行協議	件	1,256	1,027	875	789	863

事業名：登記事務に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	13	本年	7,909				7,909		6,938	87.7
				前年	9,207		△ 1,687		7,520		7,225	96.1
				比較	△ 1,298		1,687		389		△ 287	-
【参考】前々年度					9,565				9,565		6,550	68.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	133	役員費	18	委託料	6,059	使用料及び賃借料	729
-----	-----	-----	----	-----	-------	----------	-----

概要及び成果

1 登記事務事業

道路拡幅事業に伴う用地買収、未登記処理等に伴う様々な登記を行う。

【成果】

道路拡幅事業及び未登記処理等の登記申請件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
登記件数	件	360	507	488	471	407



事業名： 営繕事務に要する経費

建設部 公共施設整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	14	本年	4,193				4,193		3,810	90.9
				前年	3,967		△ 121		3,846		3,386	88.0
				比較	226		121		347		424	-
【参考】前々年度				2,420				2,420		2,393	98.9	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	3	需用費	871	委託料	322	使用料及び賃借料	2,147
備品購入費	129	負担金補助及び交付金	340				

概要及び成果

1 営繕工事事務

- (1)設計工事額130万円を超える営繕工事の発注及び監督業務を行う。  
 (2)営繕工事に係る設計業務の発注及び監督業務を行う。  
 (3)設計工事額10万円以上130万円以下の、工事請負費にて支出を行う修繕工事の発注及び監督業務を行う。

【成果】

監督職員の知識や技術が向上し、適正な工事内容での発注及び監督業務を的確に実施できるようになり、公共建築工事の品質が確保された。

- (1)設計工事額130万円を超える営繕工事の発注及び監督業務を行った、主な工事の名称と契約金額※
- ・3-4国債（仮称）研究学園小学校・中学校建設工事 5,594,380千円
  - ・3-4国債（仮称）香取台地区小学校外建設工事 3,408,900千円
  - ・3-4市単（仮称）研究学園小学校・中学校拡張グラウンド整備工事 366,300千円
  - ・3国補（仮称）葛城小学校児童クラブ兼コミュニティ施設建設工事 258,115千円
  - ・3市単旧消防本部解体工事 156,200千円
  - ・その他工事 62件

- (2)営繕工事に係る設計業務の発注及び監督業務を行った、主な業務の名称と契約金額※
- ・2-3国債（仮称）みどりの南小学校・中学校校舎建設基本・実施設計業務委託 301,862千円
  - ・2-3市単（仮称）みどりの学校プール建設基本・実施設計業務委託 85,771千円
  - ・3-4市単（仮称）新桜学校給食センター建設基本・実施設計業務委託 54,852千円
  - ・3国補つくばセンタービル公共施設改修設計業務委託 42,889千円
  - ・その他設計業務 49件

- (3)修繕工事の発注及び監督業務を行った。※

(1)営繕工事実施件数及び工事額※

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
件数	件	67	58	59	45	20
工事額	千円	12,122,482	2,145,199	1,442,401	4,044,862	14,471,924

(2)設計業務実施件数及び委託額※

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
件数	件	53	69	40	-	-
委託額	千円	583,386	828,929	376,252	-	-

(3)修繕工事依頼受理件数及び工事額※

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
件数	件	234	611	712	-	-
うち契約件数	件	167	440	454	-	-
工事額	千円	141,453	274,278	299,262	-	-

※ 当課にて発注及び監督業務を実施した工事及び設計業務は、すべて主管課より予算の令達を受けて実施したものである。

事業名：道路維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	02	01	11	本年	1,148,034	96,724	△ 43,514	16,362	1,217,606	125,422	1,076,537	98.7
				前年	1,167,968	119,784	△ 80,734		1,207,018	96,724	1,101,863	99.3
				比較	△ 19,934	△ 23,060	37,220	16,362	10,588	28,698	△ 25,326	-
【参考】前々年度				1,093,786	140,932	△ 32,800	4,621	1,206,539	119,784	1,056,287	97.5	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	8,510	役務費	436	委託料	388,320	使用料及び賃借料	644
工事請負費	675,679	原材料費	2,948				

概要及び成果

1 道路維持管理事業

市が管理する道路、水路等の修繕・補修工事を迅速に処理する。

地区要望に対応し、舗装修繕工事、排水改修工事及び通学路内での除草と、常磐道の側道と調整池及び水路の除草を実施

【成果】

舗装工事や測量設計委託の円滑な実施に伴い市民の安全な通行の確保ができた。

道路補修・維持工事

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
工事件数	件	363	412	338	287	406

通学路等の除草

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
小学校区	小学校区	21	21	21	21	27
除草面積	m <sup>2</sup>	808,341	805,303	607,771	529,400	521,406

舗装打替え工事

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
路線数	路線	11	15	18	13	21
施工延長	m	2,654	3,557	2,960	2,589	9,337
施工面積	m <sup>2</sup>	17,643	21,843	18,078	12,576	50,096

橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁点検

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
橋梁点検数	橋	135	151	57	94	155

事業名：橋梁に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	02	01	12	本年	150,491	30,969			181,460	14,062	140,882	85.4
				前年	127,431	210,349	△ 80,516		257,264	30,969	202,660	90.8
				比較	23,060	△ 179,380	80,516		△ 75,804	△ 16,907	△ 61,778	-
【参考】前々年度					262,472		△ 28,672		233,800	210,349	21,960	99.4
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				31,971	工事請負費		108,912					
概要及び成果												
1 橋梁長寿命化修繕・耐震補強事業 橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁（橋長15m以上）の修繕・補修工事を実施するとともに、阪神淡路大震災以前の耐震基準の橋梁に対し、耐震補強工事を実施する。												
【成果】 長寿命化修繕計画に基づき、北陸橋、講和橋、下広岡橋、姥久保橋の修繕工事を完了させたことにより、車両及び歩行者の安全な通行を確保することができた。耐震補強事業については、高速道路跨道橋耐震工事をNEXCOと調整中。												
橋梁長寿命化修繕工事												
		単位		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
施工橋梁数		橋		4	3	1	2	1				
耐震補強工事												
		単位		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
施工橋梁数		橋		0	2	1	1	0				

事業名：道路新設改良に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
08	02	02	11	本年	609,352	218,603			827,955	205,060	554,636	91.8			
				前年	956,343	377,899	△ 224,416		1,109,826	218,603	815,514	93.2			
				比較	△ 346,991	△ 159,296	224,416		△ 281,871	△ 13,543	△ 260,878	-			
【参考】前々年度					1,407,018	343,946	△ 51,200	△ 4,621	1,695,143	377,899	906,585	75.8			
節別支出済額(単位:千円)															
旅費				21	委託料		133,630		工事請負費		323,148		公有財産購入費	37,400	
補償・補填及び賠償金				60,437											
概要及び成果															
1 道路新設改良事業 (1)道路改良 地元要望を踏まえ、一定の基準の下に必要性を評価し、生活道路の拡幅整備を行う。															
【成果】 生活道路を効果的に拡幅整備することにより、幅員の狭い道路の解消、雨水の処理が行われ、歩行者及び車輛の安全が確保され、良好な道路環境が確保された。															
(1)道路改良舗装															
		単位		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度							
路線数		路線		21	31	24	29	29							
施工延長		m		2,068.8	4,576.9	4,254.3	4,712.6	5,612.3							

事業名：緊急地方道整備に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
08	02	03	11	本年	44,726		△ 9,490		35,236	31,654	2,487	96.9	
				前年	68,271	132,915	△ 63,169		138,017	124,573	90.3		
				比較	△ 23,545	△ 132,915	53,679		△ 102,781	31,654	△ 122,086	-	
【参考】前々年度				380,069	64,204	△ 194,239		250,034	132,915	102,438	94.1		
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				993	役員費		37	委託料		801	使用料及び賃借料		644
備品購入費				12									
概要及び成果													
<p>1 緊急地方道整備事業</p> <p>国、県の補助事業を導入し市内幹線道路の整備を行い、道路網の確立を図ることで、市全体の経済活動、地域活動を活性化するため。</p> <p>(1)市道1-71号線整備事業 (L=852m)</p> <p>【成果】</p> <p>(1)市道1-71号線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路改良舗装工事L=180mを発注し実施中 (令和4年度へ繰越)</li> </ul>													
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
酒丸上沢線(第2工区)用地取得				m <sup>2</sup>	-	1,368.14	476.04	1,169.80	5,186.85				
酒丸上沢線(第2工区)工事				m	-	-	-	-	225.2				
台町萱丸線(第2工区)用地取得				m <sup>2</sup>	-	3,572.73	-	-	-				
台町萱丸線(第2工区)工事				m	-	-	-	-	-				
市道1-71号線 工事				m	180	200	233	108.5	344				

事業名：都市計画道路整備に要する経費

建設部 都市計画道路整備推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	02	03	12	本年	169,992	15,891	35,987		221,870	132,292	83,545	97.3
				前年	172,536		△ 112,517		60,019	15,891	39,313	92.0
				比較	△ 2,544	15,891	148,504		161,851	116,401	44,232	-
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

需用費	161	役員費	2	委託料	17,624	使用料及び賃借料	611
工事請負費	2,461	公有財産購入費	21,304	補償・補填及び賠償金	41,382		

概要及び成果

1 都市計画道路整備事業

国、県の補助事業を導入し市内都市計画道路の整備を行い、道路網の確立を図ることで、市全体の経済活動、地域活動を活性化するため。

(1)酒丸上沢線整備事業(第2工区)(L=2,520m)

(2)台町萱丸線整備事業(第2工区)(L=1,367m)

【成果】

(1)酒丸上沢線(第2工区)

・用地買収3,838.78㎡の契約をした。(全体の86.0%)

(2)台町萱丸線(第2工区)

・用地買収402.06㎡の契約をした。(全体の19.0%)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
酒丸上沢線(第2工区)用地契約	㎡	3838.78	3,694.62	-	-	-
酒丸上沢線(第2工区)工事	m	0	0	-	-	-
台町萱丸線(第2工区)用地契約	㎡	402.06	4,303.58	-	-	-
台町萱丸線(第2工区)工事	m	-	-	-	-	-

※令和元年度以前は、緊急地方道整備に要する経費で計上している。

※令和2年度については、緊急地方道整備に要する経費で取得した用地面積(酒丸上沢線(第2工区)1,368.14㎡、台町萱丸線(第2工区)3,572.73㎡)を含む。

事業名：河川維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
08	03	01	11	本年	5,194				5,194		4,311	83.0																					
				前年	5,434		△ 11		5,423		4,060	74.9																					
				比較	△ 240		11		△ 229		251	-																					
【参考】前々年度					4,770				4,770		4,681	98.1																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費				4	役務費		176	委託料		4,131																							
概要及び成果																																	
<p>1 河川清掃活動 小貝川クリーン大作戦 流域集落の区会を通して地区住民の参加を募り、清掃活動を実施する。 ※河川事務所（国）との連携事業（国が予算措置している。）</p> <p>【成果】 7月10日小貝川クリーン大作戦実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となり清掃活動が行えなかった。</p>																																	
<p>2 小貝川排水樋管操作点検 小貝川排水樋管9箇所への操作・点検について操作員に委託を行い、適切に管理することにより災害予防を図る。</p> <p>【成果】 台風等の災害により令和2年度に比べ排水樋管の操作や待機時間は増加したが、小貝川排水樋管9箇所を適切に管理し災害予防を図ることができた。</p> <p>小貝川排水樋管の管理</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>操作</td> <td>時間</td> <td>89</td> <td>79</td> <td>100</td> <td>39</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>待機</td> <td>時間</td> <td>467</td> <td>239</td> <td>1,526.5</td> <td>180.5</td> <td>712</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	操作	時間	89	79	100	39	63	待機	時間	467	239	1,526.5	180.5	712
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
操作	時間	89	79	100	39	63																											
待機	時間	467	239	1,526.5	180.5	712																											

事業名：河川整備に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
08	03	01	12	本年	81,290	49,604	△ 12,540		118,354		109,886	92.8																					
				前年	156,404	59,921	△ 82,700		133,625	49,604	71,344	90.5																					
				比較	△ 75,114	△ 10,317	70,160		△ 15,271	△ 49,604	38,542	-																					
【参考】前々年度					122,176	50,060	△ 21,500		150,736	59,921	37,441	64.6																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
委託料				28,232	工事請負費		30,305	公有財産購入費		5,530	補償・補填及び賠償金		45,820																				
概要及び成果																																	
<p>1 市内の河川整備 八幡川河川改修事業(L=1, 100m) 台風、大雨等による河川の氾濫を最小限に食い止めるために、河川改修等の整備を進める。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 委託 ・河川改修工事に伴い架け替えが必要となる橋梁の詳細設計業務委託1件を実施した。</p> <p>(2) 用地取得 ・河川改修工事に伴う、用地買収311.8㎡を実施し、全体の99%の取得を完了した。</p> <p>(3) 工事 ・河川改修工事L=100.0mを実施した。</p>																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用地取得</td> <td>㎡</td> <td>311.8</td> <td>1,032.7</td> <td>289.6</td> <td>7,552.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>m</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	用地取得	㎡	311.8	1,032.7	289.6	7,552.8	-	工事	m	100	100	-	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
用地取得	㎡	311.8	1,032.7	289.6	7,552.8	-																											
工事	m	100	100	-	-	-																											

事業名：都市計画審議会に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	11	本年	616				616		423	68.7
				前年	764		△ 448		316		244	77.1
				比較	△ 148		448		300		179	-
【参考】前々年度					762		△ 417		345		236	68.3
節別支出済額(単位:千円)												
報酬				336	旅費		84	需用費		3		
概要及び成果												
<p>1 都市計画審議会開催事業 つくば市の都市計画行政推進に必要となる、都市計画決定（用途地域、道路、公園、地区計画等）の案件について、調査、審議を行う。 つくば市都市計画審議会委員：15名（委員は15名以内） &lt;委員の内訳&gt; 学識経験者：9名、市議会議員：2名、関係行政機関の職員：1名、茨城県の職員：1名、市民：2名</p> <p>【成果】 年4回（7月、10月、1月及び3月）都市計画審議会を開催し、諮問5件、報告6件を行った。諮問及び報告案件について審議され、都市行政の円滑な運営を図ることができた。</p> <p>(1) 第1回（7月1日） &lt;諮問事項&gt; 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更について諮問し、可決された。 &lt;報告事項&gt; ①つくばエクスプレス沿線開発地域等の土地利用状況について</p> <p>(2) 第2回（10月6日） &lt;報告事項&gt; ① 用途地域及び地区計画の変更について（上河原崎・中西地区） ② 都市計画公園の変更（近隣公園5か所の追加）について ③ 吾妻第三地区地区計画の決定について</p> <p>(3) 第3回（1月20日） &lt;報告事項&gt; ① 来年度諮問予定案件（高エネ研南側未利用地土地利用方針）について ② 来年度諮問予定案件（吾妻二丁目公務員宿舎跡地）について</p> <p>(4) 第4回（3月25日） &lt;諮問事項&gt; 以下の件について諮問し、可決された。 ① 研究学園都市計画用途地域の変更について（上河原崎・中西地区） ② 研究学園都市計画地区計画「上河原崎・中西地区地区計画」の変更について ③ 研究学園都市計画公園の変更（近隣公園5か所の追加）について ④ 研究学園都市計画地区計画「吾妻第三地区地区計画」の決定について</p>												

事業名：都市計画事業推進に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
08	04	01	12	本年	8,605		△ 2,045		6,560		6,180	94.2		
				前年	9,651		△ 2,617		7,034		6,910	98.2		
				比較	△ 1,046		572		△ 474		△ 730	-		
【参考】前々年度					19,755		△ 7,736		12,019		11,598	96.5		
節別支出済額(単位:千円)														
旅費					5	需用費		426	委託料		4,730	使用料及び賃借料		212
負担金補助及び交付金					807									
概要及び成果														
<p>1 都市計画情報システム管理業務 都市計画の情報をデジタルで管理し、情報提供を行う。</p> <p>【成果】 市ホームページからインターネット配信をしている都市計画マップにおいて、都市計画関連データ（用途地域、地区計画、都市計画施設、屋外広告物、市認定道路、建築基準法指定道路、区域指定対象区域等）の情報提供を行った。 また、データの管理業務として都市計画の変更情報の更新、地番の更新等を行った。</p>														
<p>2 各種都市計画の決定・変更 区域区分、用途地域等の土地利用に関するものや、道路・下水道・公園などの都市施設に関するもの、土地区画整理事業などの市街地開発事業に関するもの及びまちづくりに必要な地区計画などの各種都市計画を定める。</p> <p>【成果】 都市計画の決定・変更により、望ましい都市像への誘導を図ることができた。 ・都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更（令和3年9月2日告示） ・研究学園都市計画用途地域（上河原崎・中西地区）の変更（令和4年3月31日告示） ・研究学園都市計画地区計画「上河原崎・中西地区地区計画」の変更（令和4年3月31日告示） ・研究学園都市計画公園の変更（近隣公園5か所の追加）（令和4年3月31日告示） ・研究学園都市計画地区計画「吾妻第三地区地区計画」の決定（令和4年3月31日告示） ・次年度以降に決定（変更）予定の都市計画について、関係機関との協議や都市計画審議会への事前報告を実施した。</p>														
<p>3 茨城県都市計画協会への加入</p> <p>【成果】 協会からの派遣制度を活用し、研修に参加した。</p>														
<p>4 全国地区計画推進協議会への加入</p> <p>【成果】 全国の地方公共団体間の情報交換、制度活用の検討を行うための研究会に参加した。</p>														



事業名：屋外広告物の管理に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	13	本年	2,405		△ 374	△ 880	1,151		767	66.7
				前年	3,076		△ 1,324		1,752		1,549	88.4
				比較	△ 671		950	△ 880	△ 601		△ 782	-
【参考】前々年度				3,018		△ 396		2,622		2,333	89.0	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	39	役員費	46	委託料	682
-----	----	-----	----	-----	-----

概要及び成果

- 1 屋外広告物申請許可事業  
つくば市屋外広告物条例に基づく許可を行う。  
屋外広告物の許可制度の周知等を推進する。

【成果】

つくば市屋外広告物条例の適正な運用や市ホームページ等での周知活動により、無秩序な広告物の掲出を防止し、街並み景観、道路沿道景観、都市景観等の維持保全が図られた。

申請件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新規	件	80	78	99	143	103
継続	件	123	103	144	143	154
変更	件	96	53	44	50	51

- 2 違反広告物除却事業

研究学園地区内、幹線道路沿線その他違反広告物の多い特定の地域において、簡易に除却できる違反広告物の定期的な除却を行う。

茨城県まちの違反広告物追放推進制度に基づき、地域のボランティア団体を推進団体に認定し、地域における違反広告物の除却を推進する。

【成果】

業務委託及び市職員による定期的なパトロールを実施したことにより、市内の景観保全が図られた。

業務委託等による違反広告物のパトロール

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施日数	日	40	38	52	55	52
除却件数	件	106	128	50	144	346

茨城県まちの違反広告物追放推進団体による除却活動

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施日数	日	54	64	76	78	34
除却件数	件	45	32	66	123	151

事業名：下水道事業会計繰出金

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
08	04	01	14	本年	2,144,381	166,528	△ 88,526		2,222,383	79,430	2,142,953	100.0																												
				前年	3,004,796	128,663	△ 348,725		2,784,734	166,528	1,196,420	48.9																												
				比較	△ 860,415	37,865	260,199		△ 562,351	△ 87,098	946,533	-																												
【参考】前々年度				3,093,446	47,927	△ 424,000		2,717,373	128,663	2,588,710	100.0																													
節別支出済額(単位:千円)																																								
負担金補助及び交付金		34,920	繰出金	2,108,033																																				
概要及び成果																																								
<p>1 下水道特別会計繰出事業 一般会計から下水道事業特別会計へ繰出しを行う。</p> <p>【成果】 一般会計から繰出しを行い、下水道事業の整備推進を図ることができた。</p> <p>一般会計から下水道事業特別会計への繰出金</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>1,933,904</td> <td>989,485</td> <td>2,434,646</td> <td>2,411,327</td> <td>2,435,911</td> </tr> <tr> <td>社会資本整備総合交付金</td> <td>千円</td> <td>209,049</td> <td>206,935</td> <td>154,064</td> <td>109,117</td> <td>286,901</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>千円</td> <td>2,142,953</td> <td>1,196,420</td> <td>2,588,710</td> <td>2,520,444</td> <td>2,722,812</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	一般財源	千円	1,933,904	989,485	2,434,646	2,411,327	2,435,911	社会資本整備総合交付金	千円	209,049	206,935	154,064	109,117	286,901	合計	千円	2,142,953	1,196,420	2,588,710	2,520,444	2,722,812
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
一般財源	千円	1,933,904	989,485	2,434,646	2,411,327	2,435,911																																		
社会資本整備総合交付金	千円	209,049	206,935	154,064	109,117	286,901																																		
合計	千円	2,142,953	1,196,420	2,588,710	2,520,444	2,722,812																																		

事業名：公共交通対策に要する経費

都市計画部 総合交通政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	15	本年	643,325		13,045		656,370		625,203	95.3
				前年	578,014		106,408	1,559	685,981	657,149	95.8	
				比較	65,311		△ 93,363	△ 1,559	△ 29,611	△ 31,946	-	
【参考】前々年度				608,823				608,823		603,236	99.1	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	2	需用費	189	役務費	1,375	委託料	213,223
工事請負費	308	負担金補助及び交付金	410,105				

概要及び成果

- 1 地域公共交通計画進行管理業務（旧：地域公共交通網形成計画進行管理業務）  
つくば市公共交通網形成計画に掲げた施策を着実に実行し、目標を達成していくために、交通施策の企画・調整及びアンケート調査等により、目標達成状況の点検、評価、改善等を行う。

【成果】

つくば市地域公共交通計画を策定  
〔対象期間〕令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）まで

- 2 コミュニティバス「つくバス」運行事業  
9路線において、一日283便、年間365日コミュニティバスを運行

【成果】

令和3年度の利用者738,118人、前年度比14%増（通学での利用を図るため学校との調整を実施）  
・上郷シャトルの増便対応  
・長田広告株式会社と「広告付きバス停留所上屋整備に関する協定」を締結。令和4年度に市の負担なしで14か所のバス停留所に上屋及びベンチを整備予定  
・表示灯株式会社と「つくば市コミュニティバス車内デジタルサイネージ設置事業協定」を締結。令和4年度から広告収入として約300,000円の歳入とバス車内で行政情報を発信する。  
・荃崎シャトルの令和4年度運行開始を調整

年間利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
つくバス	人	738,118	646,036	994,202	1,052,988	1,037,547

- 3 デマンド型交通「つくタク」運行事業  
5地区（筑波、大穂・豊里、桜、谷田部、荃崎）において、平日（年末年始を除く）9時～16時台に運行

【成果】

- ・利用者数は令和3年度44,380人、前年度比8%増
- ・出産支援運賃割引制度を導入し運用開始（R3登録者620人）

年間利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
つくタク	人	44,380	41,071	53,887	55,858	54,636

- 4 支線型バス実証実験事業  
新たな支線交通として、10人乗りワゴン車を用いた支線型バスを2019年度から3年間の実証実験運行。つくタクOD（起終点）データを基に、筑波地区の中心市街地を通るルートを4コース設定し、定時定路線運行。  
運行時間は、概ね8時～18時、土日祝日も運行することにより、つくタクと差別化を行う。

【成果】

令和3年度利用者4,976人、前年度比6%増  
・一番利用が多い第3コースを見直し、（つくば湯～筑波山口～筑波交流センター）令和4年度の10月から本格運行予定

年間利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
支線型バス	人	4,976	4,662	5,749	-	-

5 路線バス実証実験事業（各事業3年間の実証実験運行）

- ①路線バス運賃補填実証実験事業：荃崎地区から牛久駅間の路線バス（4路線）について、つくバス並みの運賃で利用できるように運賃を補填（※ICカード利用のみ）
- ②荃崎地区と牛久駅間の路線バスを新規運行し、つくバス並みの運賃で実施
- ③桜地区を通る民間路線バスの便数を日中時間帯増便

【成果】

- ・令和3年度の利用者は、運賃補填実証実験事業が64,951人、路線バス運行実証実験事業が26,218人、増便実証実験が12,170人、前年度比11%～20%増
- ・路線バス運行実証実験事業は、地域との協議を経て、令和4年度からつくバス「荃崎シャトル」として運行

年間利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
荃崎補填	人	64,951	58,469	79,236	-	-
荃崎新規	人	26,218	21,825	27,075	-	-
桜増便	人	12,170	10,319	11,960	-	-
合計	人	103,339	90,613	118,271	-	-

6 つくば市公共交通活性化協議会の運営

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第六条に基づく協議会  
 構成員33名（令和4年度会長：筑波大学システム情報系社会工学専攻岡本教授）  
 つくば市地域公共交通計画に基づき、市内公共交通の各種施策及び公共交通の利便性向上策について検討を行う。

【成果】

協議会開催回数 5回（うち書面協議2回）  
 実証実験事業の終了と本格運行を開始する事業について協議

事業名：都市景観の形成に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	16	本年	1,105		△ 309		796		568	71.4
				前年	1,828		△ 1,184		644		502	78.0
				比較	△ 723		875		152		66	-
【参考】前々年度					2,345		△ 543		1,802		1,134	62.9

節別支出済額(単位:千円)

報酬	48	旅費	12	需用費	475	負担金補助及び交付金	33
----	----	----	----	-----	-----	------------	----

概要及び成果

1 景観形成事業

市民への情報提供や意識啓発、専門講習等の受講

景観協定に関する指導及び認可、景観審議会の開催

景観法に基づき、条例で定める一定規模を超える建築行為等について計画内容を届出させ、審査する。

幹線道路の沿道において、一定規模を超える建築行為について計画内容を提出させ、協議を行う。

一定規模以上の再生可能エネルギー発電設備の設置について計画内容を届出させ、適正な設置、管理を誘導する。

【成果】

・景観審議会での審議や届出対象行為を景観形成基準に基づき規制誘導することにより、良好な景観の維持・形成を図った。

・一定規模以上の発電設備の設置について、ガイドライン及び要綱に基づき誘導することにより、適正な設置、管理を図った。

景観法及びつくば市景観条例に基づく行為の届出件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
建築物	件	46	47	50	50	50
工作物	件	4	1	0	1	7
開発行為	件	4	4	6	4	6

幹線道路の沿道の景観形成に関する協議書の提出件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
建築物	件	2	1	-	-	-

再生可能エネルギー発電設備の届出件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
太陽光発電設備	件	9	9	15	10	25

事業名：開発審査会に要する経費

都市計画部 開発指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
08	04	01	17	本年	740				740		460	62.2																																			
				前年	1,064		△ 72	△ 40	952		560	58.8																																			
				比較	△ 324		72	40	△ 212		△ 100	-																																			
【参考】前々年度				1,082				1,082		822	76.0																																				
節別支出済額(単位:千円)																																															
報酬		320		旅費		80		需用費		60																																					
概要及び成果																																															
<p>1 開発審査会事務 都市計画法第78条第1項の規定に基づき設置した附属機関であり、開発許可等の処分について、開発審査会を開催し審査を行う。</p> <p>【成果】 市街化調整区域で無秩序な開発行為を抑制し、地域の実情に合った公平かつ適正な制度の運用が図られた。</p> <p>審査会開催状況等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>回</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>審査案件</td> <td>件</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>報告案件</td> <td>件</td> <td>45</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>その他(区域指定等)</td> <td>件</td> <td>165</td> <td>141</td> <td>146</td> <td>135</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	開催回数	回	6	5	8	3	4	審査案件	件	7	6	11	4	3	報告案件	件	45	20	6	4	8	その他(区域指定等)	件	165	141	146	135	117
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
開催回数	回	6	5	8	3	4																																									
審査案件	件	7	6	11	4	3																																									
報告案件	件	45	20	6	4	8																																									
その他(区域指定等)	件	165	141	146	135	117																																									

事業名：開発指導に要する経費

都市計画部 開発指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
08	04	01	18	本年	2,692				2,692		2,375	88.2																												
				前年	1,999		△ 138		1,861		1,634	87.8																												
				比較	693		138		831		741	-																												
【参考】前々年度					1,922				1,922		1,580	82.2																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
需用費					299	委託料		858	使用料及び賃借料	1,188	備品購入費		17																											
負担金補助及び交付金					13																																			
概要及び成果																																								
<p>1 開発許可等事務 申請のあった、都市計画法第29条、第43条等の許可及び都市計画法施行規則第60条の証明に対する許可の事務処理を行う。</p> <p>【成果】 無秩序な開発行為を抑制し、地域の実情に合った公平かつ適正な制度の運用が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市計画法第29条の許可</td> <td>件</td> <td>325</td> <td>242</td> <td>243</td> <td>275</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>都市計画法第43条の許可</td> <td>件</td> <td>125</td> <td>121</td> <td>132</td> <td>101</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>都市計画法施行規則第60条証明</td> <td>件</td> <td>87</td> <td>88</td> <td>98</td> <td>92</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	都市計画法第29条の許可	件	325	242	243	275	209	都市計画法第43条の許可	件	125	121	132	101	91	都市計画法施行規則第60条証明	件	87	88	98	92	110
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
都市計画法第29条の許可	件	325	242	243	275	209																																		
都市計画法第43条の許可	件	125	121	132	101	91																																		
都市計画法施行規則第60条証明	件	87	88	98	92	110																																		
<p>2 開発許可等台帳管理システムの運用 電子データ化した過去の許可案件等を一元管理し、データの集積や抽出を行う。</p> <p>【成果】 データの抽出が正確かつ迅速に行うことができ、市民サービスの向上が図られた。</p>																																								
<p>3 区域指定データの情報提供 ホームページの「都市計画マップ」により、区域指定地域の情報提供を行う。</p> <p>【成果】 市民の利便性の向上が図られた。</p>																																								

事業名：地域まちづくり支援に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
08	04	01	19	本年	1,300		△ 250		1,050		679	64.7	
				前年	1,901		△ 1,596		305		154	50.7	
				比較	△ 601		1,346		745		525	-	
【参考】前々年度				1,519		△ 894		625		396	63.4		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費					210	旅費		5	需用費		163	使用料及び賃借料	33
負担金補助及び交付金					268								

概要及び成果

1 地域まちづくり支援事業  
規則に基づき、市民等が地域で行うまちづくりについて、その活動状況を初期段階から4段階に分類し、それぞれの段階に応じた支援を行う。支援方策としては、市民向けの講座の開催や、登録グループ等へのまちづくり専門家の派遣、活動資金の助成等を行う。

【成果】

まちづくりアドバイザーの派遣により、グループの課題や今後の活動の方向性について議論を深めることができた。

(1)地域まちづくりグループの登録 (登録団体数9)

地域まちづくりグループ名

- ① 研究学園駅センター地区協議会
- ② 松見商店会
- ③ 研究学園グリーンネックレスカルチャーの会
- ④ 春風台美しい村づくりの会
- ⑤ 桜ニュータウンのこれからを考える会
- ⑥ フラワーフィルダーズ (FF会)
- ⑦ 高見原4丁目青年部
- ⑧ つくばロケーションヴィレッジ
- ⑨ 新しい街・研究学園駅周辺を住みやすくする会

(2)地域まちづくり推進団体 (認定団体数2)

- ① テクノパーク桜まちづくりを考える会
- ② グリーンフィールド島名

(3)まちづくりアドバイザーの登録及び派遣

- ① まちづくりアドバイザー登録者 12名
- ② まちづくりアドバイザーをグループ勉強会へ派遣 (2団体へ合計7回)

(4) コンサルタントの登録

コンサルタント登録 6社

(5) 事業周知活動

まちづくりお助け本を増刷した。(150部)

市ホームページにおいて、市民向け講座の開催内容を掲載した。



事業名：自転車のまちづくり推進に要する経費

都市計画部 サイクルコミュニティ推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	20	本年	24,669		8,106		32,775		31,223	95.3
				前年	9,819		△ 2,646		7,173		6,244	87.1
				比較	14,850		10,752		25,602		24,979	-
【参考】前々年度				2,261				2,261		1,863	82.4	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	221	旅費	27	需用費	660	役務費	77
委託料	24,262	使用料及び賃借料	8	備品購入費	4,191	負担金補助及び交付金	1,777

概要及び成果

1 レンタサイクル事業

レンタサイクルの貸出をとおして、移動の利便性の向上を図り、つくば市中心市街地や筑波山麓地域、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線地域等のビジネスや地域振興に寄与する。

【成果】

○移動手段の提供により、ビジネスや地域振興が図れた。緊急事態宣言により45日間の休止があったことに加え、まん延防止等重点措置期間は不要不急の利用を控えるよう周知したが、前年度より利用実績は上がった。

レンタサイクル利用実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
つくば駅	台	3,120	2,852	4,260	4,731	4,565
筑波山口	台	463	612	685	587	535

2 広域レンタサイクル事業

茨城県と9市町から構成される、つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会の広域レンタサイクル部会において、乗り捨て可能な広域レンタサイクル事業を展開し、市域をまたいだ広範囲の移動手段を提供することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化等を図る。

【成果】

○BiViつくば観光案内所において広域レンタサイクルの受付窓口を運営することで、観光を中心とした地域経済の活性化に貢献した。  
○緊急事態宣言等で56日間の休止があったことにより、前年度よりつくば市の利用実績が下がった。

広域レンタサイクル利用実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
全体	台	3,161	3,044	3,115	2,594	1,643
つくば市	台	107	172	130	151	75

3 自転車のまちづくり推進事業

環境に優しく、健康増進にもつながる自転車を市内の重要な交通手段の一つとして位置づけ、つくば市自転車安全利用促進計画に基づき、自転車の安全で適正な利用を促しつつ、市内における自転車利用の向上を図るため、サービス環境の充実や安全教育などの各種取組を行う。

【成果】

○(仮称)つくば市自転車活用推進計画の策定を目的とし、自転車のまちつくば推進委員会の委員の任期満了に伴い新たな体制を構築し、策定に向けた議論を開始した。  
○市内に拠点を有する自転車競技チーム「弱虫ペダルサイクリングチーム」と、7月6日に自転車利用の推進に係る連携協定を締結した。  
○つくば霞ヶ浦りんりんロード推進協議会において、市域を跨いだサイクリングルート構築を提案し、当該事業を推進することとなった。  
○児童自転車用ヘルメット購入補助金制度について、以下の件数の補助を実施した。

児童自転車用ヘルメット購入補助金(上限 2,000円/件)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助件数	件	238	236	-	-	-

4 筑波東中跡地へのサイクリング拠点整備事業

旧筑波東中学校へサイクリング拠点（自転車拠点）を整備することで、市内外のサイクリストを誘客し地域振興を実現すると共に、市民の自転車利用の機運醸成を図ることで、車から自転車への転換を推進する。

【成果】

○旧筑波東中学校への自転車拠点施設整備に向けて、関係各所との協議を重ねたほか、地域住民向け説明会実施等により事業への市民理解を深めた。令和4年度の施設整備の前段階として、校舎リノベーション工事設計及びBMXコース整備工事設計を完了した。

5 シェアサイクル

シェアサイクル実証実験（つくチャリ）を、令和3年10月から令和6年9月の3年間で開始した。事業開始後は、利用データの分析や、利用者の意見等を踏まえ、利便性向上を目指したステーション配置の最適化等を実施する。

【成果】

- 研究学園駅、つくば駅の約2kmの範囲内に20か所のサイクルステーション、自転車50台を配置した。
- 1日当たりの利用件数は、当初の目標値であった20台/日を大幅に超える30台/日を達成し、市民の移動の足となっている。
- 事業実施エリアの地勢・バッテリー切れによるトラブル等の事由を精査し、電動アシスト自転車ではなく、新規技術を活用した自転車を導入することで、利便性向上やコストダウンを達成した。
- 令和3年度地方創生推進交付金を充当し、一般財源の歳出を圧縮した。

事業名：公有地利活用推進に要する経費

都市計画部 公有地利活用推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	21	本年	908,791		607,076		1,515,867	2,651	1,511,815	99.9
				前年	8,252	5,716	5,332,533	△ 1,519	5,344,982		5,341,163	99.9
				比較	900,539	△ 5,716	△ 4,725,457	1,519	△ 3,829,115	2,651	△ 3,829,348	-
【参考】前々年度					16,203		9,609		25,812	5,716	14,564	78.6
節別支出済額(単位:千円)												
報償費				60	需用費		22	工事請負費	1,243	貸付金		1,510,490
概要及び成果												
<p>1 公有地利活用推進事業</p> <p>未利用の公有地について、つくば市公共施設等総合管理計画に基づき、施設ごとに、これまでの経緯、現状、地域の意向等を踏まえ、公的利活用、地域利活用、民間利活用を検討し、有効な利活用を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)筑波地区学校跡地（対象：小学校跡地8校、中学校跡地2校）</p> <p>&lt;利活用方策を進めることができた施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筑波東中学校跡地：ジオパーク中核拠点施設としての利用方針に、自転車拠点施設としての利用方針も新たに加え、令和3年7月3日の市民説明会を経て全体方針を決定</li> <li>田水山小学校跡地：文化芸術創造拠点施設の計画地となる（文化芸術課）。</li> </ul> <p>&lt;令和2年度末までに利活用方策が決定している施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筑波西中学校跡地：広域通信制高等学校（S高）が開校</li> <li>山口小学校跡地：地元利用、一般財団法人による教職員を対象としたセミナー、研修会</li> <li>菅間小学校跡地：民間事業者の生活支援ロボットコンテスト会場（科学技術振興課）</li> <li>小田小学校跡地：小田地域まちづくり振興会による利活用（周辺市街地振興課）</li> </ul> <p>&lt;利活用方策の決定に向け検討を要する施設&gt;</p> <p>北条小、筑波小、作岡小及び田井小学校跡地</p> <p>(2)高エネ研南側未利用地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年4、5月 第2回目のサウンディング型市場調査を実施（12者が参加）</li> <li>令和4年1月 「高エネ研南側未利用地土地利用方針」を策定</li> <li>令和4年3月 公募型プロポーザル実施要領を策定し、3月10日から公募開始</li> </ul> <p>(3)春日消防本部跡地</p> <p>筑波大学のPFI事業による施設整備の公募を進めることができた（障害福祉課）。</p> <p>(4)上郷高校跡地</p> <p>陸上競技場整備基本構想に基づき事業を進めることができた（スポーツ施設整備室）。</p> <p>(5)庁舎跡地（谷田部庁舎跡地、荃崎庁舎跡地）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>谷田部庁舎跡地の一部に谷田部地区交番を移設する施設の整備工事が完了（茨城県警）</li> <li>荃崎庁舎跡地に市民ニーズに応える施設を誘致する利活用の指針を策定した。</li> </ul> <p>(6)つくば市公有地利活用方策検討会の開催</p> <p>開催実績：令和3年11月4日（検討施設：筑波東中学校跡地）</p>												

事業名：市街地振興に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	22	本年	1,195		△ 447		748		744	99.5
				前年	12,739		△ 2,982		9,757		9,743	99.9
				比較	△ 11,544		2,535		△ 9,009		△ 8,999	-
【参考】前々年度				6,427		△ 5,873		554		389	70.1	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	153	委託料	484	負担金補助及び交付金	107
-----	-----	-----	-----	------------	-----

概要及び成果

1 市街地振興事業

- ・国土利用計画法に基づく土地取引の届出受理、及び土地の利用目的方法の審査。
- ・都市再生特別措置法に基づく各種事務の執行、及び都市再生整備計画のマネジメントと適正な国費の執行、関係部署との連絡調整、現計画の事後評価フォローアップの実施。
- ・公有地の拡大の推進に関する法律に基づく事前届け出の受理及び買取希望の照会。
- ・低未利用土地等の譲渡に係る低未利用土地等確認書の交付。

【成果】

- ・国土利用計画法の届出を通じて、適正な土地利用の動向を把握することができた。
- ・都市再生整備計画推進のため関係各課と連携し、適切な進捗管理を行うとともに、前計画の事後評価フォローアップを実施した。
- ・公有地の拡大の推進に関する法律の届け出等を通じて、都市計画施設等の計画的な整備・推進に寄与した。
- ・租税特別措置法に基づき、低額の低未利用土地の譲渡を促進することで、土地の有効活用が図られた。

国土利用計画法に基づく届け出件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
総届出件数	件	100	132	47	54	65

公拡法に基づく届出・申出件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
総届出・申出件数	件	13	19	11	17	19

低未利用土地等確認書の交付件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付件数	件	35	11	-	-	-

事業名：学園地区市街地振興に要する経費

都市計画部 学園地区市街地振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	23	本年	151,167			△ 1,363	149,804	71,885	41,082	75.4
				前年	76,935		848		77,783		75,960	97.7
				比較	74,232		△ 848	△ 1,363	72,021	71,885	△ 34,878	-
【参考】前々年度					24,517				24,517		22,211	90.6
節別支出済額(単位:千円)												
旅費		18	需用費		13,630	委託料		9,298	工事請負費		2,215	
備品購入費		84	負担金補助及び交付金		15,837							
概要及び成果												
<p>1 魅力ある研究学園都市地域の推進事業</p> <p>研究学園都市地域内で土地利用転換が見込まれる国家公務員宿舎跡地等については、地区計画や無電柱化条例等を活用し、緑豊かな市街地を創出するまちづくりを推進する。また、つくばセンター広場の維持管理のほか、つくばの顔となるつくば駅周辺については、パブリックスペース活用や科学技術を取り入れた取組、エリアマネジメントの推進により、つくばらしさが感じられる場を創出し、都市の魅力を高めていく。</p> <p>【成果】</p> <p>国家公務員宿舎跡地については、住宅のみでない機能の導入に向け、土地所有者の財務省との調整を経て、共同で市場型サウンディング調査を実施し、7事業者の参加があった。また、ソトカフェ等によるパブリックスペースの活用を実施し、魅力ある空間を創出した。つくばセンタービルは、令和2年度末に策定した基本計画について市民等の意見を募集し、その結果を踏まえ実施設計を進めた。</p>												

事業名： 周辺市街地振興に要する経費

都市計画部 周辺市街地振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
08	04	01	24	本年	27,897			880	28,777		26,863	93.3	
				前年	29,795		△ 652		29,143		28,403	97.5	
				比較	△ 1,898		652	880	△ 366		△ 1,540	-	
【参考】前々年度				38,328		800		39,128		38,248	97.8		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				12	需用費		623	役務費		17	委託料		22,156
工事請負費				792	負担金補助及び交付金		3,264						
概要及び成果													
<p>1 地域振興推進事業 町村合併前から地域の身近な生活の拠点であった周辺市街地において、地域住民が主体となり、地域の資源や強みを引き出しながら、地域外の協力者も巻き込んだ持続的な地域づくりを推進する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周辺市街地活性化協議会の運営支援 各協議会による総会、会議、イベント等開催の後方支援を実施した。</li> <li>○つくばR8ネットワークの設置 協議会活動の自走化のため、協議会会員と有識者の情報交換や各協議会の取り組み事例を共有する場を設置し、オンラインも併用し2回開催した。(9/7、11/27)</li> <li>○チャレンジショップ 吉沼の空き店舗を借上げ、吉沼まちかどテラスとして2店舗分の整備を実施した。</li> </ul>													
<p>2 周辺市街地活性化チャレンジ補助金 周辺市街地活性化協議会へ上限50万円の補助金を支出するなどし、地域住民が主体となった地域活性化の取組を支援する。</p> <p>【成果】</p> <p>補助金を活用し、各協議会が以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北条 地域住民への情報発信を目的とした「北条新聞No. 3、No. 4」の発行、北条ポータルサイトのリニューアル。</li> <li>○小田 小田小交流プラザにおける交流の場の運営、「宝篋山麓まちあるきMAP」の増刷。</li> <li>○大曾根 地域の店舗情報、手作りマップ、昔の大曾根の街並み特集等を掲載した「大曾根・花畑・筑穂TOWNまちあるき」の発行。</li> <li>○吉沼 地元農家や近隣事業者の出店及び音楽や伝統芸能の発表を行う「吉沼マルシェ」を3回開催、吉沼マルシェの様子を撮影したPR動画の作成。</li> <li>○上郷 「上郷フェスティバル」や「防災の集い」の開催、地域情報を集約した「上郷なるほどMAP」及び「がんばる上郷！かわら版」の更新・増刷等。</li> <li>○栄 「夏休み子どもフォトコンテスト」、「まちかどフリーピアノ@栄」及び地域交流拠点「さくら交流館」を活用したワークショップの開催等。</li> <li>○谷田部 地域の歴史情報をまとめた「歩いて発見。谷田部街道めぐり歴史編」の発行、地域交流拠点の運営、「谷田部ワクワク物産展」の開催。</li> <li>○高見原 高見原ふれあい会設立総会の開催、「高見原ふれあい祭り」の開催準備。</li> </ul>													

3 学校跡地地域運営拠点事業

旧小田小学校の一部教室と運動場を活用し、地域住民が主体となり、地域コミュニティ拠点を自主運営管理していく支援を行う。

【成果】

○地域コミュニティ拠点の運営支援

地域のまちづくり団体である小田地域まちづくり振興会による、小田小交流プラザの自主運営管理について、運営方法の助言や植栽管理等の支援を実施した。

○地域コンテンツメニューの実施支援

小田地域での人的交流を促進するイベントの実施について、周知活動等の支援を行った。

事業名：街路整備に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	02	11	本年	508,651	170,866	△ 49,277		630,240	173,857	411,623	92.9
				前年	521,275	189,609	△ 66,277		644,607	170,866	434,504	93.9
				比較	△ 12,624	△ 18,743	17,000		△ 14,367	2,991	△ 22,881	-
【参考】前々年度					707,959	123,800	△ 268,391	△ 3,518	559,850	189,609	353,770	97.1

節別支出済額(単位:千円)

需用費	71	委託料	60,775	工事請負費	350,777
-----	----	-----	--------	-------	---------

概要及び成果

1 街路整備事業

都市再生整備計画に基づき、街路整備として街路灯設置及び歩道改修を実施している。また、防災安全交付金事業による通学路整備として、歩行者通行帯及び自転車レーン整備を実施するとともに、無電柱化を促進するため電線共同溝の整備を進めている。

【成果】

安全安心な住環境及び交通環境の整備のため、街路整備及び通学路整備を実施し、歩行者等の安全を確保することができた。自転車レーンについては、策定中の自転車ネットワーク計画に基づき整備予定。

街路整備

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
街路灯設置数	基	41	99	92	66	48
歩道改修延長	m	316.2	1,467.0	1,387.6	1,342.2	694.9

通学路整備

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
歩行者通行帯	m	1,249	931.0	1,174.2	2,307.0	1,020.6
自転車レーン	m	0	1,723	0	1,510	0

※平成30年度までは街路維持管理費に要する経費で事業を執行していた。

事業名：街路維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
08	04	03	11	本年	595,542			1,363	596,905		596,903	100.0																																			
				前年	619,517		△ 3		619,514		617,530	99.7																																			
				比較	△ 23,975		3	1,363	△ 22,609		△ 20,627	-																																			
【参考】前々年度				581,324	138,868		3,518	723,710		708,525	97.9																																				
節別支出済額(単位:千円)																																															
需用費				49,840	委託料		496,405	工事請負費		50,658																																					
概要及び成果																																															
<p>1 街路維持管理事業            市が管理する研究学園都市中心部及びTX沿線地区の道路、水路等の修繕・補修工事の処理            舗装修繕工事や排水修繕工事、街路樹剪定作業の実施            枯損木等の伐採、除去</p> <p>【成果】            適切な街路管理の実施により、市民の安全な通行の確保ができた。</p> <p>街路補修・維持工事</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事件数</td> <td>件</td> <td style="text-align: center;">43</td> <td style="text-align: center;">43</td> <td style="text-align: center;">55</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">55</td> </tr> </tbody> </table> <p>街路樹維持管理（剪定・伐採本数）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>剪定本数</td> <td>本</td> <td style="text-align: center;">3,931</td> <td style="text-align: center;">4,876</td> <td style="text-align: center;">3,816</td> <td style="text-align: center;">4,179</td> <td style="text-align: center;">3,445</td> </tr> <tr> <td>伐採本数</td> <td>本</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">236</td> <td style="text-align: center;">410</td> <td style="text-align: center;">456</td> <td style="text-align: center;">491</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	工事件数	件	43	43	55	36	55		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	剪定本数	本	3,931	4,876	3,816	4,179	3,445	伐採本数	本	200	236	410	456	491
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
工事件数	件	43	43	55	36	55																																									
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
剪定本数	本	3,931	4,876	3,816	4,179	3,445																																									
伐採本数	本	200	236	410	456	491																																									



事業名：公園建設に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	04	11	本年	92,690	340,111			432,801		423,789	97.9
				前年	385,915	271,851	△ 25,152		632,614	340,111	287,225	99.2
				比較	△ 293,225	68,260	25,152		△ 199,813	△ 340,111	136,564	-
【参考】前々年度					676,685	163,161			839,846	271,851	567,412	99.9

節別支出済額(単位:千円)

需用費	51	役務費	44	委託料	22,512	工事請負費	58,352
公有財産購入費	342,282	負担金補助及び交付金	549				

概要及び成果

1 公園建設事業

- (1) 近隣公園用地（萱丸地区3公園、萱丸源流の森(トンボ池)、中根・金田台地区1公園）の除草業務を実施する。
- (2) 萱丸地区3号近隣公園実施設計業務を実施する。
- (3) 萱丸地区4号近隣公園整備積算業務を実施する。
- (4) 近隣公園用地3か所の都市計画決定図書作成業務を実施する。
- (5) 萱丸地区4号近隣公園造成・貯留浸透施設整備工事を実施する。
- (6) プレイパーク整備工事を実施する。
- (7) 萱丸源流の森（トンボ池）用地を購入する。
- (8) 区画整理事業地内の街区公園・都市緑地を整備する。

【成果】

- (1) 除草を実施したことにより、安全・安心な環境を提供できた。
- (2) 萱丸地区3号近隣公園整備に係る設計図書が作成できた。
- (3) 萱丸地区4号近隣公園整備工事の設計書が作成できた。
- (4) 萱丸3号近隣公園、萱丸4号近隣公園、及び中根・金田台1号近隣公園を都市計画公園に追加するために必要な図書が作成できた。
- (5) 萱丸地区4号近隣公園の雨水貯留浸透施設設置と基盤整備ができた。
- (6) プレイパークに休憩所を整備できた。
- (7) 都市公園用地（9,351.96㎡）を取得できた。
- (8) 街区公園1公園（0.16ha）、都市緑地（2.08ha）の供用開始ができた。
  - ・香取台なかだい公園 令和3年8月供用開始
  - ・春風台1号、2号緑地 令和3年8月供用開始
  - ・流星台1号、2号、3号、4号緑地 令和3年8月供用開始
  - ・香取台1号、2号緑地 令和4年3月供用開始
  - ・陣場1号、2号、3号緑地 令和4年3月供用開始

2 生け垣設置奨励補助事業

戸建て住宅の生け垣に利用する樹木の購入費用の一部を補助する。

【成果】

交付件数及び設置延長数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付件数	件	10	9	6	17	25
設置延長数	m	152	92	63	255	236

市民による生け垣緑化を奨励することで、緑豊かなまちなみづくりを推進することができた。

事業名：中根・金田台地区公園建設に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
08	04	04	12	本年	5,024				5,024		3,951	78.6		
				前年	5,545				5,545		4,149	74.8		
				比較	△ 521				△ 521		△ 198	-		
【参考】前々年度					8,500				8,500		7,574	89.1		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					133	旅費		11	需用費		14	役務費		6
委託料					3,663	使用料及び賃借料		124						
概要及び成果														
<p>1 中根・金田台地区公園整備事業                      歴史緑空間用地44.6haの維持管理及び歴史公園の整備を実施する。</p> <p><b>【成果】</b>                      除草及び清掃業務を実施し、安全・安心な歴史緑空間を確保できた。                      公園整備の事前調査のため、遺跡の一部を試掘調査し、保全する範囲の確認ができた。</p>														

事業名：公園維持管理に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	05	11	本年	882,821	18,721			901,542		898,283	99.6
				前年	950,769		9,898		960,667	18,721	940,386	99.8
				比較	△ 67,948	18,721	△ 9,898		△ 59,125	△ 18,721	△ 42,103	-
【参考】前々年度				887,157		2,647		889,804		884,749	99.4	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	20	需用費	97,446	役務費	2,742	委託料	720,203
使用料及び賃借料	8,245	工事請負費	64,612	公有財産購入費	3,695	備品購入費	1,028
負担金補助及び交付金	292						

概要及び成果

1 公園維持管理事業

- (1) 植栽維持管理としては、年間の業務委託契約を締結し、樹木等の状況に応じた植栽の維持管理を実施する。
- (2) 公園施設管理としては、施設の修繕・改修を行い、遊具については有資格者による点検を年に一回実施する。
- (3) 公園施設(管理事務所警備・管制装置など)の保守・点検業務を実施する。
- (4) 運動施設の用具及び管理用備品を購入をする。
- (5) プレイパークの場所の提供を行う。

【成果】

- (1) 中間検査等を実施することで適正な植栽維持管理を実施し、景観の保全や公園利用者が快適で安全・安心に過ごせるような場を提供できた。(委託 404件 約701,900千円)
- (2) 公園施設の修繕・改修や担当職員の点検による施設の予防修繕を実施することにより、利用者が安全・安心して利用することができた。(修繕 214件 約24,900千円、工事 62件 約60,500千円)
- (3) 公園施設の保守・点検を実施することで安全な公園環境を提供できた。(16件 約15,800千円)
- (4) 適正な運動施設環境を提供できた。(4件 約1,028千円)
- (5) さくら運動公園、中央公園、研究学園駅前公園の3公園で、プレイパークの場所を提供できた。

各有料施設の利用状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
テニスコートの件数	件	35,538	36,092	35,639	35,133	34,926
テニスコートの人数	人	156,318	155,908	177,572	175,236	185,821
野球場の件数	件	2,141	2,019	2,265	2,075	2,307
野球場の人数	人	49,389	47,467	68,700	65,544	68,312
多目的広場の件数	件	462	433	383	348	299
多目的広場の人数	人	19,740	18,234	18,518	20,864	20,220
総合計の件数	件	38,141	38,544	38,287	37,556	37,532
総合計の人数	人	225,447	221,609	264,790	261,644	274,353

2 アダプト・ア・パーク事業

- (1) 空き缶やゴミ等の収集、除草、清掃、植栽の企画提案及びその実施、公園施設の破損などの通報を市民団体に実施してもらう。
- (2) 活動の支援として、参加団体にごみ収集用具等の提供や収集ごみ等の処理を行う。

【成果】

- (1) 参加登録団体(39団体)が延べ67公園の清掃や花壇手入れ等を実施することで、公園の環境美化だけでなく、市民の公園への愛護意識の向上につながった。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動休止になった団体が1団体あった。
- (3) 登録団体のうち申請のあった25団体に対し清掃用具などを配布したことにより、円滑な環境美化活動が行われた。

アダプト・ア・パーク参加登録団体数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加登録団体数	団体	39	36	37	37	38
うち活動休止団体数	団体	1	1	0	0	0

3 水堀川防災調節池管理事業  
池の機能及び施設の点検を月2回実施する。

【成果】

防災調節池の機能を維持するため月2回の点検を行い、大雨の際、調節池として機能が損なわないように管理できた。

4 公園管理（指定管理者）委託事業

有料施設のある公園の管理について、効果的・効率的な管理・運営を行う。

【成果】

管理方法について、指定管理者制度の導入について検討を実施し、関係各課との調整を実施した。

事業名：公園施設長寿命化対策に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	05	12	本年	31,418	43,640			75,058		70,441	93.8
				前年	56,550				56,550	43,640	12,808	99.8
				比較	△ 25,132	43,640			18,508	△ 43,640	57,633	-
【参考】前々年度					39,000		△ 8,588		30,412		30,339	99.8

節別支出済額(単位:千円)

委託料	1,770	工事請負費	68,671
-----	-------	-------	--------

概要及び成果

1 公園施設長寿命化対策事業

公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園の休憩施設・遊具について更新を行う。

・公園施設長寿命化対策更新工事 14公園 19施設

【成果】

休憩施設・遊具の更新工事により、安全・安心な公園環境を提供できた。

皆畑公園：アスレチック遊具、4人用シーソー

大越児童公園：ステップ遊具

すずかけ公園：複合遊具

ひまわり公園：複合遊具、けんすい

小野崎児童公園：渡り遊具

鍛冶ヶ台児童公園：ステップ遊具

山鳩公園：スプリング遊具

荻崎運動公園：四阿

川口公園：四阿

松代児童公園：バランスステップ、ネットウォール、丸太クライミング

西向児童公園：複合遊具

上宿児童公園：複合遊具

手代木児童公園：ステップ遊具、ラダー

桜山児童公園：腹筋ベンチ

実施数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
公園数	箇所	14	2	13	11	12
施設数	施設	19	6	16	16	17

事業名：地籍調査に要する経費

建設部 道路計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	06	11	本年	38,103		△ 6,508		31,595		30,775	97.4
				前年	42,644		△ 2,736		39,908		39,636	99.3
				比較	△ 4,541		△ 3,772		△ 8,313		△ 8,861	-
【参考】前々年度				34,981				34,981		32,876	94.0	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	488	需用費	347	役務費	54	委託料	28,936
使用料及び賃借料	841	負担金補助及び交付金	109				

概要及び成果

1 地籍調査に関する事業

調査区域の長狭物（道路・水路）、一筆地の土地ごとに所有者・地番・地目の調査・測量を行い、地籍簿・地籍図（縮尺500分の1）を作成し、その写しを法務局へ送付する。

①葛城V地区（約0.33km<sup>2</sup>）\*成果の認証・登記 事業年度：令和元年度～令和3年度

②小白碓地区（約0.50km<sup>2</sup>）\*成果の閲覧 事業年度：令和2年度～令和4年度

③赤塚I地区（約0.47km<sup>2</sup>）\*一筆地調査・測量 事業年度：平成3年度～令和5年度

【成果】

(1) 公共事業の円滑化

精度の高い地籍図に基づき事業計画・設計・用地買収等が円滑に行えた。

(2) 土地の権利関係の明確化

一筆地ごとの筆界・面積が登記事務に反映され、所有権が確実に保護された。

(3) 公租・公課の負担の公平化

土地の正確な地番・地目・地積の測定が行われ、課税等の公平化が図られた。

(4) 葛城V地区の事業目標（0.33km<sup>2</sup>）を達成し、地籍調査進捗率が87.36%となった。

筑波 計画面積41.51km<sup>2</sup> (A) 調査面積40.42km<sup>2</sup> (B) 未調査面積 1.09km<sup>2</sup>：進捗率 97.37%

大穂 計画面積13.27km<sup>2</sup> (A) 調査面積11.65km<sup>2</sup> (B) 未調査面積 1.62km<sup>2</sup>：進捗率 87.79%

豊里 計画面積15.12km<sup>2</sup> (A) 調査面積15.12km<sup>2</sup> (B) 未調査面積 0.00km<sup>2</sup>：進捗率100.00%

桜 計画面積23.10km<sup>2</sup> (A) 調査面積23.10km<sup>2</sup> (B) 未調査面積 0.00km<sup>2</sup>：進捗率100.00%

谷田部 計画面積35.16km<sup>2</sup> (A) 調査面積19.50km<sup>2</sup> (B) 未調査面積15.66km<sup>2</sup>：進捗率 55.46%

荃崎 計画面積17.20km<sup>2</sup> (A) 調査面積17.20km<sup>2</sup> (B) 未調査面積 0.00km<sup>2</sup>：進捗率100.00%

合計 145.36km<sup>2</sup> (A) 126.99km<sup>2</sup> (B) 18.37km<sup>2</sup>：進捗率 87.36%

【地籍調査進捗率：% (B) / (A) 令和4年3月31日現在】

過去5年間の完了事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
地区名	—	葛城V地区	葛城IV地区	葛城III地区	葛城II地区	手代木地区
面積	km <sup>2</sup>	0.33	0.41	0.53	0.61	0.71
筆数	筆	281	411	351	591	743
地権者数	名	112	166	140	200	230
地籍図	枚	40	35	64	53	66
地籍簿	冊	1	1	1	1	1

事業名：共同溝維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
08	04	07	11	本年	19,872		581		20,453		18,157	88.8	
				前年	18,208		906		19,114		18,495	96.8	
				比較	1,664		△ 325		1,339		△ 338	-	
【参考】前々年度					17,673		396		18,069		17,963	99.4	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				5,880	役務費		56	委託料		7,140	工事請負費		4,499
償還金利子及び割引料				582									
概要及び成果													
1 共同溝維持管理事業 共同溝の構内と共同溝管理センターの保守点検及び維持管理													
【成果】 維持工事等を行うことにより、施設内の占用物の安全が確保できた。													
年間巡視点検回数													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
点検回数		回	36	36	36	36	36						
維持補修工事													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
工事件数		件	5	5	5	6	5						

事業名：駅前広場維持管理に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
08	04	08	11	本年	46,273				46,273		46,241	99.9	
				前年	92,193		△ 7,000		85,193		80,375	94.3	
				比較	△ 45,920		7,000		△ 38,920		△ 34,134	-	
【参考】前々年度					77,874				77,874		75,690	97.2	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				10,183	委託料		19,880	使用料及び賃借料		5,962	工事請負費		1,965
負担金補助及び交付金				8,251									
概要及び成果													
1 駅前広場維持管理事業													
(1) 駅前広場の維持管理を行う。 TX4 駅（つくば駅・研究学園駅・万博記念公園駅・みどりの駅）前広場の維持管理、施設修繕などの実施													
(2) 負担金（つくば駅地下自由通路管理者負担金）を支払う。													
【成果】													
(1) TX4 駅（つくば駅・研究学園駅・万博記念公園駅・みどりの駅）前広場を維持管理及び施設修繕などを行い、利用者へ安全・安心な環境を提供できた。 （施設管理委託:14件 約19,880千円、駐車場管制装置等賃借5件 約5,962千円、修繕工事5件 約1,965千円）													
(2) 負担金の支出によって、関係機関と連携して適正な維持管理ができた。													

事業名：建築確認事務に要する経費

都市計画部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	09	11	本年	7,851				7,851		6,428	81.9
				前年	9,136		△ 423		8,713		6,272	72.0
				比較	△ 1,285		423		△ 862		156	-
【参考】前々年度				9,328				9,328		6,434	69.0	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	3	需用費	849	役務費	71	委託料	4,216
負担金補助及び交付金	1,290						

概要及び成果

- 1 建築基準法等による許可、認定、指定等に関する事務
- ・建築基準法に基づく許可、認定、指定及び認可申請の審査
  - ・長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく認定申請の審査
  - ・建築基準条例に基づく認定申請の審査
  - ・地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例に基づく許可又は認定申請の審査
  - ・敷地制限条例に基づく認定及び許可申請の審査

【成果】

- ・特例許可を行うことにより地域の実情にあった土地の有効利用を図ることができた。
- ・長寿命化で省エネ性能の高い建築物のストックができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
建築基準法に基づく許可等件数	件	40	17	22	28	12
長期優良住宅認定件数	件	868	661	673	849	875
建築物省エネ法に基づく届出件数	件	73	101	144	179	179
低炭素化の促進に関する法律に基づく認定件数	件	39	9	7	3	5
敷地制限条例に基づく認定等件数	件	3	5	4	20	216

- 2 建築物等の防災・安全対策等に関する事務
- ・不特定多数の人が利用する特殊建築物、特殊建築物の防火設備及び昇降機を所有管理する者は専門技術者に調査させ、結果を市に報告する。
  - ・特殊建築物の立ち入り調査を消防部局と連携して実施し、防火避難規定の適合性を確認する。
  - ・地震等により、被災した市町村に設置される災害対策本部からの要請があれば、現地に出向き、建築物等の倒壊などによる危険性を判断し、所有者及び通行人等に状況を周知する。

【成果】

- ・特殊建築物報告件数107件、防火設備報告件数182件、昇降機報告件数1,737件
- ・本年度の防災査察は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施
- ・応急危険度判定士コーディネーターへ新たに1名登録

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
定期報告書の報告件数	件	2,089	1,799	1,958	1,910	1,734
特殊建築物の立ち入り調査件数	件	0	0	4	6	8

- 3 建築基準法による建築確認の審査及び指導等に関する事務
- ・建築基準法及び都市計画法における違反建築等を防止するための建築パトロールを実施し、確認表示板の掲示や適正な工事監理の必要性などの啓発活動を行う。
  - ・建築基準法に基づく確認申請及び計画通知の審査
  - ・都市計画法に基づく地区計画の届出受理
  - ・建設工事に係る資材の再資源化に関する法律（建設リサイクル法）に基づく届出受理

【成果】

- ・建築基準法による申請・届出の審査を行い、法令を遵守した適法な建築計画へ誘導することによって安全で安心なまちづくりを進めることができた。
- ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止によりパトロール回数を1回とした。違反建築物調査パトロールの継続的な実施により、違反行為に対する一定の抑止効果があった。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
届出等件数(リサイクル法、ひとまち条例、地区計画)	件	1,826	1,671	1,822	2,147	2,164
建築確認件数	件	2,379	2,075	2,293	2,455	2,397
違反建築物調査/パトロール点検数	件	135	132	407	468	406
中高層建築物等指導要綱に基づく協議件数	件	110	81	106	164	185
確認審査及び検査件数	件	104	100	97	61	86

#### 4 建築確認支援システムに関する事務

- ・建築確認申請時に添付された建築工事届について、建築着工統計調査を毎月行い、茨城県を経て国へ報告する。
- ・つくば市内の建築確認の処分を行った物件及び新たに建築基準法上の道として判定した道路について、電子データ化を行い、窓口やGISマップ上でそれらの情報提供、建築計画概要書等の写し交付及び台帳記載事項証明書交付等を行う。

##### 【成果】

- ・建築確認に関する情報及び市内全域の建築基準法上における道の判定状況を電子データで管理することにより、建築時において必要な情報を瞬時に把握し市民へ情報提供することができた。
- ・建築着工統計を報告することにより、建設総合統計、国民経済計算等に活用された。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
建築計画概要書等の写しの交付件数	件	3,836	3,387	3,267	3,052	2,906
建築確認等データの電子化件数	件	2,658	2,240	2,475	2,675	2,570
建築動態調査件数	件	2,187	1,897	2,113	2,336	2,188

#### 5 安全安心な居住環境等の充実に図るための補助金交付事業

- ・建築基準法第42条第2項道路に接する敷地において、道路中心線から2m後退した敷地の部分内にある門塀等を撤去する者に対して、補助金の交付を行う。
- ・災害危険区域内にある既存不適格住宅の移転を行う者に対して、補助金の交付を行う。

##### 【成果】

- ・後退敷地内の門塀等撤去費用の助成を行い、4m未満の道路を解消することにより、交通安全、防災機能等の改善が図られた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
門塀等撤去補助件数	件	11	13	6	8	3

#### 事業名：建築審査会に要する経費

都市計画部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	09	12	本年	666				666		344	51.6
				前年	644		△ 479		165		73	44.0
				比較	22		479		501		271	-
【参考】前々年度					846				846		446	52.8

##### 節別支出済額(単位:千円)

報酬	216	旅費	54	需用費	26	負担金補助及び交付金	48
----	-----	----	----	-----	----	------------	----

##### 概要及び成果

#### 1 つくば市建築審査会事業

特定行政庁の諮問機関であり、建築基準法に規定する同意、審査請求に対する審査、裁決を行う。

##### 【成果】

- ・適正かつ円滑な建築審査会の運営を図ることができ、建築物の安全と安心を確保し、社会の要請に的確に応えることができた。

##### 建築審査会の開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催回数	回	4	0	2	3	4



事業名：ホテル等建築審議会に要する経費

都市計画部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	09	13	本年	141		△ 70		71			
				前年	164		△ 72		92			
				比較	△ 23		2		△ 21			
【参考】前々年度					164				164		72	44.1

概要及び成果

- 1 つくば市ラブホテル等建築審議会に関する事務
- ・「つくば市ラブホテルの建築等規制条例」では、ラブホテル建築禁止区域を定め、ホテル等の用に供する建築物の建築等をしようとするときは、申請書を提出して市長の確認を受けなければならない。
  - ・この条例の施行に関する重要事項を調査審議するため、つくば市ホテル等建築審議会を置く。

【成果】

- ・ラブホテルの建築等を制限し、健全な生活環境の保全及び青少年の健全な育成が保たれた。

ホテル等建築審議会の開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催回数	回	0	0	1	1	1
内容	件	0	0	諮問件数:1	0	0

事業名：建築物の耐震化の促進に要する経費

都市計画部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	09	14	本年	3,003		△ 848		2,155		2,155	100.0
				前年	3,140		△ 1,727		1,413		1,413	100.0
				比較	△ 137		879		742		742	-
【参考】前々年度					3,305		△ 1,732		1,573		1,573	100.0

節別支出済額(単位:千円)

委託料	1,276	負担金補助及び交付金	879
-----	-------	------------	-----

概要及び成果

- 1 つくば市耐震改修促進計画に基づく事業
- 木造住宅耐震診断士派遣事業、木造住宅耐震改修費補助事業、民間の住宅及び特定建築物の所有者に対して耐震化への啓発活動、危険ブロック塀の撤去補助事業

【成果】

- ・木造住宅耐震診断士派遣事業に7件の申し込みがあり、耐震診断士を派遣
- ・木造住宅耐震改修費補助事業に1件の申し込みがあり、耐震改修完了
- ・危険ブロック塀の撤去補助事業に5件の申し込みがあり、危険ブロック塀の撤去完了
- ・民間の住宅及び特定建築物の耐震化について啓発活動を実施

建築物の耐震化の促進事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
木造住宅耐震診断士派遣事業	件	7	4	4	6	14
木造住宅耐震改修補助事業	棟	1	0	0	1	0
危険ブロック塀の撤去補助事業	件	5	5	-	-	-

事業名：駐車場・駐輪場に要する経費

建設部 公園・施設課／都市計画部 学園地区市街地振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	10	11	本年	112,246		△ 6,206		106,040		98,426	92.8
				前年	117,694		△ 2,014		115,680		113,668	98.3
				比較	△ 5,448		△ 4,192		△ 9,640		△ 15,242	-
【参考】前々年度				76,922		△ 1,216		75,706		74,900	98.9	

## 節別支出済額(単位:千円)

需用費	5,889	役務費	143	委託料	43,572	使用料及び賃借料	29,454
工事請負費	19,229	備品購入費	123	償還金利子及び割引料	16		

## 概要及び成果

## 1 駐車場、駐輪場維持管理事業

- (1) つくばセンタービル地下駐車場の維持管理を行う。＜料金収納・設備保守運転＞ 4、5月分
- (2) つくば駅・研究学園駅・みどりの駅前駐車場の自転車駐車場維持管理を行う。＜管制装置＞
- (3) つくば駅周辺自転車等駐車場（計17箇所）の施設管理、施設清掃、設備保守点検等を行う。
- (4) 研究学園駅・万博記念公園駅・みどりの駅前自転車等駐車場施設管理、施設清掃、設備保守点検等を行う。
- (5) 放置自転車等の防止指導及び撤去を行う。
- (6) 万博記念公園駅自転車等駐車場拡張工事を行う。
- (7) 施設の修繕を行う。

## 【成果】

(1) つくばセンタービル地下駐車場の維持管理を適正に実施したことにより、施設の利用者に安全で良好なサービス環境を提供することができた（4、5月まで）。なお、6月以降については、つくば市路外駐車場条例から本駐車場を削除するとともに、学園地区市街地振興課に移管の上、地域運営会社である「つくばまちなかデザイン株式会社」に貸し付けており、本駐車場は民間駐車場として運営されている。

(2)～(5)

自転車駐車場の維持管理、放置自転車の撤去、自転車駐車場の管制装置の管理を適正に実施したことにより、安全・安心な環境を提供できた。

（施設管理・委託7件 約38,538千円、管制装置賃借18件 約29,456千円）

(6) 万博記念公園駅自転車等駐車場の拡張をし、利用台数(128台)を増やすことができた。

(7) 施設修繕工事を実施し、安全・安心な環境を提供できた。（5件 952千円）

## つくば駅周辺自転車等駐車場利用状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
収容台数	台	3,431	3,395	3,395	3,395	3,395
利用台数(日平均)	台	2,436	2,296	2,885	2,928	2,899
利用率	%	71	67	85	86	85

## 放置自転車等の防止指導実務実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
警告件数	件	2,331	2,508	3,334	4,013	7,943
口頭指導件数	件	594	574	706	691	706

事業名：沿線コミュニティ支援に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	11	11	本年	2,344				2,344		1,937	82.6
				前年	2,435		△ 765		1,670		1,432	85.8
				比較	△ 91		765		674		505	-
【参考】前々年度					2,795				2,795		2,605	93.2
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		97		負担金補助及び交付金		1,840						
概要及び成果												
<p>1 つくばエクスプレス沿線コミュニティ補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会においては、視察研修や各種勉強会を実施することにより、住みよいまちづくりに向けた知識の習得、清掃や防犯活動を通じた安心安全な住環境の創出を図る取組みなどについて支援を行う。</li> <li>・各駅前イルミネーション実行委員会においては、イルミネーションの装飾や点灯式の開催にあたり必要な支援を行う。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島名地区まちづくり協議会においては、交付した補助金を活用し、沿線開発区域内及び周辺区域において植樹を行い景観形成を推進した。</li> <li>・駅周辺の住民が組織する各駅前イルミネーション実行委員会を中心にイルミネーションの装飾が行われ、住民同士が交流する機会を創出した。</li> </ul>												

事業名：景観緑地のある住宅地に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	11	12	本年	6,064				6,064		5,478	90.3
				前年	6,243				6,243		5,574	89.3
				比較	△ 179				△ 179		△ 96	-
【参考】前々年度					6,277			2,513	8,790		7,892	89.8
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		6		使用料及び賃借料		5,472						
概要及び成果												
<p>1 景観緑地のあるまちづくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地所有者は管理組織を結成し、市が承認した整備・管理計画書に基づき緑地を整備・管理する。</li> <li>・市は、計画書に基づいて整備された緑地の所有者と「地上権設定契約」を締結し、景観緑地を設置する。</li> <li>・管理組織は、市からの地代をもとに景観緑地の管理を行う。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらの森で2区画と地上権設定契約を締結した。</li> <li>・春風台で4区画、春風台北部で1区画、さくらの森で4区画、流星台で6区画と地上権設定契約内容の承継に関する契約を締結した。</li> <li>・春風台の景観緑地に係る訴訟について、弁護士や市法務課と準備書面作成等の対応を行った。</li> </ul>												

事業名：つくばエクスプレス利用促進に要する経費

都市計画部 総合交通政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	11	13	本年	158				158		113	71.3
				前年	215		△ 85		130		119	91.6
				比較	△ 57		85		28		△ 6	-
【参考】前々年度				257				257		155	60.4	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	3	需用費	10	負担金補助及び交付金	100
----	---	-----	----	------------	-----

概要及び成果

- 1 つくばエクスプレス利便性向上事業  
沿線区市と連携し、つくばエクスプレス利便性向上のための要望活動や勉強会等を行う。

【成果】

各団体との協議

- ① 11都市TX沿線都市連絡協議会
  - 5月 総会（オンライン）
  - 11月 第1回幹事会（書面協議）
  - 2月 第2回幹事会（書面協議）
- ② TX沿線7市首長懇談会
  - 5月 担当課長会議（書面協議）
  - 6月 首都圏新都市鉄道株式会社への要望書提出
  - 11月 首長懇談会及び意見交換会
- ③ 茨城県TX三市推進協議会
  - 5月 幹事会（オンライン）
  - 7月 総会（書面協議）
  - 2月 首都圏新都市鉄道株式会社への応援文書提出
- ④ 茨城県TX等整備利用促進協議会（県交通政策課事務局）
  - 7月 幹事会（書面協議）
  - 8月 総会（書面協議）

TX利用者推移（駅別一日平均乗車人員）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
みどりの駅	人	4,000	3,300	4,900	4,700	4,300
万博記念公園駅	人	2,600	2,200	3,300	3,200	3,000
研究学園駅	人	5,600	4,800	7,400	7,400	7,100
つくば駅	人	12,600	10,700	18,700	18,800	18,600
合計	人	24,800	21,000	34,300	34,100	33,000

事業名：圏央道推進に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	12	11	本年	137,030	138,731	△ 32,576		243,185	80,172	105,935	76.5
				前年	363,326	20,200	△ 116,586		266,940	138,731	116,220	95.5
				比較	△ 226,296	118,531	84,010		△ 23,755	△ 58,559	△ 10,285	-
【参考】前々年度				72,179	108,123	△ 36,800		143,502	20,200	102,707	85.6	
節別支出済額(単位:千円)												
委託料		5,155	公有財産購入費	60,530	負担金補助及び交付金	36,855	補償・補填及び賠償金	3,395				
概要及び成果												
<p>1 上河原崎・中西地区スマートIC設置事業（(仮称)つくばスマートIC）                      (仮称)つくばスマートICは、平成29年7月に新規事業化箇所を選定後、東日本高速道路株式会社と基本協定を締結し、早期の供用開始に向けて、国・関係機関と連携を図りながら、東日本高速道路株式会社とともに事業を進めている。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本高速道路株式会社は、市と締結した年度契約に基づき、スマートインターチェンジの連絡等施設修正設計や舗装詳細設計を実施し、工事発注の準備を整えた。</li> <li>・市は、東日本高速道路株式会社との用地事務委託協定に基づく用地買収941.1㎡を実施し、全体の約65%の取得を完了した。</li> </ul>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
用地取得		㎡	941.1	14,608.7	-	-	-					

事業名：つくばエクスプレス関連土地区画整理事業に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	13	11	本年	100,263	96,480			196,743	63,000	133,603	99.9
				前年	148,786	147,455	△ 10		296,231	96,480	199,604	100.0
				比較	△ 48,523	△ 50,975	10		△ 99,488	△ 33,480	△ 66,001	-
【参考】前々年度				230,128	92,791			322,919	147,455	175,002	99.9	
節別支出済額(単位:千円)												
旅費		5	需用費	19	委託料	99	負担金補助及び交付金	133,480				
概要及び成果												
<p>1 つくばエクスプレス沿線まちづくり事業                      毎年度、茨城県とつくば市とで、都市計画道路のうち将来市道となる部分の整備に要する費用負担協定書を締結し、負担金の支払いを行う。なお茨城県は、国の補助金と市からの負担金のほか、県費などを活用し土地区画整理事業を施行する。</p> <p>【成果】                      都市計画道路（市道）の整備に要する経費の一部を負担した結果、土地区画整理事業の進捗につながった。</p>												

事業名：つくば中央インター北土地区画整理に要する経費

建設部 道路計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	14	11	本年	20,208	11,895	9,942		42,045	31,965	54	76.2
				前年	10,265	53,566	△ 134		63,697	11,895	30,295	66.2
				比較	9,943	△ 41,671	10,076		△ 21,652	20,070	△ 30,241	-
【参考】前々年度					51,965		1,888		53,853	53,566	131	99.7
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					54							
概要及び成果												
<p>1 つくば中央インター北土地区画整理に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施行面積：69.3ha、施行場所：手代木、柳橋、新井、山中、島の各一部、地権者数：251人</li> <li>・ つくば市土地区画整理組合助成規則第5条に基づき、準備組合運営費や組合の設立認可に必要な図書の作成費及びこれに伴う測量調査設計費の補助金交付を行う。</li> <li>・ 土地区画整理法第75条第1項に規定する技術的援助を実施する。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組合設立に向けた事業推進体制を強化するため、事務局業務を市が行うことで事業促進が図られた。</li> <li>・ 庁内外の関係機関との協議、調整を綿密に行うことで、土地区画整理組合設立に必要となる行政手続に向けた検討を進めることができた。</li> </ul>												

事業名：住宅維持管理に要する経費

建設部 住宅政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	05	01	11	本年	115,698				115,698		109,704	94.8
				前年	115,731		△ 93		115,638		114,633	99.1
				比較	△ 33		93		60		△ 4,929	-
【参考】前々年度					113,995			1,317	115,312		114,740	99.5

節別支出済額(単位:千円)

旅費	5	需用費	19,755	役務費	1,493	委託料	35,234
使用料及び賃借料	34,686	工事請負費	18,513	負担金補助及び交付金	18		

概要及び成果

1 市営住宅維持管理事業

- ・定期的な住宅及び付帯施設の保守点検管理業務、環境維持管理業務
- ・生活支障箇所の修繕及び入居時における住宅修繕

【成果】

- ・給水施設維持管理や植栽維持管理等の維持管理業務を25件委託し、住宅の環境維持に努めた。
- ・住宅修繕・工事を254件（公共施設整備課依頼11件を含む）を行い、生活支障箇所の解消を図るとともに、入居予定の部屋を整備した。
- ・委託による残置物処理を2件を行い、入居募集を行えるようにした。
- ・定期点検（戸ノ山団地、大曾根住宅、要害住宅）を行い、建物の劣化状況等の把握を図った。

業務委託による市営住宅維持管理の実施件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
維持管理業務委託件数	件	25	28	24	22	22

市営住宅の修繕件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
修繕件数	件	254	257	275	220	253

2 市営住宅入退去管理事務

- ・入居募集に伴う事務
- ・入居者からの申請に基づく親族の同居や家賃減免等の承認事務
- ・退去に伴う事務
- ・法令及び条例に基づく家賃の決定及び徴収事務並びに家賃滞納者への徴収事務

【成果】

- ・一部業務委託により年4回定期募集を行い、低額所得者へ低廉な家賃の住居を提供した。
- ・協定を締結した債務保証会社による法人保証制度を案内し、連帯保証人を立てられない入居希望者の入居機会の確保を図った。
- ・収入が減少した入居者からの相談に対し家賃減免や住居確保給付金の案内等を実施し、居住者の負担軽減を図った。
- ・一部業務委託により家賃滞納者に対し、納付指導を行い、債権の回収を図った。

市営住宅入居申込件数、新規入居件数及び退去件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
入居申込件数	件	56	37	73	69	81
新規入居件数	件	21	16	22	22	26
退去件数	件	30	38	54	46	46

家賃滞納者対応件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
訪問による納付指導件数	件	1,123	1,160	1,288	1,378	1,472
住宅使用料督促状送付件数	件	1,144	1,091	1,295	1,420	1,342

※家賃滞納者対応件数は延べ件数

事業名：住宅政策に要する経費

建設部 住宅政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	05	02	11	本年	390,926		△ 39,331		351,595		349,094	99.3
				前年	247,956		△ 73,545		174,411		172,869	99.1
				比較	142,970		34,214		177,184		176,225	-
【参考】前々年度					287,560		△ 139,805	△ 1,317	146,438		145,056	99.1

節別支出済額(単位:千円)

需用費	36	委託料	8,896	工事請負費	335,276	負担金補助及び交付金	4,673
補償・補填及び賠償金	214						

概要及び成果

1 住宅政策事業

- ・住宅セーフティネットの拡大のため、市営住宅以外の選択肢として民間賃貸住宅の活用（情報提供）を促進する。
- ・市内における住生活の質の向上を図るため、つくば市マンション連絡会への支援を行う。
- ・市内の住宅ストックの居住環境の向上及び地域経済の活性化を図るため、住宅リフォーム補助金の交付を行う。
- ・サービス付き高齢者向け住宅の、施設基準の審査及び検査を行う。

【成果】

- ・民間賃貸住宅及びセーフティネット登録住宅の情報提供を行い、低額な家賃の民間賃貸住宅の周知を図った。
- ・住宅リフォーム助成事業について、申請に対し50件の助成金の交付を行った。
- ・福祉部等との連携を強化するため、福祉部等で配布するための公営住宅の案内のチラシを作成した。

つくば市安心安全リフォーム補助金の交付件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
補助金交付件数	件	50	58	-	-	-

2 市営住宅長寿命化計画実施事務

- ・社会資本整備総合交付金（社総交）を活用し、長寿命化計画に位置付けられた市営住宅改修設計及び工事を行う。
- ・社総交の要望及び交付金受領に係る申請事務
- ・市営住宅の用途廃止に伴う事務

【成果】

- ・社会資本整備総合交付金（社総交）を活用し、浴室のユニットバス化改修の設計、工事を行い、住宅の居住性向上を図った。（ひがし谷田川団地3・4号棟浴室改修工事、台町団地浴室改修設計）
- ・社総交を活用し、屋根及び外壁の改修設計及び工事、排水管改修設計を行い、住宅の長寿命化を図った。（ひがし谷田川団地1・2号棟屋根・外壁改修工事、ひがし谷田川団地3～5号棟屋根・外壁改修設計、駒形団地3～5号棟屋根・外壁改修工事、駒形団地1・2号棟排水管改修設計）
- ・金田住宅受水槽の改修設計、工事を行い、付帯設備更新による住宅の長寿命化を図った。



事業名：消防総務に要する経費

消防本部 消防総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	11	本年	40,332		△ 1,192		39,140		35,303	90.2
				前年	48,368		△ 4,903		43,465		38,833	89.3
				比較	△ 8,036		3,711		△ 4,325		△ 3,530	-
【参考】前々年度					51,456				51,456		45,326	88.1

節別支出済額(単位:千円)

報酬	700	報償費	12	旅費	337	交際費	10
需用費	21,971	役務費	450	委託料	5,494	負担金補助及び交付金	6,329

概要及び成果

1 消防職員教育訓練研修事業

県立消防学校、消防庁消防大学校及び救急救命研修所等への委託研修を実施、さらに労働安全衛生法に基づく研修を受講させる。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響による研修の中止等があり、計画どおりの入校研修は実施できなかったが、研修において新たな知識及び技術を習得することができた職員により、他の職員へのフィードバック及び情報共有を行うことができた。

消防庁消防大学校

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
幹部科	人	0	0	0	0	1
救助科	人	0	0	0	0	0
危険物科	人	0	1	1	0	0
火災調査科	人	1	0	0	0	0
緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース	人	1	1	1	0	0
緊急消防援助隊教育科NBCコース	人	0	0	1	0	0
高度救助・特別高度救助コース	人	0	1	0	1	1
査察マネジメントコース	人	0	0	0	1	0
女性活躍推進コース	人	1	0	0	1	0

茨城県立消防学校

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
初任科	人	13	14	22	30	8
特殊災害科	人	3	0	3	2	1
火災調査科	人	2	2	1	1	1
救助科	人	3	3	3	2	2
救急科	人	8	2	4	3	0
予防査察科	人	3	0	1	0	1
危険物科	人	0	3	0	1	0
警防科	人	3	3	2	1	1
操法指導研修会	人	0	0	1	1	1

茨城県救急業務高度化推進協議会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
処置拡大研修	人	0	0	0	2	1
気管挿管再教育講習会	人	0	0	5	1	5
基本特定行為再講習	人	0	7	2	4	1

救急救命研修所

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
救急救命士養成研修	人	0	0	1	1	1
指導的救命士養成研修	人	0	1	1	1	1

地方公務員安全衛生推進協会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
消防職員安全衛生研修会	人	0	0	4	4	4

量子科学技術研究開発機構 医療部門放射線医学総合研究所

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
NIRS放射線事故初動セミナー	人	3	2	0	0	0

陸上自衛隊化学学校

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
化学災害担当職員等教育訓練	人	1	0	0	0	0

警察庁科学警察

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
化学災害研修	人	1	0	0	0	1

茨城県危険物安全協会連合会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
危険物取扱者保安講習会	人	0	5	3	3	3

筑波大学

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参事ストレス初級研修	人	1	1	2	2	0

2 消防職員の健康管理事業

職員に対して健康診断及びストレスチェックを実施する。

現場活動を行う職員を対象として、B型肝炎抗原抗体検査を実施し、抗体陰性者に対しワクチンを接種する。

【成果】

健康診断及びストレスチェックにより、職員の健康状態の把握による健康管理体制を構築できた。また、交替制勤務者に対し特定業務従事者検診で各種検査を実施することで、健康管理を促すとともに組織における安全管理体制が確立できた。

3 消防吏員被服整備事業

規則に基づき消防吏員に対し災害現場活動又は事務執行時に適した被服品を貸与し、職務遂行時の消防吏員としての規律と品位を保持する。

【成果】

年間を通して被服給貸与品の業者との契約締結及び年2回の新規採用者に対し、適切な被服品の給貸与管理が出来た。また、規定規則に基づいた被服給貸与品の新規・廃棄契約及び品種の変更調整等適切に業務遂行出来た。

4 消防職員委員会運営事業

消防職員の中から推薦又は消防長から指名された計18人で構成された委員会で、消防職員から提出された意見に対し審議し、審議結果及び意見を消防長に提出する。消防長は意見の趣旨を尊重し実施することが適当であると認められるものについて、予算要求・調整を行う。

【成果】

適切に制度を運用し、職員の意見を消防事務に反映することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
消防職員委員会審議数	件	3	4	4	3	1

5 消防統計、消防年報の編集発行事務

全国規模の消防統計調査におけるつくば市の消防現勢等を全国消防長会及び総務省消防庁へ回答する。  
消防年報を編集発行し、つくば市ホームページへの掲載及び図書館等に冊子を提供する。

**【成果】**

各統計調査について、調査期日までに調査結果を報告することができた。

また、消防年報をホームページに掲載することで、市民及び庁内への適切な情報提供を行うことができた。

事業名： 予防広報業務に要する経費

消防本部 予防広報課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	12	本年	3,304				3,304		2,858	86.5
				前年	4,352		△ 776		3,576		2,527	70.7
				比較	△ 1,048		776		△ 272		331	-
【参考】前々年度					5,683				5,683		4,837	85.1

節別支出済額(単位:千円)

報償費	324	旅費	176	需用費	1,069	役務費	58
備品購入費	811	負担金補助及び交付金	420				

概要及び成果

1 住宅用火災警報器設置促進事業

普及促進事業として、市ホームページ、市民べんり帳への掲載及び各種イベントや消防訓練、救急講習会での広報活動並びに住宅への戸別訪問を実施して、住宅用火災警報器の設置目的、重要性、機能及び奏功事例について説明し、設置の促進活動を実施する。併せて、設置義務となって10年以上経過していることから設置済み住宅については、電池交換、機器交換等の適切な維持管理について広報し持続的な設置を図る。

【成果】

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、戸別訪問及びイベントが中止となったが、横断幕設置、TX駅構内及び路線バスでのポスター掲示、並びにホームページ等での設置、維持管理に係る市民への広報や、消防訓練及び救急講習会等でリーフレットや奏功事例を活用した広報を実施した。

2 幼年・少年・女性消防クラブ指導育成事業

花火教室を開催して、花火の正しい遊び方を身につけさせる。  
避難訓練を実施し、団体行動としての適切な避難要領を指導する。  
消防署の見学を通して、消防の仕事に対する理解を高めてもらう。

【成果】

消防訓練や消防署見学を通じて、幼児・児童等に火災の恐ろしさ、火災時の適切な避難行動を伝えることにより、火遊びはしない等の正しい火の取り扱いに対する意識づけを行うことができた。  
花火教室は実施できたが、イベント等への参加は中止になった。

3 防火・防災管理講習会事業

事業所等を対象とした防火・防災管理者の資格者養成のための講習会を適時開催する。

【成果】

それぞれの講習会を開催することにより、資格者を養成し、事業所における防火・防災管理の重要性を認識させることができた。一方で、新型コロナウイルス感染症に伴い、甲種防火管理者新規講習会が中止になった。

防火・防災管理各講習会 5回 受講者(修了者) 149人(169人)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
甲種防火管理者資格取得者数	件	12	14	173	157	201
乙種管理者資格取得者数	件	62	0	56	47	33
防災管理者資格取得者数	件	24	24	26	46	39
甲種防火管理者再講習受講者数	件	51	19	28	32	63
防災管理者再講習受講者数	件	20	21	30	22	44

4 火災調査等事業

火災発生の原因及び損害の調査を実施し、消防庁に報告を行うとともに、関係者に対しり災に関する証明書の交付を行う。

【成果】

火災原因調査を実施することで、出火原因等の究明につながり、火災予防対策に役立てることができた。また、り災証明について、申請者の求めに対し、即時交付することができた。

火災件数 84件（歴年）

り災証明発行数 85件

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
火災件数	件	84	63	66	76	74
り災証明発行件数	件	85	67	40	75	56

5 建築物等に対する消防同意、消防検査及び立入検査事業

建築物等の立入検査、消防検査及び消防同意により、火災発生未然防止と被害の軽減を図る。

【成果】

立入検査により、関係者に対する防火・防災意識の高揚が図れた。消防用設備等の検査及び検査済証の交付により、消防法令の遵守が図れた。消防同意により、消防法令適合と防火安全対策の確保が図れた。立入検査にあつては、新型コロナウイルス感染症に伴い、実施数が減少した。

立入検査実施数 641件（うち危険物施設 173件） 検査済証交付数 289件 消防同意数 380件

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
防火対象物立入検査	件	468	468	423	549	1,027
危険物施設立入検査	件	173	152	300	338	324
消防用設備等検査済証交付件数	件	289	350	422	389	390
消防同意件数	件	380	344	409	529	500

6 火災予防広報事業

市内で行われる各種イベント及び火災予防運動週間等における火災予防広報の実施及び年間を通じた消防訓練や消防音楽隊による啓発活動の実施する。

【成果】

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症対策から各イベント等が中止となったため、消防音楽隊による火災予防広報活動は、聖火リレーイベント参加の1回が実施された。火災予防運動週間等における火災予防広報、消防訓練時の火災予防広報を実施し市民の防火・防災意識の高揚が図れた。消防訓練時の火災予防広報数（231件）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
自衛消防訓練、防火講和等出向件数	件	231	157	419	459	467

7 危険物施設調査事業

総務省消防庁の定める統計調査に基づき、つくば市内における危険物施設の許可状況及び危険物災害等を調査し、オンラインにて総務省消防庁に報告する。

調査結果を参考に効果的な保安指導を実施する。

【成果】

前年度における危険物施設の実態調査及び事故発生状況を調査し、国及び県へオンラインにて報告した。危険物施設における事故はなし。危険物施設の立入検査については、新型コロナウイルス感染症に伴い実施件数が半減した。

8 危険物製造所等許認可事業

消防法第11条による製造所等の設置・変更許可申請及び第14条の2による予防規程の認可申請並びに火薬類取締法第17条第1項による譲受・譲渡許可及び第25条第1項による煙火・譲受消費申請に対して、法令上の基準に適合し、かつ、危険物等の貯蔵・取扱いが公共の安全の維持又は、災害の発生の防止に支障を及ぼす恐れがないかを審査する。要件に適合している場合は許可又は認可をする。

【成果】

危険物施設の設置・変更許可56件、予防規定の制定・変更12件、火薬類譲受・譲渡許可5件、煙火消費許可2件、各種講習会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い危険物事故セミナー等（オンライン対応）2件以外は中止になった。危険物の許認可申請・火薬類消費許可等については、法令に基づき適正な処理を行い、施設及び煙火消費場所の安全管理が適正に実施された。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
危険物施設の設置・許可件数	件	56	61	64	66	58
予防規定の認可件数	件	12	17	20	0	4
火薬類の譲受・譲渡件数	件	5	5	22	21	17

9 つくば市消防音楽隊制服の更新

制服更新計画を作成し計画に沿って一定数の制服を更新する。

【成果】

平成30年度に制服38着を更新したため、平成31年度（令和元年度）から休止中。令和3年度から事業の再開を予定していたが、事業の見直しを行い、当面の間休止となる。

## 事業名：警防業務に要する経費

消防本部 消防救助課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	13	本年	20,607	721	2,591	960	24,879		22,169	89.1
				前年	48,029		2,571		50,600	721	45,926	92.2
				比較	△ 27,422	721	20	960	△ 25,721	△ 721	△ 23,757	-
【参考】前々年度					36,973				36,973		34,595	93.6

## 節別支出済額(単位:千円)

旅費	421	需用費	8,329	役務費	137	委託料	1,952
使用料及び賃借料	91	原材料費	237	備品購入費	10,949	負担金補助及び交付金	53

## 概要及び成果

## 1 消防機器整備事業

災害活動時に必要な資機材の点検、購入を整備計画に基づいて実施する。

## 【成果】

消防、救助資機材の点検及び購入を計画どおりに実施して、市民の安全安心に貢献することができた。

## 2 各種災害統計事業

火災、救助、災害出動の年間統計をとり、国等への定期報告を行う。

## 【成果】

統計や算出資料をつくば市ホームページで市民に周知することにより、防火意識の高揚が図られた。

## 災害等出場状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
火災	件	73	54	61	76	71
救助	件	171	143	159	170	170
災害	件	373	446	465	535	417

## 3 大規模災害対応訓練事業

大規模災害対応訓練を企画し実施するほか、各機関主催の各種災害対応訓練に参加する。

## 【成果】

茨城県高速自動車道等消防協議会総合訓練において日本自動車研究所の協力をいただき総合訓練を実施することができた。東京2020オリンピック競技大会の警戒を含め各関係機関と合同訓練を実施し、連携体制の強化が図られた。組織の災害対応力を向上させ、市民の防災に対する理解と意識を高められた。さらに、警戒本部設置及び庁舎移転訓練を実施し、風水害発生時における災害対応力を高められた。

## 4 消防隊員用防火服更新事業

防火服の点検、職員の採用等を考慮し、ガイドラインの安全基準に沿った防火服を平準化して更新する。

## 【成果】

ガイドラインに基づいた防火服の購入を計画どおりに実施したことで、隊員の安全確保と充実強化が図られた。  
※毎年、防火服の購入を30着程度計画している。

## 5 特殊災害対策事業

特殊災害（NBCテロ災害を含む）の発生危険を想定して、関係機関、もしくは単独で訓練を実施する。  
※NBCとは、N（核）・B（生物剤）・C（化学剤）の略

## 【成果】

東京2020オリンピック競技大会開催前に解毒剤自動注射器が配備され4名の職員がインストラクター講習を受講し、関係職員に対して訓練指導を行った。茨城県立消防学校へ出向し特殊災害科の学生に訓練指導を行った。

事業名：消防指令業務に要する経費

消防本部 消防指令課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	14	本年	78,412		△ 7,330		71,082		70,000	98.5
				前年	65,623		△ 10,494		55,129		53,825	97.6
				比較	12,789		3,164		15,953		16,175	-
【参考】前々年度				180,040		△ 7,974		172,066		170,686	99.2	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,218	役務費	8,333	委託料	25,017	使用料及び賃借料	4,158
負担金補助及び交付金	31,274						

概要及び成果

1 消防指令業務

高機能消防指令センターでの音声による119番通報受付のほか、日本語が話せない外国人に対応した多言語（英語、他20言語）コールサービス利用、さらに音声通話が困難な方に対するNET119やFAX119および電話リレーサービスを含む緊急通報システムの導入により、すべての市民が円滑に消防への通報を可能にすることで、迅速な災害対応を図る。

【成果】

多言語コールサービスの利用、NET119やFAX119および電話リレーサービスを含むシステムの活用により、通報者への適切な対応がとれた。FAX119登録者との通報訓練を実施し、通信状態の確認がとれた。既存データの見直しや新規データの投入により、速やかな災害現場特定につながり指令管制業務の強化が図れた。

119番着信件数 ※1

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
火災	件	116	98	102	110	103
救急	件	9,070	7,734	8,826	9,207	8,718
救助	件	124	96	95	82	74
災害	件	393	358	405	461	378
その他 ※2	件	3,733	3,314	3,668	3,711	3,747

多言語コールサービスの対応言語別通報件数 ※3

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
英語	件	14	11	16	6	-
中国語	件	3	3	1	0	-
その他の言語	件	2	0	0	0	-

音声以外の緊急通報件数 ※4

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
NET119 ※5	件	1	6	3	3	-
FAX119	件	17	29	31	31	34
電話リレーサービス※6	件	1	-	-	-	-

※1 119番着信件数のため、実際の火災・救急・救助・災害の件数とは異なります。

※2 その他は、まちがい・同報・問い合わせ・試験等

※3 多言語コールサービスは平成30年5月14日運用開始、通訳を介した3者間通話で対応した通報件数

※4 試験通報を含む。

※5 NET119は平成30年12月1日運用開始

※6 電話リレーサービスは令和3年7月1日運用開始



2 防災通信システムの運営管理事業

高機能消防指令センターの指令システムに、目標物、水利情報及び災害弱者情報等のデータ入力や見直しを行うことで、迅速な現場把握と出場指令運用を可能にするとともに、定期点検整備の実施により適正に維持管理を行う。

【成果】

指令システムの通常・精密点検を計画的に実施したことで、適正な指令管制業務の運用が図れた。指令システム用データベースの見直しで、災害等の現場特定が容易となり、迅速な対応がとれた。部分更新にて導入した非常用の地図検索・自動編成装置を活用した取扱い訓練を実施し、119番迂回時における危機管理の強化が図れた。

3 消防救急デジタル無線の共同運用及び通信施設・機器等の管理運用事業

運営協議会による無線整備等の調査、検討を図るとともに、消防救急無線基地局、遠隔制御器、車両移動局無線機、携帯無線機等の点検整備を行う。

【成果】

茨城消防救急無線・指令センター運営協議会2回、幹事会2回にオブザーバーとして参加。総務部会2回、共同運用検討部会7回の協議を実施した。

無線基地局、および遠隔制御器、車載無線機42台、携帯無線機42台、可搬型移動局無線機3台、卓上型固定移動局無線機9台、署活動系携帯無線機82台の毎月点検を実施した。

事業名：救急業務に要する経費

消防本部 救急課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
09	01	01	15	本年	12,376		7,560	△ 43	19,893		18,228	91.6	
				前年									
				比較	12,376		7,560	△ 43	19,893		18,228	-	
【参考】前々年度													

節別支出済額(単位:千円)

需用費	13,509	役務費	100	委託料	3,113	使用料及び賃借料	924
負担金補助及び交付金	583						

概要及び成果

1 救急機器整備事業

救急資器材の維持管理を行い、救急活動時に必要な資器材を署所に配置する。

【成果】

救急活動時に必要な資器材の点検、修繕、購入が計画どおりに実施できた。

救急自動車の資器材点検と消耗品の補充

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
高規格救急自動車	台	9	8	-	-	-

2 救急教育研修事業

救急業務に携わる職員への教育や研修を行い、医学知識や救急技術の向上を図る。

【成果】

医療機関の協力により、濃厚接触者等の5名を除き、55名が病院実習を行えた。BLS等の各コースはコロナ禍により開催が軒並み中止となってしまった。全国救急隊員シンポジウムはWEB開催で1名が発表を行った。

救急救命士の研修

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
病院実習	人	55	52	-	-	-
気管挿管研修	人	4	4	-	-	-
就業前研修	人	7	6	-	-	-

3 救急講習会開催事業

救急車の現場到着前に適切な応急手当を実施できるバイスタンダーを育成し、救命率の向上を図る。

【成果】

コロナ禍以前に比べると対象数は減ったが、昨年に続き感染予防対策を取った上で講習会を実施したことで、市民のニーズに一定数は応えられた。

応急手当受講者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
普通救命講習Ⅰ	人	626	462	-	-	-
普通救命講習Ⅱ	人	0	0	-	-	-
普通救命講習Ⅲ	人	701	230	-	-	-
上級救命講習	人	0	0	-	-	-
救命入門コース	人	210	245	-	-	-
その他の救命講習	人	272	164	-	-	-
応急手当指導員と普及員の育成	人	1	0	-	-	-

サンキューカード

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
配布状況	枚	13	8	-	-	-

事業名：非常備消防運営に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	02	11	本年	162,325		△ 12,749		149,576		120,002	80.2
				前年	167,604		△ 15,262		152,342		138,643	91.0
				比較	△ 5,279		2,513		△ 2,766		△ 18,641	-
【参考】前々年度				177,889		△ 1,645		176,244		157,153	89.2	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	41,968	報償費	17,420	旅費	21,053	交際費	90
需用費	6,897	役務費	3,674	委託料	557	使用料及び賃借料	84
負担金補助及び交付金	28,258						

概要及び成果

1 消防団管理運営事業

地域の安全と安心を守る消防団が、災害対応や警戒及び点検等の活動を適切に実施できるよう、組織や団員の状況を十分に把握し円滑な運営を図る。

【成果】

消防団員報酬については、10月と3月に、出動手当等については、四半期毎に支払いを行い、適正な分団運営に寄与した。

また、令和3年12月から翌年2月にかけて、市内全域で夜間警戒活動を実施し火災予防啓発に努めた。

消防団

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
分団数	分団	47	47	47	48	48
団員	人	999	1,021	1,048	1,074	1,065
火災等出動件数	件	94	82	73	92	97
出動人員	人	2,386	2,884	2,318	3,198	3,436
警戒等	回	422	1,112	695	554	482
出動人員	人	1,266	3,329	2,094	1,706	1,474

2 消防技術向上事業

消防団員の強固な消防精神を養成し、厳正な規律と旺盛な士気のもとに教育訓練を行い、消防知識の向上と技能の高度化に努め、消防体制の強化を図ることで災害に対し迅速かつ適正な活動が可能となる。

【成果】

消防団員の消防技術の習得及び組織強化のため、各種訓練及び行事を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。その中で、全国火災予防運動に合わせて行う秋季点検については、各支団ごとの行事であったため、感染防止対策を十分に講じて実施することができた。

また、出初式についても、感染防止対策を徹底し、規模を縮小して開催することができた。

女性消防団については、年間を通し救急講習会の指導、幼児防火教室を実施しているが、各種訓練同様に救急講習会は中止となった。幼児防火教室については、再開後すぐに活動できるように、感染防止対策を行いながら20回の訓練を実施した。

各種訓練

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新分団長及び3年未満団員規律訓練	人	0	0	112	117	150
幹部規律訓練(班長以上)	人	0	0	216	206	231
消防ポンプ操法訓練	人	0	0	延2,923	延3,112	延3,037
消防ポンプ操法県南北部地区大会	支団	0	0	6	6	6
秋季点検	人	360	379	480	約1,000	約1,000
出初式	人	230	0	約800	約1,000	約1,000
救急講習会指導(女性消防団)	人	0	0	延278	延263	延332
幼児防火教室(女性消防団)	人	0	延10	延65	延45	延96

事業名：地域防災推進に要する経費

市長公室 危機管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	02	12	本年	121,534	9,020	319		130,873	18,155	104,558	93.8
				前年	98,533	4,935	65,222		168,690	9,020	152,226	95.6
				比較	23,001	4,085	△ 64,903		△ 37,817	9,135	△ 47,668	-
【参考】前々年度				115,783	4,004			119,787	4,935	108,006	94.3	
節別支出済額(単位:千円)												
旅費		25	需用費	16,650	役務費	2,233	委託料	19,063				
使用料及び賃借料		3,114	工事請負費	54,373	備品購入費	1,865	負担金補助及び交付金	7,234				
概要及び成果												
<p>1 防災設備整備等関連事業                      防災関連設備（防災行政無線、災害・防災メールの情報伝達手段や防災井戸等）の整備及び維持管理を行う。                      交通手段の断絶や流通機構の停止等により、物資供給に大きな支障が生じるおそれがあるため、災害発生から概ね3日間程度の物資確保を行う。指定避難所（公共施設）に、非常用発電機を配備する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2万人の3食3日分の食料、飲料水の備蓄を維持</li> <li>・デジタル防災行政無線を荃崎地区（森の里・自由ヶ丘・上岩崎・泊崎、大舟戸、あしび野、細見）に7基設置</li> <li>・新設する研究学園地区、香取台地区の学校へ災害用井戸及び施設の非常用発電機の整備を実施中（令和4年度中に整備完了予定）</li> </ul>												
<p>2 自主防災組織・地域防災活動支援事業                      組織発足の際の支援や資機材購入の一部補助等を行う。                      災害への備え（備蓄や家具の転倒防止、災害情報の収集など）の重要性を出前講座や防災イベント等で啓発する。                      出前講座や学校等での啓発、地域等からの相談内容に応じた研修等の対応</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織活動育成事業補助金                          運営支援等補助金 2団体                          資機材等補助金（資機材 8団体、土のう 2団体）</li> <li>・オンラインでの開催も含め出前講座を実施 15回</li> <li>・シェイクアウト訓練の実施（令和3年9月）                          149団体 48,281名参加</li> </ul>												
<p>3 地域防災計画事業                      国・県の「防災基本計画」及び「地域防災計画」の改定や通達、ガイドラインを受け、地域防災計画の見直し等を行う。東日本大震災、竜巻災害の経験等を反映させ、つくば市の防災体制を強化する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国土強靱化地域計画を策定（令和3年8月）</li> <li>・茨城県、筑波大学と協力し感染症対策を施した避難所運営マニュアルの検証を実施</li> <li>・納税課、資産税課、市民税課、社会福祉課と共同で、被災者生活再建システム運用のための訓練を2回実施</li> </ul>												

事業名：国民保護に要する経費

市長公室 危機管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	02	13	本年	65				65		5	7.6
				前年	80		△ 14		66		10	14.9
				比較	△ 15		14		△ 1		△ 5	-
【参考】前々年度					476				476		295	61.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					5							
概要及び成果												
<p>1 国民保護計画事業</p> <p>国民保護法に基づき、大規模テロや武力攻撃事態等が発生した場合において、国民の生命、身体及び財産を保護するとともに、国民生活に及ぼす影響が最小となるよう万全な態勢を整備し、的確かつ迅速に対応する。</p> <p>【成果】</p> <p>安否情報システム等を用いて、国民保護法及び災害対策基本法に基づく安否情報事務が円滑に出来るよう、システムの理解促進、操作習熟を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安否情報システム全国一斉訓練実施 (令和3年10月、令和4年2月 計2回)</li> <li>・全国瞬時警報システム（Jアラート）研修会の受講 (令和3年7月)</li> <li>・全国瞬時警報システム（Jアラート）全国一斉情報伝達訓練実施 (令和3年5月、10月、令和4年2月 計3回)</li> <li>・Em-Net導通試験実施 (毎月1回 計12回)</li> </ul>												

事業名：常備消防施設に要する経費

消防本部 消防総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	11	本年	389,400				389,400		301,282	77.4
				前年	103,777		6,541		110,318		99,012	89.8
				比較	285,623		△ 6,541		279,082		202,270	-
【参考】前々年度				105,510				105,510		92,642	87.8	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	36,654	役務費	3,222	委託料	12,580	使用料及び賃借料	11,429
工事請負費	234,996	備品購入費	2,264	公課費	137		

概要及び成果

1 消防庁舎施設維持整備事業

消防庁舎の施設及び設備の整備改修

※必要な工事に対して優先順位をつけ、計画的に実施するとともに、突発的な庁舎等の施設及び設備の改修・修繕について必要性・重要度を考慮し対応する。

【成果】

事業計画された修繕及び突発的に発生した庁舎施設等の不具合に対し修繕を実施し、庁舎の健全な機能を保持し、良好な職場環境を維持管理することが出来た。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
床・窓清掃	件	8	16	16	16	16
空調設備点検	件	16	16	16	16	16
給水設備点検	件	60	60	60	60	60
電気工作物点検	件	36	36	36	30	30
浄化槽点検	件	12	12	12	12	12
工事件数	件	11	6	4	1	3
修繕件数	件	27	30	23	27	30

2 消防事務連絡車維持管理事業

消防事務車両の車検整備を行うとともに、各種修繕を行い公用車の安全運行を確保する。

【成果】

車検整備及び法定点検並びに各署への事務用連絡車配備を事業計画に沿って実施するとともに運行前点検の励行を促し異常・損傷の早期発見が出来た。

また、損傷・劣化に伴う部品等の交換修繕を行い公用車の安全運転を確保し、業務における公用車の円滑な使用に努めることが出来た。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
車検件数	件	3	6	5	9	6
修理件数	件	3	6	7	3	15
リース件数	件	11	10	3	6	3

## 事業名：常備消防車両に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	12	本年	44,185	43,695			87,880		84,262	95.9
				前年	167,311		42,695		210,006	43,695	162,900	98.4
				比較	△ 123,126	43,695	△ 42,695		△ 122,126	△ 43,695	△ 78,638	-
【参考】前々年度				123,793				123,793		119,634	96.6	

## 節別支出済額(単位:千円)

需用費	10,957	役務費	1,392	委託料	1,077	備品購入費	69,530
公課費	1,307						

## 概要及び成果

- 1 緊急自動車更新整備事業  
消防需要の変化に応じた緊急自動車更新整備計画の見直しを定期的に行い、消防自動車の更新を行う。

## 【成果】

緊急自動車更新整備計画どおり2車両を更新整備し、災害に強いまちづくりを推進できたため、消防体制の充実強化が図られた。

## 車両更新

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
消防自動車	台	2	2	1	1	2

- 2 緊急自動車管理事業

緊急自動車の日常点検、定期点検を通年実施し、良好な状態を保つとともに、必要に応じて修繕等を行う。

## 【成果】

緊急自動車の点検整備を適正に実施することができた。また、車両の不具合を早期に発見し整備することで事故防止に努め、災害に対して迅速に対応することができた。

## 車検整備

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
消防自動車	台	16	13	19	13	19

## 定期点検整備

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
消防自動車	台	31	31	31	31	31

## 日常整備

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
消防自動車	台	31	31	31	31	31

事業名：非常備消防施設に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	13	本年	129,632		△ 15,288		114,344		96,882	84.7
				前年	133,360	3,773	△ 29,511		107,622	95,439	88.7	
				比較	△ 3,728	△ 3,773	14,223		6,722	1,443	-	
【参考】前々年度					97,973	1,836	△ 8,558		91,251	3,773	72,805	83.9

節別支出済額(単位:千円)

需用費	4,586	役務費	425	委託料	2,683	使用料及び賃借料	465
工事請負費	53,598	備品購入費	66	負担金補助及び交付金	35,060		

概要及び成果

1 消火栓新設及び修繕

消火栓の新設工事及び既存施設の維持管理を行い、消防水利の充実強化を図る。

【成果】

消火栓34基を新設し、18基の修繕を行ったことで、消防水利の充実強化が図られた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
消火栓新設	基	34	41	28	23	3
消火栓修繕	基	18	11	13	8	18

消火栓新設箇所…篠崎②、沼崎⑤、上郷⑦、田倉②、上里、真瀬③、鍋沼新田、高良田④、中別府②、下別府、鬼ヶ窪②、上河原崎、筑波③

消火栓修繕箇所…大久保、今鹿島②、高野③、稲岡、上横場、鬼ヶ窪、栗原、大角豆、横町、君島、大形②、大井、菅間、大舟戸

2 耐震性貯水槽新設(40m<sup>3</sup>)及び防火水槽修繕

消火活動に必要な耐震性貯水槽の新設工事及び既存施設の維持管理を行う。

【成果】

耐震性貯水槽1基を新設し、防火水槽2基の修繕を行った。これにより、災害に強い消防水利の充実強化が図られた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
耐震性貯水槽新設	基	1	1	1	1	2
防火水槽修繕	基	2	3	6	13	13

耐震性貯水槽新設箇所…作谷

防火水槽修繕箇所…沼崎、漆所

3 消防施設等改築・修繕・撤去

消防団詰所改築計画に基づく車庫兼詰所の改築や、損傷箇所の修繕をすることで、施設の適正管理を図る。

【成果】

分団の活動拠点となる筑波第4分団の車庫兼詰所を改築することができた。また、4箇所の詰所の修繕を行い、良好な施設の維持管理を図った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
詰所建築設計委託	箇所	0	1	1	0	1
詰所建築	箇所	1	1	0	2	0
詰所修繕	箇所	4	3	2	6	4
火の見櫓等改修	箇所	2	4	7	7	7
車庫兼詰所撤去	箇所	2	1	1	1	2

詰所建築箇所…筑波第4分団(神郡)

詰所修繕箇所…豊里第4分団(沼崎)、桜第11分団(金田)、筑波第5分団(臼井)、茎崎第1分団(小荳)

火の見櫓等改修箇所…玉取、田中

車庫兼詰所撤去箇所…上ノ室(南部)、栗原(中坪)



事業名：非常備消防車両に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	14	本年	47,485				47,485		42,164	88.8
				前年	46,704				46,704		43,320	92.8
				比較	781				781		△ 1,156	-
【参考】前々年度					47,335				47,335		43,662	92.2

節別支出済額(単位:千円)

需用費	4,167	役員費	1,122	使用料及び賃借料	422	備品購入費	34,848
公課費	1,606						

概要及び成果

1 消防車両及び消防指令車等の維持管理

消防団に配備している消防車両及び消防指令車の点検整備を行い、災害時に迅速かつ円滑な消防団活動に繋げる。

【成果】

車両の修繕や車検を行い、適正に維持管理することで、消防団活動の充実強化を図ることができた。

消防ポンプ自動車等の台数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
消防ポンプ自動車	台	49	49	50	50	50
消防可搬ポンプ積載車	台	3	3	3	3	6
消防指令車	台	2	2	2	2	2
ワゴン型貨物車	台	1	1	1	1	1
計	台	55	55	56	56	59
うち車検台数	台	28	25	29	27	29

2 消防ポンプ自動車購入

耐用年数を経過した消防車両について、車両総重量が3.5t未満の普通免許対応車両に更新する。

【成果】

車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車2台の更新を行った。

消防ポンプ自動車更新台数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
消防ポンプ自動車	台	2	2	2	2	2

内訳：桜第2分団（栗原）、筑波第7分団（筑波）

事業名：救急車両に要する経費

消防本部 救急課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
09	01	03	15	本年	9,428		41,000	43	50,471		49,581	98.2																												
				前年																																				
				比較	9,428		41,000	43	50,471		49,581	-																												
【参考】前々年度																																								
節別支出済額(単位:千円)																																								
旅費				85	需用費		7,892	役務費		1,203	備品購入費		40,150																											
公課費				251																																				
概要及び成果																																								
<p>1 救急自動車更新整備事業                      災害から市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。</p> <p>【成果】                      令和2年度更新予定の荃崎救急車と令和3年度更新予定の豊里救急車、計2車両を更新した。</p> <p>車両更新</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高規格救急自動車</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	高規格救急自動車	台	2	1	-	-	-														
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
高規格救急自動車	台	2	1	-	-	-																																		
<p>2 救急自動車管理事業                      救急出場に備え救急自動車を常に良好な状態に保ち、迅速かつ的確に対応できる車両の運用を図る。</p> <p>【成果】                      救急自動車の点検整備等を職員及び定期的に専門業者に依頼して実施したことにより、事故防止が図られ救急事案等に対し迅速に対応することができた。</p> <p>車両整備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車検</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>定期点検</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>日常点検</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	車検	台	4	5	-	-	-	定期点検	台	12	11	-	-	-	日常点検	台	12	11	-	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
車検	台	4	5	-	-	-																																		
定期点検	台	12	11	-	-	-																																		
日常点検	台	12	11	-	-	-																																		

事業名：水防訓練に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	04	11	本年	2,857		△ 2,335		522		474	90.7
				前年	3,575		△ 2,262		1,313		1,165	88.7
				比較	△ 718		△ 73		△ 791		△ 691	-
【参考】前々年度				2,493		△ 172		2,321		2,147	92.5	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	143	負担金補助及び交付金	331
-----	-----	------------	-----

概要及び成果

1 水防訓練（水害対策）事業

台風やゲリラ豪雨等による河川の氾濫や洪水に備え、水防資機材の備蓄及び体制の充実強化を図り、関係団体や訓練参加者への連絡調整を行う。

【成果】

今年度は、「鬼怒・小貝水防連合体水防訓練」及び「利根川水系水防訓練」に参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

(1) 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催当番市町		つくば市	つくば市	常総市	下妻市	つくばみらい市
実施日		中止	中止	7月2日(日)	7月1日(日)	7月2日(日)
実施場所		中止	中止	鬼怒川河川敷	鬼怒川河川敷	小貝川河川敷
参加人数	人	0	0	55	58	59

(2) 利根川水系水防訓練

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催当番		県南水防	県南水防	稲敷広域	県南水防	稲敷広域
開催日		中止	中止	5月19日(日)	5月27日(日)	5月21日(日)
実施場所		中止	中止	小貝川河川敷	小貝川河川敷	小貝川河川敷
参加人数	人	0	0	39	38	36

(1) 鬼怒川・小貝川沿岸の5市町で構成される「鬼怒・小貝水防連合体」による水防訓練を、毎年開催することで、水防工法の技術を習得し有事に備える。

構成市町：つくば市・常総市・下妻市・八千代町・つくばみらい市

(2) 利根川水系の二組合（利根川水系県南水防事務組合・稲敷地方広域市町村圏事務組合）による水防訓練を実施することで、水防工法の技術を習得し有事に備える。

利根川水系県南水防事務組合構成市：つくば市・取手市・龍ヶ崎市・牛久市・つくばみらい市

事業名：教育委員会に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
10	01	01	11	本年	4,204				4,204		3,387	80.6			
				前年	4,782		△ 297		4,485		3,600	80.3			
				比較	△ 578		297		△ 281		△ 213	-			
【参考】前々年度					4,867			△ 13	4,854		4,099	84.5			
節別支出済額(単位:千円)															
報酬					3,024	旅費			145	交際費		10	需用費		97
負担金補助及び交付金					111										
概要及び成果															
<p>1 教育委員会事業                      定例教育委員会を毎月1回開催                      必要に応じて臨時会を開催し、委員会における事務事業の適正化を図る。</p> <p>【成果】                      定例教育委員会 12回 臨時教育委員会 1回 教職員と教育委員との懇談会 1回                      会議において、教育長と教育委員の合議により、大所高所からの基本方針を決定するとともに、具体的な施策についての審議を行い、教育行政の推進・充実を図ることができた。</p>															
委員会案件数															
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度								
定例会議案		件	33	42	63	60	58								
定例会報告		件	33	30	32	26	25								
臨時会議案		件	2	6	5	2	2								
臨時会報告		件	1	1	2	0	0								

事業名：奨学資金に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	01	02	11	本年	1,892				1,892		1,838	97.1	
				前年	1,892				1,892		1,844	97.5	
				比較							△ 6	-	
【参考】前々年度					1,892				1,892		1,860	98.3	
節別支出済額(単位:千円)													
報酬					64	旅費			22	負担金補助及び交付金		1,752	
概要及び成果													
<p>1 奨学資金支給事業                      奨学生選考委員会において選考し、教育委員会において決定した奨学生一人当たり月に月額6,000円を支給（1年間、定員25人）</p> <p>【成果】                      4月 奨学生の募集受付 7月 奨学生選考委員会の開催 7月、11月、3月 奨学金支給 3月 振り返りレポートの受付                      勉学の意欲がありながら、経済的な理由によって修学が困難な者に対して、奨学金を支給し、教育の機会均等及び有用な人材育成を図ることができた。</p>													
申請者及び支給状況													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
申請者数		人	59	54	45	34	65						
支給人数		人	25※	25※	25	25※	25						
支給額/月		千円	6	6	6	6	6						
支給額		千円	1,752	1,752	1,800	1,650	1,800						
※令和3年度は1名、令和2年度は1名、平成30年度は3名が途中辞退した。													

事業名：教育施設維持管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	12	本年	1,631				1,631		1,603	98.3
				前年	30,111	12,138			42,249		42,202	99.9
				比較	△ 28,480	△ 12,138			△ 40,618		△ 40,599	-
【参考】前々年度					20,005		△ 6,078		13,927	12,138	1,589	98.6
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				118	委託料		1,485					
概要及び成果												
1 学校施設台帳加除事業 公立小学校、中学校、幼稚園並びに学校給食共同調理場ごとに学校施設台帳を作成する。 台帳には、当該学校の用に供される建物、建物以外の工作物、土地及び児童等の数、その他必要な事項を登載する。												
【成果】 国庫補助事業の執行に関する資料を得るとともに、施設の実態把握ができた。												

事業名：公用車管理に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	01	02	13	本年	8,520		△ 1,750	73	6,843		4,740	69.3	
				前年	9,616		△ 3,000	36	6,652		4,538	68.2	
				比較	△ 1,096		1,250	37	191		202	-	
【参考】前々年度					41,599			291	41,890		40,515	96.7	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				185	役務費		119		委託料		4,234	使用料及び賃借料	202
概要及び成果													
1 学校教育専用バス管理事業 学校規模や前年度実績をもとに利用回数を配分し、学校教育用大型バス2台の円滑な利用と適正管理を行う。													
【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響下で、バスの稼働日数は例年に比べて減ったものの、園外保育、校外学習等を実施し、児童生徒の豊かな心の成長と多様な教育を受ける機会の充実を図ることができた。													
稼働日数													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
車両番号5298		日	93	127	181	-	-						
車両番号22		日	-	-	※廃車	168	175						
車両番号20		日	62	56	144	179	196						
※老朽化のため車両番号22を廃車し、車両番号5298に買い替えた。													

事業名：情報教育振興に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	01	02	14	本年	2,900		2,617		5,517		4,839	87.7	
				前年	4,427		△ 1,417		3,010		2,236	74.3	
				比較	△ 1,527		4,034		2,507		2,603	-	
【参考】前々年度				5,074				5,074		4,743	93.5		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				24	需用費		1,239	役務費		70	使用料及び賃借料		3,237
備品購入費				259	負担金補助及び交付金		9						
概要及び成果													
<p>1 情報教育振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校に勤務する教職員の中から学校ICT教育推進委員を32名選出し、定期的に研修会を開催する。</li> <li>総合教育研究所職員及び学校ICT教育推進委員が、文部科学省等が主催する外部研修会に参加することを通じ、他自治体の状況等に関する見識を深めるとともに、本市からの外部発信も併せて実施する。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校ICT教育推進委員に対し、集合型及び配信型による定期研修を3回開催し、学校ICT教育の推進を図った。</li> <li>授業目的公衆送信補償金制度を予算化し、授業に必要な範囲での著作物の円滑な利活用の促進を図った。</li> <li>プログラミング学習の手引き及びチャレンジングスタディに関するリーフレットを作成し、配付する等、情報教育に関する知見を深め、その成果を教育現場に還元した。</li> </ul>													
<p>2 ICT機器・ネットワーク・ホームページの維持管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合教育研究所、学び推進課の公式ウェブサイト及びつくば市教育用ポータルサイトの維持管理を行う。</li> <li>学校現場で運用されるネットワーク機器及びコンピュータ端末等に関するヘルプデスク機能を担う。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合教育研究所及び学び推進課の公式ウェブサイト、教育用ポータルサイトの維持管理を行った。</li> <li>学校ICT指導員及びICT支援員(会計年度任用職員)が学校現場における情報端末及び通信のトラブル等に対応すべく技術支援について、迅速に支援を実施した。</li> <li>学校現場におけるICT機器・アプリケーションの設定作業等をサポートするICT支援員6名を採用した(会計年度任用職員としての採用のため、報酬等について、人事課計上)。</li> </ul>													
<p>3 SDGs シールコンテスト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童・生徒がSDGs(持続可能な開発目標)の17の視点をテーマにタブレットを活用し、作成したシールデザイン作品及びアニメーション作品のコンテストを開催し、優れた作品に対する表彰、優秀作品について、学校内外での掲示を行う。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsをテーマにしたシールデザイン部門及びアニメーション部門に11,098作品の応募があり、情報活用能力及びICT活用能力の向上を図ることができた。</li> <li>受賞作品について、当所が開設している「つくばキッズ」ウェブサイト上で公開したことで、SDGsの理念を広く周知した。</li> <li>本市独自の教科である「つくばスタイル科学園事業」においても、SDGsの理念を理解するための単元を設定し、教職員及び児童・生徒への周知や理解を図った。</li> </ul>													

事業名：学校教育活動支援・助成に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
10	01	02	15	本年	9,708				9,708		6,601	68.0																					
				前年	15,108		△ 7,734		7,374		4,208	57.1																					
				比較	△ 5,400		7,734		2,334		2,393	-																					
【参考】前々年度					15,554			△ 142	15,412		12,726	82.6																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
報償費					983	旅費			3	需用費		434	役務費		174																		
委託料					738	使用料及び賃借料			66	負担金補助及び交付金		4,203																					
概要及び成果																																	
<p>1 豊かな心育成事業                      学園単位で芸術鑑賞会等の情操教育事業を実施するとともに、参加する児童生徒の交流会等を補助する。また、6年生を対象として、舞台芸術鑑賞事業を実施する。</p> <p>【成果】                      今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で児童生徒の芸術鑑賞の機会の確保が危ぶまれたが、8学園においては事業が実施でき、児童生徒の豊かな人間性を育むことができた。                      一方で、同感染症の影響から、例年1月に実施していた6年生を対象にした劇団四季による無料での舞台芸術鑑賞事業が、昨年度に続き中止となったが、12月に劇団側の配慮によりオンラインの動画視聴形式で開催することができた。</p>																																	
<p>2 ゲストティーチャーと連携した体育の専門的な指導事業                      ゲストティーチャーとして、NPO法人つくばFCのコーチングスタッフ（日本サッカー協会公認指導者）及びトレジムつくばのスタッフを、希望のあった小学校及び義務教育学校に派遣し、専門的な見地から子どもたちの指導を行う。</p> <p>【成果】                      今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もありつつも、つくばFCによる指導は13校、トレジムつくばによる指導は2校と、対前年度比で6校増となった。実施校においては、感染症対策の措置を十分に行った上で、専門的な見地から、地域との連携に基づく児童の健やかな体づくりを行うことができた。</p> <p>実施校数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施校</td> <td>校</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	実施校	校	15	9	22	25	24							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
実施校	校	15	9	22	25	24																											
<p>3 全国及び関東各種大会出場補助事業                      小学校、中学校及び義務教育学校の児童及び生徒が、次に掲げる大会のうち、学校長の管理の下に関東大会以上の大会に県内の予選等を経て参加する際に交通費、宿泊費等の補助を行う。</p> <p>①日本中学校体育連盟が主催する体育大会                      ②全日本吹奏楽連盟、全日本合唱連盟等が主催する音楽コンクール                      ③JOCジュニアオリンピックカップ                      ④その他教育長が必要と認めた事業</p> <p>【成果】                      補助対象大会に出場する児童・生徒に対して補助を行うことにより、練習意欲の向上及び心身の健全育成を図ることができた。また、保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>交付件数等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数</td> <td>件</td> <td>30</td> <td>10</td> <td>36</td> <td>45</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>円</td> <td>2,090,912</td> <td>264,641</td> <td>2,412,110</td> <td>3,097,513</td> <td>2,318,490</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	交付件数	件	30	10	36	45	30	支給額	円	2,090,912	264,641	2,412,110	3,097,513	2,318,490
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
交付件数	件	30	10	36	45	30																											
支給額	円	2,090,912	264,641	2,412,110	3,097,513	2,318,490																											

4 学校ボランティア活動支援事業

ボランティア保険に加入し、ボランティア活動時の事故等の際に手続きを行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初は学校におけるボランティア活動の実施が難しい状況もあったものの、年間で727名のボランティア登録があり、交通安全ボランティアや校外学習時の引率などの活動を実施するに当たり、活動しやすい環境の整備及び充実を図ることができた。

加入者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
加入者	名	727	867	878	1,157	1,334

5 市PTA連絡協議会への補助事業

市PTA連絡協議会が運営する各種事業等に対し補助金を交付する。（430千円）

【成果】

要項作成、補助金の交付、実績報告・清算を行うことで、市PTA連絡協議会が開催する事業の補助を行うことができた。

6 地域との連携による学校の防災力強化推進事業

学校防災推進委員会を設置し、防災力強化を推進するとともに、防災研修会を実施する。

学校、地域と連携し、防災マップを作製する。

【成果】

学校防災推進委員会の開催、谷田部小学校、沼崎小学校、桜並木学園を対象とした防災マップの作製、各学校における地域と学校が連携した防災訓練等の取組を通じて、防災力強化を図ることができた。

7 つくば市教育長表彰事業

年度内に開催された各種大会やコンクール等において、優秀な成績を収めた市内の小中学校に在籍する児童生徒に対して、その功績を称えるためにつくば市教育長賞を授与する。

【成果】

小中学校及び義務教育学校から推薦のあった児童生徒のうち、選考基準に基づき、つくば市教育長賞（56件）を授与した。

スポーツや文化芸術など、多方面で優秀な成績を収めた児童・生徒に対して、褒状を授与することにより、その功績を称えるとともに、さらなる飛躍や活躍を図ることができた。

8 学校評議員活動支援事業

各学校長及び各幼稚園長から推薦を受けた評議員に委嘱状を交付する。

【成果】

つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則及びつくば市立幼稚園管理規則に基づき、学校長及び幼稚園長から推薦のあった259名に、学校評議員を委嘱した。

評議員から幅広いご意見をいただくことで、学校が家庭や地域と連携しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進が図れた。

9 小学校及び中学校体育連盟補助事業

つくば市内の小中学校で構成されている「つくば市小学校体育連盟」及び中学校で構成されている「つくば市中学校体育連盟」に、下記事業の開催を支援するため、補助金を交付する。（小体連 500千円 中体連 2,087千円）

①陸上記録大会、総合体育大会、新人体育大会の開催

②指導者実技講習会等の開催

③審判技術講習会等の開催

【成果】

児童生徒の健康増進及び心身の健全な発達、成長を図ることができた。

また、教員の指導力向上を図ることができた。



事業名：指導主事に要する経費

教育局 学び推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	16	本年	97,215		1,566	△ 2,469	96,312		93,706	97.3
				前年	97,160		△ 3,849		93,311		92,210	98.8
				比較	55		5,415	△ 2,469	3,001		1,496	-
【参考】前々年度					97,139				97,139		94,008	96.8

節別支出済額(単位:千円)

給料	48	職員手当等	7,026	需用費	312	役務費	154
負担金補助及び交付金	86,165						

概要及び成果

1 指導主事の配置

学園・学校における教育課程、学修指導その他学校教育に関する専門的事項の指導を行うため、指導主事を配置し、小中一貫教育をはじめとするつくば市の教育をさらに充実させる。

【成果】

(1) 学び推進課内、総合教育研究所内に指導主事を配置

学び推進課内に指導主事9人、総合教育研究所内に指導主事2人（学び推進課兼務）を配置し、市内学校の総括を行い、各学校の教育目標の達成と教育力の向上に向けて指導助言を行うとともに学校教職員の資質向上を目指し各種研修講座を実施した。

(2) 教育相談センターに指導主事を配置

教育相談センターに指導主事3人（学び推進課兼務）を配置し、不登校やいじめ等に悩む子どもや保護者・教員等に対して、電話相談・面接相談・学校訪問相談を実施し、不登校の児童生徒が学校に復帰するための適応指導教室を開催した。

(3) 教員の指導力・授業力向上を目指すための指導・助言を行った。

①計画指導訪問は、全幼稚園・学校で実施した。

②要請指導訪問は、各園・学校の要請に応じて実施した。

③基礎研修指導訪問は、初任者、2・3年次経験者配置校で実施した。

各園・学校の課題に対して指導助言を行ったことにより、経営の方針を明確にして教育活動を進めることができた。

特に学校においては、学力向上のための3つの方策(①わかる授業・魅力的な授業の展開、②効果的・効率的な授業のための学習習慣の形成、③確かな学力を育む家庭学習の推進)の必要性が浸透してきた。

(4) 学校指導訪問・研修講座

①学校指導訪問※1

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
訪問回数	回	328	300	355	357	345

②研修講座※2

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
研修回数	回	136	33	61	50	58

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により集合研修は5回実施。それ以外はオンライン開催で28回実施。  
令和3年度は集合研修を95回、オンラインでの研修を41回実施。

※1 学校指導訪問の訪問種別

管理訪問・計画指導訪問・研究指定校指導訪問・要請指導訪問・生徒指導訪問・不登校対策指導訪問・学校ICT教育推進指導訪問・特別支援教育指導訪問 等

※2 研修講座の講座種別

管理職研修講座・学力向上研修講座・各種教育研修講座 等

事業名：つくば市教育相談センター運営に要する経費

教育局 教育相談センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	17	本年	22,584				22,584		22,469	99.5
				前年	22,508		42		22,550		22,458	99.6
				比較	76		△ 42		34		11	-
【参考】前々年度					40,140		312		40,452		40,070	99.1

節別支出済額(単位:千円)

職員手当等	720	報償費	17,683	旅費	44	需用費	1,667
役務費	714	委託料	893	使用料及び賃借料	29	工事請負費	638
備品購入費	77	負担金補助及び交付金	5				

概要及び成果

1 教育相談事業

市内在住の幼稚園児や小中義務教育学校児童生徒及びその保護者や教職員を対象に電話相談及び面接相談を実施する。

学校へ行きにくくなっている児童生徒に「つくしの広場（教育支援センター）」による援助、指導を行う。

学校生活サポーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを学校に配置し、児童生徒及び保護者へのカウンセリングや悩み相談、環境改善や関係機関との連携を通して、問題の解決を目指す。

【成果】

面接相談は150件ほど減少したが、電話相談は600件ほど増加となった。つくしの広場（教育支援センター）の延べ出席日数は昨年度より90日ほど減少しており、新型コロナウイルス感染の影響があった。学校での相談体制強化のため、スクールカウンセラー・学校生活サポーター・スクールソーシャルワーカーを配置・派遣することで、相談機会の確保が図れた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
面接相談件数(延べ)	件	1,594	1,764	1,908	1,676	1,566
電話相談件数(延べ)	件	1,274	661	189	169	184
つくしの広場(通級者数)	名	16	16	11	12	13
つくしの広場(延べ)	名	671	765	783	605	353
スクールカウンセラー相談者数	名	1,040	1,001	1,136	1,289	1,894
スクールカウンセラー相談件数(延べ)	件	2,398	2,203	2,374	3,056	3,026
学校生活サポーター学習支援件数	件	3,003	3,101	2,582	3,106	2,903
学校生活サポーター悩み相談件数	件	3,358	2,784	2,903	1,801	1,480
学校生活サポーター教育活動支援件数	件	1,988	2,728	1,884	1,928	1,874
スクールソーシャルワーカー相談者数(児童生徒)	名	925	618	502	-	-
スクールソーシャルワーカー支援件数	件	3,129	2,507	2,868	-	-
スクールソーシャルワーカー連携件数(福祉・医療・教育機関等)	件	1,138	1,075	492	-	-
スクールソーシャルワーカー連携職員人数	名	3,305	2,450	2,288	-	-

2 つくば市教育相談センター維持管理事業

施設の補修及び維持管理

清掃や警備委託等

業務に必要となる備品等の購入、借用及び維持管理

【成果】

週2回の館内清掃、年3回のワックスがけ、年1回の窓ガラス・カーペット清掃の実施。中庭（高木1本を含む）植木剪定を年1回実施。網戸設置やLED照明への交換と、水道管修繕実施。

事業名：学校災害賠償保険に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	18	本年	6,330				6,330		6,281	99.2
				前年	6,640			△ 36	6,604		6,445	97.6
				比較	△ 310			36	△ 274		△ 164	-
【参考】前々年度					6,284				6,284		6,230	99.1

節別支出済額(単位:千円)

役務費 6,281

概要及び成果

- 1 学校災害賠償補償保険事務  
 全国市長会の学校災害賠償補償保険に加入する。  
 事故等の対応を実施する。

【成果】

園児・児童・生徒の数に応じて適正な保険の加入状況の管理を行った。  
 事故や災害等に対応し、円滑に保険料の支払いや受け取りができる体制を整え、保険金請求の対応に  
 当たる準備ができた。事故における学校災害賠償補償保険の対応は令和3年度は無かった。

保険加入状況（前年度5月1日現在児童・生徒数）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
小学校	人	10,882	11,018	11,098	12,507	12,359
中学校	人	4,821	4,729	4,871	5,434	5,468
義務教育学校	人	5,540	4,954	4,407	2,054	1,851
幼稚園	人	749	836	893	924	925
事故件数	件	0	1	1	1	1

- 2 建物総合損害共済保険  
 教育局管理施設について、全国市有物件災害共済会の建物損害保険に加入する。  
 事故等の対応を実施する。

【成果】

廃校施設の取壊しを行った建物の保険加入を解約して保険料の返戻を行ったり、非リースで建築して  
 いる増築校舎の新規建物保険加入を行った。

・加入施設

- ①小学校34校（廃校分を含む）
- ②中学校13校（廃校分を含む）
- ③幼稚園17園（休園分を含む）
- ④義務教育学校4校
- ⑤その他4施設（総合教育研究所、教育相談センター、教育バス車庫、吾妻教職員住宅）

事業名：特別支援教育支援員配置に要する経費

教育局 特別支援教育推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
10	01	02	19	本年	307			△ 47	260		186	71.5																					
				前年	517		△ 281		236		228	96.5																					
				比較	△ 210		281	△ 47	24		△ 42	-																					
【参考】前々年度				344			△ 53	291		135	46.3																						
節別支出済額(単位:千円)																																	
報償費				126	旅費		60																										
概要及び成果																																	
<p>1 特別支援教育支援員配置事業（学校） 特別な支援や配慮を必要とする児童・生徒の安全を確保するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じ適切な指導や支援を行うことを目的として、当該児童・生徒が在籍する公立小中学校・義務教育学校に会計年度任用職員（特別支援教育支援員）を配置する。</p> <p>【成果】 令和3年度末までに141人の特別支援教育支援員を市内40校に配置し、児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な指導・支援を行うことができた。</p> <p>配置校数及び人数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置校数</td> <td>校</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>配置人数</td> <td>人</td> <td>141</td> <td>136</td> <td>134</td> <td>123</td> <td>106</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	配置校数	校	40	39	39	39	40	配置人数	人	141	136	134	123	106
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
配置校数	校	40	39	39	39	40																											
配置人数	人	141	136	134	123	106																											
<p>2 特別支援教育支援員配置事業（幼稚園） 特別な配慮や支援を必要とする幼児の安全を確保するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じ適切な指導や支援を行うことを目的として、当該幼児が在籍する公立幼稚園に会計年度任用職員（特別支援教育支援員）を配置する。</p> <p>【成果】 令和3年度末までに、市内全園16園に42名の特別支援教育支援員を配置することにより、幼児一人一人のニーズに応じた適切な支援を行うことができた。</p>																																	
<p>3 特別支援教育教職員研修会事業 各園・校に所属する管理職、特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任教諭、特別支援教育支援員等を対象に、特別支援教育や発達障害等に関する研修会・協議会を開催する。</p> <p>【成果】 児童生徒の実態把握に苦慮する通常の学級担任や校内研修を企画する教務主任対象の研修を実施したことにより、学校主体の研修実施に繋がった。その結果、教員全体の意識にも変化が見られ、児童生徒の実態把握に特別支援教育の視点が適切に加わるようになった。</p>																																	

事業名：学校管理に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	20	本年	2,130				2,130		2,130	100.0
				前年	2,147				2,147		2,147	100.0
				比較	△ 17				△ 17		△ 17	-
【参考】前々年度					2,129				2,129		2,128	99.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				18	委託料		2,112					
概要及び成果												
<p>1 就学事務事業                      消耗品一式購入、就学事務電算処理委託、就学援助事務電算処理委託</p> <p>【成果】                      住民基本台帳・個人住民税のデータとリンクした行政情報システムの使用により、事務を正確かつ効率的に進めることができた。</p>												

事業名：教育総務に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
10	01	02	21	本年	9,053			△ 73	8,980		6,882	76.6		
				前年	14,089		△ 280		13,809		11,612	84.1		
				比較	△ 5,036		280	△ 73	△ 4,829		△ 4,730	-		
【参考】前々年度					9,891			△ 136	9,755		8,718	89.4		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					58	旅費		839	需用費		1,108	役務費		77
負担金補助及び交付金					4,801									
概要及び成果														
<p>1 人権教育推進事業 つくば市人権教育基本計画に基づき、人権教育研修会や講演会へ参加する。 人権啓発ポスター展を開催する。</p> <p>【成果】 5月・3月 人権教育推進協議会の開催、7月 人権啓発ポスター募集、通年 人権教育研修会及び講演会への参加 同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しい理解を深め、人権尊重の精神を基調とし、啓発活動や人権研修を推進することにより、偏見を持たない児童・生徒の育成を図ることができた。</p>														
<p>2 学校事務の効率化・簡略化の推進事業 市内45校を5グループに分け、学校事務を共同で処理することにより、教職員の校務を軽減し、事務職員の事務処理のスキルアップを図る。</p> <p>【成果】 ・各グループで事務を共同実施（月に2～3回）、グループ間の連絡調整のための企画会を実施 ・5月17日に学校事務共同実施協議会会議を開催、第2回については書面報告とした。 各グループでの相互確認点検により、より適切かつ正確に事務が処理された。学校事務職員間で情報共有を図ることができたほか、教育局からの情報提供や提案についても、効率よく周知することができた。</p>														
<p>3 教育広報事業 教育委員会の取り組み、成果、市立の小中学校・幼稚園における教育活動等に関する情報発信（広報紙の発行及びホームページへの掲載） 教育委員会の組織、事業予定、予算、児童生徒数、教育施設等のつくば市の教育概要を掲載した冊子を作成</p> <p>【成果】 6月に「つくばの教育概要2021」を発行した。 また、ホームページを利用して教育局の取組等を発信するなど、市民に対して積極的に教育に関する情報を発信し、つくば市の教育に対する理解を深めることができた。</p>														
<p>4 教育統計調査事業 国及び県による各種統計調査の実施 学校基本調査、地方教育費調査、中学校等生徒の卒業後の進路希望調査・進路状況調査等</p> <p>【成果】 学校基本調査では学校教育行政に必要な基本的事項の把握、進路状況調査・進路希望調査では、進路指導等へ活用することができた。また地方教育費調査では、学校教育、社会教育、生涯学習関連及び教育行政における地方公共団体から支出された経費等の実態を明らかにすることで、今後の教育諸施策を検討・立案するための基礎資料とすることができた。</p>														

<p>5 事務事業の点検評価及び教育振興基本計画の進行管理事務 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の事務事業の点検・評価を実施する。事務事業は内部評価を実施するほか、学識経験者等からの意見を受け、各事業の改善及び適正化に反映させる。 点検・評価の実施に当たっては、教育プランの進行管理を踏まえたものとする。</p> <p><b>【成果】</b> 教育に関する事務の管理及び執行の状況について、内部評価を実施するほか、外部の学識経験者による評価を実施するとともに、教育プランの進行管理を実施した。</p>
<p>6 叙位・叙勲事務 春秋叙勲、高齢者叙勲受賞者の内申及び伝達を行う。 死亡叙位・叙勲の内申及び遺族への伝達を行う。（教育関係の職務に30年以上従事し、満88歳になる前に死亡したものに対して。）</p> <p><b>【成果】</b> 高齢者叙勲を4名行った（内申中の者1名）。死亡者叙位を5名行った。 学校教育関係者（元学校長）で功績顕著な者について、その功労に対し、叙勲の恩命に浴びせしめることができた。</p>
<p>7 教職員の人事に関する事務 年度末、年度始に行う教職員人事異動の内申事務手続き 辞令交付式の開催</p> <p><b>【成果】</b> 年度末・年度始めに行う教職員人事異動の内申事務手続き及び辞令交付を行った。適材適所の人事配置により、組織の活性化及び教育効果の向上を図ることができた。 令和3年度末異動者 退職者76名、転出者（行政等への転出含む）73名 令和4年度始め異動者 新規採用115名、転入者94名</p>
<p>8 後援名義許可事業 団体等からの後援名義使用申請について、つくば市教育委員会の教育目標、方針等に沿った事業に後援名義の使用を承認する。</p> <p><b>【成果】</b> ・申請件数142件 ・承認件数142件、不承認件数0件 教育委員会の教育目標・方針等に沿った事業に対して、後援名義の使用を承認することで、教育、学術、文化、スポーツの振興を図ることができた。</p>
<p>9 省エネ法改正に伴う中長期計画書作成事業 教育委員会施設のエネルギー使用量について、定期報告書・中長期計画書を、7月末に国へ提出する。 ※使用量の調査・計画書作成は、管財課で一括委託</p> <p><b>【成果】</b> 法令に基づき、7月に報告書及び中長期計画書を提出し、エネルギーの合理的使用を図った。</p>
<p>10 教育に関する団体等への負担金 関連団体等に負担金を納付する。 中学校体育連盟、教科書図書選定協議会 学校警察連絡協議会、学校長会、教頭会、教務主任会 教育研究会、事務職員会</p> <p><b>【成果】</b> 関連団体に負担金を納付し、教育行政活動を円滑に遂行するための一助となった。 中学校体育連盟、教科書図書選定協議会、学校長会、教頭会、教務主任会、教育研究会、日本義務教育学会</p>
<p>11 庶務 消耗品及び図書等の計画的整備</p> <p><b>【成果】</b> 消耗品や図書の整備を計画的に実施し、業務が円滑に進んだ。</p>

事業名：学校教育研究支援に要する経費

教育局 学び推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
10	01	02	22	本年	27,647		△ 2,317	△ 198	25,132		24,080	95.8			
				前年	24,558		△ 2,195	△ 247	22,116		18,248	82.5			
				比較	3,089		△ 122	49	3,016		5,832	-			
【参考】前々年度				11,678		600		12,278		10,000	81.4				
節別支出済額(単位:千円)															
報償費		809		旅費		10		需用費		1,675		役務費		136	
委託料		6,046		使用料及び賃借料		396		備品購入費		360		負担金補助及び交付金		14,647	
概要及び成果															
<p>1 研究指定校支援事業 教育研究校を指定し、指導法や教材の研究開発を行い、市内幼稚園、小・中学校の指導法の向上を図る。教育委員会主催の各種研修講座に専門家の招聘や視察研修をする。</p> <p>【成果】 研究指定校を、令和3年度は2学園指定した。指定校訪問と要請訪問を行い、令和4年度の発表会に向けて、授業実践を行った。</p>															
<p>2 サイエンスキッズリーグ事業 市内5年生と8年生を対象に科学に関する筆記問題や実技問題の取組を通して、相互の親睦を図るとともに、科学の面白さや楽しさを体験し、理科好きや化学好きの子供を育てる。</p> <p>【成果】 令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。令和元年度の状況としては、1次リーグで小中学生合計で210名が参加した。その1次リーグの結果から、小中各8チーム、合計16チームの決勝リーグ進出を決定し、学園の森義務教育学校理科室において、課題実験等による実技を行い、優秀な結果を収めた児童生徒に対して、賞を贈った。真剣に課題に取り組む姿が見られた。</p>															

事業名：国際理解教育推進に要する経費

教育局 学び推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
10	01	02	23	本年	2,657				2,657		1,860	70.0			
				前年	2,369			247	2,616		2,502	95.7			
				比較	288			△ 247	41		△ 642	-			
【参考】前々年度				2,259				2,259		1,976	87.5				
節別支出済額(単位:千円)															
報償費		1,454		需用費		142		役務費		136		委託料		128	
概要及び成果															
<p>1 日本語ボランティア派遣事業 日本語の理解が十分でない児童生徒には、学習や生活に支障なく取り組むことができるようになるための通常学級での支援が必要である。日本語力は、児童生徒により程度が異なり、個に対応する支援を充実させるため、支援が必要な学校に日本語指導ボランティアの派遣を行う。</p> <p>【成果】 日本語指導ボランティアを市内20校に派遣し、個に応じた支援を継続したことで日本語理解が進んだ。 市内 20校 延べ1,300時間</p>															
<p>2 国際理解集会 児童生徒の多文化理解を促進するために、各校又は学園単位で国際理解集会等を計画・実施し、外国の文化や考え方に体験的に触れる機会を設ける。</p> <p>【成果】 市内小学校16校と義務教育学校4校で国際理解集会を実施し、異文化理解を深めることができた。 主な講師派遣元：保護者、国際交流協会、国際交流室、AET、ワールドキャラバン、JICA出前講座</p>															



事業名：つくばスタイル科振興に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	24	本年	1,477		△ 431		1,046		778	74.4
				前年	2,010		△ 901		1,109		596	53.8
				比較	△ 533		470		△ 63		182	-
【参考】前々年度				1,936				1,936		1,255	64.8	
節別支出済額(単位:千円)												
報償費				237	需用費				541			
概要及び成果												
<p>1 小中学校プレゼンテーションコンテスト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒を対象につくばスタイル科での学習成果について、電子黒板及びスタディノートを使用したプレゼンテーションコンテストを実施する。</li> <li>・校内審査を経て選出された学校代表作品による決勝大会を実施する。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションコンテストを開催し、児童・生徒のICT活用能力、表現力及び発信力等の向上を図った。</li> <li>・プレゼンテーションコンテストの開催スタイルについて、新型コロナ感染症拡大の影響から、ライブ配信型に変更したことにより、新しい開催スタイルを構築した。</li> <li>・受賞作品をつくばプレコンWeb内で紹介することで、児童・生徒の学習成果を広く周知した。</li> </ul>												
<p>2 つくばスタイル科の振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校に勤務する教職員をメンバーとする「つくばスタイル科ワーキンググループ」を編成し、単元プランの作成・見直しを実施する。</li> <li>・その成果を「つくばスタイル科単元プラン集」として取りまとめ、本教科で実施すべき内容を各学校へ周知する。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばスタイル科ワーキンググループ研修会を5回開催し、つくばスタイル科の方向性及び単元プランの見直しを図った。</li> <li>・つくばスタイル科の実践事例等を通じて、つくばスタイル科の円滑な取り組みへの支援を実施した。</li> </ul>												

事業名：幼保小連携教育推進に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	25	本年	495				495		465	94.0
				前年	990				990		910	91.9
				比較	△ 495				△ 495		△ 445	-
【参考】前々年度				990				990		951	96.0	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				465								
概要及び成果												
<p>1 幼保小連携教育推進事業</p> <p>こどもの非認知能力を向上させる研修を実施し「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した保育法について知見を深める。</p> <p>幼保小の交流を計画的に実施し異年齢との関わりを通して様々な体験活動の充実を図る。</p> <p>アプローチ、スタートカリキュラムを通して円滑な幼保小の接続や幼保小の情報交換の充実を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>計画指導訪問時の指導を通して、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿や非認知能力の育成を推進した。</p> <p>保育施設・学校間での幼児・児童の交流が困難であったため、同一施設内での異年齢交流や環境構成の工夫を通して共同的な遊びや様々な体験の充実を図った。</p>												

事業名：総合教育研究所に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	26	本年	12,506				12,506		10,179	81.4
				前年	16,845		△ 1,559		15,286		14,311	93.6
				比較	△ 4,339		1,559		△ 2,780		△ 4,132	-
【参考】前々年度				23,088				23,088		20,994	90.9	

節別支出済額(単位:千円)

職員手当等	720	報償費	76	旅費	8	需用費	4,321
役務費	668	委託料	1,465	使用料及び賃借料	1,857	負担金補助及び交付金	1,064

概要及び成果

- 1 教員のICT活用指導力向上研修事業
- 各学校から選任されたICT担当の教職員を対象に、ICT機器の効果的な活用のための悉皆研修を設定し、実施する。
  - 各学校からの要請に応じ、情報担当指導主事及び学校ICT指導員の訪問による研修を実施するとともに、研修に必要なICT機器を整備する。

【成果】

- 各学校に勤務するICT担当の教職員を対象に、学校ICT教育研修講座を3回実施し、教職員のICT機器の効果的な活用力、授業力及び実践力の向上を図った。
- 各学校から要請に応じ、情報担当主事及び学校ICT指導員による訪問研修（オンライン型研修も含む）を45回実施した。

2 教職員研修補助事業

- 各学校に勤務する教職員の資質向上を図るため、外部研修会への参加に必要な経費（受講料、参加費及び図書等購入費）について、予算の範囲内で補助金として支援する。

【成果】

- 職務命令によらない外部研修等（オンライン型研修等も含む）への参加に必要な経費（受講料、参加費及び図書等購入費）を補助金として支援することにより、各教職員の専門的知識の向上を図り、研修等で習得した知識や技能を授業等に還元させることができた。

3 教職員研修事業

- 各学校に勤務する教職員に対し、学級経営等に関する悉皆研修及び研修講座等を実施し、教職員として求められる資質、能力、授業力、実践力等の向上を図る。

【成果】

- 主に以下の研修を開催したことで、教職員として求められる資質、能力、授業力、実践力等の向上を図った。
- 悉皆研修2講座（日本の伝統音楽研修講座、STEAM研修講座）
  - 特別研修講座（ISAK研修）
  - 学級経営研修講座
  - 学校ICT教育研修講座 他

総合教育研究所主催研修実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
回数	回	5	5	6	21	39
延べ人数	人	233	229	282	563	1,102
訪問研修*オンライン型研修含む	人	1,136	197	488	約900	-

総合教育研究所施設使用実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
回数	回	139	101	96	134	99
延べ人数	人	2,731	3,626	3,275	4,871	4,571

4 教育に関する調査・研究事業

- ・児童・生徒の学力や意識等の変容を捉えるため、アンケート及び各種調査を実施する。
- ・各学園での教育実践の取組、教職員及び児童・生徒の意識等について、変容を調査する。
- ・調査によって明らかとなった本市の教育の成果等を、広報誌やホームページ等を通じて発信する。

**【成果】**

- ・各学校に勤務する教職員に対し、アンケート及び調査の実施を通じて、教育課程内における取り組みに対し、積極的な実践への啓発を行うことができた。

5 小中一貫教育推進体制の整備事業

- ・教職員研修を通じて、小中一貫教育への理念の平準化を図る。
- ・小中一貫教育全国サミットに参加し、見識を広げるとともに本市の小中一貫教育の成果について発表する。
- ・本市の小中一貫教育に関するパンフレット及び資料等を作成し、教職員及び視察者に取組と成果を広報する。

**【成果】**

- ・小中一貫教育全国サミットについて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、会場参加型の開催からデジタル開催（Webを活用した事前録画等によるオンライン配信）となった
- ・計画指導訪問等の学校訪問時に、教職員に対する小中一貫教育の周知を図った。

6 つくば市総合教育研究所維持管理事業

- ・研修会場及び学校現場のICT機器に関する諸業務を所管する部署として、施設修繕及び維持管理に必要な各種業務（電気保安管理、消防設備点検、施設警備、敷地内清掃、植栽維持管理、貯水槽清掃等）の契約を締結する。
- ・効率的な事務執行を図るため、総合教育研究所内で使用する情報機器の購入及び賃借等に関する契約を締結する。

**【成果】**

- ・研修会場及び学校現場のICT機器に関する諸業務を所管する部署として、維持管理及び施設修繕に必要な各種業務の委託契約を締結し、安全で使いやすい施設環境を維持した。
- ・情報機器の購入及び賃借等に関する契約を締結し、効率的な事務執行を図った。

事業名：学校教育指導に要する経費

教育局 学び推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
10	01	02	27	本年	13,598		21,403	2,667	37,668		26,482	70.3																																			
				前年	16,724		4,939		21,663		13,464	62.2																																			
				比較	△ 3,126		16,464	2,667	16,005		13,018	-																																			
【参考】前々年度					18,697				18,697		11,912	63.7																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
報酬					2,064	報償費	198	旅費	139	需用費	247																																				
補償・補填及び賠償金					23,834																																										
概要及び成果																																															
<p>1 学校教育指導員の配置事業                      教育内容・生徒指導・保護者対応など教育現場が抱える多くの問題に関し、電話相談に応じる。また、状況に応じ直接現場での面談や指導助言を行うことで、効果的で迅速な問題解決へ向けた支援となる。また、教員に対して適宜、研修会を開催することで教職員の質のさらなる充実を図った。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>名</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>相談回数(延べ)</td> <td>回</td> <td>46</td> <td>52</td> <td>48</td> <td>50</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>研修会実施回数</td> <td>回</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>訪問回数</td> <td>回</td> <td>305</td> <td>320</td> <td>312</td> <td>300</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	人数	名	2	2	2	2	1	相談回数(延べ)	回	46	52	48	50	155	研修会実施回数	回	2	2	2	2	2	訪問回数	回	305	320	312	300	51
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
人数	名	2	2	2	2	1																																									
相談回数(延べ)	回	46	52	48	50	155																																									
研修会実施回数	回	2	2	2	2	2																																									
訪問回数	回	305	320	312	300	51																																									
<p>2 学校図書館の環境整備                      (1) 学校経営方針に基づき司書教諭の指示により、司書教諭を補助して学校図書館の環境整備を行う。                      (2) 年度初めの図書館利用のガイダンスや新刊本の紹介や書架の整理、休み時間の図書の貸し出し返却業務を行う。                      (3) 選書のアドバイスなど、読書好きの児童を育てる活動などを行う。</p> <p>【成果】                      児童数600人以上の小学校及び義務教育学校(前期課程)11校には週5日、児童数400人以上の小学校5校には週4日、児童数400人未満の小学校17校には週3日、中学校及び義務教育学校(後期課程)には週1日配置した。司書教諭補助員は学校図書館内の環境整備や読書活動の推進の補助にあたった結果、学校図書館に対する意識が高まり各学校の教育目標達成に効果を上げた。</p> <p>(1) 学校図書館の環境が整備された。                      (2) 蔵書の整理が行われ、本を選びやすい環境が整えられた。                      (3) 読み聞かせなどの活動が行われ、読書意欲が高まった。                      (4) 授業で活用できる選書のアドバイスなどにより、職員全体に学校図書館の活用に関する意識が高まり、授業での積極的な活用が見られ、児童の読書量が増えている。</p>																																															
<p>3 理科支援員派遣                      理科教育の向上という観点から、専門性のある理科支援員を市内全小学校及び義務教育学校(前期課程)に配置する。理科支援員は理科授業の準備・片付け・実験の補助等を行う。</p> <p>【成果】                      理科支援員の配置により、実験・観察等の体験的な授業が充実し、児童の関心・意欲が向上した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校及び義務教育学校数</td> <td>校</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>時間数</td> <td>時間</td> <td>6,813</td> <td>5,145</td> <td>5,155</td> <td>5,067</td> <td>4,934</td> </tr> <tr> <td>支援員配置人数</td> <td>人</td> <td>33</td> <td>37</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	小学校及び義務教育学校数	校	33	33	33	33	37	時間数	時間	6,813	5,145	5,155	5,067	4,934	支援員配置人数	人	33	37	33	33	37							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
小学校及び義務教育学校数	校	33	33	33	33	37																																									
時間数	時間	6,813	5,145	5,155	5,067	4,934																																									
支援員配置人数	人	33	37	33	33	37																																									

事業名：学校等適正配置計画に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	28	本年	1,500				1,500		766	51.1
				前年	1,514				1,514		1,068	70.6
				比較	△ 14				△ 14		△ 302	-
【参考】前々年度						5,684			5,684		4,186	73.7
節別支出済額(単位:千円)												
報酬				608	旅費				158			
概要及び成果												
<p>1 学校等適正配置事業 つくば市学校等適正配置計画（指針）の見直し 小規模校の統廃合や過大規模校における学区分割、学校の新設等、標準規模化と適正配置の推進</p> <p>【成果】 学区審議会を開催し、新設校の学区に関し、慎重な審議を行うことが出来た。</p>												

事業名：特別支援教育に要する経費

教育局 特別支援教育推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
10	01	03	11	本年	1,144			47	1,191		736	61.8																												
				前年	1,512				1,512		1,060	70.1																												
				比較	△ 368			47	△ 321		△ 324	-																												
【参考】前々年度					16,857			53	16,910		16,170	95.6																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
報酬				272	旅費		196		需用費	231		備品購入費	37																											
概要及び成果																																								
<p>1 教育支援委員会運営事業 つくば市教育委員会の附属機関として「つくば市教育支援委員会」を設置し、特別な配慮や支援を必要とする未就学児及び在学児童・生徒に関する適切な就学先や教育措置の内容等について、各分野の専門家による審議を定期的実施する。</p> <p>【成果】 教育支援委員会委員の任期満了に伴い、15名を新たに任命し、年間10回の教育支援委員会を開催した。審議対象幼児・児童生徒について適切な就学及び措置変更に繋げることができた。</p>																																								
<p>2 特別支援教育相談事業 未就学児を対象とした就学相談、在学児童・生徒を対象とした教育相談を通じ、特別な配慮や支援を必要とする者の実態を把握するとともに、各幼稚園・学校への巡回訪問を実施し、必要に応じて随時各在籍園・校に対する指導及び助言を行う。</p> <p>【成果】 保護者等の来所による就学・教育相談は496回（前年度505回）、幼稚園・学校等への調査や観察訪問は626回（前年度556回）電話による相談等は2,849回（前年度3,140回）を実施した。</p> <p>年間相談回数（延べ回数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談回数</td> <td>回</td> <td>496</td> <td>505</td> <td>431</td> <td>486</td> <td>312</td> </tr> <tr> <td>調査・観察訪問回数</td> <td>回</td> <td>626</td> <td>556</td> <td>496</td> <td>530</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td>電話相談回数</td> <td>回</td> <td>2,849</td> <td>3,140</td> <td>2,828</td> <td>1,948</td> <td>1,877</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	相談回数	回	496	505	431	486	312	調査・観察訪問回数	回	626	556	496	530	405	電話相談回数	回	2,849	3,140	2,828	1,948	1,877
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
相談回数	回	496	505	431	486	312																																		
調査・観察訪問回数	回	626	556	496	530	405																																		
電話相談回数	回	2,849	3,140	2,828	1,948	1,877																																		

事業名：施設整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
10	02	01	11	本年	358,808	113,964	351,334	△ 462	823,644	101,772	695,180	96.8																					
				前年	302,610	137,759	72,945	10,849	524,163	113,964	390,580	96.3																					
				比較	56,198	△ 23,795	278,389	△ 11,311	299,481	△ 12,192	304,600	-																					
【参考】前々年度				246,175	11,918	114,398	11,597	384,088	137,759	223,462	94.0																						
節別支出済額(単位:千円)																																	
委託料		13,692	工事請負費	397,553	公有財産購入費	283,338	補償・補填及び賠償金						597																				
概要及び成果																																	
<p>1 小学校施設工事・修繕事業 各学校の状況に応じ施設の整備を行う (1) 小学校施設の改修工事、土木工事、修繕工事の実施 (2) 改修工事等の設計業務委託</p> <p><b>【成果】</b> ①各小学校の修繕工事等を実施したことで教育環境を図ることができた。 (実施件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築・土木・修繕工事</td> <td>件</td> <td>75</td> <td>72</td> <td>54</td> <td>56</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>工事の設計委託</td> <td>件</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>②上郷小学校南棟屋上外壁改修工事 ・屋根防水工事 A=1,729㎡ ・外壁改修工事 A=1,959㎡</p> <p>③竹園西小学校校舎外壁改修工事 ・外壁塗装工事 A=5,195㎡</p> <p>④東小学校1階床改修工事 ・フローリングの改修工事 A=1,250㎡</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	建築・土木・修繕工事	件	75	72	54	56	56	工事の設計委託	件	8	13	7	7	5
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
建築・土木・修繕工事	件	75	72	54	56	56																											
工事の設計委託	件	8	13	7	7	5																											
<p>2 小学校教育環境整備工事トイレ改修事業 劣化が著しいトイレについて、バリアフリー化、便器の洋式化等の全体的な改修を行う。</p> <p><b>【成果】</b> 吾妻小学校トイレ改修工事 児童生徒用トイレの改修工事を行ったことで、衛生的な教育環境を確保した。</p>																																	

事業名：学校管理運営に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	02	01	12	本年	405,699			11,533	417,232		416,110	99.7	
				前年	425,010		△ 1,980		423,030		392,420	92.8	
				比較	△ 19,311		1,980	11,533	△ 5,798		23,690	-	
【参考】前々年度				433,231				433,231		409,921	94.6		
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				226,416	役務費		26,243	委託料		163,143	使用料及び賃借料		309
概要及び成果													
<p>1 スクールバス運行事業 スクールバスによる対象児童の送迎</p> <p>【成果】 統廃合に伴う遠距離児童の通学手段及び安全を確保することができた。</p>													
<p>2 小学校管理運営事業 消耗品費や光熱水費等、各学校の実情に合った予算執行管理を行う。</p> <p>【成果】 小学校及び義務教育学校（前期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、円滑な学校運営に寄与した。</p>													

事業名：学校保健管理に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	13	本年	70,008				70,008		68,838	98.3
				前年	71,206		△ 3,135		68,071		65,974	96.9
				比較	△ 1,198		3,135		1,937		2,864	-
【参考】前々年度				64,629				64,629		63,560	98.3	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	40,723	旅費	940	需用費	5,687	役務費	4,150
委託料	1,962	使用料及び賃借料	1,067	負担金補助及び交付金	14,309		

概要及び成果

- 1 小学校学校保健管理事業  
 (1)各学校に学校医(一般医:57名、眼科医:33名)、学校歯科医(57名)を配置し定期健康診断等を行い児童の健康管理を行う。  
 (2)学校薬剤師(33名)による学校衛生管理検査(プール及び飲料水の水質、換気、採光、照明等)を実施し学校衛生の管理を行う。

【成果】

学校及び学校医等との連携により、児童の健康管理と学校教育環境の維持向上を図ることができた。

2 災害共済給付事業

学校管理下における児童の災害に対して、その保護者に対する災害共済給付金の請求等の手続きを行う。

【成果】

学校管理下における児童の災害に対して、給付金の支給を円滑に進めることができた。

一人あたりの掛金 935円(うち保護者 460円、市負担 475円)

災害共済給付制度への加入者及び給付件数等

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
加入者	人	15,395	15,062	14,697	14,420	14,103
給付件数	件	911	974	1,198	1,356	1,163
給付額	円	4,018,591	4,724,166	6,119,167	6,387,650	6,400,293

3 体力・運動能力調査集計業務

【成果】

令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止対策により、体力・運動能力調査は実施なし。

体力・運動能力調査実施者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
調査実施者	人	15,451	-	14,683	14,442	14,212



事業名：備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	14	本年	42,466				42,466		40,500	95.4
				前年	40,622				40,622		39,991	98.4
				比較	1,844				1,844		509	-
【参考】前々年度					20,642				20,642		20,398	98.8
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				1,097	使用料及び賃借料		1,029	備品購入費		38,374		
概要及び成果												
<p>1 小学校管理備品購入・修繕事業 学校規模に配慮しながら運営上必要となる管理備品の整備及び修繕を行う。</p> <p>【成果】 学校運営に必要な管理備品などを整備し教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>(1) 管理備品の修繕を行った。</p> <p>(2) 学校管理備品（机・椅子・棚等）を購入（市内全ての小学校及び義務教育学校前期課程33校）した。</p>												

事業名：学校施設取得に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	15	本年	146,858				146,858		146,857	100.0
				前年	146,810				146,810		146,809	100.0
				比較	48				48		48	-
【参考】前々年度					175,274				175,274		175,273	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料				146,857								
概要及び成果												
<p>1 小学校施設償還金返済事業 都市再生機構の立替施行による償還金を返済する。</p> <p>【成果】 都市再生機構からの請求に対し、支払いを円滑に行った。 対象校：東小（設計）、東小、二の宮小（増築）、大曾根小</p>												

事業名：施設管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																										
10	02	01	16	本年	134,162		△ 1,294		132,868		124,763	93.9																																										
				前年	127,491			△ 11,403	116,088		111,059	95.7																																										
				比較	6,671		△ 1,294	11,403	16,780		13,704	-																																										
【参考】前々年度				121,247			△ 12,462	108,785		106,616	98.0																																											
節別支出済額(単位:千円)																																																						
需用費				28,302	役務費		34	委託料		85,469	使用料及び賃借料		10,958																																									
概要及び成果																																																						
<p>1 小学校施設開放事業 つくば市における社会体育の振興を図るため、教育委員会所管に属する学校施設及び設備を学校教育に支障のない範囲で定期的・継続的に、市民の使用のため提供する。</p> <p>【成果】 活動団体に対して、活動の場を提供できた。</p>																																																						
<p>2 小学校施設管理委託事業 (1)小学校施設の小規模な修繕や不具合の解消 (2)浄化槽法定点検 (3)法令等に基づく各種検査及び施設衛生管理に必要な委託等の実施 (4)芝管理委託 (5)校内植栽の維持管理等</p> <p>【成果】 学校施設の安全を確保するとともに、適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。</p> <p>①各小学校の適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。(実施件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)修繕</td> <td>件</td> <td>334</td> <td>383</td> <td>393</td> <td>393</td> <td>356</td> </tr> <tr> <td>(2)浄化槽法定点検</td> <td>校</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(3)通常点検作業</td> <td>件</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>(4)芝管理委託</td> <td>校</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>(5)植栽剪定等</td> <td>件</td> <td>27</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>23</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕 (2)浄化槽法定検査・・・沼崎、真瀬、谷田部南、旧作岡 (3)消防設備、電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検等 (4)芝管理委託・・・吉沼、葛城、上郷、九重、東、春日学園、竹園東、みどりの、学園の森、秀峰 (5)植栽剪定・伐採</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	(1)修繕	件	334	383	393	393	356	(2)浄化槽法定点検	校	4	4	4	4	4	(3)通常点検作業	件	48	48	48	48	52	(4)芝管理委託	校	10	10	10	10	7	(5)植栽剪定等	件	27	30	31	23	20
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																
(1)修繕	件	334	383	393	393	356																																																
(2)浄化槽法定点検	校	4	4	4	4	4																																																
(3)通常点検作業	件	48	48	48	48	52																																																
(4)芝管理委託	校	10	10	10	10	7																																																
(5)植栽剪定等	件	27	30	31	23	20																																																
<p>3 小学校用地借上げ事業 小学校9校 30筆 合計借上げ面積：30,428.07㎡（前野小学校、栄小学校、北条小学校、谷田部小学校、島名小学校、柳橋小学校、大曾根小学校、吉沼小学校、秀峰学園）</p> <p>【成果】 学校用地を賃借することにより学校教育環境の向上に大きな成果が得られた。</p>																																																						

事業名：情報機器整備に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	17	本年	76,134				76,134		71,667	94.1
				前年	65,954				65,954		58,952	89.4
				比較	10,180				10,180		12,715	-
【参考】前々年度					58,667		5,624		64,291		62,895	97.8
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				4,127	委託料		1,095	使用料及び賃借料	64,387	備品購入費		2,059
概要及び成果												
1 小学校事務用パソコン整備事業 校務用コンピュータ、センターサーバ、複合機、印刷機、校務支援システム等の整備・運用												
【成果】 校務用コンピュータ及び周辺機器等を整備することで事務の利便性向上と効率化を図った。												
(1) 校務用コンピュータ及びセンターサーバの整備（貸借期間：令和4年3月～令和9年2月） センターサーバ、無停電電源装置及びネットワーク機器の更新 校務用コンピュータの更新：665台												
(2) 校務支援システムの運用 令和2年度に導入したシステムの効率的な運用を行うため、教職員を対象とした研修会を年6回開催した。 システム概要：出欠席管理、指導要録作成、保健管理、調査票作成等												
(3) 印刷機の整備 平成28年12月導入機器の更新：11台（貸借期間：令和3年12月～令和8年11月）												
(4) 複合機の整備 平成28年12月導入機器の更新：1台（貸借期間：令和3年12月～令和8年11月）												
(5) 令和3年度末設置台数 校務用コンピュータ：983台 印刷機：40台 複合機：33台												

事業名：新型コロナウイルス学校内感染防止対策に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	18	本年			41,048		41,048		41,048	100.0
				前年			49,000		49,000		48,116	98.2
				比較			△ 7,952		△ 7,952		△ 7,068	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				2,621	委託料		413	備品購入費	38,015			
概要及び成果												
1 学校における感染症対策等支援 学校の教育活動再開に際し、感染症対策に必要となる物品の購入等の支援を行う。												
【成果】 感染症対策に必要となる飛沫防止パーテーションや消毒液等の購入のほか、消毒作業を希望する学校に対しては、ドアノブや手すり等の消毒作業を外部委託し、教職員の負担軽減に寄与した。												
2 子供たちの学習保障支援 児童生徒の学びの保障のため、感染の状況や児童生徒の状況に応じた教育活動や家庭学習実施の支援を行う。												
【成果】 児童生徒の学びの保障のため、電子黒板や配信用機材等の備品を購入し、オンライン授業の実施に寄与した。												

事業名：特別支援教育就学奨励に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
10	02	02	11	本年	9,092				9,092		7,313	80.4																					
				前年	8,468				8,468		7,677	90.7																					
				比較	624				624		△ 364	-																					
【参考】前々年度					9,002				9,002		7,534	83.7																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
扶助費					7,313																												
概要及び成果																																	
<p>1 小学校特別支援教育就学奨励事業 世帯の収入額が生活保護基準の2.5倍未満の世帯に対し、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入 学学用品費、学校給食費、修学旅行費の一部を支給する。</p> <p>【成果】 252人認定し、認定児童の保護者に援助したことで、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>特別支援教育就学奨励費の支給人数及び支給額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>人</td> <td>252</td> <td>246</td> <td>240</td> <td>236</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>円</td> <td>7,312,654</td> <td>7,676,770</td> <td>7,528,608</td> <td>7,531,026</td> <td>6,591,331</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給人数	人	252	246	240	236	203	支給額	円	7,312,654	7,676,770	7,528,608	7,531,026	6,591,331
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
支給人数	人	252	246	240	236	203																											
支給額	円	7,312,654	7,676,770	7,528,608	7,531,026	6,591,331																											

事業名：要保護等児童就学援助に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
10	02	02	12	本年	79,210		13,053		92,263		78,805	85.4																												
				前年	71,855		32,885		104,740		98,372	93.9																												
				比較	7,355		△ 19,832		△ 12,477		△ 19,567	-																												
【参考】前々年度					58,861		8,237		67,098		66,545	99.2																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
扶助費					78,805																																			
概要及び成果																																								
<p>1 小学校要保護等児童就学援助事業 世帯の収入額が、生活保護基準の1.5倍未満の世帯に対し、学校長及び民生委員意見等を総合的に審 査して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学学用品費、学校給食費、修学旅行費、トレシャ ツ費の一部または全額を支給する。</p> <p>【成果】 1,281人認定し、認定児童の保護者に援助したことで、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>要保護・準要保護認定者の支給人数及び支給額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要保護支給人数</td> <td>人</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>準要保護支給人数</td> <td>人</td> <td>1,276</td> <td>1,107</td> <td>952</td> <td>846</td> <td>746</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>円</td> <td>78,804,798</td> <td>73,895,078</td> <td>66,544,906</td> <td>59,408,193</td> <td>54,983,005</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	要保護支給人数	人	5	0	3	0	0	準要保護支給人数	人	1,276	1,107	952	846	746	支給額	円	78,804,798	73,895,078	66,544,906	59,408,193	54,983,005
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
要保護支給人数	人	5	0	3	0	0																																		
準要保護支給人数	人	1,276	1,107	952	846	746																																		
支給額	円	78,804,798	73,895,078	66,544,906	59,408,193	54,983,005																																		

事業名：教材整備に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	13	本年	42,722			△ 3,467	39,255		39,255	100.0
				前年	137,276		△ 380		136,896		133,257	97.3
				比較	△ 94,554		380	△ 3,467	△ 97,641		△ 94,002	-
【参考】前々年度					30,266				30,266		29,997	99.1
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				23,785	備品購入費		15,471					
概要及び成果												
<p>1 小学校教材整備事業 小学校及び義務教育学校（前期課程）に予算を令達し、学校の実情に応じた教材や図書備品等の整備を行う。</p> <p>【成果】 小学校及び義務教育学校（前期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、児童一人一人にきめ細かい学習指導を展開する上で必要な教材を整備したことで、学習環境の充実を図ることができた。</p>												

事業名：特別活動等に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	14	本年	9,195			△ 2,582	6,613		6,613	100.0
				前年	11,995		△ 1,760		10,235		6,432	62.8
				比較	△ 2,800		1,760	△ 2,582	△ 3,622		181	-
【参考】前々年度					12,643				12,643		8,192	64.8
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				6,383	使用料及び賃借料		231					
概要及び成果												
<p>1 小学校音楽会及び陸上記録会への支援事業 市内全校参加で行われる音楽会、陸上記録会に参加するために使用されるバスの賃借料を支給する。</p> <p>【成果】 合唱フォーラムに参加するに当たり、バスを借り上げたことで児童の会場への移動手段及び安全を確保することができた。</p> <p>2 小学校学校行事記念品購入事業 卒業記念品等の購入のための予算令達</p> <p>【成果】 小学校及び義務教育学校（前期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、卒業記念品等を購入したことで、教育活動の充実を図ることができた。</p>												

事業名：教育振興助成に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																								
10	02	02	15	本年	8,595			△ 158	8,437		8,437	100.0																																																								
				前年	8,989				8,989		8,006	89.1																																																								
				比較	△ 394			△ 158	△ 552		431	-																																																								
【参考】前々年度					10,315				10,315		8,514	82.5																																																								
節別支出済額(単位:千円)																																																																				
需用費				3,773	負担金補助及び交付金		4,665																																																													
概要及び成果																																																																				
<p>1 小学校遠距離通学費補助事業 4 km以上の距離を通学している児童の保護者及び4 km未満でバス、自転車で通学している児童の保護者に対して、通学費を補助する。</p> <p><b>【成果】</b> 対象児童に補助金を交付したことで、保護者の負担を軽減することができた。</p> <p>4 km以上通学対象者支給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>人</td> <td>78</td> <td>69</td> <td>76</td> <td>75</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>対象校数</td> <td>校</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>円</td> <td>2,010,000</td> <td>1,971,500</td> <td>2,217,900</td> <td>2,205,000</td> <td>3,240,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 km未満バス・自転車通学対象者支給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>人</td> <td>255</td> <td>261</td> <td>262</td> <td>257</td> <td>434</td> </tr> <tr> <td>対象校数</td> <td>校</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>円</td> <td>2,654,700</td> <td>2,578,000</td> <td>2,589,000</td> <td>2,555,500</td> <td>4,340,000</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給人数	人	78	69	76	75	108	対象校数	校	7	6	6	6	8	支給額	円	2,010,000	1,971,500	2,217,900	2,205,000	3,240,000		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給人数	人	255	261	262	257	434	対象校数	校	7	7	6	6	5	支給額	円	2,654,700	2,578,000	2,589,000	2,555,500	4,340,000
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																														
支給人数	人	78	69	76	75	108																																																														
対象校数	校	7	6	6	6	8																																																														
支給額	円	2,010,000	1,971,500	2,217,900	2,205,000	3,240,000																																																														
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																														
支給人数	人	255	261	262	257	434																																																														
対象校数	校	7	7	6	6	5																																																														
支給額	円	2,654,700	2,578,000	2,589,000	2,555,500	4,340,000																																																														
<p>2 小学校教育振興助成事業 小学校及び義務教育学校（前期課程）の在籍者で自転車通学を行っている児童に自転車用ヘルメットを支給 学力診断テスト用品等の予算令達</p> <p><b>【成果】</b> 自転車通学用ヘルメットを支給したことで、通学時の安全確保に寄与した。 また、学力診断テストの実施により個人毎の授業に対する習熟度を測ることができた。</p> <p>ヘルメット配布実績表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布人数</td> <td>人</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>5</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>対象校数</td> <td>校</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	配布人数	人	20	22	26	5	24	対象校数	校	2	2	2	2	2																																			
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																														
配布人数	人	20	22	26	5	24																																																														
対象校数	校	2	2	2	2	2																																																														

事業名：教材備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	16	本年	20,181				20,181		19,273	95.5
				前年	20,989				20,989		20,960	99.9
				比較	△ 808				△ 808		△ 1,687	-
【参考】前々年度					20,889			73	20,962		16,906	80.7
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					740	備品購入費		18,532				
概要及び成果												
<p>1 小学校教材備品購入・修繕事業                      学校規模に配慮しながら教育に必要な教材備品の整備及び修繕を行う。                      予算は学校に配分し、学校の要望に沿って購入する。</p> <p>【成果】                      学校運営に必要となる教材備品を整備し教育環境の充実を図ることができた。                      (1) 教材備品の修繕を行った。                      (2) 各小学校の教材備品（理科・算数・体育教材等）を購入（市内全ての小学校及び義務教育学校前期課程33校）した。</p>												

事業名：ICT教育推進に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	02	02	17	本年	312,389	48,224		△ 5,326	355,287		346,852	97.6	
				前年	122,620	460,374	90,991		673,985	48,224	563,701	90.8	
				比較	189,769	△ 412,150	△ 90,991	△ 5,326	△ 318,698	△ 48,224	△ 216,849	-	
【参考】前々年度				139,440		460,374		599,814	460,374	138,753	99.9		
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				358	役務費		17,194	委託料		2,251	使用料及び賃借料		276,443
備品購入費				50,607									
概要及び成果													
<p>1 小学校ICT教育推進事業 小学校及び義務教育学校（前期課程）における教育用コンピュータ、電子黒板、学習支援システム等の整備</p> <p>【成果】 文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」に基づき、各事業を実施し、主に以下の成果を達成した。</p> <p>(1)児童1人当たり1台の教育用コンピュータの整備 児童の増加に対応するため、追加導入を行った。 導入台数：1,082台（貸借期間：令和3年9月～令和8年8月）</p> <p>(2)ネットワークの増強 教育用コンピュータの大幅な増加やオンライン学習に対応するため、センター集約型のネットワークの一部をローカルブレイクアウト方式に変更し、直接各学校からインターネットに接続ができるようにした。</p> <p>(3)Wi-Fiルータの貸出し ①要保護、準要保護に該当かつ家庭にインターネット通信環境がない児童 32台（貸出期間：6月～3月） ②新型コロナウイルス感染症対応に伴う休校等時のオンライン学習に対応するため、家庭にインターネット通信環境がない一部の児童 40台（貸出期間：9月） 72台（貸出期間：1月～3月）</p> <p>(4)電子黒板購入（令和2年度からの事業繰越） 購入台数：160台（令和3年1月仮契約。令和3年3月議決により本契約。令和3年6月納品）</p> <p>(5)令和3年度末設置台数（令和4年3月1日現在児童数：15,518人） 児童用教育用パソコン（令和元年度以前導入）：1,170台 児童用教育用パソコン（令和2年度以降導入）：14,632台 電子黒板（コンピュータ教室分含む）：516台（令和元年度寄贈分66台含む）</p>													

事業名：小学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	03	11	本年	189,985			462	190,447		190,445	100.0
				前年	1,023,867		△ 10,017	△ 1,081	1,012,769		745,344	73.6
				比較	△ 833,882		10,017	1,543	△ 822,322		△ 554,899	-
【参考】前々年度				111,359		1,192,292	792	1,304,443		1,278,374	98.0	
節別支出済額(単位:千円)												
使用料及び賃借料				189,983	負担金補助及び交付金		462					
概要及び成果												
<p>1 小学校建設事業 義務教育学校校舎増築を実施するにあたり、学校との連絡、調整を行う。</p> <p>【成果】 みどりの学園義務教育学校リース校舎増築（19教室）により、教室不足となる学校を解消することができた。</p>												



事業名：（仮称）香取台地区小学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	03	12	本年	954,124		△ 53,015		901,109	354,989	546,000	100.0
				前年	96,090	1,017	6,941		104,048	98,869	95.0	
				比較	858,034	△ 1,017	△ 59,956		797,061	354,989	447,131	-
【参考】前々年度					53,579		△ 10,755		42,824	1,017	41,147	98.5
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				13,055	工事請負費		532,481	負担金補助及び交付金		464		
概要及び成果												
<p>1 （仮称）香取台地区小学校建設事業 つくばエクスプレス沿線開発に伴い、島名地区周辺の就学人口増が見込まれ、島名小学校の教室数では対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和5年4月開校を目標に（仮）香取台地区小学校を建設する。</p> <p>【成果】 令和5年4月の開校に向けて、建設工事に着手した。工事工程どおり順調に進行中。</p>												

事業名：（仮称）研究学園小学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	02	03	13	本年	1,168,570	213,699	△ 141,051		1,241,218	620,239	620,893	100.0	
				前年	67,449	1,338	228,297	1,635	298,719	213,699	78,324	97.8	
				比較	1,101,121	212,361	△ 369,348	△ 1,635	942,499	406,540	542,569	-	
【参考】前々年度										1,338			
節別支出済額(単位:千円)													
委託料				1,943	工事請負費		404,685	公有財産購入費		213,699	負担金補助及び交付金		566
概要及び成果													
<p>1 （仮称）研究学園小学校建設事業 つくばエクスプレス沿線開発に伴い、葛城地区周辺の就学人口増が見込まれ、学園の森義務教育学校の教室数では、対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和5年4月開校を目標に（仮）研究学園小学校を建設する。</p> <p>【成果】 令和5年4月の開校に向けて、建設工事に着手した。工事工程どおり順調に進行中。</p>													

事業名：（仮称）みどりの南小学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	03	14	本年	153,160	1	△ 1,406		151,755		141,486	93.2
				前年	1,152,752		158,797		1,311,549	1	1,311,547	100.0
				比較	△ 999,592	1	△ 160,203		△ 1,159,794	△ 1	△ 1,170,061	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				141,486								
概要及び成果												
<p>1 （仮称）みどりの南小学校建設事業 つくばエクスプレス沿線開発に伴い、萱丸地区周辺の就学人口増が見込まれ、みどりの学園義務教育学校の教室数では対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和6年4月開校を目標に（仮）みどりの南小学校を建設する</p> <p>【成果】 令和6年4月開校に向けて、設計業務を完了させた。</p>												

事業名：施設整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
10	03	01	11	本年	197,730	393,475	524,406		1,115,611	413,545	603,996	91.2																					
				前年	49,965	71,929	385,567	9,936	517,397	393,475	106,766	96.7																					
				比較	147,765	321,546	138,839	△ 9,936	598,214	20,070	497,230	-																					
【参考】前々年度					115,781		71,929		187,710	71,929	107,082	95.4																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
委託料		18,007	工事請負費		444,320	公有財産購入費		141,669																									
概要及び成果																																	
<p>1 中学校施設工事・修繕事業 各学校の状況に応じ施設の整備を行う (1) 中学校施設の改修工事、土木工事、修繕工事の実施 (2) 改修工事等の設計業務委託</p> <p>【成果】 ①各中学校の修繕工事等を実施したことで教育環境を図ることができた。(実施件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築・土木・修繕工事</td> <td>件</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>23</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>工事の設計委託</td> <td>件</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>②荃崎中学校屋内運動場屋根及び外壁改修工事 ・屋根改修工事 A=2,415㎡ ・外壁改修工事 A=2,712㎡</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	建築・土木・修繕工事	件	39	39	34	23	48	工事の設計委託	件	9	6	2	4	8
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
建築・土木・修繕工事	件	39	39	34	23	48																											
工事の設計委託	件	9	6	2	4	8																											
<p>2 中学校教育環境整備工事トイレ改修事業 劣化が著しいトイレについて、バリアフリー化、便器の洋式化等の全体的な改修を行う。</p> <p>【成果】 吾妻中学校トイレ改修工事 生徒用トイレ、職員用トイレ、多目的トイレの改修工事を行ったことで、衛生的な教育環境を確保した。</p>																																	

事業名：学校管理運営に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	12	本年	156,603			9,190	165,793		165,495	99.8
				前年	173,287		△ 1,881		171,406		158,729	92.6
				比較	△ 16,684		1,881	9,190	△ 5,613		6,766	-
【参考】前々年度					185,211				185,211		171,185	92.4
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		120,145	役務費		13,505	委託料		30,646	使用料及び賃借料		1,199	
概要及び成果												
<p>1 スクールバス運行事業 スクールバスによる対象生徒の送迎</p> <p>【成果】 統廃合に伴う遠距離生徒の通学手段及び安全を確保することができた。</p>												
<p>2 中学校管理運営事業 消耗品費や光熱水費等、各学校の実情に合った予算執行管理を行う。</p> <p>【成果】 中学校及び義務教育学校（後期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、円滑な学校運営に寄与した。</p>												

事業名：学校保健管理に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	13	本年	30,045				30,045		28,698	95.5
				前年	30,677		△ 1,642		29,035		27,716	95.5
				比較	△ 632		1,642		1,010		982	-
【参考】前々年度					28,942				28,942		27,474	94.9

節別支出済額(単位:千円)

報酬	16,451	旅費	312	需用費	3,758	役務費	936
委託料	826	使用料及び賃借料	507	負担金補助及び交付金	5,908		

概要及び成果

- 1 中学校学校保健管理事業  
 (1)各学校に学校医(一般医:25名、眼科医:16名)、学校歯科医(25名)を配置し定期健康診断等を行い生徒の健康管理を行う。  
 (2)学校薬剤師(12名)による学校衛生管理検査(プール及び飲料水の水質、換気、採光、照明等)を実施し学校衛生の管理を行う。

【成果】

学校及び学校医等との連携により、生徒の健康管理と学校教育環境の維持向上を図ることができた。

2 災害共済給付事業

学校管理下における生徒の災害に対して、その保護者に対する災害共済給付金の請求等の手続きを行う。

【成果】

学校管理下における生徒の災害に対して、給付金の支給を円滑に進めることができた。  
 一人あたりの掛金 935円(うち保護者 460円、市負担 475円)

災害共済給付制度への加入者及び給付件数等

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
加入者	人	6,358	6,126	5,859	5,832	5,889
給付件数	件	980	761	1,122	1,123	1,170
給付額	円	5,998,278	5,398,981	6,258,477	7,397,888	7,730,376

3 体力・運動能力調査集計業務

【成果】

令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止対策により、体力・運動能力調査は実施なし。

体力・運動能力調査実施者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
調査実施者	人	6,502	-	5,935	5,937	5,951

事業名：備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	14	本年	23,453				23,453		22,646	96.6
				前年	20,197			1,717	21,914		21,870	99.8
				比較	3,256			△ 1,717	1,539		776	-
【参考】前々年度					12,847				12,847		11,061	86.1
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				712	使用料及び賃借料		504	備品購入費		21,430		
概要及び成果												
<p>1 中学校管理備品購入・修繕事業 学校規模に配慮しながら運営上必要となる管理備品の整備及び修繕を行う。</p> <p>【成果】 学校運営に必要となる管理備品などを整備し教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>(1) 管理備品の修繕を行った。</p> <p>(2) 学校管理備品（机・椅子・棚等）を購入（市内全ての中学校及び義務教育学校後期課程16校）した。</p>												

事業名：学校施設取得に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	15	本年	23,746				23,746		23,746	100.0
				前年	23,721				23,721		23,720	100.0
				比較	25				25		26	-
【参考】前々年度					23,695				23,695		23,695	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料				23,746								
概要及び成果												
<p>1 中学校施設償還金返済事業 都市再生機構の立替施行による償還金を返済する。</p> <p>【成果】 都市再生機構からの請求に対し、支払いを円滑に行った。</p> <p>対象校：谷田部東中設計（2期）、谷田部東中増築（2期）、手代木中増築設計、手代木中増築</p>												

事業名：施設管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
10	03	01	16	本年	65,967		△ 511		65,456		63,047	96.3																																			
				前年	68,018			△ 11,652	56,366		55,296	98.1																																			
				比較	△ 2,051		△ 511	11,652	9,090		7,751	-																																			
【参考】前々年度					63,800			△ 661	63,139		58,701	93.0																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
需用費		13,489	役員費	16	委託料	38,804	使用料及び賃借料	8,314																																							
負担金補助及び交付金		2,425																																													
概要及び成果																																															
<p>1 中学校施設開放事業 つくば市における社会体育の振興を図るため、教育委員会所管に属する学校施設及び設備を学校教育に支障のない範囲で定期的・継続的に、市民の使用のため提供する。</p> <p>【成果】 活動団体に対して、活動の場を提供できた。</p>																																															
<p>2 中学校施設管理委託事業 (1) 中学校施設の小規模な修繕や不具合の解消 (2) 浄化槽法定点検 (3) 法令等に基づく各種検査及び施設衛生管理に必要な委託等の実施 (4) 校内植栽の維持管理等</p> <p>【成果】 学校施設の安全を確保するとともに、適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。</p> <p>①各中学校の適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。(実施件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)修繕</td> <td>件</td> <td>145</td> <td>162</td> <td>176</td> <td>156</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>(2)浄化槽法定点検</td> <td>校</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(3)通常点検作業</td> <td>件</td> <td>38</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>(4)植栽剪定等</td> <td>件</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕 (2)浄化槽法定検査・・・高山 (3)消防設備、電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検等 (4)植栽剪定・伐採</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	(1)修繕	件	145	162	176	156	192	(2)浄化槽法定点検	校	1	2	2	2	2	(3)通常点検作業	件	38	33	33	33	41	(4)植栽剪定等	件	14	17	13	14	9
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
(1)修繕	件	145	162	176	156	192																																									
(2)浄化槽法定点検	校	1	2	2	2	2																																									
(3)通常点検作業	件	38	33	33	33	41																																									
(4)植栽剪定等	件	14	17	13	14	9																																									
<p>3 中学校用地借上げ事業 中学校6校 13筆 合計借上げ面積：21,473.89㎡（筑波東中学校、桜中学校、高山中学校、荃崎中学校、高崎中学校、秀峰学園）</p> <p>【成果】 学校用地を賃借することにより学校教育環境の向上に大きな成果が得られた。</p>																																															

事業名：情報機器整備に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	17	本年	35,572				35,572		32,023	90.0
				前年	31,266				31,266		26,880	86.0
				比較	4,306				4,306		5,143	-
【参考】前々年度					28,678		525		29,203		27,663	94.7
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				2,805	使用料及び賃借料		29,198	備品購入費		19		
概要及び成果												
1 中学校事務用パソコン整備事業 校務用コンピュータ、センターサーバ、複合機、印刷機、校務支援システム等の整備・運用												
【成果】 校務用コンピュータ及び周辺機器等を整備することで事務の利便性向上と効率化を図った。												
(1) 校務用コンピュータ及びセンターサーバの整備（賃借期間：令和4年3月～令和9年2月） センターサーバ、無停電電源装置及びネットワーク機器の更新 校務用コンピュータの更新：285台												
(2) 校務支援システムの整備 令和2年度に導入したシステムの効率的な運用を行うため、教職員を対象とした研修会を年6回開催した。 システム概要：出欠席管理、指導要録作成、保健管理、調査票作成等												
(3) 印刷機の整備 平成28年12月導入機器の更新：8台（賃借期間：令和3年12月～令和8年11月）												
(4) 複合機の整備 平成28年12月導入機器の更新：2台（賃借期間：令和3年12月～令和8年11月）												
(5) 令和3年度末設置台数 校務用コンピュータ：514台 印刷機：27台 複合機：16台												

事業名：新型コロナウイルス学校内感染防止対策に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	18	本年			20,494		20,494		20,494	100.0
				前年			23,500		23,500		22,311	94.9
				比較			△ 3,006		△ 3,006		△ 1,817	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				890	備品購入費		19,604					
概要及び成果												
1 学校における感染症対策等支援 学校の教育活動再開に際し、感染症対策に必要となる物品の購入等の支援を行う。												
【成果】 感染症対策に必要となる飛沫防止パーテーションや消毒液等を購入し、生徒や教職員の感染症対策に寄与した。												
2 子供たちの学習保障支援 児童生徒の学びの保障のため、感染の状況や児童生徒の状況に応じた教育活動や家庭学習実施の支援を行う。												
【成果】 児童生徒の学びの保障のため、電子黒板や配信用機材等の備品を購入し、オンライン授業の実施に寄与した。												

事業名：特別支援教育就学奨励に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	11	本年	5,720				5,720		4,586	80.2
				前年	5,520				5,520		3,593	65.1
				比較	200				200		993	-
【参考】前々年度					5,007				5,007		3,475	69.4
節別支出済額(単位:千円)												
扶助費					4,586							
概要及び成果												
1 中学校特別支援教育就学奨励事業 世帯の収入額が生活保護基準の2.5倍未満の世帯に対し、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入 学学用品費、学校給食費、修学旅行費の一部を支給する。 <b>【成果】</b> 95人認定し、認定児童の保護者に援助したことで、経済的な負担を軽減することができた。												
特別支援教育就学奨励費の支給人数及び支給額												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
支給人数					人	95	78	71	80	86		
支給額					円	4,585,699	3,593,205	3,475,200	3,605,410	4,172,593		

事業名：要保護等生徒就学援助に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	12	本年	81,460		904		82,364		69,034	83.8
				前年	70,871		13,553		84,424		75,186	89.1
				比較	10,589		△ 12,649		△ 2,060		△ 6,152	-
【参考】前々年度					60,796		3,182		63,978		63,471	99.2
節別支出済額(単位:千円)												
扶助費					69,034							
概要及び成果												
1 中学校要保護等生徒就学援助事業 世帯の収入額が、生活保護基準の1.5倍未満の世帯に対し、学校長及び民生委員意見等を総合的に審 査して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学学用品費、学校給食費、修学旅行費、トresh ャツ費の一部または全額を支給する。 <b>【成果】</b> 816人認定し、認定児童の保護者に援助したことで、経済的な負担を軽減することができた。												
要保護・準要保護認定者の支給人数及び支給額												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
要保護支給人数					人	2	0	2	5	4		
準要保護支給人数					人	814	727	651	645	500		
支給額					円	69,033,551	60,309,815	63,470,664	62,995,286	67,267,111		

事業名：教材整備に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	13	本年	61,336			△ 2,762	58,574		58,567	100.0
				前年	20,020				20,020		19,760	98.7
				比較	41,316			△ 2,762	38,554		38,807	-
【参考】前々年度					21,279				21,279		20,915	98.3
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				48,654	備品購入費		9,914					
概要及び成果												
<p>1 中学校教材整備事業 中学校及び義務教育学校（後期課程）に予算を令達し、学校の実情に応じた教材や図書備品等の整備を行う。</p> <p>【成果】 中学校及び義務教育学校（後期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、生徒一人一人にきめ細かい学習指導を展開する上で必要な教材を整備したことで、学習機能の充実を図ることができた。</p>												

事業名：特別活動等に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	14	本年	38,321			△ 2,015	36,306		36,306	100.0
				前年	38,373		△ 374		37,999		27,791	73.1
				比較	△ 52		374	△ 2,015	△ 1,693		8,515	-
【参考】前々年度					38,592				38,592		38,181	98.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				6,562	使用料及び賃借料		29,744					
概要及び成果												
<p>1 中学校学校行事記念品購入事業 卒業記念品等の購入のための予算令達</p> <p>【成果】 中学校及び義務教育学校（後期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、卒業記念品等を購入したことで、教育活動の充実を図ることができた。</p>												
<p>2 中学校部活動等支援事業 各部活動用具の購入 各種大会に参加するために使用されるバスの賃借料を支給</p> <p>【成果】 各部活動用具の購入のための予算令達や各種大会へ参加するに当たりバスを借り上げたことで生徒の移動手段及び安全を確保することができ、部活動の円滑な推進や保護者の経済的負担軽減に寄与した。</p>												



事業名：教育振興助成に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
10	03	02	15	本年	10,594			△ 1,006	9,588		9,588	100.0																												
				前年	11,822				11,822		10,313	87.2																												
				比較	△ 1,228			△ 1,006	△ 2,234		△ 725	-																												
【参考】前々年度					11,460				11,460		9,915	86.5																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
需用費				8,644	負担金補助及び交付金		944																																	
概要及び成果																																								
<p>1 中学校遠距離通学費補助事業 6 km以上の距離を通学している生徒の保護者及び6 km未満でバス・自転車で通学している生徒の保護者に対し、通学費を補助する。</p> <p>【成果】 対象生徒に補助金を支給したことで、保護者の負担を軽減することができた。</p> <p>支給実績表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>人</td> <td>73</td> <td>78</td> <td>66</td> <td>63</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>対象校数</td> <td>校</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>円</td> <td>944,200</td> <td>886,600</td> <td>803,600</td> <td>937,200</td> <td>1,169,600</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給人数	人	73	78	66	63	76	対象校数	校	4	4	4	4	5	支給額	円	944,200	886,600	803,600	937,200	1,169,600
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
支給人数	人	73	78	66	63	76																																		
対象校数	校	4	4	4	4	5																																		
支給額	円	944,200	886,600	803,600	937,200	1,169,600																																		
<p>2 中学校教育振興助成事業 中学生及び義務教育学校（後期課程）の在籍者で自転車通学を行っている生徒に自転車用ヘルメットを支給 学力診断テスト用品等の予算令達</p> <p>【成果】 自転車通学用ヘルメットを支給したことで、通学時の安全確保に寄与した。 また、学力診断テストの実施により個人毎の授業に対する習熟度を測ることができた。</p> <p>ヘルメット配布実績表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布人数</td> <td>人</td> <td>2,074</td> <td>2,049</td> <td>2,027</td> <td>1,933</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>対象校数</td> <td>校</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	配布人数	人	2,074	2,049	2,027	1,933	1,900	対象校数	校	16	16	16	16	15							
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
配布人数	人	2,074	2,049	2,027	1,933	1,900																																		
対象校数	校	16	16	16	16	15																																		

事業名：教材備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	16	本年	11,724				11,724		11,369	97.0
				前年	11,900				11,900		11,233	94.4
				比較	△ 176				△ 176		136	-
【参考】前々年度					11,800				11,800		8,452	71.6
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				519	備品購入費		10,851					
概要及び成果												
<p>1 中学校教材備品購入・修繕事業 学校規模に配慮しながら教育に必要な教材備品の整備及び修繕を行う。 予算は学校に配分し、学校の要望に沿って購入する。</p> <p>【成果】 学校運営に必要な教材備品を整備し教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>(1) 教材備品の修繕を行った。 (2) 各中学校の教材備品（理科・数学・体育教材等）を購入（市内全ての中学校及び義務教育学校後期課程16校）した。</p>												

事業名：ICT教育推進に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	17	本年	154,826			△ 3,407	151,419		149,112	98.5
				前年	74,433	258,961	16,188		349,582		316,866	90.6
				比較	80,393	△ 258,961	△ 16,188	△ 3,407	△ 198,163		△ 167,754	-
【参考】前々年度					70,220		258,961		329,181	258,961	69,830	99.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					421	役員費	7,000	委託料	630	使用料及び賃借料	139,006	
備品購入費					2,054							
概要及び成果												
<p>1 中学校ICT教育推進事業                      中学校及び義務教育学校（後期課程）における教育用コンピュータ、電子黒板、学習支援システム等の整備</p> <p>【成果】                      文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」に基づき、各事業を実施し、主に以下の成果を達成した。</p> <p>(1)生徒1人当たり1台の教育用コンピュータの整備                      生徒の増加に対応するため、追加導入を行った。                      導入台数：464台（貸借期間：令和3年9月～令和8年8月）</p> <p>(2)ネットワークの増強                      教育用コンピュータの大幅な増加やオンライン学習に対応するため、センター集約型のネットワークの一部をローカルブレイクアウト方式に変更し、直接各学校からインターネットに接続ができるようにした。</p> <p>(3)Wi-Fiルータの貸出し                      ①要保護、準要保護に該当かつ家庭にインターネット通信環境がない生徒                      12台（貸出期間：6月～3月）                      ②新型コロナウイルス感染症対応に伴う休校時等のオンライン学習に対応するため、家庭にインターネット通信環境がない一部の生徒                      16台（貸出期間：9月）</p> <p>(4)令和3年度末設置台数（令和4年3月1日現在生徒数：6,407人）                      生徒用教育用パソコン（令和元年度以前導入）：649台                      生徒用教育用パソコン（令和2年度以降導入）：5,830台                      電子黒板（コンピュータ教室分含む）：270台（令和元年度寄贈32台含む）</p>												

事業名：つくば未来塾に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	03	02	18	本年	4,621		△ 1,711		2,910		2,266	77.9	
				前年	4,279				4,279		2,283	53.4	
				比較	342		△ 1,711		△ 1,369		△ 17	-	
【参考】前々年度					4,279				4,279		3,150	73.6	
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				1,756	旅費		171	需用費		299	役務費		39
概要及び成果													
<p>1 つくば未来塾事業 大学生・大学院生（筑波大学及び近隣地域の大学と連携）及び地域ボランティアを市内全中学校及び義務教育学校(後期課程)へ派遣し、生徒の学習支援を行う。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習支援において、大学生・大学院生及び地域住民の協力を得られた。</li> <li>・学校側の要望にあった、学習チューターの配置を行うことができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症等の影響を受けながらも、学校の実態に応じて会場を広くとったり、実施時間を午前と午後に分散したりする等の工夫により、一定の事業実績を上げることができた。</li> </ul>													
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
実施日数		日	123	137	212	198	167						
全チューター協力人数(延べ)		人	501	605	641	592	634						
参加生徒数(延べ)		人	8,248	7,099	11,851	11,793	12,932						

事業名：中学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	03	11	本年	30,921	22,968	25,047		78,936	25,047	46,553	90.7
				前年	48,554	41,525	6,989	△ 777	96,291	22,968	69,390	95.9
				比較	△ 17,633	△ 18,557	18,058	777	△ 17,355	2,079	△ 22,837	-
【参考】前々年度					79,486		507,902	661	588,049	41,525	529,233	97.1
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				2,135	使用料及び賃借料		28,908	工事請負費		15,510		
概要及び成果												
<p>1 中学校耐震化事業 旧耐震基準で整備した中学校の校舎・屋内体育館について、つくば市耐震改修促進計画及び学校耐震化優先度調査結果に基づき、耐震診断を実施し、耐震性能の劣る建物から順次耐震工事を実施する。</p> <p>【成果】</p> <p>手代木中学校武道場非構造部材耐震改修工事を実施し、安全で安心できる教育環境が確保できた。</p>												

事業名：（仮称）研究学園中学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	03	12	本年	894,442	106,849	△ 111,171		890,120	473,221	416,856	100.0
				前年	60,526	1,230	114,149	777	176,682	106,849	66,808	98.3
				比較	833,916	105,619	△ 225,320	△ 777	713,438	366,372	350,048	-
【参考】前々年度									1,230			
節別支出済額(単位:千円)												
委託料		972	工事請負費	308,752	公有財産購入費	106,849	負担金補助及び交付金	283				
概要及び成果												
<p>1 （仮称）研究学園中学校建設事業 つくばエクスプレス沿線開発に伴い、葛城地区周辺の就学人口増が見込まれ、学園の森義務教育学校の教室数では、対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和5年4月開校を目標に（仮）研究学園中学校を建設する。</p> <p>【成果】 令和5年4月の開校に向けて、建設工事に着手した。工事工程どおり順調に進行中。</p>												

事業名：（仮称）みどりの南中学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	03	13	本年	76,580	1	△ 703		75,878		70,743	93.2
				前年			655,775		655,775	1	655,774	100.0
				比較	76,580	1	△ 656,478		△ 579,897	△ 1	△ 585,031	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
委託料		70,743										
概要及び成果												
<p>1 （仮称）みどりの南中学校建設事業 つくばエクスプレス沿線開発に伴い、萱丸地区周辺の就学人口増が見込まれ、みどりの学園義務教育学校の教室数では対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和6年4月開校を目標に（仮）みどりの南中学校を建設する。</p> <p>【成果】 令和6年4月開校に向けて、設計業務を完了させた。</p>												

事業名：施設整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	11	本年	14,633	22,858	223,044	△ 1,277	259,258	218,138	36,616	98.3
				前年	15,061	24,211	21,052		60,324	22,858	29,121	86.2
				比較	△ 428	△ 1,353	201,992	△ 1,277	198,934	195,280	7,495	-
【参考】前々年度					51,957		24,211		76,168	24,211	47,853	94.6
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				6,435	工事請負費		30,181					
概要及び成果												
1 幼稚園施設工事・修繕事業 各幼稚園の状況に応じ施設の整備行う (1) 幼稚園施設の改修工事、土木工事、修繕工事の実施 (2) 改修工事等の設計業務委託												
【成果】 ①各幼稚園の修繕工事等を実施したことで教育環境を図ることができた。(実施件数)												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
建築・土木・修繕工事		件	13	12	15	20	21					
工事の設計委託		件	2	1	2	1	2					
2 幼稚園教育環境整備工事トイレ改修事業 劣化が著しいトイレについて、バリアフリー化、便器の洋式化等の全体的な改修を行う。												
【成果】 竹園西幼稚園トイレ改修工事 園児用トイレ、職員用トイレ、多目的トイレの改修工事を行ったことで、衛生的な教育環境を確保した。												

事業名：幼稚園管理運営に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	04	01	12	本年	73,986		3,200		77,186		74,329	96.3	
				前年	75,357		7,879		83,236		78,640	94.5	
				比較	△ 1,371		△ 4,679		△ 6,050		△ 4,311	-	
【参考】前々年度					103,310				103,310		91,655	88.7	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				26,267	役務費		7,086		委託料	40,692	公課費		284
概要及び成果													
1 幼稚園通園バス運行事業 通園バス運転業務委託（筑波幼稚園・谷田部幼稚園・上郷幼稚園・島名幼稚園・桜南幼稚園・高崎幼稚園・岩崎幼稚園・大穂幼稚園・桜幼稚園の9園）													
【成果】 市立幼稚園のうち9園でバスを運行したことで、園児の登下校の安全を確保することができた。													
2 幼稚園管理運営事業 消耗品費や光熱水費等、各園の実情に合った予算執行管理を行う。													
【成果】 市立幼稚園に適正な予算令達及び執行管理を行い、円滑な園運営に寄与した。													

事業名：幼稚園保健管理に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
10	04	01	13	本年	8,866				8,866		8,212	92.6			
				前年	8,695				8,695		8,529	98.1			
				比較	171				171		△ 317	-			
【参考】前々年度				8,358				8,358		8,223	98.4				
節別支出済額(単位:千円)															
報酬		6,882		旅費		156		需用費		368		役務費		74	
使用料及び賃借料		545		負担金補助及び交付金		187									
概要及び成果															
<p>1 幼稚園保健管理事業</p> <p>(1)各幼稚園に幼稚園医(一般医:16名)、幼稚園歯科医(16名)を配置し定期健康診断等を行い園児の健康管理を行う。</p> <p>(2)幼稚園薬剤師(16名)による学校衛生管理検査(飲料水の水質、換気、採光、照明等)を実施し幼稚園衛生の管理を行う。</p> <p>【成果】 幼稚園及び幼稚園医等との連携により、園児の健康管理と幼稚園の環境の維持向上を図ることができた。</p>															
<p>2 災害共済給付事業</p> <p>幼稚園管理下における園児の災害に対して、その保護者に対する災害共済給付金の請求等の手続きを行う。</p> <p>【成果】 幼稚園管理下における園児の災害に対して、給付金の支給を円滑に進めることができた。 一人あたりの掛金 285円(うち保護者 210円)</p>															
災害共済給付制度への加入者及び給付件数等															
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度						
加入者	人	660	792	837	894	961									
給付件数	件	19	23	18	23	16									
給付額	円	71,389	212,094	72,809	56,066	51,577									

事業名： 幼児教育振興に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
10	04	01	14	本年	5,338				5,338		4,292	80.4		
				前年	5,980		△ 72		5,908		4,713	79.8		
				比較	△ 642		72		△ 570		△ 421	-		
【参考】前々年度					6,202				6,202		5,267	84.9		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					485	需用費		3,098	役務費		39	備品購入費		388
負担金補助及び交付金					282									
概要及び成果														
<p>1 幼稚園教職員研修事業                      幼稚園教諭が各種研修会に参加できるよう必要な予算令達を実施                      夏期講習会及び研修会への参加、県主催研修への参加                      つくば市総合研究会が実施する特別支援関係研修及び論文発表会への参加  <b>【成果】</b>                      研究会や協議会へ参加したことで、幼稚園教諭としての資質の向上が図られた。</p>														
<p>2 幼児教育振興事業                      幼稚園で実施する行事等の経費を負担する。  <b>【成果】</b>                      幼稚園で行事等を実施するための適正な予算令達及び執行管理を行い、幼児教育の振興を図ることができた。</p>														
<p>3 幼稚園要保護家庭助成事業                      市立幼稚園に通う要保護世帯の園児に給食費を支給する。  <b>【成果】</b>                      該当者なし。</p>														

事業名：施設管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
10	04	01	15	本年	19,216			1,277	20,493		19,926	97.2																																			
				前年	20,227				20,227		19,576	96.8																																			
				比較	△ 1,011			1,277	266		350	-																																			
【参考】前々年度					20,250				20,250		18,384	90.8																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
需用費				6,763	役務費		16	委託料		12,484	使用料及び賃借料		663																																		
概要及び成果																																															
<p>1 幼稚園施設管理委託事業 幼稚園施設の安全を確保するとともに、適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。</p> <p><b>【成果】</b> 各幼稚園の適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。(実施件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)修繕</td> <td>件</td> <td>70</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>66</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>(2)浄化槽法定点検</td> <td>園</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(3)通常点検作業</td> <td>件</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>(4)植栽剪定等</td> <td>件</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕 (2)浄化槽法定検査・・・大穂、筑波 (3)消防設備、電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検等 (4)園内植栽の維持管理</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	(1)修繕	件	70	60	60	66	64	(2)浄化槽法定点検	園	2	2	2	2	2	(3)通常点検作業	件	17	16	16	16	20	(4)植栽剪定等	件	7	9	14	11	7
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
(1)修繕	件	70	60	60	66	64																																									
(2)浄化槽法定点検	園	2	2	2	2	2																																									
(3)通常点検作業	件	17	16	16	16	20																																									
(4)植栽剪定等	件	7	9	14	11	7																																									
<p>2 幼稚園用地借上げ事業 幼稚園2園 2筆 合計借上げ面積：1,123㎡（高崎幼稚園、大穂幼稚園）</p> <p><b>【成果】</b> 用地の借り上げにより、幼稚園保育環境の向上が図られた。</p>																																															

事業名：幼稚園施設取得に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	16	本年	29,029				29,029		29,028	100.0
				前年	29,014				29,014		29,013	100.0
				比較	15				15		15	-
【参考】前々年度					29,000				29,000		28,999	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料				29,028								
概要及び成果												
<p>1 幼稚園施設償還金返済事業 都市再生機構の立替施行による償還金を返済する。</p> <p><b>【成果】</b> 都市再生機構からの請求に対し、支払いを円滑に行った。 対象：東幼稚園、松代幼稚園</p>												



事業名：備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	17	本年	6,261				6,261		6,109	97.6
				前年	6,602				6,602		6,147	93.1
				比較	△ 341				△ 341		△ 38	-
【参考】前々年度					6,657				6,657		6,013	90.3
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				313	備品購入費				5,796			
概要及び成果												
<p>1 幼稚園管理備品購入・修繕事業                      幼児教育に必要な備品の整備及び修繕をすることにより、幼稚園運営の効率化及び幼稚園教育の充実を図る。</p> <p>【成果】                      幼稚園運営に必要な管理備品などを整備し教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>(1) 管理備品の修繕を行った。                      (2) 幼稚園管理備品（机・椅子・棚等）を購入（市内全ての幼稚園16園）した。</p>												

事業名：情報機器整備に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	18	本年	2,676				2,676		2,139	79.9
				前年	3,298				3,298		2,161	65.5
				比較	△ 622				△ 622		△ 22	-
【参考】前々年度					3,034				3,034		2,344	77.3
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				471	使用料及び賃借料				1,667			
概要及び成果												
<p>1 幼稚園事務用情報機器整備事業                      複合機及び印刷機の整備</p> <p>【成果】                      複合機及び印刷機を整備することで事務の利便性向上と効率化を図った。</p> <p>(1) 印刷機の整備                      平成28年度12月導入機器の更新：2台（貸借期間：令和3年12月～令和8年11月）</p> <p>(2) 複合機の整備                      平成28年度12月導入機器の更新：3台（貸借期間：令和3年12月～令和8年11月）</p> <p>(2) 令和3年度末設置台数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷機 16台</li> <li>・複合機 16台</li> </ul>												

事業名：私立幼稚園利用給付に要する経費

こども部 幼児保育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
10	04	01	19	本年	407,614		21,519	5,159	434,292		431,896	99.4																					
				前年	599,594		△ 110,384		489,210		439,555	89.9																					
				比較	△ 191,980		131,903	5,159	△ 54,918		△ 7,659	-																					
【参考】前々年度							299,742		299,742		202,284	67.5																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
負担金補助及び交付金				4,129	扶助費		427,766																										
概要及び成果																																	
<p>1 私立幼稚園保育料にかかる給付                      幼児教育・保育無償化制度により、私立幼稚園（未移行）の利用者に対して、利用料の一部を給付することで負担軽減をする。</p> <p>【成果】                      法定代理受領により、対象施設からの請求に対して円滑に給付することができた。</p> <p>3月末対象園児数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内未移行幼稚園</td> <td>人</td> <td>1,108</td> <td>1,109</td> <td>1,104</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市外未移行幼稚園</td> <td>人</td> <td>333</td> <td>317</td> <td>294</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	市内未移行幼稚園	人	1,108	1,109	1,104	-	-	市外未移行幼稚園	人	333	317	294	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
市内未移行幼稚園	人	1,108	1,109	1,104	-	-																											
市外未移行幼稚園	人	333	317	294	-	-																											
<p>2 幼稚園預かり保育にかかる給付                      幼児教育・保育無償化制度により、私立幼稚園（新制度移行済及び未移行）の利用者に対して、利用料の一部を給付することで負担軽減をする。</p> <p>【成果】                      償還払いの手続きを案内することで、保育を必要がある利用者に対して円滑に給付をすることができた。</p> <p>3月末対象園児数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内幼稚園</td> <td>人</td> <td>304</td> <td>323</td> <td>334</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市外幼稚園</td> <td>人</td> <td>129</td> <td>117</td> <td>103</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	市内幼稚園	人	304	323	334	-	-	市外幼稚園	人	129	117	103	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
市内幼稚園	人	304	323	334	-	-																											
市外幼稚園	人	129	117	103	-	-																											
<p>3 幼稚園副食費にかかる補助金                      幼児教育・保育無償化制度により、私立幼稚園（未移行）の補足給付該当世帯に対して、実費徴収となる副食費の一部を給付することで負担軽減をする。</p> <p>【成果】                      支援が必要な人に補助金の手続きを案内し、円滑に給付することができた。</p> <p>補足給付費補助金実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付決定者</td> <td>人</td> <td>107</td> <td>130</td> <td>95</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>千円</td> <td>4,130</td> <td>4,509</td> <td>2,300</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	交付決定者	人	107	130	95	-	-	交付額	千円	4,130	4,509	2,300	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
交付決定者	人	107	130	95	-	-																											
交付額	千円	4,130	4,509	2,300	-	-																											

事業名：社会教育振興に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
10	05	01	11	本年	2,199				2,199		1,294	58.9		
				前年	2,780		△ 50		2,730		1,437	52.7		
				比較	△ 581		50		△ 531		△ 143	-		
【参考】前々年度					34,655			△ 80	34,575		33,020	95.5		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					240	報償費		100	旅費		64	需用費		136
役務費					255	委託料		55	使用料及び賃借料		181	工事請負費		65
負担金補助及び交付金					198									
概要及び成果														
<p>1 社会教育振興事業</p> <p>(1) 社会教育委員会議の開催 会議において社会教育事業に関する諮問に応じ、意見を述べるとともに、社会教育事業の調査・研究を実施する。社会教育委員16人(任期2年)</p> <p>(2) 社会教育振興 ・社会教育施設の火災保険の加入 ・上大島集会所の土地賃借料の支払</p> <p>(3) 社会教育主事の配置 社会教育に関する専門的・技術的な指導・助言を行う社会教育主事1人を配置</p> <p>【成果】</p> <p>1 会議開催2回(令和3年8月4日、令和4年3月24日)</p> <p>2 生涯学習推進課所管の生涯学習施設等を管理し、事業の円滑な運営を図ることができた。</p> <p>3 社会教育主事を1人配置したことにより、社会教育行政体制の強化を図ることができた。</p>														

事業名：地域改善対策に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
10	05	01	12	本年	3,094			△ 49	3,045		2,427	79.7		
				前年	3,338			402	3,740		3,542	94.7		
				比較	△ 244			△ 451	△ 695		△ 1,115	-		
【参考】前々年度					2,688				2,688		2,489	92.6		
節別支出済額(単位:千円)														
需用費					284	役務費		58	委託料		1,821	使用料及び賃借料		264
概要及び成果														
<p>1 地域改善地区集会所維持管理事業</p> <p>(1) 各種研修会への参加、啓発活動の実施</p> <p>(2) 施設の維持管理を地域に委託し、適切な管理を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>・集会所特殊建築物等定期調査を行い、快適な利用環境を提供し地域の交流の場となった。</p> <p>・高須賀地区集会所の延べ利用人数は997人。</p>														

事業名：家庭教育支援に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	13	本年	3,320		△ 682	△ 748	1,890		1,231	65.1
				前年	5,083		554	△ 1,104	4,533		2,691	59.4
				比較	△ 1,763		△ 1,236	356	△ 2,643		△ 1,460	-
【参考】前々年度				5,503			△ 189	5,314		3,218	60.6	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	887	需用費	98	役務費	209	使用料及び賃借料	37
-----	-----	-----	----	-----	-----	----------	----

概要及び成果

1 家庭教育学級支援事業

- (1)家庭教育学級への指導や助言を行う。
- (2)家庭教育セミナーの開催
- (3)社会教育講演会の開催

【成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、保護者同士が集まって課題等を話し合ったり、講師を招いての講演会等を実施することが困難な状況であったが、家庭教育学級向け動画を作成し、オンデマンドやオンラインにより、家に居ながらも学べる機会を提供することができた。

家庭教育学級数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
家庭教育学級数	学級	72	84	76	70	77
参加者数(延べ)	人	7,697	3,449	13,588	17,997	20,243
学級生数	人	14,664	14,363	12,392	12,158	12,003

家庭教育セミナー

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施回数	回	24	18	60	57	55
参加者数	人	2,032	989	4,429	4,279	4,176

社会教育講演会の開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施回数	回	2	2	2	3	3
参加者数	人	136	704	293	779	670

事業名：生涯学習推進に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	14	本年	1,351		742		2,093		1,779	85.0
				前年	3,867	1	△ 594		3,274		2,832	86.5
				比較	△ 2,516	△ 1	1,336		△ 1,181		△ 1,053	-
【参考】前々年度				3,181		△ 66		3,115	1	2,541	81.6	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	176	報償費	177	旅費	45	需用費	83
役務費	73	委託料	495	使用料及び賃借料	99	備品購入費	631

概要及び成果

- 1 生涯学習審議会開催事業  
生涯学習の振興に関する施策を総合的に進めるために、調査審議する審議会を開催する。また、庁内における検討のため、生涯学習推進本部会議を開催する。

【成果】

令和3年3月に策定した「第3次つくば市生涯学習推進基本計画」の進捗管理を行った。(開催日程 生涯学習審議会：10/21・3/22、生涯学習推進本部会議：10/27)

- 2 つくば人間学講座  
市民主体の実行委員会で講座の内容・講師選定などの企画全般を行い、協働で講座を開催する。

【成果】

企画から実施まで、市民(実行委員会)が主体となり、協働で、時代や市民のニーズを反映したテーマの講座を開催することができた。新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮してオンラインによる同時中継による実施を4回中2回で実施できた(11/13、12/5)。これにより、若年層から中高年層まで幅広い参加者が学ぶ場として、市民の生涯学習の推進を図ることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催回数	回	4	1	4	4	4
受講者数	人	274	225	237	298	344

- 3 出前講座事業  
市民の学習会や集会等に市職員が講師として出向き、市の業務や施策に関する講座等を行う。

【成果】

- ・市の取組や施策等について講義を行うことで、市民の市政への理解や関心を高めることができた。
- ・利用促進を図るため、出前講座ガイドブックの作成と配布を行った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催回数	回	36	13	115	140	79
受講者数	人	941	562	4,080	4,440	4,106

- 4 生涯学習指導者情報提供事業  
生涯学習指導者情報の登録を行い、市民の要望に応じた生涯学習指導者情報を提供する。

【成果】

学習を希望する市民に、希望に沿う指導者をホームページ上で紹介することで、生涯学習の推進を図ることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
指導者登録数	人	256	245	237	223	232
新規登録数	人	11	9	19	32	36
情報提供数	人	10	45	64	79	72

5 障害者のための生涯学習支援事業

文化芸術やスポーツなど、障害者へ多様な学びの機会を提供する。

【成果】

「第3次つくば市生涯学習推進基本計画」において重点的に障害者が主体的に学習活動に参加できる講座の実施に取り組むことを位置づけ、6/5に料理教室、12/11に知的障害者の生涯学習体験に関する講話をそれぞれオンラインで実施した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
講座参加者の満足度	%	100	100	-	-	-

6 社会力講座事業

第3次つくば市生涯学習推進基本計画の施策の柱である、社会力を持った人材の育成をするため、講演会等の講座を開催する。

【成果】

『「世界のあしたが見えるまち」つくばの基盤となる社会力について考えよう!』をテーマに全4回の社会力講座シリーズを開催し、延べ56人の参加者を集めた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
講座開催数	回	4	-	-	-	-

事業名：生涯学習施設管理に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	15	本年	29,454			797	30,251		29,933	98.9
				前年	30,322		△ 2		30,320		29,951	98.8
				比較	△ 868		2	797	△ 69		△ 18	-
【参考】前々年度				29,723	4,514			34,237		33,403	97.6	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	211	役員費	461	委託料	26,044	工事請負費	3,218
-----	-----	-----	-----	-----	--------	-------	-------

概要及び成果

1 市民研修センター管理運営事業

利用者が快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理、施設の特性を生かした自主事業の実施など、指定管理者制度による民間活力を用いた施設運営を行う。

【成果】

従前と同じ法人が指定管理者となっているため、施設の設置目的や特徴を熟知しており、職員等の変更もないことから、これまでと同様の施設運営と利用者サービスを行うことができ、社会教育・生涯学習の拠点として目的を達成することができた。

施設貸出業務

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
研修室利用件数	件	485	580	1,305	1,650	1,358
研修室利用者数	人	6,279	5,165	13,223	15,862	15,192
浴室利用者数	人	11,631	8,924	19,980	17,810	19,545

自主事業運営業務

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
講座等開催件数	講座	26	14	28	35	33
延べ受講者数	人	2,682	1,761	3,905	3,978	3,334

2 さくら民家園施設管理事業

日常的な清掃管理及び来場者への対応等の委託と団体利用者・催事等への貸出し、ひな人形の展示等を行う。

【成果】

建物内部まで一般開放、見学自由とすることで、来園者につくば地方の伝統的な農家住宅の佇まいや構造を学ぶ機会を提供することができた。  
 コロナ禍の緊急事態宣言発令に伴い、施設の閉館期間が長期にわたったため目標値には至らなかった。  
 業務委託等により、清掃や植栽管理、法定点検等を行うことにより、施設の適切な管理ができた。

民家園管理

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
見学者(年間来場者数)	人	6,214	4,780	7,705	7,009	6,522
施設利用団体	団体	11	8	65	56	35

事業名：科学教育推進に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	16	本年	2,385		△ 58		2,327		1,908	82.0
				前年	10,406		△ 8,742		1,664		347	20.8
				比較	△ 8,021		8,684		663		1,561	-
【参考】前々年度				11,402				11,402		10,050	88.1	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				1,579	役務費				329			
概要及び成果												
<p>1 つくば科学出前レクチャー事業                      学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究者等と連絡調整し、現役研究者等を専門テーマの講師として派遣する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて事業に取り組むことができた。</li> <li>・学校現場で活用がしやすくなるよう各出前レクチャーのメニューと「つくばスタイル科」の連携について整理を行った。</li> </ul>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
実施回数		回	2	6	15	17	23					
参加者数		人	61	239	793	670	1,287					
<p>2 つくばちびっ子博士事業                      小中学生が研究機関等を巡り、科学技術に触れ科学への関心を高めてもらい、夢と希望に満ちた未来を考える手がかりになってもらう事業で、最優秀つくばちびっ子博士・優秀つくばちびっ子博士・つくばちびっ子博士を認定する。</p> <p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響下でも実施ができるよう、感染対策を実施した上での現地開催と動画配信それぞれでクイズに回答する形式に切り替えることで実施を実現した。現場での参加者数は減少したが、動画の再生回数は53,258回を達成した。</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
来場者数(延べ)		人	7,112	-	134,506	113,385	106,295					
<p>3 つくば科学フェスティバル事業                      市内の各学校、高校、大学、研究機関等がつくばカピオを会場に科学実験等を出展。青少年を対象に科学の楽しさや不思議などを体験させ、楽しみながら科学や理科への興味・関心を高めさせるイベントを実施する。</p> <p>【成果】</p> <p>令和2年度は「つくば科学動画配信2020」事業を行い、令和3年度は事業が隔年開催につき、令和4年度の開催に向けた検討を実施した。</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
来場者数(約)		人	-	-	16,808	14,464	12,127					



事業名：青少年健全育成に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	17	本年	12,268		1,463		13,731		11,677	85.0
				前年	13,822		26,032		39,854		33,914	85.1
				比較	△ 1,554		△ 24,569		△ 26,123		△ 22,237	-
【参考】前々年度					13,559			△ 211	13,348		12,497	93.6

節別支出済額(単位:千円)

報償費	1,609	需用費	549	役務費	265	委託料	6,547
使用料及び賃借料	506	負担金補助及び交付金	2,200				

概要及び成果

1 青少年体験学習事業

つくば市に在住する小・中学生（4年生から9年生まで）が、つくば市の地域資源を活用した実験教室等で科学や自然環境を体感することで、科学や自然への興味や関心を高める。

【成果】

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者	人	-	24	137	78	142
市外参加者	人	-	-	-	-	91
コース数	コース	1	2	3	2	4

※令和3年度については、つくば工科高校に協力を得て、新型コロナウイルス感染症対策等を行い、少人数で事業を実施する予定であったが、茨城県独自の緊急事態宣言が発令されたため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。参加予定者は、午前・午後各12名だった。

2 この指と一まれ！事業

市内に在住・在学する中学生・高校生を対象に、自主企画を募集して、企画実現に向けて活動の支援を行う。

【成果】

中・高生が自主企画を実現できたことで、企画計画力・コミュニケーション力・チームワークが培われ、社会力の育成につなげることができた。

○10月31日開催

- (1) ヨガ指導 企画者1人 参加者12人
- (2) SDGsパネル発表とクイズゲーム 企画者4人 参加者40人
- (3) ボッチャ体験 企画者24人 参加者25人
- (4) チアリーディング体験 企画者8人 参加者9人

その他、2月に「つくばの古道を探検しよう！」を予定していたが、国の「まん延防止等重点措置」の期間中と重なったため中止した。

3 つくば市成人の集い(成人式)

次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝い、社会の一員としての自覚と責任感を育成するとともに、日頃学業などでつくば市を離れている新成人全体の交流の機会として、つくば市成人の集いを開催する。

【成果】

- (1) 新成人で実行委員会を組織し、企画・運営にあたる成人の集いが開催できた。
- (2) つくば警察署の協力を得て、会場警備、違法車両対策、大清水公園入口信号付近から会場付近までの車両進入禁止等を実施し、安心・安全な式典を実施することができた。
- (3) 茨城県知事の要請により、成人式(式典)への出席には、新型コロナウイルスワクチン2回接種済証明又は、PCR検査等での陰性証明が必要となったことから、対応策として会場において、水素燃料電池バス「SORA」をベースにした感染症対策システムを備えた災害医療モビリティ内でPCR検査を実施した。また、接種状況確認所を設け、市内在住の新成人の接種状況を確認した。

PCR検査受検者数 87人 接種状況確認利用者数 77人

式典参加者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者数	人	2,666	2,747	2,720	2,764	2,774
参加者数	人	1,621	—	1,844	1,777	1,727
参加率	%	60.8	—	64.3	62.3	61.8

※式典終了後、式典に参加できなかった新成人のため、令和4年3月31日まで式典の動画を公開した。

- ・内容 誓いの言葉
- 市長挨拶
- 議長挨拶（動画）
- アトラクション

4 青少年相談員活動

青少年の健全育成と非行防止を推進するために、青少年相談員を委嘱し、青少年の声かけ・相談、青少年を取り巻く社会環境健全化活動等を行い、青少年に関する機関と連携して進めている。

【成果】

- (1) 通学路等での挨拶活動を実施した。
- (2) 県主催の行事活動中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「いばらき教育の日」一斉キャンペーン活動中止）
- (3) 普及啓発活動及び社会環境健全化活動を実施した。
- (4) 各地域での「青少年の健全育成に協力する店」の登録等活動を実施した。
- (5) 各月1回程度、支部長会議を実施し、各支部と情報共有及び連携を図ることができた。

5 青少年育成団体支援事業

青少年の健全育成活動の推進を図ることを目的として、青少年健全育成団体に対して補助金を交付し、青少年健全育成団体を支援する。

- (1) つくば市子ども会育成連合会に対し補助金を交付し、団体が行う子どもたちへの健全育成活動の支援を図る。
- (2) 青少年を育てるつくば市民の会に対し補助金を交付し、団体が行う市民総ぐるみの青少年育成活動を支援する。
- (3) 子どもたちが生きる力を育むために有益な体験事業への参加を促進することを目的として、つくば市子ども体験事業補助金を交付する。

【成果】

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動の制限があったが、異年齢の集団による仲間づくり活動や地域の保護者と共に行う活動を通して、地域コミュニティー構築の一翼を担えた。つくば市子ども会育成連合会：会員数917人
- (2) 青少年育成関係諸団体、地域や学校等と協力しながら事業を展開することにより連携が強化され、地域社会で青少年を健全に育成するという機運を高めることができた。
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、活動制限のもと、青少年の健全育成を図り、子どもたちが生きる力を育むために有益な体験事業への参加を促進でき、社会力を育成することができた。つくば市子ども体験事業補助金交付団体：6件

事業名：放課後子供教室推進に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	18	本年	7,508				7,508		5,556	74.0
				前年	7,535		△ 11		7,524		5,931	78.8
				比較	△ 27		11		△ 16		△ 375	-
【参考】前々年度					11,158				11,158		8,052	72.2

節別支出済額(単位:千円)

報償費	3,278	需用費	1,835	役務費	247	備品購入費	197
-----	-------	-----	-------	-----	-----	-------	-----

概要及び成果

1 放課後子供教室推進事業

市内小学校及び義務教育学校において、余裕教室等を利用し、全児童対象に放課後子供教室を開催する。地域住民の参画を得て、様々な体験活動や交流活動等を行い、豊かな遊びと学びの機会を提供する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響下においても、秀峰筑波、学園の森及びみどりの学園の3義務教育学校における放課後子供教室の定期開催について、臨時休業を除いて、計画どおりに実施することができた。

放課後子供教室実施状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象学校数	校	34	34	34	34	38
実施回数	回	326	359	436	217	180
参加児童数	人	10,707	10,769	16,967	11,310	8,379
地域の方々の協力スタッフ数(延べ)	人	1,276	1,390	1,804	1,379	1,371

事業名：ふれあいプラザ維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	19	本年	104,901		△ 6,761		98,140		96,991	98.8
				前年	61,356		1,101	702	63,159	62,989	99.7	
				比較	43,545		△ 7,862	△ 702	34,981	34,002	-	
【参考】前々年度					62,463			481	62,944		62,814	99.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,161	役務費	148	委託料	61,544	工事請負費	33,770
補償・補填及び賠償金	369						

概要及び成果

1 ふれあいプラザ管理運営事業（指定管理者制度）

ふれあいプラザの施設管理は、平成17年度から指定管理者制度を導入して、管理運営を行っている。  
(指定管理期間：H30～R4)

(1) 施設貸出業務

フィットネスプール、多目的ホール、研修室A・B・C、会議室、視聴覚室、  
軽運動室、調理実習室、市民活動室、録音室、保育室、展示コーナー

(2) 自主事業運営業務

【成果】

(1) 施設貸出状況（利用件数）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
多目的ホール及び研修室等施設	件	3,519	2,730	4,933	5,299	4,934
フィットネスプール施設	件	7,253	6,865	10,500	11,895	13,700
合計	件	10,772	9,595	15,433	17,194	18,780

施設貸出状況（延利用者数）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
多目的ホール及び研修室等施設	人	24,099	17,363	47,589	53,078	53,663
フィットネスプール施設	人	11,147	9,468	15,164	16,925	18,009
合計	人	35,246	26,831	62,753	70,003	71,672

(2) 自主事業運営業務

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
自主事業講座数	講座	491	308	620	655	388
延受講者数	人	10,092	5,854	10,948	11,411	9,792

2 ふれあいプラザ施設整備事業

ふれあいプラザ内の各種設備や施設の修繕について、計画的に実施した。

【成果】

令和3年度修繕実績

「屋上防水外改修工事」「自動ドアエンジン修繕工事」「防煙スクリーン修繕工事」

「正面玄関自動ドア修繕工事」「ホール空調機修繕工事」「エレベーター修繕工事」

事業名：図書館維持管理に要する経費

教育局 中央図書館

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	02	11	本年	144,950		△ 3,804		141,146		130,695	92.6
				前年	163,386		△ 27,144		136,242		128,417	94.3
				比較	△ 18,436		23,340		4,904		2,278	-
【参考】前々年度				153,791		440		154,231		145,891	94.6	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		31,731	役務費		843	委託料		36,245	使用料及び賃借料		42,997	
工事請負費		18,312	備品購入費		535	償還金利子及び割引料		31				
概要及び成果												
<p>1 図書館及び視聴覚センターの維持管理事業 年間を通して施設・設備の維持管理業務委託等及び施設・設備修繕必要箇所の修繕工事等の施工等を行い、安全で使いやすい施設の維持管理に努める。</p> <p>【成果】 図書館及び文化会館アルス（共用部分）の環境を充実させ、市民に快適な生涯学習の場を提供した。</p> <p>(1) 工事等 中央図書館職員通用口電気錠修繕工事、アルス照明制御盤及び高圧受変電設備機器改修工事、アルス自動ドア改修工事、アルス冷却水ポンプモーター修繕工事、アルス東側入口階段手摺設置工事</p> <p>(2) 修繕等 アルス2階多目的トイレ自動ドア修繕、アルス熱交換器温度調節計修繕、アルス避難口誘導灯交換修繕、アルスホール空調機OA用ダンパ操作器修繕、アルスホール出入口ドア修繕、アルス1階男子トイレ小便器詰まり修繕、アルス火災受信機修繕、アルス公園側入口タイル外修繕</p> <p>(3) 備品購入 中央図書館集会室備品（机12台、椅子36脚、椅子用台車1台）、アルコール検知器</p>												

事業名：図書館運営に要する経費

教育局 中央図書館

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	02	12	本年	53,025		△ 1,050		51,975		51,115	98.3
				前年	44,237				44,237		42,915	97.0
				比較	8,788		△ 1,050		7,738		8,200	-
【参考】前々年度					64,947				64,947		63,158	97.2

節別支出済額(単位:千円)

報酬	120	旅費	38	需用費	4,627	役務費	317
使用料及び賃借料	4,213	備品購入費	41,748	負担金補助及び交付金	46	公課費	6

概要及び成果

1 読書推進事業

学校訪問ブックトーク、団体貸出し（調べ学習の支援・学級文庫支援）、ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、学校図書館支援（司書教諭及び司書教諭補助員等の研修会への講師派遣）や、ファーストブック講座、ワークショップなど、各種イベントを行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染拡大により、各種イベントの多くが中止となったが、実施できた事業の成果として読書推進及び図書館の利用促進を図ることができた。

(1) 学校図書館司書教諭・司書教諭補助員研修事業

事前に録画したものを各学校において視聴することにより研修を実施

(2) 学校訪問ブックトーク

希望する小中学校に職員が出向き、テーマに沿った図書を紹介する事業 ※新型コロナウイルス感染症予防のため一部中止

(3) 学校関係への団体貸出

(4) ジュニア図書館員（対象：5・6年生） ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止

(5) 職場体験学習（対象：8年生） ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止

(6) 図書リサイクル

(7) ファーストブック講座

「赤ちゃん絵本の楽しみ方」赤ちゃんへの読み聞かせのコツや、赤ちゃん向け絵本の紹介

(8) その他の事業

・World week 11月4日～30日

・ぬいぐるみのおとまり会 12月3・4日

学校訪問ブックトーク（小学校）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
訪問校数	校	20	19	29	29	33
対象		4年生	4年生	4年生	4年生	4年生
テーマ		「いのち」	「自然」	「かず」	「家族」	「冒険」
備考		-	4校中止	-	-	-

学校訪問ブックトーク（中学校）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
訪問校数	校	3	4	9	9	8
対象		7年生	7年生	7年生	7年生	7年生
テーマ		「仕事」	「仕事」	「仕事」	「仕事」	「仕事」
備考		-	2校中止	-	-	-

学校関係団体貸出

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用回数	回	29	31	51	57	56
利用冊数	冊	3,416	3,808	6,866	8,499	6,008

ジュニア図書館員

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加人数	回	-	-	47	51	87

### 職場体験学習

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加校数	校	-	-	8	7	8
参加人数	人数	-	-	25	23	30

### 図書リサイクル

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
配布総数	冊	11,147	10,789	9,368	10,772	9,321
参加人数	人	-	-	-	985	936

### 2 自動車図書館の運営事業

市内48か所に設けたステーションへ、火曜日から土曜日に自動車図書館車2台を使って巡回し、貸出及び返却等のサービスを行う。

各ステーションには2週間に1回の頻度で巡回する。

#### 【成果】

図書館に来館することが難しい方へ図書館サービスを提供することができた。

既存の2台の移動図書館車両に加え、右左外架書架設備による最大約600冊積載可能な移動図書館車両を新たに1台導入した。新規車両は、令和4年度から運行し、サービスの拡充を図るとともにコロナ禍における中央図書館への来館者の分散化を図っていく。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用者数	人	9,678	12,711	12,033	13,279	11,016
貸出冊数	冊	37,244	44,414	46,887	50,226	44,860
運行日数	日	168	179	180	167	162

### 3 図書館ボランティア事業

図書館のボランティアに登録し、図書館の支援や生涯学習の一環として、その知識・技能を無償で提供いただく。

#### 【成果】

図書館ボランティアの活躍により、図書館サービスを充実させることができた。また、市民に活躍の場を提供できた。

活動分野：10分野（おはなし、地域文化、地域資料、修理、配架、音訳、点訳、国際文化サービス、児童サービス、図書館サポーター）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ボランティア登録者数	人	166	150	159	142	132

### 4 読書環境の充実と集いの場の創出

会話や飲食が可能な状況下で読書環境を提供するライブラリーピクニックを行う。

#### 【成果】

新型コロナウイルス感染症により、感染防止の観点からライブラリーピクニックの実施や他部署、他団体等が主催するイベント等への自動車図書館等での参加を見送った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ライブラリーピクニック開催回数	回	-	-	2	-	-
図書館外イベントへの参加回数	回	-	-	2	-	-

5 つくば市図書館協議会運営事業

図書館協議会を開催し、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機会を設ける。

【成果】

つくば市図書館協議会（委員数11人）を開催し、図書館に対する意見を頂いた。（2回：8月、3月）

会義の主な内容

○第1回協議会

令和3年度重点事業等について、令和3年度事業計画について、令和3年度蔵書点検報告について、令和2年度指標に対する実績評価について、新たな指標と数値目標について、令和2年度利用者満足度調査について

○第2回協議会

令和3年度事業の経過報告について、電子図書館の導入（令和4年度新規事業）について、新移動図書館車両の導入について

6 図書館資料の収集、整理及び保存事務

利用傾向や市民要望を判断しつつ図書資料、視聴覚資料を購入し、利用に供するため資料を整理し保存する。

【成果】

適切な資料を受け入れ、利用サービスに供した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
年間受入資料点数	点	18,589(392)	20,371(466)	21,350(420)	22,036(487)	20,947(490)

※（ ）は、視聴覚資料の点数。

7 図書館資料の貸出事務

つくば市在住、つくば市通勤、通学者及び保育園、小学校等の団体利用者に対し利用カードを発行し、図書資料及び視聴覚資料の貸出しを行う。また、旧視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム・16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を年間を通して、市内学校、幼稚園、保育所等に貸し出す。

【成果】

利用カードを発行し、資料の貸出しを行うことで、生涯学習に寄与した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
年間貸出資料点数	点	963,453	897,196	1,031,408	1,035,291	964,123
年間貸出人数	人	220,517	203,890	243,386	245,768	227,260

※年間貸出資料点数は、団体及び自動車図書館を含む。

8 調査・研究の支援事務

参考資料を充実させる。また、電話やインターネットからの調査・研究の質問を受け付け、専門職員から資料情報を提供する。

【成果】

利用者の調査研究の支援を行った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
レファレンス受付件数	件	1,440	1,389	1,608	1,808	1,630



9 図書返却事業

大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター、市役所コミュニティ棟のブックポスト及びオンラインの4交流センターで図書資料の返却ができるようにする。

【成果】

大穂・豊里・並木・広岡交流センター及び市庁舎（コミュニティ棟）にブックポストを設置し、図書の返却を可能としている。

市内各所で図書を返却できることで、利用者の利便性が向上した。また、10月末から島名交流センターにブックポストを新設した。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
大穂	冊	3,510	3,581	4,436	4,317	2,909
豊里	冊	1,553	1,430	1,761	2,020	1,802
並木	冊	6,774	4,999	6,932	7,586	7,695
広岡	冊	40	72	78	50	203
市庁舎	冊	17,807	14,135	20,835	16,525	9,249
島名	冊	166	-	-	-	-
計	冊	29,850	24,217	34,042	30,498	21,858

事業名：オンライン地域交流センター図書室運営に要する経費

教育局 中央図書館

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	02	13	本年	40,405				40,405		40,228	99.6
				前年	40,397				40,397		40,215	99.5
				比較	8				8		13	-
【参考】前々年度					39,289				39,289		39,106	99.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,010	委託料	33,218	備品購入費	6,000
-----	-------	-----	--------	-------	-------

概要及び成果

- 1 オンライン地域交流センター図書室運営事業  
 オンライン化されている谷田部・筑波・小野川・荃崎地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託する。

【成果】

交流センター図書室の資料や環境を整備し、地域交流センター図書室の利便性を向上させた。

谷田部交流センター図書室

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
年間受入資料冊数	冊	1,560	1,711	1,739	1,517	1,205
年間貸出資料冊数	冊	160,093	125,842	142,813	131,898	119,356
年間貸出人数	人	35,193	27,900	31,877	28,877	25,734

筑波交流センター図書室

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
年間受入資料冊数	冊	1,323	1,455	1,392	1,472	1,125
年間貸出資料冊数	冊	57,796	50,344	59,374	59,699	57,422
年間貸出人数	人	13,152	11,186	13,800	14,229	13,277

小野川交流センター図書室

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
年間受入資料冊数	冊	1,434	1,570	1,452	1,458	1,063
年間貸出資料冊数	冊	111,479	93,742	112,063	102,593	97,292
年間貸出人数	人	27,218	22,196	26,709	24,433	22,870

荃崎交流センター図書室

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
年間受入資料冊数	冊	1,480	1,655	1,578	1,523	1,086
年間貸出資料冊数	冊	91,251	76,350	93,511	87,287	73,543
年間貸出人数	人	22,820	19,084	24,428	23,330	19,828

事業名：文化財保護審議会に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
10	05	03	11	本年	228				228		196	86.0														
				前年	228				228		152	66.7														
				比較							44	-														
【参考】前々年度					228				228		126	55.3														
節別支出済額(単位:千円)																										
報酬				144	旅費				52																	
概要及び成果																										
<p>1 文化財保護審議会事業</p> <p>文化財保護審議会は、文化財保護行政全般について広範な知識を有する、外部有識者と市民委員の10名で構成される市の附属機関。年に2、3回会議を開催し、市の文化財保護行政全般に関し適切かつ公平に審議を行うほか、文化財の保存と活用に関する最重要事項に関して、協議、検討、報告等を行う。また、必要に応じて各種文化財の現地調査を実施する。</p> <p>【成果】</p> <p>文化財保存活用計画に基づき、前年度事業の実績及び成果を報告するとともに、現年度事業の予定及び進捗状況を説明し、専門的な立場からの意見を聴取することができた。また、「平沢官衙遺跡再整備基本計画・基本設計」の策定に当たっても、同様に意見を聴取することができた。</p>																										
<p>年度別会議開催回数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>回</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度の開催日：4月28日(水)、10月14日(木)、3月8日(火)</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	開催回数	回	3	2	2	3	2
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
開催回数	回	3	2	2	3	2																				

事業名：文化財調査に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	12	本年	33,311		△ 11,126		22,185		21,172	95.4
				前年	9,601		△ 548	2,298	11,351		10,948	96.5
				比較	23,710		△ 10,578	△ 2,298	10,834		10,224	-
【参考】前々年度				7,838			523	8,361		8,265	98.8	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	8,389	報償費	12	旅費	623	需用費	742
役務費	17	委託料	10,021	使用料及び賃借料	1,367	原材料費	2

概要及び成果

1 各種文化財基本調査事業

- 各種文化財について計画的・継続的に所在や概要を把握する基本調査である悉皆調査の実施
- 巡視等により文化財の現状を把握する現況確認調査の実施

【成果】

悉皆調査では、過年度に調査した巨樹・古木の現況を確認し、市民向け刊行物への掲載樹木選定の基礎となった。国県指定文化財等については、8月と1月の2回、県文化財保護指導員とともに巡視をし、現状の把握ができた。また、個人が所有する江戸時代の谷田部藩主書状について、専門家による意見を得た。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
悉皆調査件数	件	1	1	1	1	1
巡視による現況確認文化財件数	件	26	25	25	25	25

2 埋蔵文化財調査・保存事業

- 各種開発等に伴う埋蔵文化財取扱事務、試掘・確認調査、非営利目的での本発掘調査等
- 民間調査機関による記録保存調査の調整

【成果】

埋蔵文化財の有無照会に対応し、手続き等を適切に行った。また、各種開発に伴う試掘・確認調査や、個人住宅や土地改良事業に伴う上郷陣屋跡等の本発掘調査を実施し、開発と保存の調整をした。そのほか民間調査組織による本発掘調査の調整・協議・監督をした。調査等で得た出土品や記録は市の貴重な財産になった。なお、令和3年度は重要遺跡保存・活用のための調査は実施していない。

(1) 史跡内現状変更

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
史跡内現状変更申請数	件	8	9	6	8	7
現状変更に伴う確認調査件数	件	1	1	0	0	0

(2) 開発事業調整

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
埋蔵文化財の有無照会:文書	箇所	262	200	206	217	128
埋蔵文化財の有無照会:窓口等	箇所	2,632	2,392	2,382	2,241	1,963
試掘・確認調査(場所数)	箇所	43	38	35	27	29
試掘・確認調査(面積)	m <sup>2</sup>	2,322	2,559	2,564	1,630	1,335

(3) 本発掘調査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
非営利開発に伴う本発掘調査数(市実施)	箇所	7	2	3	2	2
非営利開発に伴う本発掘調査面積(市実施)	m <sup>2</sup>	414	226	201	220	347
営利開発等に伴う本発掘調査数(民間実施)	箇所	6	1	0	2	2
営利開発等に伴う本発掘調査面積(民間実施)	m <sup>2</sup>	6,395	108	0	1,856	599

歳入

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
国庫補助金	千円	5,184	3,925	3,196	2,707	2,666
県負担金	千円	9,681	0	0	0	0

事業名：文化財維持管理に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	13	本年	6,241		△ 528		5,713		4,819	84.3
				前年	7,181		△ 243	230	7,168		7,053	98.4
				比較	△ 940		△ 285	△ 230	△ 1,455		△ 2,234	-
【参考】前々年度					8,756			789	9,545		8,973	94.0

節別支出済額(単位:千円)

旅費	2	需用費	83	役務費	371	委託料	3,435
使用料及び賃借料	707	負担金補助及び交付金	221				

概要及び成果

1 市管理文化財維持管理事業

○文化庁、茨城県及び市文化財保護審議会委員その他の専門家の指導を仰ぎながら、対象文化財を適切に維持・管理・整備等を実施

○市指定史跡保存のための民有地の賃貸借

○史跡整備に関する団体に加盟し情報収集や意見交換を実施

【成果】

コロナの影響により市加盟協議会による研修会等のほとんどは中止もしくはオンライン開催となったが、市が所管する史跡の草刈り等の業務委託や市指定史跡日向廃寺跡解説板の修繕を通して、指定等文化財の維持管理が適切にできた。また、小田城跡内公有地をはじめとした草刈り等を通して、地元団体や住民による景観美化ができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
指定文化財草刈り等業務委託	件	8	8	8	8	8
指定文化財管理業務委託	件	1	1	1	1	1
指定文化財修繕工事	件	0	2	0	0	0
文化財解説板設置工事	件	1	1	2	1	1

歳入

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
行政財産使用料	千円	39	39	18	15	16

2 民有文化財補助事業

指定等文化財の管理・修理について、予算の範囲内で経費の一部を補助する

【成果】

交付決定した2件の補助事業がコロナの影響により取り止めになったものの、国重要文化財大塚家住宅火災報知設備点検事業、同火災報知器修繕事業、市指定民俗文化財田倉三匹獅子保存事業の3事業に対して補助をすることで、適切な保存・維持管理・修繕等工事ができるような所有者への支援ができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
火災報知設備管理事業補助	件	1	1	1	1	1
指定文化財修繕事業補助	件	0	1	2	1	1
指定文化財管理事業補助	件	1	2	1	0	0
無形民俗文化財保存事業補助	件	1	1	2	3	3

事業名：市史編纂に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	14	本年	665				665		664	99.9
				前年	687		△ 500		187		119	63.6
				比較	△ 22		500		478		545	-
【参考】前々年度					686			267	953		943	98.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				495	備品購入費				169			
概要及び成果												
<p>1 市史編纂事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保有史・資料の整理及び解読作業（江戸時代の近世文書を中心に行う。）</li> <li>○整理・解読後の史・資料を市史史料集として刊行</li> <li>○未発見の史・資料を調査し、写真やデジタルデータとして記録</li> <li>○市関連史資料の入手（古書店等からの購入を含む。）</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>史料集の原稿を作成、刊行し、2年振りに市史史料集を刊行することができた。また、市史関連史料として、谷田部藩主の書状1点を購入するなど、市史関連史料の収集・保全を行うことができた。</p> <p>その他の史料調査では、谷田部内町の名主を勤めた家の近世史料群1件の寄託を受けたほか、小田家旧蔵史料、万博関係史料、竿秤など計13件の寄贈を受けた。本事業の歳入となる市町村史販売額については、催事等での販売機会が前年度に比べて増えたため、前年度を上回る額となった。</p>												
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度			
市町村史販売額				円	137,200	124,500	92,700	153,750	166,500			

事業名：小田城跡に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
10	05	03	15	本年	10,317		△ 1,953		8,364		7,966	95.2																																			
				前年	32,499		△ 6,250	△ 1,700	24,549		24,529	99.9																																			
				比較	△ 22,182		4,297	1,700	△ 16,185		△ 16,563	-																																			
【参考】前々年度				35,192		△ 5,229		29,963		29,625	98.9																																				
節別支出済額(単位:千円)																																															
報酬		1,220	旅費		68	需用費		502	役務費		484																																				
委託料		555	公有財産購入費		4,294	補償・補填及び賠償金		843																																							
概要及び成果																																															
<p>1 小田城跡保存事業</p> <p>土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、平成19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収中</p> <p>復元整備は、平成21～27年度に、史跡（約22ha）中心の本丸跡を主とする遺構整備ゾーン（約4.2ha）で実施、合わせて展示機能を持つ案内所の建設を完了</p> <p>【成果】</p> <p>管理区分C地区で小田城跡歴史ひろば案内所の南西側に隣接する土地1筆335.49㎡の公有化と、これに伴う測量や鑑定などを実施した。史跡保存と同時に、今後の活用の上で重要な用地を確保できた。</p> <p>土地公有化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公有化面積</td> <td>㎡</td> <td>335</td> <td>1,425</td> <td>2,135</td> <td>748</td> <td>987</td> </tr> </tbody> </table> <p>歳入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫補助金</td> <td>千円</td> <td>5,036</td> <td>19,152</td> <td>22,648</td> <td>27,176</td> <td>15,839</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>千円</td> <td>1,208</td> <td>3,160</td> <td>4,130</td> <td>5,487</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	公有化面積	㎡	335	1,425	2,135	748	987		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	国庫補助金	千円	5,036	19,152	22,648	27,176	15,839	寄付金	千円	1,208	3,160	4,130	5,487	0
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
公有化面積	㎡	335	1,425	2,135	748	987																																									
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
国庫補助金	千円	5,036	19,152	22,648	27,176	15,839																																									
寄付金	千円	1,208	3,160	4,130	5,487	0																																									
<p>2 小田城跡確認調査事業</p> <p>国指定史跡「小田城跡」の本丸周辺部（遺構保全ゾーン）約71,000㎡のうち、4,500㎡を目安に平成9年度～令和3年度（現地調査は平成30年度まで）で発掘調査及び整理調査を実施</p> <p>【成果】</p> <p>報告書刊行に向けて、平成26年度～30年度現地調査の詳細整理を実施し、報告書1冊を刊行した。また、木製品2点の保存処理を行った。詳細整理を進めることで、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができたほか、木製品の保存処理を実施することで、出土品の恒久的な保存が可能となった。</p> <p>歳入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫補助金</td> <td>千円</td> <td>900</td> <td>187</td> <td>615</td> <td>1,778</td> <td>1,589</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	国庫補助金	千円	900	187	615	1,778	1,589																					
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
国庫補助金	千円	900	187	615	1,778	1,589																																									

事業名：文化財展示施設管理に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	16	本年	68,269		△ 5,567		62,702		60,870	97.1
				前年	62,115		4,442	△ 593	65,964		64,316	97.5
				比較	6,154		△ 10,009	593	△ 3,262		△ 3,446	-
【参考】前々年度				54,566		△ 495	△ 1,579	52,492		51,270	97.7	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	182	需用費	4,388	役務費	994	委託料	52,210
使用料及び賃借料	497	工事請負費	2,585	負担金補助及び交付金	15		

概要及び成果

- 1 文化財展示施設管理事業  
 ○収蔵資料の収集及び適切な管理  
 ○申請に応じた施設使用・資料利用への対応  
 ○法定点検、植栽や設備の維持管理、機械警備、収蔵資料の燻蒸処理等の専門業者への委託

【成果】

各展示施設の利用者数は、コロナの影響もあったが、昨年度より増加している。学校や一般団体からの解説等の依頼件数は、同じくコロナの影響により件数は少ないものの、昨年度よりは増加した。所蔵資料・施設の利用許可申請等を適切に事務処理したほか、所蔵資料は出前講座等の教材としても有効活用した。以上の業務を通じて、市の歴史と文化への理解を深めてもらう場を提供するとともに、併せて学術の発展に資することができた。

各展示施設の見学等利用者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
桜歴史民俗資料館	人	2,568	1,705	8,064	7,809	3,204
出土文化財管理センター	人	78	64	58	126	119
平沢官衙遺跡歴史ひろば	人	38,024	35,722	50,689	46,508	52,478
谷田部郷土資料館	人	813	505	3,948	4,591	1,031
小田城跡歴史ひろば	人	13,888	15,317	19,853	21,204	17,479

依頼・申請件数 ※アの () 内は小中義務教育学校、ウの () 内は行政財産使用料の件数。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ア 講師派遣・解説依頼等	件	18(5)	11(6)	60(29)	57(27)	73(32)
イ 収蔵資料の閲覧・貸出等の利用件数	件	25	24	48	35	56
ウ 施設利用許可申請	件	13(3)	15(0)	24(1)	21(4)	21(9)

歳入

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
国庫交付金	千円	0	5,181	0	0	0
行政財産使用料ほか	千円	46	43	87	75	50

2 平沢官衙遺跡再整備事業

立体復元した高床倉庫の屋根を始めとして、舗装などの劣化が進み再整備が必要となっている。そのため、復元整備基本計画、復元整備基本設計を策定し、補助事業として復元の再整備工事を実施する。

【成果】

史跡平沢官衙遺跡再整備懇話会を4回(8、10、12、2月)開催し、助言と指導を受けながら、史跡平沢官衙遺跡再整備基本計画・基本設計を策定した。今までの史跡平沢官衙遺跡の状況を整理して、今後の再整備計画の概要を示すとともに、予算の概要を含めた事業計画をまとめ、今後の再整備工事への道筋をつけた。

歳入

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
国庫補助金	千円	3,201	0	0	0	0



事業名：金田官衙遺跡に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	17	本年	426,095				426,095		426,094	100.0
				前年	185,746		△ 3,579		182,167		182,121	100.0
				比較	240,349		3,579		243,928		243,973	-
【参考】前々年度				193,096		△ 9,750		183,346		183,344	100.0	

節別支出済額(単位:千円)

役務費	44	公有財産購入費	426,050
-----	----	---------	---------

概要及び成果

1 金田官衙遺跡保存事業

平成15年度に都市基盤整備公団、茨城県、つくば市の間で締結した「覚書」、及び同21年度にUR都市再生機構とつくば市の間で締結した覚書の内容を具体化する「協定」等により、史跡内の公有地除く約7.3haを、国庫補助を受けて同機構から平成22～令和3年の12年計画で買収

【成果】

史跡指定地15,270.61㎡を12月にURから買収し、平成22年度からの区画整理地内の計画的な公有化が完了した。未公有化の史跡指定地は区画整理地外の個人所有地1筆のみとなった。文化財を保全するとともに、TX沿線開発が良好な形で円滑に進行するという効果も図れた。

買収状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
買収面積	㎡	15,270.61	6,500.03	6,500.04	6,773.77	6,774.21
累計買収面積	㎡	72,716.81	57,446.20	50,946.17	44,446.13	37,672.36
区画整理地の買収率	%	100.0	79.0	70.1	61.1	51.8

特定財源

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
国庫補助金	千円	0	145,440	146,675	154,770	155,238
起債	千円	426,000	32,700	33,000	29,000	29,100

事業名：歴史文化教育・活用に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	18	本年	4,367		△ 400		3,967		3,580	90.2
				前年	4,680			△ 235	4,445		3,494	78.6
				比較	△ 313		△ 400	235	△ 478		86	-
【参考】前々年度					6,096				6,096		5,663	92.9

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,836	報償費	45	旅費	74	需用費	779
役務費	173	委託料	538	使用料及び賃借料	134		

概要及び成果

1 学校での伝統文化教育支援事業

出前講座や文化財施設見学の際の説明、学校教員対象の説明研修会を開催するとともに伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供する。

【成果】

コロナの影響により出前講座の回数は少なかったものの、筑波高校・秀峰筑波義務教育学校・二の宮小・真瀬小で出前講座を行った（二の宮小・真瀬小は、オンラインで実施）。教員向け研修講座は、コロナの影響により中止となったが、代わりに資料を配布したことで、学校教育への支援ができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
出前講座回数	回	4	2	10	3	4
教員向け研修講座回数	回	0	0	1	0	1

※教職員向け研修講座は、平成30年度は台風のため、令和2・3年度はコロナ禍のため中止。

2 文化財催事講座等事業

○展示施設等を巡る巡回企画展を開催し、テーマに沿った講演会等を実施

○古文書読解等の文化財講座の実施

○平沢官衙遺跡歴史ひろば、小田城跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の開催

【成果】

昨年度はコロナの影響により中止した史跡活用催事の一部及び古文書講座を、感染症対策や内容を検討した上で再開することができた。巡回企画展「つくばの遺跡と発掘調査-先人の営みを探る-」との関連事業を11月から2月に開催し、講演会、小中学生を対象とした埋蔵文化財整理体験を実施した。参加者アンケートの満足度も高く、歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むことができた。

古文書講座は、定員18名を上回る多くの応募があり、史跡活用催事として実施した小田城跡どんど焼きでは、約2,000人の来場者数を得た。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
企画展来場者数	人	1,187	1,565	1,467	2,769	2,358
企画展関連講演会参加者数	人	62	58	83	295	216
企画展関連行事参加者数	人	12	18	14	6	13
文化財講座参加人数	人	18	0	54	55	48

歳入

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
国庫補助金	千円	1,372	1,387	2,162	1,000	1,000
文化財講座受講料	千円	9	0	127	160	136

3 文化財サポーター事業

○解説ボランティア育成を目的とした講座・研修の開催

○講座修了者からボランティア登録者を募り、展示施設の解説等の各種業務に参画

【成果】

第3回解説ボランティア養成講座を開催し、修了者8名全員が新規登録した。また、登録者を対象とした研修講座を1回行い、7名の参加者を得た。また、年間を通じて、民間のボランティア団体「常陸小田城親衛隊の会」と連携し、小田城跡での解説や会員への研修等を実施した。以上の事業を通じて、市の事業に市民が参加し、文化財への理解と愛着を深める機会とすることができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
解説ボランティア登録者数	人	23	15	10	-	-

事業名：スポーツ振興に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	11	本年	28,613		△ 2,784		25,829		21,403	82.9
				前年	29,971	9,687	△ 4,371		35,287		32,119	91.0
				比較	△ 1,358	△ 9,687	1,587		△ 9,458		△ 10,716	-
【参考】前々年度				30,021		11,901		41,922	9,687	27,954	89.8	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	4,232	報償費	235	旅費	225	需用費	192
委託料	545	使用料及び賃借料	352	負担金補助及び交付金	15,623		

概要及び成果

1 スポーツ推進審議会事業  
つくば市が実施するスポーツ推進の施策について意見を求め、提言、助言を施策の参考にする。  
【成果】  
審議会を開催し、スポーツの振興や推進計画進行管理等について意見や助言を伺い、次年度の事業計画にいかすことができた。

2 スポーツ推進委員事業  
スポーツ推進委員を委嘱し、つくば市スポーツ推進協議会の活動を通じて、委員相互の交流・情報交換、市主催事業への協力、各種研修会への参加による資質向上などを図る。  
【成果】  
新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度も昨年に続き、予定していたスポーツイベント等の多くが中止となった。  
実施した事業：4月総会及び辞令交付式、10月市研修会（体力・運動能力調査）、3月理事会

スポーツ推進委員事業等参加者数実績

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
延べ参加者数	人	84	12	312	304	346

3 スポーツ推進計画の施策推進の取組  
つくば市スポーツ推進計画の「施策の推進のために取り組む事項」に掲げられた、障害者のためのスポーツの推進に関する事業、ランニングなどの普及啓発と環境整備等を実施する。  
【成果】  
筑波大学の有識者を迎え、障害者スポーツ人材育成等に関する講座を3講座（計6回）実施し、22名が参加した。参加者からは好評を得て、今後も障害者スポーツ体験機会の場があることは大切だとの声も聞かれた。  
7月末にランニングステーションの試験運用開始の準備を完了し、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて10月から運用を開始した。

4 （一社）つくば市スポーツ協会等補助（旧：つくば市体育協会等補助）  
スポーツレクリエーション活動を展開する（一社）つくば市スポーツ協会（旧つくば市体育協会）及びつくば市レクリエーション協会に補助金を交付し、活動を支援する。  
【成果】  
新型コロナウイルス感染症の影響で、スポーツ・レクリエーション活動の多くが中止となった。つくば市スポーツ協会に対して、法人としての適正な事務執行のための助言等を行った。

事業名：スポーツ教室開催に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	12	本年	3,356		△ 992		2,364		1,613	68.3
				前年	6,402		△ 5,175		1,227		671	54.7
				比較	△ 3,046		4,183		1,137		942	-
【参考】前々年度					6,544				6,544		2,007	30.7

節別支出済額(単位:千円)

報償費	180	需用費	80	役務費	11	委託料	1,343
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	-------

概要及び成果

- 1 スポーツ教室開催事業  
 スポーツ教室の開催により、スポーツの楽しさや健康維持の手法等を学ぶ機会を提供し、市民のスポーツ活動の促進を図る。

【成果】

当初は13の教室の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、7教室の開催となった。

教室参加者数実績（延べ人数）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
1 テニス	人	96	中止	-	-	-
2 体幹トレーニング	人	116	105	386	326	111
3 トレイルラン	人	101	中止	123	119	110
4 ランニング	人	中止	36	103	73	97
5 バドミントン	人	85	84	-	-	-
6 ヨガ	人	75	中止	-	-	-
7 車いすバスケ	人	中止	16	中止	6	-
8 子どもの運動教室(低学年)	人	134	中止	-	-	-
9 子どもの運動教室(高学年)	人	中止	-	-	-	-
10 スプリント	人	107	-	-	-	-
11 親子ヨガ	人	中止	-	-	-	-
12 車いすバドミントン	人	中止	-	-	-	-
13 スラックライン	人	中止	33	-	-	-

※ No.9～12はR3新規

事業名：スポーツ大会開催に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	13	本年	24,661		△ 2,846		21,815		17,158	78.7
				前年	24,212		△ 11,953		12,259		10,527	85.9
				比較	449		9,107		9,556		6,631	-
【参考】前々年度					25,002				25,002		23,304	93.2

節別支出済額(単位:千円)

報償費	360	需用費	506	役務費	31	委託料	740
備品購入費	521	負担金補助及び交付金	15,000				

概要及び成果

1 スポーツ大会開催事業（旧：各種スポーツ大会開催事業）

市民等が気軽にスポーツに参加する機会を提供するため、スポーツイベントや大会を開催する（つくばウォークラリー大会、つくばマラソン、つくばスポーツフェスティバル、つくば健康マラソン大会等）。

【成果】

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた大会及びイベントは全て中止となった。つくばマラソンについては、本大会は中止としたが代替企画としてオンラインマラソンを実施し、大会への関心とランニングへの意欲の維持向上を図った。

(1) つくばウォークラリー大会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申込者数	人(組)	354(104)	中止	539(154)	526(149)	553(153)
参加者数	人(組)	中止	中止	403(121)	398(119)	257(78)

(2) つくばスポーツフェスティバル

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数	人	中止	中止	805	1,212	1,107

(3) つくばマラソン

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申込者数(42.195km)	人	中止	中止	15,327	15,270	14,958
(うちふるさと納税エントリー)	人	中止	中止	175	141	100
申込者数(10km)	人	中止	中止	2,785	2,843	3,094
申込者数合計	人	中止	中止	18,112	18,113	18,052
出走者数(42.195km)	人	中止	中止	12,353	13,002	12,547
出走者数(10km)	人	中止	中止	2,009	2,353	2,511
出走者数合計	人	中止	中止	14,362	15,355	15,058

(4) つくば健康マラソン大会

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申込者数	人	1,136	中止	1,930	1,960	1,973
参加者数	人	中止	中止	1,708	1,645	1,526

事業名：学校保健に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	14	本年	73,235		△ 4,397		68,838		65,752	95.5
				前年	46,908		25,695		72,603		68,812	94.8
				比較	26,327		△ 30,092		△ 3,765		△ 3,060	-
【参考】前々年度					42,834				42,834		42,393	99.0

節別支出済額(単位:千円)

報酬	300	旅費	6	需用費	17,253	役務費	451
委託料	44,382	使用料及び賃借料	2,793	負担金補助及び交付金	566		

概要及び成果

1 各種健康診断事業

学校保健安全法の規定に基づく各種検診を実施することで、園児、児童、生徒及び教職員の健康管理と疾病異常の早期発見に努めた。

検診種類

尿検査(全児童・生徒・園児)、寄生虫検査(全園児)、心臓病検診(1年生、4年生及び7年生)

結核精密検査(全児童生徒のうち精密検査対象者)、運動器検診(全児童・生徒)、教職員定期健康診断(該当者)

【成果】

必要な検診を実施することで、疾病異常の早期発見に努め、園児、児童、生徒及び教職員の健康の保持増進を図ることができた。

(1) 園児・児童・生徒を対象とした受診者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
尿検査	人	22,235	22,134	21,687	21,386	21,127
寄生虫検査	人	628	783	844	902	936
心臓病検診一次	人	7,338	7,090	7,055	6,816	6,615
心臓病検診二次	人	382	283	300	352	373
結核検診	人	30	45	35	37	41

(2) 教職員の定期健康診断受診者数(健診内容:尿、胸部X線、胃がん、血圧、心電図等)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受診者	人	419	416	426	394	391

2 教職員安全衛生管理業務

(1)つくば市立学校に勤務する教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進するため、学校衛生委員会の開催及び産業医を配置した。

(2)教職員のメンタルヘルスカケアを図るため、ストレスチェックを実施した。

【成果】

教職員が安心して職務に専念できるよう、職場環境の改善やメンタルヘルス対策に取り組んだ。

(1)産業医の配置(4名)

(2)ストレスチェック実施校(全45校)

高ストレス者のうち面接希望者(3名)に対して産業医による面談を実施し、高ストレス者に対するフォローを行った。

ストレスチェック受診者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
対象者	人	1,337	1,306	1,275	1,245	1,290
受験者数	人	1,325	1,295	1,258	1,218	1,222
受験率	%	99.10	99.16	98.60	97.80	94.72
高ストレス者率	%	11.47	10.73	10.96	12.80	7.03

### 3 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 感染症対策として、衛生医療用消耗品（手指用消毒液、小児用マスク、グローブ等）を購入し、各学校へ配布した。
- (2) 医療相談アプリLEBERを導入し、児童生徒の検温結果及び出欠連絡を学校ごとに集約して体調管理を行った。

#### 【成果】

- (1) 感染症拡大防止対策を円滑に進めることができた。
- (2) 児童生徒の体調管理をアプリを通して行うことで、教職員の負担軽減を図ることができた。

#### <購入品内訳>

消毒用アルコール（5ℓ）：2,732個、マスク（50枚／箱）：422箱  
使い捨てグローブ（100枚／箱）：162箱、フェイスガード：1,350枚  
使い捨てガウン：2,420枚



事業名： 体育施設維持管理に要する経費

市民部 スポーツ施設整備室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	02	11	本年	520,963	2	△ 8,980		511,985		502,972	98.2
				前年	471,616		715,417		1,187,033	2	1,172,104	98.7
				比較	49,347	2	△ 724,397		△ 675,048	△ 2	△ 669,132	-
【参考】前々年度				307,051				307,051		289,853	94.4	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	25,542	役務費	1,816	委託料	252,439	使用料及び賃借料	19,202
工事請負費	183,742	備品購入費	2,662	補償・補填及び賠償金	17,569		

概要及び成果

- 1 体育施設維持管理事業（グラウンド・テニスコート・柔剣道場・体育館）  
 体育施設17施設（体育館7、テニスコート2、野球場2、サッカー場1、ソフトボール場1、多目的広場3、柔剣道場1）の維持管理を行う。

【成果】

桜総合体育館防火設備修繕工事及び谷田部総合体育館屋内消火栓配管改修工事等の修繕工事8件、解体工事1件、小規模修繕46件、工事設計4件を実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、8月6日から8月17日までは屋内施設を利用停止（屋外施設は夜間のみ利用停止）とし、8月18日から9月30日までは屋内外施設を利用停止とした。

利用者数(下表は有料施設のみ)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
谷田部総合体育館	人	56,970	54,271	81,574	75,396	67,998
豊里体育館、柔剣道場	人	17,776	15,401	23,996	26,746	28,232
東光台体育館	人	16,538	13,595	20,334	20,109	22,124
吉沼体育館	人	12,335	10,078	40,380	30,433	25,365
大穂体育館	人	10,758	10,523	15,266	16,164	16,363
筑波総合体育館	人	21,772	18,923	28,027	30,123	28,532
桜総合体育館	人	56,515	56,752	79,845	88,527	96,514
谷田部野球場	人	6,303	5,780	9,909	10,717	8,687
吉沼野球場	人	4,397	3,767	14,989	8,853	4,861
豊里多目的広場	人	4,182	2,885	4,312	4,890	3,266
高見原ソフトボール場	人	8,904	8,959	10,498	10,865	13,289
高崎サッカー場	人	14,413	9,860	15,178	17,035	13,537
谷田部テニスコート	人	23,831	24,060	30,743	27,960	25,727
豊里テニスコート	人	9,152	4,607	15,676	14,840	15,189

施設管理委託、清掃委託、植栽維持管理委託

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
谷田部総合体育館外2施設	千円	27,683	27,415	26,837	27,767	28,809
豊里体育館、柔剣道場	千円	14,004	14,090	14,071	14,309	13,229
東光台体育館	千円	3,861	3,867	3,763	4,282	4,669
吉沼体育館	千円	14,208	14,369	14,368	14,519	14,251
大穂体育館	千円	105	55	48	51	0
筑波総合体育館	千円	3,916	3,916	3,826	4,201	4,078
桜総合体育館	千円	12,914	12,189	12,400	13,057	13,721
高崎サッカー場外2施設	千円	21,399	20,895	16,410	18,833	17,690

修繕、工事請負、設計委託

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
谷田部総合体育館外2施設	千円	8,653	5,196	6,285	93,272	11,709
豊里体育館、柔剣道場	千円	3,304	2,444	43,108	2,986	21,481
東光台体育館	千円	1,496	103	6,091	32,946	2,918
吉沼体育館	千円	2,155	3,001	1,239	3,229	9,842
大穂体育館	千円	1,327	2,093	792	3,443	1,942
筑波総合体育館	千円	619	1,636	7,047	2,943	2,592
桜総合体育館	千円	12,604	17,537	2,818	8,312	6,706
高崎サッカー場外2施設	千円	336	255	17	1,775	3,634

2 ウェルネスパーク管理事業

つくばウェルネスパークのヘルスプラザ、フットボールスタジアムつくば（セキショウチャレンジスタジアム）、スポーツフィールドの維持管理を行う。

【成果】

フットボールスタジアムつくば人工芝張替の土木工事1件、露天風呂屋根設置外改修の修繕工事1件、小規模修繕3件を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響により、8月6日から8月17日までは屋内施設を利用停止（屋外施設は夜間のみ利用停止）とし、8月18日から9月30日までは屋内外施設を利用停止とした。

フットボールスタジアムつくば人工芝張替工事のため、10月4日から翌3月4日まで利用停止とした。

利用者数(下表は有料施設のみ)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ヘルスプラザ	人	102,168	97,598	149,974	164,792	173,809
フットボールスタジアムつくば	人	22,297	32,757	45,133	49,073	57,360
スポーツフィールド	人	4,596	3,143	8,365	7,907	8,836

施設管理

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
指定管理委託	千円	75,000	75,000	74,000	76,474	71,040
植栽維持管理委託	千円	0	484	594	367	486
修繕、工事請負、設計委託	千円	164,093	3,284	5,102	6,640	11,608
指定管理施設運営補償金	千円	17,569	16,753	-	-	-

3 (仮称) みどりの学校プール整備事業

(仮称) みどりの南小・中学校が開校する令和6年4月の供用開始に向けて、令和2年度に現況測量、令和2年度から令和3年度に基本・実施設計業務、令和4年度から令和5年度にプール建設工事を行う。

【成果】

(仮称) みどりの学校プール建設基本・実施設計業務が完了し、令和4年度からの建設工事に向けた準備が整った。設計では国立研究開発法人建築研究所や障害者支援団体とも協議を行い、環境配慮の向上やバリアフリー強化に取り組んだ。

建設費用

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
用地取得	千円	-	855,952	-	-	-
設計委託	千円	65,542	25,731	-	-	-

4 (仮称) つくば市陸上競技場整備事業

現在、つくば市では、小中学生の公式陸上記録会・競技会を開催するための市営の施設がないことから、つくば市にふさわしい陸上競技場を建設する。

【成果】

(仮称) つくば市陸上競技場整備基本構想を策定し、議会全員協議会での報告及び市民説明会を開催した。

つくば市大規模事業評価委員会に諮問し、「概ね妥当であると認められる」との答申を受けた。

事業名：給食センター運営審議会に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	11	本年	216				216		118	54.6
				前年	279		△ 7		272		132	48.5
				比較	△ 63		7		△ 56		△ 14	-
【参考】前々年度					279				279		2	0.8
節別支出済額(単位:千円)												
報酬				80	旅費				38			
概要及び成果												
<p>1 給食センター運営審議会事務                      学校給食の運営に関する重要事項について運営審議会を開催し審議する。</p> <p>【成果】                      令和3年度、2回の審議会を開催し、（仮称）新桜学校給食センター整備事業の進捗状況、つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドラインの目標値設定並びにつくば市学校給食の在り方懇談会の開催について、報告することができた。</p>												

事業名：給食センター管理運営に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	12	本年	2,038,544	2,474	6,080		2,047,098		1,803,665	88.1
				前年	1,974,522		25,962		2,000,484	2,474	1,778,638	89.0
				比較	64,022	2,474	△ 19,882		46,614	△ 2,474	25,027	-
【参考】前々年度					1,766,630		12,173		1,778,803		1,710,324	96.2

節別支出済額(単位:千円)

報償費	336	需用費	1,304,010	役務費	7,358	委託料	442,261
使用料及び賃借料	2,068	工事請負費	19,542	備品購入費	27,696	負担金補助及び交付金	394

概要及び成果

1 給食センター管理事業

- (1) 建物の法的な点検、害虫駆除やボイラー等の日常点検を行う。
- (2) 厨房備品及び施設修繕等を行う。
- (3) 給食センター4施設において、安心・安全な学校給食を安定して調理、提供する。

【成果】

- (1) 施設管理業務委託を実施することにより、安定したセンター運営を行うことができた。  
警備委託、消防設備点検委託、ボイラー保守管理委託等
- (2) 給食施設や厨房備品等を修繕し、安定したセンター運営を行うことができた。  
筑波学校給食センタープレハブ冷蔵庫修繕工事  
つくばすこやか給食センター豊里SVロースター修繕  
茎崎学校給食センター食器浸漬装置修繕
- (3) 1日当たり24,904食の給食を調理・提供した。また、休校や学級閉鎖時の給食提供については、学校と給食センター間で連絡の徹底と情報の共有を図り、臨機応変に対応することができた。  
(幼稚園155回、小学校161回、中学校180回)

内訳

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
幼稚園	名	622	747	838	861	880
小学校	名	15,436	15,084	14,800	14,326	13,929
中学校	名	6,877	6,621	6,382	6,317	6,318
教職員等	名	1,969	2,096	1,881	1,868	1,807
合計	名	24,904	24,548	23,901	23,372	22,934

2 給食食材放射性物質測定検査事業

毎日2施設分の給食センターに係る前日納品の食材4品目と毎日1施設分の給食センターに係る給食一週間分を独自に検査し、結果をホームページ上で公開する。

【成果】

食材の放射性物質検査測定値を市ホームページに掲載し、公開することで学校給食食材の安全性を周知できた。

3 学校給食食物アレルギー対応事業

事故防止に努めるとともに、緊急時に迅速に対応できるよう学校、保護者、教育局で連携を図る。

【成果】

- ・年間を通して、エピペン講習会を実施し、教職員等のアレルギー対応に関する知識の向上を図ることができた。
- ・年間を通して、食物アレルギー個別面談を実施し、学校における食物アレルギー対応及び事故防止を円滑に行うことができた。

- 4 給食食材の地産地消の実施  
給食食材として地場産物を安定的に供給できる体制をつくり、学校給食における地場産物の利用拡大を図る。

【成果】

つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドラインに基づき、令和3年度当初に地産地消率の目標値を20%と設定した。

目標値に届かなかったものの、各給食センターの献立に地産地消献立を取り入れ、つくば市産食材の導入を推進した。また、つくば市産小麦のユメシホウパンや、さつまいもコロッケなどの商品を開発し、給食提供を行った。

つくば市産野菜購入の割合：18.8%

事業名：給食配送業務に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	13	本年	183,105				183,105		182,817	99.8
				前年	183,105				183,105		182,732	99.8
				比較							85	-
【参考】前々年度					198,228		361		198,589		198,588	100.0

節別支出済額(単位:千円)

委託料	182,817
-----	---------

概要及び成果

1 給食配送業務事業

各学校・幼稚園への給食の配送（業務委託）

【成果】

新型コロナウイルス感染拡大による学校の臨時休業に伴い、予定していた業務実施回数に変更が生じたが、委託業者との協議により、実施した代替業務等の実績も踏まえ、変更契約を締結し、円滑に業務を履行することができた。

年間配送回数：180回

配送事業内訳

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
配送台数	台	27	27	27	26	25
配送学校数	施設	62	62	62	62	69
給食対象人員	人	24,904	24,548	23,901	23,372	22,934

事業名：学校給食費徴収管理に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	14	本年	6,052				6,052		4,551	75.2
				前年	2,402		1,650		4,052		3,770	93.0
				比較	3,650		△ 1,650		2,000		781	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				458	役務費		4,038	償還金利子及び割引料		56		
概要及び成果												
<p>1 学校給食徴収管理事業 学校給食費管理における透明性、公平性を確保するため、口座振替による学校給食費の収納を行う。 また、納付書による給食費納入者に対して、納付書等を作成し、発送する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度まで、学校が徴収していた学校給食費を、令和3年度から市が徴収管理することで、学校教職員の負担軽減、保護者負担の公平性の確保、歳入・歳出予算に係る透明性の向上に寄与することができた。</li> <li>給食費の口座振替の際、振替手数料を市が負担することとなり、また複数の金融機関口座が利用可能となったことによって、保護者の利便性の向上につながった。</li> <li>24,904名の対象者から、997,175,000円の給食費を徴収することができた。徴収率：97.39%</li> </ul>												

事業名：給食センター建設に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	15	本年	28,922		△ 5,113		23,809	16,456	6,654	97.1
				前年								
				比較	28,922		△ 5,113		23,809	16,456	6,654	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				6,654								
概要及び成果												
<p>1 (仮称)新桜学校給食センター整備事業 将来予想される調理能力不足、既存センターの老朽化等に対応する新しい学校給食センターを建設する。旧桜学校給食センターの跡地に建設することにより、速やかに事業を進め、安心・安全な学校給食の継続提供を図る。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)新桜学校給食センター基本計画を策定し、敷地測量及び(仮称)新桜学校給食センター基本設計を行い、調理能力7,000食、炊飯設備を備えた施設計画を策定することができた。</li> <li>旧桜学校給食センター解体工事設計を行い、令和4年度実施予定の解体工事に備えることができた。</li> </ul>												

事業名：災害復旧に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
11	01	01	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度				1				1				
概要及び成果												
<p>1 被災した公共施設の復旧に係る予算措置</p> <p>【成果】 災害が発生しなかったため、執行しなかった。</p>												

事業名：元金の償還に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
12	01	01	11	本年	6,521,507		△ 977		6,520,530		6,520,526	100.0
				前年	6,203,665		△ 2,589		6,201,076		6,201,072	100.0
				比較	317,842		1,612		319,454		319,454	-
【参考】前々年度					5,960,524		△ 36,397		5,924,127		5,924,124	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					6,520,526							
概要及び成果												
1 市債元金の償還												
【成果】												
市債発行時の約定に従い、償還期日までに所要額を全額償還した。												
また、令和元年度に発行した、可燃ごみ焼却処理施設設備改良事業債や(仮称)新谷田部学校給食センター建設事業等の元金償還開始に伴い、償還額が増大した。												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
元金償還額					千円	6,520,526	6,201,072	5,924,124	5,722,693	5,656,909		

事業名：利子の償還に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
12	01	02	11	本年	213,191		△ 5,038		208,153		207,146	99.5
				前年	265,838		△ 11,949		253,889		252,635	99.5
				比較	△ 52,647		6,911		△ 45,736		△ 45,489	-
【参考】前々年度					314,801		△ 13,202		301,599		300,594	99.7
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					207,146							
概要及び成果												
1 市債利子の償還												
【成果】												
市債発行時の約定に従い、償還期日までに所要額を全額償還した。												
また、令和3年度に償還した利子の総額は、臨時財政対策債の利率見直し(1.2%→0.04%)による減に加え、近年1%を下回る低金利で市債を発行していることから、前年比45,489千円減少した。												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
利子支払額					千円	207,146	252,635	300,594	344,977	378,445		

事業名：土地取得に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	01	01	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
概要及び成果												
1 普通財産の取得に関する事												
【成果】												
普通財産の取得がなかったため、執行しなかった。												

事業名：財政調整基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	01	11	本年	243		2,285,133		2,285,376		2,285,375	100.0
				前年	600,447		3,356,699	7	3,957,153		3,957,153	100.0
				比較	△ 600,204		△ 1,071,566	△ 7	△ 1,671,777		△ 1,671,778	-
【参考】前々年度				444		1,914,861		1,915,305		1,915,305	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					2,285,375							
概要及び成果												
<p>1 財政調整基金への積立て  災害により生じた経費、市債の繰上償還に要する経費又は緊急に実施することが必要となった大規模な建設事業の経費、その他やむを得ない理由により生じた経費の財源に充てることで、将来にわたる市財政の健全な運営に資するために設置された、つくば市財政調整基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 安定的な財政運営に資するため、剰余金2,284,995,000円及び預金利子380,215円を積み立てた。</p> <p>(2) 基金を275,600,000円取り崩し、新型コロナウイルス感染症による影響に対応するための予算、民生費・教育費等の予算の財源として充当した。</p> <p>(3) 令和3年度末基金残高は、4,224,077,662円。</p>												
財政調整基金の推移												
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度			
年度末基金残高				千円	4,224,078	2,214,302	4,625,972	4,871,680	3,378,999			

事業名：減債基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	02	11	本年	134		△ 100		34		30	87.0
				前年	164		93	4	261		261	100.0
				比較	△ 30		△ 193	△ 4	△ 227		△ 231	-
【参考】前々年度				217		111		328		328	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					30							
概要及び成果												
<p>1 減債基金への積立て  市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資するために設置された、つくば市減債基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子29,585円を積み立てた。</p> <p>(2) 基金を730,930,000円取り崩し、つくばエクスプレス関連土地区画整理基本事業等の茨城県無利子貸付金の償還の財源として充当した。</p> <p>(3) 令和3年度末基金残高は、378,077,849円。</p>												



事業名：土地開発基金繰出金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	03	11	本年	19		△ 14		5		4	82.8
				前年	19		△ 7		12	12	100.0	
				比較			△ 7		△ 7	△ 8	-	
【参考】前々年度					19		△ 1		18		18	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金					4							
概要及び成果												
<p>1 土地開発基金への積立て                      公用若しくは公共用に供する土地、又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るために設置された、つくば市土地開発基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子4,140円を積み立てた。</p> <p>(2) 令和3年度末基金残高は、土地24,706,000円、預金180,143,140円。</p>												

事業名：奨学金基金積立金

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	04	11	本年	1				1			6.9
				前年	1				1	1	100.0	
				比較						△ 1	-	
【参考】前々年度					1				1		1	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					0							
概要及び成果												
<p>1 奨学金基金積立金                      高等学校に在籍する者で経済的理由により修学が困難であると認められる者に奨学金を給付するために設置された、つくば市奨学金基金に積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子69円を積み立てた。</p> <p>(2) 基金を1,752,000円取り崩し、奨学資金給付事業の財源として充当した。</p> <p>(3) 令和3年度末基金残高は、1,866,069円。</p>												

事業名：公共施設整備基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	05	11	本年	176		△ 101		75		74	99.3
				前年	164		97	6	267	267	100.0	
				比較	12		△ 198	△ 6	△ 192	△ 193	-	
【参考】前々年度					176		88		264		264	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					74							
概要及び成果												
<p>1 公共施設整備基金への積立て                      公共施設整備資金に充てるために設置された、つくば市公共施設整備基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子74,492円を積み立てた。</p> <p>(2) 基金を125,316,853円取り崩し、公共施設整備事業の財源として充当した。</p> <p>(3) 令和3年度末基金残高は、1,337,099,639円。</p>												

事業名：国際交流基金積立金

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	06	11	本年	2				2			11.5
				前年	2				2	2	100.0	
				比較						△ 2	-	
【参考】前々年度					2				2		2	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					0							
概要及び成果												
<p>1 国際交流基金積立金 国際交流事業に要する経費の財源に充てるために設置された、つくば市国際交流基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子229円を積み立てた。</p> <p>(2) 令和3年度末基金残高は、11,846,983円。</p>												

(財務部 財政課)

事業名：つくばエクスプレス対策基金積立金

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	07	11	本年	7		△ 5		2		1	61.7
				前年	7		△ 2		5	5	100.0	
				比較			△ 3		△ 3	△ 4	-	
【参考】前々年度					7				7		7	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					1							
概要及び成果												
<p>1 つくばエクスプレス対策基金への積立て つくばエクスプレスの建設促進及びこれに係る地域整備に要する経費の財源に充てるために設置された、つくば市つくばエクスプレス対策基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子1,233円を積み立てた。</p> <p>(2) 令和3年度末基金残高は、63,442,431円。</p>												

(財務部 財政課)

事業名：福祉振興基金積立金

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	08	11	本年	29		△ 23		6		6	97.5
				前年	29		△ 11		18	18	100.0	
				比較			△ 12		△ 12	△ 12	-	
【参考】前々年度					29				29		29	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					6							
概要及び成果												
<p>1 福祉振興基金への積立て 福祉事業を推進し、快適な生活環境の形成を図るために設置された、つくば市福祉振興基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子5,848円を積み立てた。</p> <p>(2) 令和3年度末基金残高は、283,008,848円。</p>												

事業名：ふるさと創生基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	09	11	本年	1				1			7.0
				前年	1				1	1	100.0	
				比較						△ 1	-	
【参考】前々年度				1				1		1	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					0							
概要及び成果												
<p>1 ふるさと創生基金への積立て つくば市が自ら考え自ら実践する地域づくり事業に要する経費の財源に充てるために設置された、つくば市ふるさと創生基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子70円を積み立てた。</p> <p>(2) 令和3年度末基金残高は、2,541,070円。</p>												

事業名：学校教育施設整備基金積立金

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	10	11	本年	178		1,200,581		1,200,759		1,200,759	100.0
				前年	12,109		△ 2,204		9,905	9,905	100.0	
				比較	△ 11,931		1,202,785		1,190,854	1,190,854	-	
【参考】前々年度				148		53		201		201	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					1,200,759							
概要及び成果												
<p>1 学校教育施設整備基金積立金 学校教育施設の整備の財源に充てるために設置された、つくば市学校教育施設整備基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子150,828円を積み立てた。</p> <p>(2) 積立金として1,200,608,000円を積み立てた。</p> <p>(3) 新設校整備の財源に充てるため、115,320,000円を取崩した。</p> <p>(4) 令和3年度末基金残高は、2,566,144,889円。</p>												

事業名： アイラブつくばまちづくり寄附基金積立金

政策イノベーション部 持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	11	11	本年	132,107		236,133		368,240		210,852	57.3
				前年	102,986		84,816	4,962	192,764	192,764	100.0	
				比較	29,121		151,317	△ 4,962	175,476	18,088	-	
【参考】前々年度					47,862		55,184	4,409	107,455		107,455	100.0

節別支出済額(単位:千円)

積立金	210,852
-----	---------

概要及び成果

1 アイラブつくばまちづくり寄附基金積立金  
つくば市を応援するための寄附金(アイラブつくばまちづくり寄附金)を適正に管理し、市民団体の活動資金及び市が行う事業の財源に充てるために設置された、アイラブつくばまちづくり寄附基金へ積立てを行う。

【成果】

- (1) アイラブつくばまちづくり寄附金210,848,463円を積み立てた。
- (2) 預金利子3,686円を積み立てた。
- (3) 基金を257,525,000円取り崩し、アイラブつくばまちづくり活動支援事業や第2期つくば市戦略プランにひも付く事業の財源として充当した。
- (4) 令和3年度末基金残高は、150,828,807円。

アイラブつくばまちづくり寄附基金の推移

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
積立額	千円	210,852	192,764	107,455	47,554	53,066
取崩額	千円	257,525	111,982	42,527	57,274	29,190
残高	千円	150,829	197,502	116,719	51,791	61,511

(財務部 財政課)

事業名： 地域雇用創出推進基金積立金

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	12	11	本年	7		△ 1		6		1	22.0
				前年	17		△ 4		13	13	100.0	
				比較	△ 10		3		△ 7	△ 12	-	
【参考】前々年度					22		△ 1		21		21	100.0

節別支出済額(単位:千円)

積立金	1
-----	---

概要及び成果

1 地域雇用創出推進基金への積立て  
地域における雇用の創出を推進するための事業の財源に充てるために設置された、つくば市地域雇用創出推進基金へ積立てを行う。

【成果】

- (1) 預金利子1,320円を積み立てた。
- (2) 基金を43,025,000円取り崩し、産業活性化促進奨励金の財源として充当した。
- (3) 令和3年度末基金残高は、24,850,320円

事業名：医療環境整備基金積立金

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	13	11	本年	18		△ 14		4		3	86.5
				前年	18			18		18	100.0	
				比較			△ 14		△ 14		△ 15	-
【参考】前々年度					18				18		18	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					3							
概要及び成果												
<p>1 医療環境整備基金の設置</p> <p>筑波大学との「寄附講座の設置に係る協定」に基づき、寄附講座の開設及び附属病院内へのつくば市バースセンター整備や、産婦人科施設開設支援事業助成金を交付するため、基金へ積立てを行う。この取組により、実際の診療を通じた研修教育等を行い、周産期医療を担う産科医、助産師の人材育成を図るとともに、市民の安全で安心な出産の場を確保し、安定的な周産期医療体制を構築する。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子3,458円を積み立てた。</p> <p>(2) 基金を50,000,000円取り崩し、産婦人科施設開設支援事業助成金の財源として充当した。</p> <p>(3) 令和3年度末基金残高は、127,864,458円。</p>												

事業名：環境都市推進基金積立金

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	14	11	本年	1		32,500		32,501		32,501	100.0
				前年	10,002		30,000		40,002		40,002	100.0
				比較	△ 10,001		2,500		△ 7,501		△ 7,501	-
【参考】前々年度					10,003		15,001		25,004		25,004	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					32,501							
概要及び成果												
<p>1 環境都市推進基金積立金</p> <p>低炭素な街づくりを推進し、持続可能な都市の実現に向けた事業予算の財源に充てるために設置された、環境都市推進基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 積立金として32,500,000円及び預金利子609円を積み立てた。</p> <p>(2) 基金を28,940,000円取り崩し、クリーンエネルギー機器設置補助事業(188件)、クリーンエネルギー自動車購入補助事業(23件)、つくば市低炭素(建物・街区)ガイドラインに基づく補助事業(111件)の財源として充当した。</p> <p>(3) 令和3年度末基金残高は、40,195,748円。</p>												
環境都市推進基金の推移												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
				積立額	千円	32,501	40,002	25,004	10,008	10,012		
				充当額	千円	28,940	32,180	28,690	54,350	43,920		
				残高	千円	40,196	36,635	28,813	32,499	76,841		

## 事業名：つくばこどもの青い羽根基金積立金

こども部 こども未来課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	15	11	本年	8,601		5,500	93	14,194		14,194	100.0
				前年	8,601		6,268		14,869		14,480	97.4
				比較			△ 768	93	△ 675		△ 286	-
【参考】前々年度				1		6,999	181	7,181		7,181	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					14,194							
概要及び成果												
1 つくばこどもの青い羽根基金積立金 つくば市の子どもの未来支援のために寄付された寄付金を適正に管理し、市が行う子どもの未来支援事業の財源に充てるために設置された、つくばこどもの青い羽根基金へ積立てを行う。												
【成果】												
(1)つくばこどもの青い羽根寄付金の実績額14,193,324円を積み立てた。												
(2)預金利子300円を積み立てた。												
(3)基金を取り崩し、7,000,000円を子どもの未来支援事業の財源として充当した。												
(4)令和3年度末基金残高は、23,354,590円。												
つくばこどもの青い羽根基金基金の推移												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
積立金		千円	14,194	14,480	7,181	-	-					
充当額		千円	7,000	6,500	1,600	-	-					
残高		千円	23,355	16,161	7,181	-	-					

## 事業名：森林環境譲与税基金積立金

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	16	11	本年	23,565			992	24,557		24,557	100.0
				前年	23,593				23,593		23,566	99.9
				比較	△ 28			992	964		991	-
【参考】前々年度						11,100		11,100		11,089	99.9	
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					24,557							
概要及び成果												
1 森林環境譲与税基金事業 林野庁から森林環境譲与税が譲与され、森林の整備及び木材の利用促進となる事業に活用するため、森林環境譲与税基金を設置して積立てを行う。												
【成果】												
(1)森林環境譲与税を活用し、森林経営管理法に則り、森林所有者に対して森林の経営方針に関するアンケート調査を実施した。												
(2)森林環境譲与税24,556,000円と預金利子548円を積み立てた。												
(3)令和3年度末基金残高は、54,509,260円である。												
森林環境譲与税額の推移												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
譲与税額		千円	24,556	23,566	11,089	-	-					

事業名： 地方創生応援基金積立金

政策イノベーション部 持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
13	02	17	11	本年			5,050		5,050		5,050	100.0	
				前年									
				比較			5,050		5,050		5,050	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
積立金					5,050								
概要及び成果													
<p>1 地方創生応援基金積立金 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）による企業からの寄附金を適正に管理し、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業の財源に充てるために設置された、つくば市地方創生応援基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)企業版ふるさと納税寄附金のうち基金に積み立てる必要がある5,000,000円に、一般財源50,000円を加えた、5,050,000円を積み立てた。</p> <p>(2)令和3年度末基金残高は、5,050,000円。</p>													

事業名： 予備費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
14	01	01	11	本年	100,000			△ 38,379	61,621			
				前年	100,000			△ 29,081	70,919			
				比較				△ 9,298	△ 9,298			-
【参考】前々年度					100,000			△ 27,847	72,153			
概要及び成果												
<p>1 必要が生じた事業への充用</p> <p>【成果】</p> <p>予備費を下記の通り充用した。</p> <p>・主な充用先事業 新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援に要する経費、道路維持管理に要する経費等</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
充用額					千円	38,379	29,081	27,847	32,567	59,662		





# 国民健康保険特別会計



主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和3年度つくば市国民健康保険特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和4年9月9日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和3年度国民健康保険特別会計予算執行の概要について

国民健康保険制度は、国民皆保険制度の中核として国民生活を支える重要な役割を担い、加速する高齢化や医療技術の高度化に加え、生活習慣病の増加等に伴う医療費の増大により、大変厳しい財政運営を強いられています。平成30年度からは、都道府県が国保の財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業運営を確保し、制度の安定化を図るべく広域化が開始されました。市区町村においては、地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担っています。

このような中で、収納率の向上や資格及び医療費の適正化について、積極的に取り組み、国保財政の健全化に努めました。

また、健康寿命を延ばすための健康づくりの推進、特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上に取り組むとともに、生活習慣病の早期発見や糖尿病重症化予防などを重要課題と位置づけ、レセプトデータの分析により効果的・効率的な保健事業の実施に向け、第2期データヘルス計画に基づき各種保健事業を実施しました。

- 対象者 0歳から74歳までの方（社会保険加入者、後期高齢者医療保険被保険者及び生活保護受給者等を除く）
- 医療費の負担 原則3割  
義務教育就学前の方は2割  
70歳から74歳までの方は2割（現役並み所得者は3割）
- 保険税 国民健康保険税は、被保険者の人数と前年の課税対象額をもとに、世帯単位で計算します。
- 被保険者数 43,005名（令和4年3月31日現在） 前年度比984人減

令和3年度国民健康保険特別会計の歳入は前年度比904,342千円増（5.01%）の18,961,900千円、歳出は前年度比788,449千円増（4.54%）の18,164,415千円となりました。

決算規模	歳入総額	18,961,900千円
	歳出総額	18,164,415千円
	歳入歳出差引額	797,485千円

以上、令和3年度つくば市国民健康保険特別会計決算の概要ですが、主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

令和3年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
				国民健康保険	17,695,703		805,603	18,501,306	20,240,802	18,961,900	102.5
01				国民健康保険税	4,024,282			4,024,282	5,934,469	4,661,817	115.8
	01			国民健康保険税	4,024,282			4,024,282	5,934,469	4,661,817	115.8
		01		一般被保険者国民健康保険税	4,023,747			4,023,747	5,932,118	4,661,562	115.9
			01	医療給付費分現年課税分	本年度 2,658,016 前年度 2,749,982 比較 △91,966			2,658,016 2,749,982 △91,966	3,280,954 3,294,211 △13,257	3,050,280 3,040,603 9,677	114.8 110.6
			02	後期高齢者支援金分現年課税分	本年度 868,247 前年度 902,151 比較 △33,904			868,247 902,151 △33,904	1,070,021 1,075,431 △5,410	991,618 990,130 1,488	114.2 109.8
			03	介護納付金分現年課税分	本年度 285,957 前年度 299,277 比較 △13,320			285,957 299,277 △13,320	352,887 360,470 △7,583	320,692 323,665 △2,973	112.1 108.1
			04	医療給付費分滞納繰越分	本年度 146,563 前年度 174,740 比較 △28,177			146,563 174,740 △28,177	857,348 931,400 △74,052	206,772 218,462 △11,690	141.1 125.0
			05	後期高齢者支援金分滞納繰越分	本年度 44,637 前年度 50,454 比較 △5,817			44,637 50,454 △5,817	253,181 259,711 △6,530	62,788 64,240 △1,452	140.7 127.3
			06	介護納付金分滞納繰越分	本年度 20,327 前年度 24,649 比較 △4,322			20,327 24,649 △4,322	117,726 127,496 △9,770	29,413 30,402 △989	144.7 123.3
			02	退職被保険者等国民健康保険税	535			535	2,351	254	47.5
				01 医療給付費分現年課税分	本年度 1 前年度 328 比較 △327			1 328 △327			
				02 後期高齢者支援金分現年課税分	本年度 1 前年度 108 比較 △107			1 108 △107			
				03 介護納付金分現年課税分	本年度 1 前年度 76 比較 △75			1 76 △75			
				04 医療給付費分滞納繰越分	本年度 372 前年度 630 比較 △258			372 630 △258	1,573 3,636 △2,063	177 1,257 △1,080	47.6 199.5
				05 後期高齢者支援金分滞納繰越分	本年度 84 前年度 138 比較 △54			84 138 △54	405 814 △409	42 231 △189	50.0 167.4
				06 介護納付金滞納繰越分	本年度 76 前年度 136 比較 △60			76 136 △60	373 790 △417	35 213 △178	46.1 156.6
02				使用料及び手数料	1,643			1,643	1,406	1,406	85.6
	01			手数料	1,643			1,643	1,406	1,406	85.6
		01		督促手数料	1,643			1,643	1,406	1,406	85.6
			01	督促手数料	本年度 1,643 前年度 3,786 比較 △2,143			1,643 3,786 △2,143	1,406 3,192 △1,786	1,406 3,192 △1,786	85.6 84.3
03				国庫支出金	1			1	3,415	3,415	341,500.0
	01			国庫補助金	1			1	3,415	3,415	341,500.0
		01		国庫補助金	1			1	3,415	3,415	341,500.0
			01	国庫補助金	本年度 1 前年度 1 比較			1 1 0	3,415 13,158 △9,743	3,415 13,158 △9,743	341,500.0 1,315,800.0
04				県支出金	12,306,847		86,300	12,393,147	12,195,029	12,195,029	98.4
	01			県補助金	12,306,847		86,300	12,393,147	12,195,029	12,195,029	98.4
		01		県補助金	12,306,847		86,300	12,393,147	12,195,029	12,195,029	98.4
			01	保険給付費等交付金(普通交付金)	本年度 12,030,935 前年度 12,032,598 比較 △1,663		86,300	12,117,235 12,032,598 84,637	11,888,070 11,392,669 495,401	11,888,070 11,392,669 495,401	98.1 94.7
			02	保険給付費等交付金(特別交付金)	本年度 275,912 前年度 253,745 比較 22,167		11,942	275,912 265,687 10,225	306,958 300,366 6,592	306,958 300,347 6,611	111.3 113.0
05				財産収入	3		△1	2	1	1	50.0
	01			財産運用収入	3		△1	2	1	1	50.0
		01		利子及び配当金	3		△1	2	1	1	50.0
			01	利子及び配当金	本年度 3 前年度 5 比較 △2		△1	2 2 0	1 1 0	1 1 0	50.0 50.0

令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
06				繰入金	1,280,237		37,712	1,317,949	1,317,949	1,317,949	100.0
	01			他会計繰入金	1,280,237		37,712	1,317,949	1,317,949	1,317,949	100.0
		01		一般会計繰入金	1,280,237		37,712	1,317,949	1,317,949	1,317,949	100.0
			01	一般会計繰入金	本年度 292,768		2,080	294,848	294,848	294,848	100.0
					前年度 289,762		△296	289,466	289,466	289,466	100.0
					比較 3,006		2,376	5,382	5,382	5,382	
			02	保険基盤安定繰入金	本年度 987,469		35,632	1,023,101	1,023,101	1,023,101	100.0
					前年度 989,769		26,459	1,016,228	1,016,228	1,016,228	100.0
					比較 △2,300		9,173	6,873	6,873	6,873	
07				繰越金	1		681,592	681,593	681,592	681,592	100.0
	01			繰越金	1		681,592	681,593	681,592	681,592	100.0
		02		繰越金	1		681,592	681,593	681,592	681,592	100.0
			01	繰越金	本年度 1		681,592	681,593	681,592	681,592	100.0
					前年度 1		282,345	282,346	282,346	282,346	100.0
					比較 △1		399,247	399,247	399,246	399,246	
		×		療養給付費交付金繰越金							
			×	療養給付費交付金繰越金	本年度 1			1			
					前年度 1						
					比較 △1			△1			
08				諸収入	82,689			82,689	106,941	100,691	121.8
	01			延滞金加算金及び過料	48,067			48,067	64,512	64,512	134.2
		01		一般被保険者延滞	47,938			47,938	64,512	64,512	134.6
			01	一般被保険者延滞金	本年度 47,938			47,938	64,512	64,512	134.6
					前年度 50,659			50,659	52,738	52,738	104.1
					比較 △2,721			△2,721	11,774	11,774	
			02	退職被保険者等延滞金	129			129			
			01	退職被保険者等延滞金	本年度 129			129			
					前年度 214			214			
					比較 △85			△85			
			02	雑入	34,622			34,622	42,429	36,179	104.5
		01		一般被保険者第三者納付金	28,208			28,208	23,282	18,949	67.2
			01	一般被保険者第三者納付金現物分	本年度 28,000			28,000	18,793	18,793	67.1
					前年度 25,787			25,787	29,967	29,967	116.2
					比較 2,213			2,213	△11,174	△11,174	
			02	一般被保険者第三者納付金現金分	本年度 208			208	4,489	156	75.0
					前年度 21			21	4,646	171	814.3
					比較 187			187	△157	△15	
			02	退職被保険者等第三者納付金	3			3			
			01	退職被保険者等第三者納付金現物分	本年度 1			1			
					前年度 1			1	85	85	8500.0
					比較 0			0	△85	△85	
			02	退職被保険者等第三者納付金現金分	本年度 2			2			
					前年度 2			2			
					比較 0			0			
			03	一般被保険者返納金	6,407			6,407	19,145	17,228	268.9
			01	一般被保険者返納金現物分	本年度 5,040			5,040	9,646	9,646	191.4
					前年度 10,500			10,500	6,455	6,455	61.5
					比較 △5,460			△5,460	3,191	3,191	
			02	一般被保険者返納金現金分	本年度 1,367			1,367	9,498	7,581	554.6
					前年度 710			710	2,805	1,319	185.8
					比較 657			657	6,693	6,262	
			04	退職被保険者等返納金	3			3	2	2	66.7
			01	退職被保険者等返納金現物分	本年度 1			1	2	2	200.0
					前年度 1			1	157	157	15700.0
					比較 0			0	△155	△155	
			02	退職被保険者等返納金現金分	本年度 2			2			
					前年度 2			2			
					比較 0			0			
			05	指定公費交付金	1			1			
			01	指定公費交付金	本年度 1			1			
					前年度 1			1			
					比較 0			0			
			×	雑入							
			×	雑入	本年度 0			0		53	53
					前年度 0			0		53	53
					比較 0			0	△53	△53	

事業名：国民健康保険事務に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
01	01	01	11	本年	71,006			2,346	73,352		59,684	81.4			
				前年	61,305		△ 265		61,040		58,486	95.8			
				比較	9,701		265	2,346	12,312		1,198	-			
【参考】前々年度					59,227				59,227		56,186	94.9			
節別支出済額(単位:千円)															
報酬					17,135	職員手当等			1,872	旅費		1,091	需用費		2,252
役務費					13,679	委託料			17,783	使用料及び賃借料		165	負担金補助及び交付金		5,706
概要及び成果															
<p>1 国保資格の得喪 法令に基づき、国民健康保険の資格取得、資格喪失等事務及び被保険者証等の交付事務を行う。 限度額認定証、特定疾病療養受給者証の交付申請があった者について、審査をした上で各種証書を交付する。</p> <p>【成果】 被保険者が届出の必要性を理解するよう周知に努め、また届出しやすいよう環境を整えることで、業務の円滑な推進を図ることができた。</p>															
<p>2 高額療養費と出産育児一時金の貸付 被保険者から申請時に提出された医療費証明に基づき、貸付額の算出及び審査を行う。 貸付額決定後、その貸付額を医療機関へ振り込み、後日高額療養費（出産育児一時金）の支給金額を返還に充当する。</p> <p>【成果】 高額療養費貸付申請に対して速やかに支給することができた。</p>															

事業名：レセプト点検整理に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
01	01	01	12	本年	11,180			△ 49	11,131		9,627	86.5																					
				前年	11,621				11,621		10,108	87.0																					
				比較	△ 441			△ 49	△ 490		△ 481	-																					
【参考】前々年度					10,605				10,605		10,265	96.8																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
報酬					6,376	職員手当等			770	旅費		268	需用費		48																		
役務費					2,165																												
概要及び成果																																	
<p>1 レセプト点検整理事務 会計年度任用職員（レセプト点検員）による診療内容点検により、請求内容に疑義があるものについて茨城県国民健康保険団体連合会へ再審査請求を行う。 資格点検により国保資格喪失後に受診したレセプトを抽出し、医療機関に戻戻して過誤調整を行う。 又は、被保険者へ返納金の直接請求を行う。</p> <p>【成果】 レセプトの内容点検及び資格点検を行うことで、医療費の適正化を推進することができた。</p> <p>レセプト点検件数と点検による財政効果額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>件</td> <td>655,816</td> <td>621,240</td> <td>684,327</td> <td>706,846</td> <td>716,672</td> </tr> <tr> <td>財政効果額</td> <td>円</td> <td>35,502,123</td> <td>40,802,831</td> <td>73,614,729</td> <td>85,488,609</td> <td>72,969,248</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	件数	件	655,816	621,240	684,327	706,846	716,672	財政効果額	円	35,502,123	40,802,831	73,614,729	85,488,609	72,969,248
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
件数	件	655,816	621,240	684,327	706,846	716,672																											
財政効果額	円	35,502,123	40,802,831	73,614,729	85,488,609	72,969,248																											

事業名：徴税総務に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	01	11	本年	7,408				7,408		7,264	98.1
				前年	6,522		648		7,170		6,915	96.4
				比較	886		△ 648		238		349	-
【参考】前々年度					6,598				6,598		6,436	97.5
節別支出済額(単位:千円)												
役務費					7,264							
概要及び成果												
<p>1 国民健康保険税徴収事業 国民健康保険税の収納管理及び過誤納金の還付処理を実施する。住民税の賦課期日以降の転入者が国民健康保険に加入した場合などは、所得が不明なため前住所地の自治体に所得照会を行う。</p> <p>【成果】 国民健康保険税の賦課に必要な課税資料の収集や被保険者への国保税還付を適正に実施することができた。</p>												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
口座振替納付件数		件	53,539	54,080	55,264	57,351	58,448					
口座振替納付額		円	1,579,151,300	1,583,677,300	1,601,184,900	1,670,687,700	1,649,238,800					
コンビニ利用による納付件数		件	90,805	93,413	93,380	90,808	89,914					
コンビニ利用による納付額		円	1,272,482,393	1,323,268,706	1,311,096,170	1,302,651,284	1,289,981,175					



事業名：賦課徴収事務に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	02	11	本年	21,975				21,975		19,479	88.6
				前年	21,819		△ 469		21,350		19,711	92.3
				比較	156		469		625		△ 232	-
【参考】前々年度					22,834				22,834		21,211	92.9

節別支出済額(単位:千円)

報酬	7,742	職員手当等	881	旅費	436	需用費	1,927
役務費	8,493						

概要及び成果

- 1 国民健康保険税賦課徴収事業  
 条例に基づき、国民健康保険加入世帯に対し適正に国民健康保険税を賦課し、納付書を発送する。  
 収納率向上対策として制度改正のお知らせや口座振替促進用パンフレット等を作成し配布する。

【成果】

国民健康保険税の賦課に必要な課税資料の収集を行い、適正な賦課を実施できた。

国民健康保険税納税通知書件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
普通徴収分	件	37,707	38,564	38,817	39,377	37,521
特別徴収分	件	4,641	4,611	4,433	4,589	5,231

国民健康保険税収納額

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
現年度分	円	4,362,589,770	4,354,398,752	4,379,100,550	4,514,485,288	4,548,131,121
滞納繰越分	円	299,226,796	314,804,409	364,870,347	336,442,723	381,564,479

国民健康保険税収納率

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
現年度課税分	%	92.47	91.84	91.56	91.31	91.29
滞納繰越分	%	24.25	23.73	24.13	19.33	18.74

事業名： 運営協議会に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
01	03	01	11	本年	951				951		456	47.9														
				前年	853				853		484	56.7														
				比較	98				98		△ 28	-														
【参考】前々年度					803				803		310	38.6														
節別支出済額(単位:千円)																										
報酬					325	旅費		70	需用費		9	委託料		13												
負担金補助及び交付金					39																					
概要及び成果																										
<p>1 国民健康保険運営協議会の開催 国民健康保険運営協議会は市長の諮問機関であり、委員の構成は被保険者代表4名、医師・薬剤師代表4名、公益代表4名、被用者保険代表2名となっており、市長の諮問に応じて各々の立場から、議題等を審議検討し、諮問事項に対する意見を市長に答申する。</p> <p>【成果】 運営協議会委員それぞれの視点から多面的に意見を聴取し、国民健康保険会計予算、決算、その他国民健康保険事業の運営に係る重要事項について審議を行うことができた。</p> <p>国民健康保険運営協議会</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>回</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	開催回数	回	4	3	2	2	5
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
開催回数	回	4	3	2	2	5																				

事業名： 一般被保険者療養給付費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
02	01	01	11	本年	10,388,429		86,300	△ 1,161	10,473,568		10,403,808	99.3																																			
				前年	10,503,904				10,503,904		9,909,033	94.3																																			
				比較	△ 115,475		86,300	△ 1,161	△ 30,336		494,775	-																																			
【参考】前々年度					11,098,209				11,098,209		10,548,317	95.0																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
負担金補助及び交付金					10,403,808																																										
概要及び成果																																															
<p>1 一般被保険者療養給付費 一般被保険者に係る医科、歯科、調剤などの医療費を被保険者の負担割合に応じて保険者が負担する。国民健康保険の広域化に伴い、茨城県が審査支払機関へ診療報酬の直接支払いを行うため、市町村においては国保連の診療報酬支払額と県から歳入で受ける保険給付費等交付金の振替業務となる。</p> <p>【成果】 医療機関を通して請求のあった一般被保険者に係る疾病や負傷等の診療に対する医療費の給付事務を適切に行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者数(年間平均)</td> <td>人</td> <td>44,008</td> <td>44,553</td> <td>45,611</td> <td>47,149</td> <td>48,310</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者受診件数</td> <td>件</td> <td>598,861</td> <td>613,271</td> <td>685,916</td> <td>697,139</td> <td>695,165</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者費用額</td> <td>円</td> <td>13,054,494,293</td> <td>13,537,981,212</td> <td>14,479,697,703</td> <td>14,301,014,918</td> <td>14,521,395,853</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者一部負担金等</td> <td>円</td> <td>3,081,842,037</td> <td>3,303,628,711</td> <td>3,931,381,188</td> <td>3,909,065,042</td> <td>3,983,968,954</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	一般被保険者数(年間平均)	人	44,008	44,553	45,611	47,149	48,310	一般被保険者受診件数	件	598,861	613,271	685,916	697,139	695,165	一般被保険者費用額	円	13,054,494,293	13,537,981,212	14,479,697,703	14,301,014,918	14,521,395,853	一般被保険者一部負担金等	円	3,081,842,037	3,303,628,711	3,931,381,188	3,909,065,042	3,983,968,954
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
一般被保険者数(年間平均)	人	44,008	44,553	45,611	47,149	48,310																																									
一般被保険者受診件数	件	598,861	613,271	685,916	697,139	695,165																																									
一般被保険者費用額	円	13,054,494,293	13,537,981,212	14,479,697,703	14,301,014,918	14,521,395,853																																									
一般被保険者一部負担金等	円	3,081,842,037	3,303,628,711	3,931,381,188	3,909,065,042	3,983,968,954																																									

事業名：退職被保険者等療養給付費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
02	01	02	11	本年	197				197		30	15.2																																			
				前年	200				200																																						
				比較	△ 3				△ 3		30	-																																			
【参考】前々年度					33,138		△ 20,000		13,138		11,712	89.1																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
負担金補助及び交付金					30																																										
概要及び成果																																															
<p>1 退職被保険者等療養給付費 退職被保険者に係る医科、歯科、調剤などの医療費を被保険者の負担割合に応じて保険者が負担する。国民健康保険の広域化に伴い、茨城県が審査支払機関へ診療報酬の直接支払いを行うため、市町村においては国保連の診療報酬支払額と県から歳入で受ける保険給付費等交付金の振替業務となる。</p> <p>【成果】 医療機関を通して請求のあった退職被保険者に係る疾病や負傷等の診療に対する医療費の給付事務を適切に行った。</p>																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退職被保険者等数(年間平均)</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>39</td> <td>220</td> <td>604</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等受診件数</td> <td>件</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>756</td> <td>3,878</td> <td>11,143</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等費用額</td> <td>円</td> <td>27,587</td> <td>-</td> <td>17,044,842</td> <td>87,384,652</td> <td>269,865,918</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等一部負担金等</td> <td>円</td> <td>9,279</td> <td>-</td> <td>5,332,761</td> <td>26,567,063</td> <td>50,343,554</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成27年4月から退職者医療制度の廃止により新規適用なし。</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	退職被保険者等数(年間平均)	人	0	-	39	220	604	退職被保険者等受診件数	件	3	-	756	3,878	11,143	退職被保険者等費用額	円	27,587	-	17,044,842	87,384,652	269,865,918	退職被保険者等一部負担金等	円	9,279	-	5,332,761	26,567,063	50,343,554
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
退職被保険者等数(年間平均)	人	0	-	39	220	604																																									
退職被保険者等受診件数	件	3	-	756	3,878	11,143																																									
退職被保険者等費用額	円	27,587	-	17,044,842	87,384,652	269,865,918																																									
退職被保険者等一部負担金等	円	9,279	-	5,332,761	26,567,063	50,343,554																																									

事業名：一般被保険者療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
02	01	03	11	本年	87,621			△ 68	87,553		74,658	85.3																												
				前年	92,172				92,172		75,445	81.9																												
				比較	△ 4,551			△ 68	△ 4,619		△ 787	-																												
【参考】前々年度					92,485				92,485		85,757	92.7																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
負担金補助及び交付金					74,658																																			
概要及び成果																																								
<p>1 一般被保険者療養費 一般被保険者に係る柔道整復、鍼灸、補装具などの療養費相当額を茨城県国民健康保険団体連合会や柔道整復師会、被保険者へ支給する。</p> <p>【成果】 給付により一般被保険者の負担の軽減を図った。</p>																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者療養費支給件数</td> <td>件</td> <td>9,715</td> <td>11,021</td> <td>12,558</td> <td>13,131</td> <td>14,241</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者療養費費用額</td> <td>円</td> <td>95,028,097</td> <td>104,511,836</td> <td>116,492,957</td> <td>131,313,133</td> <td>138,396,248</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者療養費一部負担金等</td> <td>円</td> <td>26,051,349</td> <td>28,619,790</td> <td>32,017,341</td> <td>33,438,612</td> <td>38,318,858</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	一般被保険者療養費支給件数	件	9,715	11,021	12,558	13,131	14,241	一般被保険者療養費費用額	円	95,028,097	104,511,836	116,492,957	131,313,133	138,396,248	一般被保険者療養費一部負担金等	円	26,051,349	28,619,790	32,017,341	33,438,612	38,318,858
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																		
一般被保険者療養費支給件数	件	9,715	11,021	12,558	13,131	14,241																																		
一般被保険者療養費費用額	円	95,028,097	104,511,836	116,492,957	131,313,133	138,396,248																																		
一般被保険者療養費一部負担金等	円	26,051,349	28,619,790	32,017,341	33,438,612	38,318,858																																		

事業名：退職被保険者等療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					315				315		81	25.7

概要及び成果

1 退職被保険者等療養費

退職被保険者に係る柔道整復、鍼灸、補装具などの療養費相当額を茨城県国民健康保険団体連合会や柔道整復師会、被保険者へ支給する。

【成果】

給付により退職被保険者等の負担の軽減を図った。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
退職被保険者等療養費支給件数	件	-	-	8	47	235
退職被保険者等療養費費用額	円	-	-	115,486	357,988	1,985,975
退職被保険者等療養費一部負担金等	円	-	-	34,647	107,405	582,299

平成27年4月から退職者医療制度の廃止により新規適用なし。また、65歳に達した方は、一般被保険者に移行することにより、退職被保険者が減少。

事業名：審査支払に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	05	11	本年	36,817				36,817		35,489	96.4
				前年	38,051				38,051		33,553	88.2
				比較	△ 1,234				△ 1,234		1,936	-
【参考】前々年度					35,213				35,213		34,822	98.9

節別支出済額(単位:千円)

役務費 35,489

概要及び成果

1 審査支払に要する経費

診療報酬明細書(レセプト)の審査及び支払事務を適切に行う。

【成果】

診療報酬明細書の審査及び支払事務を円滑に処理することができた。

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
療養給付費審査件数	件	650,921	614,685	688,691	701,934	707,170
療養給付費審査手数料	円	34,498,813	32,564,763	33,745,859	34,394,766	34,651,330
療養費審査件数	件	10,335	10,795	12,408	12,909	14,310
療養費審査手数料	円	547,755	568,007	607,992	632,541	701,190
レセプト電算処理件数	件	651,060	614,685	688,691	701,934	707,170
レセプト電算処理手数料	円	442,622	420,627	468,305	477,310	480,871

事業名：一般被保険者高額療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	01	11	本年	1,552,549			△ 951	1,551,598		1,411,853	91.0
				前年	1,435,329				1,435,329		1,407,083	98.0
				比較	117,220			△ 951	116,269		4,770	-
【参考】前々年度					1,398,956		91,609		1,490,565		1,476,297	99.0
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					1,411,853							
概要及び成果												
<p>1 一般被保険者高額療養費 一般被保険者が支払った医療費の自己負担額が自己負担限度額を超えた場合、超えた分を高額療養費として支給する。</p> <p>【成果】 一般被保険者の高額な一部負担金の軽減を図った。</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
一般被保険者高額療養費支給件数					件	23,313	22,103	22,819	21,806	20,340		
一般被保険者高額療養費支給額					円	1,411,853,262	1,407,083,388	1,476,297,089	1,401,692,076	1,327,657,165		

事業名：退職被保険者等高額療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	02	11	本年	1				1			
				前年	1			44	45		45	100.0
				比較				△ 44	△ 44		△ 45	-
【参考】前々年度					9,516		△ 9,000	810	1,326		1,326	100.0
概要及び成果												
<p>1 退職被保険者等高額療養費 退職被保険者が支払った医療費の自己負担額が自己負担限度額を超えた場合、超えた分を高額療養費として支給する。</p> <p>【成果】 退職被保険者等の高額な一部負担金の軽減を図った。</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
退職被保険者等高額療養費支給件数					件	-	2	22	133	370		
退職被保険者等高額療養費支給額					円	-	45,114	1,325,891	9,996,287	34,130,837		
<p>平成27年4月から退職者医療制度の廃止により新規適用なし。また、65歳に達した方は、一般被保険者に移行することにより、退職被保険者が減少。</p>												

事業名：一般被保険者高額介護合算療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	03	11	本年	650			951	1,601		1,601	100.0
				前年	650			232	882		882	100.0
				比較				719	719		719	-
【参考】前々年度					650				650		516	79.4
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					1,601							
概要及び成果												
<p>1 一般被保険者高額介護合算療養費 医療費が高額になった一般被保険者の世帯に介護保険の受給者がいる場合、国民健康保険と介護保険の自己負担限度額を適用後に合算して年額の限度額を超えた際、超えた分を国民健康保険・介護保険で按分して高額介護合算療養費として支給する。</p> <p>【成果】 一般被保険者の高額な一部負担金の軽減を図った。</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
一般被保険者高額介護合算療養費支給件数					件	57	41	32	6	14		
一般被保険者高額介護合算療養費支給額					円	1,600,507	882,264	515,893	117,432	282,573		

事業名：退職被保険者等高額介護合算療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	04	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					10				10			
概要及び成果												
<p>1 退職被保険者等高額介護合算療養費 医療費が高額になった退職被保険者の世帯に介護保険の受給者がいる場合、国民健康保険と介護保険の自己負担限度額を適用後に合算して年額の限度額を超えた際、超えた分を国民健康保険・介護保険で按分して高額介護合算療養費として支給する。</p> <p>【成果】 平成29・30年度、令和元年度、2年度、3年度の支給該当者なし。</p>												

事業名：一般被保険者移送に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	03	01	11	本年	1			68	69		69	100.0	
				前年	1				1				
				比較				68	68		69	-	
【参考】前々年度					1				1				
節別支出済額(単位:千円)													
負担金補助及び交付金					69								
概要及び成果													
<p>1 一般被保険者移送に要する経費 一般被保険者が医療目的で病院等へ移送された場合などは、国民健康保険法第54条の4の規定に基づき、移送費を支給する。</p> <p>【成果】 一般被保険者移送費の審査及び支払事務を円滑に処理することができた。</p>													
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度			
一般被保険者移送費件数					件	1	-	-	-	-			
一般被保険者移送費件数支給金額					円	68,530	-	-	-	-			

事業名：退職被保険者等移送に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	02	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
概要及び成果												
<p>1 退職被保険者等移送に要する経費 退職被保険者等が医療目的で病院等へ移送された場合などは、国民健康保険法第54条の4の規定に基づき、移送費を支給する。</p> <p>【成果】 平成29・30年度、令和元年度、2年度、3年度の支給該当者なし。</p>												

事業名：葬祭に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	01	11	本年	11,550				11,550		10,050	87.0
				前年	10,250				10,250		10,150	99.0
				比較	1,300				1,300		△ 100	-
【参考】前々年度					10,700		1,050	50	11,800		11,050	93.6
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					10,050							
概要及び成果												
1 葬祭に要する経費 国民健康保険被保険者が死亡した場合、国民健康保険法第58条第1項の規定に基づき葬祭を行った方の負担を軽減するため、葬祭費を支給する。 <b>【成果】</b> 葬祭費の支給により、葬祭を行った方の経済的負担軽減を図った。												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
葬祭費支給件数					件	201	203	221	198	223		
葬祭費支給額					円	10,050,000	10,150,000	11,050,000	9,900,000	11,150,000		

事業名：出産育児一時金に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	01	11	本年	71,016				71,016		68,051	95.8
				前年	78,160				78,160		70,286	89.9
				比較	△ 7,144				△ 7,144		△ 2,235	-
【参考】前々年度					97,297				97,297		79,345	81.5
節別支出済額(単位:千円)												
役務費					32	負担金補助及び交付金		68,019				
概要及び成果												
1 出産育児一時金に要する経費 国民健康保険被保険者が出産した場合、国民健康保険法第58条第1項の規定に基づき、世帯の負担軽減を図るため、出生児一人ごとに出産育児一時金を支給する。 <b>【成果】</b> 出産育児一時金の支給により、世帯の負担軽減を図った。												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
出産育児一時金支給件数					件	162	175	189	197	274		
出産育児一時金支給額					円	68,019,050	70,252,950	79,307,960	83,248,472	107,240,028		
支払業務手数料					円	31,710	33,180	37,170	39,060	49,140		
出生児1人あたり、404,000円。産科医療補償制度加入医療機関での出産は、16,000円加算（令和3年12月以前） 出生児1人あたり、408,000円。産科医療補償制度加入医療機関での出産は、12,000円加算（令和4年1月以降）												



事業名： 傷病手当に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
02	06	01	11	本年	1			1,161	1,162		1,162	100.0																					
				前年			5,738		5,738		169	2.9																					
				比較	1		△ 5,738	1,161	△ 4,576		993	-																					
【参考】前々年度																																	
節別支出済額(単位:千円)																																	
負担金補助及び交付金					1,162																												
概要及び成果																																	
<p>1 傷病手当に要する経費 新型コロナウイルス感染症に感染したこと等により労務に服することができない期間に対し、事業主から給与の一部又は全部が受けられない場合に、傷病手当金を支給する。</p> <p>【成果】 傷病手当金の支給により、世帯の負担軽減を図った。</p> <p>傷病手当</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>支給金額</td> <td>円</td> <td>1,162,420</td> <td>168,669</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	15	3	-	-	-	支給金額	円	1,162,420	168,669	-	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
支給件数	件	15	3	-	-	-																											
支給金額	円	1,162,420	168,669	-	-	-																											

事業名： 一般被保険者医療給付費分

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	01	11	本年	3,176,622				3,176,622		3,176,621	100.0														
				前年	3,361,483		△ 19,673		3,341,810		3,341,809	100.0														
				比較	△ 184,861		19,673		△ 165,188		△ 165,188	-														
【参考】前々年度					4,177,806		1		4,177,807		4,177,805	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					3,176,621																					
概要及び成果																										
<p>1 一般被保険者医療給付費分 県から通知される国保事業費納付金のうち、一般被保険者医療給付費分について、分割により8月～4月の9回で支払う。</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者医療給付費</td> <td>円</td> <td>3,176,621,012</td> <td>3,341,809,383</td> <td>4,177,805,016</td> <td>4,747,914,381</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	一般被保険者医療給付費	円	3,176,621,012	3,341,809,383	4,177,805,016	4,747,914,381	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
一般被保険者医療給付費	円	3,176,621,012	3,341,809,383	4,177,805,016	4,747,914,381	-																				

事業名：一般被保険者後期高齢者支援金等分

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	11	本年	1,382,387				1,382,387		1,382,387	100.0
				前年	1,341,418		17,146		1,358,564		1,358,563	100.0
				比較	40,969		△ 17,146		23,823		23,824	-
【参考】前々年度				1,438,348				1,438,348		1,438,348	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					1,382,387							
概要及び成果												
1 一般被保険者後期高齢者支援金等分 県から通知される国保事業費納付金のうち、一般被保険者後期高齢者支援金等分について、分割により8月～4月の9回で支払う。												
【成果】												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
一般被保険者後期高齢者支援金等分					円	1,382,386,995	1,358,563,150	1,438,347,895	1,482,456,719		-	

事業名：介護納付金分

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	11	本年	471,077				471,077		471,076	100.0
				前年	498,558				498,558		498,557	100.0
				比較	△ 27,481				△ 27,481		△ 27,481	-
【参考】前々年度				504,926				504,926		504,926	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					471,076							
概要及び成果												
1 介護納付金 県から通知される国保事業費納付金のうち、介護納付金分について、分割により8月～4月の9回で支払う。												
【成果】												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
介護納付金分					円	471,076,150	498,557,094	504,925,800	482,500,164		-	

事業名：共同事業拠出金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	11	本年	4				4			7.6
				前年	4				4		2	49.5
				比較							△ 2	-
【参考】前々年度				10				10		2	23.0	
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					0							
概要及び成果												
1 共同事業拠出金 退職医療制度に該当する年金受給者を確認するために、年金受給者一覧表の作成費を保険者が共同で拠出する。												
【成果】												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
共同事業拠出金					円	304	1,980	2,300	2,373	2,492		

事業名：保健事業に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	01	11	本年	21,300			△ 35	21,265		17,512	82.3
				前年	21,907				21,907		15,136	69.1
				比較	△ 607			△ 35	△ 642		2,376	-
【参考】前々年度					16,654				16,654		13,056	78.4

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,931	旅費	243	需用費	906	役務費	5,916
委託料	1,749	負担金補助及び交付金	4,767				

概要及び成果

1 保健事業

健康増進課と連携して行う保健事業(頻回受診・重複受診者訪問指導の実施、各種出前健康体操教室や料理講習会等)の推進

医療費通知の送付(年5回)

ジェネリック医薬品希望カード、シール配布(年4回)

人間ドック受診費用助成(30~39歳)等

【成果】

人間ドック(30~39歳対象)の助成件数が増加した。

医療費通知の1月発送分については、通常7月・8月診療分に加え、確定申告を考慮し9月・10月診療分も含め送付した。

新型コロナウイルス感染防止対策を行い、各種出前健康体操教室を実施した。

人間ドック

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
助成件数	件	58	22	31	43	59
助成額	円	1,015,000	385,000	542,500	752,500	1,032,500

医療費通知

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
件数	件	102,517	101,134	121,020	123,120	124,927

運動教室

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
企画教室・企業連携教室団体数	団体	4	4	9	14	15
企画教室実施回数	回	15	18	63	86	202
企画教室参加延べ人数	人	117	214	1,160	1,681	3,686

事業名： 特定健診事業に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	01	12	本年	181,878		△ 2,310	35	179,603		151,083	84.1
				前年	173,364		3,246		176,610		101,743	57.6
				比較	8,514		△ 5,556	35	2,993		49,340	-
【参考】前々年度				154,044				154,044		140,342	91.1	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,919	報償費	124	旅費	223	需用費	3,203
役務費	7,631	委託料	69,575	使用料及び賃借料	527	工事請負費	35
備品購入費	68	負担金補助及び交付金	65,779				

概要及び成果

1 特定健診事業

40歳以上を対象に、2つの受診形態（①保健センター等で行う集団健診、②協力医療機関で行う医療機関健診）で、生活習慣病の予防を目的とした特定健康診査を実施する。また、受診費用の一部を助成して人間ドック等健診を実施する。

【成果】

集団健診は、新型コロナウイルス感染防止のため密にならないよう健診受診者数を制限するなどの対策を行い、予定日程を全て実施することができた。また、令和2年度より受診者数を増やすことができた。

特定健康診査

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
受診者数	人	8,667	6,189	10,898	10,701	10,443
受診率	%	31.6	22.1	38.9	37.2	35.2
健診委託料	円	67,235,876	43,425,780	78,934,448	77,805,982	64,358,868

人間ドック等助成

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
助成件数	件	2,247	1,805	2,252	2,249	2,147
助成額	円	40,665,000	32,457,500	43,437,500	43,625,000	41,825,000

(令和3年度特定健康診査受診者数、受診率は、令和4年5月速報値)

2 特定保健指導事業

特定保健指導

特定健診の結果をもとに、2つの方法（①保健センターでの保健師・栄養士による指導、②委託した医療機関での指導）で実施する。

【成果】

保健センターにおいて、保健指導（動機付け支援）該当者に電話、訪問、勧奨通知を送付し、保健師・栄養士が直接指導を行った。

筑波メディカルセンター病院ほか8医療機関等にて、保健指導（動機付け支援、積極的支援）業務を委託し、実施した。

特定保健指導

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
終了者数	人	128	80	333	393	399
終了率	%	11.3	10.9	23.7	28.9	32.2

(令和3年度特定保健指導終了者数、終了率は、令和4年5月速報値)

事業名：基金積立金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	11	本年	3		682,686		682,689		682,688	100.0
				前年	5		16,866		16,871		16,871	100.0
				比較	△ 2		665,820		665,818		665,817	-
【参考】前々年度					10		△ 7		3		3	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					682,688							
概要及び成果												
1 国民健康保険支払準備基金積立金 余剰金や積立基金利子を、国民健康保険支払準備基金へ積み立てる。												
【成果】												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
基金積立金					円	682,688,484	16,871,000	3,000	4,000	5,000		
年度末基金現在高					円	718,105,575	35,417,091	18,546,091	18,543,091	18,539,091		

事業名：一般被保険者保険税還付金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	01	11	本年	22,432		5,389		27,821		23,229	83.5
				前年	20,724		13,288	△ 2	34,010		30,279	89.0
				比較	1,708		△ 7,899	2	△ 6,189		△ 7,050	-
【参考】前々年度					21,310				21,310		21,201	99.5
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					23,229							
概要及び成果												
1 一般被保険者保険税還付事業 納付された一般被保険者国民健康保険税に還付の事由が生じた場合、還付し適正な賦課徴収を図る。												
【成果】 一般被保険者国民健康保険税の賦課徴収を適正に実施した。												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
還付件数					件	824	1,043	716	621	963		
還付金額					円	23,025,337	29,940,300	20,968,351	19,385,676	25,838,300		
還付金額には、還付加算金は含まれず。												

事業名：退職被保険者等保険税還付金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	11	本年	25		95		120		94	78.5
				前年	70				70			
				比較	△45		95		50		94	-
【参考】前々年度					70				70			
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					94							
概要及び成果												
1 退職被保険者等保険税還付事業 納付された退職被保険者等国民健康保険税に還付の事由が生じた場合、還付し適正な賦課徴収を図る。 <b>【成果】</b> 退職被保険者等国民健康保険税の賦課徴収を適正に実施した。												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
還付件数					件	3	-	-	1	2		
還付金額					円	94,186	-	-	70,200	24,500		
還付金額には、還付加算金を含まず。												

事業名：特定健診返還金に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	11	本年	1		12,794		12,795		12,794	100.0
				前年	1		792		793		792	99.9
				比較			12,002		12,002		12,002	-
【参考】前々年度					1				1			
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					12,794							
概要及び成果												
1 特定健診返還金に要する経費 国民健康保険給付費等交付金特別交付金（特定健康診査等分）は、当年概算払いで交付され、実績に基づき翌年度精算する。補助金に超過交付があった場合精算を行う。 <b>【成果】</b> 特定健康診査等分精算額												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
精算額					円	12,794,000	792,000	-	1,736,000	-		

事業名：災害臨時特例補助金返還金に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	12	本年			79		79		79	100.0
				前年				2	2	2	100.0	
				比較			79	△ 2	77	77	-	
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					79							
概要及び成果												
1 災害臨時特例補助金返還金												
【成果】												
災害臨時特例補助金は、当年概算払いで交付され、実績に基づき精算する。補助金に超過交付があった場合は精算を行う。												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
災害臨時特例補助金返還金					円	79,000	2,000	-	-	-		

事業名：特別調整交付金返還金に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	13	本年			1,718		1,718		1,718	100.0
				前年			283	283	283	100.0		
				比較			1,435	1,435	1,435	-		
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					1,718							
概要及び成果												
1 特別調整交付金返還金												
国民健康保険給付費等交付金特別交付金（特別調整交付金分）は、当年概算払いで交付され、実績に基づき翌年度精算する。補助金に超過交付があった場合精算を行う。												
【成果】												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
返還金					円	1,718,000	283,000	-	-	-		

事業名：一般会計繰出金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	02	01	11	本年	1		16,772		16,773		16,772	100.0
				前年	1		281,270		281,271		281,271	100.0
				比較			△ 264,498		△ 264,498		△ 264,499	-
【参考】前々年度				1		121,648		121,649		121,648	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金					16,772							
概要及び成果												
<p>1 一般会計繰出金 国民健康保険特別会計の繰越金について、前年度に一般会計から繰入した金額の範囲内で一般会計へ繰り出しを行う。</p> <p>【成果】 国民健康保険財政の安定化が図られた。</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
精算額					円	16,772,285	281,271,000	121,648,119	385,950,000	369,277,000		

事業名：指定公費支出金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	03	01	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度				40			35	75		75	100.0	
概要及び成果												
<p>1 指定公費支出金 70歳以上75歳未満の被保険者の療養に係る一部負担金の割合については、平成20年4月以降1割から2割に見直されたが、経過措置により昭和19年4月1日以前生まれの方は引き続き1割負担とし、残り1割を国による指定公費で賄うことで被保険者の軽減を図る。 施術院から市に請求された療養費を、指定公費支出金で支出するが、指定公費制度は令和元年度で終了している。</p> <p>【成果】 指定公費負担金</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
件数					件	-	-	112	377	691		
金額					円	-	-	75,066	449,815	781,901		



事業名：予備費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	11	本年	50,000				50,000			
				前年	50,000			△ 276	49,724			
				比較				276	276			-
【参考】前々年度					50,000			△ 895	49,105			

概要及び成果

1 予備費

保険給付費等の予測しがたい支出があった場合、充用する。

【成果】

平成29年度は、前期高齢者納付金の単価変更により拠出した。

平成30年度は、葬祭費に充用した。

令和元年度は、退職被保険者等高額療養費、葬祭費、指定公費負担金に充用した。

令和2年度は、退職被保険者等高額療養費、一般被保険者高額介護合算療養費に充用した。

予備費

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
金額	円	-	276,378	894,957	200,000	2,223,255



# 後期高齢者医療特別会計



## 主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和3年度つくば市後期高齢者医療特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和4年9月9日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和3年度後期高齢者医療特別会計予算執行の概要について

後期高齢者医療制度の運営は、県内の全市町村が加入する茨城県後期高齢者医療広域連合が保険料の算定や賦課、被保険者の資格管理、給付等の審査支払いを行い、市は保険料徴収、被保険者証の交付及び各種申請や届出の受付事務を行っています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる方に対して後期高齢者医療保険料の減免を行うとともに、安定した財源を確保するため、収納率の向上に努めました。

医療給付の財源は、公費（国・県・市町村の定率負担等）、現役世代が負担する後期高齢者支援金、被保険者からの保険料によって賄われています。

- 対 象 者      ①75歳以上の方  
                  ②一定の障害がある65歳以上75歳未満の方
- 医療費の負担      原則として1割（現役並み所得者は3割負担）
- 保 険 料      茨城県後期高齢者医療広域連合が決定し、県内は同一の保険料率となり、財政均衡を保つため2年毎に設定される。
- 被 保 険 者 数      23,078人（令和4年3月31日現在） 前年度比890人増

令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入総額は2,236,979千円、歳出総額は2,229,355千円となりました。

決算規模	歳 入 総 額	2,236,979千円
	歳 出 総 額	2,229,355千円
	歳入歳出差引額	7,624千円

以上、令和3年度つくば市後期高齢者医療特別会計決算の概要ですが、主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率							
01	01	01	01	後期高齢者医療	2,195,676		112,704	2,308,380	2,261,648	2,236,979	96.9							
				後期高齢者医療保険料	1,797,121		100,026	1,897,147	1,851,684	1,827,015	96.3							
				後期高齢者医療保険料	1,797,121		100,026	1,897,147	1,851,684	1,827,015	96.3							
				特別徴収保険料	864,898		48,390	913,288	875,497	880,449	96.4							
				01	01	01	現年度分特別徴収保険料	864,898		48,390	913,288	875,497	880,449	96.4				
							前年度	812,343		42,790	855,133	851,532	854,994	100.0				
							比較	52,555		5,600	58,155	23,965	25,455					
				02	01	01	普通徴収保険料	932,223		51,636	983,859	976,187	946,566	96.2				
							前年度	921,513		51,636	973,149	947,826	940,688	96.7				
							比較	866,837		45,660	912,497	909,146	900,144	98.6				
				02	02	01	滞納繰越分普通徴収保険料	10,710			10,710	28,361	5,878	54.9				
							前年度	9,435			9,435	33,717	9,751	103.3				
							比較	1,275			1,275	△5,356	△3,873					
02	01	01	01	使用料及び手数料	100			100	52	52	52.0							
				手数料	100			100	52	52	52.0							
				督促手数料	100			100	52	52	52.0							
				01	01	01	督促手数料	100			100	52	52	52.0				
							前年度	400			400	312	312	78.0				
比較	△300			△300	△260	△260												
03	01	01	01	繰入金	392,318		7,971	400,289	400,288	400,288	100.0							
				他会計繰入金	392,318		7,971	400,289	400,288	400,288	100.0							
				01	01	01	一般会計繰入金	392,318		7,971	400,289	400,288	400,288	100.0				
							前年度	69,467			69,467	69,467	69,467	100.0				
				比較	67,116		110	67,226	67,226	67,226	100.0							
				2,351		△110	2,241	2,241	2,241									
02	01	01	01	保険基盤安定繰入金	322,851		7,971	330,822	330,821	330,821	100.0							
				前年度	268,856		55,733	324,589	324,588	324,588	100.0							
				比較	53,995		△47,762	6,233	6,233	6,233								
04	01	01	01	繰越金	1		4,707	4,708	4,708	4,708	100.0							
				繰越金	1		4,707	4,708	4,708	4,708	100.0							
				繰越金	1		4,707	4,708	4,708	4,708	100.0							
				01	01	01	繰越金	1		4,707	4,708	4,708	4,708	100.0				
							前年度	1		8,641	8,642	8,641	8,641	100.0				
比較			△3,934	△3,934	△3,933	△3,933												
05	01	01	01	諸収入	6,136			6,136	4,916	4,916	80.1							
				01	01	01	延滞金、加算金及び過料	500			500	105	105	21.0				
							延滞金、加算金及び過料	500			500	105	105	21.0				
				01	01	01	延滞金	500			500	105	105	21.0				
							前年度	500			500	386	386	77.2				
				比較					△281	△281								
				02	01	01	01	雑入	1			1						
								雑入	1			1						
								01	01	01	雑入	1			1			44400.0
											前年度	1			1	444	444	
				比較					△444	△444								
03	01	01	01	償還金及び還付加算金	5,635			5,635	4,811	4,811	85.4							
				01	01	01	保険料還付金	5,500			5,500	4,807	4,807	87.4				
							保険料還付金	5,500			5,500	4,807	4,807	87.4				
				前年度	5,000		1,553	6,553	5,075	5,075	77.4							
				比較	500		△1,553	△1,053	△268	△268								
				02	01	01	01	還付加算金	135			135	4	4	3.0			
還付加算金	135							135	4	4	3.0							
前年度	135							135	16	16	11.9							
比較					△12	△12												

事業名：後期高齢者医療事務に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	20,706			166	20,872		20,460	98.0
				前年	18,687				18,687		17,858	95.6
				比較	2,019			166	2,185		2,602	-
【参考】前々年度					18,114				18,114		17,452	96.3

節別支出済額(単位:千円)

報酬	5,486	職員手当等	573	旅費	421	需用費	486
役務費	10,690	委託料	2,706	使用料及び賃借料	100		

概要及び成果

1 後期高齢者医療事務

各種申請書の受付、被保険者証等の交付及び納入通知書発行等による収納事務の執行

【成果】

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
被保険者数	人	23,078	22,188	21,882	21,221	20,337

(1) 資格関係の主な申請等件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
資格取得・変更・喪失※	件	348	347	371	-	-
限度額適用認定	件	314	494	506	-	-
標準負担額減額認定	件	638	1,029	1,122	-	-
特定疾病認定	件	57	55	51	-	-
基準収入額適用	件	137	193	236	-	-
被保険者証等再交付	件	593	681	807	-	-

(2) 給付関係の主な申請等件数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
療養費	件	575	460	494	-	-
高額療養費	件	1,390	1,272	1,350	-	-
高額介護合算療養費	件	1,269	1,681	684	-	-
葬祭費	件	1,389	1,273	1,280	-	-
第三者による被害等	件	35	29	57	-	-

※資格取得・変更・喪失は年齢到達・更新・死亡を含まない。



事業名：後期高齢者医療広域連合納付金事務に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	2,120,473		108,088		2,228,561		2,157,113	96.8
				前年	1,957,972		144,183		2,102,155		2,092,779	99.6
				比較	162,501		△ 36,095		126,406		64,334	-
【参考】前々年度				1,783,728		43,242		1,826,970		1,820,140	99.6	

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	2,157,113
------------	-----------

概要及び成果

1 後期高齢者医療広域連合納付金事務

被保険者が納付した後期高齢者医療保険料及び低所得者に係る保険基盤安定負担金（軽減相当額）を茨城県後期高齢者医療広域連合へ納入する。

【成果】

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
保険料負担金	千円	1,826,109	1,767,958	1,551,043	1,425,602	1,271,957
保険基盤安定負担金※	千円	330,822	324,589	268,856	285,291	276,682
延滞金分負担金	千円	93	233	241	247	141
後期高齢者医療負担金(過年度精算分)	千円	91	0	0	18,767	3,520

(1) 保険料の収納状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
現年度分	%	99.24	99.39	99.12	99.10	99.00
滞納繰越分	%	20.73	28.84	29.96	36.70	19.23

(2) 納付方法別の収納割合

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
特別徴収(構成比)	%	48.01	48.60	65.32	65.77	66.97
口座振替(構成比)	%	28.02	26.69	10.71	10.22	9.42
口座振替(収納率)	%	98.65	98.62	98.41	98.52	98.87
自主納付(構成比)	%	23.97	24.71	23.97	24.01	23.61
自主納付(収納率)	%	99.92	96.53	95.21	95.20	95.18

(3) 徴収員による訪問等の状況

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
訪問	件	1,142	1,105	829	577	-
徴収	件	249	222	312	183	-

※保険基盤安定負担金の負担割合は県3/4・市1/4。

事業名：保険料返還に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	5,500				5,500		5,434	98.8
				前年	5,000		1,553		6,553		5,028	76.7
				比較	500		△ 1,553		△ 1,053		406	-
【参考】前々年度					5,000				5,000		4,048	81.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利息及び割引料					5,434							
概要及び成果												
1 保険料返還事務 後期高齢者医療被保険者の資格異動(死亡等)や二重納付により保険料、延滞金又は督促手数料に過誤納金が生じた際に、被保険者又は相続権者にその過誤納金を返還する。												
【成果】												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
還付件数					件	517	569	488	304	437		
還付金額					千円	5,434	5,028	4,000	2,877	3,965		

事業名：還付加算金に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	135				135		17	12.5
				前年	135				135		22	16.4
				比較							△ 5	-
【参考】前々年度					135				135		20	14.6
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利息及び割引料					17							
概要及び成果												
1 還付加算金に要する経費 後期高齢者医療保険料の過誤納金に生じた加算金を、保険料に付加し還付する。												
【成果】												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
還付件数					件	6	11	10	16	35		
還付金額					千円	17	23	20	37	96		

事業名：一般会計繰出金に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	11	本年	1		4,616		4,617		4,617	100.0
				前年	1		8,641		8,642		8,642	100.0
				比較			△ 4,025		△ 4,025		△ 4,025	-
【参考】前々年度					1		11,752		11,753		11,753	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金					4,617							
概要及び成果												
1 一般会計繰出金に要する経費 後期高齢者医療特別会計の前年度繰越金を一般会計へ繰り出す。												
【成果】												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
繰出金					千円	4,617	8,642	11,753	8,937	9,997		

事業名：予備費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	11	本年	5,000				5,000			
				前年	5,000				5,000			
				比較								-
【参考】前々年度					5,000				5,000			

概要及び成果

- 1 予備費  
後期高齢者医療制度の予測しがたい支出の増加に備える。

【成果】

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
予備費	千円	0	0	0	3,679	0



# 作岡財産区特別会計



主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和3年度つくば市作岡財産区特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和4年9月9日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和3年度つくば市作岡財産区特別会計予算執行の概要について

令和3年度決算につきましては、歳入総額75千円、歳出総額1千円であり、歳入歳出差引額は、74千円となりました。

主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。



令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
				作岡財産区	114			114	74	74	64.9
01				財産収入	1			1			
	01			財産運用収入	1			1			
		01		利子及び配当金	1			1			
			01	利子及び配当金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1			1			
				比較							
02				繰越金	74			74	74	74	100.0
	01			繰越金	74			74	74	74	100.0
		01		繰越金	74			74	74	74	100.0
			01	繰越金	74			74	74	74	100.0
				本年度	74			74	74	74	100.0
				前年度	69			69	76	76	110.1
				比較	5			5	△2	△2	
03				繰入金	39			39			
	01			基金繰入金	39			39			
		01		基金繰入金	39			39			
			01	基金繰入金	39			39			
				本年度	39			39			
				前年度	44			44			
				比較	△5			△5			

事業名：財産区管理に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	103				103		1	0.8
				前年	103				103		1	0.8
				比較								-
【参考】前々年度					103				103		43	41.7
節別支出済額(単位:千円)												
役務費					1							
概要及び成果												
1 作岡財産区管理事務 次年度予算案及び決算報告の作成、土地使用貸借契約の調整等を行う。 また、作岡財産区管理会を開催し、決算及び予算等について審議する。 <b>【成果】</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により、管理会を招集することが困難な状況であったが、書面評決によって、決算及び予算等について管理会の同意を得ることができ、滞りなく執行できた。												

事業名：作岡財産区基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	1				1			5.0
				前年	1				1		1	100.0
				比較							△1	-
【参考】前々年度					1				1		1	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					0							
概要及び成果												
1 作岡財産区基金への積立て <b>【成果】</b> (1) 預金利子50円を積み立てた。 (2) 令和3年度末基金残高は、2,618,633円。												

事業名：予備費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	10				10			
				前年	10				10			
				比較								-
【参考】前々年度					10				10			
概要及び成果												
1 必要が生じた事業への充用 <b>【成果】</b> 予備費の充用は生じなかった。												

# つくば市等公平委員会特別会計



主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和3年度つくば市等公平委員会特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和4年9月9日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和3年度つくば市等公平委員会特別会計予算執行の概要について

令和3年度決算につきましては、歳入総額1,816千円、歳出総額1,144千円であり、歳入歳出差引額は、672千円となりました。

主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

令和3年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
				公平委員会	1,041		819	1,860	1,816	1,816	97.6
01				分担金及び負担金	811			811	812	812	100.1
	01			負担金	811			811	812	812	100.1
		01		総務費負担金	811			811	812	812	100.1
			01	総務管理費負担金	811			811	812	812	100.1
				本年度	811			811	812	812	100.1
				前年度	819		213	1,032	1,032	1,032	100.0
				比較	△8		△213	△221	△220	△220	
02				財産収入	1			1			
	01			財産運用収入	1			1			
		01		利子及び配当金	1			1			
			01	利子及び配当金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1			1			
				比較							
03				繰入金	43			43			
	01			基金繰入金	43			43			
		01		公平委員会基金繰入金	43			43			
			01	公平委員会基金繰入金	43			43			
				本年度	43			43			
				前年度	40			40			
				比較	3			3			
04				繰越金	185		819	1,004	1,004	1,004	100.0
	01			繰越金	185		819	1,004	1,004	1,004	100.0
		01		繰越金	185		819	1,004	1,004	1,004	100.0
			01	前年度繰越金	185		819	1,004	1,004	1,004	100.0
				本年度	185		128	313	313	313	100.0
				前年度	185						
				比較			691	691	691	691	
05				諸収入	1			1			
	01			預金利子	1			1			
		01		預金利子	1			1			
			01	預金利子	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1			1			
				比較							

事業名：公平委員会に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
01	01	01	11	本年	1,006		819		1,825		1,144	62.7		
				前年	1,011		341		1,352		341	25.2		
				比較	△ 5		478		473		803	-		
【参考】前々年度					1,010		253		1,263		919	72.7		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					105	旅費		22	需用費		56	役務費		2
備品購入費					12	負担金補助及び交付金		128	積立金		820			
概要及び成果														
<p>1 職員の勤務条件に関する措置要求の審査及び不利益処分についての審査請求の審査並びに職員の苦情処理 【成果】 措置要求 0件、 審査請求 0件、 苦情相談 2件</p>														
<p>2 会議の開催 【成果】 管理職員等の範囲を定める規則の一部改正等を行い、公平公正な活動ができる環境を整備することができた。 つくば市等公平委員会（委員3名）を2回開催 つくば市等公平委員会共同設置団体担当者会議を0回開催</p>														
<p>3 総会等への公平委員会委員の参加 【成果】 全国及び県内の公平委員会連合会業務に寄与することができた。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面にて開催 全国公平委員会連合会通常総会（令和3年11月） 全国公平委員会連合会関東支部定期総会（令和3年6月） 茨城県公平委員会連合会定期総会（令和3年5月） 研究会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止</p>														

事業名：予備費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	35				35			
				前年	35				35			
				比較								-
【参考】前々年度					35				35			
概要及び成果												
<p>1 予備費 予想し難い支出の増加が生じた場合に充用する。 【成果】 令和3年度の充用なし。</p>												



# 介護保険事業特別会計



主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和3年度つくば市介護保険事業特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和4年9月9日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和3年度つくば市介護保険事業特別会計予算執行の概要について

介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支えあう仕組みとして2000年に創設され、支援の必要な高齢者に対するサービスを提供する制度として定着してきました。

今後、高齢化の進展に伴い、要介護高齢者や認知症高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズがますます増大する中、医療や介護が必要な状態になっても、できるだけ住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、高齢者の自立支援と重度化防止に向けた保険者機能の強化、地域共生社会の実現に向けた取組、医療と介護の連携の推進など、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組を進めています。

令和3年度は、介護予防と孤立の防止に資する地域の憩いの場を提供する団体への助成の拡充、地域ごとの協議体で話し合いながら、高齢者の集いの場の設置やごみ出し支援など地域の支えあいを充実するなど、第8期高齢者福祉計画の推進に取り組みました。

また、公費による所得の低い高齢者の介護保険料の軽減強化や新型コロナウイルス感染症の影響による減免を引き続き行うとともに、安定した財源を確保するため、収納率の向上に努めました。

このような状況の中で運営された、令和3年度つくば市介護保険事業特別会計決算は以下のとおりとなり、歳入歳出差引額548,203千円は、令和4年度つくば市介護保険事業特別会計に繰越しいたします。

決算規模	歳入総額	14,352,426千円
	歳出総額	13,804,223千円
	歳入歳出差引額	548,203千円

以上、令和3年度つくば市介護保険事業特別会計決算の概要ですが、主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

令和3年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
				介護保険	14,431,123		359,786	14,790,909	14,499,604	14,352,426	97.0
01				保険料	3,539,649			3,539,649	3,700,545	3,554,110	100.4
	01			介護保険料	3,539,649			3,539,649	3,700,545	3,554,110	100.4
		01		第1号被保険者保険料	3,539,649			3,539,649	3,700,545	3,554,110	100.4
			01	現年度分特別徴収 保険料	本年度 3,239,108 前年度 3,171,479 比較 67,629			3,239,108 3,115,844 123,264	3,172,726 3,118,591 54,135	3,178,250 3,124,288 53,962	98.1 100.3
			02	現年度分普通徴収 保険料	本年度 280,144 前年度 302,632 比較 △22,488			280,144 296,540 △16,396	386,082 374,402 11,680	350,459 335,647 14,812	125.1 113.2
			03	滞納繰越分普通徴 収保険料	本年度 20,397 前年度 18,180 比較 2,217			20,397 18,180 2,217	141,736 142,752 △1,016	25,401 23,644 1,757	124.5 130.1
02				使用料及び手数料	400			400	216	216	54.0
	01			手数料	400			400	216	216	54.0
		01		督促手数料	400			400	215	215	53.8
			01	督促手数料	本年度 400 前年度 400 比較			400 400	215 420 △205	215 420 △205	53.8 105.0
			02	総務手数料					1	1	
			01	総務手数料	本年度 前年度 比較				1 1	1 1	
03				国庫支出金	2,965,832		△8,808	2,957,024	2,765,847	2,765,847	93.5
	01			国庫負担金	2,445,716			2,445,716	2,364,381	2,364,381	96.7
		01		介護給付費負担金	2,445,716			2,445,716	2,364,381	2,364,381	96.7
			01	現年度分	本年度 2,445,716 前年度 2,334,793 比較 110,923			2,445,716 2,334,793 110,923	2,364,381 2,301,486 62,895	2,364,381 2,301,486 62,895	96.7 98.6
			02	国庫補助金	520,116		△8,808	511,308	401,467	401,467	78.5
		01		調整交付金	275,566			275,566	160,129	160,129	58.1
			01	現年度分調整交付 金	本年度 275,566 前年度 278,631 比較 △3,065			275,566 278,701 △3,135	160,129 228,720 △68,591	160,129 228,720 △68,591	58.1 82.1
			02	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	57,840			57,840	61,227	61,227	105.9
			01	現年度	本年度 57,840 前年度 67,497 比較 △9,657			57,840 68,166 △10,326	61,227 72,394 △11,167	61,227 72,394 △11,167	105.9 106.2
			03	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	145,910		△8,808	137,102	139,817	139,817	102.0
			01	現年度	本年度 145,910 前年度 146,483 比較 △573			137,102 142,637 △4,962	139,817 138,844 973	139,817 138,844 973	102.0 97.3
			04	介護保険災害臨時特例補助金	711			711	427	427	60.1
			01	介護保険災害臨時 特例補助金	本年度 711 前年度 957 比較 △246			711 957 △246	427 613 △186	427 613 △186	60.1 64.1
			05	保険者機能強化推進交付金	23,776			23,776	23,438	23,438	98.6
			01	保険者機能強化推 進交付金	本年度 23,776 前年度 28,369 比較 △4,593			23,776 28,369 △4,593	23,438 23,776 △338	23,438 23,776 △338	98.6 83.8
			06	介護保険保険者努力支援交付金	16,313			16,313	15,878	15,878	97.3
			01	介護保険保険者努 力支援交付金	本年度 16,313 前年度 前年度 比較 16,313			16,313 前年度 16,313	15,878 16,313 △435	15,878 16,313 △435	97.3
			07	介護保険事業費補助金					456	456	
			01	介護保険事業費補 助金	本年度 前年度 比較 1,849			1,849 1,849 △1,849	1,849 1,849 △1,393	1,849 1,849 △1,393	100.0
			08	災害等臨時特例補助金					94	94	
			01	災害等臨時特例補 助金	本年度 前年度 比較 16,313			前年度 前年度 16,313	94 481 △387	94 481 △387	
04				支払基金交付金	3,705,740		3,016	3,708,756	3,497,358	3,497,358	94.3
	01			支払基金交付金	3,705,740		3,016	3,708,756	3,497,358	3,497,358	94.3
		01		介護給付費交付金	3,627,656		3,016	3,630,672	3,430,584	3,430,584	94.5
			01	現年度分	本年度 3,627,656 前年度 3,466,165 比較 161,491			3,627,656 3,466,165 161,491	3,427,568 3,374,093 53,475	3,427,568 3,374,093 53,475	94.5 97.3

令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
04	01	02	過年度分	本年度			3,016	3,016	3,016	3,016	100.0		
				前年度			13,482	13,482	13,482	13,482	100.0		
				比較			△10,466	△10,466	△10,467	△10,467			
			02	地域支援事業支援交付金	本年度	78,084			78,084	66,774	66,774	85.5	
					前年度	78,084			78,084	66,774	66,774	85.5	
					比較	91,120		903	92,023	75,936	75,936	82.5	
			×	過年度分	本年度				2,421	2,421	2,421	2,421	100.0
					前年度				2,421	2,421	2,421	2,421	100.0
					比較				△2,421	△2,421	△2,421	△2,421	
			05	01	01	県支出金	2,030,011		△4,404	2,025,607	1,970,018	1,970,018	97.3
県負担金	1,920,906						1,920,906	1,863,959	1,863,959	97.0			
介護給付費負担金	1,920,906						1,920,906	1,863,959	1,863,959	97.0			
01	現年度分	本年度				1,920,906			1,920,906	1,863,959	1,863,959	97.0	
		前年度				1,837,443			1,837,443	1,818,668	1,818,668	99.0	
		比較				83,463			83,463	45,291	45,291		
02	県補助金	本年度				109,105		△4,404	104,701	106,059	106,059	101.3	
		前年度				36,150			36,150	36,151	36,151	100.0	
		比較				42,185		417	42,602	42,187	42,187	99.0	
01	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	本年度				36,150			36,150	36,151	36,151	100.0	
		前年度				42,185			42,602	42,187	42,187	99.0	
		比較				△6,035		△417	△6,452	△6,036	△6,036		
02	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	本年度				72,955		△4,404	68,551	69,909	69,909	102.0	
		前年度				72,955		△4,404	68,551	69,909	69,909	102.0	
		比較	73,241		△1,923	71,318	69,422	69,422	97.3				
06	01	01	財産収入	135		8	143	143	143	100.0			
			財産運用収入	135		8	143	143	143	100.0			
			利子及び配当金	135		8	143	143	143	100.0			
			01	利子及び配当金	本年度	135		8	143	143	143	100.0	
					前年度	120		△38	82	81	81	98.8	
					比較	15		46	61	62	62		
			07	01	01	繰入金	2,185,373		△5,514	2,179,859	2,179,859	2,179,859	100.0
						一般会計繰入金	2,185,373		△5,514	2,179,859	2,179,859	2,179,859	100.0
						介護給付費繰入金	1,679,470			1,679,470	1,679,470	1,679,470	100.0
						01	現年度分	本年度	1,679,470			1,679,470	1,679,470
前年度	1,604,707								1,604,707	1,604,707	1,604,707	100.0	
比較	74,763								74,763	74,763	74,763		
02	その他一般会計繰入金	本年度				247,308		△1,110	246,198	246,198	246,198	100.0	
		前年度				112,822		△1,110	111,712	111,712	111,712	100.0	
		比較				115,386		△4,852	110,534	110,534	110,534	100.0	
02	職員給与と費等繰入金	本年度				134,486			134,486	134,486	134,486	100.0	
		前年度				132,267		1,851	134,118	134,118	134,118	100.0	
		比較				2,219		△1,851	368	368	368		
×	指定介護予防支援職員関係経費繰入金	本年度											
		前年度				7,543		△117	7,426	7,426	7,426	100.0	
		比較	△7,543		117	△7,426	△7,426	△7,426					
03	地域支援事業繰入金(介護予防・日常生活支援総合事業)	本年度	36,152			36,152	36,152	36,152	100.0				
		前年度	42,185			42,602	42,602	42,602	100.0				
		比較	△6,033		△417	△6,450	△6,450	△6,450					
04	地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)	本年度	72,955		△4,404	68,551	68,551	68,551	100.0				
		前年度	72,955		△4,404	68,551	68,551	68,551	100.0				
		比較	73,241		△1,923	71,318	71,318	71,318	100.0				
05	低所得者保険料軽減繰入金	本年度	149,488			149,488	149,488	149,488	100.0				
		前年度	149,488			149,488	149,488	149,488	100.0				
		比較	83,316		61,727	145,043	145,043	145,043	100.0				
×	基金繰入金	本年度											
		前年度											
		比較	66,172		△61,727	4,445	4,445	4,445					
×	介護給付費準備基金繰入金	本年度											
		前年度											
		比較				1,477	1,477	1,477	100.0				
×	介護給付費準備基金繰入金	本年度											
		前年度											
		比較				△1,477	△1,477	△1,477					

令和3年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
08				繰越金	1		375,488	375,489	375,490	375,490	100.0
	01			繰越金	1		375,488	375,489	375,490	375,490	100.0
		01		繰越金	1		375,488	375,489	375,490	375,490	100.0
			01	繰越金	本年度	1	375,488	375,489	375,490	375,490	100.0
					前年度	1	309,246	309,247	309,247	309,247	100.0
					比較		66,242	66,242	66,243	66,243	
09				諸収入	3,121			3,121	10,072	9,329	298.9
	01			雑入	2,668			2,668	9,104	8,361	313.4
		01		第三者納付金	1			1	6,439	6,439	643,900.0
			01	第三者納付金	本年度	1		1	6,439	6,439	643,900.0
					前年度	1		1	13,072	13,072	1,307,200.0
					比較				△6,633	△6,633	
		02		雑入	2,666			2,666	2,664	1,921	72.1
			01	雑入	本年度	74		74	1,290	547	739.2
					前年度	101		101	1,689	586	580.2
					比較	△27		△27	△399	△39	
			02	一般介護予防事業参加費	本年度	2,592		2,592	1,374	1,374	53.0
					前年度	2,980		2,980	1,234	1,234	41.4
					比較	△388		△388	140	140	
		03		成年後見申立費用	1			1			
			01	成年後見申立費用納付金	本年度	1		1			
					前年度	1		1	58	58	5,800.0
					比較				△58	△58	
	02			延滞金、加算金及び過料	453			453	969	969	213.9
		01		第1号被保険者延滞金	453			453	969	969	213.9
			01	第1号被保険者延滞金	本年度	453		453	969	969	213.9
					前年度	453		453	807	807	178.1
					比較				162	162	
10				介護サービス収入	861			861	56	56	6.5
	01			介護予防支援費収入	861			861	56	56	6.5
		01		介護予防支援費収入	861			861	56	56	6.5
			01	現年度分	本年度	861		861	56	56	6.5
					前年度	10,730		3,753	5,033	5,033	134.1
					比較	△9,869		△6,977	△4,977	△4,977	

事業名：介護保険事務に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
01	01	01	11	本年	30,452				30,452		27,293	89.6			
				前年	17,168		950		18,118		15,460	85.3			
				比較	13,284		△ 950		12,334		11,833	-			
【参考】前々年度					18,465		222		18,687		17,109	91.6			
節別支出済額(単位:千円)															
報酬					12,470	職員手当等			1,456	旅費		768	需用費		1,053
役務費					11,447	委託料			99						
概要及び成果															
<p>1 介護保険事務 介護保険事務事業を円滑に行う経費及び国・県・支払基金・一般会計繰出金等の運営予算の執行、事業所を紹介するサービスマップの作成</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の介護事業所の一覧を掲載した冊子（つくば市在宅医療と介護のサービスマップ）を作成し、窓口等での配布を行った。</li> <li>・介護保険事業を円滑に行うための事務を実施し、高齢者の暮らしを支えることができた。</li> </ul>															

事業名：資格管理に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																										
01	01	01	12	本年	459				459		439	95.7																																										
				前年	595				595		542	91.1																																										
				比較	△ 136				△ 136		△ 103	-																																										
【参考】前々年度					752				752		724	96.3																																										
節別支出済額(単位:千円)																																																						
需用費					439																																																	
概要及び成果																																																						
<p>1 被保険者資格管理事業 介護保険資格管理システムで住基異動による転入者の確認と一括処理による65歳到達者の把握を行い、資格取得者に対して被保険者証を送付する。 住所地特例施設への入所者を把握し市町村間の資格処理業務を行う。</p> <p>【成果】 資格取得者や資格喪失者、住所地特例制度該当者の資格管理を適正に実施できた。</p> <p>被保険者の資格取得に伴う被保険者証の発行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転入、65歳到達者への新規被保険者証交付</td> <td>人</td> <td>2,518</td> <td>2,687</td> <td>2,760</td> <td>2,584</td> <td>2,744</td> </tr> <tr> <td>転居、紛失等による被保険者証交付・再交付等</td> <td>人</td> <td>408</td> <td>308</td> <td>279</td> <td>237</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td>被保険者証の要介護認定交付</td> <td>人</td> <td>7,237</td> <td>5,126</td> <td>6,483</td> <td>5,923</td> <td>6,470</td> </tr> </tbody> </table> <p>住所地特例被保険者台帳の管理（市町村及び事業所からの各種異動連絡票処理）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住所地特例施設入・退所連絡票</td> <td>人</td> <td>480</td> <td>421</td> <td>497</td> <td>643</td> <td>635</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	転入、65歳到達者への新規被保険者証交付	人	2,518	2,687	2,760	2,584	2,744	転居、紛失等による被保険者証交付・再交付等	人	408	308	279	237	258	被保険者証の要介護認定交付	人	7,237	5,126	6,483	5,923	6,470		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	住所地特例施設入・退所連絡票	人	480	421	497	643	635
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																
転入、65歳到達者への新規被保険者証交付	人	2,518	2,687	2,760	2,584	2,744																																																
転居、紛失等による被保険者証交付・再交付等	人	408	308	279	237	258																																																
被保険者証の要介護認定交付	人	7,237	5,126	6,483	5,923	6,470																																																
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																
住所地特例施設入・退所連絡票	人	480	421	497	643	635																																																



事業名：介護台帳システムに要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	13	本年	913				913		912	99.9
				前年	921		2,750		3,671		3,118	84.9
				比較	△ 8		△ 2,750		△ 2,758		△ 2,206	-
【参考】前々年度					1,283				1,283		1,135	88.5
節別支出済額(単位:千円)												
使用料及び賃借料					912							
概要及び成果												
<p>1 介護台帳システムに関する事業                      介護サービス事業者の新規指定や変更届出に伴う事業所の基本情報や、人員基準・介護報酬体制などに関する項目を、茨城県及び県内市町村共通の電子データとして連携、共有し使用している。                      情報管理を安定して行うために令和元年度からシステムの5年間の保守付きリースを行い、また、介護報酬改定等の制度変更に対応するため、システム改修を行う。</p> <p>【成果】                      介護サービス事業者の情報管理を安定して行うことができた。</p>												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
賃借料					千円	912	912	912	-	-		
委託料(システム改修費)					千円	-	2,200	-	-	-		

事業名： 賦課徴収に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	01	11	本年	12,696				12,696		11,246	88.6
				前年	14,670				14,670		13,565	92.5
				比較	△ 1,974				△ 1,974		△ 2,319	-
【参考】前々年度					13,323		1,429		14,752		14,272	96.7

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,146	職員手当等	415	旅費	166	需用費	592
役務費	1,037	負担金補助及び交付金	100	償還金利子及び割引料	5,789		

概要及び成果

- 1 介護保険料賦課徴収事業  
 被保険者の所得等を把握し、保険料を賦課する。  
 保険料の収納方法（特別徴収・普通徴収）を管理する。  
 普通徴収者が納付方法（口座振替・コンビニ納付等）を選択できるような環境を整備する。  
 未納者に対する滞納整理事務を行う。

【成果】

法令、条例に基づいた賦課と保険料還付を適正に実施できた。

介護保険料の賦課を適正に行うために所得を調査し、賦課決定後は納付書を送付

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
所得照会件数	件	1,462	1,382	1,576	1,578	1,615
介護保険料納付書発送件数	件	11,045	10,588	9,935	9,782	10,601

介護保険料の収納率向上のための口座振替の推進

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
口座振替依頼件数	件	6,034	5,714	5,320	5,054	5,177

介護保険料滞納者に対する徴収

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
従事職員数	人	339	447	349	378	468
滞納整理件数	件	534	537	1,593	1,327	420
電話発信数	発信	1,879	1,831	1,582	1,656	1,398
収納額	円	39,036,200	33,135,100	29,130,300	18,060,825	9,929,700

事業名：介護認定審査会に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
01	03	01	11	本年	60,871				60,871		41,759	68.6																					
				前年	63,927				63,927		41,231	64.5																					
				比較	△ 3,056				△ 3,056		528	-																					
【参考】前々年度					62,105				62,105		57,562	92.7																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
		報酬		14,460	旅費		1,446	需用費		1,014	役務費	22,990																					
		委託料		869	使用料及び賃借料		981																										
概要及び成果																																	
<p>1 介護認定審査会事業 申請受付事務や医師意見書等の必要書類の入手を行い、介護認定区分を判定する審査会の運営全般を行う。審査会委員（合議体8、委員定数5名、委員数40名）の資質の向上のため必要な研修を行う。</p> <p>【成果】 令和3年10月31日に認定有効期間の満了を迎える被保険者までで認定期間の延長措置を原則終了したため、審査件数は昨年より増加している。 審査会の簡素を実施しており、審査会委員の負担軽減が図られた。</p> <p>審査会の実施 委員40名 報酬 1回当たり20,000円 費用弁償 1回当たり2,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査会開催回数</td> <td>回</td> <td>151</td> <td>135</td> <td>184</td> <td>188</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>審査会処理件数</td> <td>件</td> <td>4,163</td> <td>3,718</td> <td>6,483</td> <td>5,923</td> <td>6,470</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和3年度審査会処理件数：4,163件の内訳（新規：1,581件 更新：1,717件 区分変更：865件）</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	審査会開催回数	回	151	135	184	188	188	審査会処理件数	件	4,163	3,718	6,483	5,923	6,470
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
審査会開催回数	回	151	135	184	188	188																											
審査会処理件数	件	4,163	3,718	6,483	5,923	6,470																											

事業名：認定調査等に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
01	03	02	11	本年	37,014				37,014		27,578	74.5														
				前年	42,605				42,605		31,369	73.6														
				比較	△ 5,591				△ 5,591		△ 3,791	-														
【参考】前々年度					39,230		1,322		40,552		34,959	86.2														
節別支出済額(単位:千円)																										
		報酬		20,565	職員手当等		2,413	旅費		797	需用費	104														
		役務費		327	委託料		3,372																			
概要及び成果																										
<p>1 介護認定調査事業 介護認定調査員（会計年度任用職員）の雇用、指定居宅介護支援事業所への委託により、認定調査を実施する。</p> <p>【成果】 職員及び認定調査員による調査、委託（54者）による調査を実施し認定審査会につながることができた。 認定調査件数 4,579件（うち市職員調査3,805件 83.1% 委託調査774件 16.9%） 調査員の県主催新規・現任研修等への参加、また、日々調査票の点検等を行い、正確な審査会資料の作成に努めた。 認定期間の延長を実施したことにより認定調査件数（委託調査件数）が減少していたが、令和3年10月31日に認定有効期間の満了を迎える被保険者までで認定期間の延長措置は原則終了した。</p> <p>認定調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定調査件数</td> <td>件</td> <td>4,579</td> <td>3,523</td> <td>6,409</td> <td>5,927</td> <td>6,329</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	認定調査件数	件	4,579	3,523	6,409	5,927	6,329
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
認定調査件数	件	4,579	3,523	6,409	5,927	6,329																				

事業名：居宅介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	01	01	11	本年	5,184,448				5,184,448		5,031,002	97.0														
				前年	4,981,527				4,981,527		4,966,690	99.7														
				比較	202,921				202,921		64,312	-														
【参考】前々年度				4,858,576				4,858,576		4,839,460	99.6															
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					5,031,002																					
概要及び成果																										
<p>1 居宅介護サービス給付事業 要介護認定者がケアプランに基づき訪問介護や通所介護等の居宅サービスを利用した場合に、給付費を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護認定者が居宅での生活を継続するためのサービスとして、訪問介護や通所介護、通所リハビリテーションなどのサービスを提供した。</li> <li>・ケアプラン点検とともに、サービス提供事業所への介護報酬請求事務に係る助言指導を実施した。</li> </ul> <p>サービス給付を受けた受給者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>47,696</td> <td>47,064</td> <td>46,101</td> <td>44,924</td> <td>42,486</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	受給者数	人	47,696	47,064	46,101	44,924	42,486
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
受給者数	人	47,696	47,064	46,101	44,924	42,486																				

事業名：特例居宅介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度				1				1				
概要及び成果												
<p>1 特例居宅介護サービス給付事業 緊急その他やむを得ない理由により、要介護認定の申請前に指定居宅サービス等を受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 特例居宅介護サービス給付費の請求はなかった。</p>												

事業名：施設介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	01	03	11	本年	4,219,743				4,219,743		3,949,597	93.6														
				前年	4,081,891				4,081,891		3,993,666	97.8														
				比較	137,852				137,852		△ 44,069	-														
【参考】前々年度				3,971,238			△ 2,697	3,968,541		3,905,076	98.4															
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金		3,949,597																								
概要及び成果																										
<p>1 施設介護サービス給付事業 要介護認定者が必要に応じて介護老人福祉施設や介護老人保健施設等の施設を利用した場合に、給付費を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護認定者が、介護老人福祉施設などの介護保険施設に入所し、施設で生活しながら介護を受けられるようサービスを提供した。</li> <li>・サービス提供事業所への介護報酬請求事務に係る助言指導を、年間を通して実施した。</li> </ul> <p>サービスを受けた受給者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>1,197</td> <td>1,208</td> <td>1,204</td> <td>1,196</td> <td>1,167</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	受給者数	人	1,197	1,208	1,204	1,196	1,167
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
受給者数	人	1,197	1,208	1,204	1,196	1,167																				

事業名：特例施設介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度				1				1				
概要及び成果												
<p>1 特例施設介護サービス給付事業 緊急その他やむを得ない理由により、要介護認定の申請前に指定施設サービス等を受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 特例施設介護サービス給付費の請求はなかった。</p>												

事業名：居宅介護福祉用具購入に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	01	05	11	本年	11,406				11,406		11,146	97.7														
				前年	9,502			2,055	11,557		11,535	99.8														
				比較	1,904			△ 2,055	△ 151		△ 389	-														
【参考】前々年度					11,952				11,952		10,062	84.2														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					11,146																					
概要及び成果																										
<p>1 居宅介護福祉用具購入事業 要介護認定者が必要に応じて福祉用具を購入し、領収書等を添えて申請した場合に、自己負担割合に応じて対象費用の7割から9割を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請書受付後、内容審査、国保連合会への申請情報送付と審査後のデータ受取、支給事務等を行い、受付から償還払いまでの事務を速やかに実施した。</li> <li>福祉用具購入費用の一部を助成することで、日常生活がより快適に送れるよう要介護認定者を支援することができた。</li> </ul> <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>403</td> <td>422</td> <td>389</td> <td>388</td> <td>388</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	403	422	389	388	388
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
支給件数	件	403	422	389	388	388																				

事業名：居宅介護住宅改修に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	01	06	11	本年	26,156				26,156		22,202	84.9														
				前年	26,554			△ 2,055	24,499		21,047	85.9														
				比較	△ 398			2,055	1,657		1,155	-														
【参考】前々年度					25,698				25,698		25,146	97.9														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					22,202																					
概要及び成果																										
<p>1 居宅介護住宅改修事業 要介護認定者が必要に応じて手すりの取り付けや段差解消等の住宅改修を行い、領収書等を添えて申請した場合に、自己負担割合に応じて対象費用の7割から9割を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>居宅で安心して生活を継続できるよう、要介護認定者を支援し生活環境を整えることができた。</li> <li>事前申請の書類の内容審査、事後申請時の内容審査を行い、内容に疑義がある場合や書類のみでの確認が困難な場合は、必要に応じて現場確認を行った。</li> </ul> <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>240</td> <td>226</td> <td>265</td> <td>269</td> <td>270</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	240	226	265	269	270
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
支給件数	件	240	226	265	269	270																				

事業名：居宅介護サービス計画給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	01	07	11	本年	714,679				714,679		670,966	93.9														
				前年	679,987				679,987		655,430	96.4														
				比較	34,692				34,692		15,536	-														
【参考】前々年度					646,254				646,254		636,864	98.5														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					670,966																					
概要及び成果																										
<p>1 居宅介護サービス計画給付事業 要介護被保険者が、都道府県等の指定を受けた指定居宅介護支援事業者から居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等、指定居宅介護支援を受けた場合に行われる保険給付。 本給付は10割給付であり利用者負担はない。</p> <p>【成果】 居宅介護サービスにより要介護被保険者の居宅生活を支援した。</p> <p>サービス給付を受けた受給者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>47,696</td> <td>47,064</td> <td>46,101</td> <td>44,924</td> <td>42,486</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	受給者数	人	47,696	47,064	46,101	44,924	42,486
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
受給者数	人	47,696	47,064	46,101	44,924	42,486																				

事業名：特例居宅介護サービス計画給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
概要及び成果												
<p>1 特例居宅介護サービス計画給付事業 要介護被保険者が、指定居宅介護支援以外の居宅介護支援又はこれに相当するサービス（基準該当介護支援）、又は離島等において相当するサービスを受けた場合について行われる保険給付。</p> <p>【成果】 特例居宅介護サービス計画給付費の請求はなかった。</p>												

事業名：地域密着型介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	01	09	11	本年	2,186,070				2,186,070		1,965,718	89.9														
				前年	1,977,599			△ 6,656	1,970,943		1,884,630	95.6														
				比較	208,471			6,656	215,127		81,088	-														
【参考】前々年度					2,038,786			△ 41,084	1,997,702		1,879,284	94.1														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					1,965,718																					
概要及び成果																										
<p>1 地域密着型介護サービス給付事業 要介護認定者が必要に応じて地域密着型サービスを利用した場合に、給付費を支給する。</p> <p>【成果】 要介護認定者が、地域密着型通所介護や認知症対応型共同生活介護等の地域密着型介護サービスを受けて住み慣れた地域で生活を継続していけるよう支援することができた。</p> <p>サービス給付を受けた受給者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>9,875</td> <td>9,388</td> <td>9,732</td> <td>9,739</td> <td>9,136</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	受給者数	人	9,875	9,388	9,732	9,739	9,136
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
受給者数	人	9,875	9,388	9,732	9,739	9,136																				

事業名：特例地域密着型介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	10	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
概要及び成果												
<p>1 特例地域密着型介護サービス給付事業 つくば市の指定を受けた指定地域密着型サービス事業所から行われる保険給付。「償還払い」の方式で給付する。</p> <p>【成果】 特例地域密着型介護サービス給付費の請求はなかった。</p>												



事業名：高額介護サービスに要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	02	01	11	本年	381,172				381,172		311,536	81.7														
				前年	403,959				403,959		333,416	82.5														
				比較	△ 22,787				△ 22,787		△ 21,880	-														
【参考】前々年度					282,124			36,651	318,775		318,585	99.9														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					311,536																					
概要及び成果																										
<p>1 高額介護サービス事業 要介護認定者が同じ月に利用したサービスの利用者負担の合計額が上限額を超えた場合に、申請により超えた分を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国保連合会提供データからの申請勧奨及び申請受付から償還払いまでの事務を速やかに行った。</li> <li>・利用者負担が高額になった方に、適切な申請勧奨を行い、サービス利用者に費用の一部を助成することで負担を軽減することができた。</li> </ul> <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>23,785</td> <td>23,980</td> <td>23,502</td> <td>19,971</td> <td>19,702</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	23,785	23,980	23,502	19,971	19,702
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
支給件数	件	23,785	23,980	23,502	19,971	19,702																				

事業名：高額介護予防サービスに要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	02	02	11	本年	314				314		137	43.6														
				前年	274				274		225	82.0														
				比較	40				40		△ 88	-														
【参考】前々年度					205				205		194	94.6														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					137																					
概要及び成果																										
<p>1 高額介護予防サービス事業 要介護認定者が同じ月に利用したサービスの利用者負担の合計額が上限額を超えた場合に、申請により超えた分を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国保連合会提供データからの申請勧奨及び申請受付から償還払いまでの事務を速やかに行った。</li> <li>・利用者負担が高額になった方に、適切な申請勧奨を行い、サービス利用者に費用の一部を助成することで負担を軽減することができた。</li> </ul> <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>137</td> <td>157</td> <td>191</td> <td>136</td> <td>199</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	137	157	191	136	199
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
支給件数	件	137	157	191	136	199																				

事業名：高額医療合算介護サービス費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	02	03	11	本年	41,936				41,936		36,666	87.4														
				前年	39,903				39,903		38,271	95.9														
				比較	2,033				2,033		△ 1,605	-														
【参考】前々年度					36,354			1,487	37,841		37,841	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					36,666																					
概要及び成果																										
<p>1 高額医療合算介護サービス事業 要介護認定者が年間（8月から7月）に負担した医療保険と介護保険の利用者負担の合計額が上限額を超えた場合に、申請により超えた分を支給する。</p> <p>【成果】 対象者からの申請に対して実績等を確認しサービス費の支給を行い、利用者の負担軽減を図った。</p> <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>1,281</td> <td>1,244</td> <td>1,176</td> <td>1,063</td> <td>1,048</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	1,281	1,244	1,176	1,063	1,048
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
支給件数	件	1,281	1,244	1,176	1,063	1,048																				

事業名：高額医療合算介護予防サービス費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	02	04	11	本年	256				256		62	24.3														
				前年	256				256		85	33.3														
				比較							△ 23	-														
【参考】前々年度					256			△ 118	138		107	78.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					62																					
概要及び成果																										
<p>1 高額医療合算介護予防サービス事業 要介護者が年間（8月から7月）に負担した医療保険と介護保険の利用者負担の合計額が上限額を超えた場合に、申請により超えた分を支給する。</p> <p>【成果】 対象者からの申請に対して実績等を確認しサービス費の支給を行い、利用者の負担軽減を図った。</p> <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	12	17	16	18	19
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
支給件数	件	12	17	16	18	19																				

事業名： 特定入所者介護サービス費に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	03	01	11	本年	462,486				462,486		394,110	85.2														
				前年	427,922			6,656	434,578		434,578	100.0														
				比較	34,564			△ 6,656	27,908		△ 40,468	-														
【参考】前々年度					424,299				424,299		424,236	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					394,110																					
概要及び成果																										
<p>1 特定入所者介護サービス事業 申請により所得に応じて負担限度額を決定する。 低所得者の負担する食費・居住費がこの負担限度額を超えた場合に、超えた分を支給する。</p> <p><b>【成果】</b> 更新手続きを円滑に進めることで、低所得者の要介護者が介護保険施設等に入所したときやショートステイを利用したときの食費・居住費の利用者負担の軽減を図ることができた。</p> <p>低所得者であるために施設等の利用費の軽減が認められた件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定件数</td> <td>件</td> <td>1,380</td> <td>1,532</td> <td>1,517</td> <td>1,402</td> <td>1,408</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	認定件数	件	1,380	1,532	1,517	1,402	1,408
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
認定件数	件	1,380	1,532	1,517	1,402	1,408																				

事業名： 特例特定入所者介護サービス費に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	02	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
概要及び成果												
<p>1 特例特定入所者介護サービス費に要する経費 低所得者が、緊急その他やむを得ない理由により施設サービスを利用した場合に負担する食費や居住費について、負担限度額を超えた分を支給する。</p> <p><b>【成果】</b> 特例特定入所者介護サービス費の請求はなかった。</p>												

事業名： 特定入所者介護予防サービス費に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	03	03	11	本年	298				298		44	14.7														
				前年	232				232		117	50.4														
				比較	66				66		△73	-														
【参考】前々年度					287				287		77	26.7														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					44																					
概要及び成果																										
<p>1 特定入所者介護予防サービス事業 申請により所得に応じて負担限度額を決定する。 低所得者の負担する食費・居住費がこの負担限度額を超えた場合に、超えた分を支給する。</p> <p><b>【成果】</b> 更新手続を円滑に進めることで、低所得者の要介護者が介護保険施設等に入所したときやショートステイを利用したときの食費・居住費の利用者負担の軽減を図ることができた。</p> <p>低所得者であるために施設等の利用費の軽減が認められた件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定件数</td> <td>件</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	認定件数	件	12	14	11	14	8
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
認定件数	件	12	14	11	14	8																				

事業名： 特例特定入所者介護予防サービス費に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	04	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
概要及び成果												
<p>1 特例特定入所者介護予防サービス事業 低所得者が、緊急その他やむを得ない理由により施設サービスを利用した場合に負担する食費や居住費について、負担限度額を超えた分を支給する。</p> <p><b>【成果】</b> 特例特定入所者介護予防サービス費の請求はなかった。</p>												

事業名：介護予防サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	04	01	11	本年	133,858				133,858		132,997	99.4														
				前年	132,810				132,810		124,298	93.6														
				比較	1,048				1,048		8,699	-														
【参考】前々年度					117,728			3,406	121,134		121,134	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					132,997																					
概要及び成果																										
<p>1 介護予防サービス給付事業 要支援被保険者が、指定介護予防サービスを利用したときに、介護予防サービス給付費を支給する。</p> <p>【成果】 介護予防サービスにより要支援被保険者の居宅生活を支援した。</p> <p>サービス給付を受けた受給者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>6,786</td> <td>6,167</td> <td>5,749</td> <td>5,100</td> <td>7,686</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	受給者数	人	6,786	6,167	5,749	5,100	7,686
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
受給者数	人	6,786	6,167	5,749	5,100	7,686																				

事業名：特例介護予防サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	02	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
概要及び成果												
<p>1 特例介護予防サービス給付事業 要支援被保険者が、緊急その他やむを得ない理由により指定介護予防サービスを利用したときに、介護予防サービス給付費を支給する。</p> <p>【成果】 特例介護予防サービス給付費の請求はなかった。</p>												

事業名：地域密着型介護予防サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	04	03	11	本年	15,434				15,434		7,409	48.0														
				前年	15,434				15,434		8,182	53.0														
				比較						△ 773	-															
【参考】前々年度					15,434				15,434		8,589	55.6														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					7,409																					
概要及び成果																										
<p>1 地域密着型介護予防サービス給付事業 要支援被保険者が、つくば市の指定を受けた指定地域密着型サービス事業所（介護予防認知症対応型共同生活介護（要支援2のみ）・介護予防小規模多機能型居宅介護・介護予防認知症対応型通所介護等の各事業所）から、地域密着型介護予防サービスを受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 つくば市が指定した事業所において、地域に必要な介護サービスを提供した。</p> <p>サービス給付を受けた受給者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>77</td> <td>101</td> <td>119</td> <td>134</td> <td>112</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	受給者数	人	77	101	119	134	112
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
受給者数	人	77	101	119	134	112																				

事業名：特例地域密着型介護予防サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	04	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較							-	
【参考】前々年度					1				1			
概要及び成果												
<p>1 特例地域密着型介護予防サービス給付事業 要支援被保険者が、緊急その他やむを得ない理由により、指定地域密着型介護予防サービスを受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 特例地域密着型介護予防サービス給付費の請求はなかった。</p>												

事業名：介護予防福祉用具購入に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	04	05	11	本年	2,294				2,294		2,218	96.7														
				前年	1,813			320	2,133		2,133	100.0														
				比較	481			△ 320	161		85	-														
【参考】前々年度					2,279				2,279		1,708	74.9														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					2,218																					
概要及び成果																										
<p>1 介護予防福祉用具購入事業 要支援認定者が必要に応じて福祉用具を購入し、領収書等を添えて申請した場合に、自己負担割合に応じて対象費用の7割から9割を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請書受付後、内容審査、国保連合会への申請情報送付と審査後のデータの受取、支給事務等を行い受付から償還払いまでの事務を速やかに実施した。</li> <li>・福祉用具購入費用の一部を助成することで、日常生活がより快適に送れるよう要支援認定者を支援することができた。</li> </ul> <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>91</td> <td>95</td> <td>72</td> <td>73</td> <td>89</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	91	95	72	73	89
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
支給件数	件	91	95	72	73	89																				

事業名：介護予防住宅改修に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	04	06	11	本年	13,103				13,103		9,817	74.9														
				前年	14,015			△ 320	13,695		8,669	63.3														
				比較	△ 912			320	△ 592		1,148	-														
【参考】前々年度					9,695			1,329	11,024		11,024	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					9,817																					
概要及び成果																										
<p>1 介護予防住宅改修事業 要支援認定者が必要に応じて手すりの取り付けや段差解消等の住宅改修を行い、領収書等を添えて申請した場合に、自己負担割合に応じて対象費用の7割から9割を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅で安心して生活を継続できるよう、要支援認定者を支援し生活環境を整えることができた。</li> <li>・事前申請の書類の内容審査、事後申請時の内容審査を行い、内容に疑義がある場合や書類のみでの確認が困難な場合は、必要に応じて現場確認を行った。</li> </ul> <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>99</td> <td>91</td> <td>104</td> <td>96</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給件数	件	99	91	104	96	100
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
支給件数	件	99	91	104	96	100																				

事業名：介護予防サービス計画給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	04	07	11	本年	31,333				31,333		31,281	99.8														
				前年	33,406				33,406		27,832	83.3														
				比較	△ 2,073				△ 2,073		3,449	-														
【参考】前々年度					25,433			1,028	26,461		26,461	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					31,281																					
概要及び成果																										
<p>1 介護予防サービス計画給付事業                      要支援被保険者が、地域包括支援センターから介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成等、指定介護予防支援を受けた場合に行われる保険給付。この給付は10割負担であり、利用者負担はない。</p> <p>【成果】                      介護予防サービスにより要支援被保険者の居宅生活を支援した。</p> <p>サービス給付を受けた受給者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>6,402</td> <td>5,813</td> <td>5,749</td> <td>5,100</td> <td>7,686</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	受給者数	人	6,402	5,813	5,749	5,100	7,686
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
受給者数	人	6,402	5,813	5,749	5,100	7,686																				

事業名：特例介護予防サービス計画給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	08	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
概要及び成果												
<p>1 特例介護予防サービス計画給付事業                      要支援被保険者が、緊急その他やむを得ない理由により、指定介護予防支援を受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】                      特例介護予防サービス計画給付費の請求はなかった。</p>												



事業名： 審査支払手数料に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	05	01	11	本年	10,768				10,768		10,631	98.7														
				前年	10,558				10,558		10,326	97.8														
				比較	210				210		305	-														
【参考】前々年度					10,261				10,261		10,194	99.4														
節別支出済額(単位:千円)																										
役務費					10,631																					
概要及び成果																										
<p>1 審査支払手数料事業 介護サービス事業者及び介護予防サービス事業者の給付費の請求及び償還払い事務に対する審査手数料を支払う。</p> <p>【成果】 サービス事業費の請求に対する審査支払いにより、費用支給事務の円滑化が図られた。</p> <p>審査支払手数料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査件数</td> <td>件</td> <td>186,516</td> <td>181,151</td> <td>178,849</td> <td>170,598</td> <td>168,462</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	審査件数	件	186,516	181,151	178,849	170,598	168,462
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
審査件数	件	186,516	181,151	178,849	170,598	168,462																				

事業名： 災害臨時特例給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
02	05	02	11	本年	1,117				1,117		932	83.4																					
				前年	1,117				1,117		855	76.5																					
				比較							77	-																					
【参考】前々年度					3,970				3,970		781	19.7																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
負担金補助及び交付金					932																												
概要及び成果																																	
<p>1 災害臨時特例給付事業 東日本大震災に係る原子力発電所事故によって避難した方や水害等によって被害を受けた方が、介護サービスを利用した場合の自己負担分を減免する。</p> <p>【成果】 東日本大震災により被害を受けた方のサービス利用の負担を軽減することができた。</p> <p>東日本大震災</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象件数</td> <td>件</td> <td>137</td> <td>137</td> <td>125</td> <td>117</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>減免額</td> <td>円</td> <td>931,598</td> <td>854,983</td> <td>780,911</td> <td>893,310</td> <td>847,318</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	対象件数	件	137	137	125	117	121	減免額	円	931,598	854,983	780,911	893,310	847,318
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																											
対象件数	件	137	137	125	117	121																											
減免額	円	931,598	854,983	780,911	893,310	847,318																											

事業名：介護予防・生活支援サービス事業に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	224,803				224,803		207,810	92.4
				前年	264,230				264,230		192,720	72.9
				比較	△ 39,427				△ 39,427		15,090	-
【参考】前々年度					202,339		22,224	1,388	225,951		222,825	98.6
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					207,810							
概要及び成果												
<p>1 介護予防・生活支援サービス事業 要支援認定者等に対して、ケアマネジメントに基づき訪問型サービス及び通所型サービスを提供し、要介護状態になることの予防または軽減若しくは悪化の防止を図る。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット作成やホームページ掲載により、制度の周知を実施した。</li> <li>要支援認定者が要介護状態となることの予防または軽減、もしくは悪化の防止を図るためのサービスを提供し、高齢者の暮らしを支えることができた。</li> </ul>												

事業名：高額介護予防・生活支援サービスに要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	12	本年	518				518		375	72.4
				前年	617				617		370	60.0
				比較	△ 99				△ 99		5	-
【参考】前々年度					274			172	446		446	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					375							
概要及び成果												
<p>1 高額介護予防・生活支援サービス事業 自己負担が高額となった場合に、要支援被保険者の負担が、一定額を上回らないよう負担軽減を図るために行う保険給付。</p> <p>【成果】</p> <p>総合事業費負担が高額になった要支援被保険者の負担軽減が図られた。</p>												

事業名：高額医療合算介護予防・生活支援サービスに要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	13	本年	354				354		313	88.5
				前年	256				256		127	49.7
				比較	98				98		186	-
【参考】前々年度					256			△ 36	220		171	77.9
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					313							
概要及び成果												
<p>1 高額医療合算介護予防・生活支援サービスに要する経費 要支援被保険者及びチェックリスト該当者のサービス費と医療費の合算額が高額となった場合に、負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るために行う給付。</p> <p>【成果】</p> <p>総合事業費と医療費の合算額が高額になった要支援被保険者等の負担軽減が図られた。</p>												

事業名：短期集中予防サービスに要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	01	14	本年	1,920				1,920		544	28.3														
				前年	1,920		△ 1,000		920		896	97.4														
				比較			1,000		1,000		△ 352	-														
【参考】前々年度					1,920		△ 1,300		620		496	80.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
委託料					544																					
概要及び成果																										
<p>1 短期集中予防サービス「訪問型サービスC」                      要支援1、2または事業対象者に対して、専門職が訪問指導及び心身機能の改善と自立した生活への支援を行う。①運動機能向上プログラム、②低栄養改善・口腔機能向上プログラムの2つからなり、高齢者が心身機能を改善するとともに、活動や参加を促進し、自立した生活を送ることができるよう、個々の状態に応じた適切な支援を行うサービスである。</p> <p>【成果】                      【利用実績】①運動機能向上プログラム利用者数：6名 ②低栄養改善・口腔機能向上プログラム利用者数：1名</p> <p>訪問型サービスC利用者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>人</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	利用者数	人	7	11	6	5	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
利用者数	人	7	11	6	5	-																				

事業名：介護予防ケアマネジメント事業に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	27,974				27,974		22,160	79.2
				前年	31,745				31,745		20,567	64.8
				比較	△ 3,771				△ 3,771		1,593	-
【参考】前々年度					26,860			△ 1,523	25,337		24,927	98.4
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					22,160							
概要及び成果												
<p>1 介護予防ケアマネジメント事業                      要支援被保険者が、地域包括支援センターから介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成等、介護予防ケアマネジメントを受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】                      介護予防・生活支援サービスにより、要支援被保険者等の居宅生活を支援した。</p>												

事業名：こころとからだの健康教室事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	11	本年	1,680				1,680		346	20.6
				前年	1,909		△ 1,354		555		194	35.0
				比較	△ 229		1,354		1,125		152	-
【参考】前々年度					7,029				7,029		6,216	88.4

節別支出済額(単位:千円)

報償費	73	需用費	165	役務費	109
-----	----	-----	-----	-----	-----

概要及び成果

1 こころとからだの健康教室

一般介護予防事業として、認知機能向上を目的とした「脳元気アップ教室」を開催する。

【成果】

1 教室参加

- ・ 1クール：14名参加
- ・ 2クール：中止（新型コロナウイルス感染拡大のため）  
代替として、講話の視聴動画に関するQRコードを個別に案内 14名
- ・ 3クール：新型コロナウイルス感染拡大のため、配信型教室に変更  
(職員、講師によるYoutube動画配信)  
アプリ（バイタルゲイン）及びスマートウォッチを活用 9名
- ・ 同窓会：3クール申込者（5名）を対象として開催  
配信型教室内容の復習や脳トレ、アプリ等の活用方法の確認など

2 自宅で取り組む認知機能向上のための啓発

連携協定を締結している第一生命によるコグニ体操に関する情報を広報つくば及び市ホームページに掲載、窓口にてDVDを配布 5名

こころとからだの健康教室の参加人数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
教室参加者数	人	28	37	225	594	327

平成30年度までは閉じこもり予防・運動機能向上・認知機能向上の3種、令和元年度は運動機能向上・認知機能向上の2種、令和2年度及び3年度は認知機能向上教室の1種の教室を開催

事業名：出前教室事業に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	12	本年	17,700				17,700		11,666	65.9
				前年	20,490				20,490		11,371	55.5
				比較	△ 2,790				△ 2,790		295	-
【参考】前々年度					21,545				21,545		15,714	72.9

節別支出済額(単位:千円)

報酬	7,710	職員手当等	223	報償費	206	旅費	467
需用費	705	役務費	46	委託料	2,308		

概要及び成果

1 出前健康教室事業

- ・65歳以上で構成される5名以上の団体に対し、地区の集会所や研修センターに出向き体操や健康講話を実施する。シルバーリハビリ出前体操教室と健康体操教室(65歳以上)がある。
- ・シルバーリハビリ体操指導士の養成の他、運動普及推進員の養成等を行う。
- ・低栄養を予防するための栄養講話と調理講習会を行う。

【成果】

- ・健康体操教室(65歳以上)：新型コロナウイルス感染症拡大防止による事業休止はあったが、約9か月半実施できた。
- ・シルバーリハビリ出前体操教室：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した教室の代替として、動画配信を実施できた。また、区会回覧によって、新規団体の申込みがあった。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、シルバーリハビリ体操指導士を養成することができた。
- ・運動普及推進員養成講座の計画は予定通り行ったが、応募者が1名だったことを考慮し開催を次年度に延期した。
- ・調理講習会は、感染症の拡大状況に合わせ、対面と資料送付による開催とした。

(1) 健康体操教室 (65歳以上)

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
団体数	団体	60	60	81	83	71
実施回数	回	406	311	641	586	709
参加延人数	人	3,446	2,830	6,576	6,151	7,615

(2) 運動普及推進員養成講座 ※概ね2年に1回実施、令和3年度は延期

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
養成人数	人	-	-	23	-	13

(3) 運動普及推進員継続講座 ※年5回計画、令和3年度はコロナのため2回開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加延人数	人	59	63	187	267	342

(4) シルバーリハビリ出前体操教室

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施団体数(実)	団体	111	85	178	174	156
実施回数(延)	回	428	164	2,950	3,096	2,665
参加延べ人数	人	3,403	1,281	25,180	27,505	24,015

(5) シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期及び中止

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
養成人数	人	14(※)	-	15	23	33

(6) 低栄養予防事業

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
調理講習会実施回数	(回)	17	14	15	2	-
調理講習会参加延人数	(人)	177	141	204	30	-

事業名：いきいき・元気はつらつ運動教室事業に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	13	本年	6,727				6,727		6,050	89.9
				前年	6,748				6,748		5,458	80.9
				比較	△ 21				△ 21		592	-
【参考】前々年度					7,512				7,512		6,965	92.7

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,607	職員手当等	244	旅費	147	需用費	55
委託料	1,996						

概要及び成果

1 いきいき・元気はつらつ運動教室

介護予防を目的とした対象年齢65歳以上の運動教室を実施する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため約3か月事業を中止にした。事業の代替として、フレイル予防のチラシを作成し配布した。また、元気はつらつ運動教室の参加者に対して後期高齢者の質問票を配布し、オーラルフレイルの講話を行った。感染を懸念したキャンセル等もあり参加者数は減少したが、市報掲載等により新規参加者の申込みもあった。

いきいき運動教室（65歳から74歳対象）※H30年度より年齢区分でコース変更

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
コース数		3	3	3	3	5
実施回数	回	96	77	129	129	210
参加実数	人	80	85	119	128	205
参加延べ数	人	1,932	1,567	3,824	4,099	6,187

元気はつらつ運動教室（75歳以上対象）

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
コース数		4	4	4	4	3
実施回数	回	128	101	172	171	126
参加実数	人	82	100	124	127	122
参加延べ数	人	1,945	2,049	4,050	4,133	3,318

事業名：介護支援ボランティア事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	02	01	14	本年	2,337				2,337		1,735	74.2														
				前年	2,542				2,542		1,816	71.5														
				比較	△ 205				△ 205		△ 81	-														
【参考】前々年度					2,079				2,079		1,762	84.7														
節別支出済額(単位:千円)																										
役務費					7	委託料			1,708	負担金補助及び交付金		20														
概要及び成果																										
<p>1 介護支援ボランティア事業 市内に住所を有する65歳以上（つくば市第1号被保険者）の高齢者が、介護支援ボランティア登録を行い、市が指定した介護支援ボランティア受入機関でボランティア活動を行った場合、活動実績を評価した上でポイントを付与し、申出によりポイントに応じた交付金を交付する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染拡大の影響を受け、施設での受入れ中止や活動者の活動自粛のため活動できたのは2施設で2名、移動販売での2名のボランティアのみだった。</li> <li>・令和4年2月より、新たなボランティア活動場所として、筑波技術大学春日キャンパスにおける移動販売での購買補助としてのボランティアが開始され、2名が参加した。</li> <li>・ワクチン接種をふまえての今後のボランティア受入れ状況と意向について施設にアンケート調査を実施した。</li> </ul> <p>介護支援ボランティア実活動者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実活動者数</td> <td>人</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>71</td> <td>77</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	実活動者数	人	4	2	71	77	55
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
実活動者数	人	4	2	71	77	55																				

事業名：高齢者の居場所づくりに要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	02	01	15	本年	6,650				6,650		2,750	41.4														
				前年	2,300		5,700		8,000		3,550	44.4														
				比較	4,350		△ 5,700		△ 1,350		△ 800	-														
【参考】前々年度					2,300				2,300		1,625	70.7														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					2,750																					
概要及び成果																										
<p>1 つくば市高齢者憩いの広場活動支援事業 週1回以上、高齢者を中心とした地域住民が気軽に通うことができ、高齢者の介護予防及び孤立化防止のための活動を行う団体へ補助金を交付する。</p> <p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で周知活動も十分にできず、活動自体も自粛を強いられる中においても活動への要望はあり、活動団体も前年度9団体から今年度10団体へと増加し、高齢者の介護予防と孤立化防止を図ることができた。</p> <p>高齢者憩いの広場活動団体数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>団体</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度にモデル事業を実施し、令和元年度より事業実施。</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	団体数	団体	10	9	6	1	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
団体数	団体	10	9	6	1	-																				

事業名：地域リハビリテーション活動支援事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	02	01	16	本年	359				359		218	60.6														
				前年	147				147		50	34.0														
				比較	212				212		168	-														
【参考】前々年度					693		△ 600		93		42	44.9														
節別支出済額(単位:千円)																										
委託料					218																					
概要及び成果																										
<p>1 地域リハビリテーション活動支援事業 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士などのリハビリテーション専門職を、個人宅やサービス提供事業所、住民主体の通いの場等へ派遣し、介護予防に関する技術的助言、サービス担当者会議におけるケアマネジメント支援を行う。</p> <p>【成果】 【派遣依頼件数】34件 支援内容内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防活動普及促進支援 8回</li> <li>・ケアマネジメント支援 25回</li> <li>・福祉環境コーディネート支援 1回</li> <li>・事業名を「おうちdeリハ」としてなじみ深いネーミングを用い、広報つくばやチラシに掲載した。</li> </ul> <p>専門職による訪問</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問回数</td> <td>回</td> <td>34</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	訪問回数	回	34	12	11	-	-
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
訪問回数	回	34	12	11	-	-																				



事業名：包括的支援事業総務に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	11	本年	156,060			180	156,240		147,428	94.4
				前年	161,627		△ 13,000		148,627		145,693	98.0
				比較	△ 5,567		13,000	180	7,613		1,735	-
【参考】前々年度				141,332				141,332		136,373	96.5	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	4,541	職員手当等	180	報償費	339	旅費	191
需用費	690	役務費	223	委託料	140,533	使用料及び賃借料	295
備品購入費	342	負担金補助及び交付金	95				

概要及び成果

- 1 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの運営指導事務  
 地域包括支援センター在宅介護支援センター定例会を実施し、活動状況や困難事例の共有・検討を行うことで地域包括支援センターとランチである在宅介護支援センター間の連絡調整やネットワーク強化を行う。  
 毎月提出される相談票や実績報告をもとに、適切な相談支援に向けた指導を行う。

【成果】

- ・毎月の定例会等を通して各センター職員の相談力の向上、地域連携ネットワークの構築、事業に対する共通理解の形成ができた。

地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談対応

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相談件数	件	10,394	9,417	7,414	5,205	3,369

2 総合相談・支援事業

- 相談を受け、その方のニーズに応じて適切なサービスにつなぐワンストップ相談窓口を実施する。  
 直営の地域包括支援センターとともに市内6か所に委託している地域包括支援センターと市内4か所の在宅介護支援センターにおいて、委託により相談業務を実施する。

【成果】

- センター職員を対象とした各種研修会を実施し、相談対応力を向上させることができた。

地域包括支援センター相談対応

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相談件数(直営)	件	1,330	1,764	2,003	2,196	1,895
相談件数(委託包括)	件	10,330	9,763	6,820	3,756	1,010

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- 介護支援専門員の相談、担当者会議支援  
 各会議等への出席(ケアマネジャー連絡会、役員会、圏域別地域ケア会議等)  
 主任介護支援専門員に対する支援(連絡会の開催)  
 保健福祉関係者のための市内の保健福祉サービス民間関連サービス概要の作成

【成果】

- ケアマネジャー連絡会役員会11回 定例会12回
- 主任介護支援専門員連絡会役員会12回 定例会5回
- 介護支援専門員の相談件数 2,816件
- 市センター及び委託センターが出席した、困難事例のサービス担当者会議 49件

介護支援専門員からの相談対応

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相談件数	件	2,816	1,495	868	234	248

- 4 権利擁護事務  
 成年後見制度、日常生活自立支援事業等の活用促進  
 老人福祉施設等への措置支援  
 高齢者虐待防止、養護者支援  
 困難事例への対応

【成果】

- ・権利擁護支援の地域連携ネットワークを担う中核機関を設置し、関係機関が相互に連携・協力し、協議を行うことができた。
- ・高齢者虐待対応を実施し、高齢者と養護者に対して必要な支援と権利擁護を実施した。
- ・高齢者虐待の防止、早期発見のために、市民に向けて相談・通報先を広く周知することができた。
- ・介護保険サービス提供事業所にて虐待防止研修を実施し、現場のニーズに即した研修を提供することができた。

権利擁護相談対応

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相談件数	件	137	139	159	170	145

5 実態把握訪問

閉じこもりや生活能力低下、認知機能低下、社会性の低下、医療等で関わり支援が必要な対象者を抽出し訪問等を実施する。

【成果】

- ・高齢者台帳訪問：訪問延32名、電話1名
- ・KDBシステム訪問：訪問延104名、電話延7名
- ・継続者訪問：訪問延125名、電話延46名
- ・その他の訪問：訪問延12名、電話1名

要援護者への実態把握訪問の実施

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
訪問した要援護者数	人	328	595	249	261	-

事業名：在宅医療・介護連携推進に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	12	本年	4,234				4,234		2,760	65.2
				前年	4,648		△ 1,484		3,164		2,586	81.7
				比較	△ 414		1,484		1,070		174	-
【参考】前々年度				8,394		△ 3,685		4,709		3,449	73.2	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,454	報償費	692	旅費	69	需用費	457
役務費	88						

概要及び成果

1 在宅医療・介護連携推進事業

市民や関係機関に意識調査を実施し、課題を把握する。  
 推進協議会を開催し、在宅医療・介護連携に関する課題抽出と対応策の検討を行い、方針を決定する。  
 医療介護の関係機関を対象とした意見交換会や研修会の開催、市民啓発を行い、医療と介護の連携が推進される仕組みづくりを行う。

【成果】

- ・事業の評価指標を絞り込み、関係団体の意見も取り入れた数値目標を設定することができた。
- ・介護保険認定更新者へのアンケートを開始し、評価指標の収集につなげることができた。
- ・感染症拡大の時期でも、オンライン活用により会議、研修や市民への普及啓発を行うことができた。
- ・連携ツール、ICTを活用した情報共有システム及びお薬手帳の活用状況を把握することができた。

多職種研修会等の参加者数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加者数	人	970	323	441	867	692

事業名：認知症総合支援に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	13	本年	11,830				11,830		7,457	63.0
				前年	9,209		△ 821		8,388		7,153	85.3
				比較	2,621		821		3,442		304	-
【参考】前々年度				9,168				9,168		7,917	86.4	
節別支出済額(単位:千円)												
		報酬		636	報償費		376	旅費		30	需用費	109
		役務費		21	委託料		5,943	負担金補助及び交付金		342		
概要及び成果												
<p>1 認知症総合支援事業            認知症専門医の指導の下、専門職が認知症が疑われる人又は認知症の人やその家族を訪問し、観察・評価を行った上で家族支援等の初期の支援を包括的・集中的に行い、かかりつけ医と連携しながら認知症に対する適切な治療につなげて、自立生活のサポートを行う。</p> <p>【成果】            認知症カフェでは新型コロナウイルス感染予防対策のため、人数制限を設けるなどし感染対策を講じながら実施した。中止になった場合は、参加者のフォローアップを実施した。認知症初期集中支援チームでは地域包括支援センターと連携する体制を構築し、共にケース支援を実施することができた。</p>												
認知症カフェの開催												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
カフェ開催数		回	40	27	43	36	12					
認知症カフェへの参加												
		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度					
参加者数		人	359	244	830	672	280					

事業名：地域ケア会議推進に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	14	本年	584				584		352	60.4
				前年	562				562		283	50.4
				比較	22				22		69	-
【参考】前々年度					466				466		344	73.9

節別支出済額(単位:千円)

報償費	249	役務費	103
-----	-----	-----	-----

概要及び成果

1 地域ケア会議推進事業

つくば市全域・圏域別・個別の3種のケア会議を開催する。

市全域会議では、抽出された地域課題について協議し、その課題解決に向けた社会資源の開発や政策提言につなげる。圏域別会議では個別事例の解決に向けた検討、また個別会議では、自立支援・重度化予防の観点に基づいた検討を中心に開催する。

【成果】

【市ケア会議】(4回/延116名参加)

ごみ出し等の課題については、アンケートを分析し、今後の課題解決のための検討の方向性を整理した。また、地域での見守り体制について、現存する社会資源を整理し、今後の課題解決策の提案に向けた会議を行った。

【圏域別】(36回(全圏域)/延818名参加)

各委託地域包括支援センターが滞りなく会議開催することができるよう支援した。会議を通じて圏域内で新たなネットワーク構築につながった。

【個別】(22事例/11回)

個別ケースの課題解決を行い、記録の共有や専門職の派遣事業の活用を促し、会議後のサポート充実強化を行った。

つくば市地域ケア会議の開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催件数	回	4	3	3	3	2

圏域別地域ケア会議の開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催件数	回	36	26	33	36	36

自立支援型個別ケア会議の開催

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
開催件数	回	11	8	10	-	-

事業名：生活支援体制整備に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	15	本年	30,906				30,906		30,636	99.1
				前年	29,179				29,179		28,680	98.3
				比較	1,727				1,727		1,956	-
【参考】前々年度					5,482				5,482		4,879	89.0

節別支出済額(単位:千円)

報償費	474	役務費	27	委託料	30,135
-----	-----	-----	----	-----	--------

概要及び成果

1 生活支援体制整備事業

地域の多様な主体を中心に支え合いの仕組みづくりを話し合う場である「第2層協議体」を各圏域ごとに設置する。協議体と協力しながら地域の様々な活動をつなげ組み合わせる調整役として、「生活支援コーディネーター（SC）」の配置を行う。その上で、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図る。

【成果】

- ・第1層会議を年4回開催し、第1層から第3層までの目的と役割を明確にし、具体的な地域課題について議論し、今後の第1層会議の運営方法についても見直しを行った。
- ・2層SCが地域住民と連携を持ち協働する中で、住民主体の新たな集いの場、生活支援の場など市内に33か所創設することができた。
- ・事業の周知及び連携を目的とし、庁内各課と情報交換会を行い、また2層SCと地域包括支援センター、在宅介護支援センター及びケアマネジャー等と意見交換を行うことができた。

第2層協議体の設置数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
協議体数	箇所	7	7	7	4	-

第2層生活支援コーディネーターの数

	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
コーディネーター数	人	7	7	4	0	-

事業名：介護保険適正化に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	03	02	11	本年	5,686				5,686		5,064	89.1	
				前年	5,435				5,435		4,854	89.3	
				比較	251				251		210	-	
【参考】前々年度					5,448				5,448		4,906	90.1	
節別支出済額(単位:千円)													
報酬				3,522	職員手当等		428	旅費		128	役務費		987
概要及び成果													
<p>1 介護給付費適正化事業                      介護保険サービス利用者に対して給付費通知を発送することで、介護給付等に要する費用への理解を求め、併せて実際に利用者が受けたサービス内容と合致しているか等の確認をしてもらう。                      居宅介護支援事業所からケアプランを提出してもらい、プランを作成した介護支援専門員との面談による内容点検を行い、自立支援に資するプランとなっているかの確認を行う。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン点検実施後に、質問があった事項等の情報共有を行い、点検についての見直しを実施した。</li> <li>・介護給付費通知を年2回送付し、介護保険給付に要する費用への理解と実際に利用者が受けたサービスの確認を行った。</li> </ul>													
給付費通知													
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
発送件数				件	14,204	13,944	13,692	12,967	12,759				
ケアプラン点検													
				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
点検件数				件	28	37	53	54	57				

事業名：高齢者生活支援に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																								
03	03	02	12	本年	38,551				38,551		34,727	90.1																																																								
				前年	47,595		3,393	290	51,278		51,278	100.0																																																								
				比較	△ 9,044		△ 3,393	△ 290	△ 12,727		△ 16,551	-																																																								
【参考】前々年度					46,525		1,677		48,202		48,064	99.7																																																								
節別支出済額(単位:千円)																																																																				
扶助費					34,727																																																															
概要及び成果																																																																				
<p>1 在宅高齢者紙おむつ購入費助成事業 65歳以上の要介護1以上で次のいずれかに該当する在宅高齢者に対し、年間1回紙おむつ購入費助成券を発行する。要介護1～3認定者の場合は市民税非課税かつ排尿・排便において介助等が必要であると認められる方、要介護4・5の場合は市民税非課税かつ日常生活で紙おむつなどを必要とされる方を対象とする。助成券は1,000円券×24枚、なお、申請時期により、給付枚数が少なくなる。</p> <p>【成果】 紙おむつ等を必要とする高齢者及びその家族の経済的負担を軽減できた。</p> <p>交付者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要介護1</td> <td>人</td> <td>650</td> <td>908</td> <td>839</td> <td>820</td> <td>766</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>人</td> <td>696</td> <td>932</td> <td>912</td> <td>818</td> <td>776</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>人</td> <td>350</td> <td>544</td> <td>497</td> <td>508</td> <td>459</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>人</td> <td>229</td> <td>296</td> <td>275</td> <td>302</td> <td>251</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>人</td> <td>114</td> <td>176</td> <td>147</td> <td>163</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>人</td> <td>2,039</td> <td>2,856</td> <td>2,670</td> <td>2,611</td> <td>2,405</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>円</td> <td>34,727,475</td> <td>51,277,863</td> <td>48,039,247</td> <td>44,830,260</td> <td>42,174,202</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	要介護1	人	650	908	839	820	766	要介護2	人	696	932	912	818	776	要介護3	人	350	544	497	508	459	要介護4	人	229	296	275	302	251	要介護5	人	114	176	147	163	153	合計	人	2,039	2,856	2,670	2,611	2,405	金額	円	34,727,475	51,277,863	48,039,247	44,830,260	42,174,202
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																														
要介護1	人	650	908	839	820	766																																																														
要介護2	人	696	932	912	818	776																																																														
要介護3	人	350	544	497	508	459																																																														
要介護4	人	229	296	275	302	251																																																														
要介護5	人	114	176	147	163	153																																																														
合計	人	2,039	2,856	2,670	2,611	2,405																																																														
金額	円	34,727,475	51,277,863	48,039,247	44,830,260	42,174,202																																																														

事業名：介護相談員派遣事業に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	03	02	13	本年	965				965																	
				前年	1,138			△ 290	848		77	9.1														
				比較	△ 173			290	117		△ 77	-														
【参考】前々年度					989				989		740	74.8														
概要及び成果																										
<p>1 介護相談員派遣事業 介護サービス相談員を介護サービス提供事業所に派遣し、より多くの利用者の相談に応じることにより、利用者の抱える疑問や不安の解消を図り、安心して介護サービスを利用できるように支援する。</p> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響により相談活動を実施できなかった。</p> <p>相談員派遣</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談員訪問回数</td> <td>回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>143</td> <td>159</td> <td>142</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	相談員訪問回数	回	0	0	143	159	142
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
相談員訪問回数	回	0	0	143	159	142																				

事業名： 成年後見制度利用支援事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	03	02	14	本年	2,242				2,242		47	2.1														
				前年	1,243				1,243		786	63.3														
				比較	999				999		△ 739	-														
【参考】前々年度					1,434				1,434		100	7.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
需用費		1		役務費		30		扶助費		16																
概要及び成果																										
<p>1 成年後見制度活用支援 親族がいる場合は、親族による成年後見開始等審判の申立てを支援する。 成年後見制度の利用が必要だが、親族がいない場合や親族による申立てが見込まれない場合は、市長申立ての手続きを行う。 また、成年後見制度を利用する被後見人等で、資力が少ない者等に対して報酬等を助成する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度市長申立て 2件</li> <li>・つくば市成年後見制度利用支援事業助成金支給 1件</li> </ul> <p>成年後見制度相談対応 (市地域包括支援課)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>件</td> <td>38</td> <td>70</td> <td>65</td> <td>82</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	相談件数	件	38	70	65	82	60
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
相談件数	件	38	70	65	82	60																				

事業名： 認知症サポーター養成事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	03	02	15	本年	2,787				2,787		1,946	69.8														
				前年	2,871				2,871		1,863	64.9														
				比較	△ 84				△ 84		83	-														
【参考】前々年度					3,503				3,503		3,244	92.6														
節別支出済額(単位:千円)																										
報酬		1,454		報償費		32		旅費		189		需用費		168												
役務費		39		備品購入費		64																				
概要及び成果																										
<p>1 認知症サポーター養成事業 認知症サポーター養成講座を開催することにより、同サポーターを養成するとともに、認知症相談窓口を市民へ周知する。</p> <p>【成果】</p> <p>目標値は達成できなかったが、新型コロナウイルス感染症の感染対策をしながら、認知症サポーター養成講座を実施し、16件(478名)の認知症サポーターを養成することができた。また、オンラインによる講座を開催し、コロナ禍であっても受講できる体制を構築した。</p> <p>認知症サポーターの養成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サポーター養成者数</td> <td>人</td> <td>478</td> <td>452</td> <td>3,082</td> <td>3,079</td> <td>1,426</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	サポーター養成者数	人	478	452	3,082	3,079	1,426
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
サポーター養成者数	人	478	452	3,082	3,079	1,426																				



事業名：認知症高齢者等保護支援事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	02	16	本年	480				480		56	11.7
				前年	506				506		25	5.0
				比較	△ 26				△ 26		31	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				2	役務費		28		扶助費		27	
概要及び成果												
1 はいかい高齢者家族支援サービス事業 認知症等により行方不明になる恐れのある高齢者に位置情報端末機を貸し出し、万が一、行方がわからなくなった場合に、位置情報等を特定し、知らせることで、家族が保護できるように支援する。 <b>【成果】</b> ・事業の利用により、認知症高齢者等を介護する家族の負担軽減につながった。 ・令和3年度支援サービスの利用者数12名 (内訳：継続者7名 年度内中止者5名)												
支援サービス利用者												
		単位		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
端末機貸与人数		人		12	9	8	9	5				

事業名：審査支払手数料に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	04	01	11	本年	848				848		706	83.3
				前年	901				901		664	73.7
				比較	△ 53				△ 53		42	-
【参考】前々年度				749		51		800		785	98.1	
節別支出済額(単位:千円)												
役務費				706								
概要及び成果												
1 審査支払手数料事業 介護予防・生活支援サービス事業者のサービス事業費の請求に対する審査の手数料を支払う。 <b>【成果】</b> サービス事業費の請求に対する審査支払により、費用支給事務の円滑化が図られた。												

事業名：財政安定化基金拠出金に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								
【参考】前々年度				1				1				
概要及び成果												
1 財政安定化基金拠出金事業 (1) 基金の財源は国・県の負担、市の拠出金(財源は第1号被保険者の保険料)で、それぞれ1/3ずつ負担する。基金から市には交付又は貸付を行うこととなる。 (2) 交付は保険料の収納率の悪化により、介護保険財政に不足が生じる場合であり、貸付は給付の見込み誤り、収納率の悪化を理由として財政収支の不均衡が生じた時に行われる。 <b>【成果】</b> 財政安定化基金制度(介護保険法第147条)により積み立てるが、今年度の支出はなかった。												

事業名：指定介護予防支援事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
05	01	01	11	本年	861				861		59	6.8														
				前年	10,730		△ 6,977		3,753		3,694	98.4														
				比較	△ 9,869		6,977		△ 2,892		△ 3,635	-														
【参考】前々年度					18,975				18,975		16,984	89.5														
節別支出済額(単位:千円)																										
委託料					59																					
概要及び成果																										
<p>1 介護予防支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防ケアマネジメント実施のため居宅介護支援事業所と委託契約を締結</li> <li>・適切なケアプラン作成、サービス提供に向け介護支援専門員からの相談等に対する支援</li> <li>・介護支援専門員から提出された書類の確認審査</li> <li>・国民健康保険団体連合会への請求業務、居宅介護支援事業所への委託料支払業務</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の総合事業(介護予防・生活支援サービス事業及び一般介護予防)に関する相談窓口を地域に展開することができた。</li> <li>・介護予防ケアマネジメントの類型について、主にケアマネジャーに周知することで、基準緩和型サービスや短期集中介護予防サービスの調整方法の理解を深めることができた。</li> </ul> <p>介護予防支援の委託</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託件数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>160</td> <td>521</td> <td>824</td> <td>1,167</td> </tr> </tbody> </table> <p>各地域包括支援センターに引き継いでいるため、地域包括支援課での件数は少なくなっている。</p>														単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	委託件数	人	1	160	521	824	1,167
	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
委託件数	人	1	160	521	824	1,167																				

事業名：介護給付費準備基金積立金に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	11	本年	37,291		185,348		222,639		222,639	100.0
				前年	69,242		127,505		196,747		196,747	100.0
				比較	△ 31,951		57,843		25,892		25,892	-
【参考】前々年度					74,850		68,924		143,774		143,774	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					222,639							
概要及び成果												
<p>1 介護給付費準備基金積立金事業</p> <p>介護保険財政については、中期財政運営を行うため、余剰金を給付金の財源に充てることから、余剰金を適正に管理するために設置する、介護給付費準備基金への積立を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>介護保険財政を適正に運営し、余剰金の積立を行った。</p>												

事業名：一般会計繰出金

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	01	11	本年	1		90,882		90,883		90,883	100.0
				前年	1		45,629		45,630		45,629	100.0
				比較			45,253		45,253		45,254	-
【参考】前々年度					1		66,896		66,897		66,897	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金					90,883							
概要及び成果												
1 一般会計繰出金事業 介護給付費の実績に基づき、一般会計への過年度の精算返還分の繰出しを行う。												
【成果】 介護給付費実績等に基づき、精算返還分を一般会計に繰出した。												

事業名：国庫支出金等返還金

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	02	01	11	本年	1		107,545		107,546		107,545	100.0
				前年	1		154,878		154,879		154,878	100.0
				比較			△ 47,333		△ 47,333		△ 47,333	-
【参考】前々年度					1		61,265		61,266		61,264	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					107,545							
概要及び成果												
1 国庫支出金等返還事業 介護給付費等の精算により、国・県及び社会保険診療報酬支払基金へ負担金の返還を行う。												
【成果】 介護給付費実績等に基づき、国や県、社会保険診療報酬支払基金へ過年度分交付金の返還を行った。												

事業名：予備費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	11	本年	30,000				30,000			
				前年	30,000				30,000			
				比較								-
【参考】前々年度					30,000				30,000			
概要及び成果												
1 予備費 予算外の支出や予算超過の支出に充てる。												
【成果】 予備費の支出はなかった。												
					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
充用額					円	0	0	0	216,000	201,360		



# 附 表



基金の状況について

(単位:千円)

基金名	令和2年度末 現在高	積立て及び取崩し状況						令和3年度末 現在高	
		積立て	取崩し	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額		決算額
財政調整基金	2,214,302	積立て		243	2,285,133	0	2,285,376	2,285,376	4,224,078
		取崩し		0	275,600	0	275,600	275,600	
減債基金	1,108,978	積立て		134	△ 100	0	34	30	378,078
		取崩し		730,930	0	0	730,930	730,930	
奨学金基金	3,618	積立て		1	0	0	1	0	1,866
		取崩し		1,800	0	0	1,800	1,752	
公共施設整備基金	1,462,342	積立て		176	△ 101	0	75	74	1,337,100
		取崩し		206,168	△ 60,217	0	145,951	125,316	
国際交流基金	11,847	積立て		2	0	0	2	0	11,847
		取崩し		0	0	0	0	0	
つくばエクスプレス対策 基金	63,441	積立て		7	△ 5	0	2	1	63,442
		取崩し		0	0	0	0	0	
福祉振興基金	283,003	積立て		29	△ 23	0	6	6	283,009
		取崩し		0	0	0	0	0	
ふるさと創生基金	2,541	積立て		1	0	0	1	0	2,541
		取崩し		0	0	0	0	0	
学校教育施設整備基 金	1,480,706	積立て		178	1,200,581	0	1,200,759	1,200,759	2,566,145
		取崩し		115,320	0	0	115,320	115,320	
アイラブつくばまちづく り寄附基金	197,502	積立て		132,107	236,133	0	368,240	210,852	150,829
		取崩し		177,028	178,910	0	355,938	257,525	
地域雇用創出推進基 金	67,874	積立て		7	△ 1	0	6	1	24,850
		取崩し		43,025	0	0	43,025	43,025	
医療環境整備基金	177,861	積立て		18	△ 14	0	4	3	127,864
		取崩し		50,000	0	0	50,000	50,000	
環境都市推進基金	36,635	積立て		1	32,500	0	32,501	32,501	40,196
		取崩し		30,000	0	0	30,000	28,940	
つくばこどもの青い羽根 基金	16,161	積立て		8,601	5,500	93	14,194	14,194	23,355
		取崩し		6,984	0	0	6,984	7,000	
森林環境譲与税基金	32,950	積立て		23,565	0	992	24,557	24,557	54,509
		取崩し		16,612	△ 11,895	0	4,717	2,998	
地方創生応援基金	0	積立て		0	5,050	0	5,050	5,050	5,050
		取崩し		0	0	0	0	0	
小計	7,159,761	積立て		165,070	3,764,653	1,085	3,930,808	3,773,404	9,294,759
		取崩し		1,377,867	382,398	0	1,760,265	1,638,406	
国民健康保険支払準備 基金	35,417	積立て		3	682,686	0	682,689	682,688	718,105
		取崩し		0	0	0	0	0	
作岡財産区基金	2,619	積立て		1	0	0	1	0	2,619
		取崩し		39	0	0	39	0	
公平委員会基金	4,950	積立て		1	819	0	820	820	5,770
		取崩し		43	0	0	43	0	
介護給付費準備基金	1,538,896	積立て		37,291	185,348	0	222,639	222,638	1,761,534
		取崩し		0	0	0	0	0	
小計	1,581,882	積立て		37,296	868,853	0	906,149	906,146	2,488,028
		取崩し		82	0	0	82	0	
(預金)	180,139	積立て		19	△ 14	0	5	4	180,143
	土地開発基金 (土地)	24,706	—	—	—	—	—	—	24,706
(計)	204,845	—		19	△ 14	0	5	4	204,849
	高額療養費貸付基金	25,000	積立て		0	0	0	0	25,000
高額介護サービス費貸 付基金	3,000	積立て		0	0	0	0	0	3,000
		取崩し		0	0	0	0	0	
出産費資金貸付基金	5,000	積立て		0	0	0	0	0	5,000
		取崩し		0	0	0	0	0	
小計	237,845	積立て		19	△ 14	0	5	4	237,849
		取崩し		0	0	0	0	0	
合計	8,979,488	積立て		202,385	4,633,492	1,085	4,836,962	4,679,554	12,020,636
		取崩し		1,377,949	382,398	0	1,760,347	1,638,406	

## 常勤特別職員給与関係経費明細

### 1 一般会計

区 分	職員数 (人)	給 与 費							共 済 費 (千円)	合 計 (千円)
		給 料 (千円)	期末手当 (千円)	期末手当 年間支給率 (月分)	地域手当 (千円)	寒冷地 手 当 (千円)	その 他 の 手 当 (千円)	計 (千円)		
令和3年度	4	37,572	12,062	3.35			5,072	54,706	7,597	62,303
令和2年度	4	37,528	12,062	3.35			5,072	54,662	8,270	62,932
比較		44						44	△ 673	△ 629

## 一 般 職 員 給 与 関 係 経 費 明 細

### 1 一般会計

#### (1) 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	備 考
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和3年度	1,836 (94)		6,643,289	6,591,245	13,234,534	2,466,991	15,701,525	
令和2年度	1,829 (90)		6,651,074	6,546,476	13,197,550	2,476,214	15,673,764	
比較	7 (4)		△ 7,785	44,769	36,984	△ 9,223	27,761	

※職員数欄の( )内は、再任用職員数を内書き。

(単位:千円)

職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	日直手当	管理職 手 当	児童手当
	令和3年度	158,958	124,266	195,709	30,253	383,189	390	252,138	83,275
	令和2年度	162,818	120,510	193,247	27,828	358,135	372	245,530	81,020
	比較	△ 3,860	3,756	2,462	2,425	25,054	18	6,608	2,255
	区 分	期末手当	勤勉手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	管理職員特 別勤務手当	地域手当	単身赴任 手 当
令和3年度	1,709,052	1,318,537	1,090,010	98,002	19,913	135	1,127,418		
令和2年度	1,708,376	1,308,324	1,090,586	101,221	19,431	858	1,128,220		
比較	676	10,213	△ 576	△ 3,219	482	△ 723	△ 802		



## (2) 会計年度任用職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	費用弁償
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和3年度	1,610 <sup>(1,522)</sup>	1,711,628	199,097	208,090	2,118,815	268,342	2,387,157	81,906
令和2年度	1,539 <sup>(1,457)</sup>	1,723,144	185,537	156,327	2,065,008	247,958	2,312,966	81,591
比 較	71 <sup>(65)</sup>	△ 11,516	13,560	51,763	53,807	20,384	74,191	315

※職員数欄の( )内は、短時間勤務職員数

※費用弁償は、短時間勤務職員の通勤に係るもの

(単位:千円)

職員 手当 の内 訳	区 分	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	期末手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	地域手当
	令和3年度	6,716	31,856	2,969	139,410	27,139			
	令和2年度	6,667	29,686	2,294	93,014	24,666			
	比 較	49	2,170	675	46,396	2,473			

## 2 国民健康保険特別会計

## (1) 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	備 考
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和3年度	16		53,865	51,411	105,276	19,805	125,081	
令和2年度	16		54,020	50,446	104,466	20,070	124,536	
比 較			△ 155	965	810	△ 265	545	

(単位:千円)

職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	日直手当	管理職 手 当	児童手当
	令和3年度	786	1,069	1,621		3,791		1,800	480
	令和2年度	600	1,938	1,822		3,344		1,260	540
	比 較	186	△ 869	△ 201		447		540	△ 60
職 員 手 当 の 内 訳	区 分	期末手当	勤勉手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	管理職員特 別勤務手当	地域手当	単身赴任 手 当
	令和3年度	14,232	11,051	7,549				9,032	
	令和2年度	13,989	10,620	7,392				8,941	
	比 較	243	431	157				91	

(2) 会計年度任用職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	費用弁償
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和3年度	23 (23)	39,103		3,523	42,626		42,626	2,261
令和2年度	19 (19)	38,317		2,044	40,361		40,361	2,320
比 較	4 (4)	786		1,479	2,265		2,265	△ 59

※職員数欄の( )内は、短時間勤務職員数  
 ※費用弁償は、短時間勤務職員の通勤に係るもの

(単位:千円)

職員 手当 の内 訳	区 分	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	期末手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	地域手当
	令和3年度				3,523				
	令和2年度				2,044				
	比 較				1,479				

3 後期高齢者医療特別会計

(1) 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	備 考
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和3年度	6		17,467	17,795	35,262	6,452	41,714	
令和2年度	6		18,431	17,453	35,884	6,655	42,539	
比 較			△ 964	342	△ 622	△ 203	△ 825	

(単位:千円)

職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	日直手当	管理職 手 当	児童手当
	令和3年度	600		908		1,441			660
	令和2年度	600	300	916		1,142			240
	比 較		△ 300	△ 8		299			420
内 訳	区 分	期末手当	勤勉手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	管理職員特 別勤務手当	地域手当	単身赴任 手 当
	令和3年度	4,971	3,698	2,626				2,891	
	令和2年度	4,848	3,874	2,488				3,045	
	比 較	123	△ 176	138				△ 154	

## (2) 会計年度任用職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	費用弁償
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和3年度	3 (3)	5,485		573	6,058		6,058	421
令和2年度	2 (2)	3,505		277	3,782		3,782	162
比 較	1 (1)	1,980		296	2,276		2,276	259

※職員数欄の( )内は、短時間勤務職員数

※費用弁償は、短時間勤務職員の通勤に係るもの

(単位:千円)

職員 手当 の内 訳	区 分	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	期末手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	地域手当
	令和3年度				573				
	令和2年度				277				
	比 較				296				

## 4 介護保険事業特別会計

## (1) 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	備 考
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和3年度	27		88,874	79,841	168,715	31,538	200,253	
令和2年度	30		97,445	89,342	186,787	35,531	222,318	
比 較	△ 3		△ 8,571	△ 9,501	△ 18,072	△ 3,993	△ 22,065	

(単位:千円)

職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	日直手当	管理職 手 当	児童手当
	令和3年度	1,056	896	2,168		4,343		3,060	815
	令和2年度	2,118	924	2,713		2,957		3,060	1,290
	比 較	△ 1,062	△ 28	△ 545		1,386			△ 475
内 訳	区 分	期末手当	勤勉手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	管理職員特 別勤務手当	地域手当	単身赴任 手 当
	令和3年度	23,012	17,040	12,572				14,879	
	令和2年度	26,216	19,549	14,095				16,420	
	比 較	△ 3,204	△ 2,509	△ 1,523				△ 1,541	

## (2)会計年度任用職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	費用弁償
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和3年度	36 (36)	59,104		5,358	64,462		64,462	2,951
令和2年度	43 (43)	63,709		3,511	67,220		67,220	2,993
比 較	△ 7 (△7)	△ 4,605		1,847	△ 2,758		△ 2,758	△ 42

※職員数欄の( )内は、短時間勤務職員数

※費用弁償は、短時間勤務職員の通勤に係るもの

(単位:千円)

職員 手当 の内 訳	区 分	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	期末手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	地域手当
	令和3年度				5,358				
	令和2年度				3,511				
	比 較				1,847				